

島根原子力発電所第2号機 審査資料	
資料番号	NS2-添 2-002-18改01
提出年月日	2022年12月19日

VI-2-2-18 取水槽の地震応答計算書

2022年12月

中国電力株式会社

目次

1. 概要	1
2. 基本方針	2
2.1 位置	2
2.2 構造概要	3
2.3 解析方針	6
2.4 適用規格・基準等	8
3. 解析方法	9
3.1 地震時荷重算出断面	9
3.2 解析方法	12
3.2.1 構造部材	13
3.2.2 地盤	13
3.2.3 減衰定数	15
3.2.4 地震応答解析の解析ケースの選定	17
3.3 荷重及び荷重の組合せ	24
3.3.1 耐震評価上考慮する状態	24
3.3.2 荷重	24
3.3.3 荷重の組合せ	25
3.4 入力地震動	26
3.5 解析モデル及び諸元	79
3.5.1 解析モデル	79
3.5.2 使用材料及び材料の物性値	82
3.5.3 地盤の物性値	82
3.5.4 地下水位	83
4. 解析結果	84
4.1 A－A断面の解析結果	84
4.2 B－B断面の解析結果	205
4.3 C－C断面の解析結果	326
4.4 D－D断面の解析結果	347

1. 概要

本資料は、VI-2-1-6「地震応答解析の基本方針」に基づき実施する取水槽の地震応答解析について説明するものである。

本地震応答解析は、取水槽が耐震性に関する技術基準へ適合することを確認するために用いる応答値を抽出するものである。

取水槽は、面部材として加振方向に平行に配置される妻壁や隔壁を有する箱型構造物であることから、2次元地震応答解析により地震時荷重を算定し、その荷重を3次元構造解析モデルに作用させて耐震評価を実施するものである。地震応答解析により抽出する応答値は、基礎地盤に発生する接地圧並びに3次元構造解析モデルに作用させる地震時土圧及び慣性力である。また、機器・配管系が耐震性に関する技術基準へ適合することを確認するために用いる応答値の抽出を行う。

2. 基本方針

2.1 位置

取水槽の位置図を図 2-1 に示す。

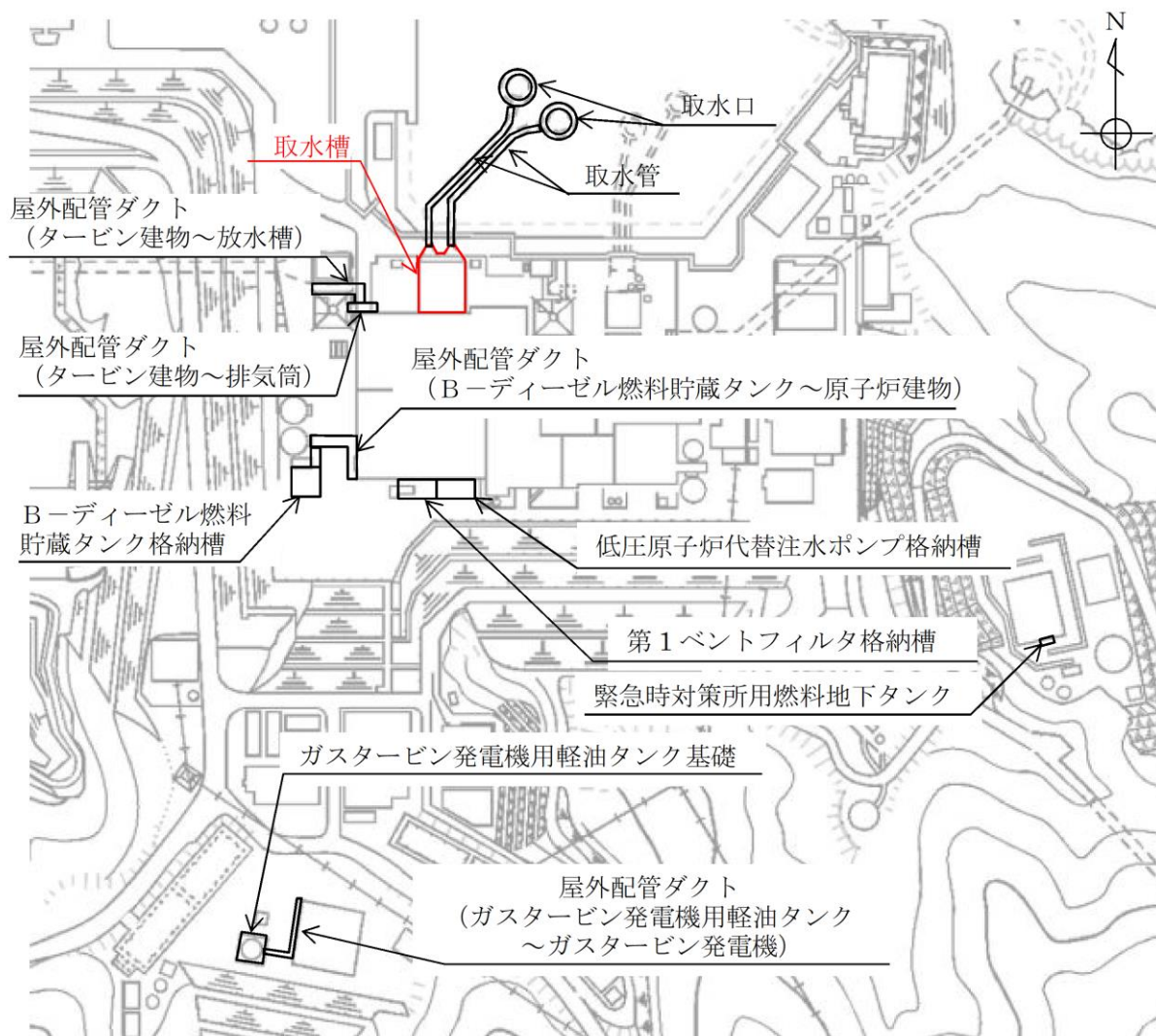


図 2-1 取水槽 位置図

2.2 構造概要

取水槽の平面図を **図 2-2** に、断面図を **図 2-3**～**図 2-6** に示す。

取水槽は、原子炉補機海水ポンプ等を間接支持する鉄筋コンクリート造の地中構造物であり、十分な支持性能を有する C_M ～ C_L 級岩盤に支持される。

取水槽は、地下 2 階構造となっており、上部は除じん機エリア、海水ポンプエリア、ストレーナエリアの 3 エリアに分かれている。下部は水路となっており、除じん機エリアの下部は 6 連のボックスカルバート構造、海水ポンプエリアの下部は 3 連のボックスカルバート構造となっている。また、上部は各エリアが隔壁により仕切られ、各エリアによって開口部の存在や中床版の設置レベルが異なる等の構造となっている。

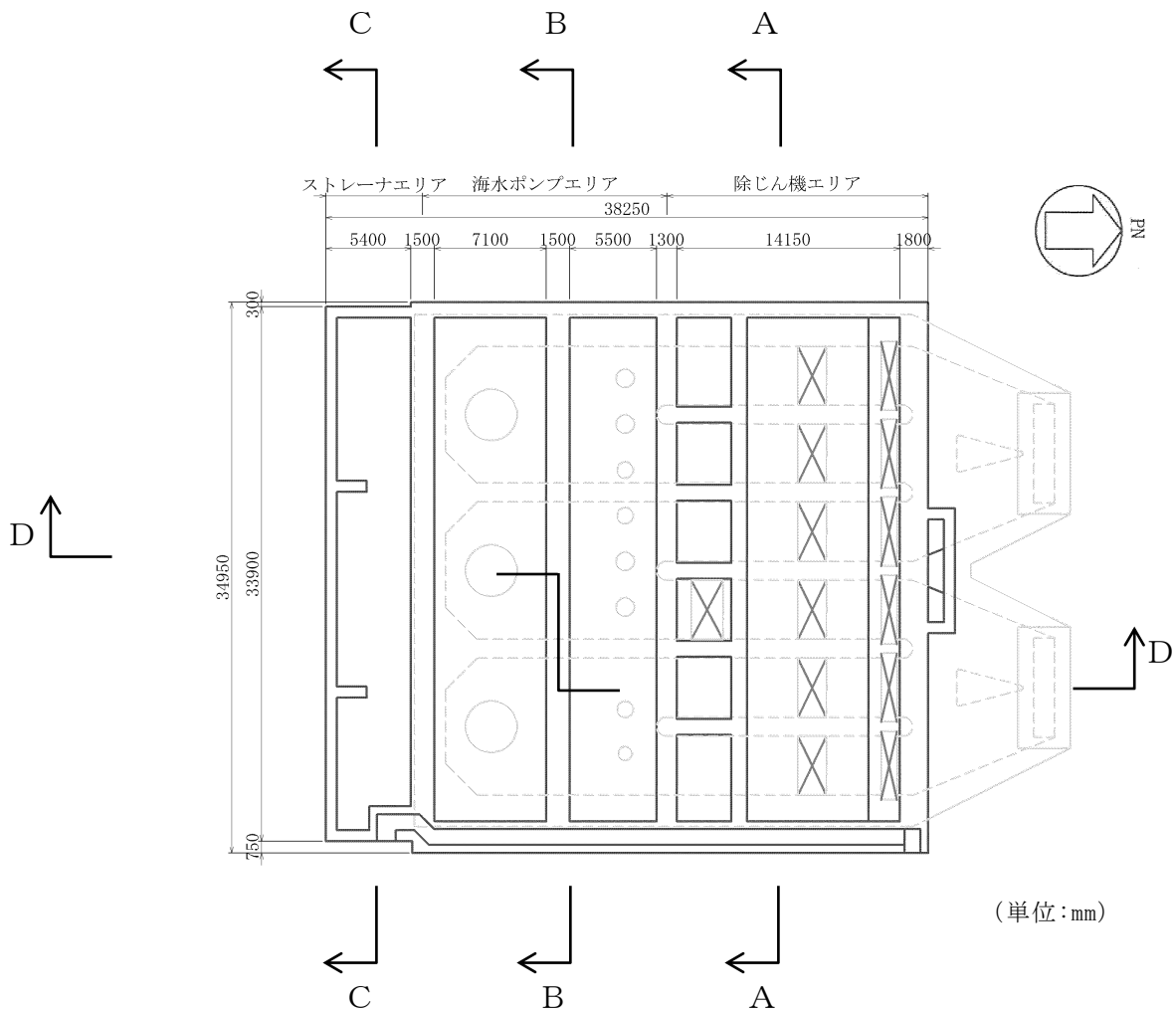


図 2-2 取水槽 平面図

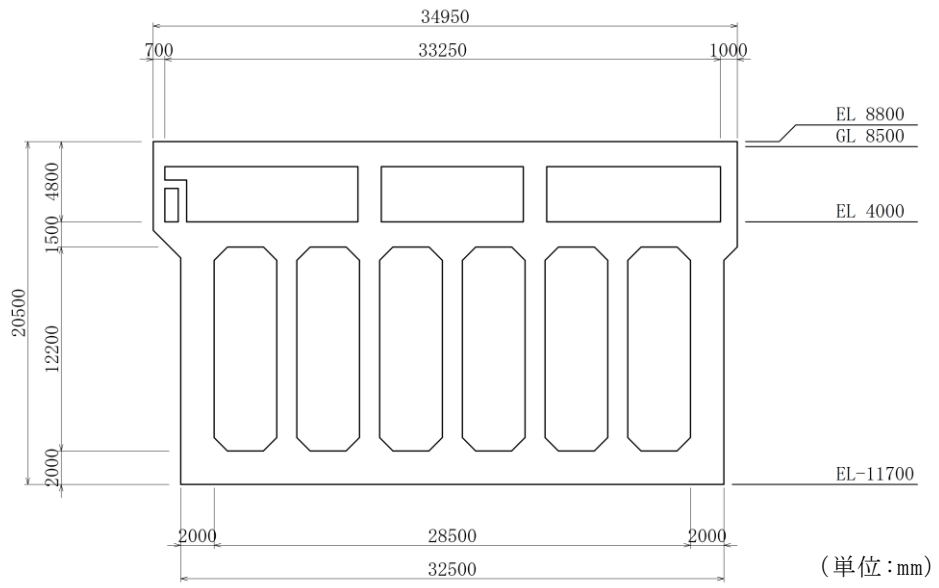


图 2-3 取水槽 断面图(A-A 断面)

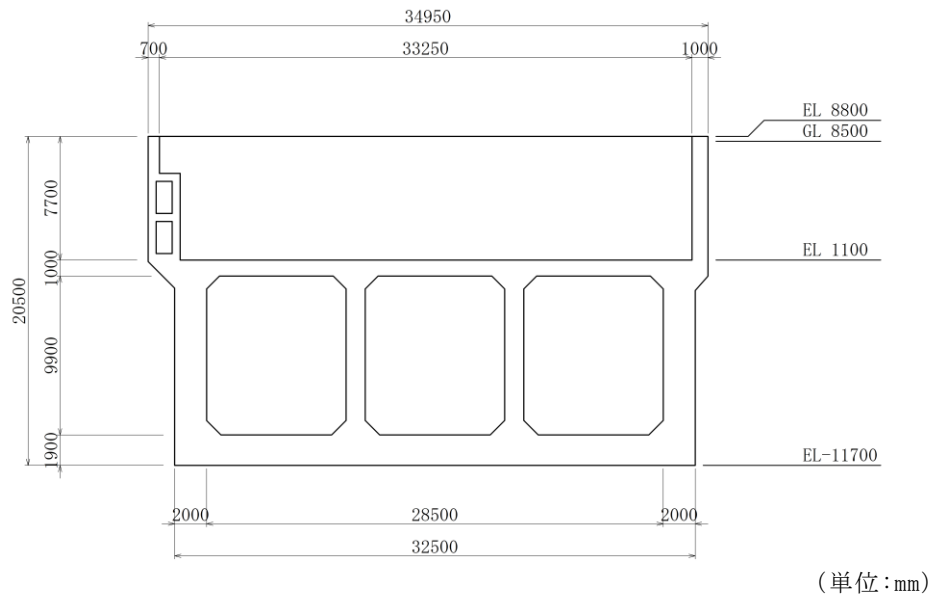


图 2-4 取水槽 断面图(B-B 断面)

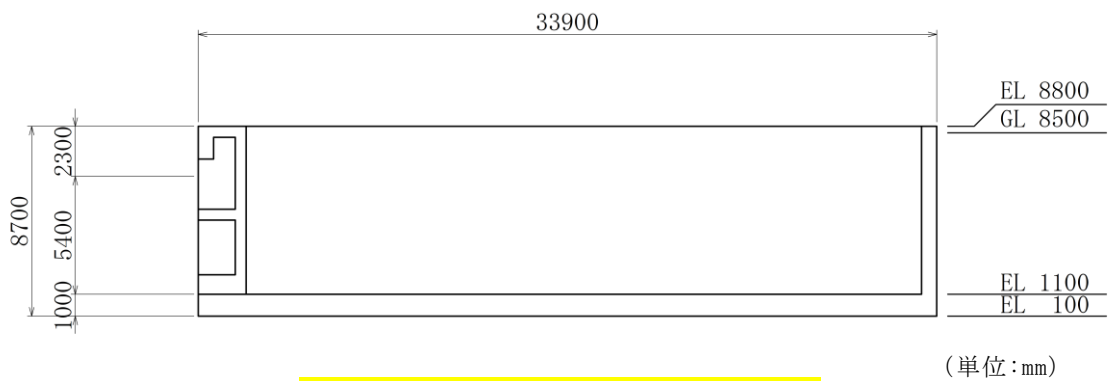
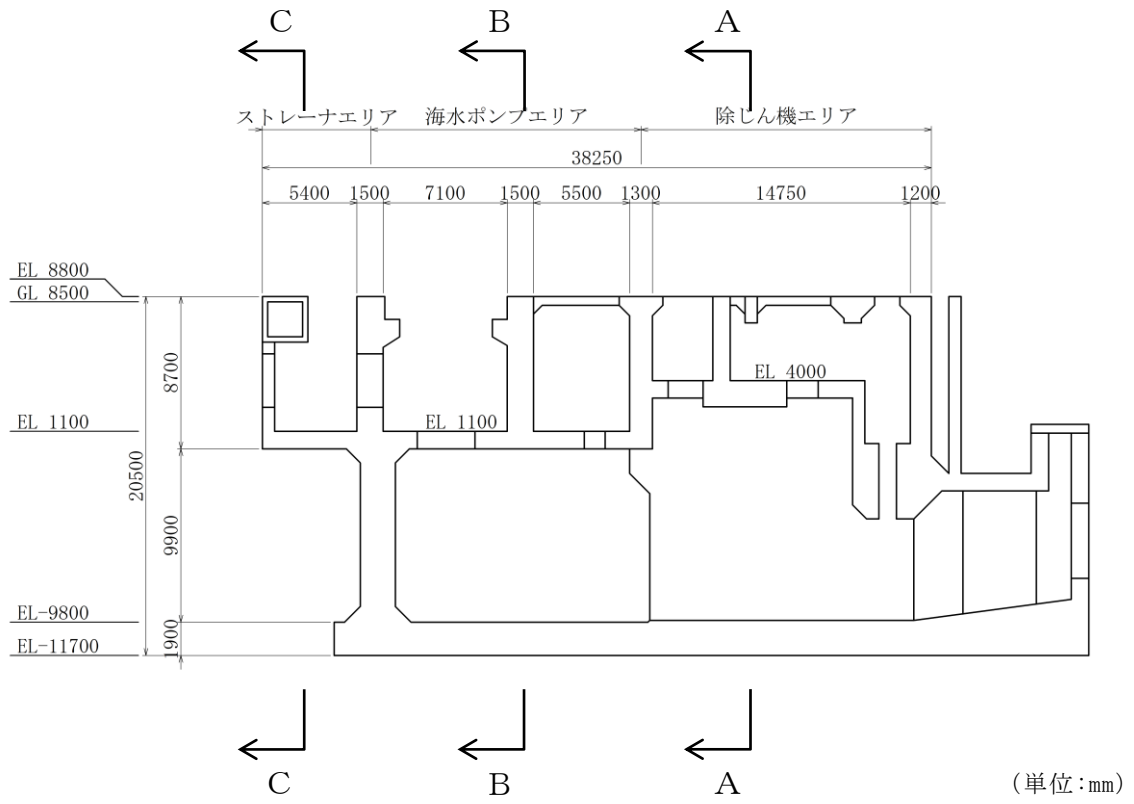


图 2-5 取水槽 断面图(C-C 断面)



(単位:mm)

図 2-6 取水槽 断面図(D-D断面)

2.3 解析方針

取水槽は、VI-2-1-6「地震応答解析の基本方針」に基づき、基準地震動 S_s 及び弾性設計用地震動 S_d に対して地震応答解析を実施する。

図 2-7 に取水槽の地震応答解析フローを示す。

地震応答解析は、「2. 基本方針」に基づき、「3.1 地震時荷重算出断面」に示す断面において、「3.2 解析方法」に示す水平地震動と鉛直地震動の同時加振による 2 次元有限要素法を用いた時刻歴応答解析により行うこととし、地盤物性のばらつきを適切に考慮する。

2 次元有限要素法による時刻歴応答解析は、「3.3 荷重及び荷重の組合せ」及び「3.5 解析モデル及び諸元」に示す条件を基に、「3.4 入力地震動」により設定する入力地震動を用いて実施する。

地震応答解析による応答加速度は、機器・配管系の設計用床応答スペクトルの作成並びに浸水防止設備及び防護対策設備の設計震度設定に用い、地震時土圧、慣性力及び基礎地盤の接地圧は、取水槽の耐震評価に用いる。

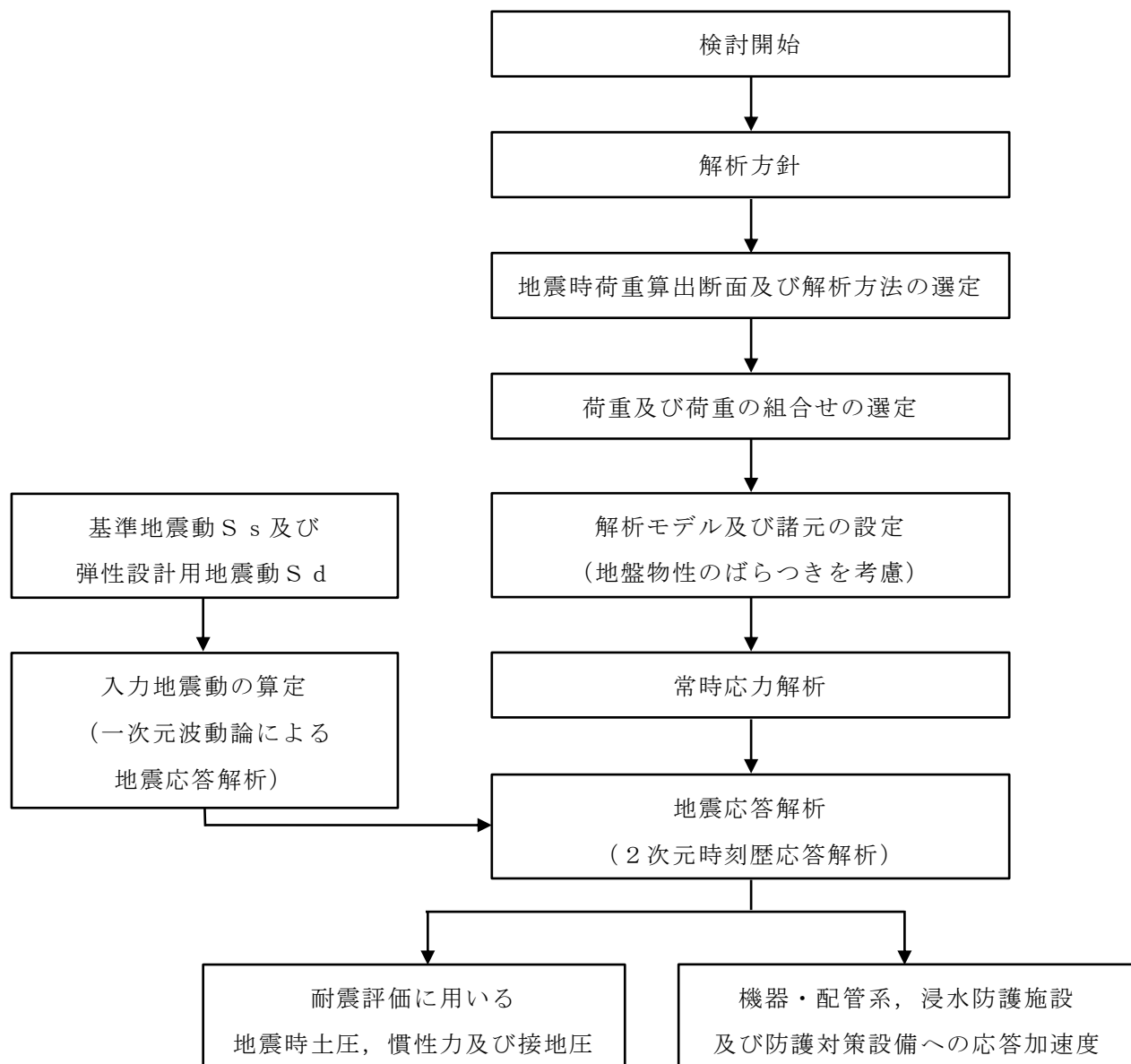


図 2-7 取水槽 地震応答解析フロー

2.4 適用規格・基準等

適用する規格・基準等を以下に示す。

- ・コンクリート標準示方書[構造性能照査編]（土木学会，2002年制定）
- ・コンクリート標準示方書[設計編]（土木学会，2017年制定）
- ・原子力発電所屋外重要土木構造物の耐震性能照査指針・マニュアル（土木学会，2005年）
- ・原子力発電所耐震設計技術指針 J E A G 4 6 0 1 -1987（日本電気協会）
- ・松江市建築基準法施行細則（平成17年3月31日松江市規則第234号）
- ・道路橋示方書・同解説 V耐震設計編（日本道路協会，2002年）

3. 解析方法

3.1 地震時荷重算出断面

取水槽の地震時荷重算出断面位置図を **図 3-1** に示す。地震時荷重算出断面は、東西方向では妻壁や隔壁の配置が異なることによる剛性差を考慮して、除じん機エリア (A-A断面)、海水ポンプエリア (B-B断面) 及びストレーナエリア (C-C断面) を通る断面とし、南北方向では D-D断面とする。

東西方向 (A-A断面、B-B断面及びC-C断面) 及び南北方向 (D-D断面) の地震時荷重算出断面図を図 3-2~図 3-5 に示す。なお、加振方向に平行に配置された耐震上見込むことができる面部材の配置から、東西方向が弱軸方向となり、南北方向が強軸方向となる。よって、構造物の耐震評価に用いる応答値の抽出は、弱軸方向に対して実施し、機器・配管系、浸水防護施設及び防護対策設備の耐震評価に用いる応答値の抽出は、弱軸方向及び強軸方向に対して実施する。

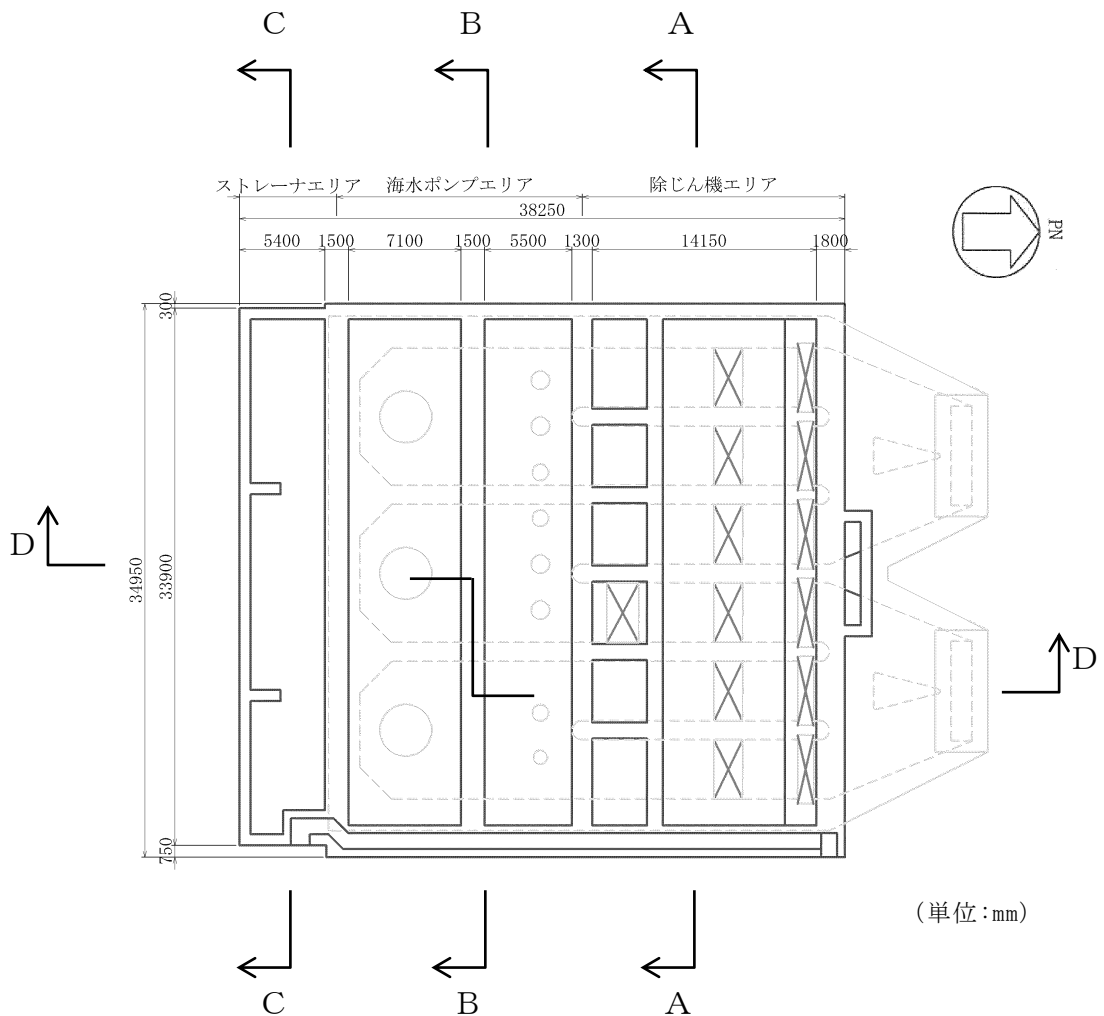


図 3-1 取水槽 地震時荷重算出断面位置図

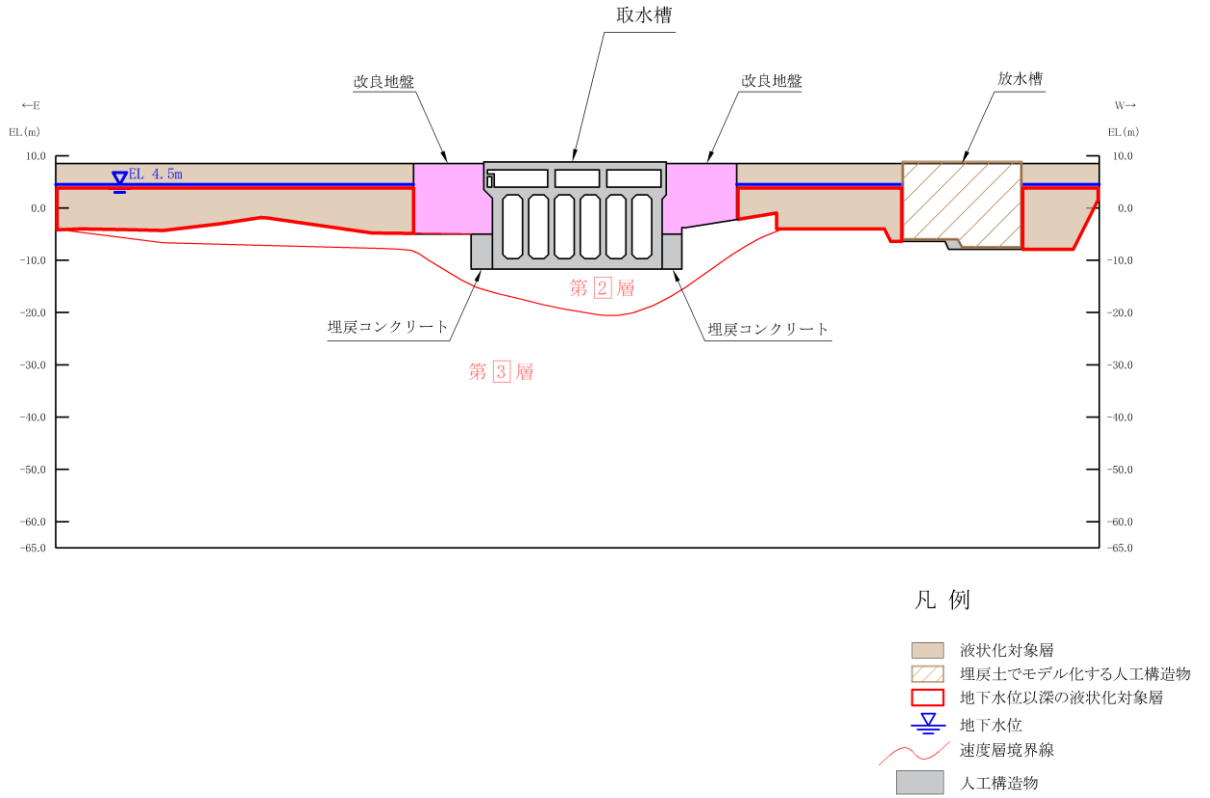


図 3-2 取水槽 地震時荷重算出断面図 (A-A 断面)

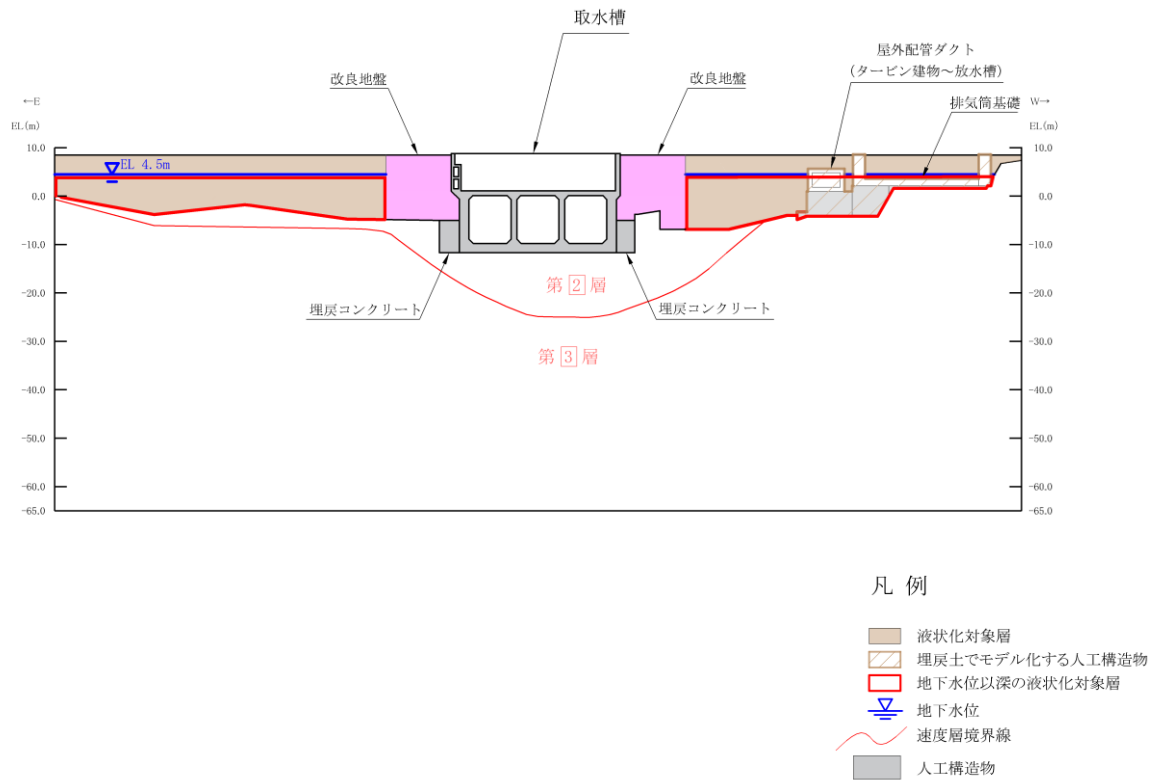


図 3-3 取水槽 地震時荷重算出断面図 (B-B 断面)

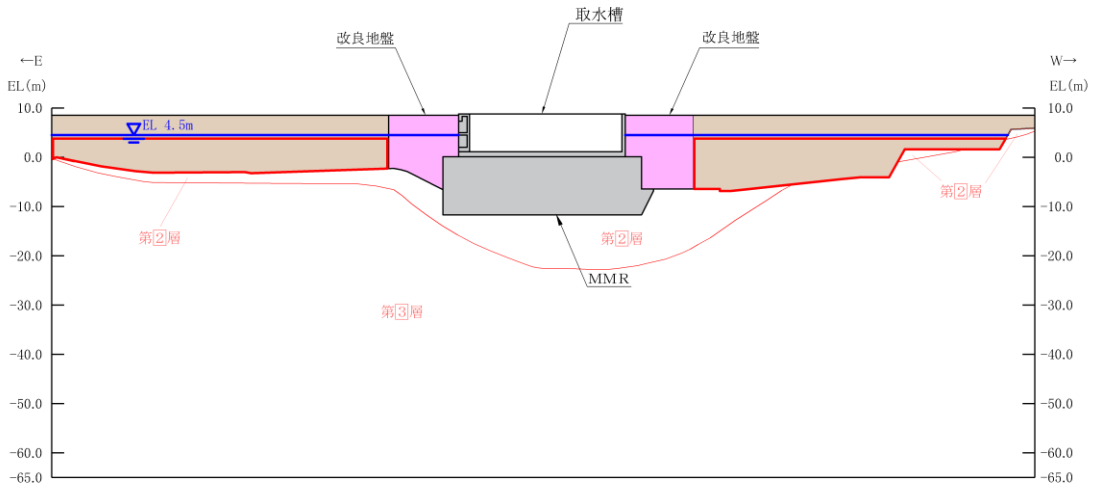


図 3-4 取水槽 地震時荷重算出断面図 (C-C 断面)

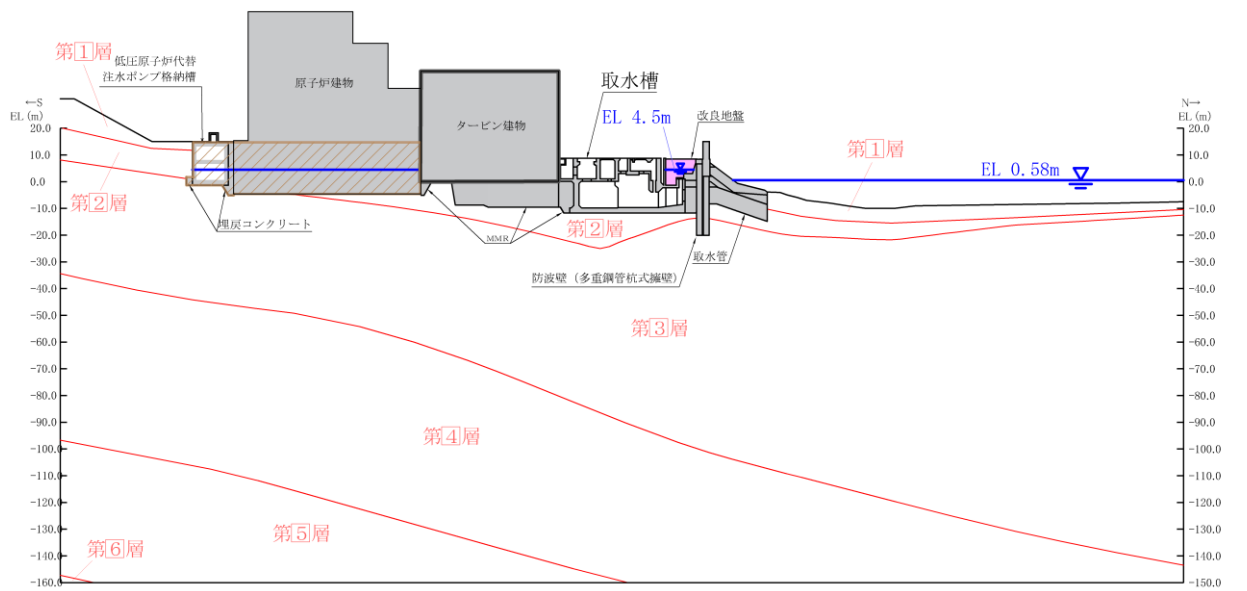


図 3-5 取水槽 地震時荷重算出断面図 (D-D 断面)

3.2 解析方法

取水槽の地震応答解析は、VI-2-1-6「地震応答解析の基本方針」のうち、「2.3 屋外重要土木構造物」に示す解析方法及び解析モデルを踏まえて実施する。

地震応答解析は、構造物と地盤の相互作用を考慮できる2次元有限要素法解析を用いて、基準地震動 S_s 及び弾性設計用地震動 S_d に基づき設定した水平地震動と鉛直地震動の同時加振による逐次時間積分の時刻歴応答解析により行うこととする。

東西方向断面（A-A断面，B-B断面及びC-C断面）は、地下水位以深の液状化対象層が施設と接する又は施設側方に広範囲に分布していることから、有効応力解析を実施する。南北方向断面（D-D断面）は、地下水位以深の液状化対象層が施設と接する又は施設側方に広範囲に分布しないことから、全応力解析とする。なお、東西方向断面については、有効応力解析に加え、液状化しない場合の影響を確認するため、全応力解析も実施する。

構造部材については、中床版、底版及び地震時荷重算出断面に垂直な壁部材は線形はり要素、断面に平行な壁部材は平面応力要素とし、構造物の奥行方向の長さ各部材の奥行方向の長さの比率や3次元構造解析モデルとの変位を整合させるためのヤング係数の調整を行い、3次元構造解析モデルと等価な剛性となるようモデル化する。また、地盤については地盤のひずみ依存性を適切に考慮できるようモデル化する。

地震応答解析は、有効応力解析については解析コード「FLIP」、全応力解析については解析コード「TDAPⅢ」を使用する。なお、解析コードの検証及び妥当性確認等の概要については、VI-5「計算機プログラム(解析コード)の概要」に示す。

3.2.1 構造部材

鉄筋コンクリート部材は、線形はり要素及び平面応力要素でモデル化する。

3.2.2 地盤

取水槽周辺の地質状況及び地盤物性のばらつきの影響を考慮するため、表 3-1 及び表 3-2 に示す解析ケースを設定する。

取水槽は南側を除く三方向を改良地盤に囲まれている。東西方向断面については、改良地盤の外側に埋戻土が分布しており、主たる荷重は埋戻土の土圧となることから、埋戻土の初期せん断弾性係数のばらつきを考慮する。南北方向断面については、耐震評価における 3次元構造解析の条件をそろえるため、埋戻土の初期せん断弾性係数のばらつきを考慮する。

ばらつきを考慮する物性値は地盤のせん断変形を定義するせん断弾性係数とし、平均値を基本ケース（表 3-1 に示すケース①及び表 3-2 に示すケース⑥）とした場合に加えて、平均値 $\pm 1.0 \times$ 標準偏差（ σ ）のケース（表 3-1 に示すケース②及び③並びに表 3-2 に示すケース⑦及び⑧）について確認を行う。

また、東西方向断面（A-A断面、B-B断面及びC-C断面）については、非液状化の条件を仮定したケース（表 3-1 に示すケース④及び⑤）を実施することにより地盤物性のばらつきの影響を網羅的に考慮する。

地盤のばらつきの設定方法の詳細は、「3.2.4 地震応答解析の解析ケースの選定」に示す。

表 3-1 解析ケース（東西方向断面）

解析ケース	解析手法	地盤物性	
		埋戻土 (G_o : 初期せん断弾性係数)	岩盤 (G_d : 動せん断弾性係数)
ケース① (基本ケース)	有効応力解析	平均値	平均値
ケース②	有効応力解析	平均値 + 1σ	平均値
ケース③	有効応力解析	平均値 - 1σ	平均値
ケース④	全応力解析	平均値	平均値
ケース⑤	全応力解析	平均値 + 1σ	平均値

表 3-2 解析ケース（南北方向断面）

解析ケース	解析手法	地盤物性	
		埋戻土 (G_o : 初期せん断弾性係数)	岩盤 (G_d : 動せん断弾性係数)
ケース⑥ (基本ケース)	全応力解析	平均値	平均値
ケース⑦	全応力解析	平均値 + 1 σ	平均値
ケース⑧	全応力解析	平均値 - 1 σ	平均値

3.2.3 減衰定数

構造部材の減衰定数は、粘性減衰及び履歴減衰で考慮する。

全応力解析では、粘性減衰を考慮することとし、固有値解析にて求められる固有周期と各材料の減衰比に基づき、質量マトリックス及び剛性マトリックスの線形結合で表される以下の Rayleigh 減衰を解析モデル全体に与える。

有効応力解析では、Rayleigh 減衰を考慮することとし、剛性比例型減衰 ($\alpha = 0$, $\beta = 0.002$) とする。なお、係数 β の設定については、「FLIP 研究会 14 年間の検討成果のまとめ「理論編」」による。

Rayleigh 減衰における係数 α , β の設定結果を表 3-3 及び表 3-4 に示す。

$$[C] = \alpha [m] + \beta [k]$$

[C] : 減衰係数マトリックス

[m] : 質量マトリックス

[k] : 剛性マトリックス

α , β : 係数

表 3-3 Rayleigh 減衰における係数 α , β の設定結果
(解析手法：有効応力解析)

地震時荷重算出断面	α	β
A - A 断面	0.000	0.002
B - B 断面	0.000	0.002
C - C 断面	0.000	0.002

表 3-4 Rayleigh 減衰における係数 α , β の設定結果
(解析手法：全応力解析)

地震時荷重算出断面	α	β
A - A 断面	0.674	2.017×10^{-4}
B - B 断面	0.674	1.986×10^{-4}
C - C 断面	0.708	1.240×10^{-4}
D - D 断面	0.609	1.377×10^{-3}

3.2.4 地震応答解析の解析ケースの選定

(1) 耐震評価における解析ケース

a. 有効応力解析を基本ケースとする構造物

有効応力解析を基本ケースとする東西方向断面（A－A断面，B－B断面及びC－C断面）の耐震評価においては，基準地震動 S_s 全波（6波）及びこれらに位相反転を考慮した地震動（6波）を加えた全12波に対し，解析ケース①（基本ケース）を実施する。解析ケース①において，曲げ・軸力系の破壊，せん断破壊及び地盤の支持力照査の照査項目ごとに照査値が0.5を超えるすべての照査項目に対して，最も厳しい地震動を用いて，表3-1に示す解析ケース②～⑤を実施する。耐震評価における解析ケースを表3-5に示す。すべての照査項目の照査値がいずれも0.5以下の場合，照査値が最も厳しくなる地震動を用いて解析ケース②～⑤を実施する。

表 3-5 耐震評価における解析ケース(有効応力解析を基本ケースとする構造物)

解析ケース	ケース①	ケース②	ケース③	ケース④	ケース⑤
	基本ケース	地盤物性のばらつき (+1σ) を考慮した解析ケース	地盤物性のばらつき (-1σ) を考慮した解析ケース	非液化化の条件を仮定した解析ケース	地盤物性のばらつき (+1σ) を考慮して非液化化の条件を仮定した解析ケース
地盤物性	平均値	平均値 + 1σ	平均値 - 1σ	平均値	平均値 + 1σ
地震動 (位相)	++*	○			
	-+*	○			
	+ - *	○			
	--*	○			
	++*	○			
	++*	○			
	++*	○			
	-+*	○			
	++*	○			
	-+*	○			

基準地震動 S_s (6波) に位相反転を考慮した地震動 (6波) を加えた全 12 波に対し、ケース① (基本ケース) を実施し、曲げ・軸力系の破壊、せん断破壊及び基礎地盤の支持力照査の各照査項目ごとに照査値が 0.5 を超える照査項目に対して、最も厳しい(許容限界に対する裕度が最も小さい) 地震動を用いてケース②～⑤を実施する。
すべりの照査項目の照査値が 0.5 以下の場合、照査値が最も厳しくなる地震動を用いてケース②～⑤を実施する。

注記* : 地震動の位相について、++の左側は水平動、右側は鉛直動を表し、「-」は位相を反転させたケースを示す。

b. 全応力解析を基本ケースとする構造物

全応力解析を基本ケースとする南北方向断面（D-D断面）の耐震評価においては、基準地震動 S_s 全波（6波）及びこれらに位相反転を考慮した地震動（6波）を加えた全12波に対し、解析ケース⑥（基本ケース）を実施する。解析ケース⑥において、曲げ・軸力系の破壊、せん断破壊及び地盤の支持力照査の照査項目ごとに照査値が0.5を超えるすべての照査項目に対して、最も厳しい地震動を用いて、表3-2に示す解析ケース⑦及び⑧を実施する。耐震評価における解析ケースを表3-6に示す。すべての照査項目の照査値がいずれも0.5以下の場合、照査値が最も厳しくなる地震動を用いて解析ケース⑦及び⑧を実施する。

表3-6 耐震評価における解析ケース（全応力解析を基本ケースとする構造物）

解析ケース		ケース⑥	ケース⑦	ケース⑧
		基本ケース	地盤物性のばらつき (+1 σ)を考慮した解析ケース	地盤物性のばらつき (-1 σ)を考慮した解析ケース
地盤物性		平均値	平均値+1 σ	平均値-1 σ
地震動 (位相)	S_s-D	++*	○	基準地震動 S_s (6波) に位相反転を考慮した地震動 (6波) を加えた全12波に対し、ケース⑥ (基本ケース) を実施し、曲げ・軸力系の破壊、せん断破壊及び基礎地盤の支持力照査の各照査項目ごとに照査値が0.5を超える照査項目に対して、最も厳しい (許容限界に対する裕度が最も小さい) 地震動を用いてケース⑦及び⑧を実施する。 すべての照査項目の照査値がいずれも0.5以下の場合、照査値が最も厳しくなる地震動を用いてケース⑦及び⑧を実施する。
		-+*	○	
		+ -*	○	
		--*	○	
	S_s-F1	++*	○	
	S_s-F2	++*	○	
	S_s-N1	++*	○	
		-+*	○	
	S_s-N2 (NS)	++*	○	
		-+*	○	
S_s-N2 (EW)	++*	○		
	-+*	○		

注記*：地震動の位相について、++の左側は水平動、右側は鉛直動を表し、「-」は位相を反転させたケースを示す。

(2) 機器・配管系に対する応答加速度抽出のための解析ケース

a. 有効応力解析を基本ケースとする構造物

有効応力解析を基本ケースとする東西方向断面（A-A断面及びB-B断面）の機器・配管系に対する応答加速度抽出においては、床応答への保守的な配慮として解析ケース①に加え、表 3-1 に示す解析ケース②，③及び⑤を実施する。機器・配管系の応答加速度抽出における解析ケースを表 3-7 及び表 3-8 に示す。

表 3-7 機器・配管系の応答加速度抽出のための解析ケース
(有効応力解析を基本ケースとする構造物)

解析ケース		ケース①	ケース②	ケース③	ケース⑤	
		基本ケース	地盤物性のばらつき (+1 σ) を考慮した解析ケース	地盤物性のばらつき (-1 σ) を考慮した解析ケース	非液状化の条件を仮定した解析ケース	
地盤物性		平均値	平均値 + 1 σ	平均値 - 1 σ	平均値 + 1 σ	
地震動 (位相)	S s - D	++*	○	○	○	○
		-+*	○	○	○	○
		+ -*	○	○	○	○
		--*	○	○	○	○
	S s - F 1	++*	○	○	○	○
	S s - F 2	++*	○	○	○	○
	S s - N 1	++*	○	○	○	○
		-+*	○	○	○	○
	S s - N 2 (NS)	++*	○	○	○	○
		-+*	○	○	○	○
	S s - N 2 (EW)	++*	○	○	○	○
		-+*	○	○	○	○

注記*：地震動の位相について，++の左側は水平動，右側は鉛直動を表し，「-」は位相を反転させたケースを示す。

表 3-8 機器・配管系の応答加速度抽出のための解析ケース
 (有効応力解析を基本ケースとする構造物 (弾性設計用地震動 S d))

解析ケース			ケース①	ケース②	ケース③	ケース⑤
			基本ケース	地盤物性のばらつき (+1 σ) を考慮した解析ケース	地盤物性のばらつき (-1 σ) を考慮した解析ケース	非液状化の条件を仮定した解析ケース
地盤物性			平均値	平均値 + 1 σ	平均値 - 1 σ	平均値 + 1 σ
地震動 (位相)	S d - D	++*	○	○	○	○
		-+*	○	○	○	○
		+ - *	○	○	○	○
		--*	○	○	○	○
	S d - F 1	++*	○	○	○	○
	S d - F 2	++*	○	○	○	○
	S d - N 1	++*	○	○	○	○
		-+*	○	○	○	○
	S d - N 2 (NS)	++*	○	○	○	○
		-+*	○	○	○	○
	S d - N 2 (EW)	++*	○	○	○	○
		-+*	○	○	○	○
	S d - 1	++*	○	○	○	○
		-+*	○	○	○	○
		+ - *	○	○	○	○
		--*	○	○	○	○

注記* : 地震動の位相について, ++の左側は水平動, 右側は鉛直動を表し, 「-」は位相を反転させたケースを示す。

b. 全応力解析を基本ケースとする構造物

全応力解析を基本ケースとする南北方向断面（D-D断面）の機器・配管系に対する応答加速度抽出においては、床応答への保守的な配慮として解析ケース⑥に加え、表 3-2 に示す解析ケース⑦及び⑧を実施する。機器・配管系の応答加速度抽出における解析ケースを表 3-9 及び表 3-10 に示す。

表 3-9 機器・配管系の応答加速度抽出のための解析ケース
(全応力解析を基本ケースとする構造物)

解析ケース		ケース⑥	ケース⑦	ケース⑧	
		基本ケース	地盤物性のばらつき (+1 σ)を考慮した解析ケース	地盤物性のばらつき (-1 σ)を考慮した解析ケース	
地盤物性		平均値	平均値+1 σ	平均値-1 σ	
地震動 (位相)	S s - D	++*	○	○	○
		-+*	○	○	○
		+ -*	○	○	○
		--*	○	○	○
	S s - F 1	++*	○	○	○
	S s - F 2	++*	○	○	○
	S s - N 1	++*	○	○	○
		-+*	○	○	○
	S s - N 2 (NS)	++*	○	○	○
		-+*	○	○	○
	S s - N 2 (EW)	++*	○	○	○
		-+*	○	○	○

注記* : 地震動の位相について、++の左側は水平動、右側は鉛直動を表し、「-」は位相を反転させたケースを示す。

表 3-10 機器・配管系の応答加速度抽出のための解析ケース
 (全応力解析を基本ケースとする構造物(弾性設計用地震動 S d))

解析ケース		ケース⑥		ケース⑦		ケース⑧	
		基本ケース		地盤物性のばらつき (+1σ)を考慮した 解析ケース		地盤物性のばらつき (-1σ)を考慮した 解析ケース	
地盤物性		平均値		平均値+1σ		平均値-1σ	
地震動 (位相)	S d-D	++*	○	○	○	○	○
		-+*	○	○	○	○	○
		+ -*	○	○	○	○	○
		--*	○	○	○	○	○
	S d-F 1	++*	○	○	○	○	○
	S d-F 2	++*	○	○	○	○	○
	S d-N 1	++*	○	○	○	○	○
		-+*	○	○	○	○	○
	S d-N 2 (NS)	++*	○	○	○	○	○
		-+*	○	○	○	○	○
	S d-N 2 (EW)	++*	○	○	○	○	○
		-+*	○	○	○	○	○
	S d-1	++*	○	○	○	○	○
		-+*	○	○	○	○	○
		+ -*	○	○	○	○	○
		--*	○	○	○	○	○

注記* : 地震動の位相について, ++の左側は水平動, 右側は鉛直動を表し, 「-」は位相を反転させたケースを示す。

3.3 荷重及び荷重の組合せ

荷重及び荷重の組合せは、VI-2-1-9「機能維持の基本方針」に基づき設定する。

3.3.1 耐震評価上考慮する状態

取水槽の地震応答解析において、地震以外に考慮する状態を以下に示す。

(1) 運転時の状態

発電用原子炉施設が運転状態にあり、通常の条件下におかれている状態。ただし、運転時の異常な過渡変化時の影響を受けないことから考慮しない。

(2) 設計基準事故時の状態

設計基準事故時の影響を受けないことから考慮しない。

(3) 設計用自然条件

積雪を考慮する。埋設構造物であるため風の影響は考慮しない。

(4) 重大事故等時の状態

重大事故等時の影響を受けないことから考慮しない。

3.3.2 荷重

取水槽の地震応答解析において、考慮する荷重を以下に示す。

(1) 固定荷重(G)

固定荷重として、躯体自重、機器・配管荷重、浸水防止設備及び防護対策設備荷重を考慮する。

(2) 積載荷重(P)

積載荷重として、水圧及び積雪荷重 P_s を考慮する。

(3) 積雪荷重(P_s)

積雪荷重として、発電所敷地に最も近い気象官署である松江地方気象台で観測された観測史上1位の月最深積雪100cmに平均的な積雪荷重を与えるための係数0.35を考慮し35.0cmとする。積雪荷重については、松江市建築基準法施行細則により、積雪量1cmごとに 20N/m^2 の積雪荷重が作用することを考慮し設定する。

(4) 地震荷重(S_s)

基準地震動 S_s による荷重を考慮する。

(5) 地震荷重(S_d)

弾性設計用地震動 S_d による荷重を考慮する。

3.3.3 荷重の組合せ

荷重の組合せを表 3-11 に示す。

表 3-11 荷重の組合せ

外力の状態	荷重の組合せ
地震時 (S _s)	G + P + S _s
地震時 (S _d) *	G + P + S _d

注記* : 機器・配管系の耐震設計に用いる。

G : 固定荷重

P : 積載荷重

S_s : 地震荷重 (基準地震動 S_s)

S_d : 地震荷重 (弾性設計用地震動 S_d)

3.4 入力地震動

入力地震動は、VI-2-1-6「地震応答解析の基本方針」のうち「2.3 屋外重要土木構造物」に示す入力地震動の設定方針を踏まえて設定する。

地震応答解析に用いる入力地震動は、解放基盤表面で定義される基準地震動 S_s 及び弾性設計用地震動 S_d を一次元波動論により地震応答解析モデル下端位置で評価したものをを用いる。なお、入力地震動の設定に用いる地下構造モデルは、VI-2-1-3「地盤の支持性能に係る基本方針」のうち「7.1 入力地震動の設定に用いる地下構造モデル」を用いる。

図3-6に入力地震動算定の概念図を、図3-7～図3-58に入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトルを示す。入力地震動の算定には、解析コード「microSHAKE E/3D」を使用する。解析コードの検証及び妥当性確認の概要については、VI-5「計算機プログラム(解析コード)の概要」に示す。

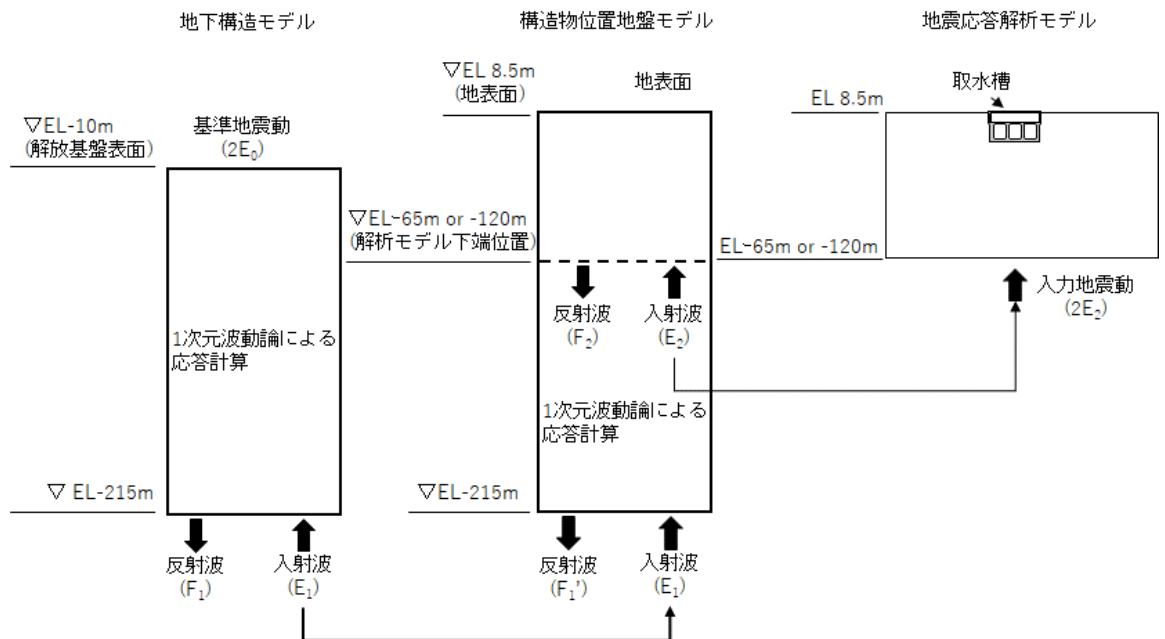
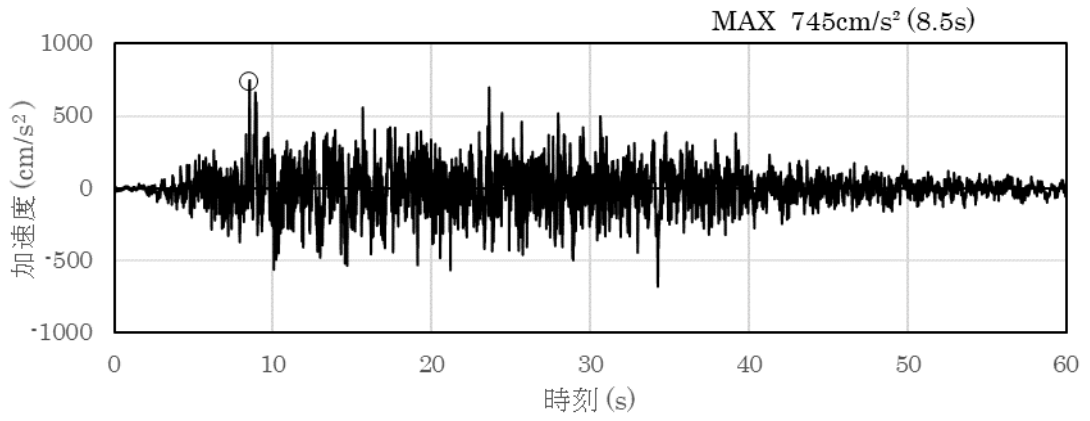
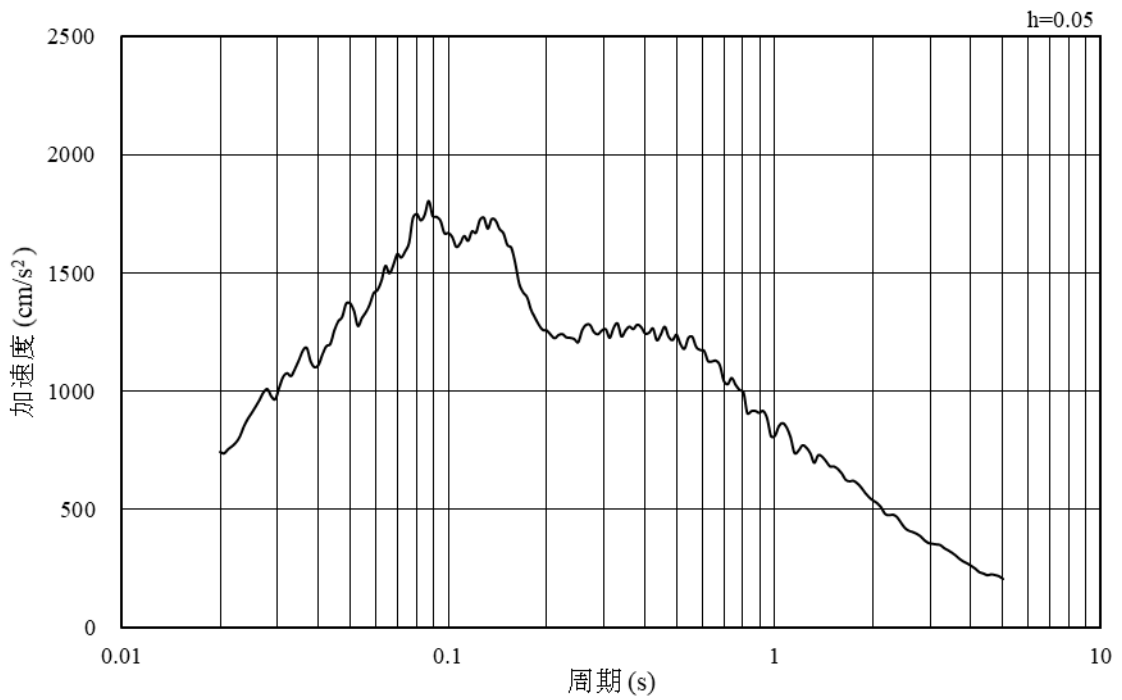


図3-6 入力地震動算定の概念図

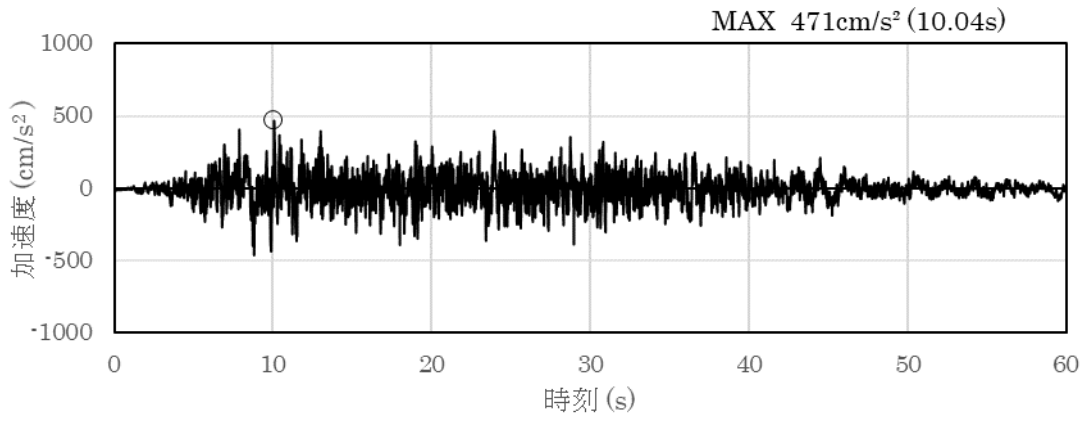


(a) 加速度時刻歴波形

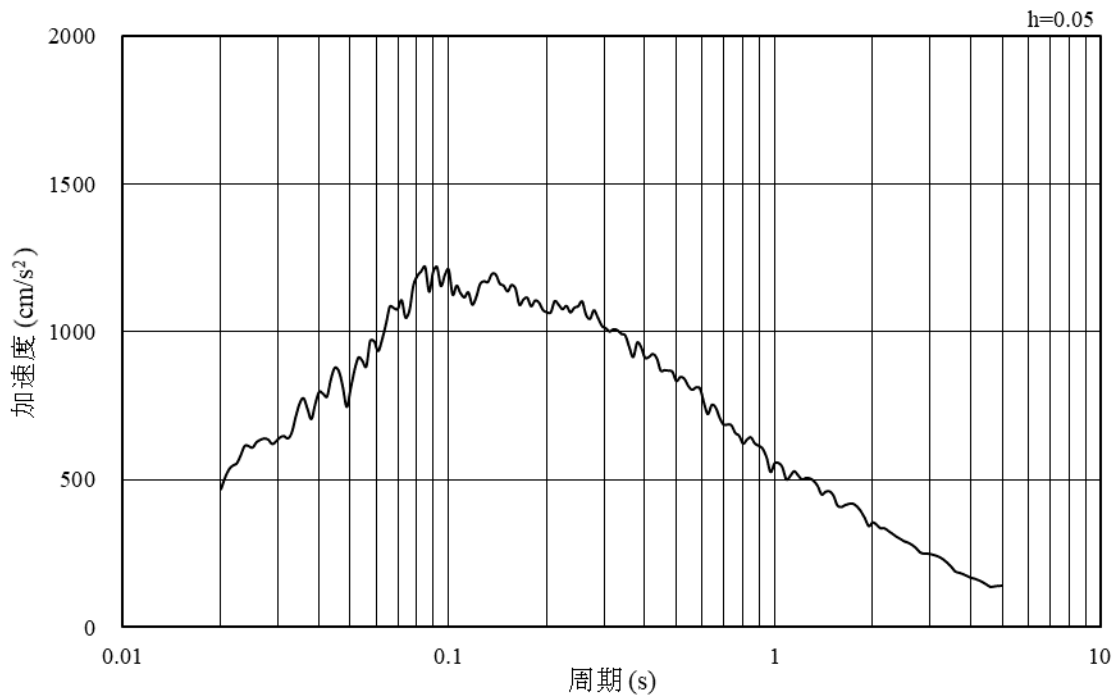


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-7 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(東西方向, 水平成分: S s - D)

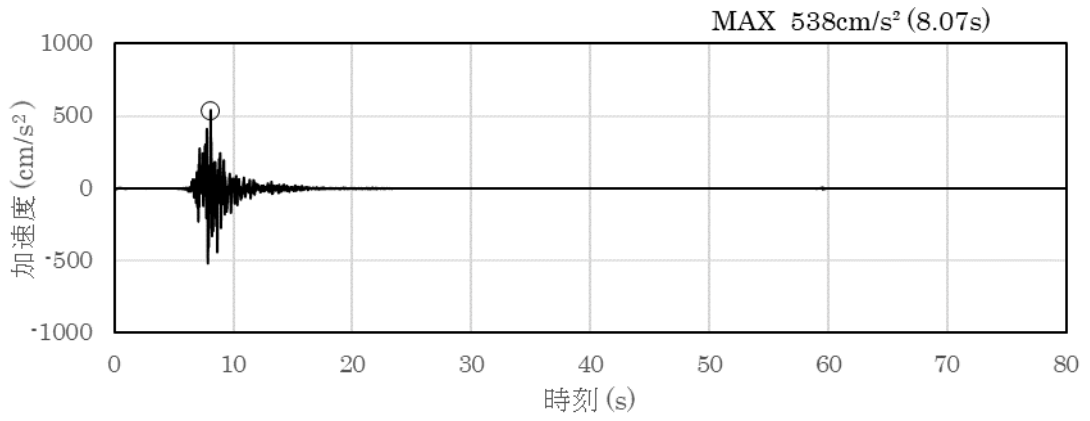


(a) 加速度時刻歴波形

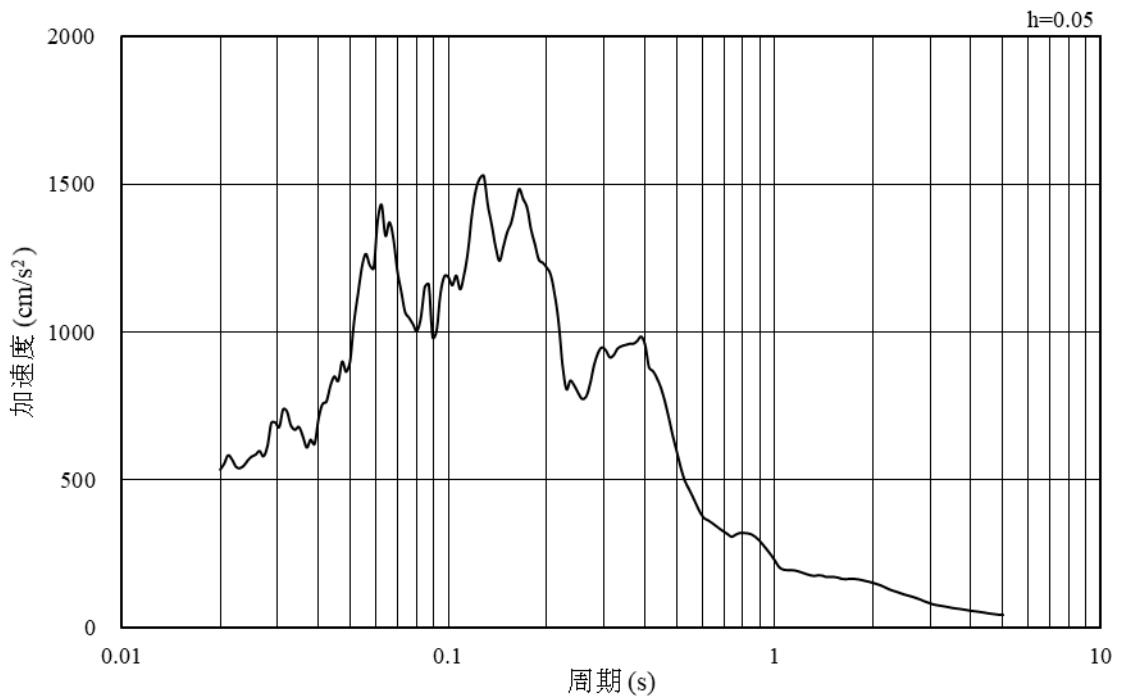


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-8 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(東西方向, 鉛直成分: S s - D)

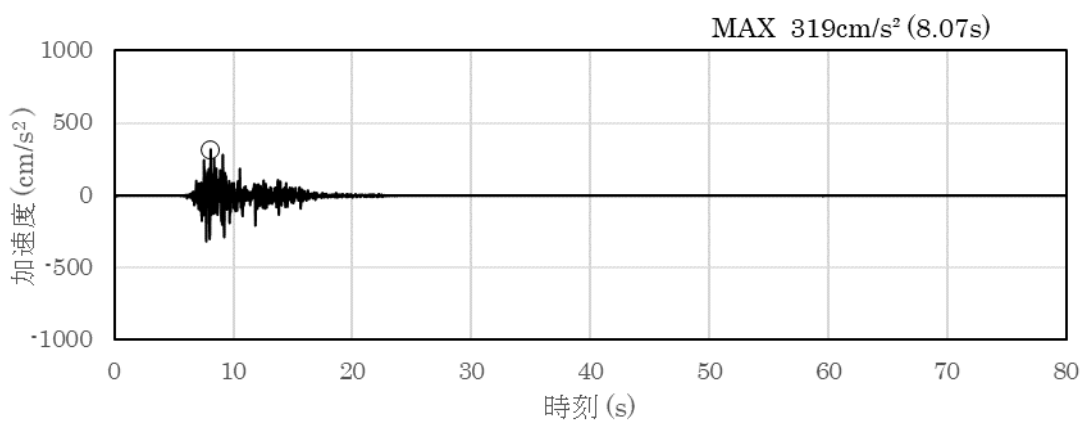


(a) 加速度時刻歴波形

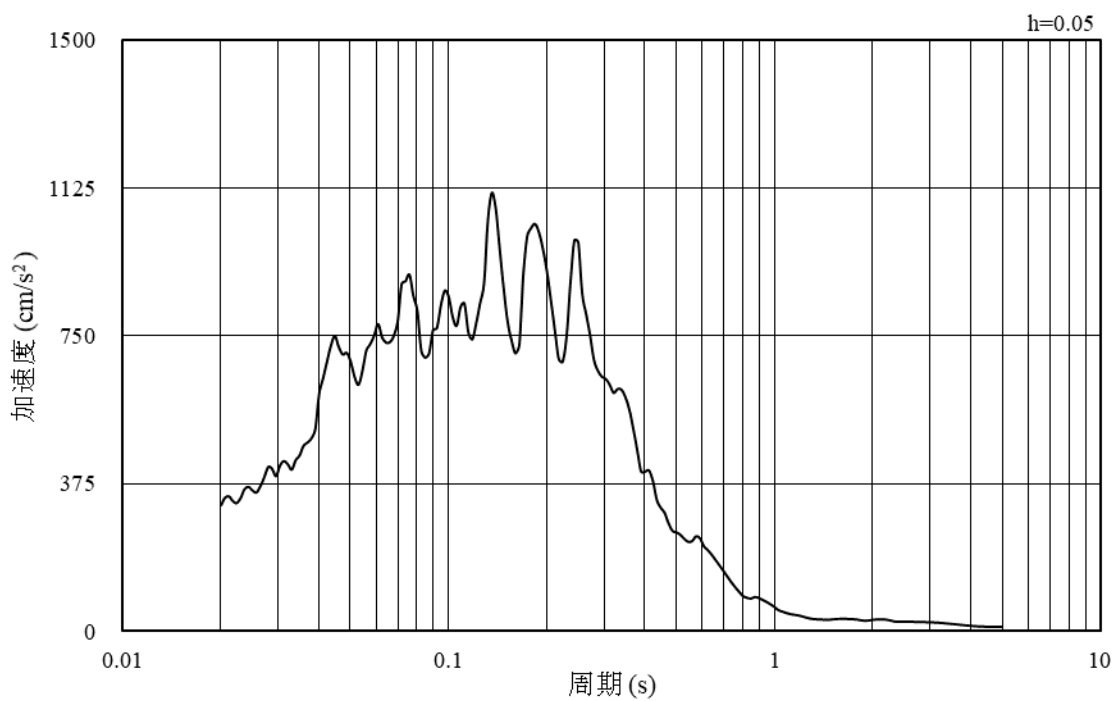


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-9 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(東西方向, 水平成分: S s - F 1)

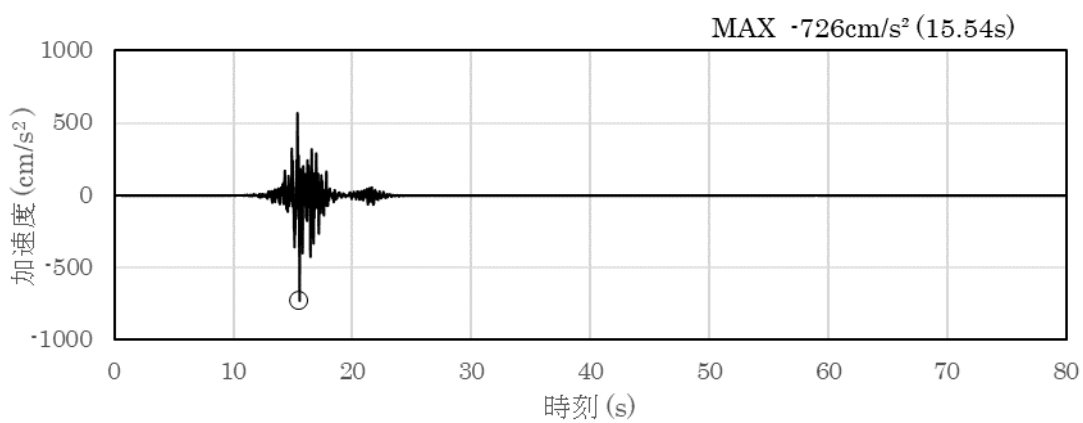


(a) 加速度時刻歴波形

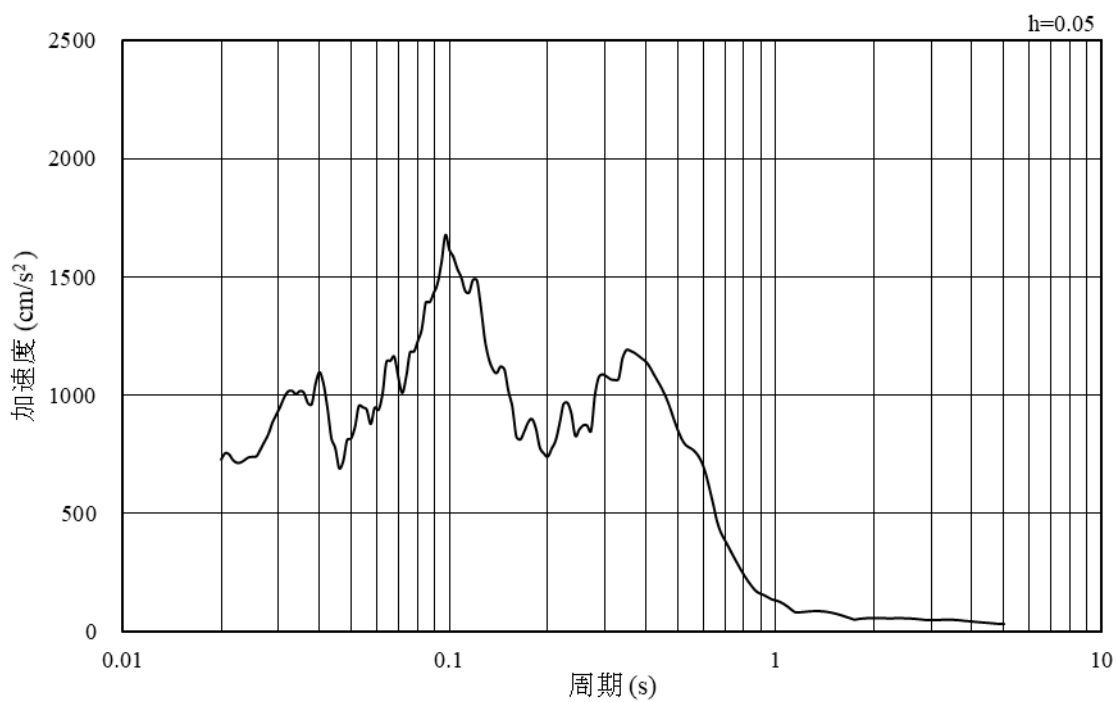


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-10 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(東西方向, 鉛直成分: S s - F 1)

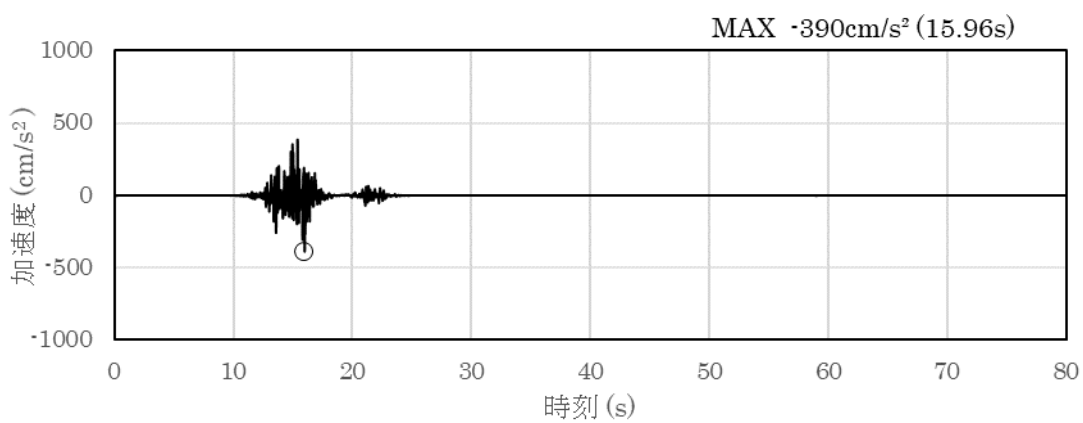


(a) 加速度時刻歴波形

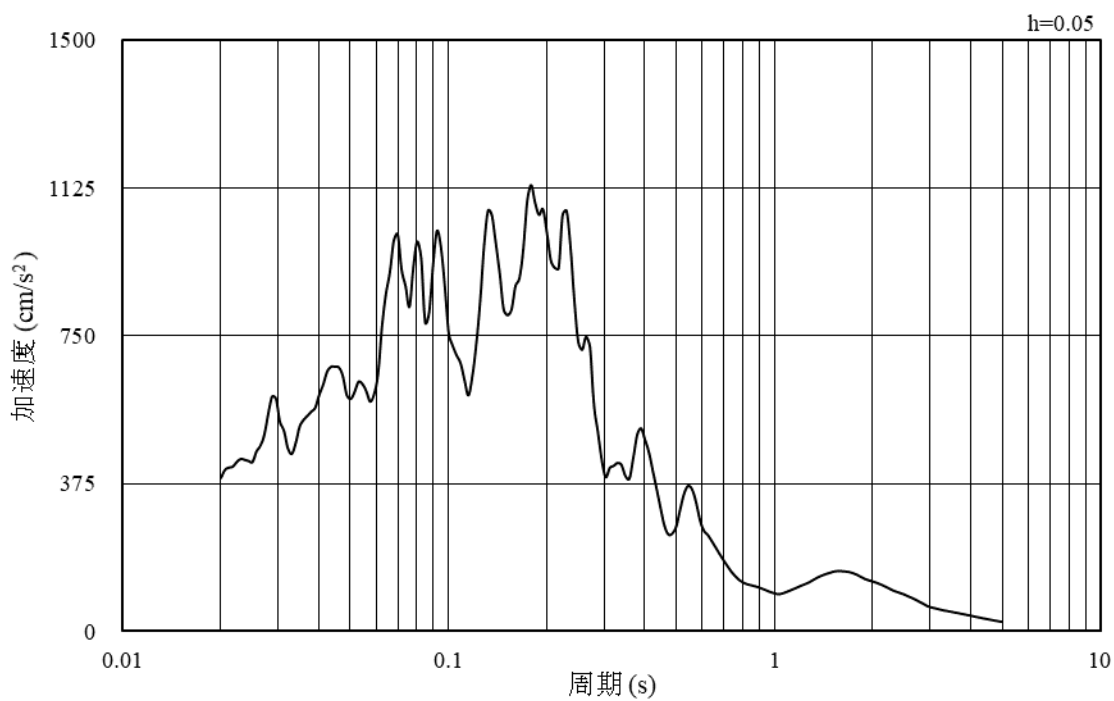


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-11 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(東西方向, 水平成分: S s - F 2)

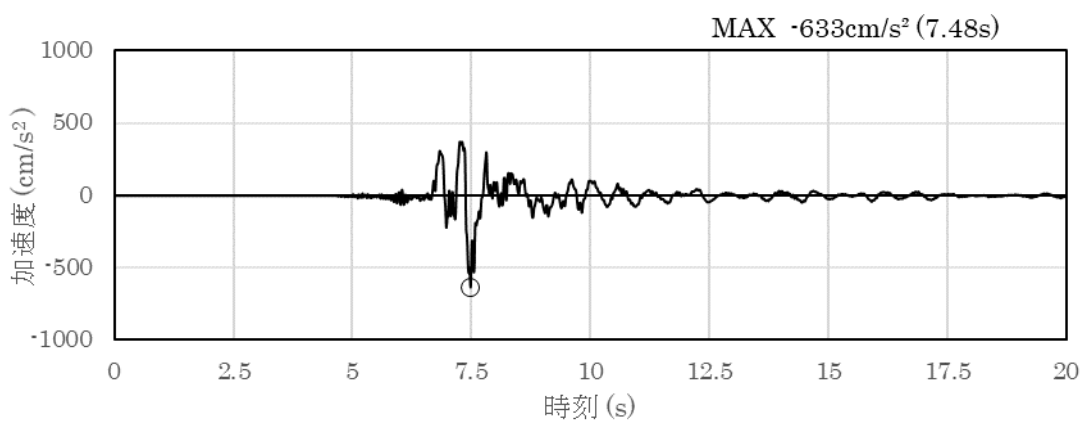


(a) 加速度時刻歴波形

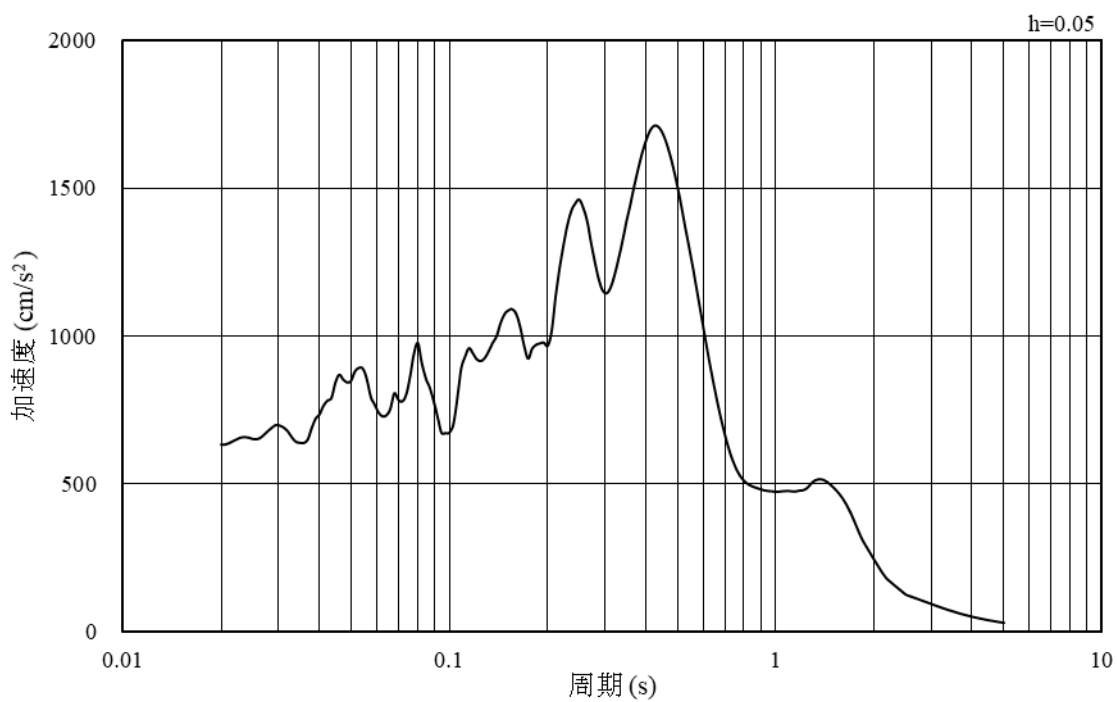


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-12 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(東西方向, 鉛直成分: S s - F 2)

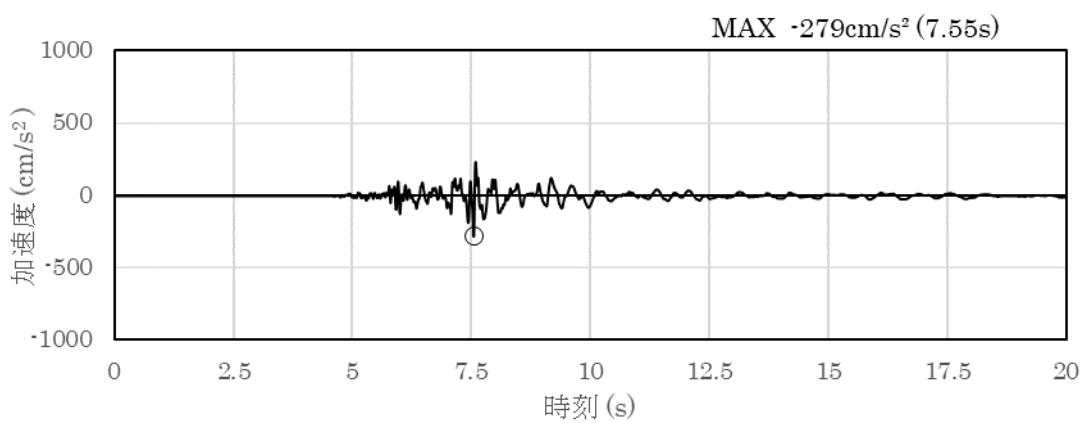


(a) 加速度時刻歴波形

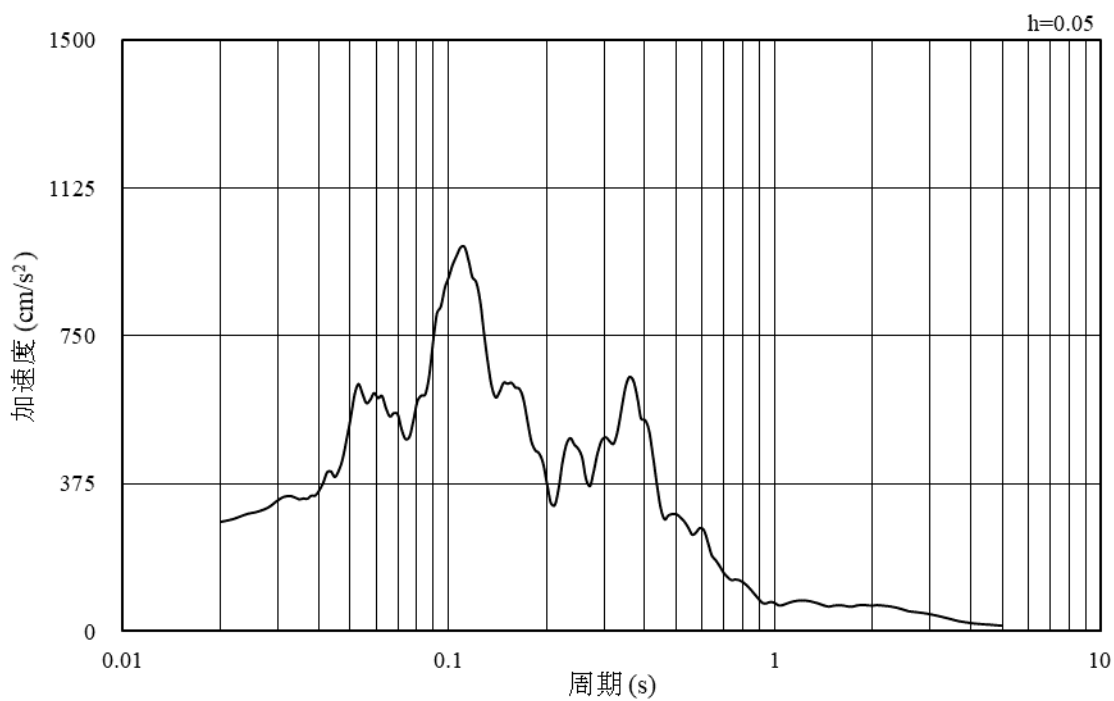


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-13 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(東西方向, 水平成分: S s - N 1)

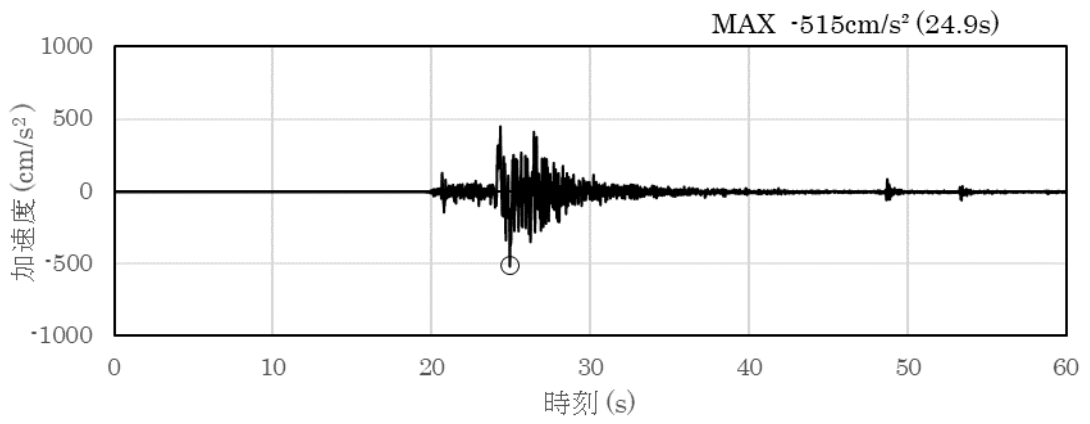


(a) 加速度時刻歴波形

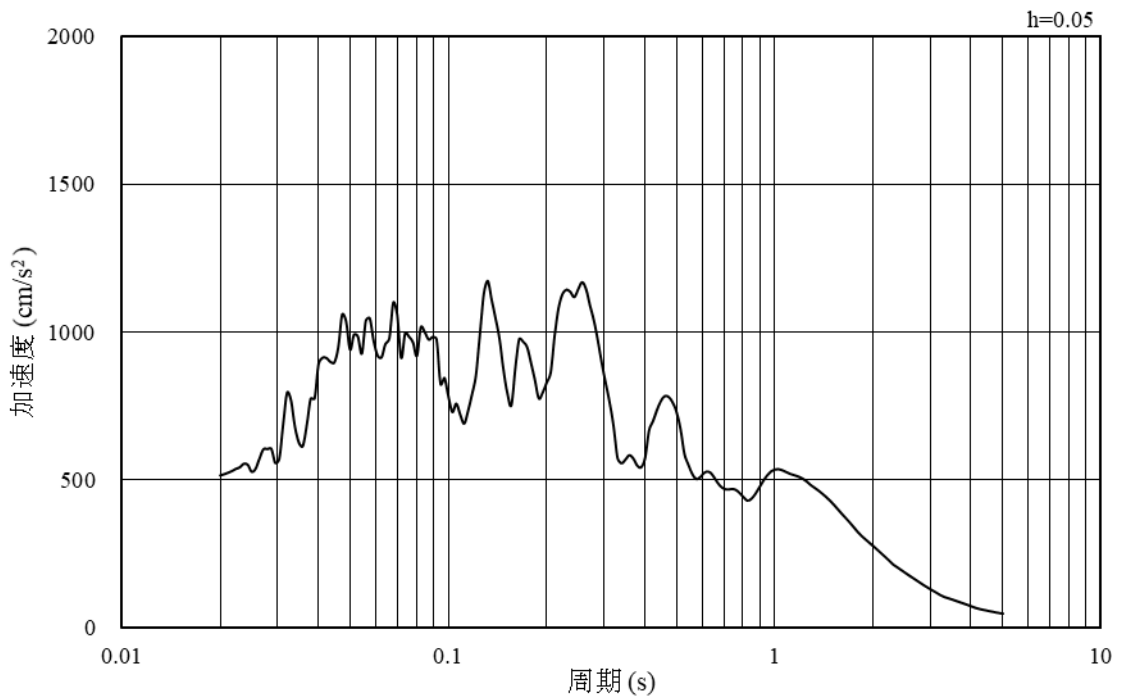


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-14 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(東西方向, 鉛直成分: S s - N 1)

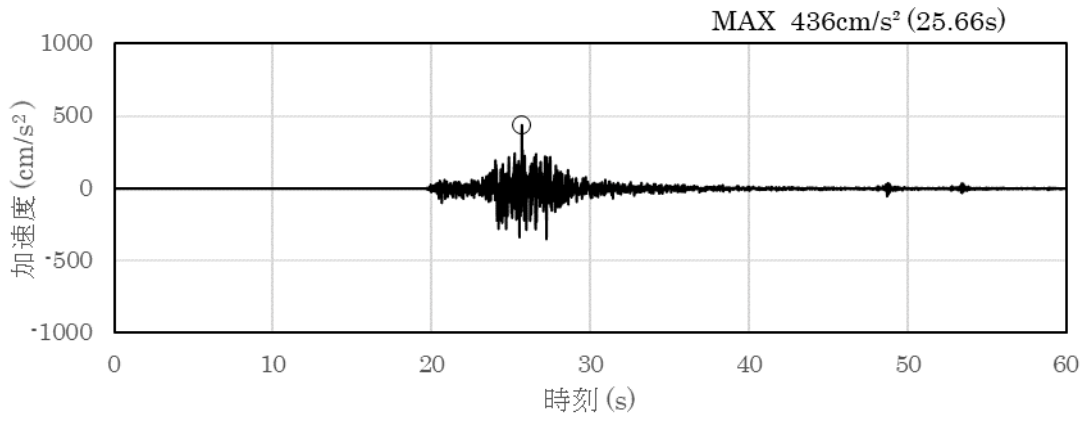


(a) 加速度時刻歴波形

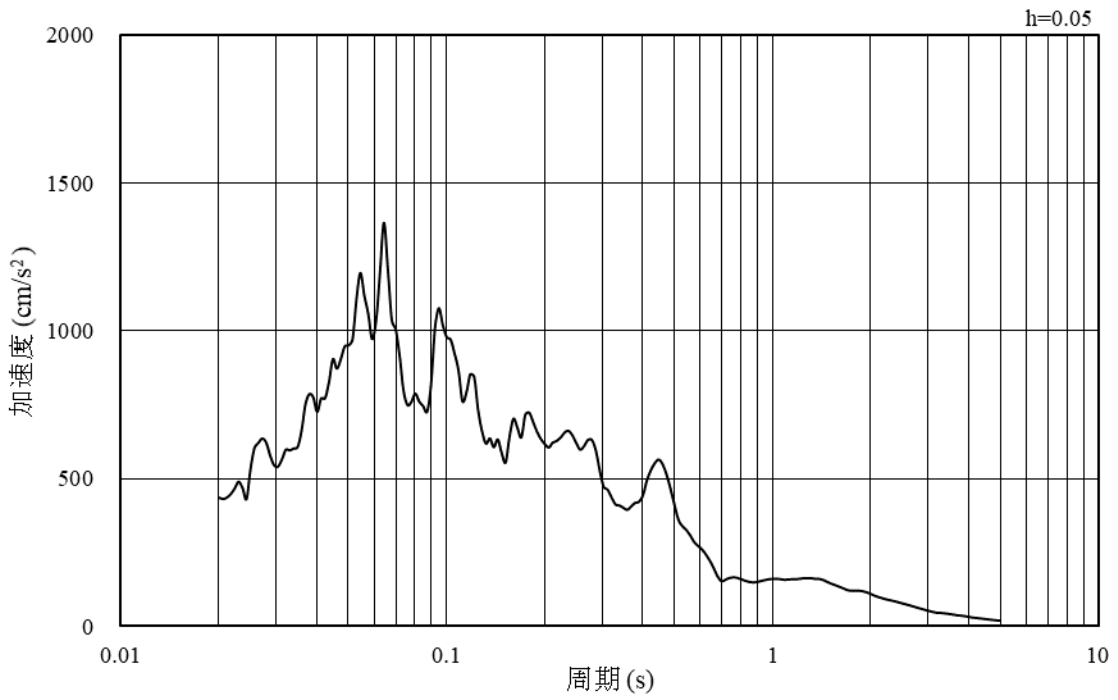


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-15 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(東西方向, 水平成分: S s - N 2 (N S))

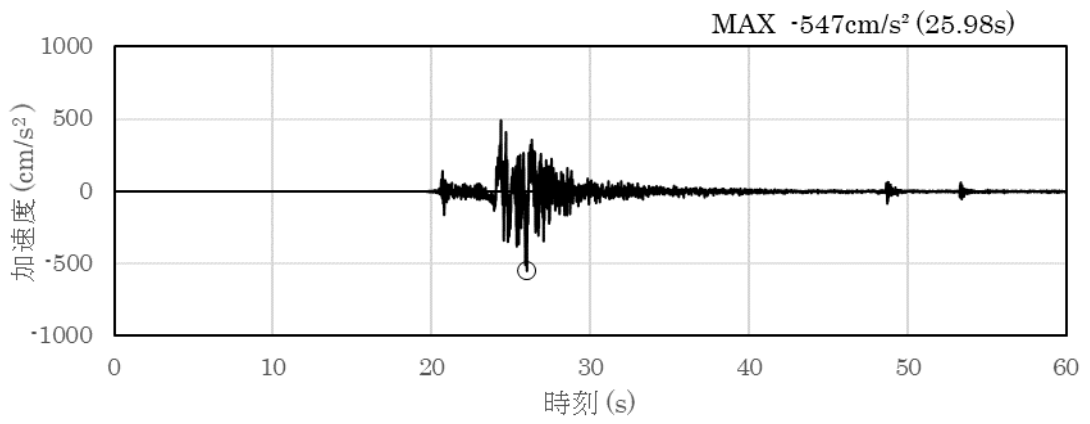


(a) 加速度時刻歴波形

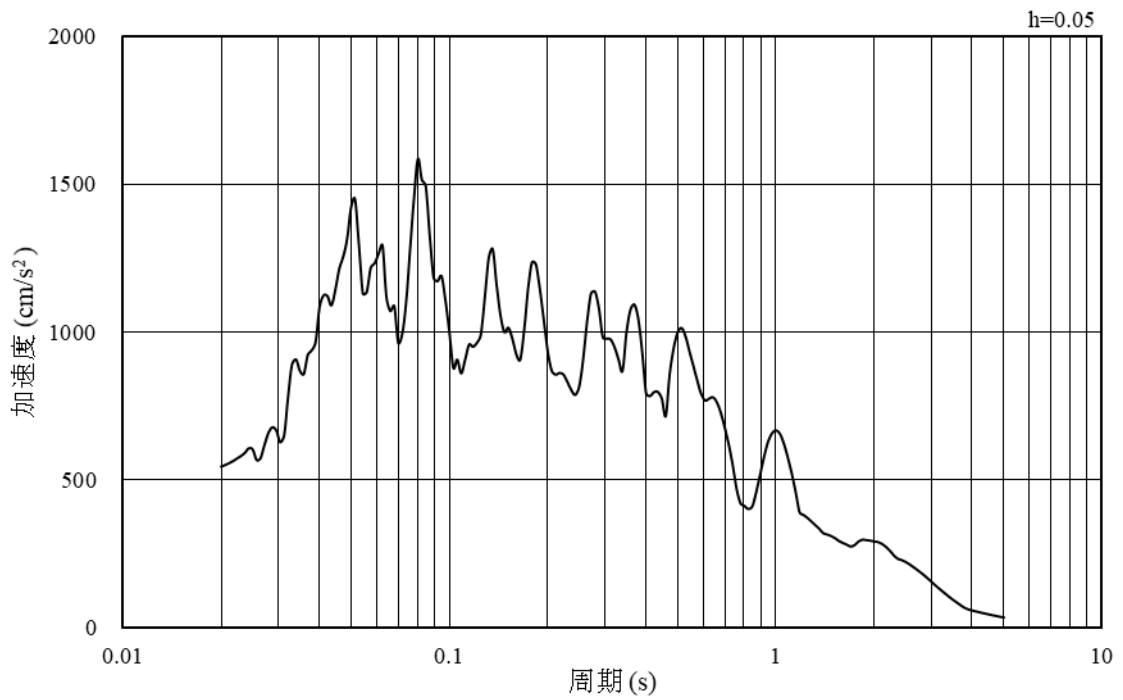


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-16 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(東西方向, 鉛直成分: S_s-N₂ (NS))

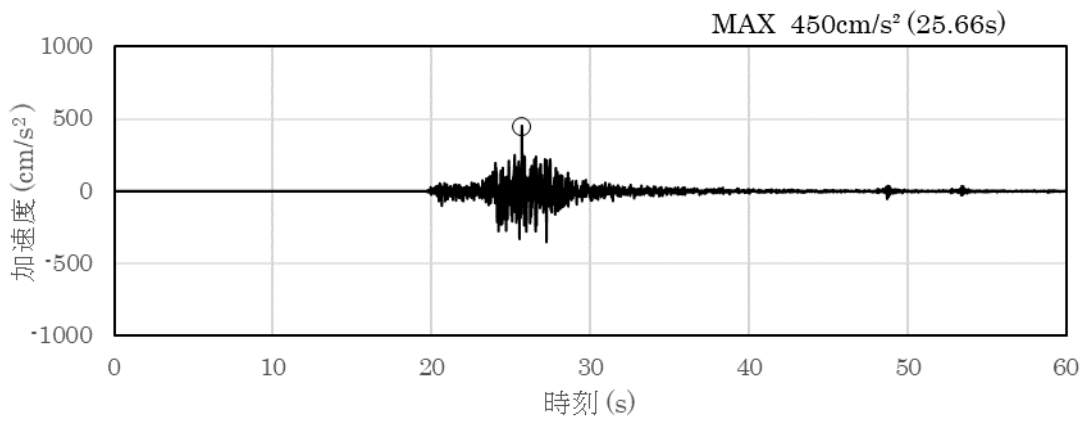


(a) 加速度時刻歴波形

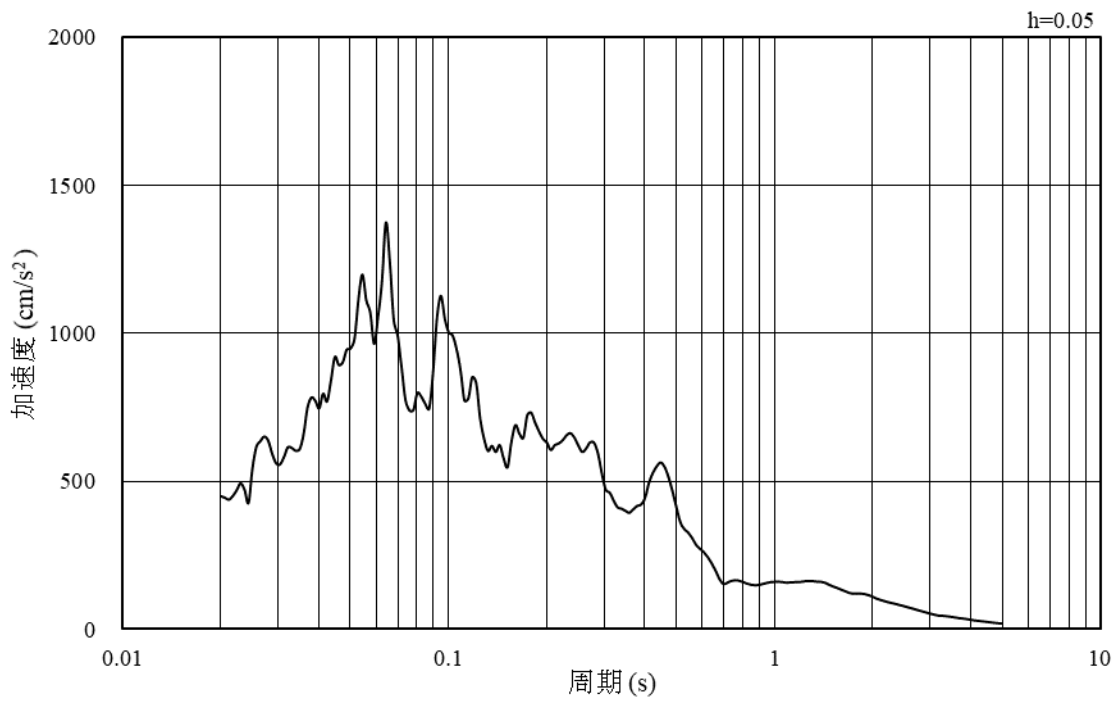


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-17 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(東西方向, 水平成分: S s - N 2 (EW))

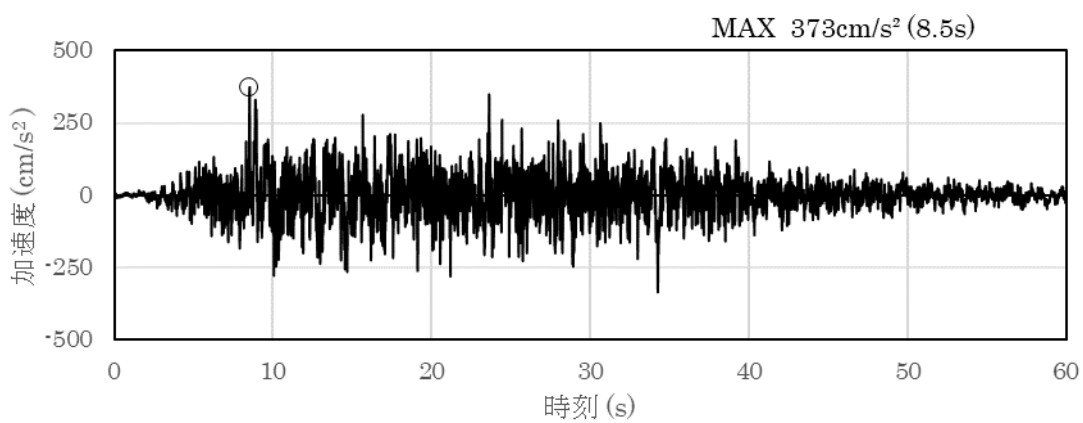


(a) 加速度時刻歴波形

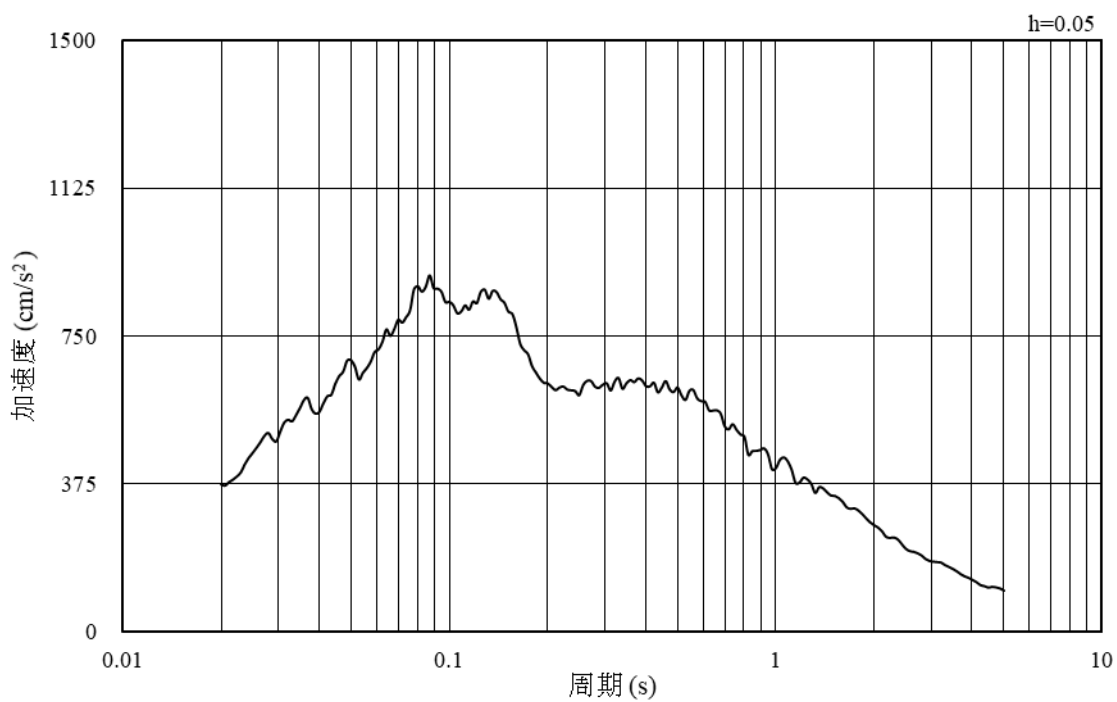


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-18 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(東西方向, 鉛直成分: S s - N 2 (EW))

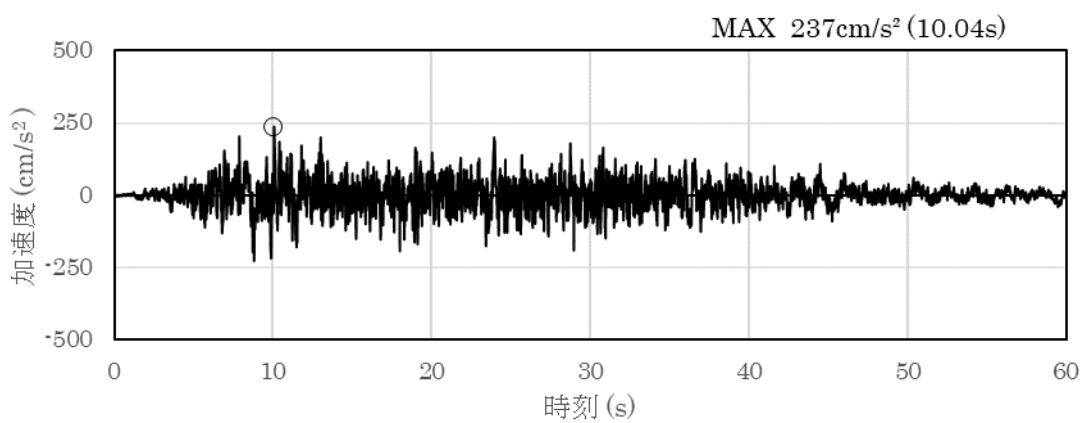


(a) 加速度時刻歴波形

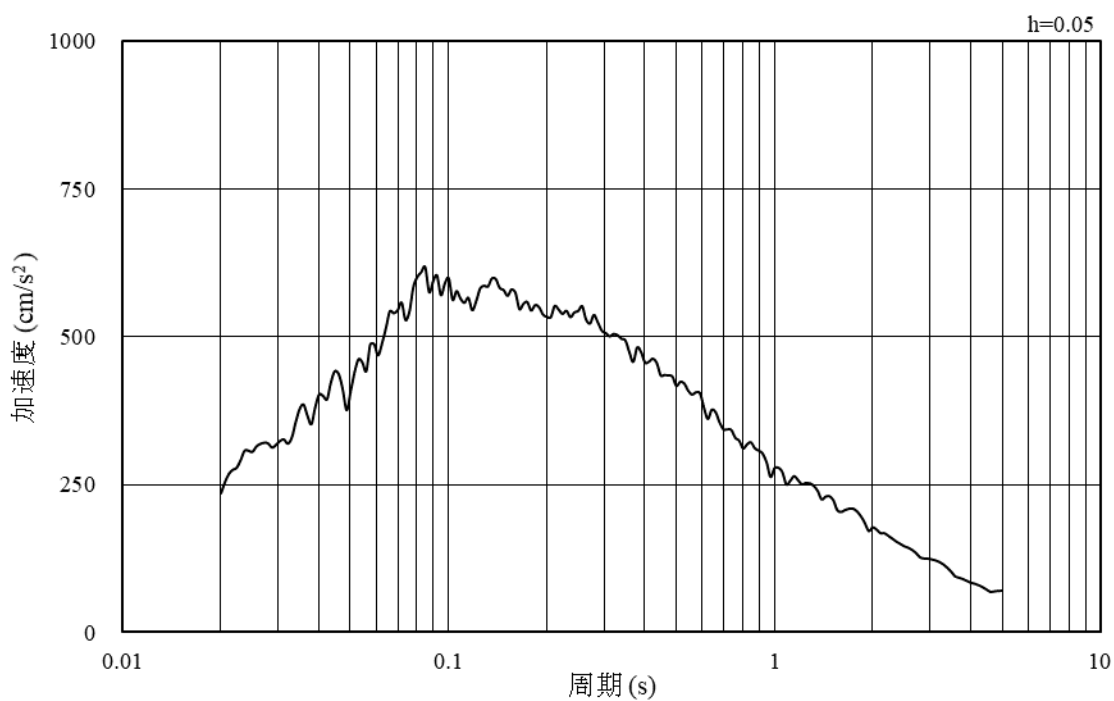


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-19 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(東西方向, 水平成分: S d - D)

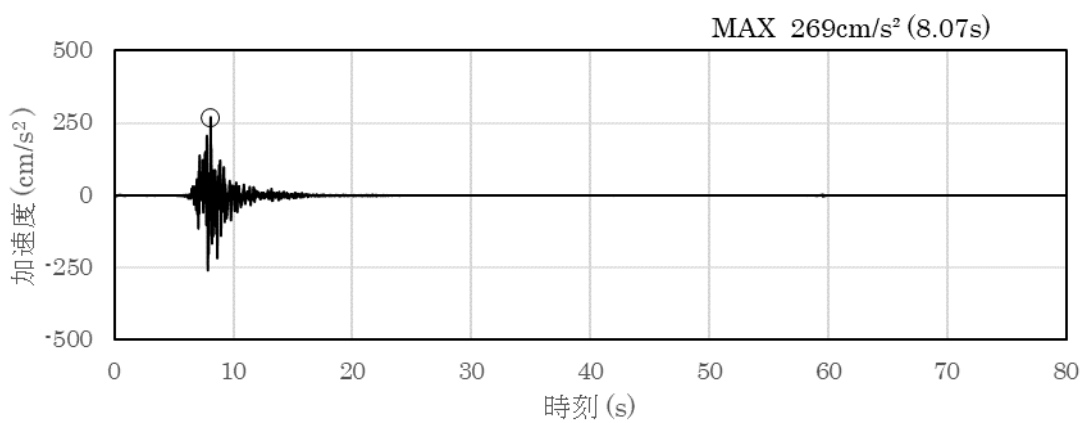


(a) 加速度時刻歴波形

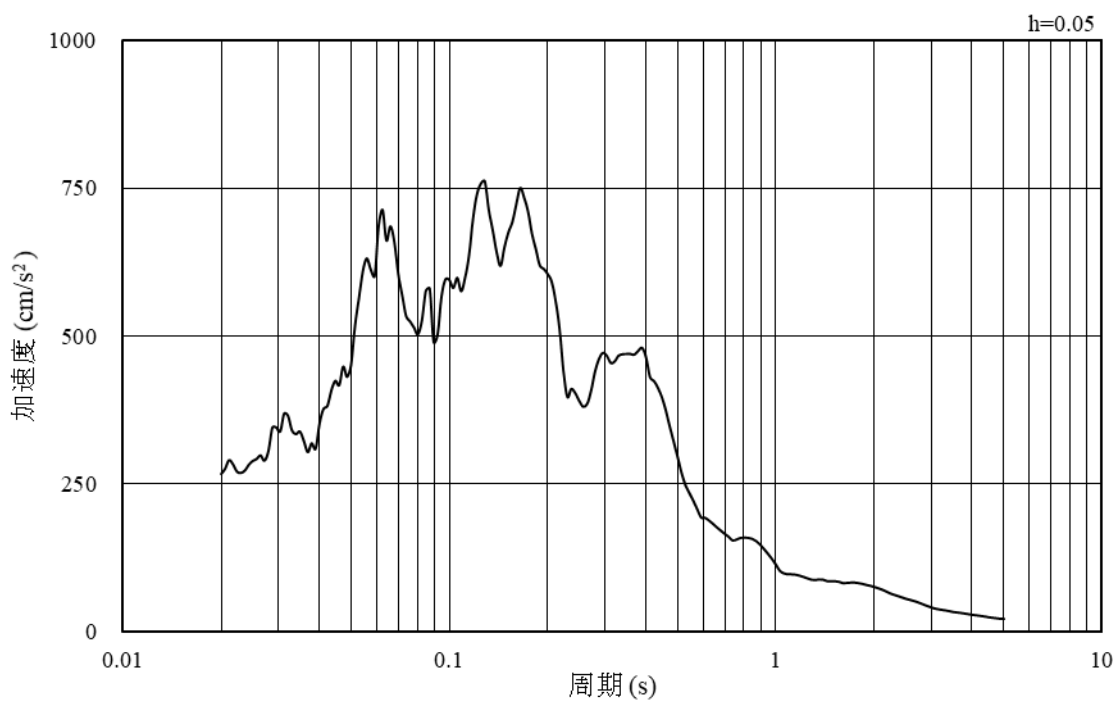


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-20 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(東西方向, 鉛直成分: S d - D)

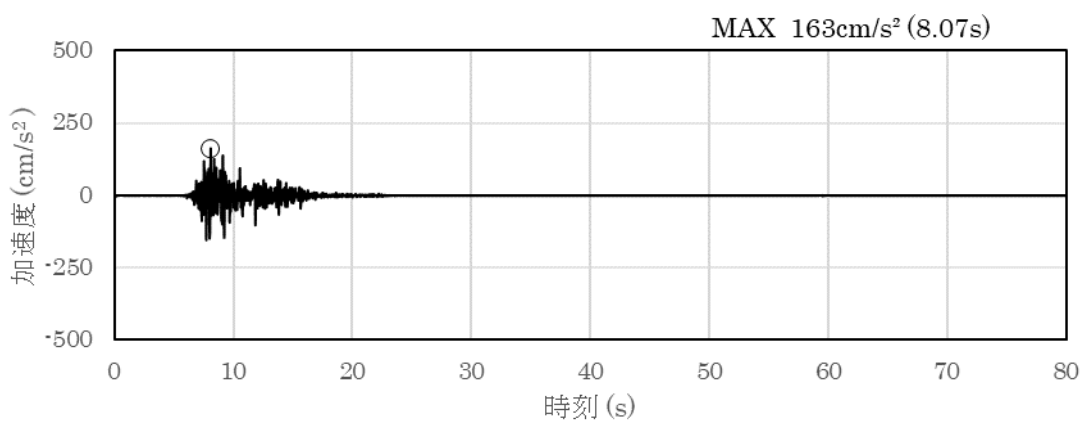


(a) 加速度時刻歴波形

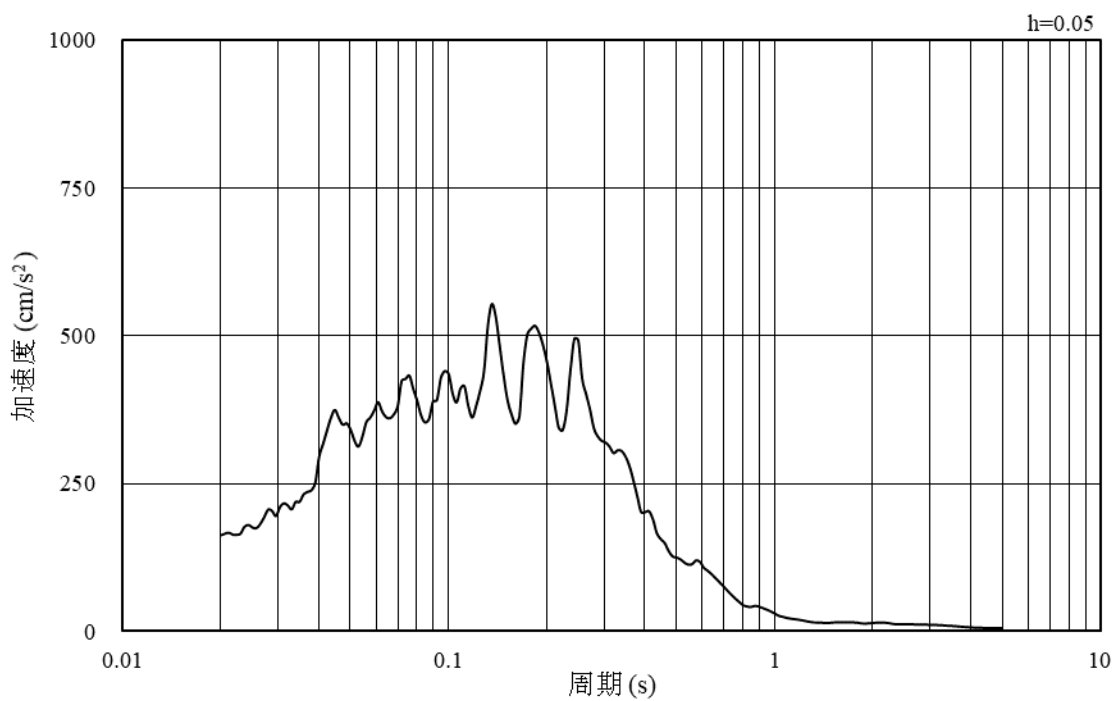


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-21 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(東西方向, 水平成分: S d - F 1)

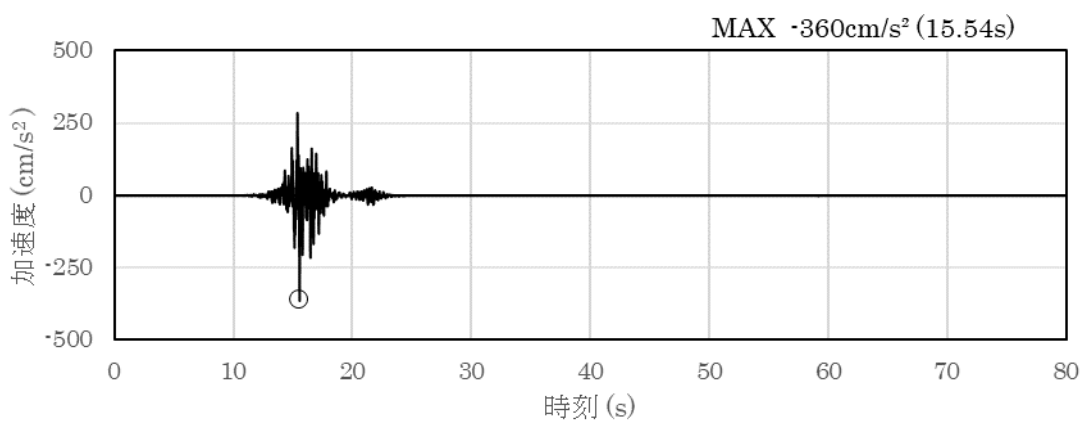


(a) 加速度時刻歴波形

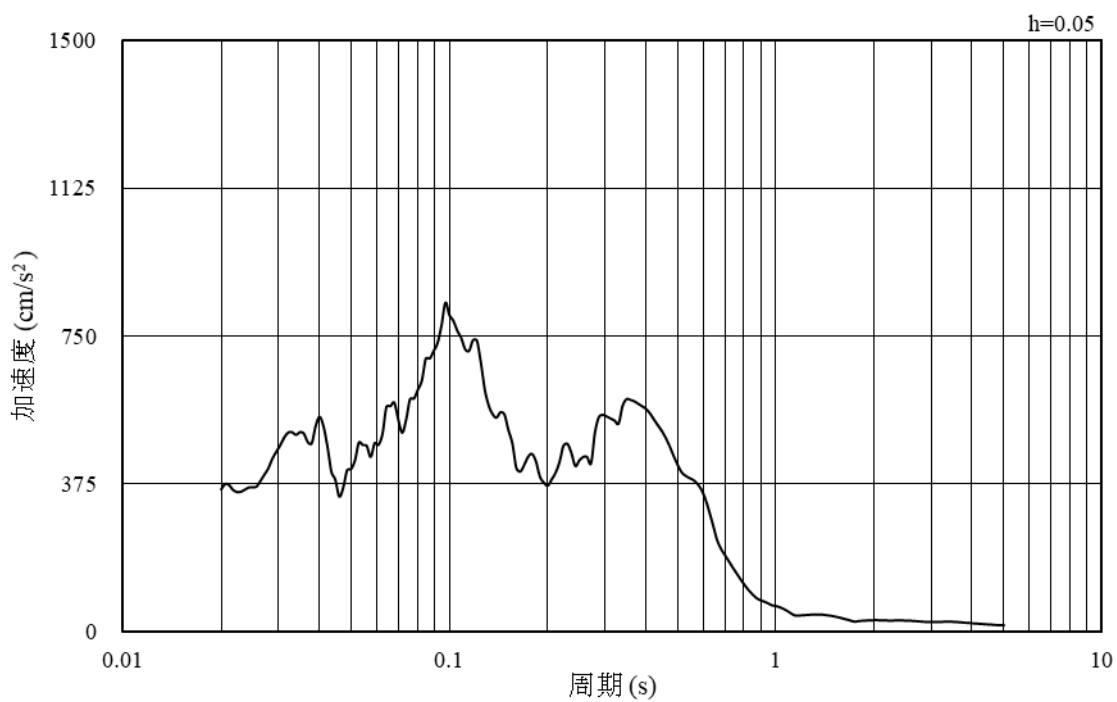


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-22 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(東西方向, 鉛直成分: S d - F 1)

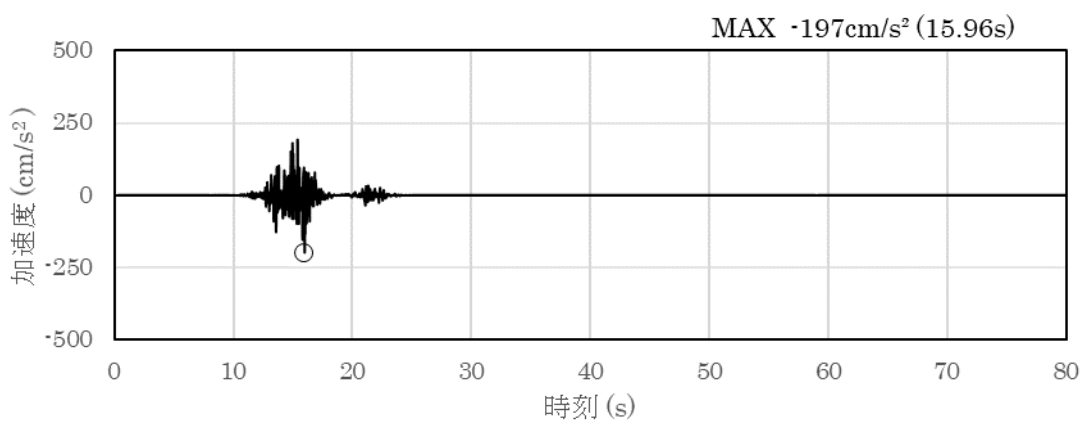


(a) 加速度時刻歴波形

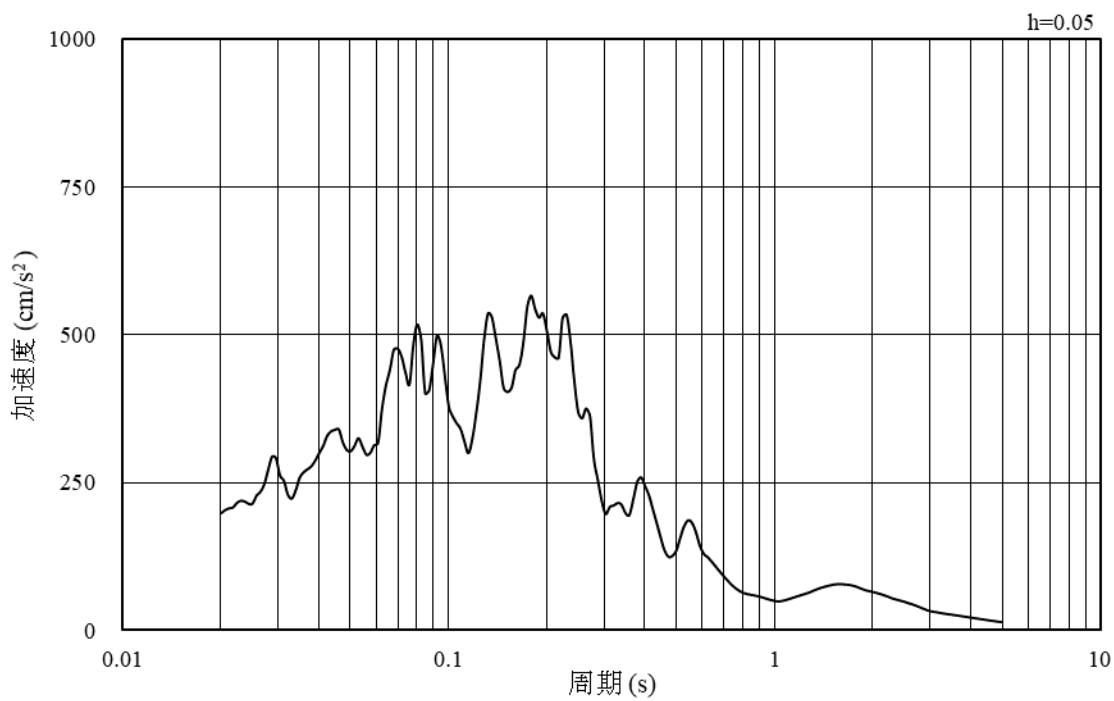


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-23 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(東西方向, 水平成分: S d - F 2)

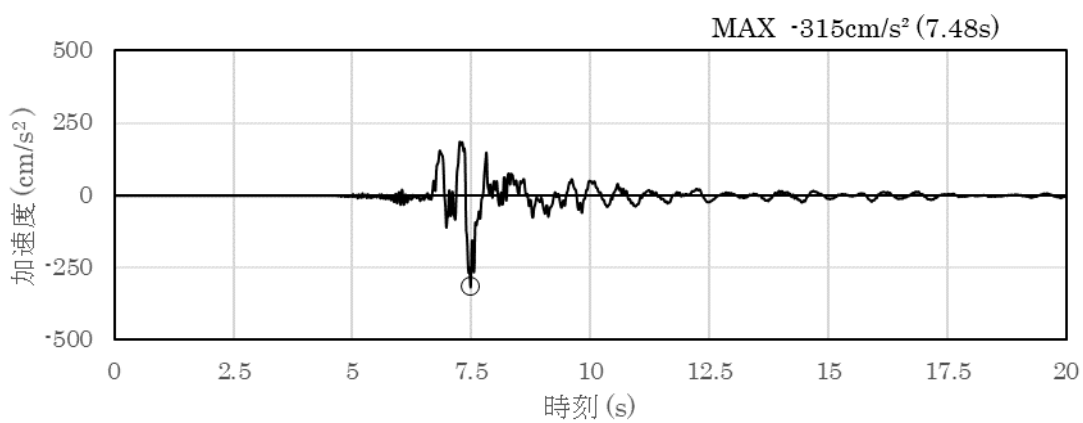


(a) 加速度時刻歴波形

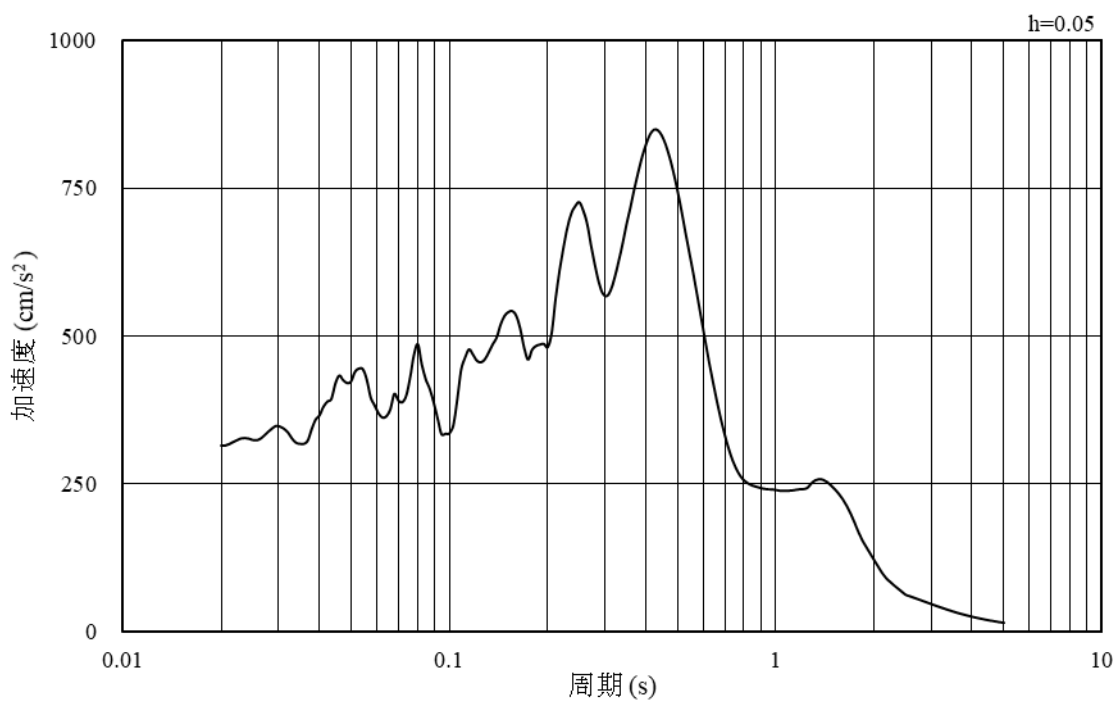


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-24 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(東西方向, 鉛直成分: S d - F 2)

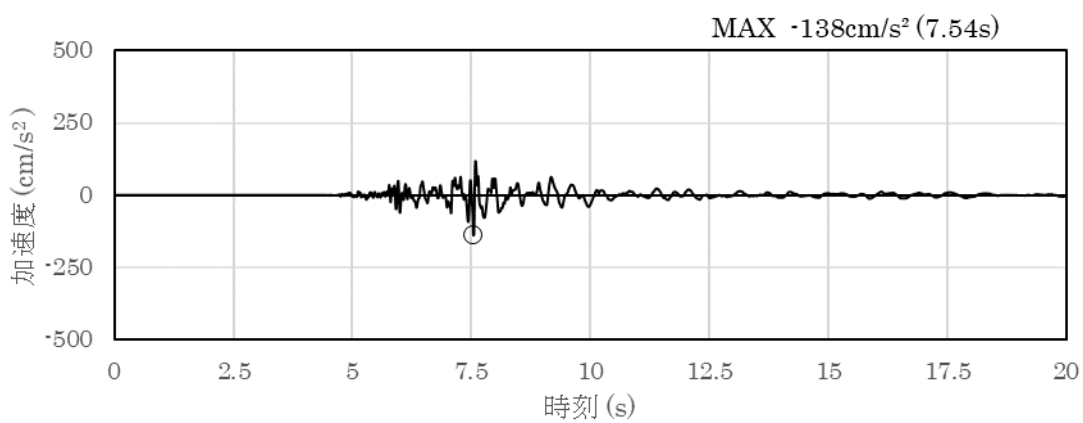


(a) 加速度時刻歴波形

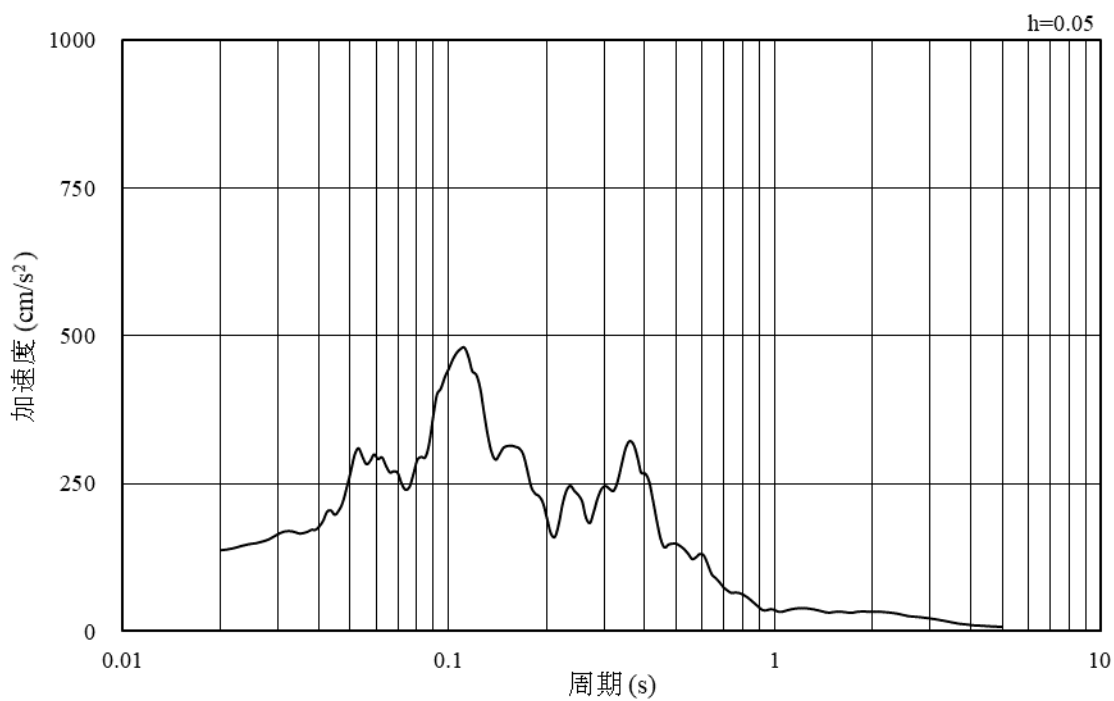


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-25 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(東西方向, 水平成分: S d - N 1)

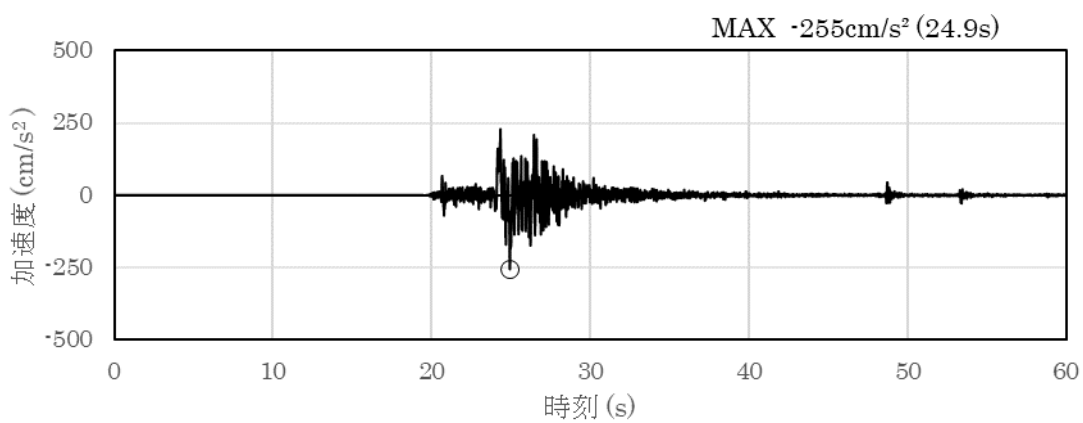


(a) 加速度時刻歴波形

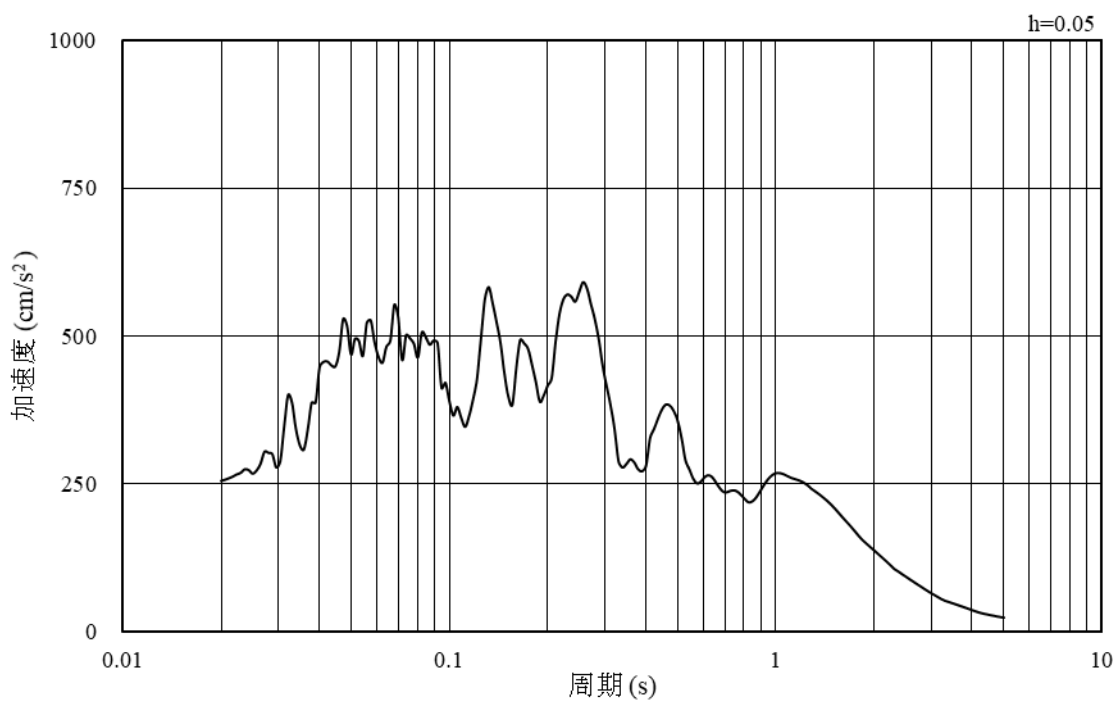


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-26 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(東西方向, 鉛直成分: S d - N 1)

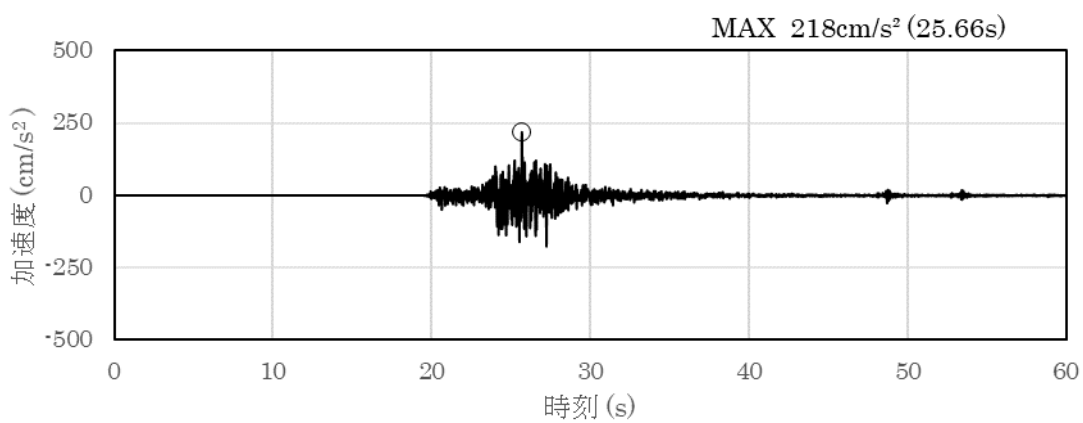


(a) 加速度時刻歴波形

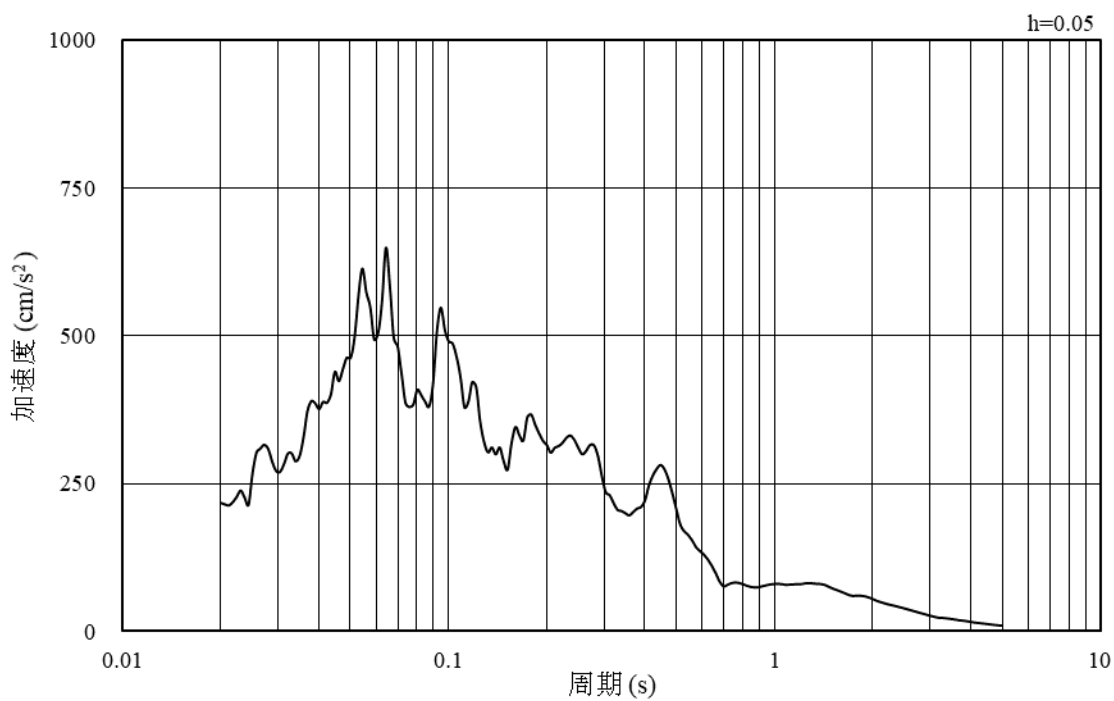


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-27 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(東西方向, 水平成分: S d - N 2 (N S))

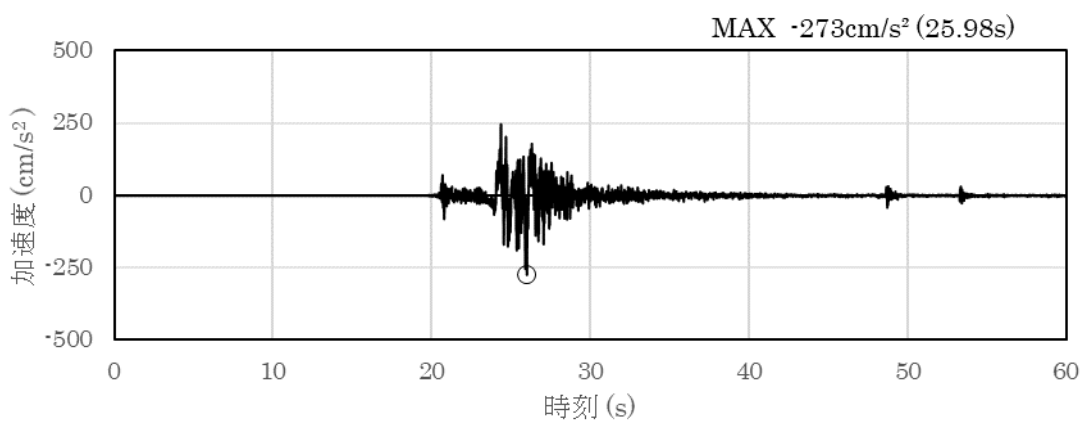


(a) 加速度時刻歴波形

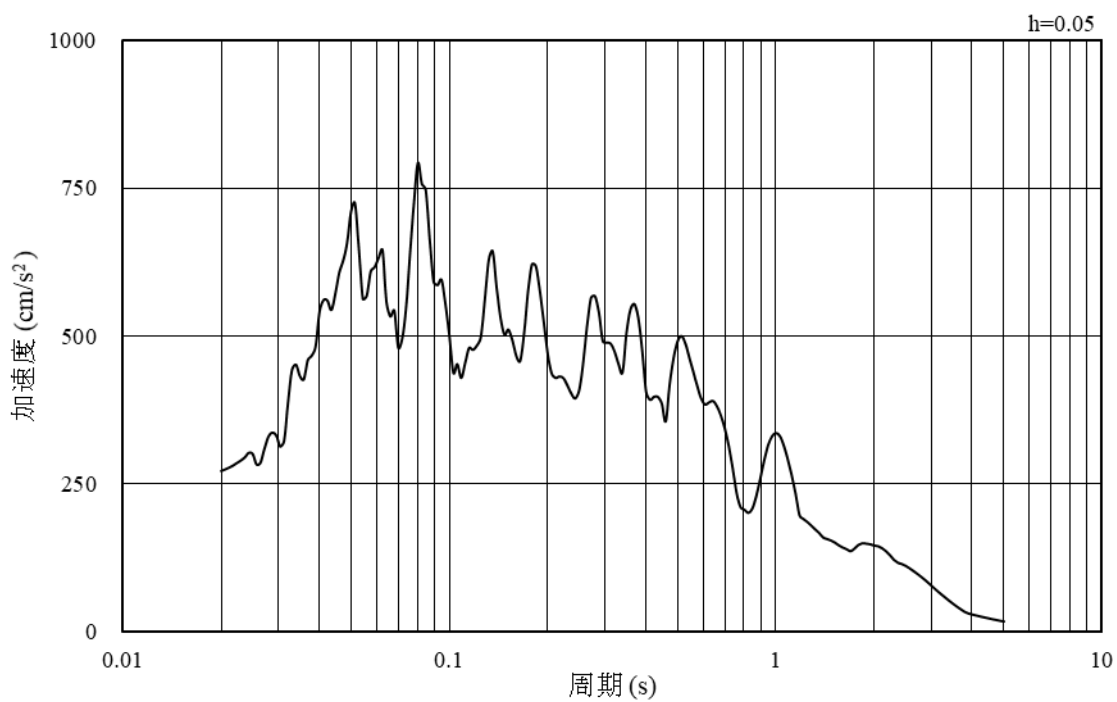


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-28 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(東西方向, 鉛直成分: S d - N 2 (N S))

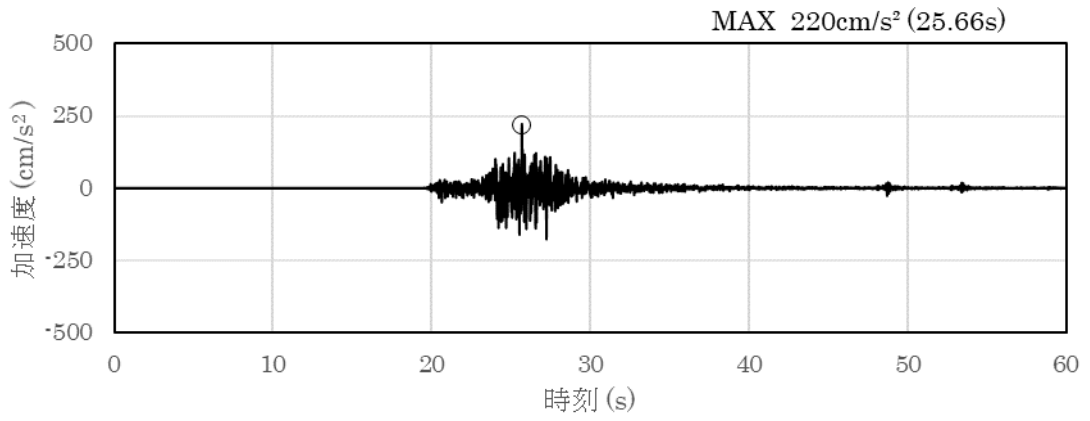


(a) 加速度時刻歴波形

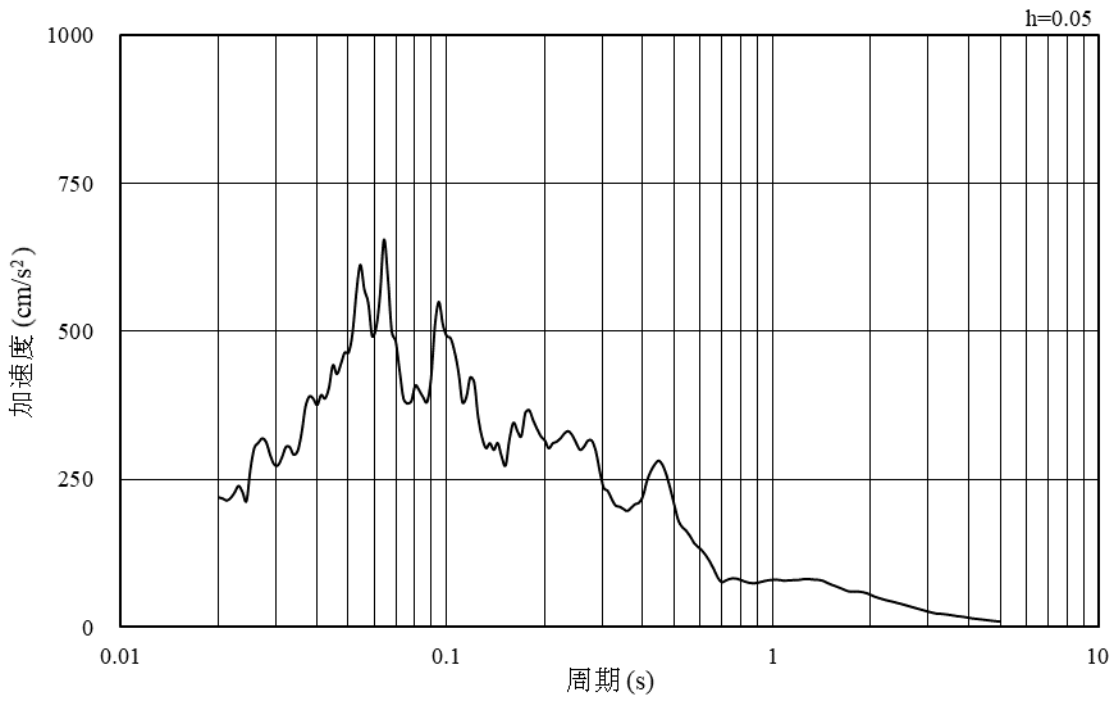


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-29 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(東西方向, 水平成分: S d - N 2 (E W))

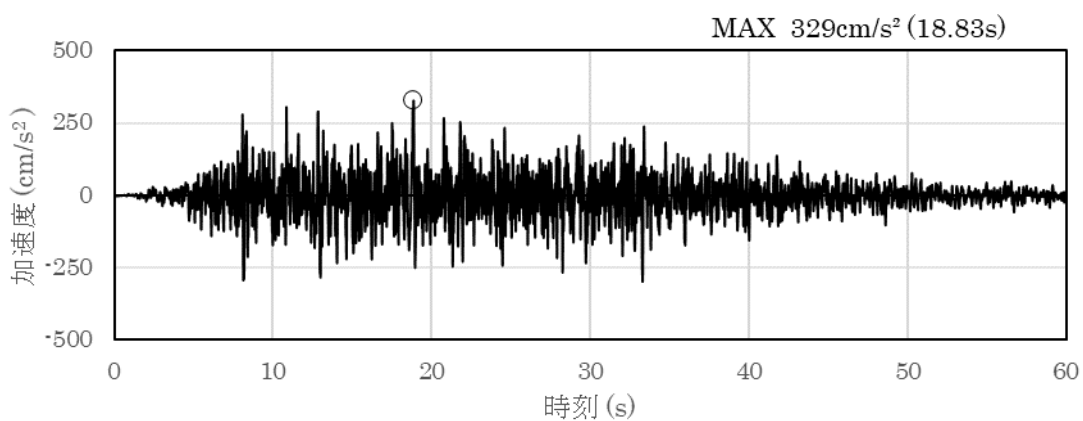


(a) 加速度時刻歴波形

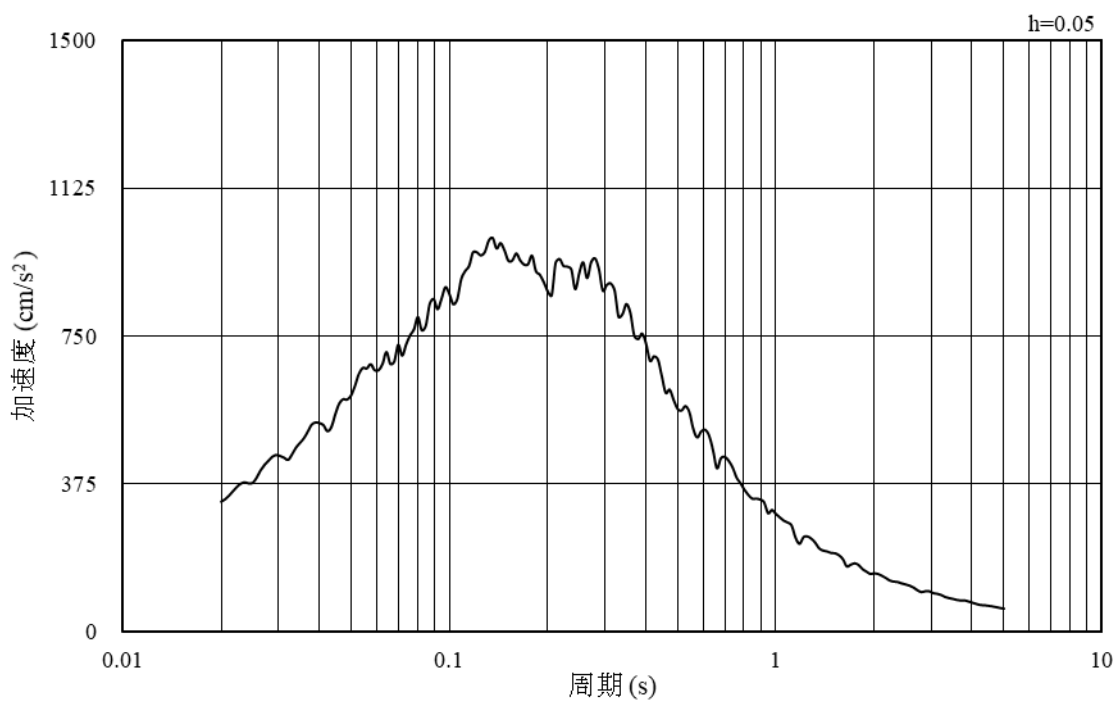


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-30 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(東西方向, 鉛直成分: S d - N 2 (EW))

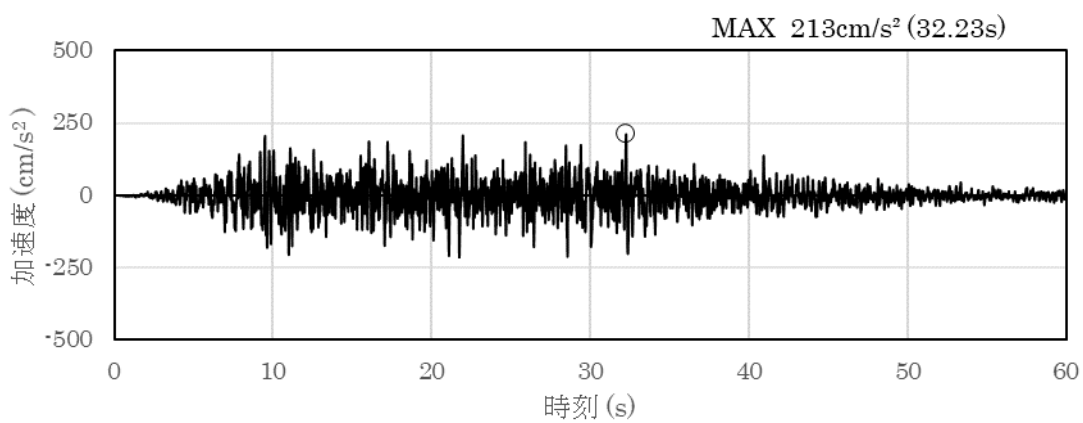


(a) 加速度時刻歴波形

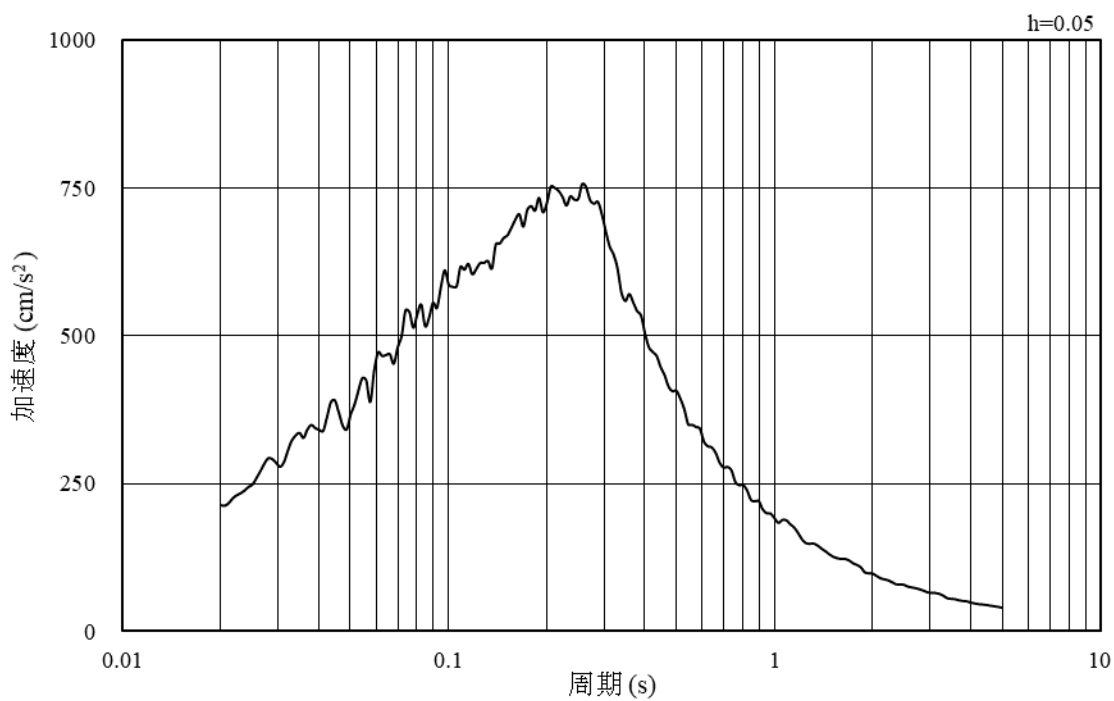


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-31 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(東西方向, 水平成分: S d - 1)

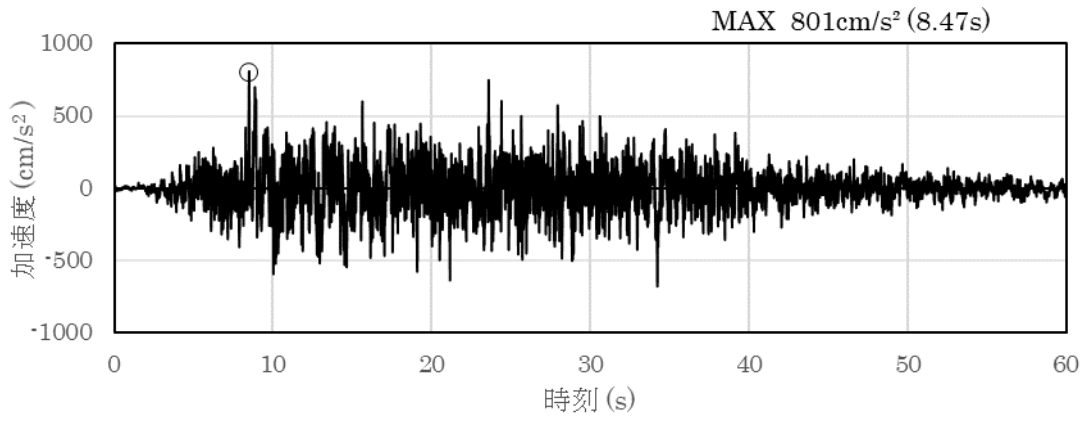


(a) 加速度時刻歴波形

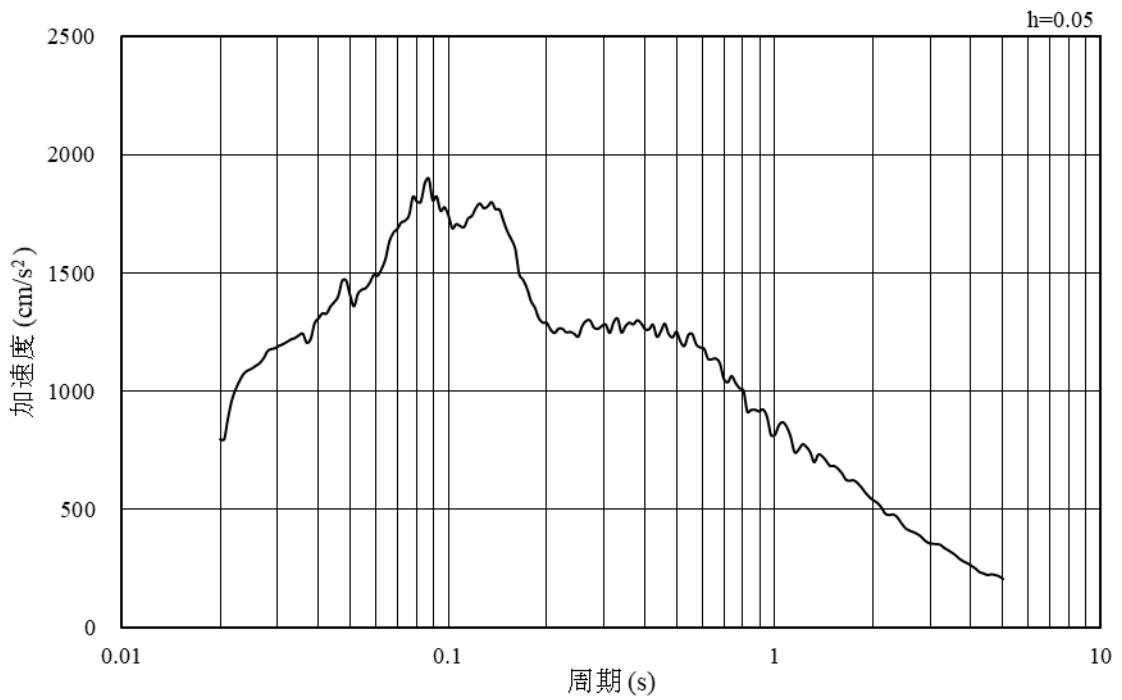


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-32 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(東西方向, 鉛直成分: S d - 1)

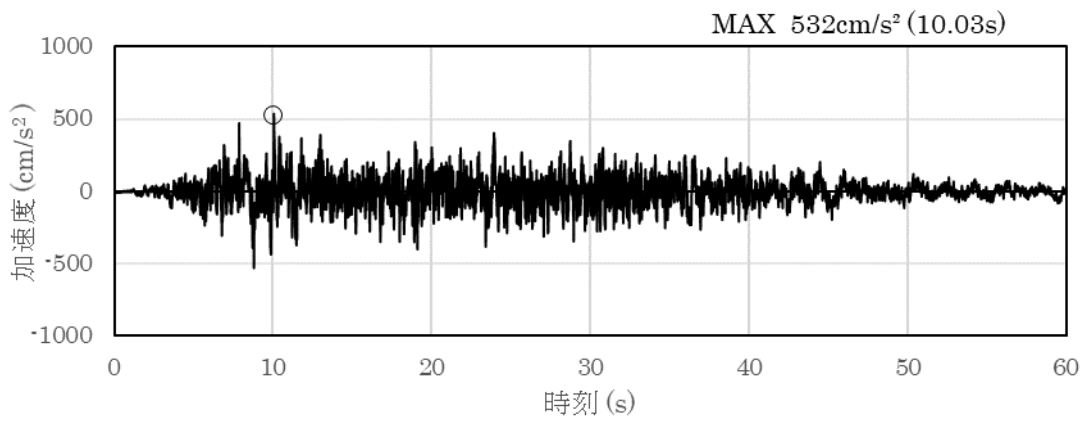


(a) 加速度時刻歴波形

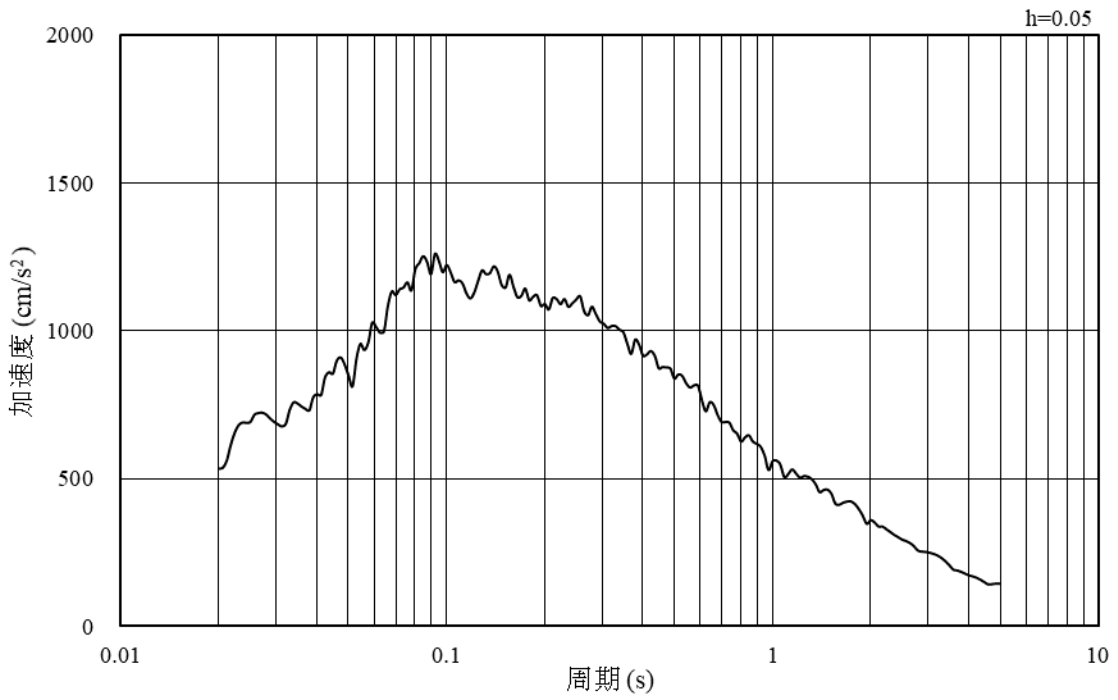


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-33 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(南北方向, 水平成分: S s - D)

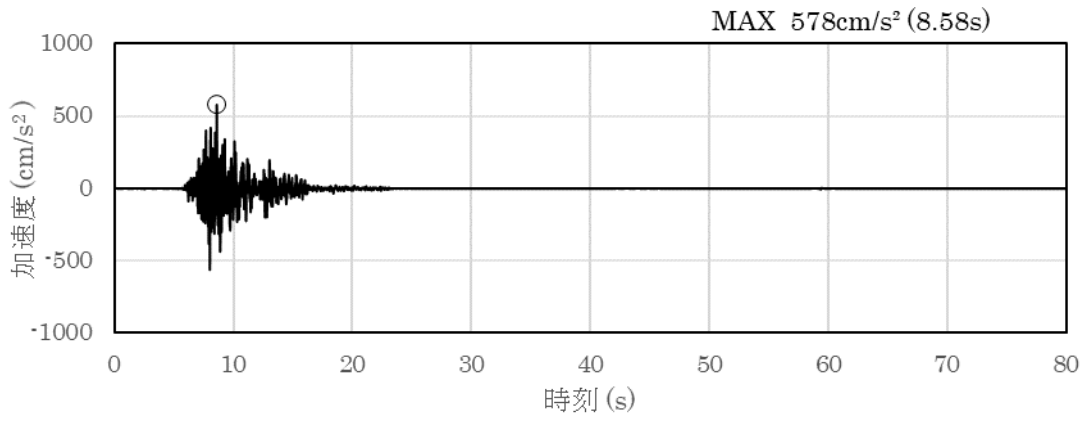


(a) 加速度時刻歴波形

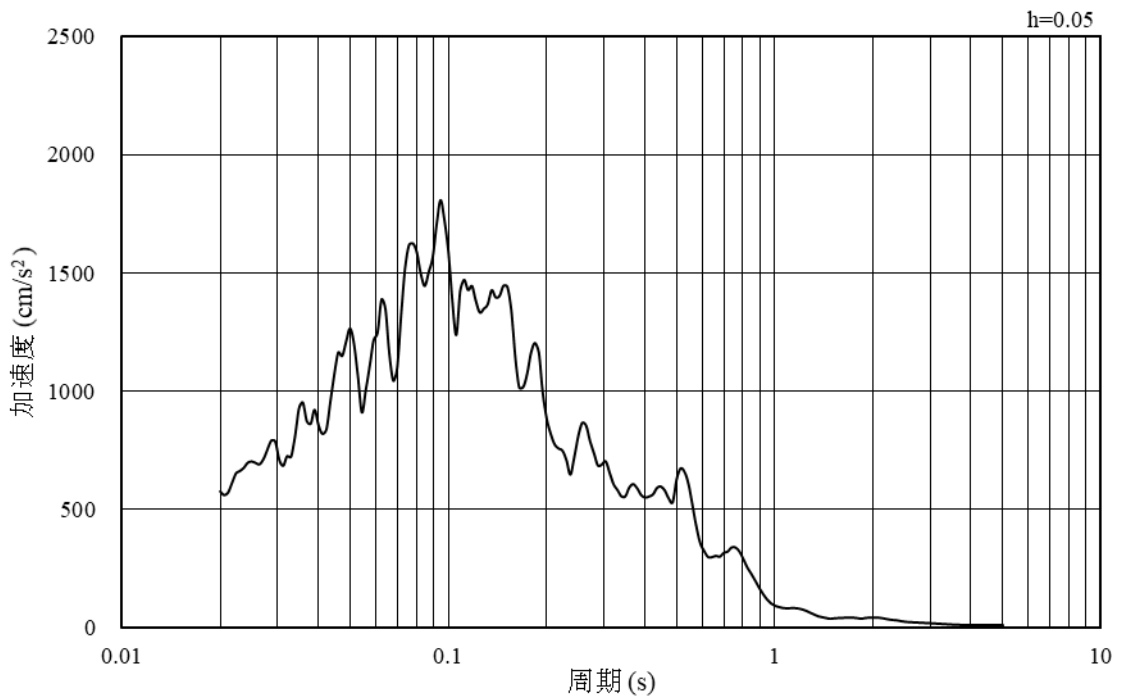


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-34 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(南北方向, 鉛直成分: S s - D)

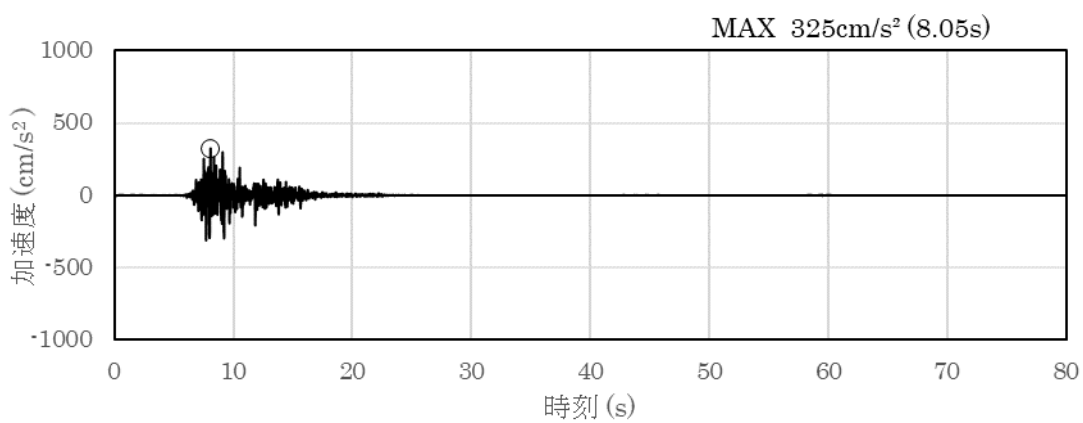


(a) 加速度時刻歴波形

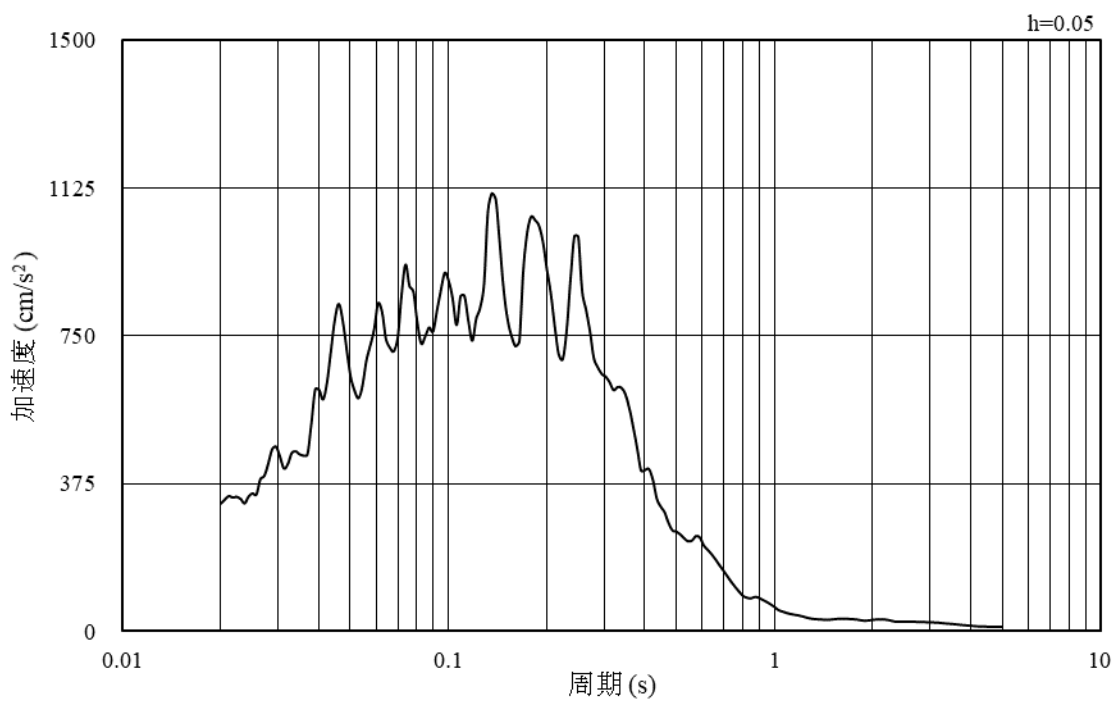


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-35 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(南北方向, 水平成分: S s - F 1)

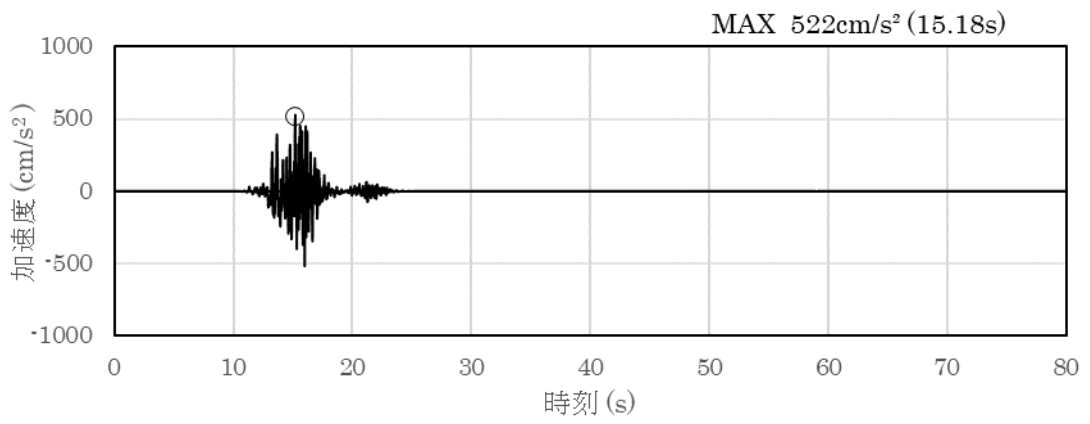


(a) 加速度時刻歴波形

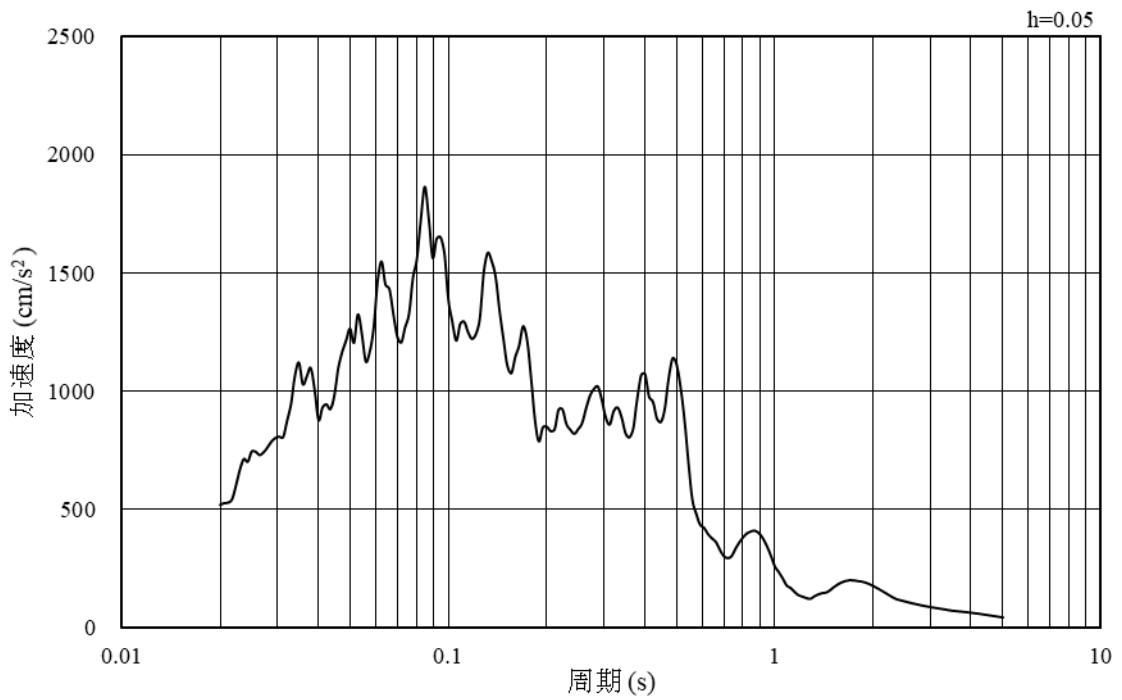


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-36 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(南北方向, 鉛直成分: S s - F 1)

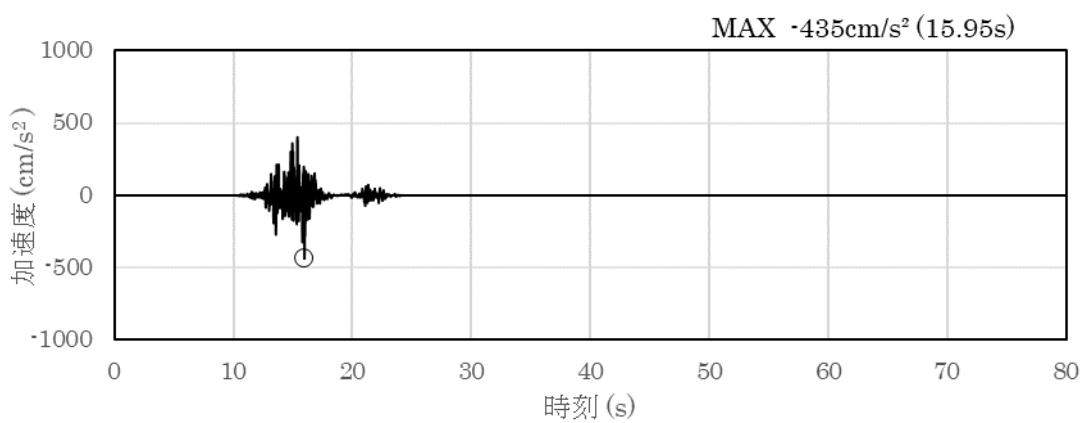


(a) 加速度時刻歴波形

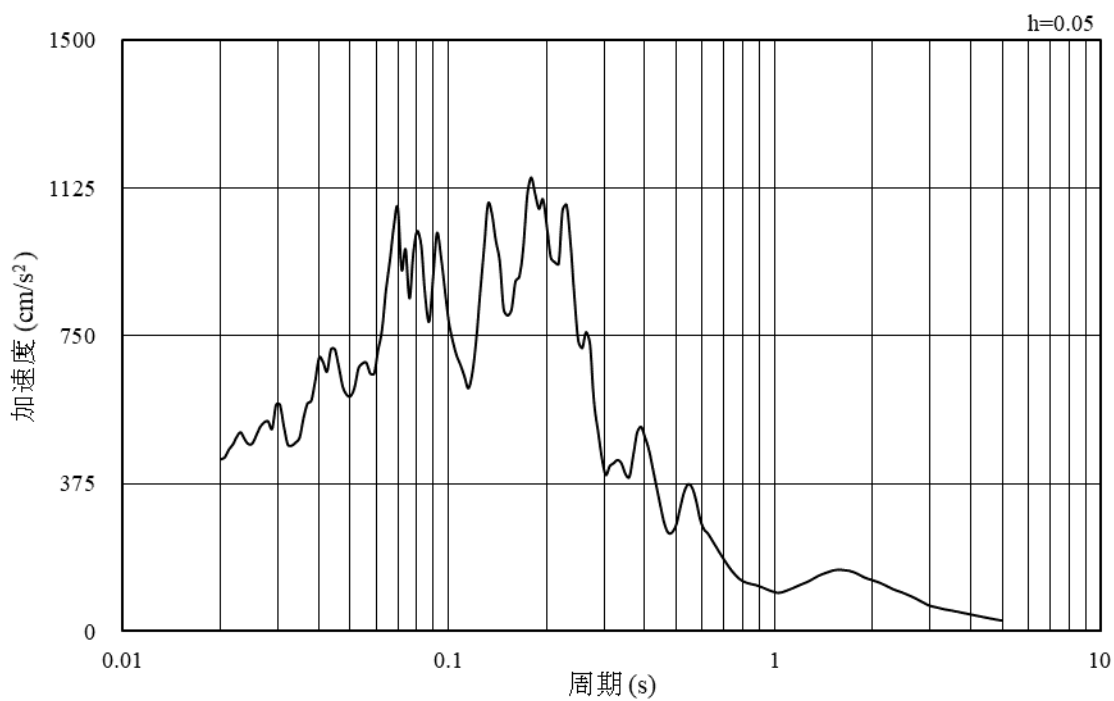


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-37 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(南北方向, 水平成分: S s - F 2)

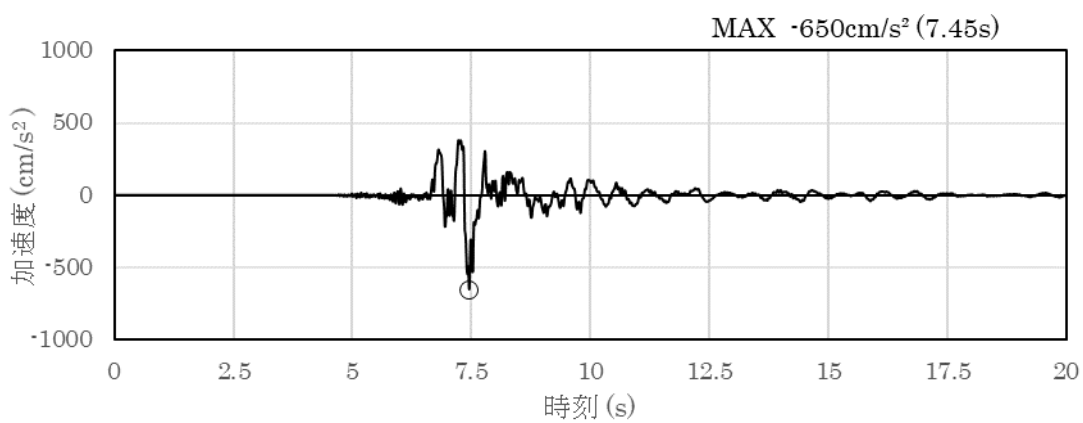


(a) 加速度時刻歴波形

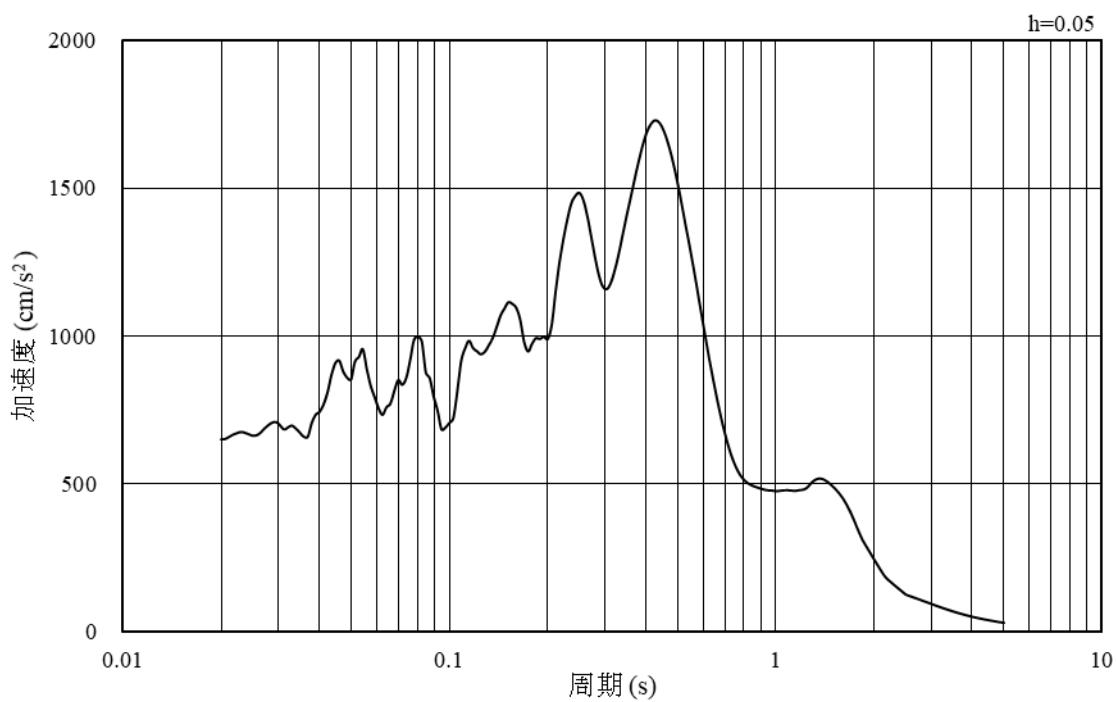


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-38 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(南北方向, 鉛直成分: S s - F 2)

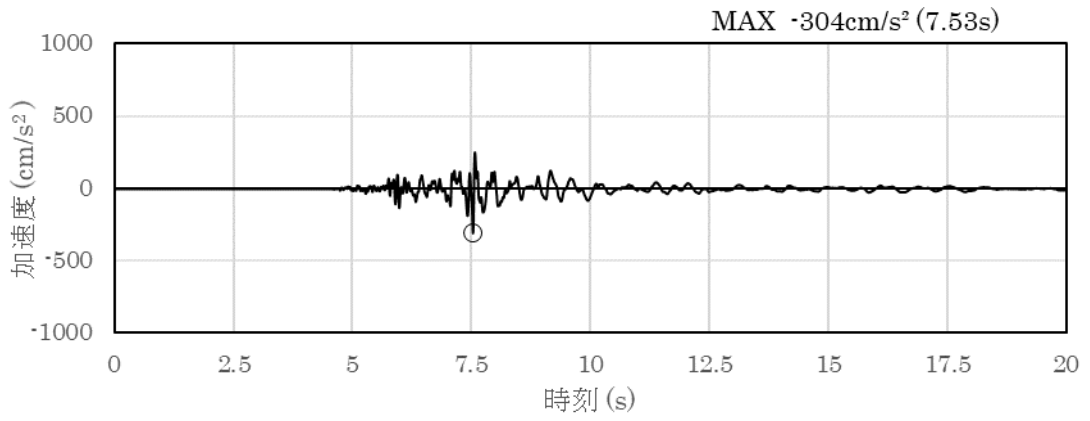


(a) 加速度時刻歴波形

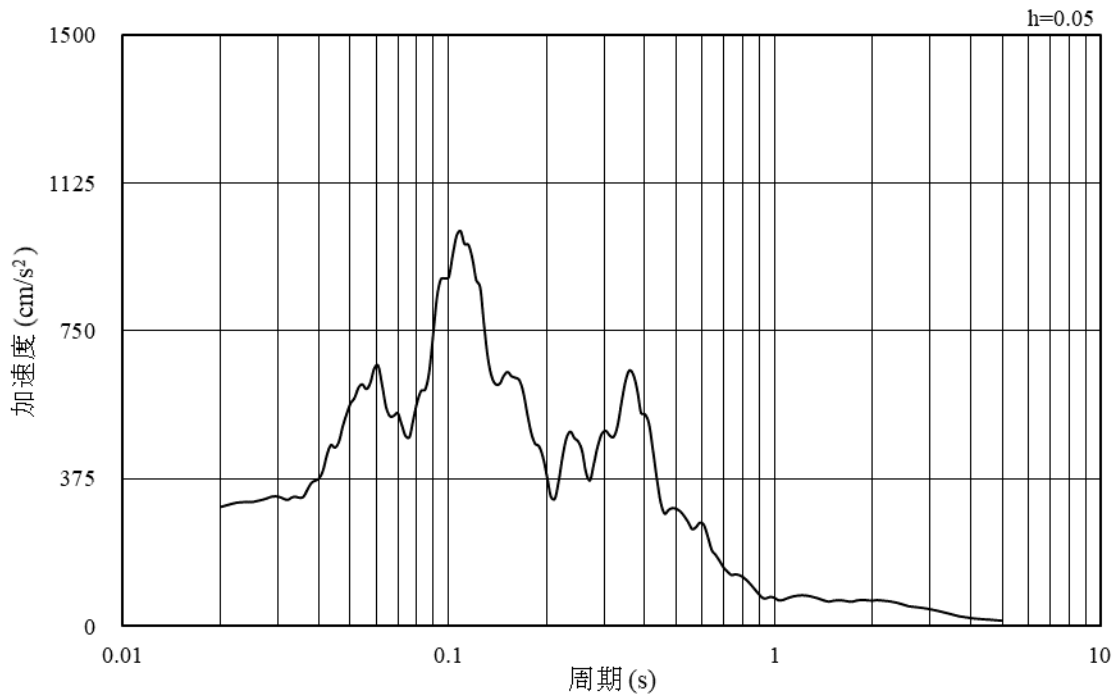


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-39 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(南北方向, 水平成分: S s - N 1)

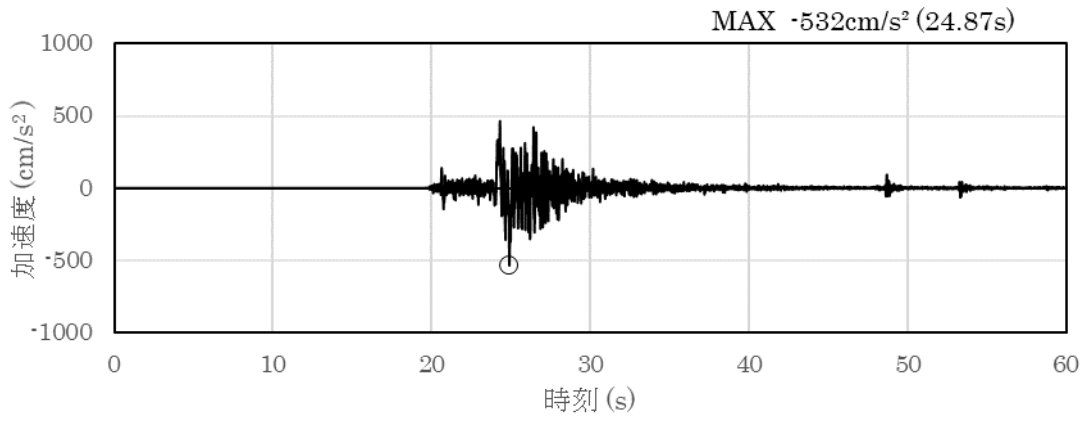


(a) 加速度時刻歴波形

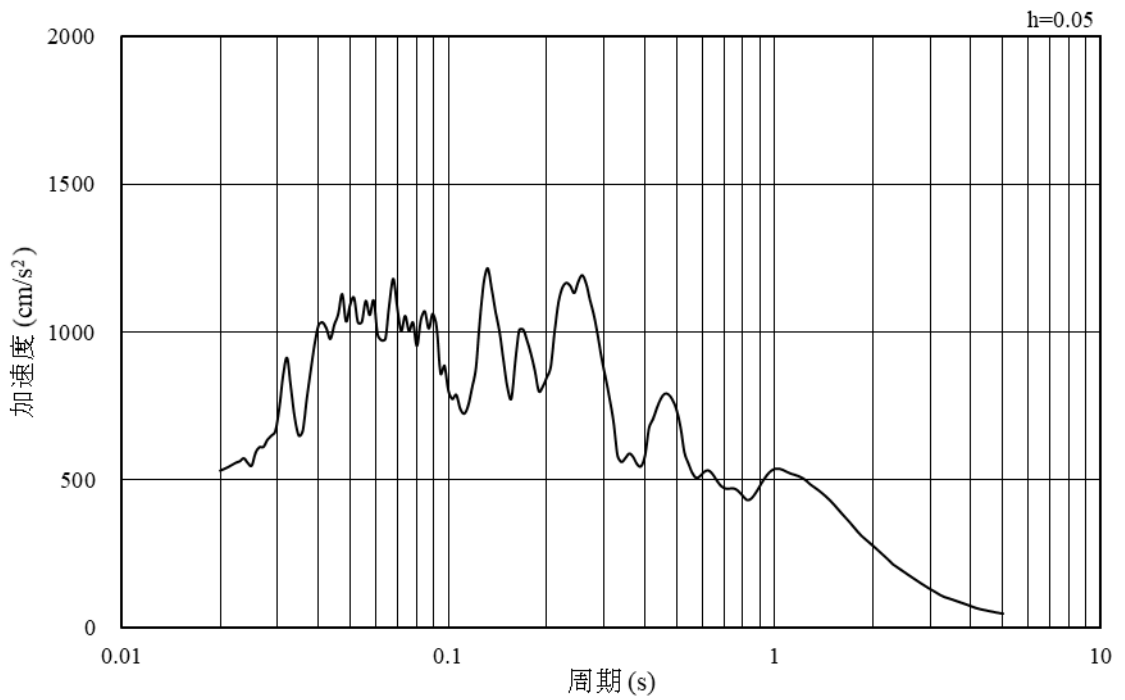


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-40 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(南北方向, 鉛直成分: S s - N 1)

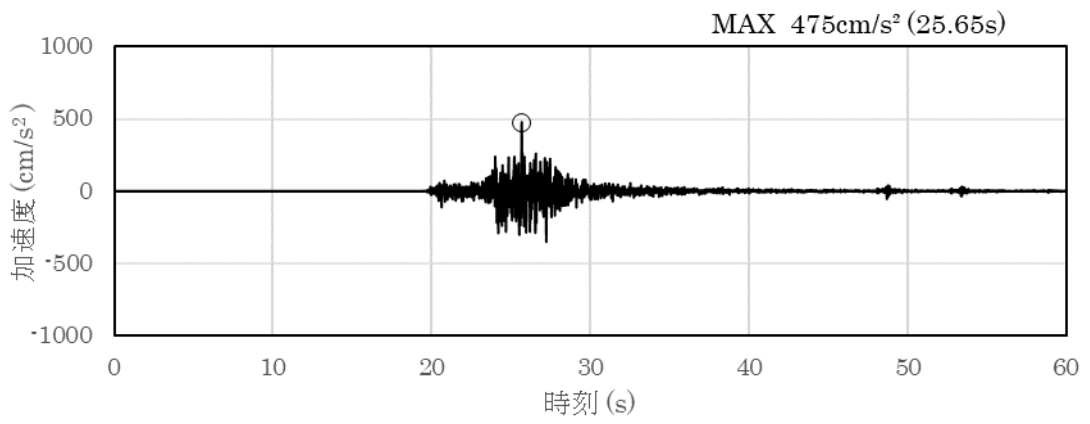


(a) 加速度時刻歴波形

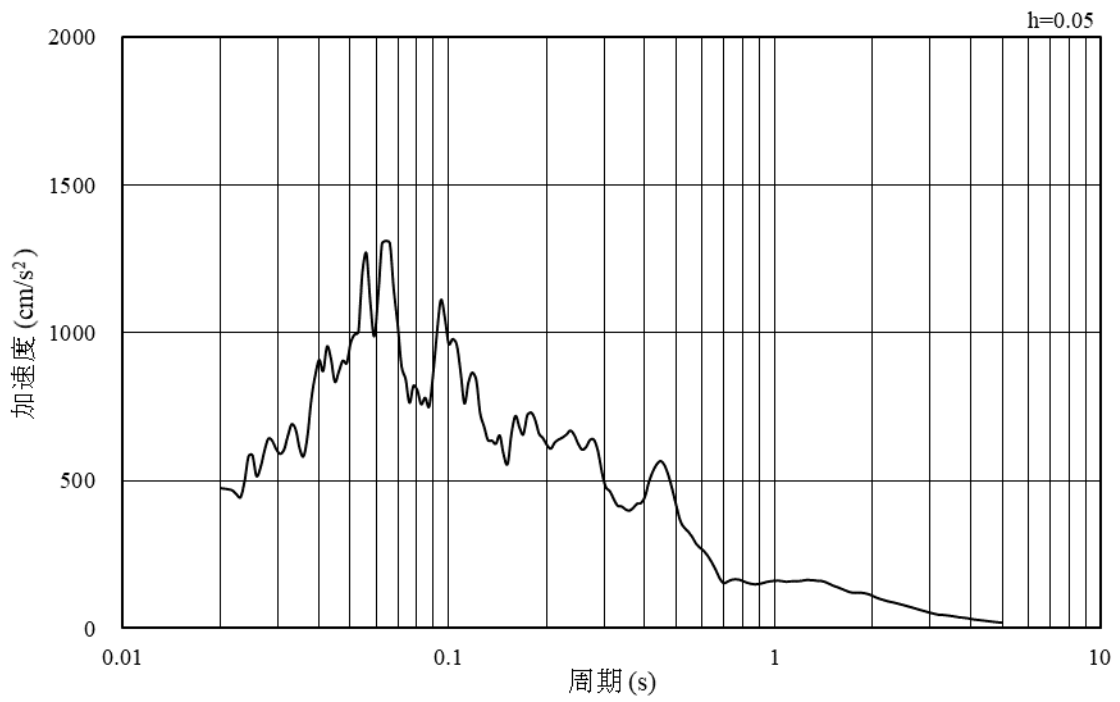


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-41 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(南北方向, 水平成分: S_s-N₂ (NS))

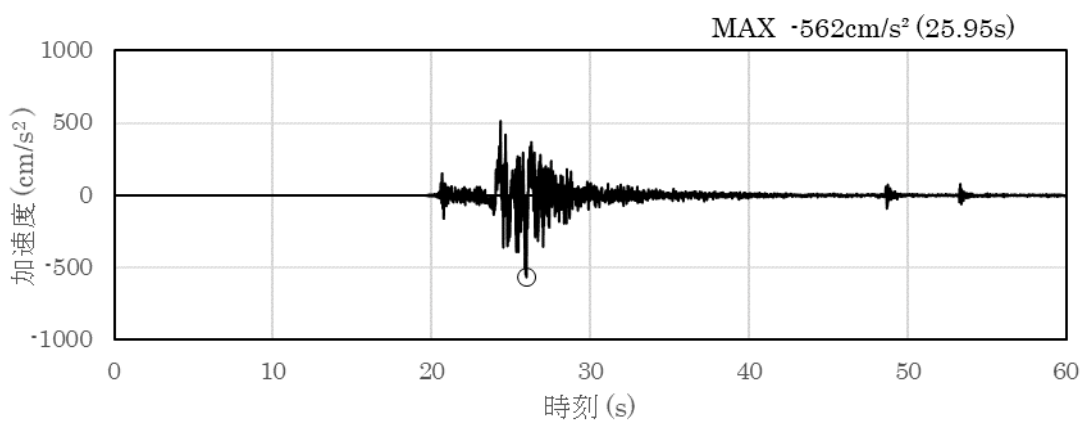


(a) 加速度時刻歴波形

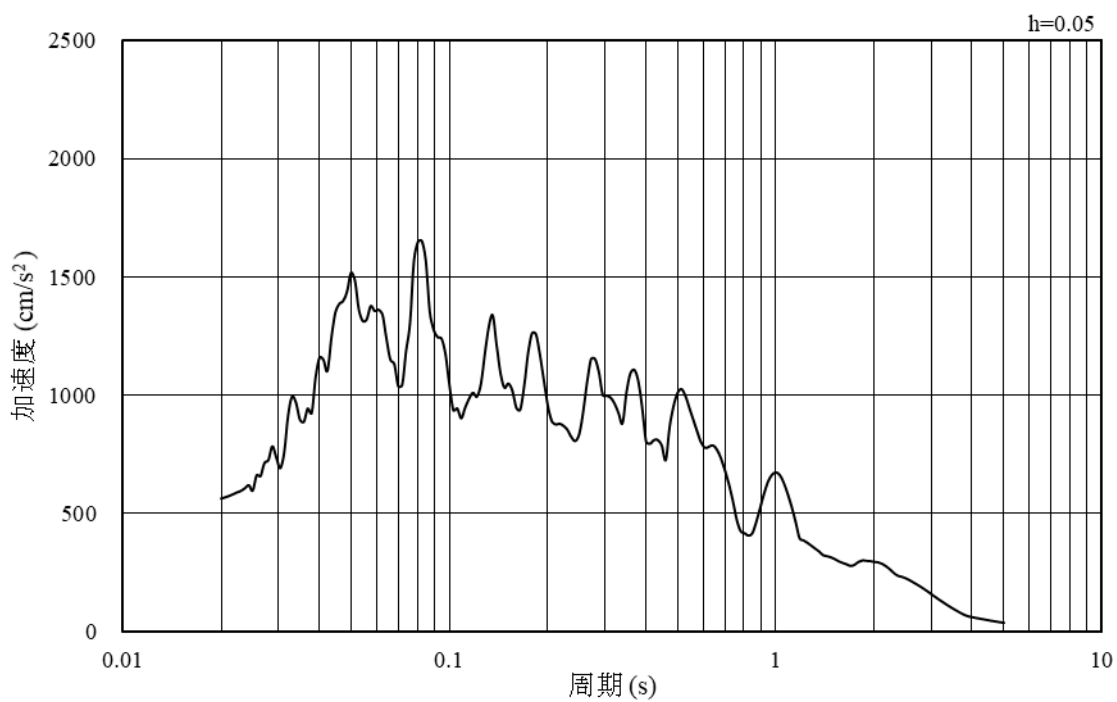


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-42 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(南北方向, 鉛直成分: S s - N 2 (N S))

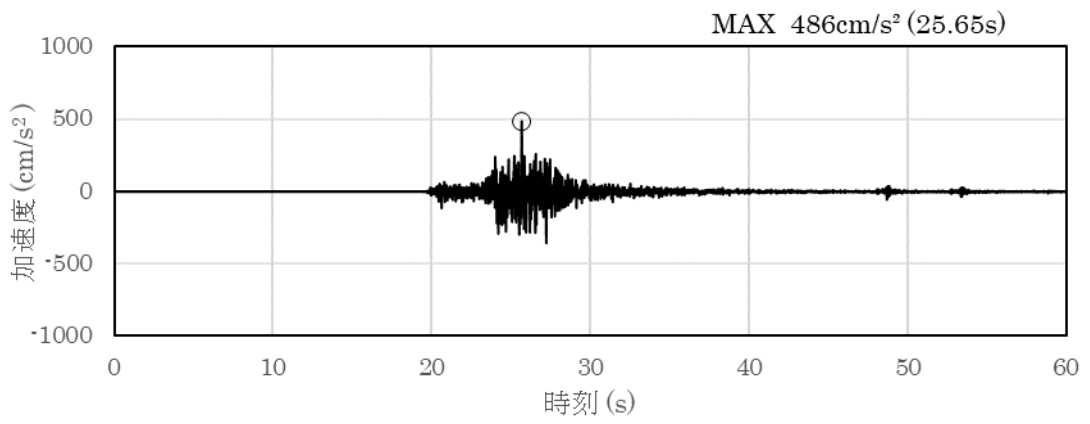


(a) 加速度時刻歴波形

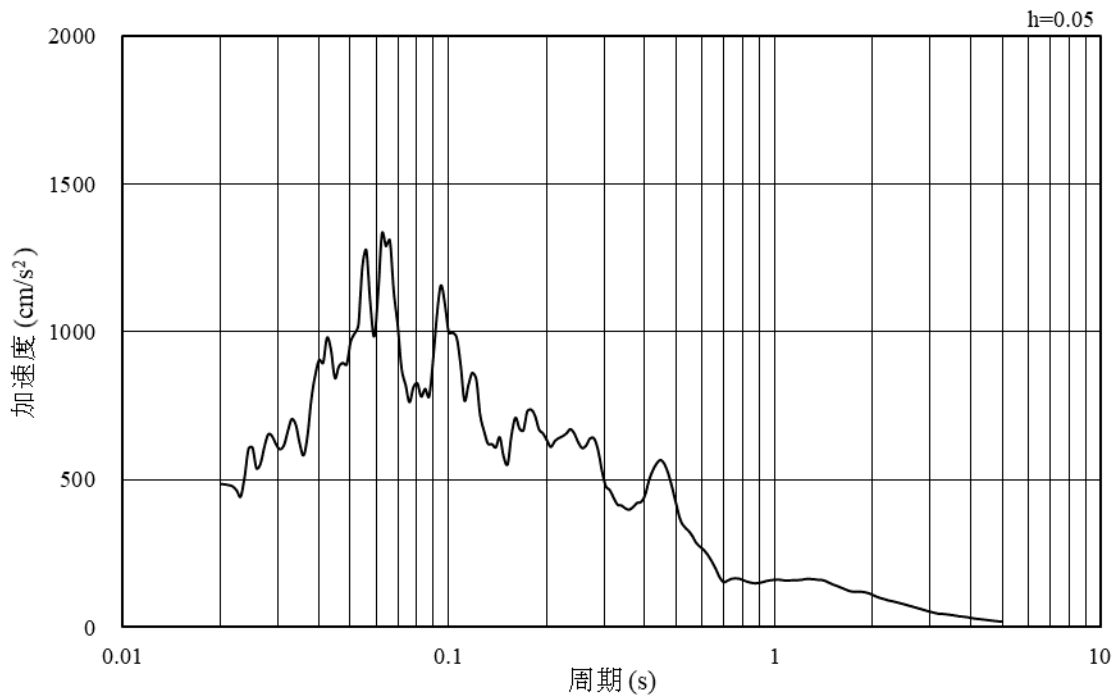


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-43 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(南北方向, 水平成分: S s - N 2 (E W))

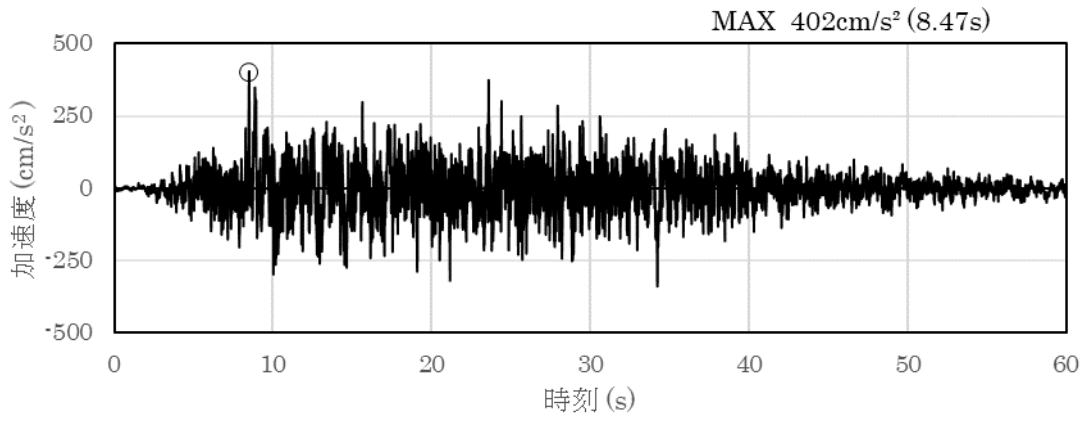


(a) 加速度時刻歴波形

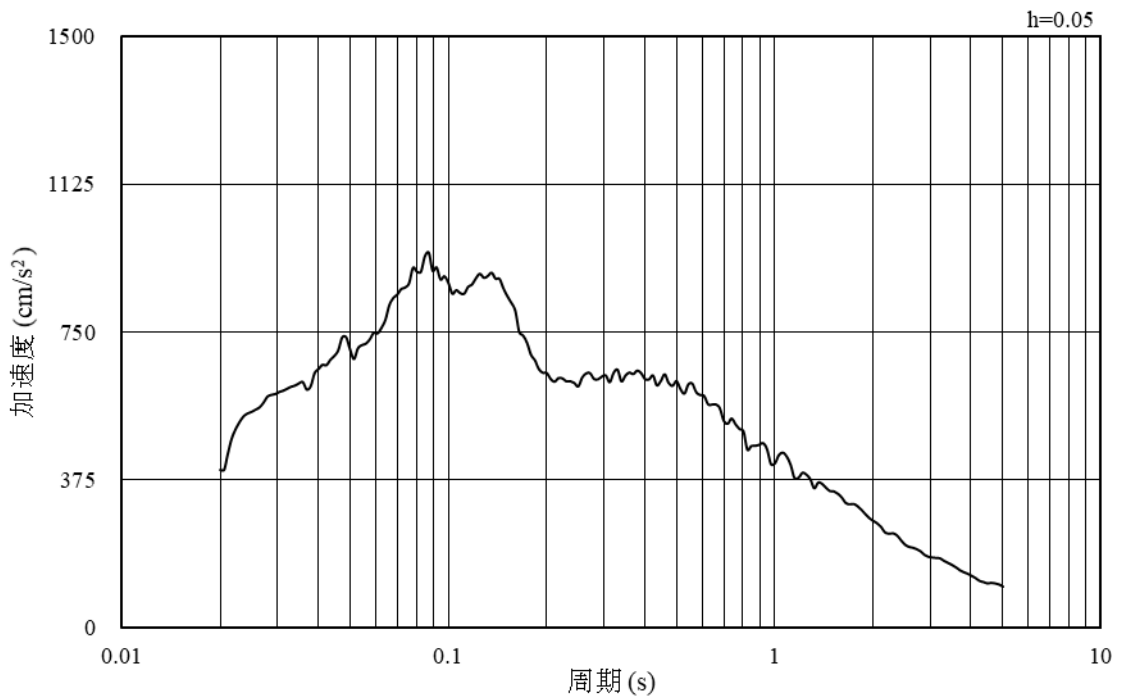


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-44 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(南北方向, 鉛直成分: S s - N 2 (EW))

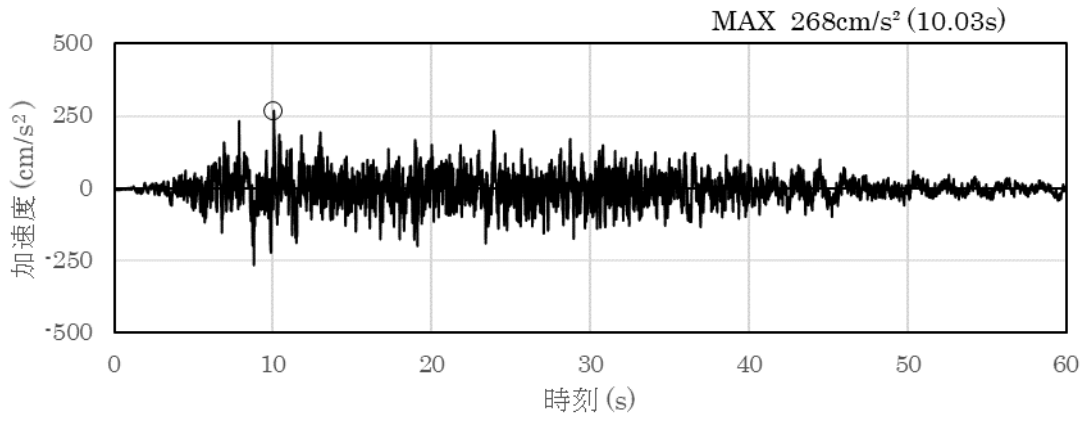


(a) 加速度時刻歴波形

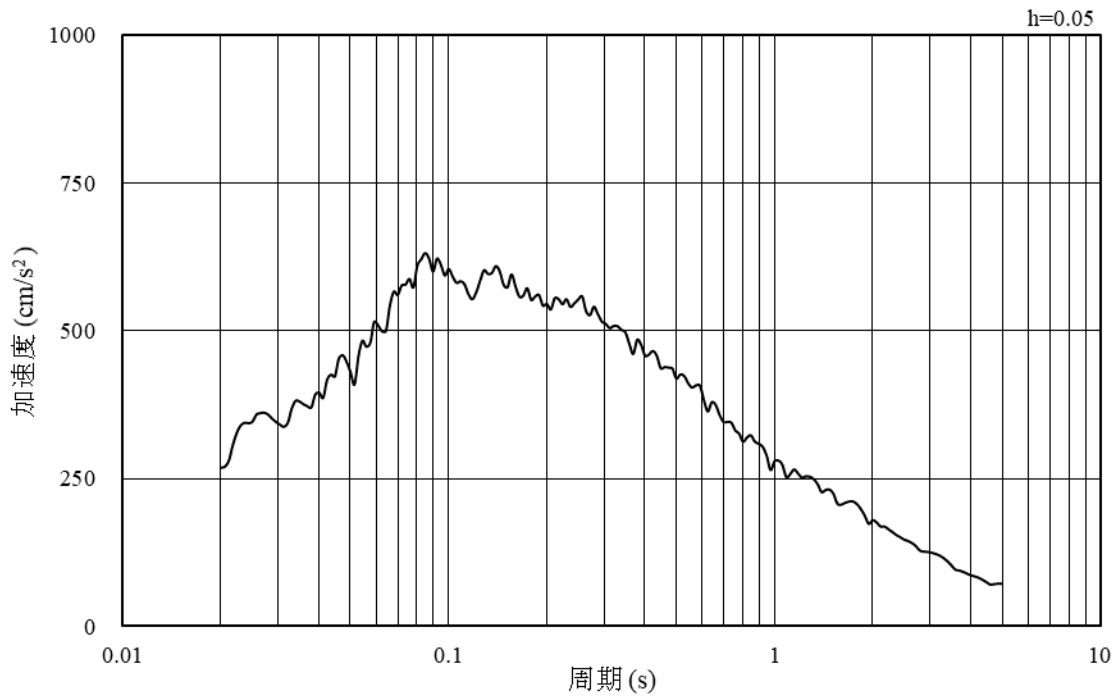


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-45 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(南北方向, 水平成分: S d - D)

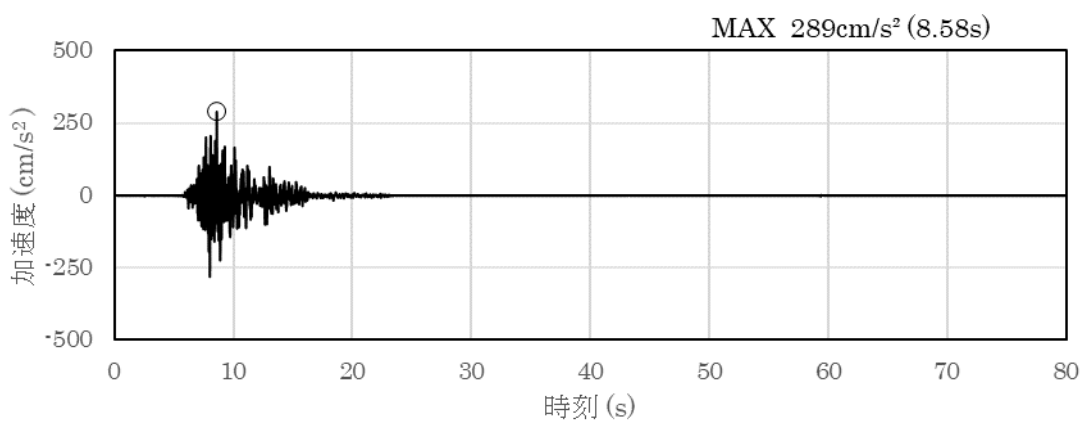


(a) 加速度時刻歴波形

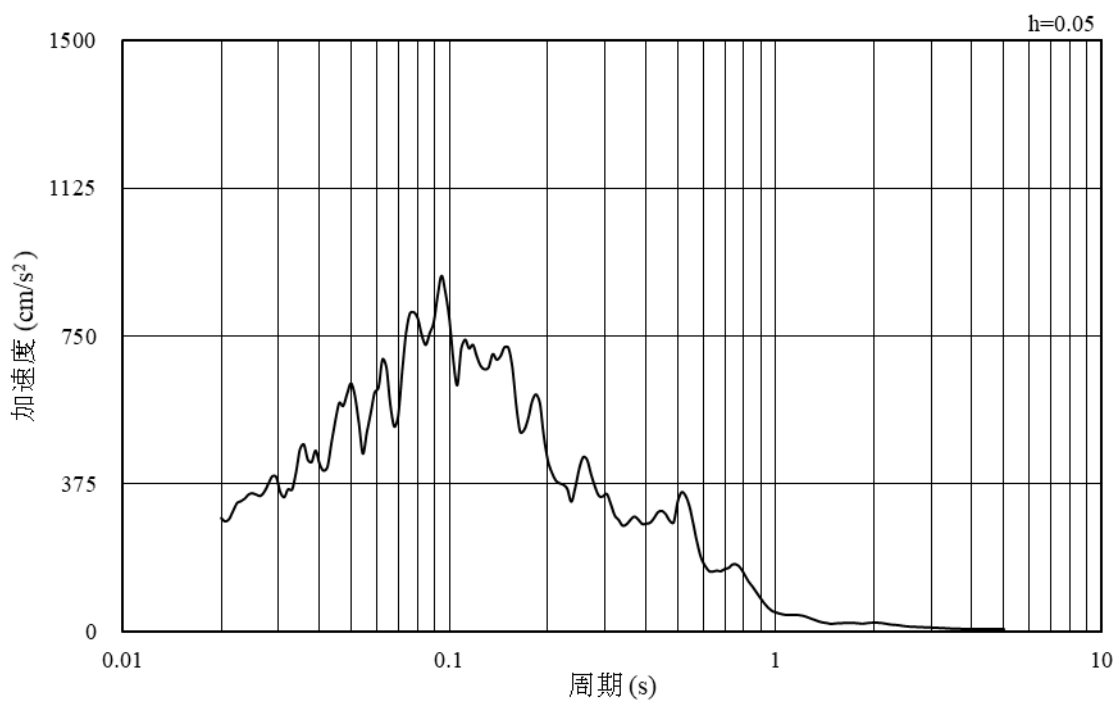


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-46 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(南北方向, 鉛直成分: S d - D)

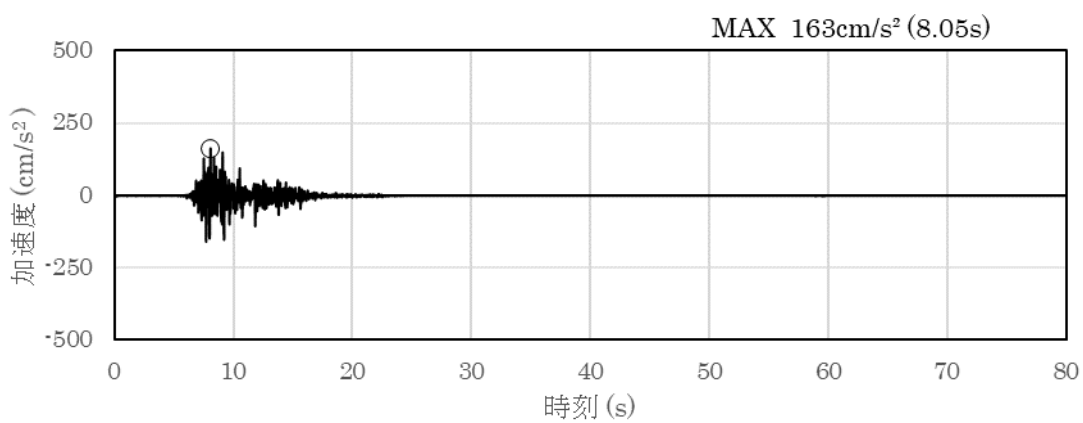


(a) 加速度時刻歴波形

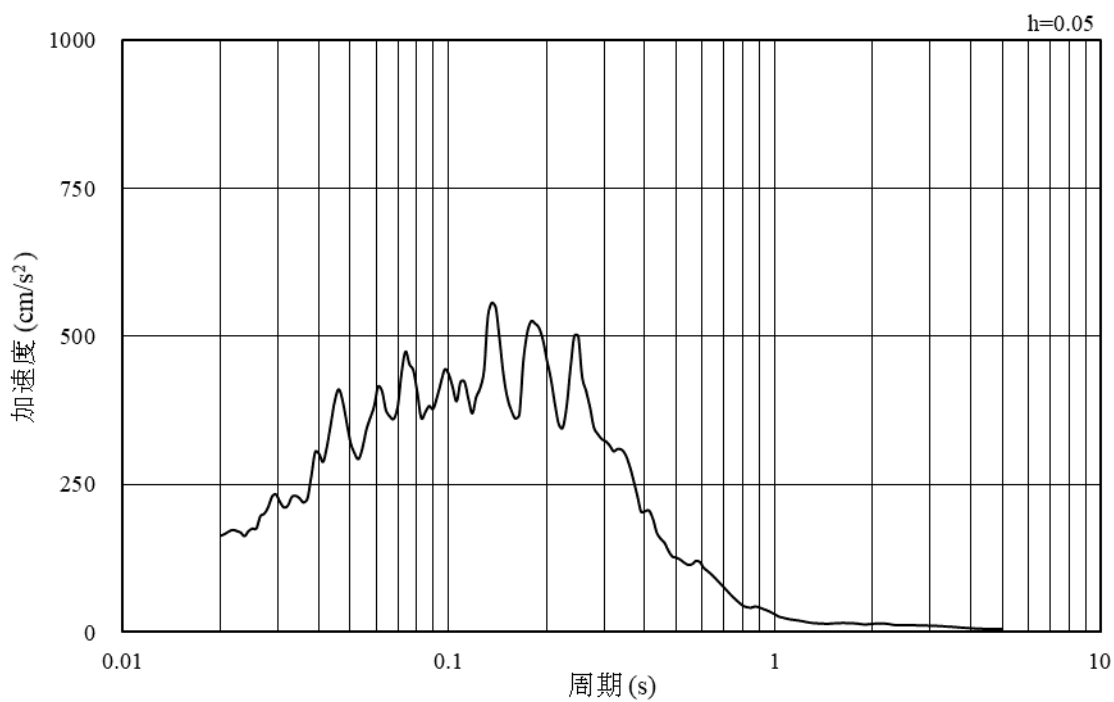


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-47 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(南北方向, 水平成分: S d - F 1)

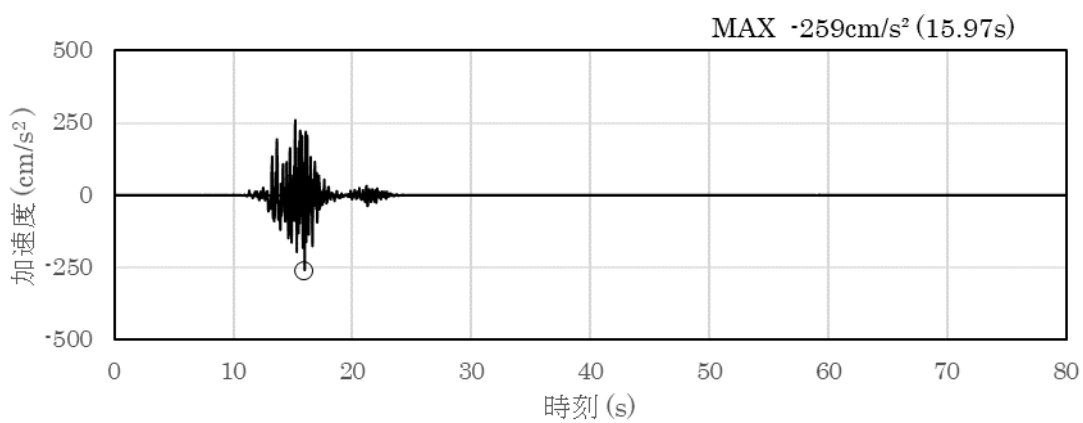


(a) 加速度時刻歴波形

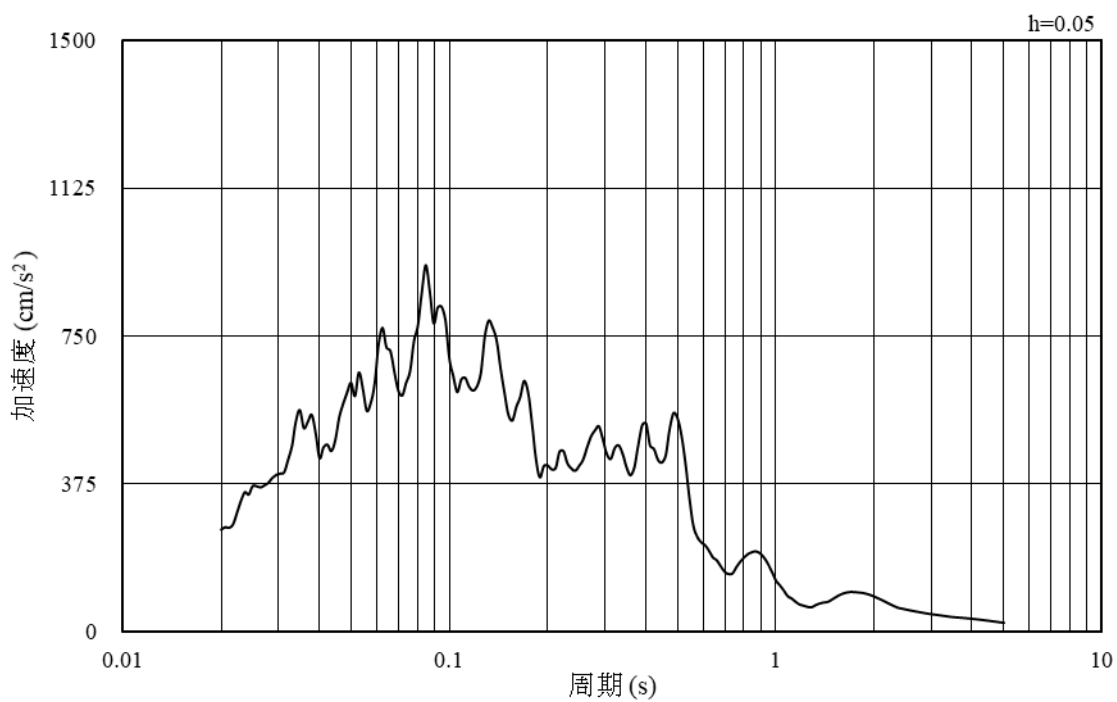


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-48 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(南北方向, 鉛直成分: S d - F 1)

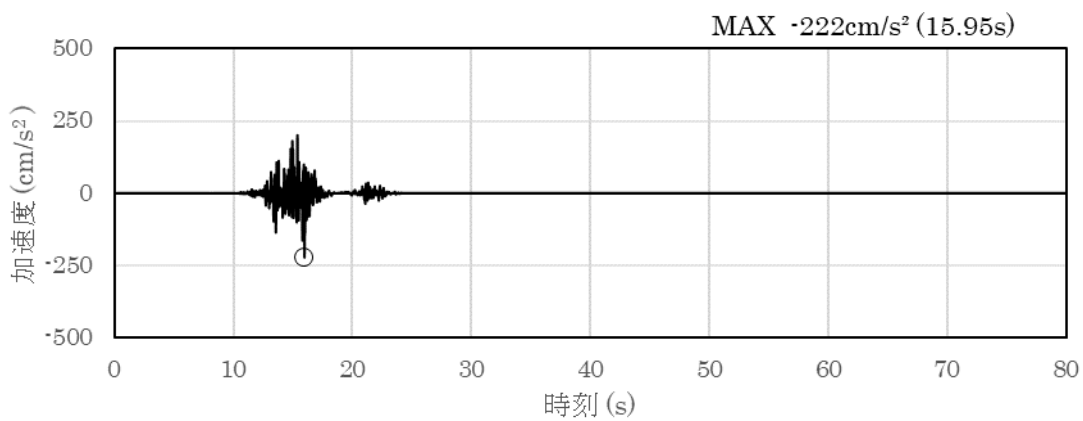


(a) 加速度時刻歴波形

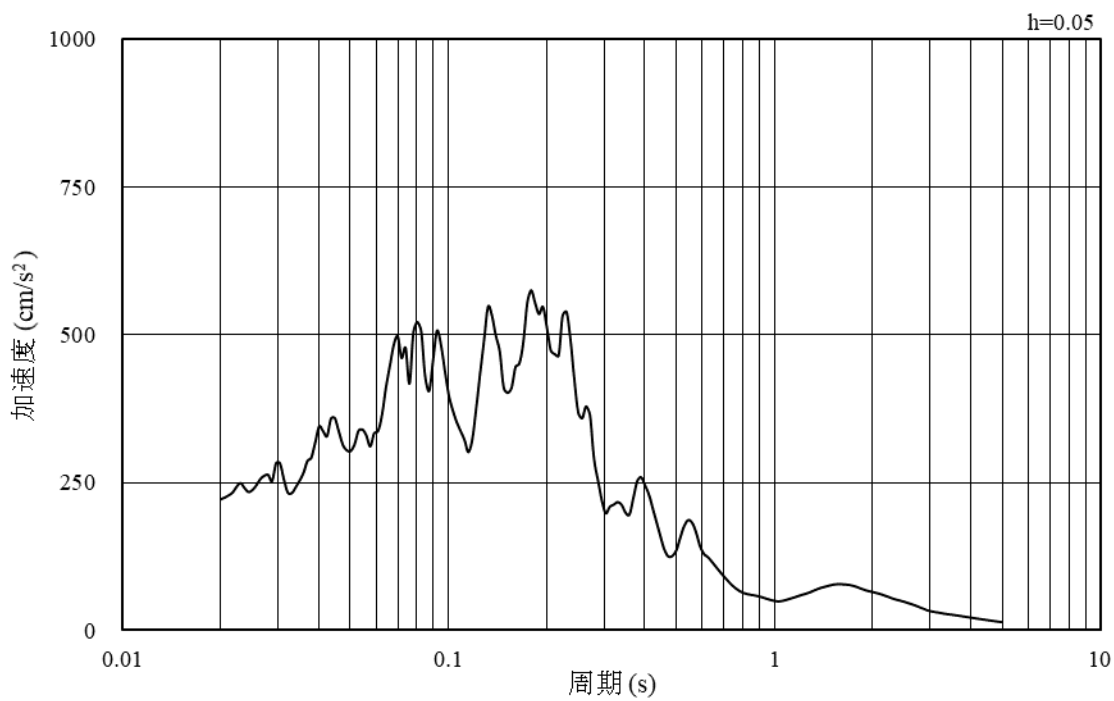


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-49 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(南北方向, 水平成分: S d - F 2)

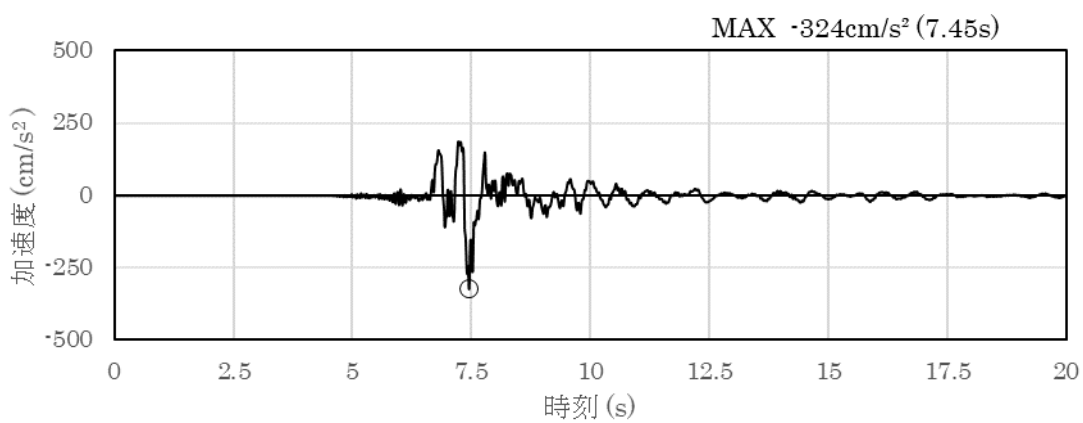


(a) 加速度時刻歴波形

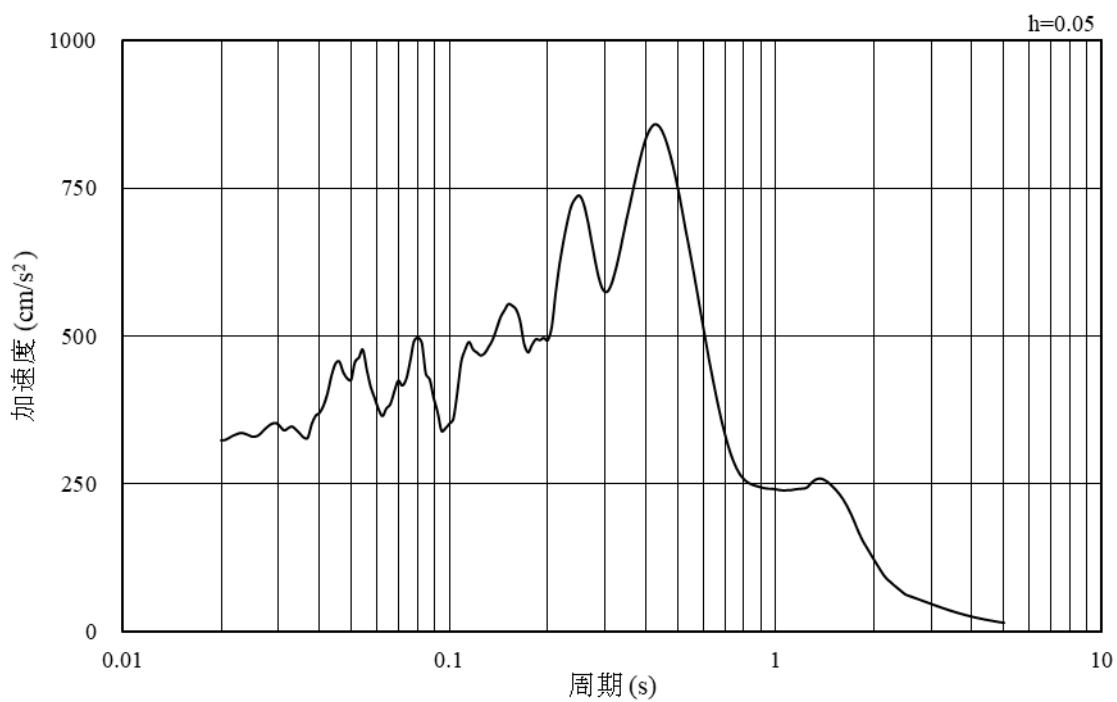


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-50 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(南北方向, 鉛直成分: S d - F 2)

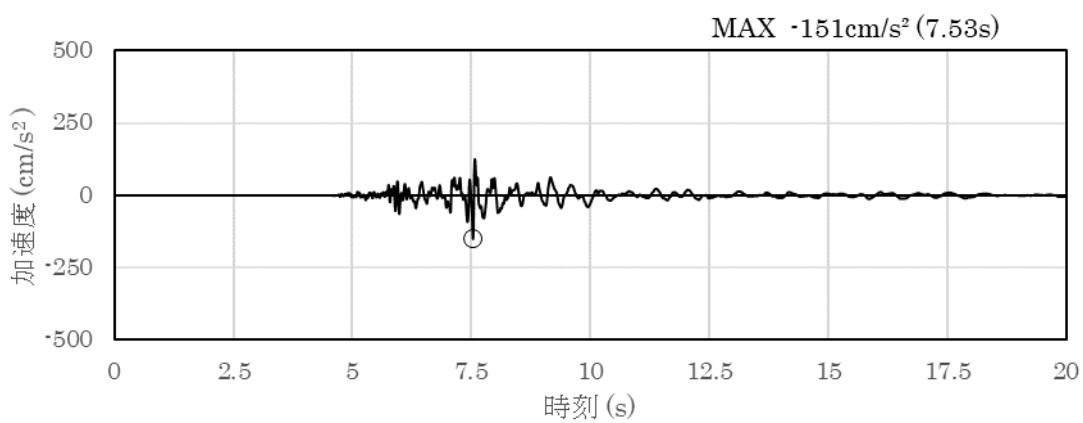


(a) 加速度時刻歴波形

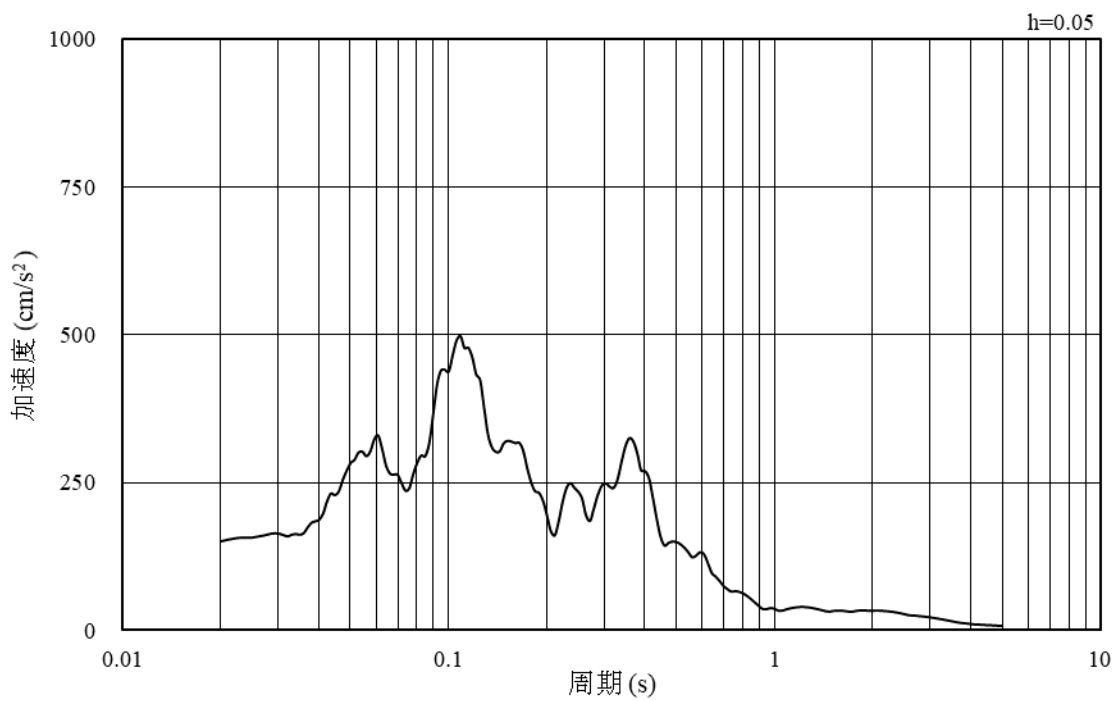


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-51 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(南北方向, 水平成分: S d - N 1)

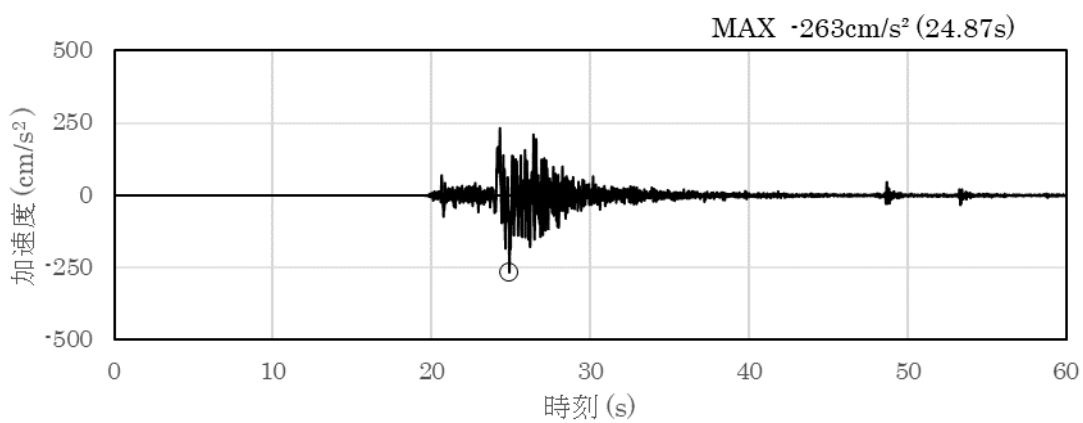


(a) 加速度時刻歴波形

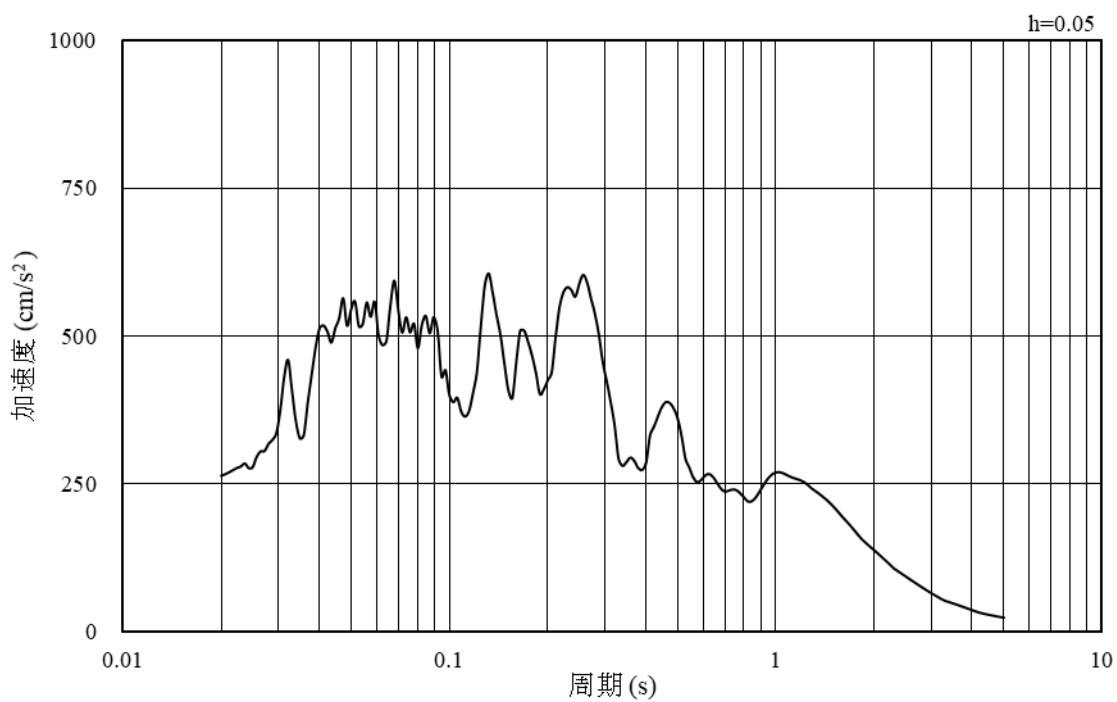


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-52 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(南北方向, 鉛直成分: S d - N 1)

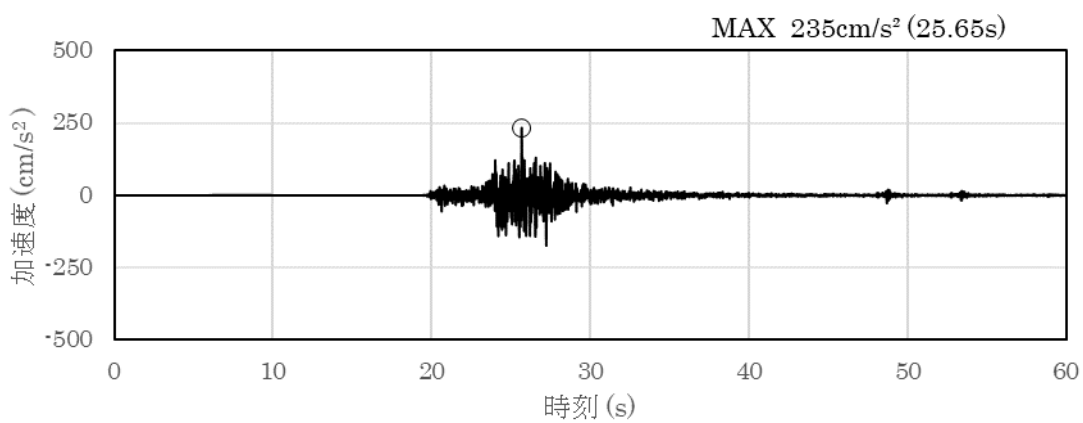


(a) 加速度時刻歴波形

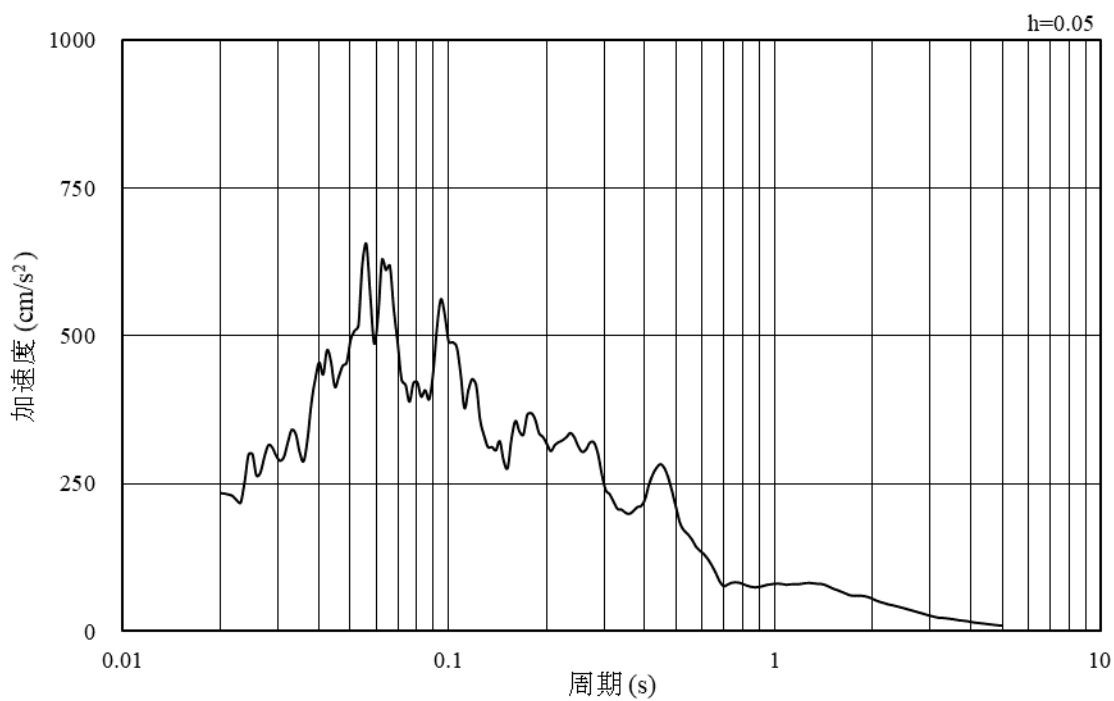


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-53 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(南北方向, 水平成分: S d - N 2 (N S))

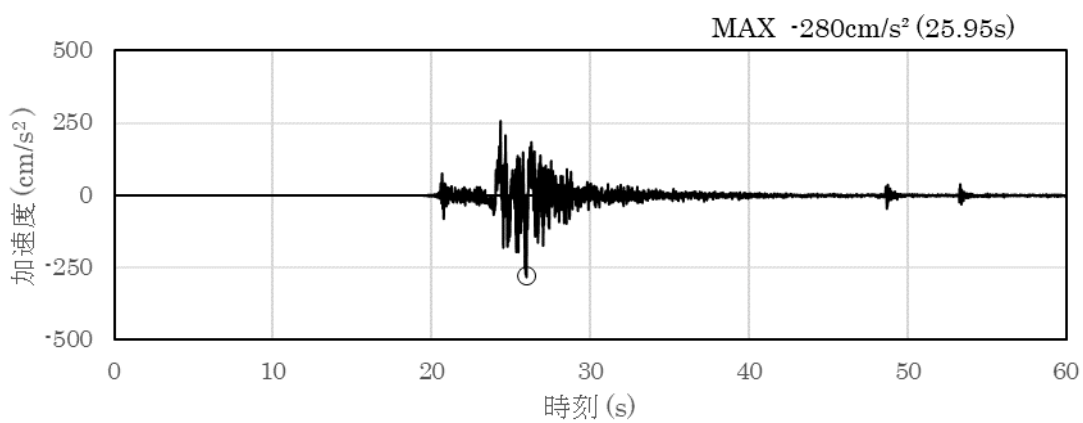


(a) 加速度時刻歴波形

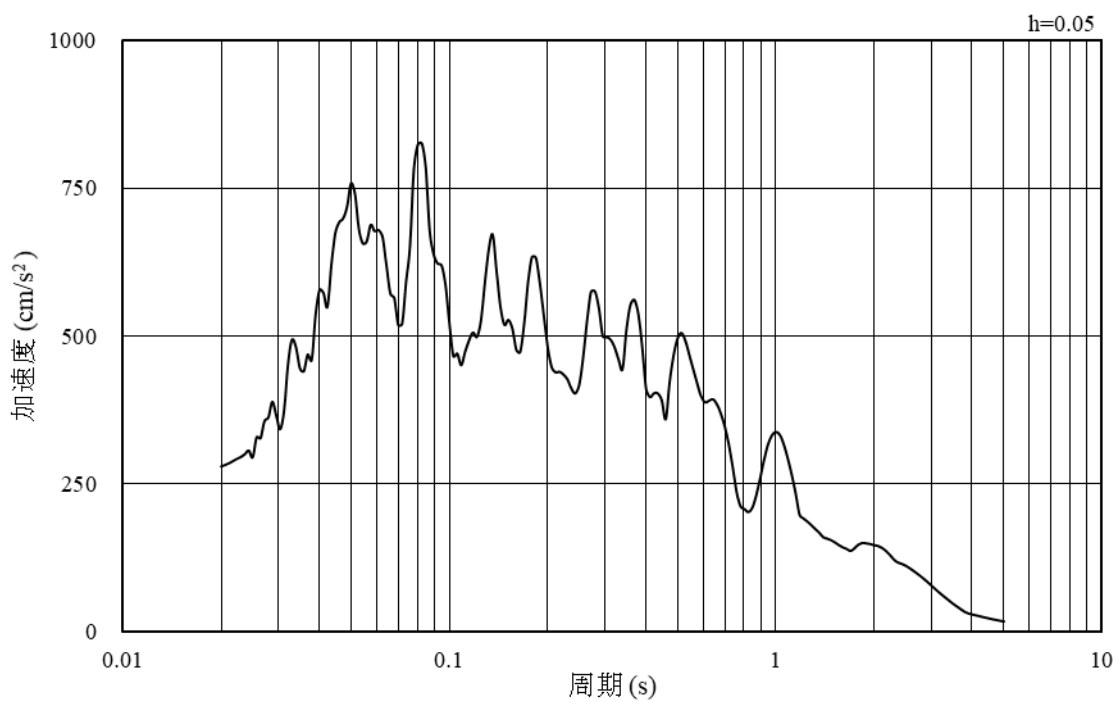


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-54 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(南北方向, 鉛直成分: S d - N 2 (N S))

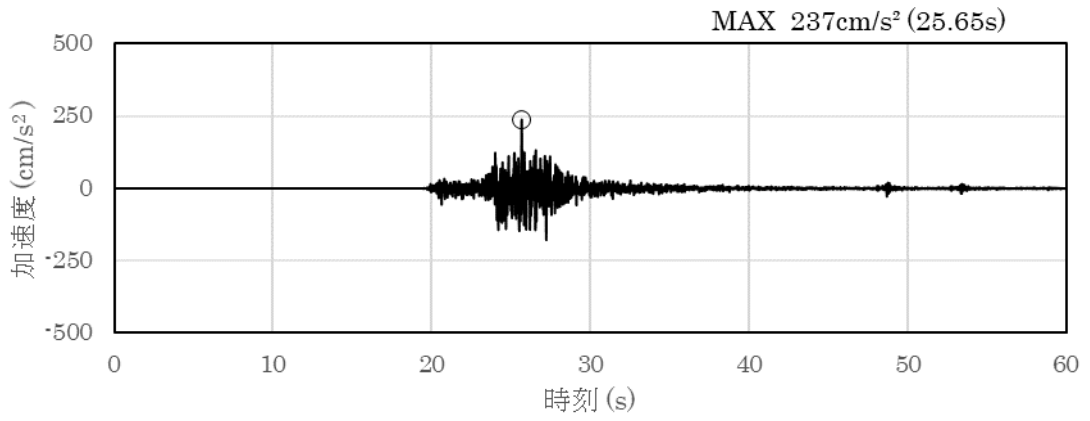


(a) 加速度時刻歴波形

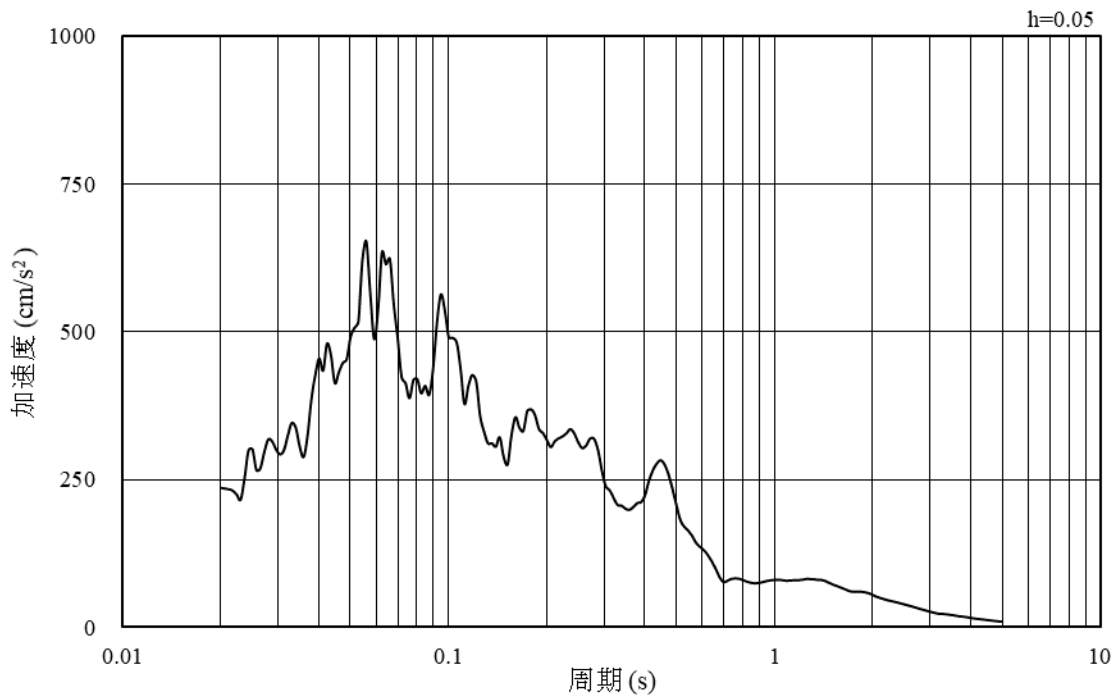


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-55 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(南北方向, 水平成分: S d - N 2 (E W))

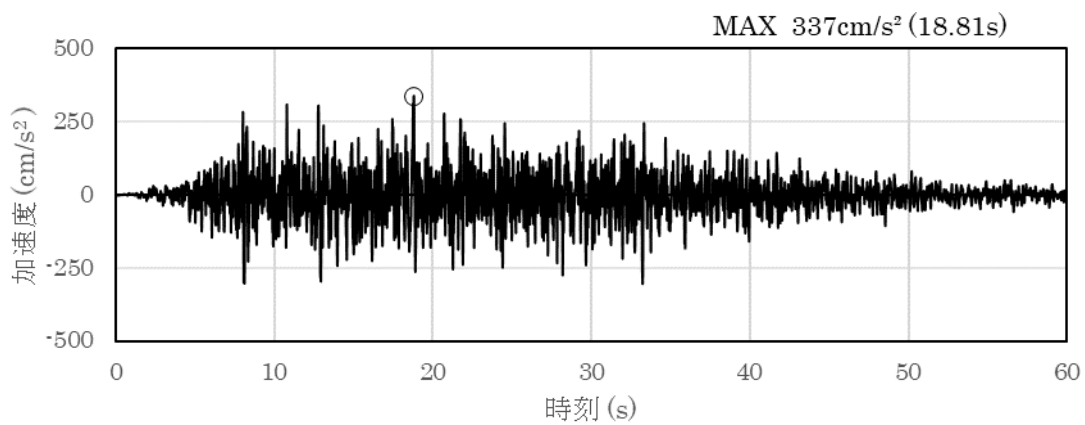


(a) 加速度時刻歴波形

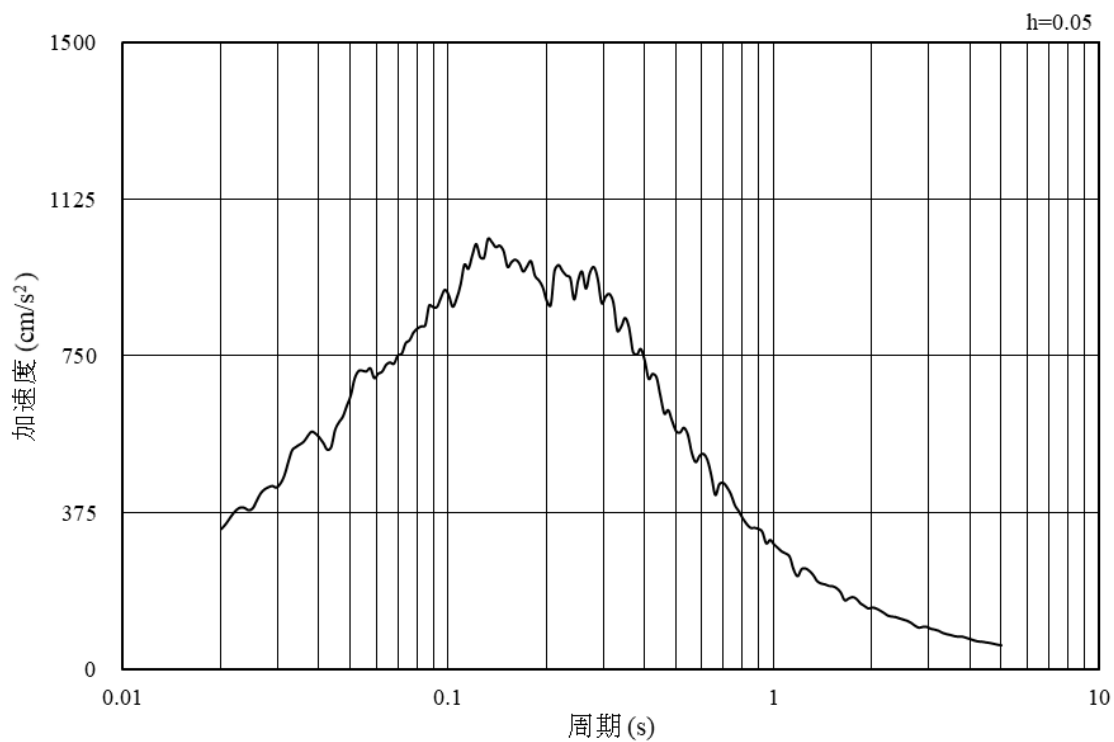


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-56 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(南北方向, 鉛直成分: S d - N 2 (E W))

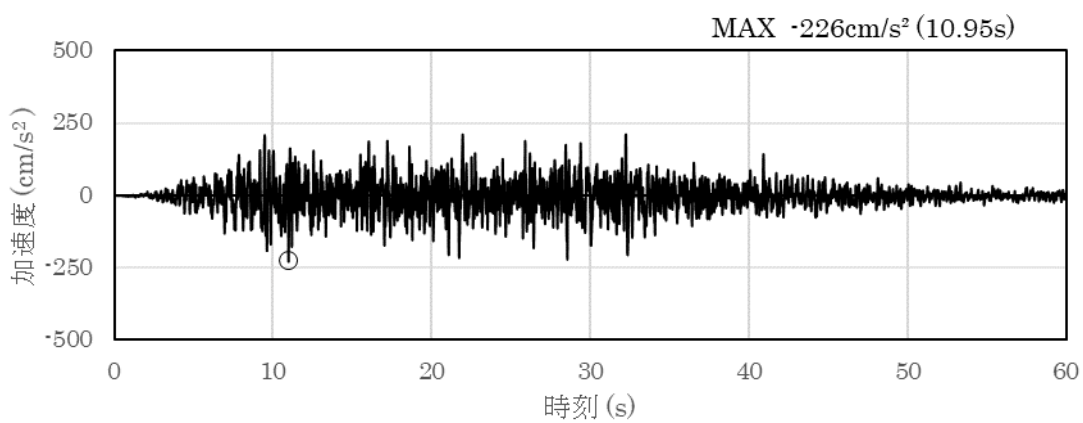


(a) 加速度時刻歴波形

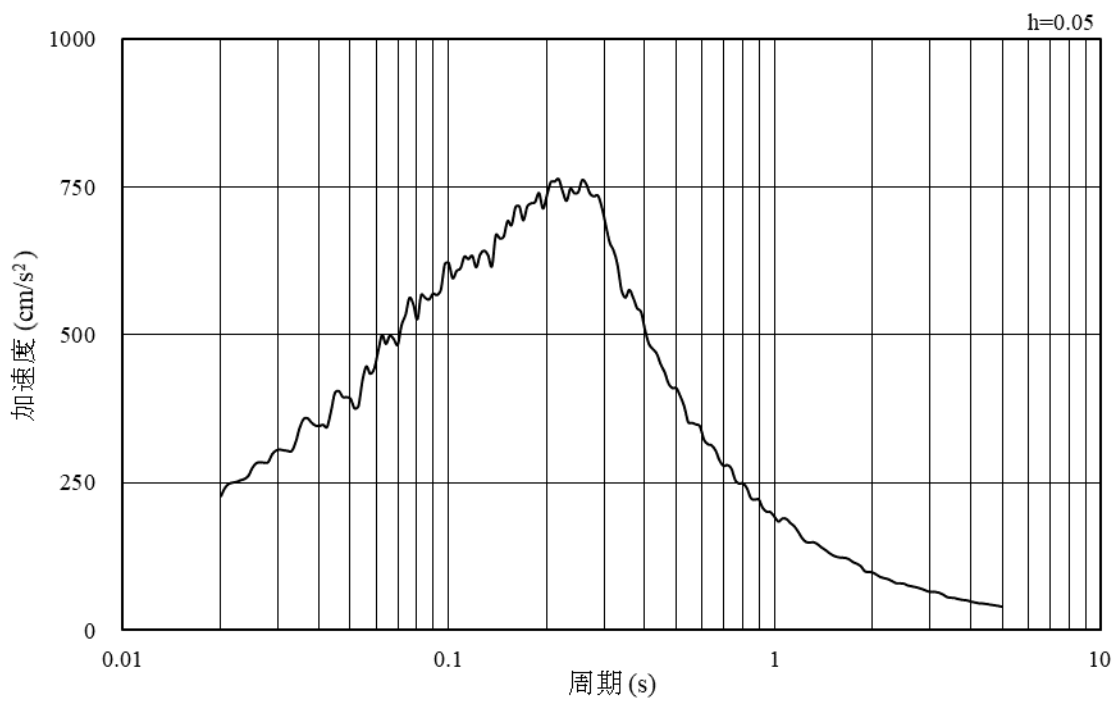


(b) 加速度応答スペクトル

図 3-57 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(南北方向, 水平成分: S d - 1)



(a) 加速度時刻歴波形



(b) 加速度応答スペクトル

図 3-58 入力地震動の加速度時刻歴波形及び加速度応答スペクトル
(南北方向, 鉛直成分: S d - 1)

3.5 解析モデル及び諸元

3.5.1 解析モデル

取水槽の地震応答解析モデルを図 3-59～図 3-62 に示す。

(1) 解析領域

解析領域は、側方境界及び底面境界が構造物の応答に影響しないよう、構造物と側方境界及び底面境界との距離を十分に大きく設定する。

(2) 境界条件

解析領域の側方及び底面には、エネルギーの逸散効果を考慮するため、粘性境界を設ける。

(3) 構造物のモデル化

等価な剛性を有する 2 次元等価剛性モデルを作成して実施することとし、構造部材については、線形はり要素及び平面応力要素によりモデル化する。

機器・配管荷重は解析モデルに付加質量として与えることで考慮する。

(4) 地盤のモデル化

岩盤及びマンメイドロック（以下「MMR」という。）は線形の平面ひずみ要素でモデル化する。また、埋戻土及び改良地盤は、地盤の非線形性を考慮した平面ひずみ要素でモデル化する。

(5) 隣接構造物のモデル化

D-D 断面の解析モデル範囲において隣接構造物となるタービン建物は、等価剛性として線形の平面ひずみ要素としてモデル化する。また、防波壁（多重鋼管杭式擁壁）は、線形はり要素でモデル化する。

(6) ジョイント要素の設定

地震時の「地盤と構造物等」との接合面における接触、剥離及びすべりを考慮するため、これらの接合面にジョイント要素を設定する。

(7) 水位条件

取水槽の内水位は、朔望平均干潮位からポンプ通常運転時の水位低下を加味した EL-0.30m とする。

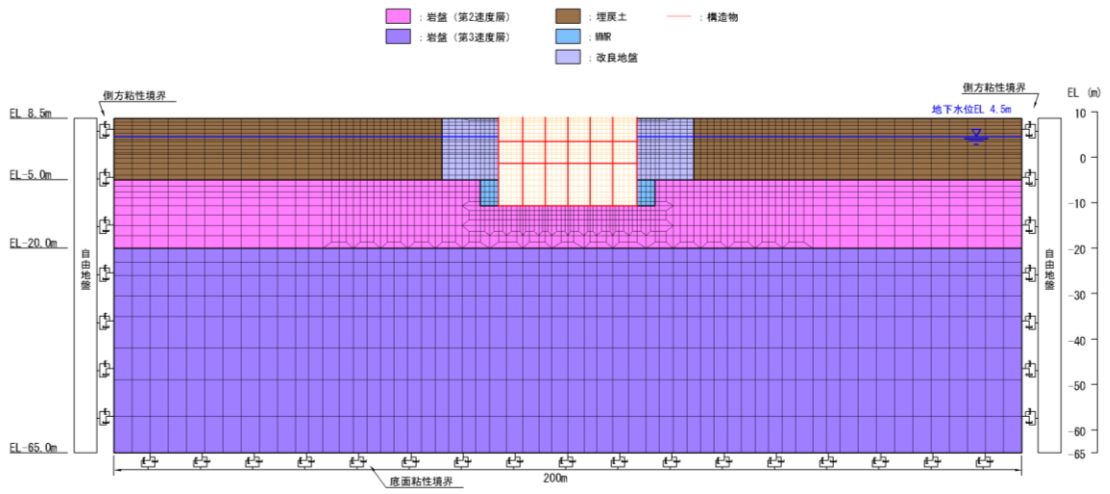


図 3-59 取水槽 地震応答解析モデル図 (A-A断面)

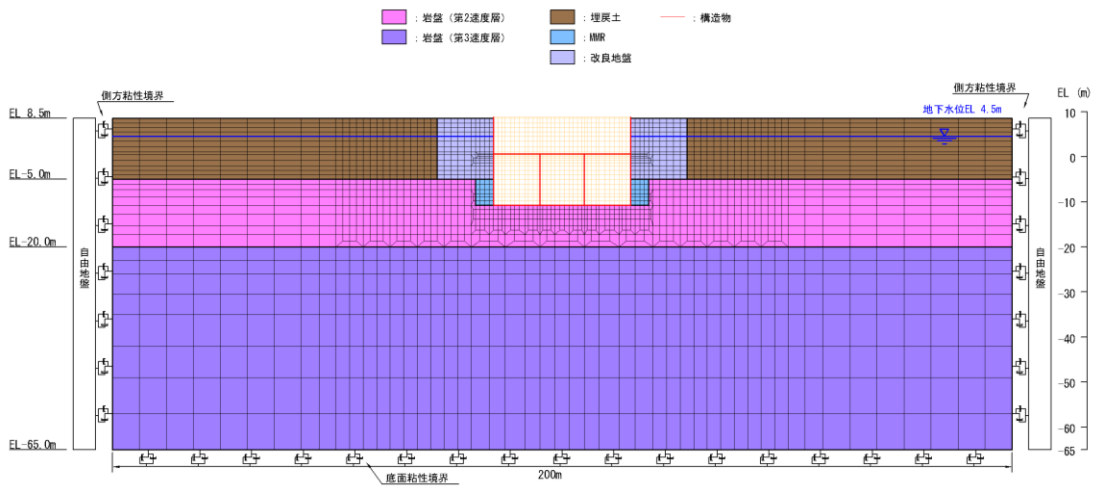


図 3-60 取水槽 地震応答解析モデル図 (B-B断面)

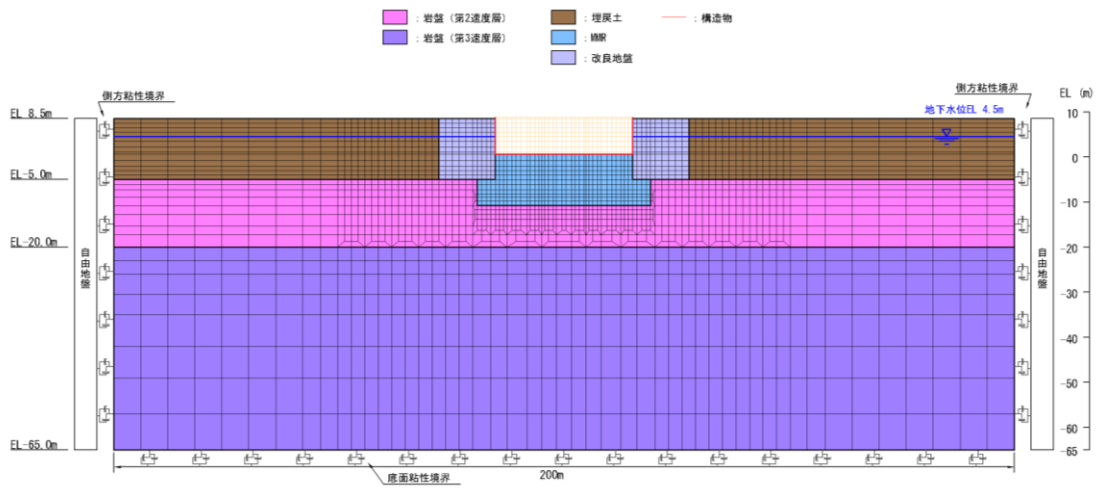


図 3-61 取水槽 地震応答解析モデル図 (C-C断面)

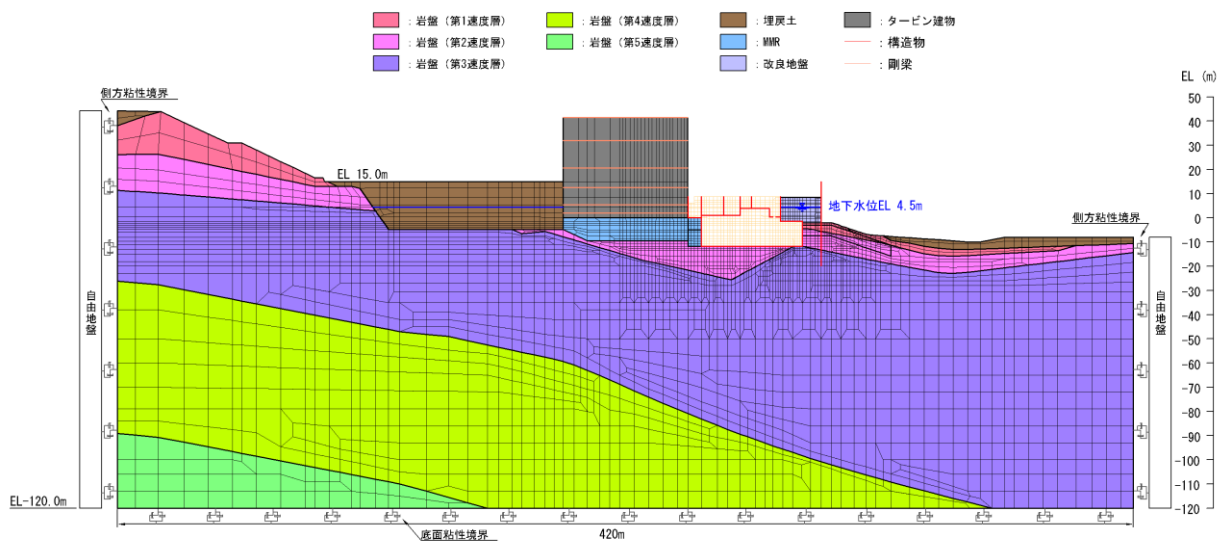


図 3-62 取水槽 地震応答解析モデル図 (D-D断面)

3.5.2 使用材料及び材料の物性値

構造物の使用材料を表 3-12 に、材料の物性値を表 3-13 に示す。

表 3-12 使用材料

材料		仕様
コンクリート	底版, 側壁, 隔壁, 妻壁*, 導流壁, 中床版*	設計基準強度 23.5 N/mm ²
	分離壁, 控壁	設計基準強度 24.0 N/mm ²
鉄筋		SD345

注記* : 妻壁及び中床版の一部新設部材は、設計基準強度 24.0N/mm²である。

表 3-13 材料の物性値

材料	設計基準強度 (N/mm ²)	ヤング係数 (N/mm ²)	単位体積重量 (kN/m ³)	ポアソン比
鉄筋コンクリート	23.5	2.475×10 ⁴	24.0	0.2
	24.0	2.500×10 ⁴	24.0	

3.5.3 地盤の物性値

地盤については、VI-2-1-3「地盤の支持性能に係る基本方針」にて設定している物性値を用いる。

3.5.4 地下水位

設計地下水位は、VI-2-1-3「地盤の支持性能に係る基本方針」に従い設定する。設計地下水位の一覧を表3-14に示す。

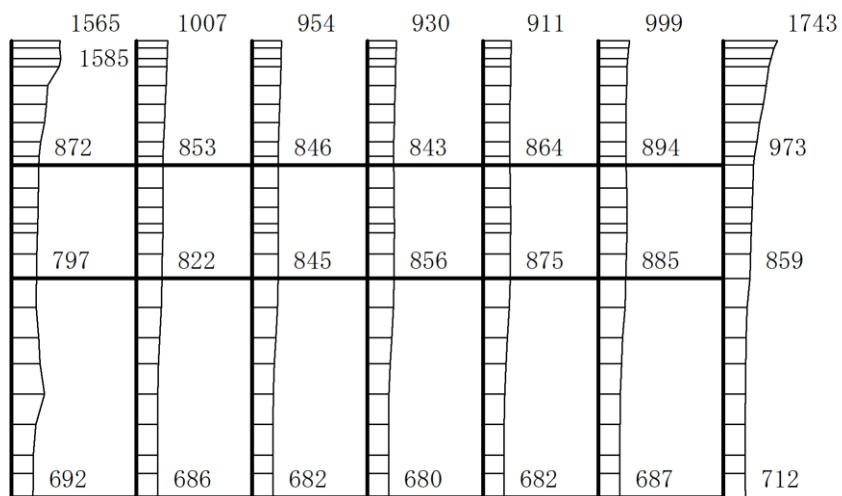
表3-14 設計用地下水位の一覧

施設名称	解析断面	設計地下水位 (EL m)
取水槽	A-A断面	4.50
	B-B断面	
	C-C断面	
	D-D断面	

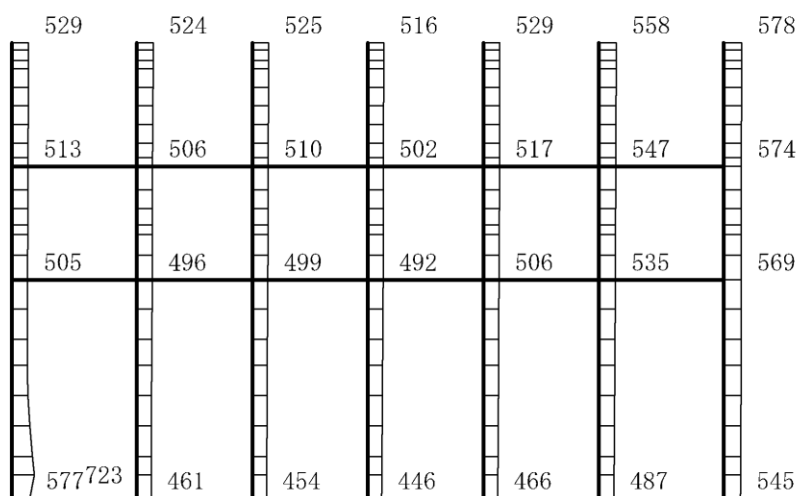
4. 解析結果

4.1 A-A断面の解析結果

耐震評価のために用いる応答加速度として、解析ケース①（基本ケース）について、すべての基準地震動 S_s に対する最大加速度分布図を図 4-1～図 4-12 に示す。また、解析ケース①において、照査項目ごとに照査値が 0.5 を超えるケースで照査値が最大となる地震動について、解析ケース②～⑤の最大加速度分布図を図 4-13～図 4-20 に示す。さらに、機器・配管系に対する応答加速度抽出のための解析ケース②、③及び⑤のすべての基準地震動 S_s に対する最大加速度分布図を図 4-21～図 4-56 に示す。これらに加え、解析ケース①～③及び⑤のすべての弾性設計用地震動 S_d に対する最大加速度分布図を図 4-57～図 4-120 に示す。



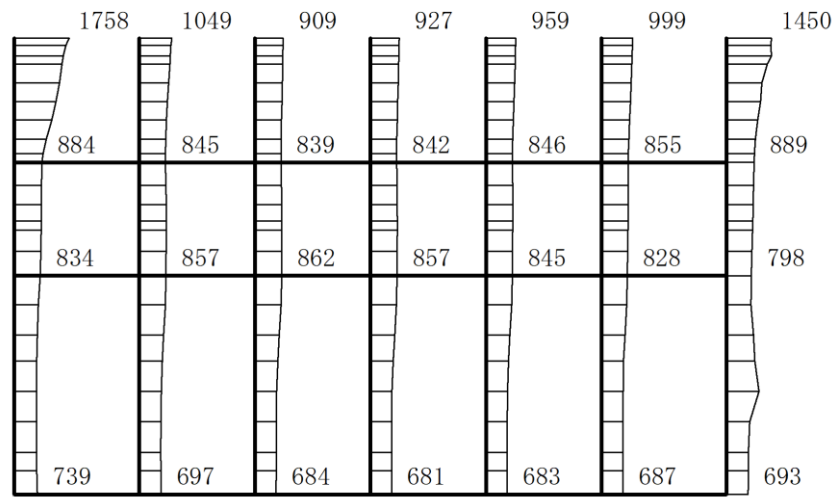
(a) S s - D (++) 水平



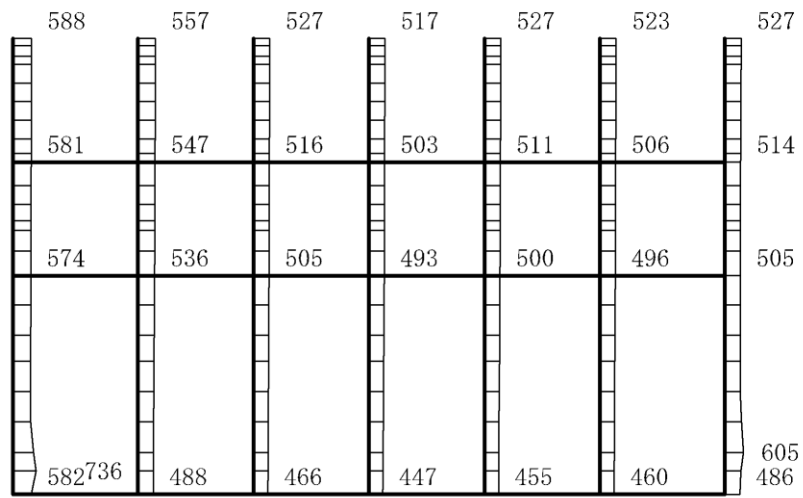
(b) S s - D (++) 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(m)$ 応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-1 最大応答加速度分布図(1/120) (解析ケース①)



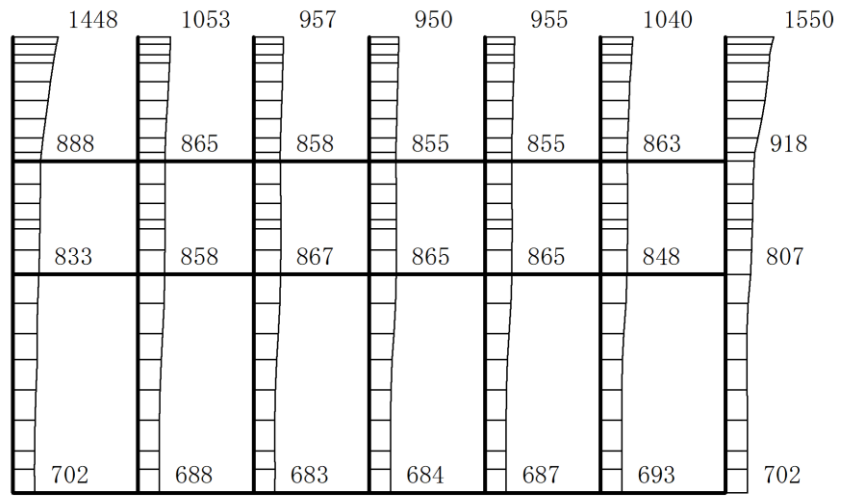
(a) S s - D (-+) 水平



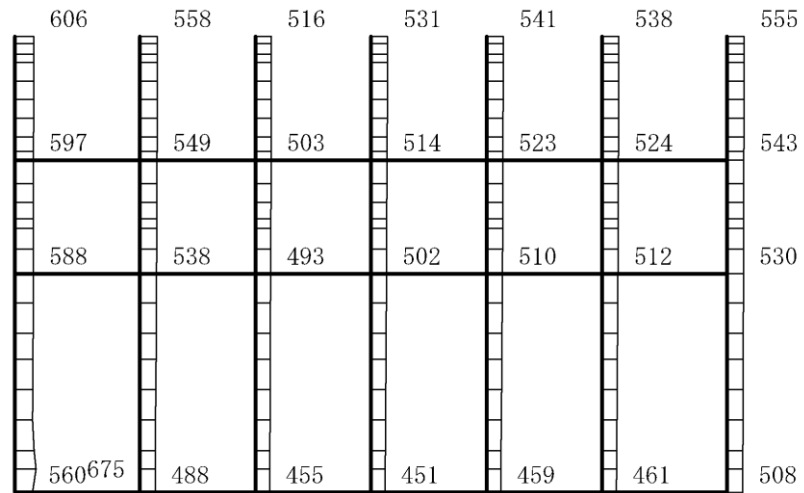
(b) S s - D (-+) 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(m)$ 応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-2 最大応答加速度分布図(2/120) (解析ケース①)



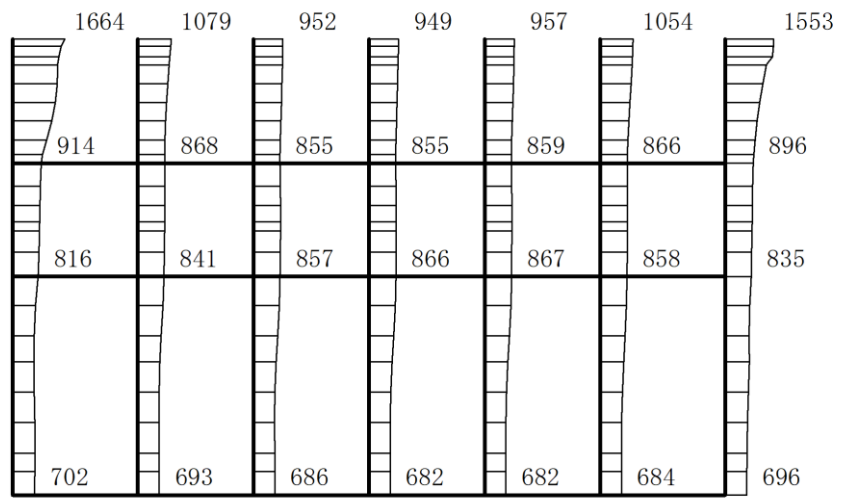
(a) S s - D (+-) 水平



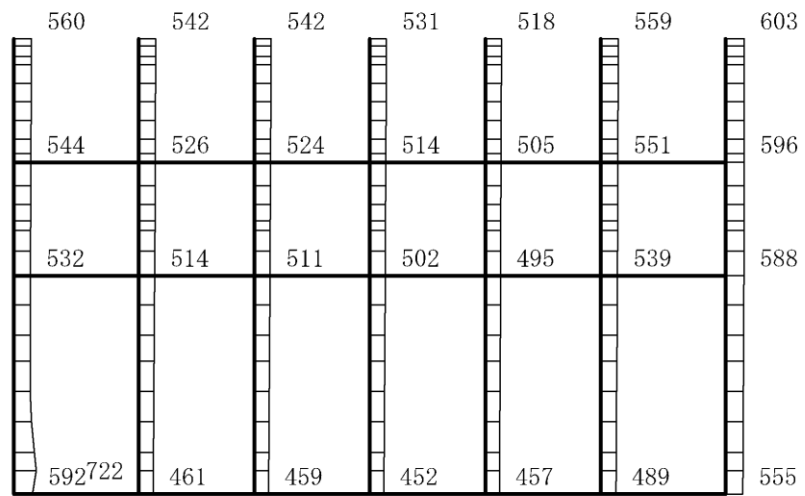
(b) S s - D (+-) 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(m)$ 応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-3 最大応答加速度分布図(3/120) (解析ケース①)



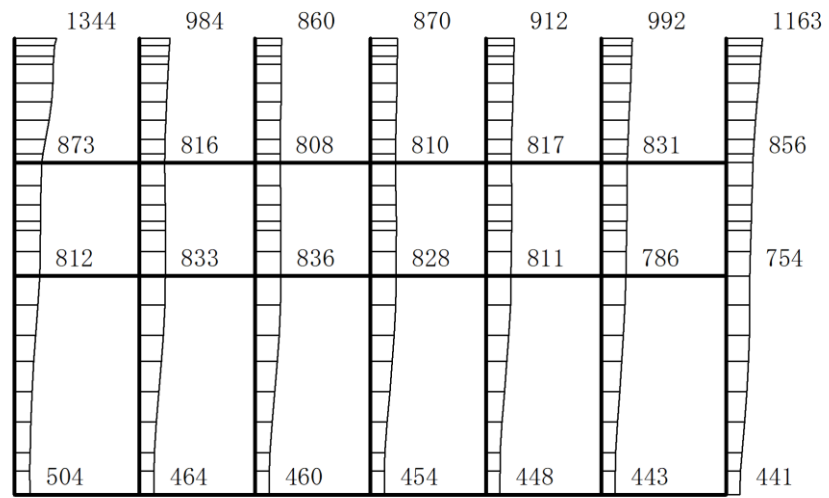
(a) S s - D (- -) 水平



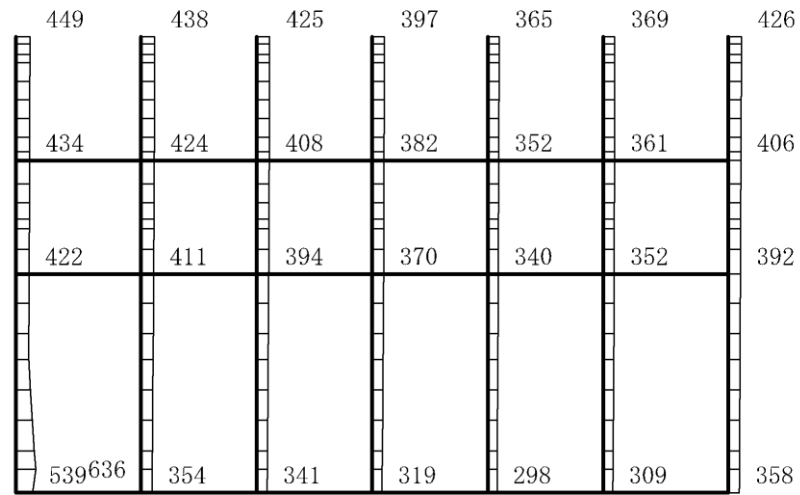
(b) S s - D (- -) 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(m)$ 応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-4 最大応答加速度分布図(4/120) (解析ケース①)



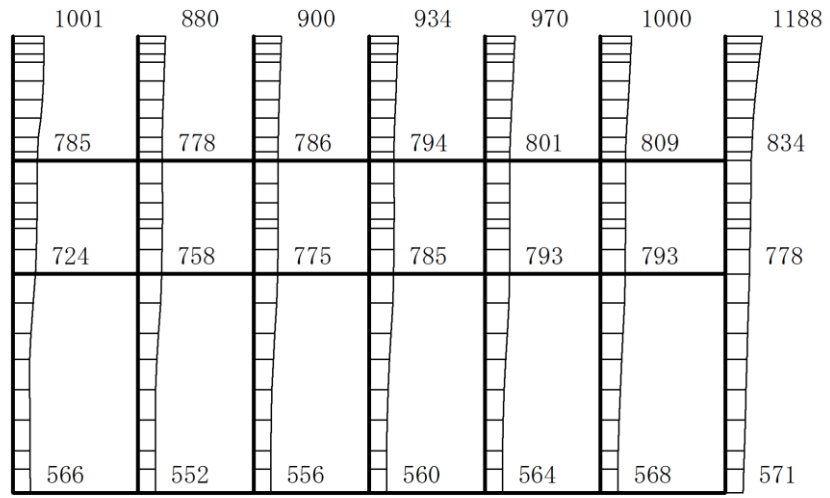
(a) S s - F 1 (++) 水平



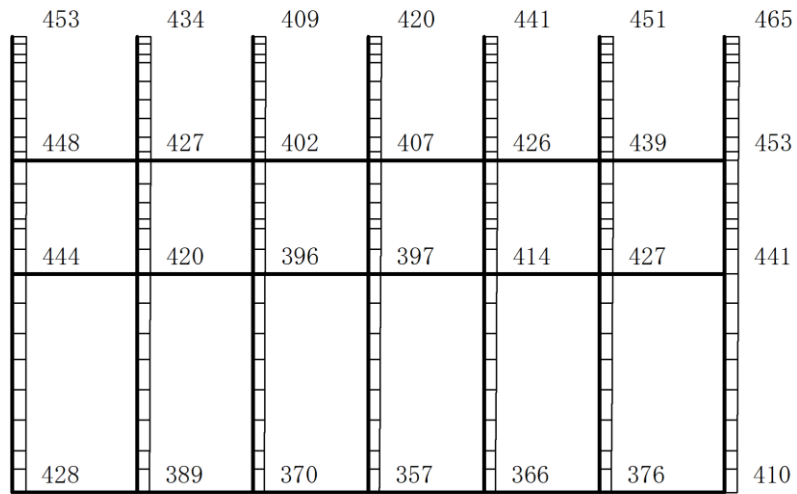
(b) S s - F 1 (++) 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(m)$ 応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-5 最大応答加速度分布図(5/120) (解析ケース①)



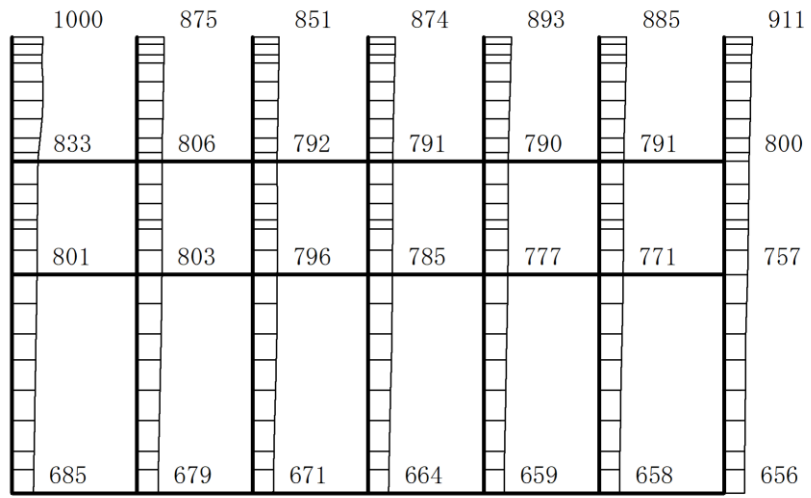
(a) S_s-F₂(++) 水平



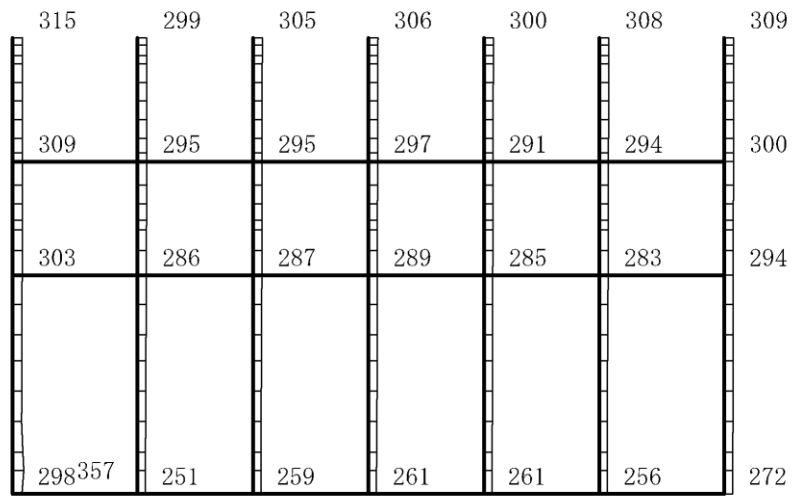
(b) S_s-F₂(++) 鉛直

構造スケール $0 \sim 2(m)$ 応答値スケール $0 \sim 1500 (cm/s^2)$

図 4-6 最大応答加速度分布図(6/120) (解析ケース①)



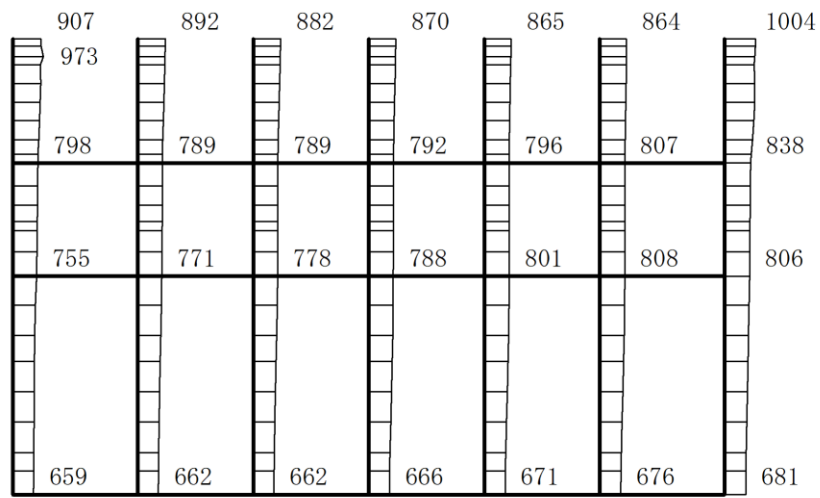
(a) $S_s - N1$ (++) 水平



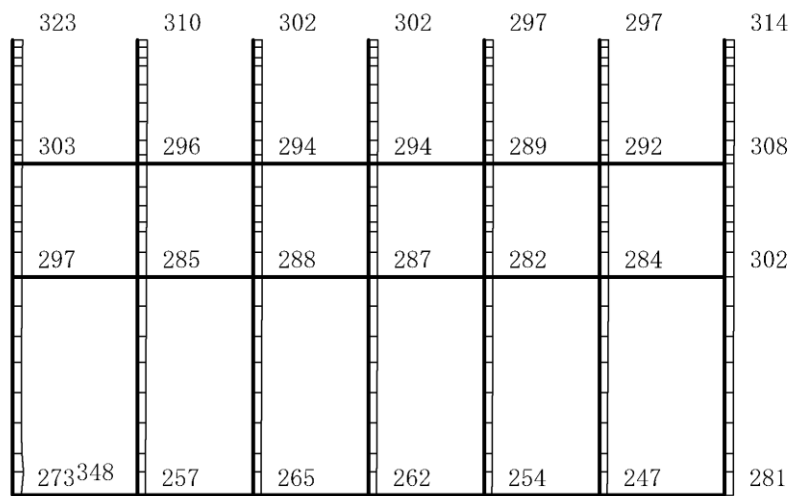
(b) $S_s - N1$ (++) 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(m)$ 応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-7 最大応答加速度分布図(7/120) (解析ケース①)



(a) S_s-N1 (-+) 水平

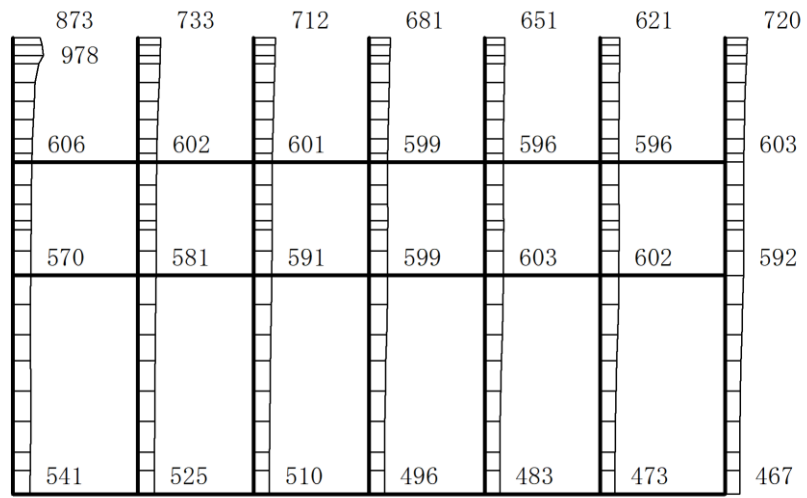


(b) S_s-N1 (-+) 鉛直

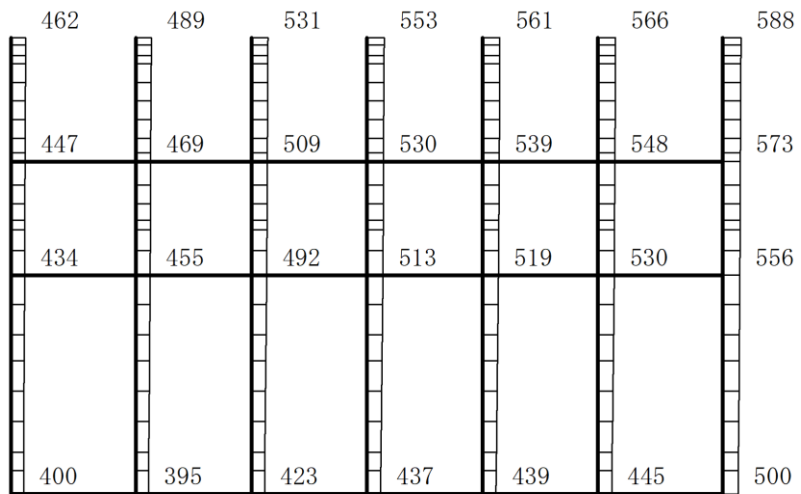
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-8 最大応答加速度分布図(8/120) (解析ケース①)



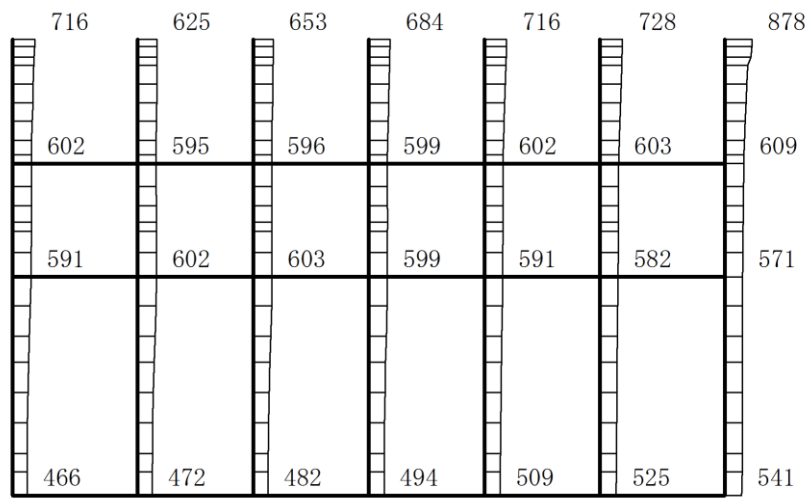
(a) $S_s - N2(N S) (++)$ 水平



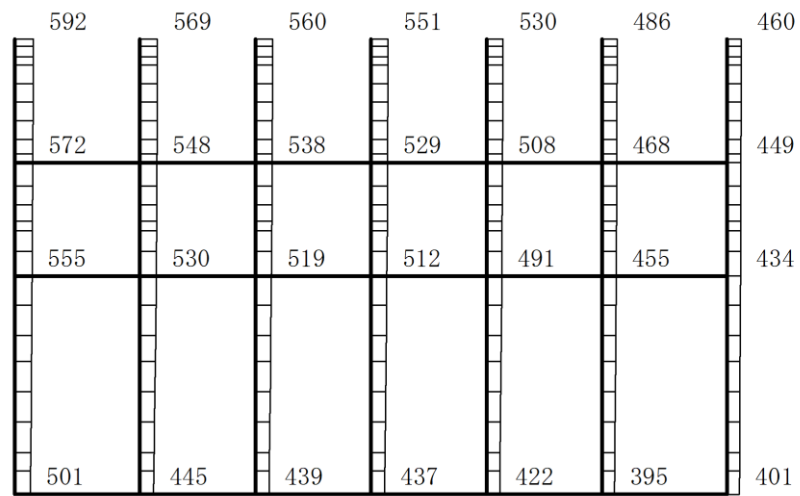
(b) $S_s - N2(N S) (++)$ 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(m)$ 応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-9 最大応答加速度分布図(9/120) (解析ケース①)



(a) $S_s - N2(N S) (-+)$ 水平

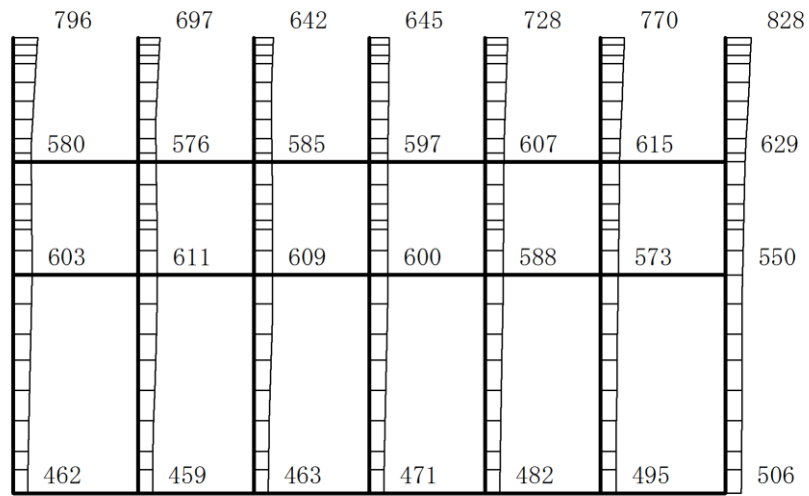


(b) $S_s - N2(N S) (-+)$ 鉛直

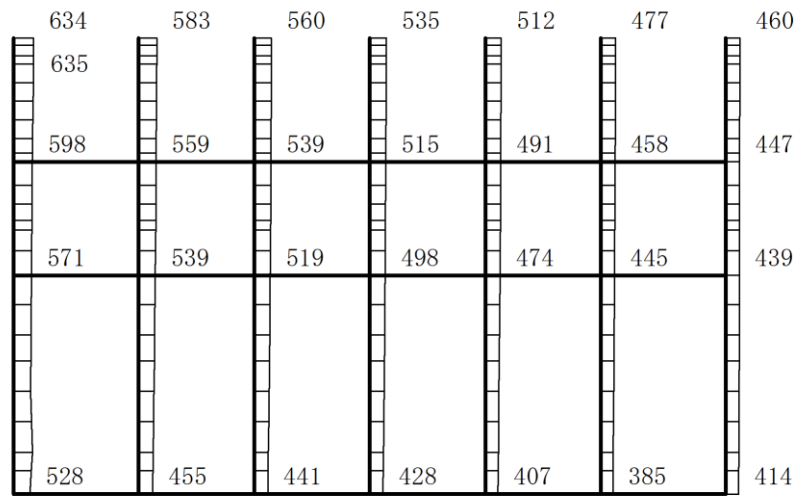
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-10 最大応答加速度分布図(10/120) (解析ケース①)



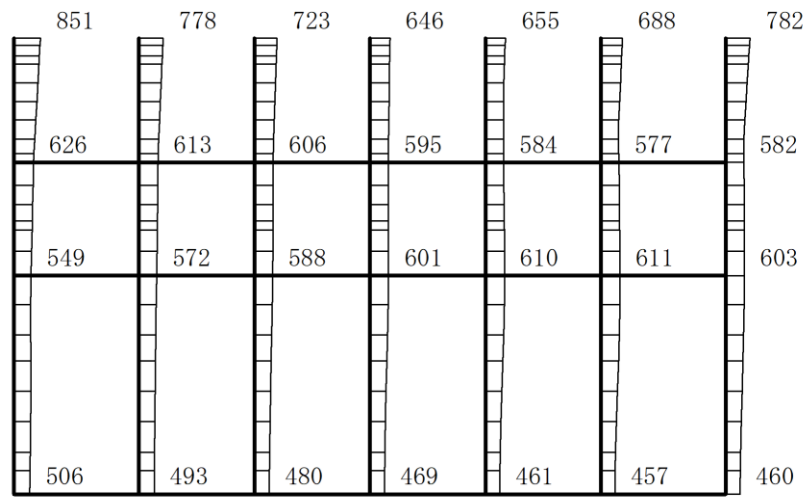
(a) S s - N 2 (E W) (++) 水平



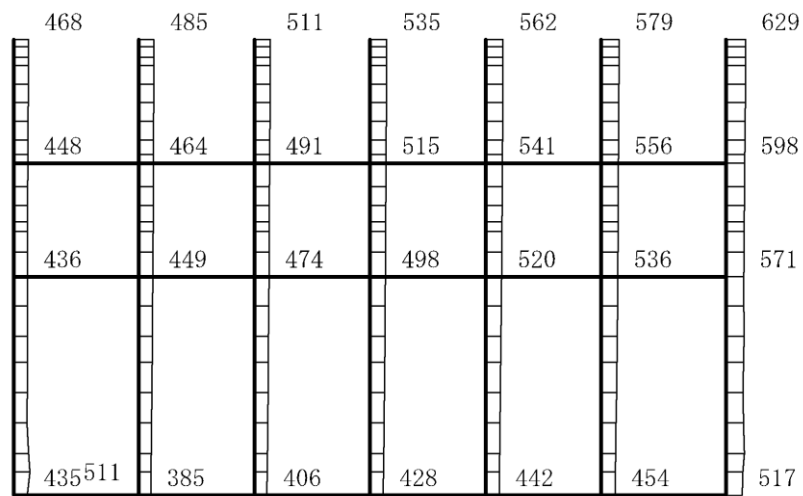
(b) S s - N 2 (E W) (++) 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(m)$ 応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-11 最大応答加速度分布図(11/120) (解析ケース①)



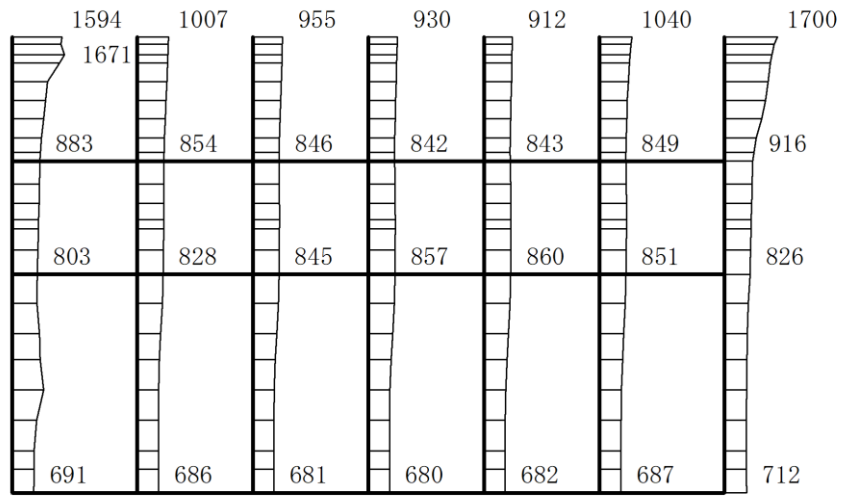
(a) S s - N 2 (E W) (-+) 水平



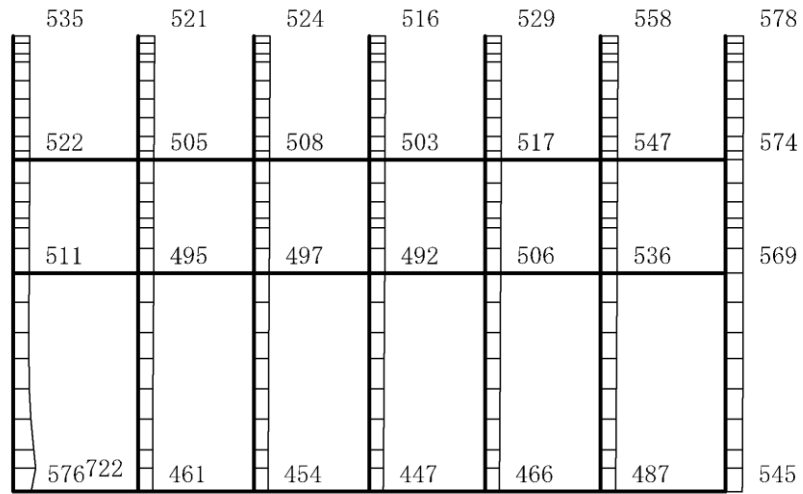
(b) S s - N 2 (E W) (-+) 鉛直

構造スケール $0 \sim 2(m)$ 応答値スケール $0 \sim 1500 (cm/s^2)$

図 4-12 最大応答加速度分布図(12/120) (解析ケース①)



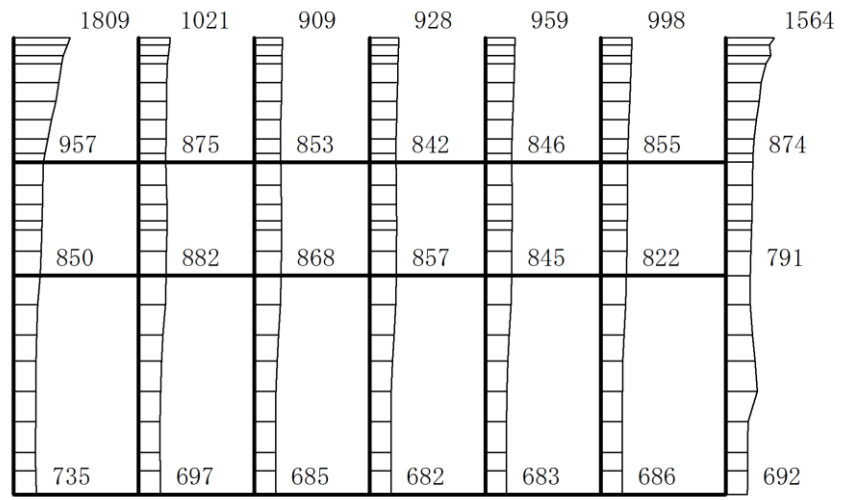
(a) S s - D (++) 水平



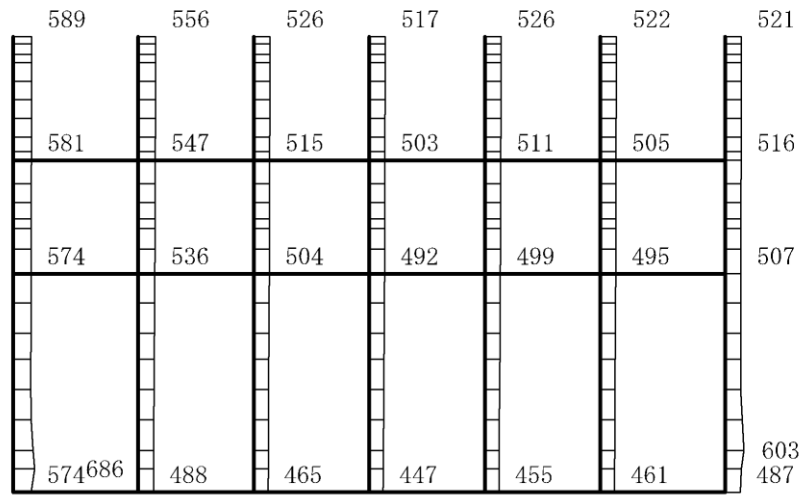
(b) S s - D (++) 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(m)$ 応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-13 最大応答加速度分布図(13/120) (解析ケース②)



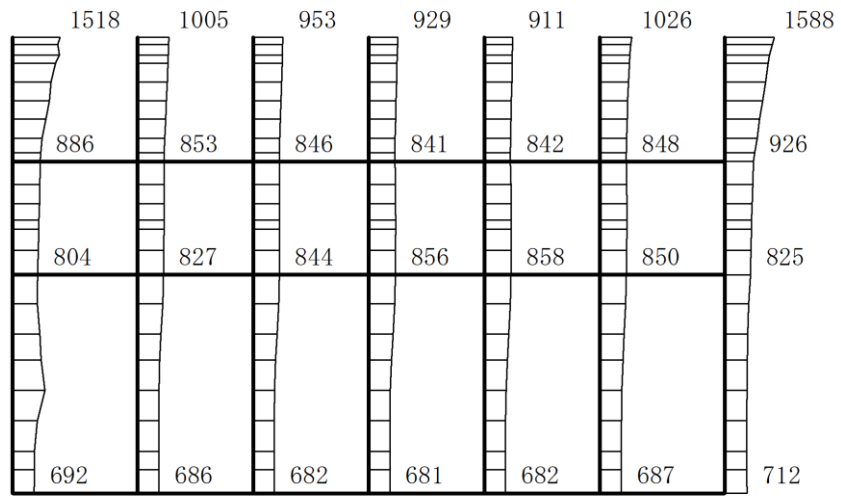
(a) S s - D (-+) 水平



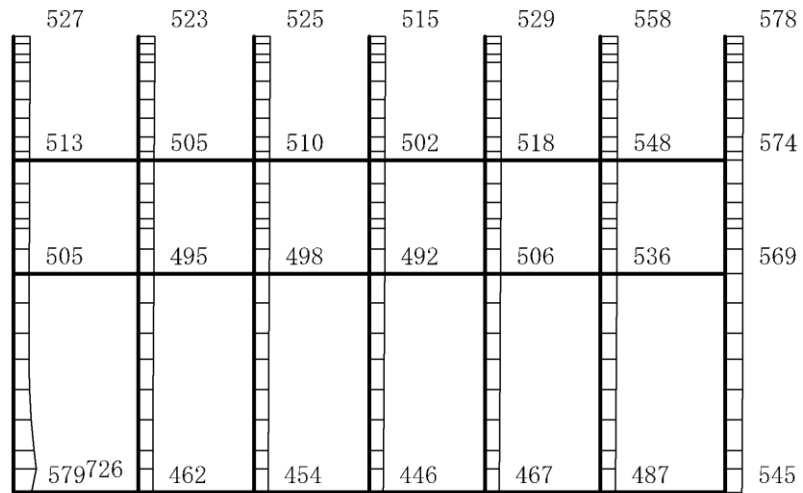
(b) S s - D (-+) 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(m)$ 応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-14 最大応答加速度分布図(14/120) (解析ケース②)



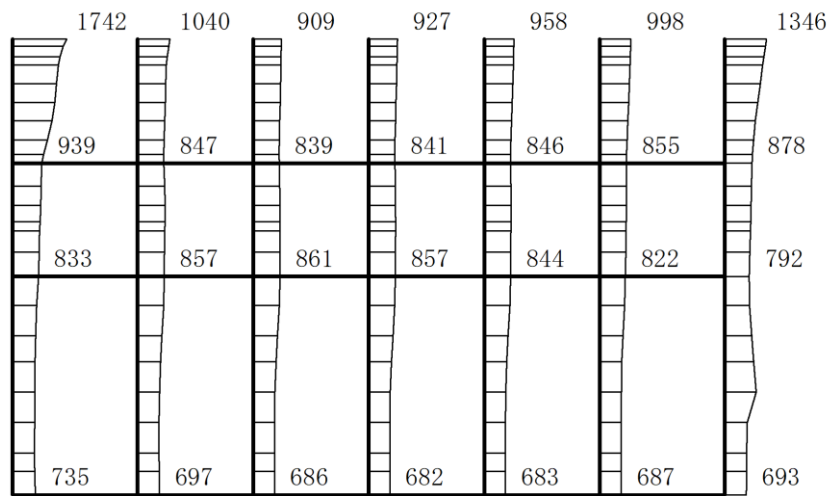
(a) S s - D (++) 水平



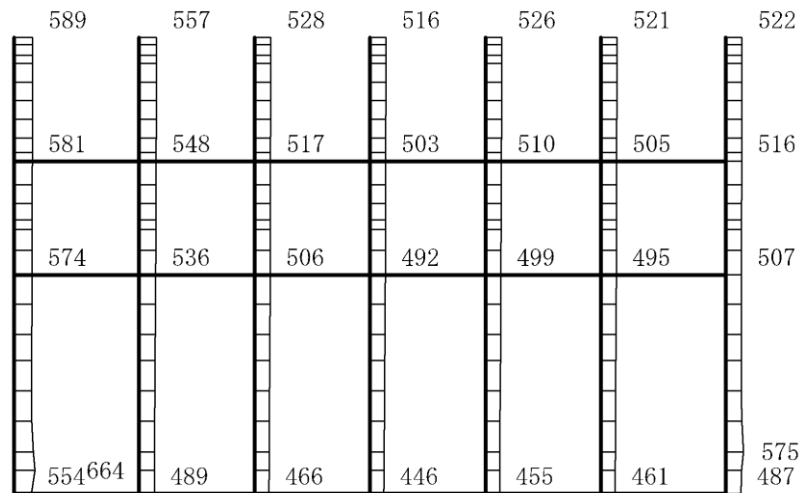
(b) S s - D (++) 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(m)$ 応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-15 最大応答加速度分布図(15/120) (解析ケース③)



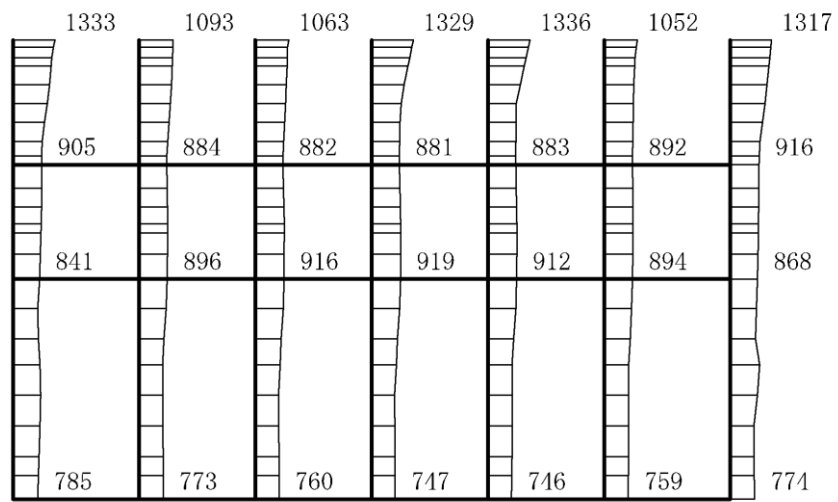
(a) $S_s - D (-+)$ 水平



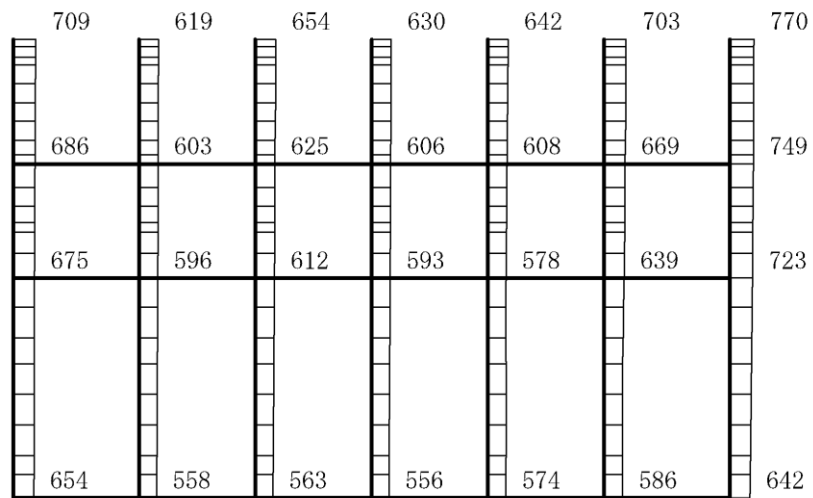
(b) $S_s - D (-+)$ 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(m)$ 応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-16 最大応答加速度分布図(16/120) (解析ケース③)



(a) $S_s - D(++)$ 水平

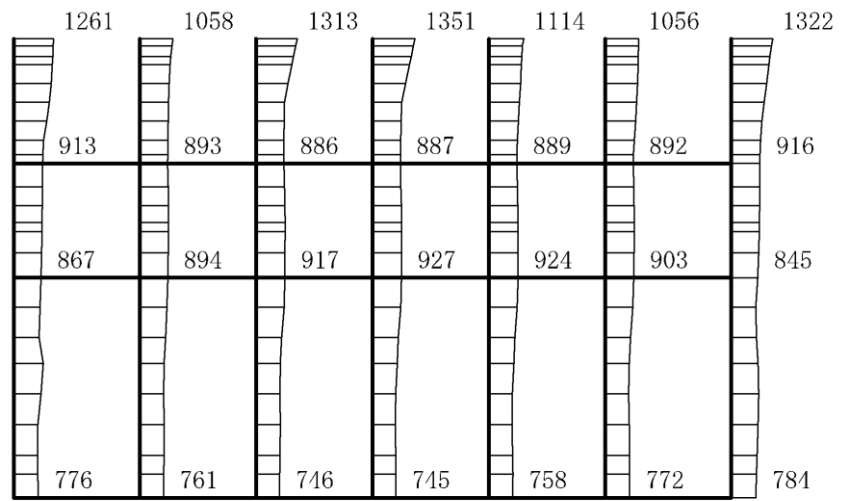


(b) $S_s - D(++)$ 鉛直

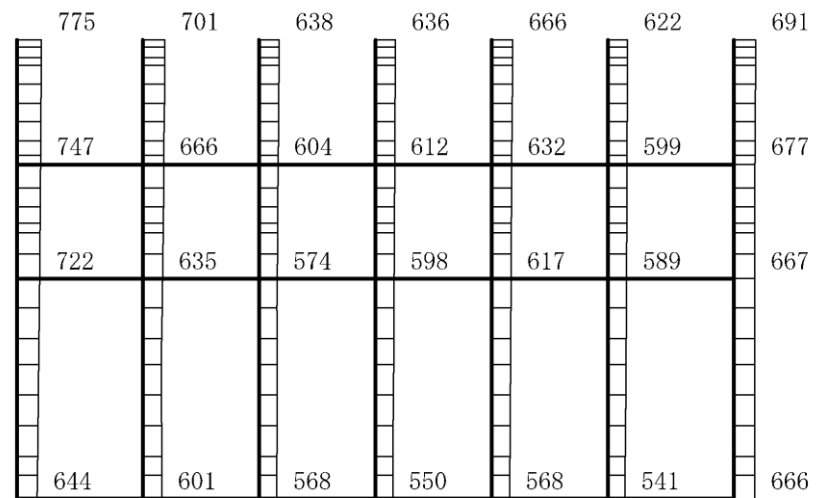
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-17 最大応答加速度分布図(17/120) (解析ケース④)



(a) S s - D (- +) 水平

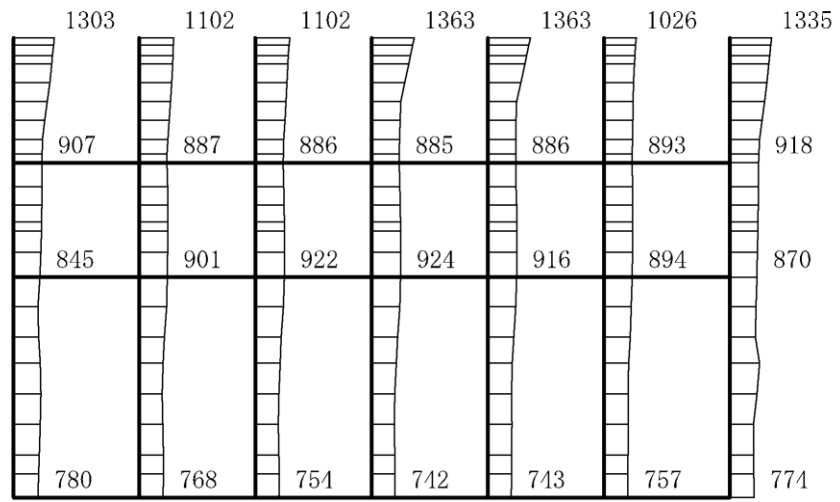


(b) S s - D (- +) 鉛直

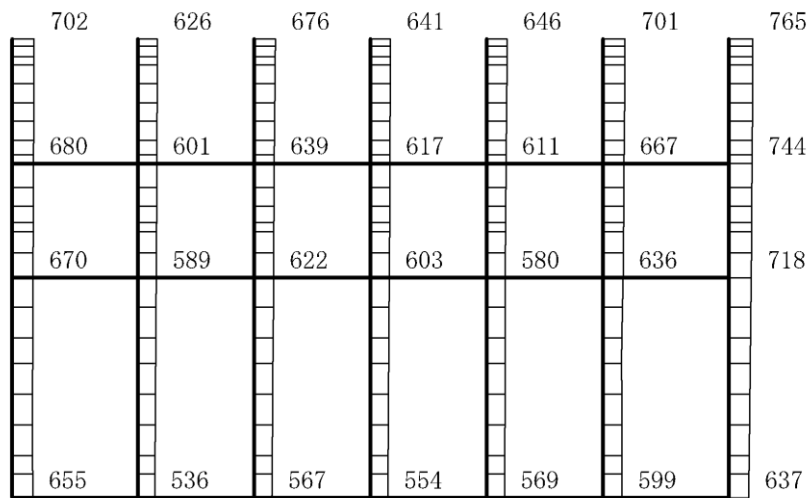
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-18 最大応答加速度分布図(18/120) (解析ケース④)



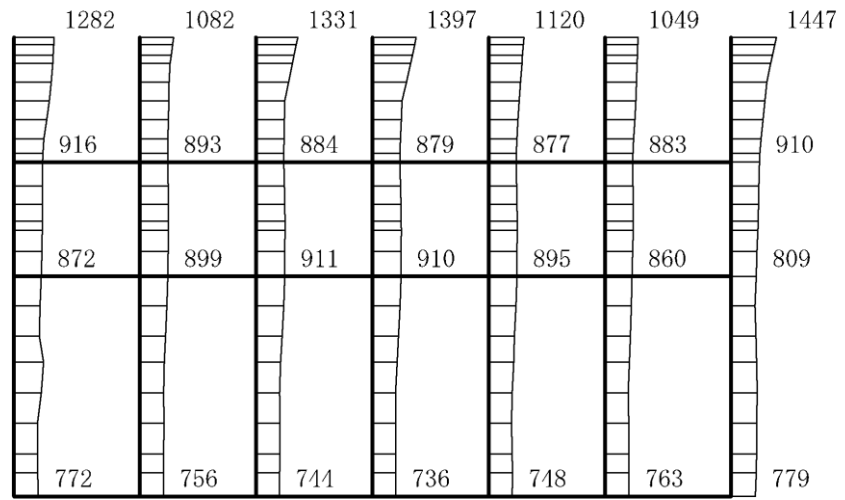
(a) S s - D (++) 水平



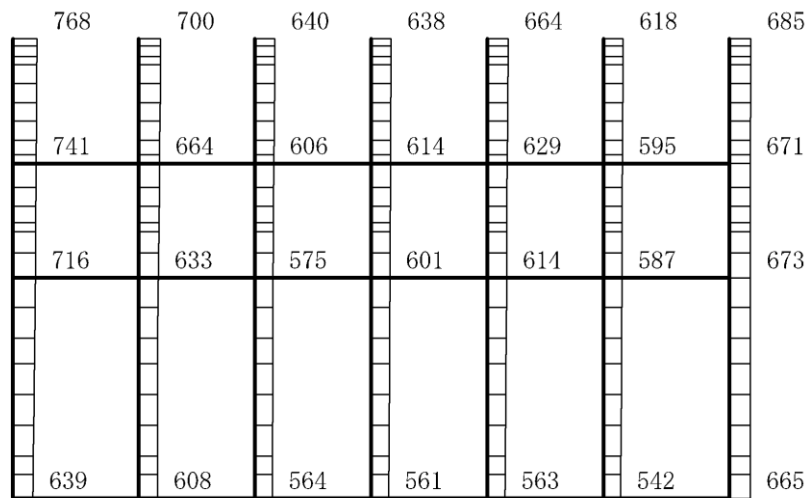
(b) S s - D (++) 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(\text{m})$ 応答値スケール $0 \quad 1500 (\text{cm}/\text{s}^2)$

図 4-19 最大応答加速度分布図(19/120) (解析ケース⑤)



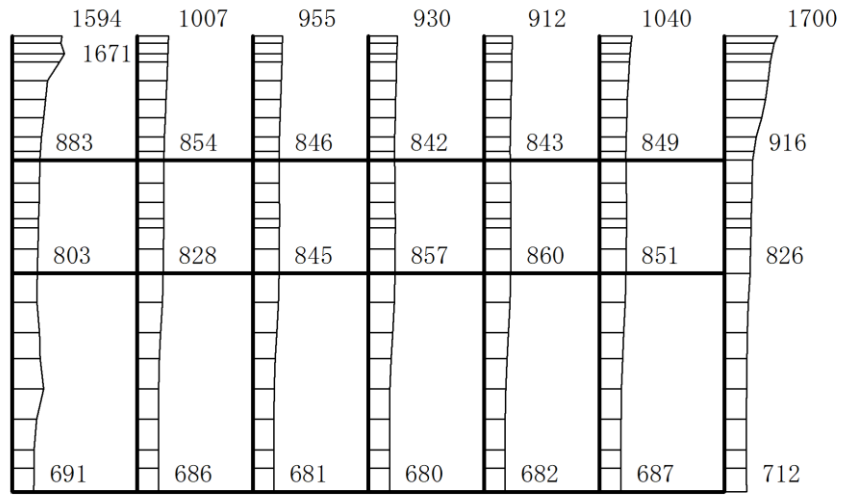
(a) S s - D (- +) 水平



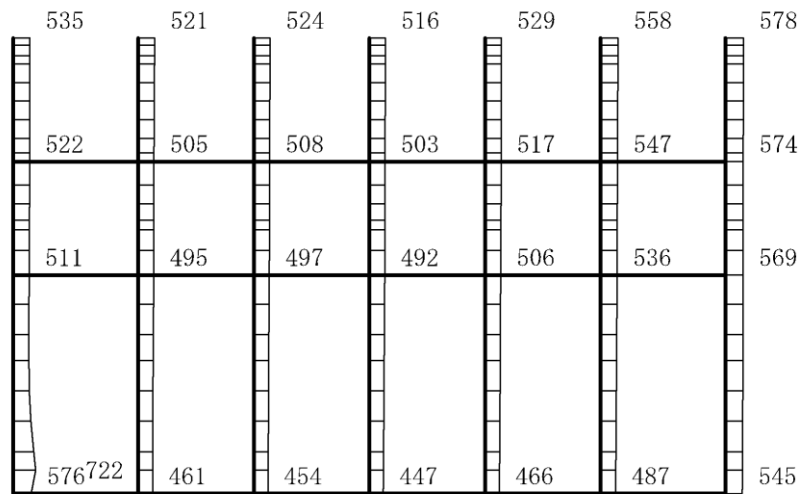
(b) S s - D (- +) 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(\text{m})$ 応答値スケール $0 \quad 1500 (\text{cm}/\text{s}^2)$

図 4-20 最大応答加速度分布図(20/120) (解析ケース⑤)



(a) S s - D (++) 水平

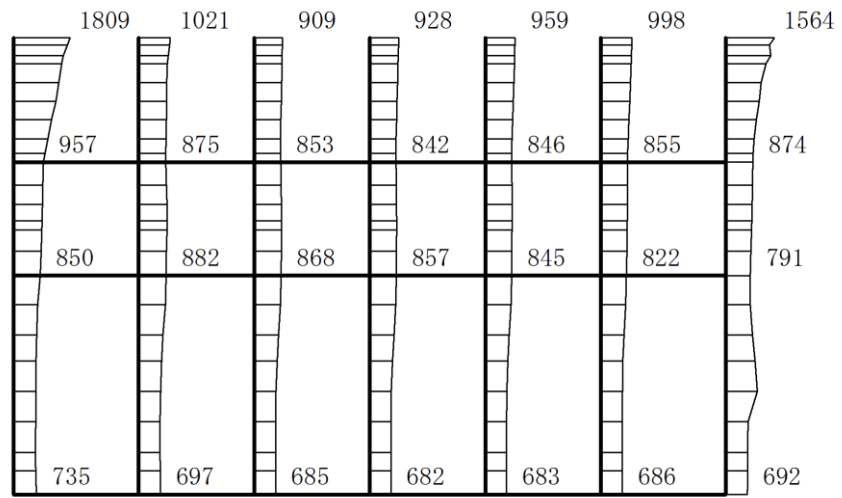


(b) S s - D (++) 鉛直

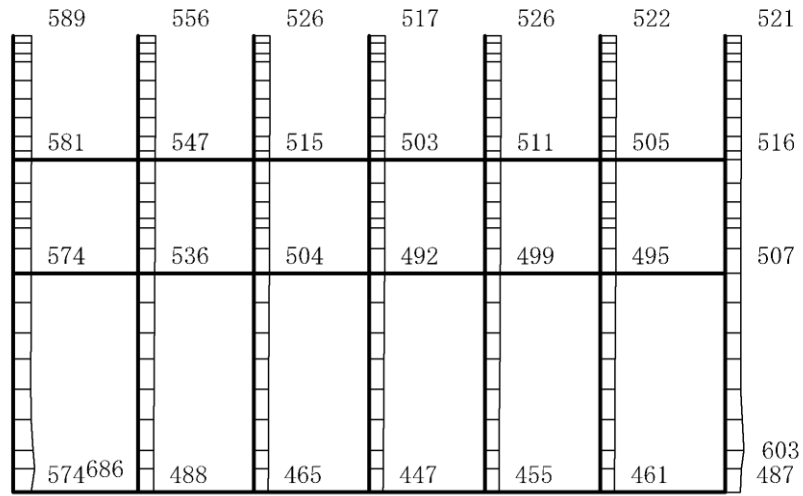
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-21 最大応答加速度分布図 (21/120) (解析ケース②)



(a) S s - D (- +) 水平

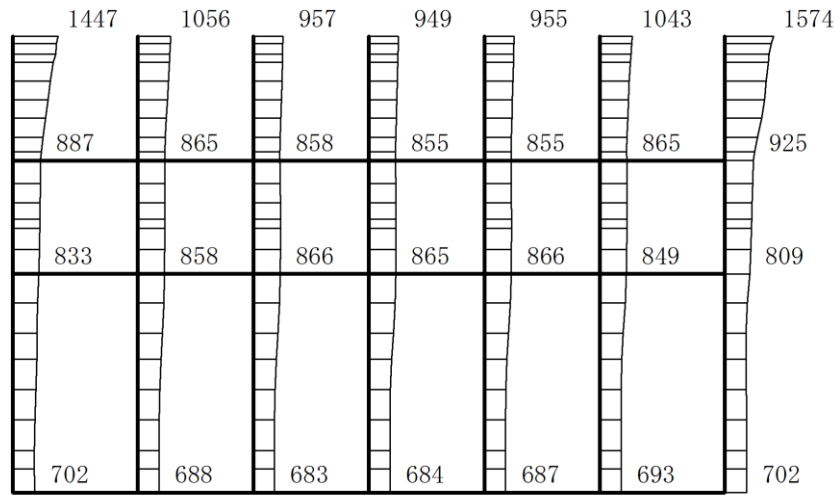


(b) S s - D (- +) 鉛直

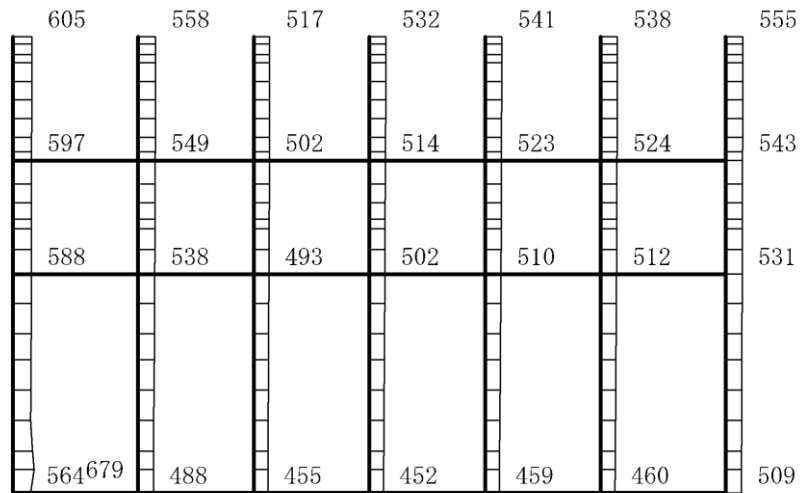
構造スケール $\frac{0}{2(m)}$

応答値スケール $\frac{0}{1500 (cm/s^2)}$

図 4-22 最大応答加速度分布図(22/120) (解析ケース②)



(a) S s - D (+ -) 水平

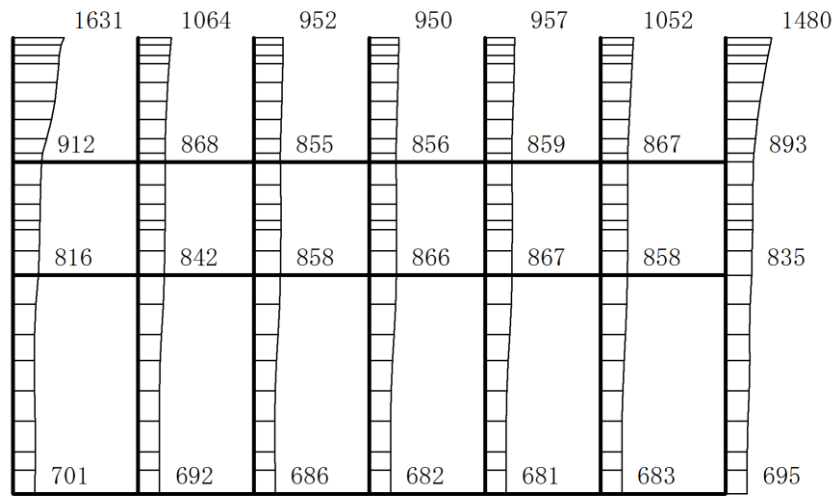


(b) S s - D (+ -) 鉛直

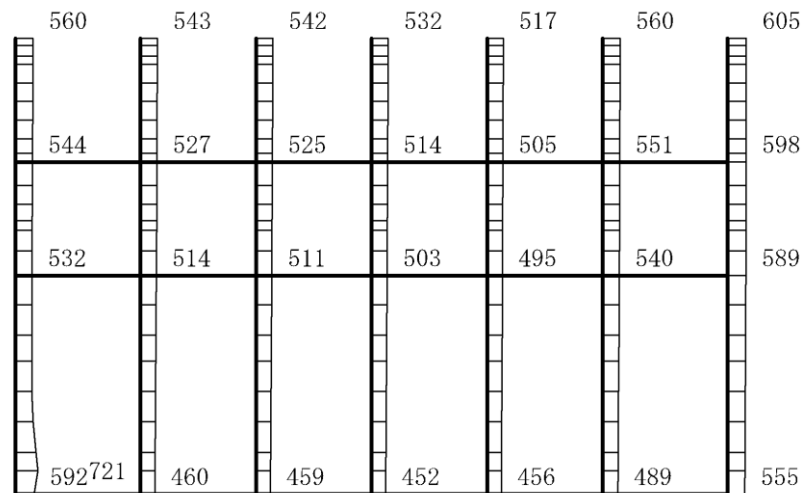
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-23 最大応答加速度分布図(23/120) (解析ケース②)



(a) S s - D (---) 水平

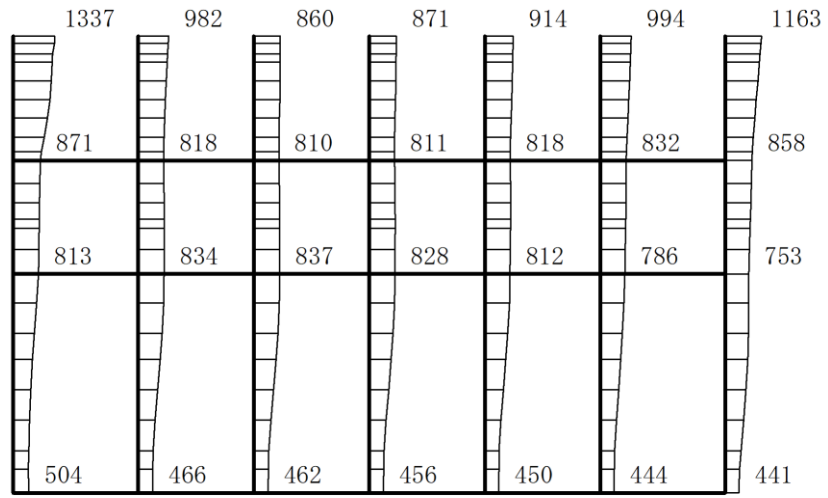


(b) S s - D (---) 鉛直

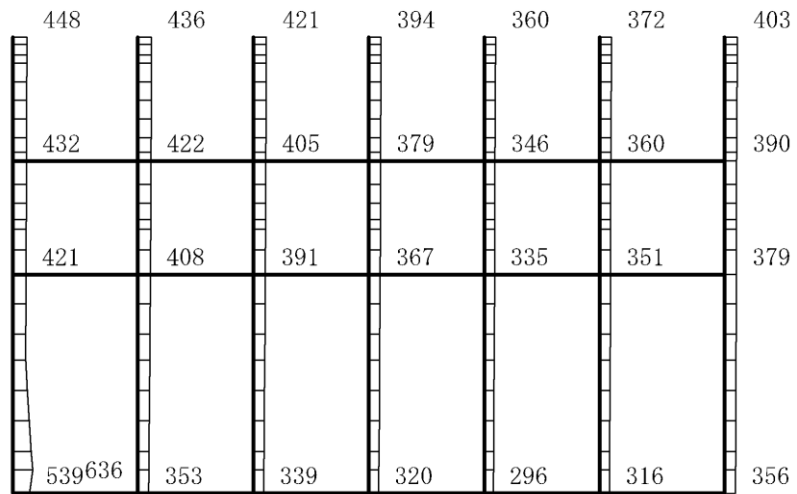
構造スケール $\frac{0}{2(m)}$

応答値スケール $\frac{0}{1500 (cm/s^2)}$

図 4-24 最大応答加速度分布図(24/120) (解析ケース②)



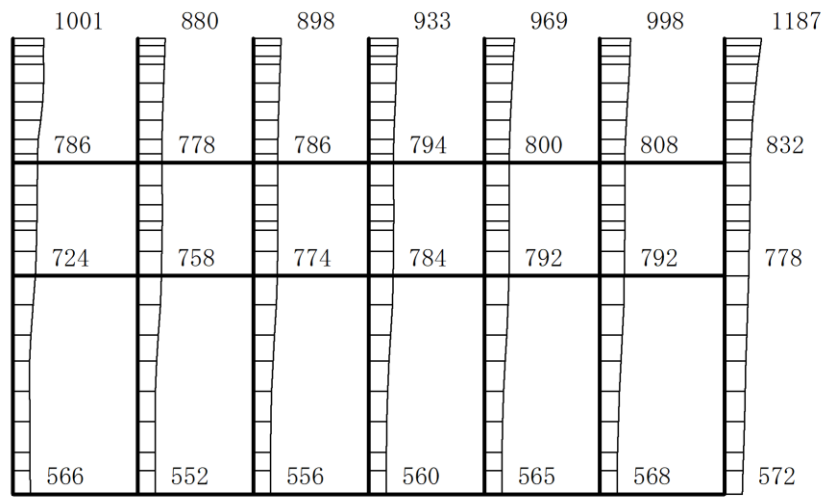
(a) S s - F 1 (+ +) 水平



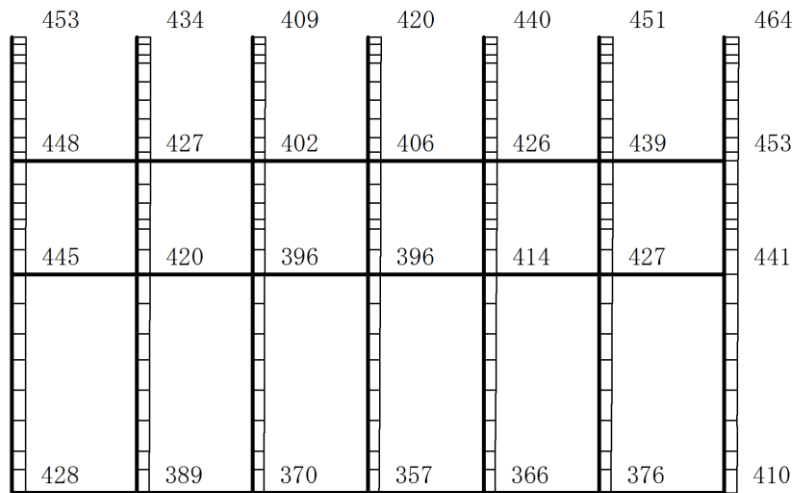
(b) S s - F 1 (+ +) 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(m)$ 応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-25 最大応答加速度分布図 (25/120) (解析ケース②)



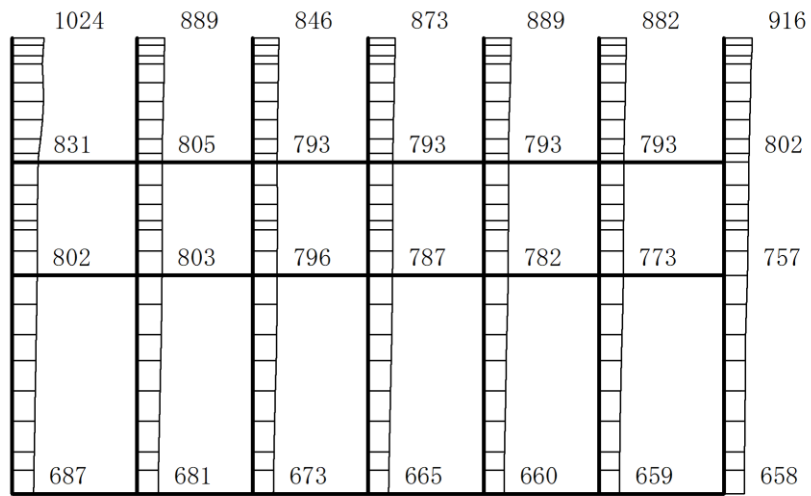
(a) S s - F 2 (++) 水平



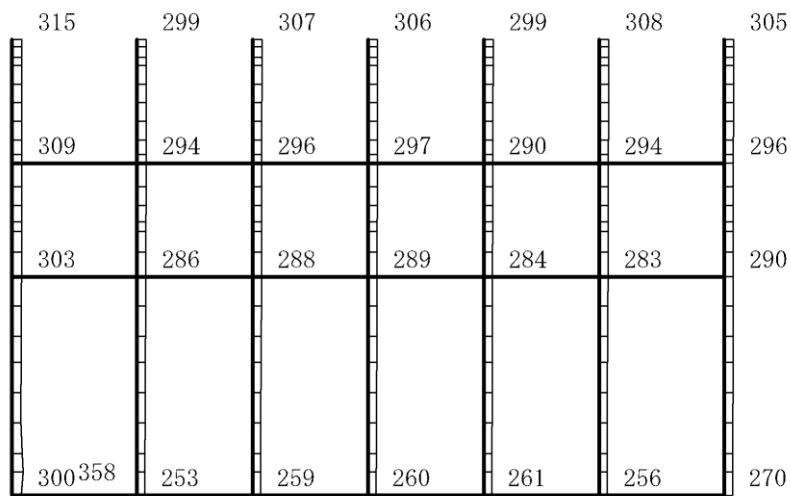
(b) S s - F 2 (++) 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(m)$ 応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-26 最大応答加速度分布図(26/120) (解析ケース②)



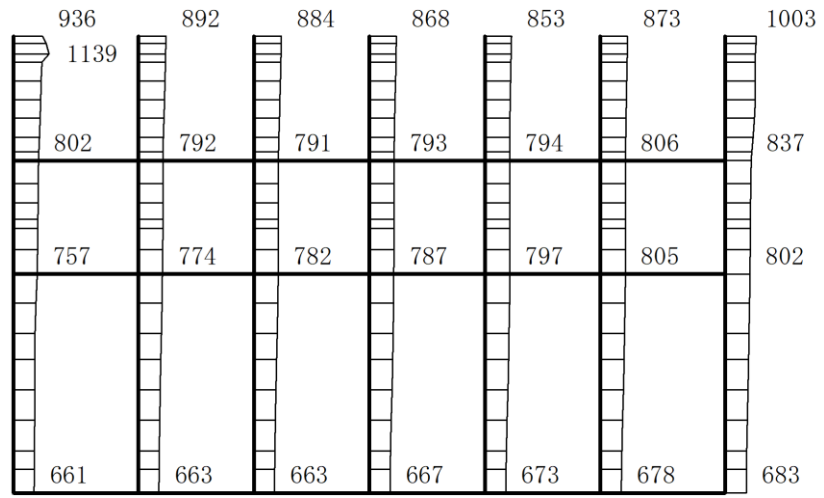
(a) S s - N 1 (++) 水平



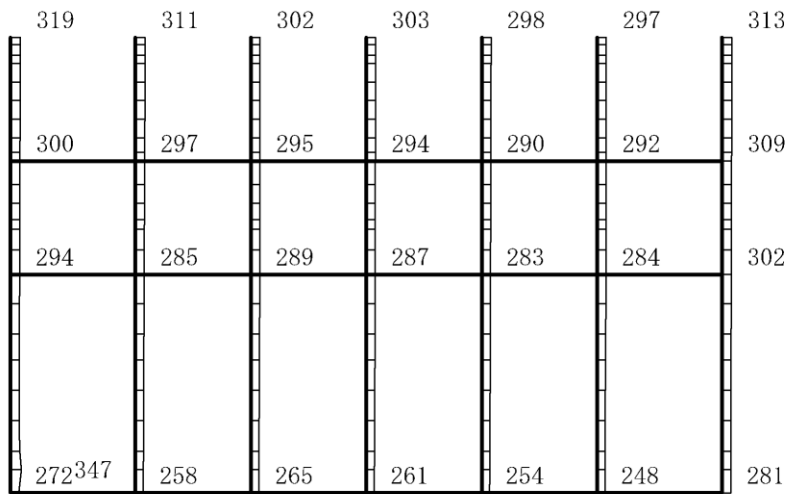
(b) S s - N 1 (++) 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(m)$ 応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-27 最大応答加速度分布図 (27/120) (解析ケース②)



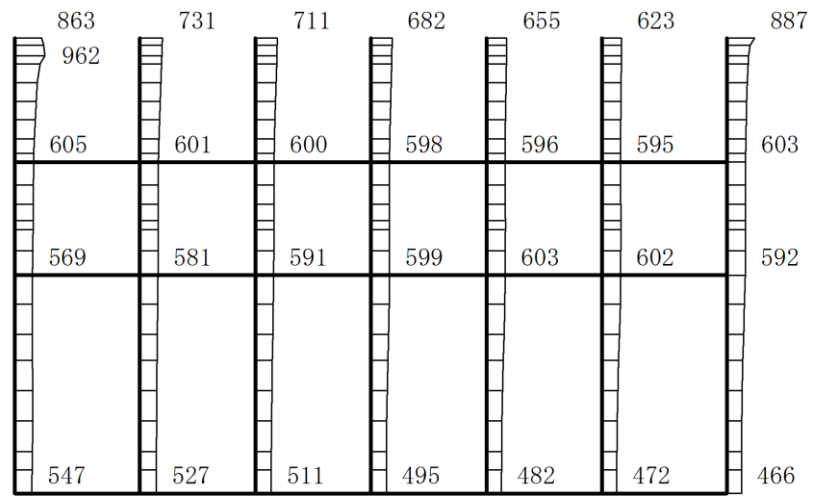
(a) S s - N 1 (- +) 水平



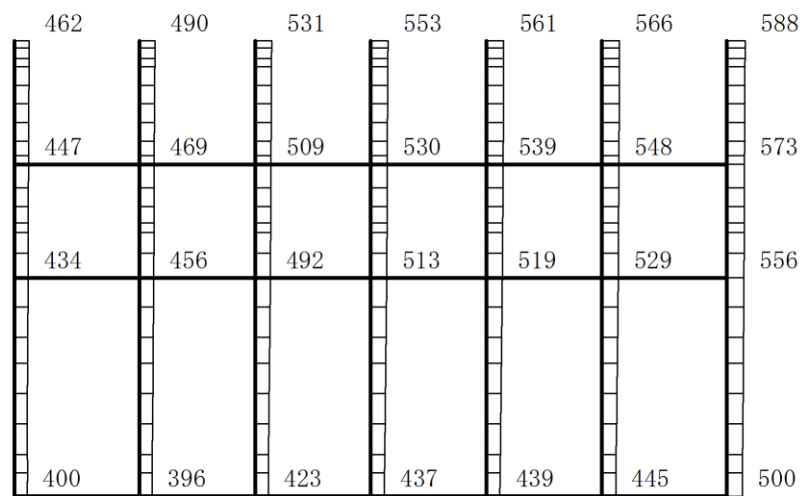
(b) S s - N 1 (- +) 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(m)$ 応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-28 最大応答加速度分布図 (28/120) (解析ケース②)



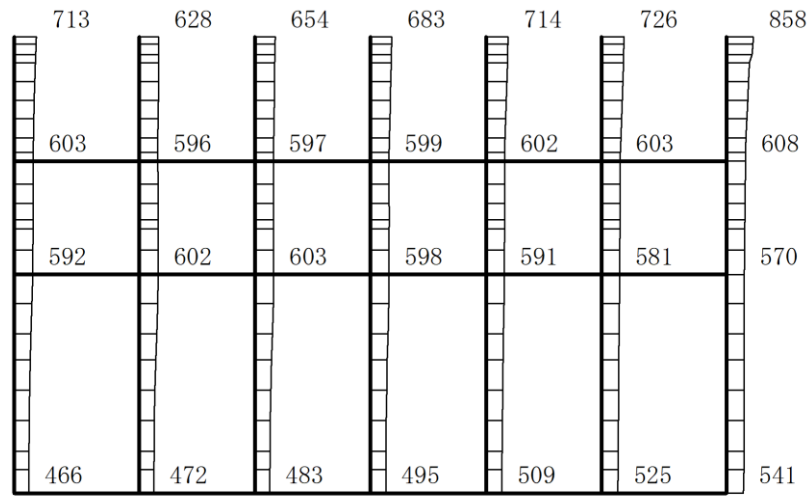
(a) $S_s - N2 (NS) (+ +)$ 水平



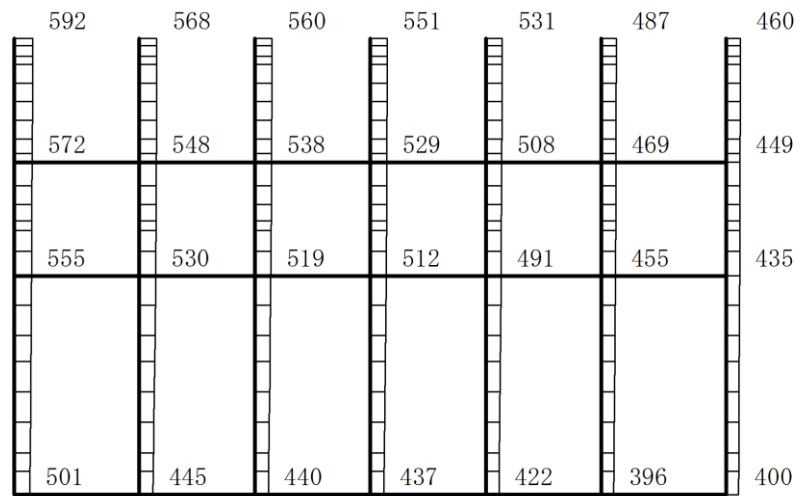
(b) $S_s - N2 (NS) (+ +)$ 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(m)$ 応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-29 最大応答加速度分布図 (29/120) (解析ケース②)



(a) $S_s - N2(NS) (-+)$ 水平

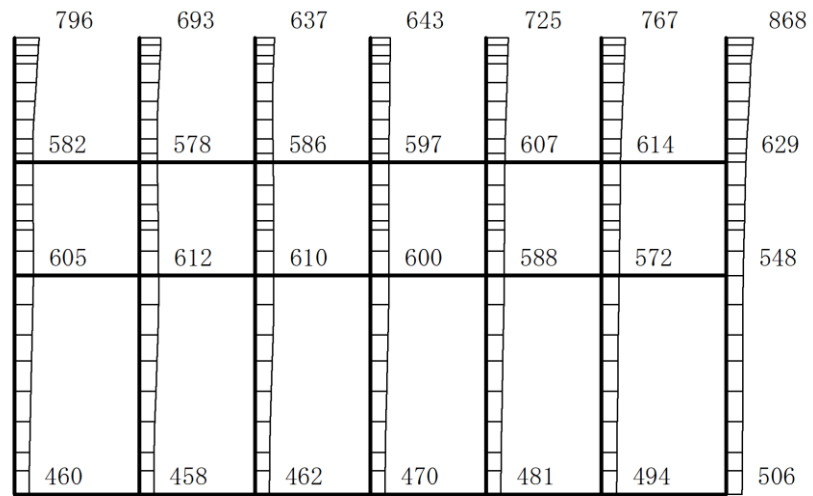


(b) $S_s - N2(NS) (-+)$ 鉛直

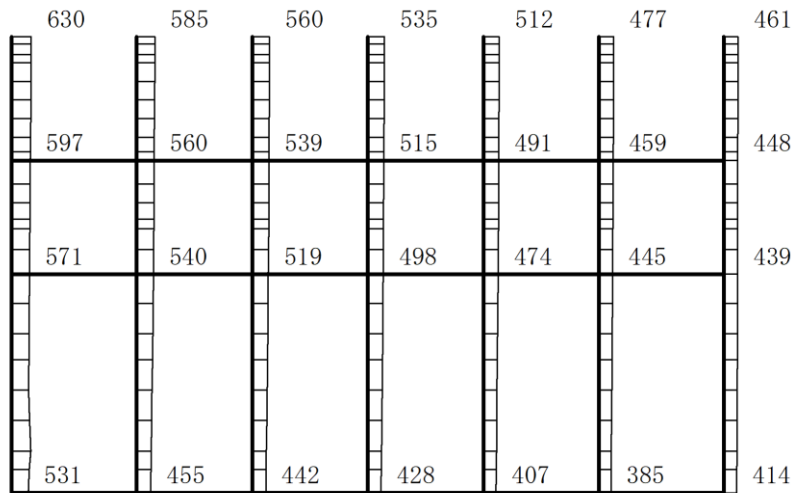
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-30 最大応答加速度分布図(30/120) (解析ケース②)



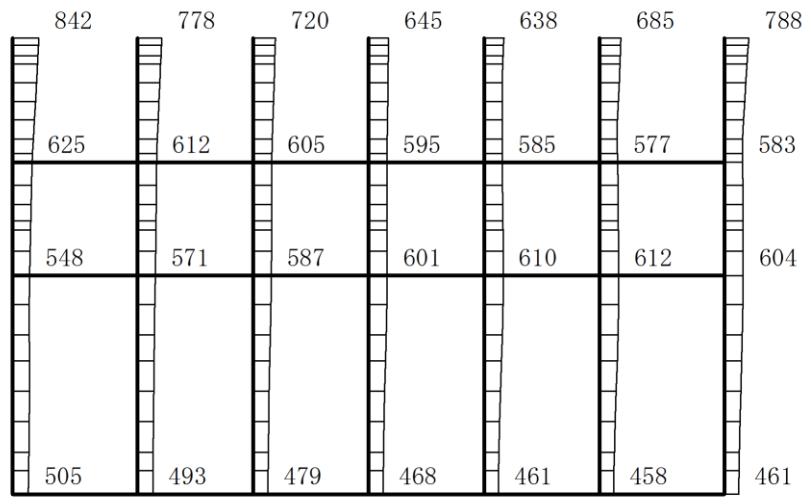
(a) $S_s - N2(EW)(++)$ 水平



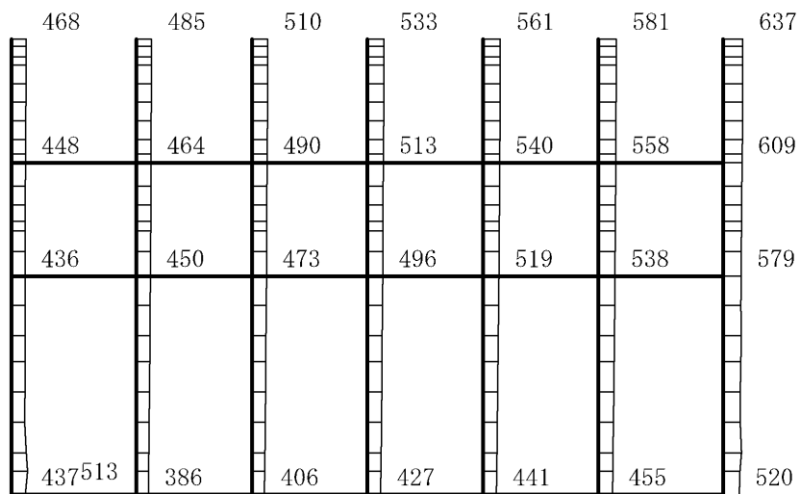
(b) $S_s - N2(EW)(++)$ 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(m)$ 応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-31 最大応答加速度分布図(31/120) (解析ケース②)



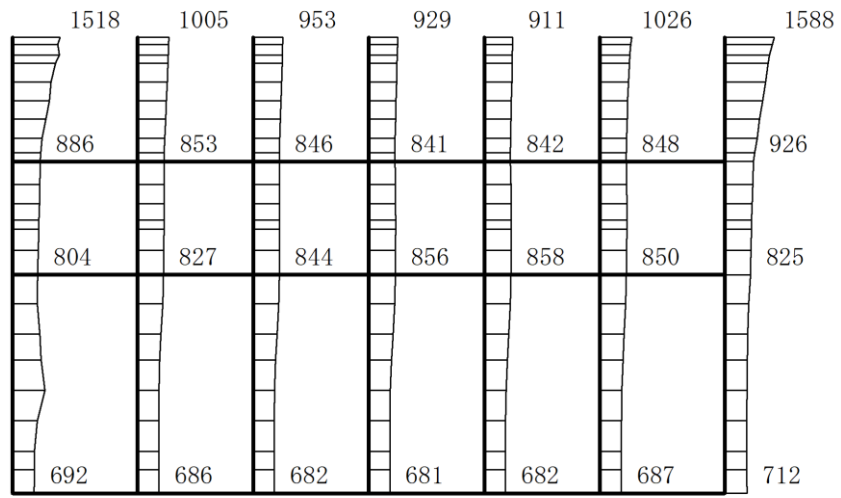
(a) $S_s - N2(EW) (-+)$ 水平



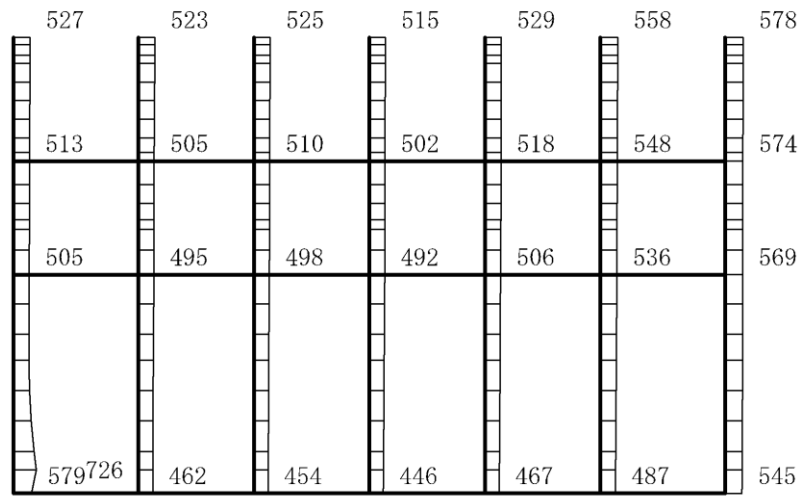
(b) $S_s - N2(EW) (-+)$ 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(m)$ 応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-32 最大応答加速度分布図(32/120) (解析ケース②)



(a) S s - D (++) 水平

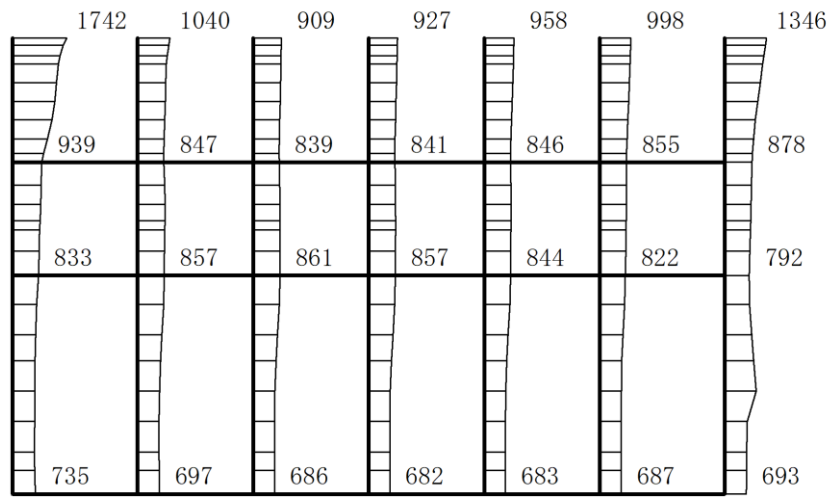


(b) S s - D (++) 鉛直

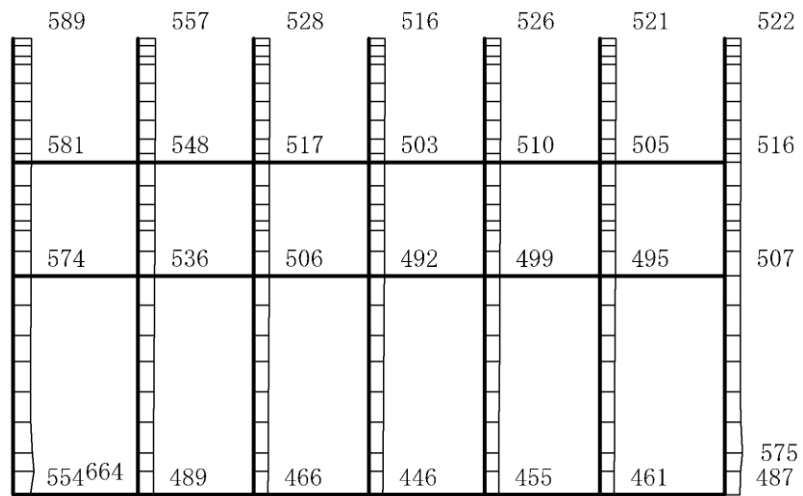
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-33 最大応答加速度分布図(33/120) (解析ケース③)



(a) S s - D (- +) 水平

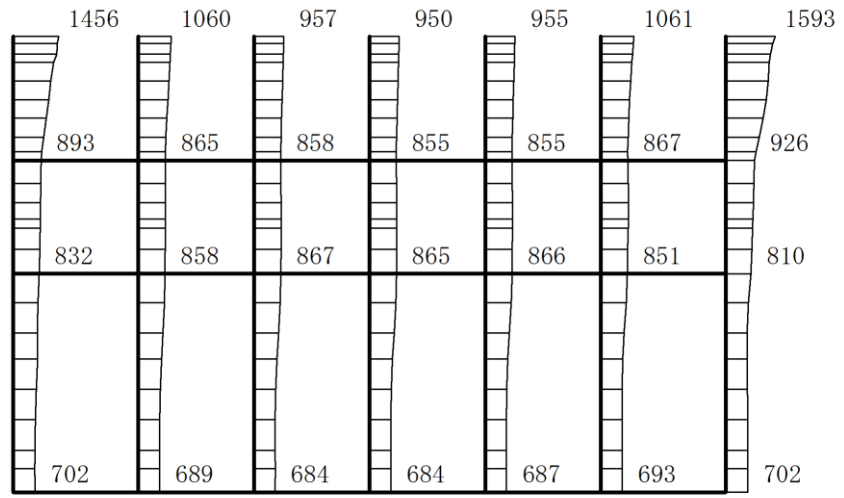


(b) S s - D (- +) 鉛直

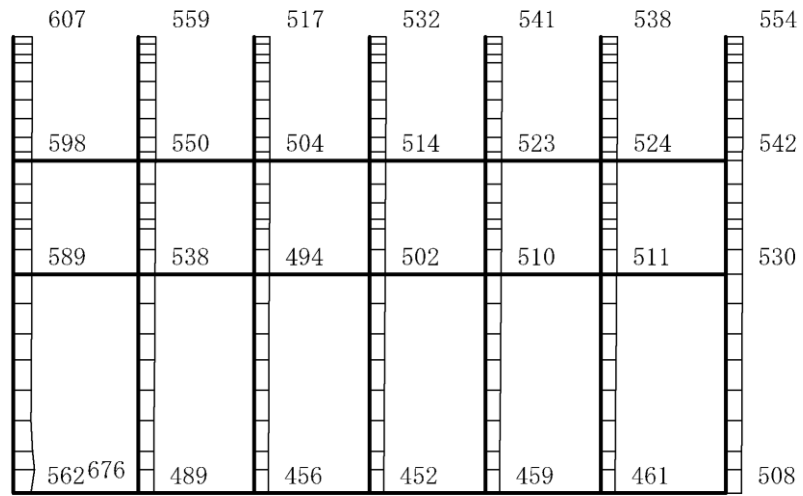
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-34 最大応答加速度分布図(34/120) (解析ケース③)



(a) S s - D (+ -) 水平

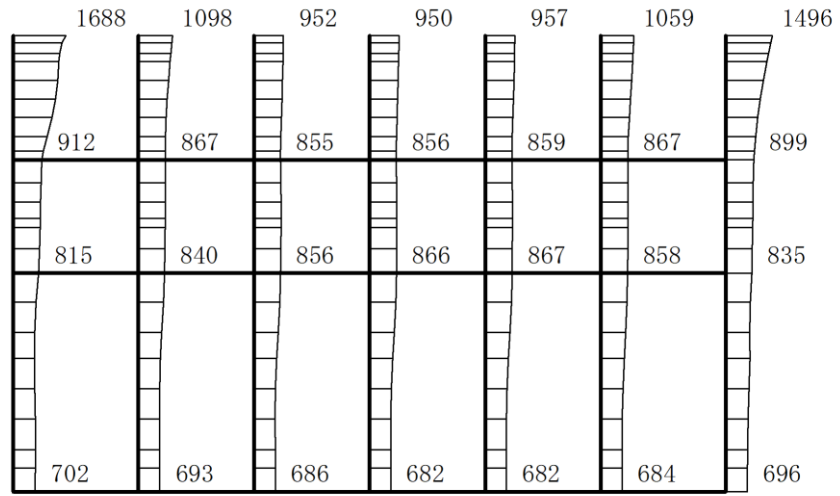


(b) S s - D (+ -) 鉛直

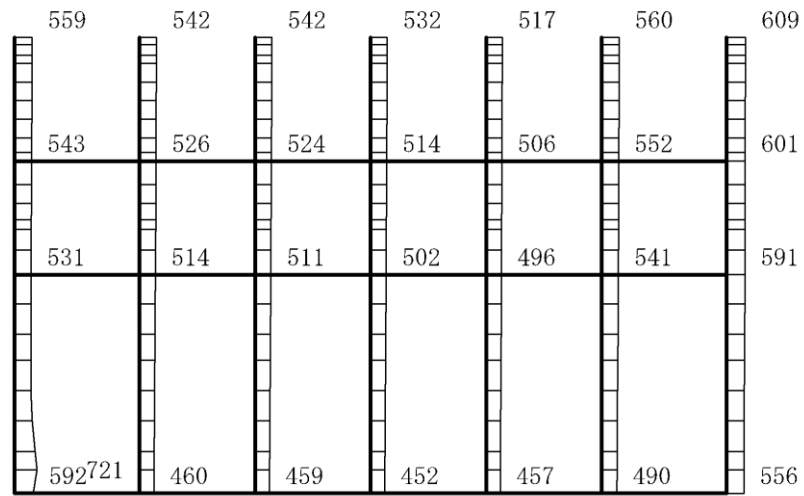
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-35 最大応答加速度分布図(35/120) (解析ケース③)



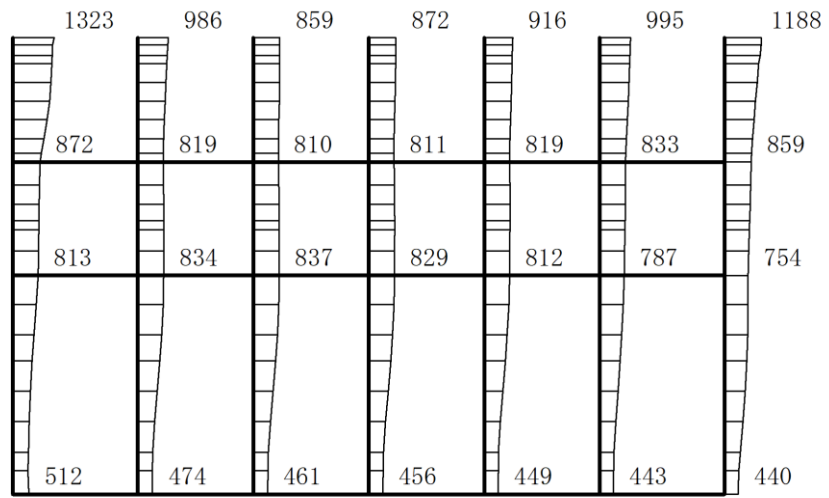
(a) S s - D (--) 水平



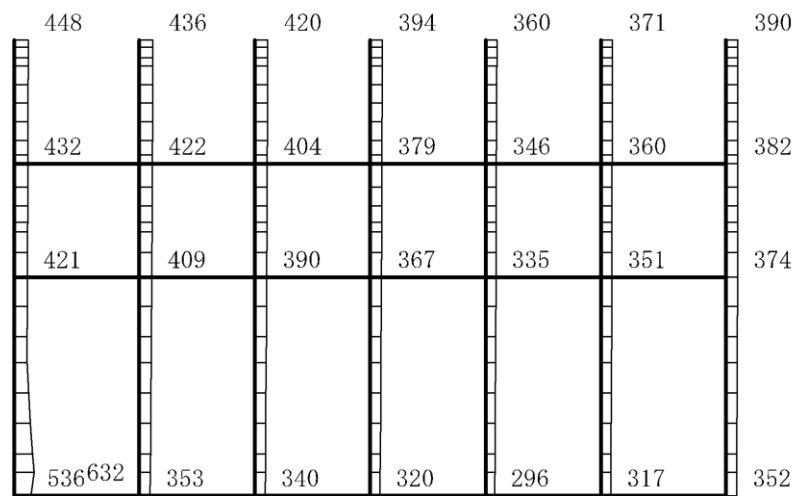
(b) S s - D (--) 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(m)$ 応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-36 最大応答加速度分布図(36/120) (解析ケース③)



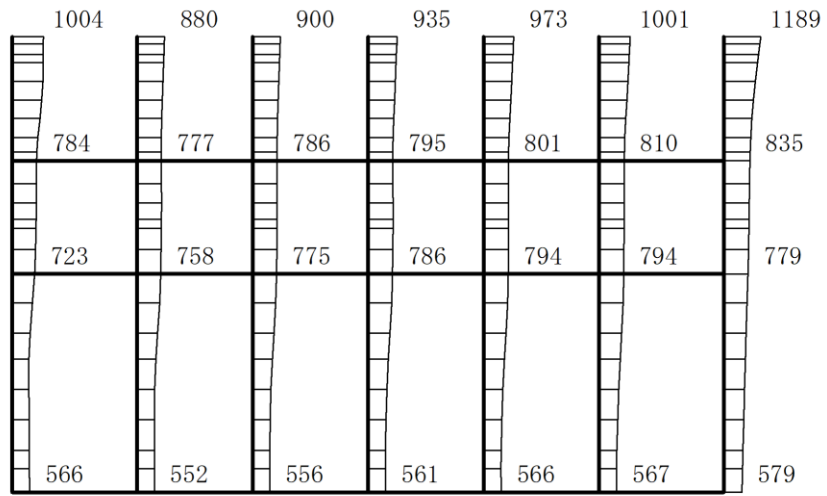
(a) S s - F 1 (++) 水平



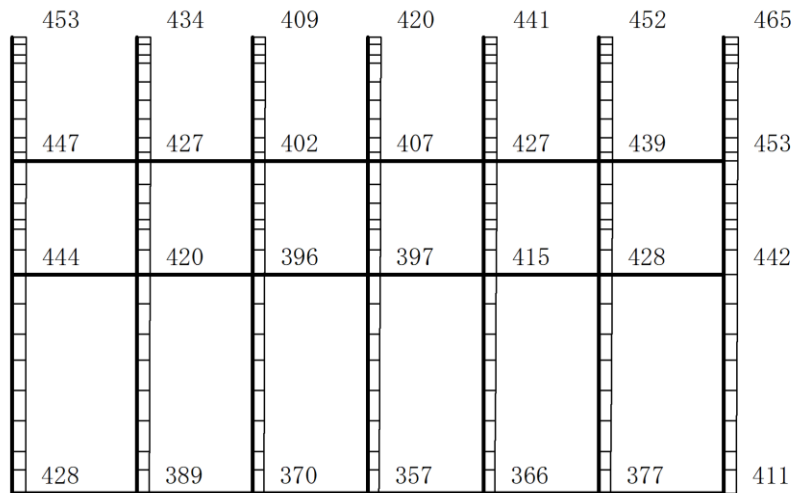
(b) S s - F 1 (++) 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(m)$ 応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-37 最大応答加速度分布図(37/120) (解析ケース③)



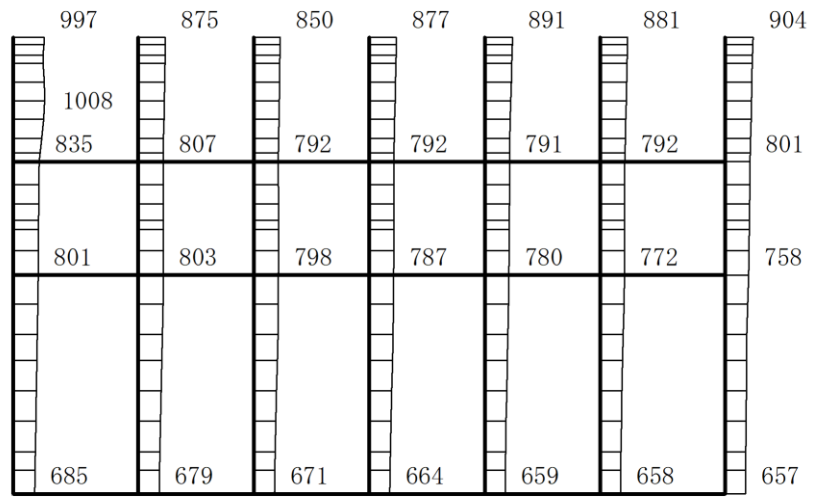
(a) S s - F 2 (++) 水平



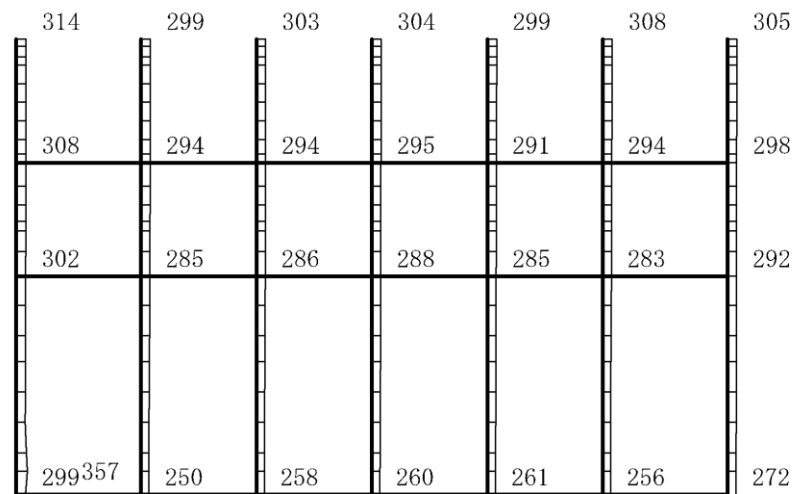
(b) S s - F 2 (++) 鉛直

構造スケール $0 \sim 2(m)$ 応答値スケール $0 \sim 1500 (cm/s^2)$

図 4-38 最大応答加速度分布図(38/120) (解析ケース③)



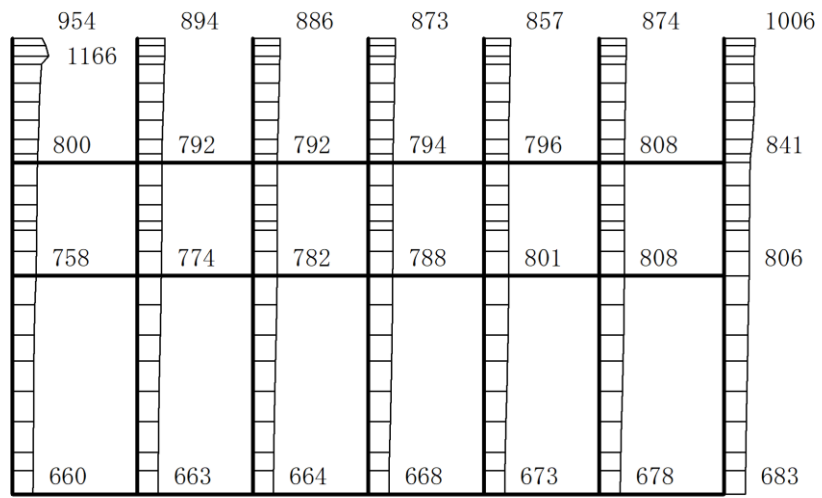
(a) S s - N 1 (+ +) 水平



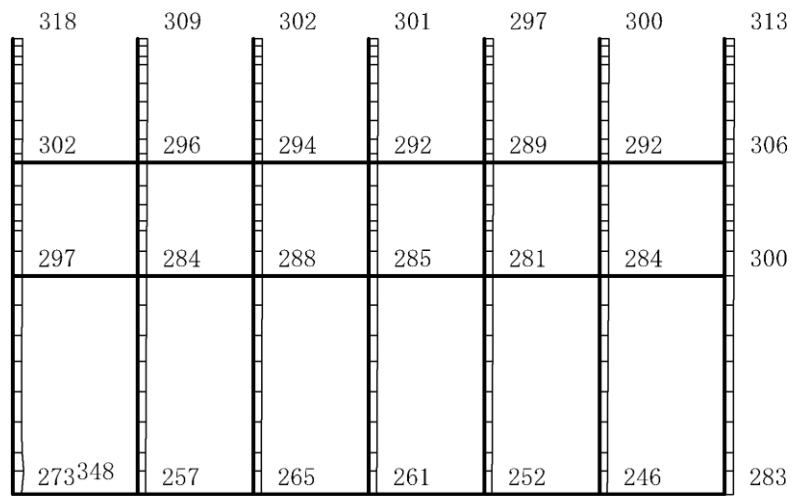
(b) S s - N 1 (+ +) 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(m)$ 応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-39 最大応答加速度分布図(39/120) (解析ケース③)



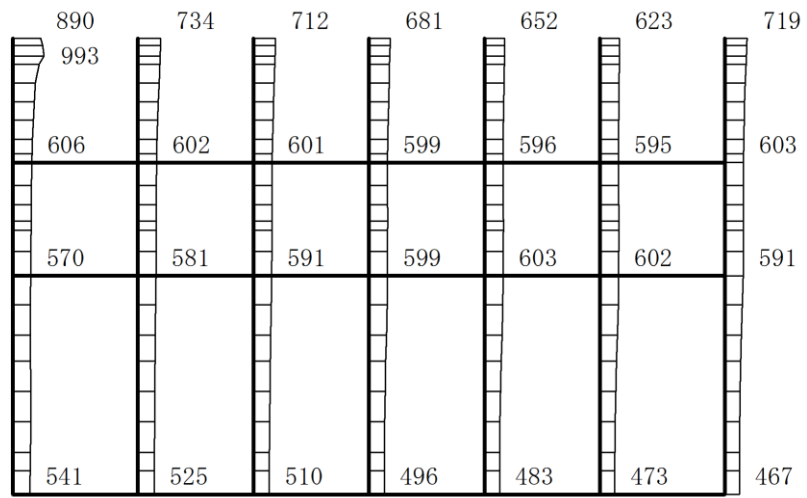
(a) S s - N 1 (- +) 水平



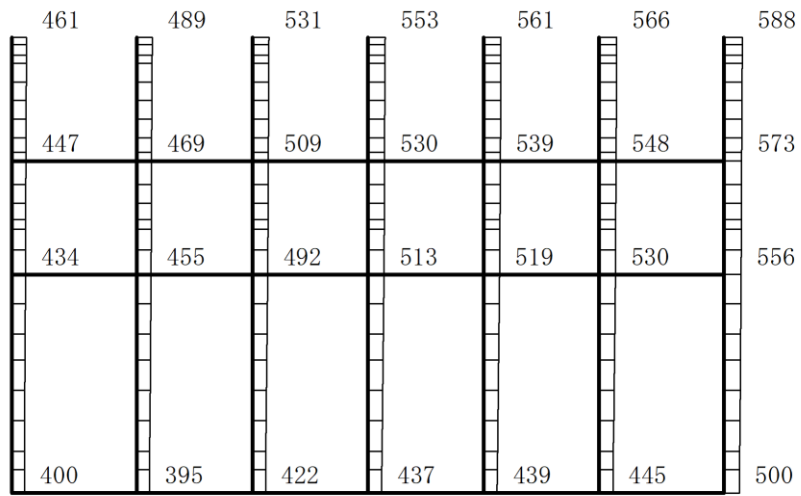
(b) S s - N 1 (- +) 鉛直

構造スケール 0 2(m) 応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-40 最大応答加速度分布図(40/120) (解析ケース③)



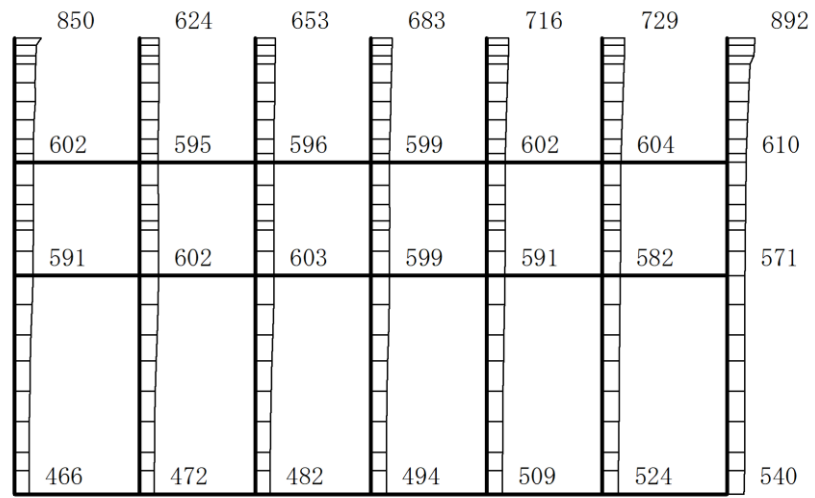
(a) $S_s - N2(N S) (+ +)$ 水平



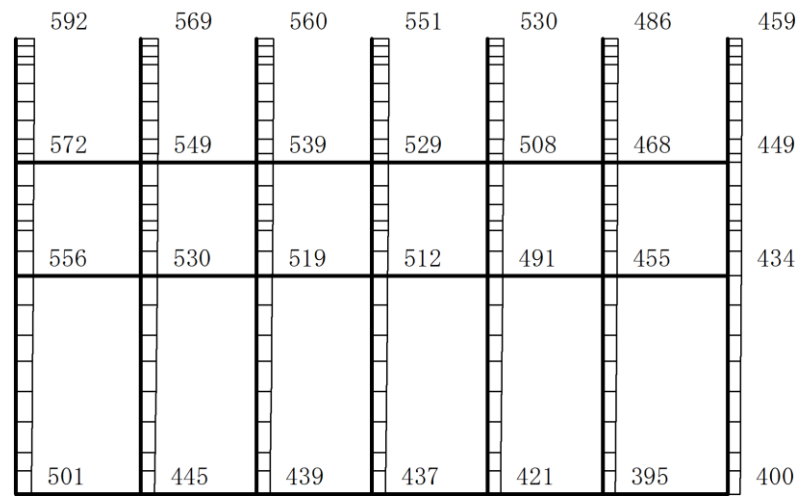
(b) $S_s - N2(N S) (+ +)$ 鉛直

構造スケール $\underbrace{\quad\quad}_0 \quad 2(m)$ 応答値スケール $\underbrace{\quad\quad}_0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-41 最大応答加速度分布図(41/120) (解析ケース③)



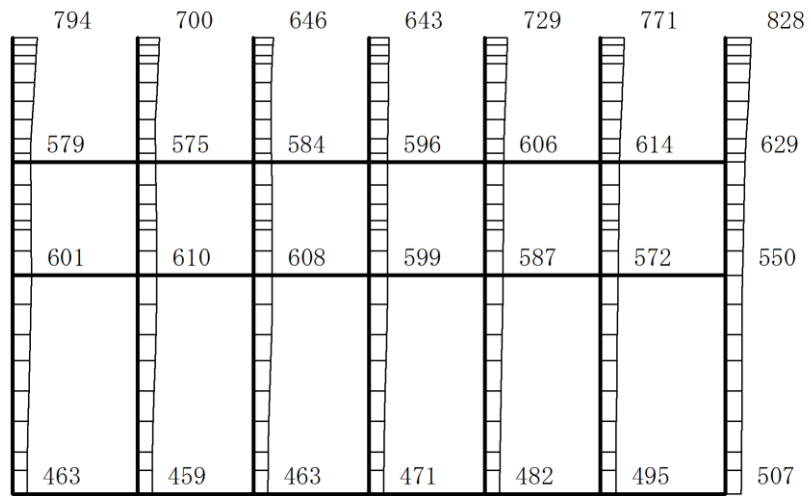
(a) $S_s - N2 (NS) (-+)$ 水平



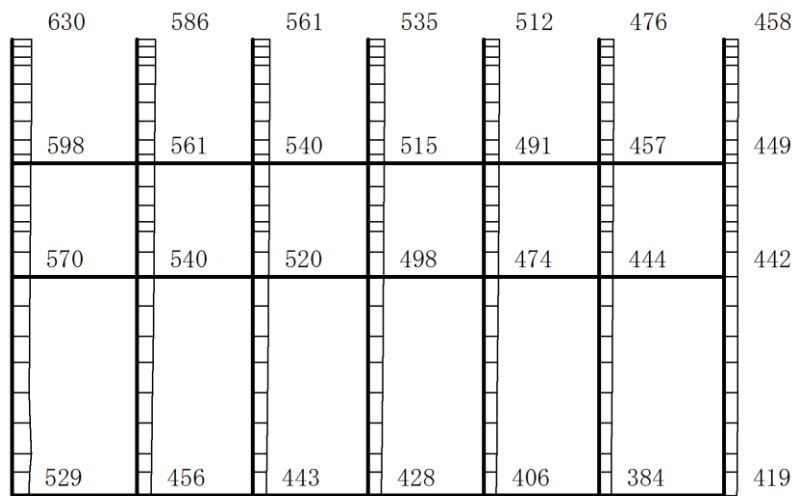
(b) $S_s - N2 (NS) (-+)$ 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(m)$ 応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-42 最大応答加速度分布図(42/120) (解析ケース③)



(a) S_s - N 2 (E W) (++) 水平

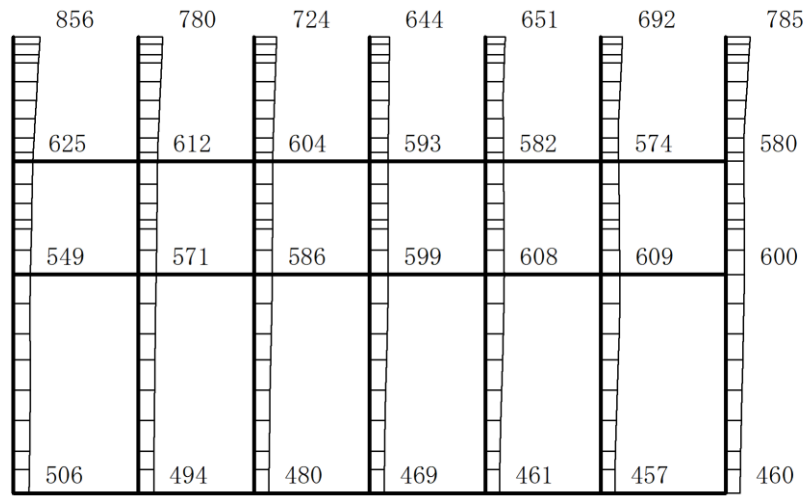


(b) S_s - N 2 (E W) (++) 鉛直

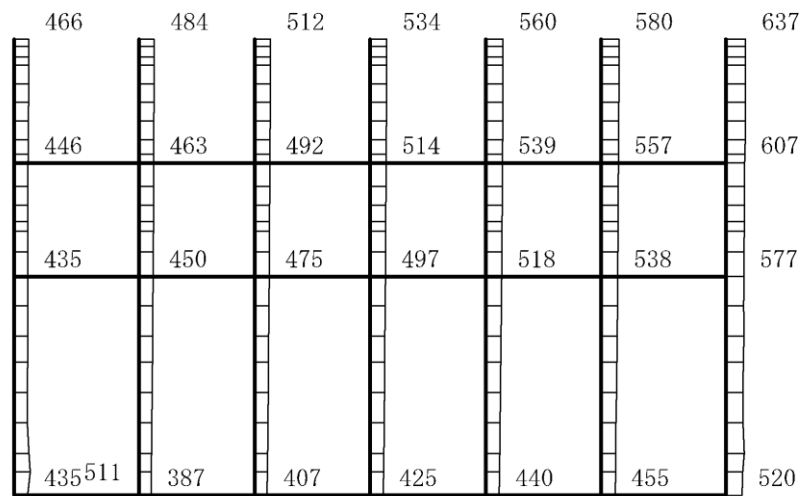
構造スケール $\frac{0}{2(m)}$

応答値スケール $\frac{0}{1500 (cm/s^2)}$

図 4-43 最大応答加速度分布図(43/120) (解析ケース③)



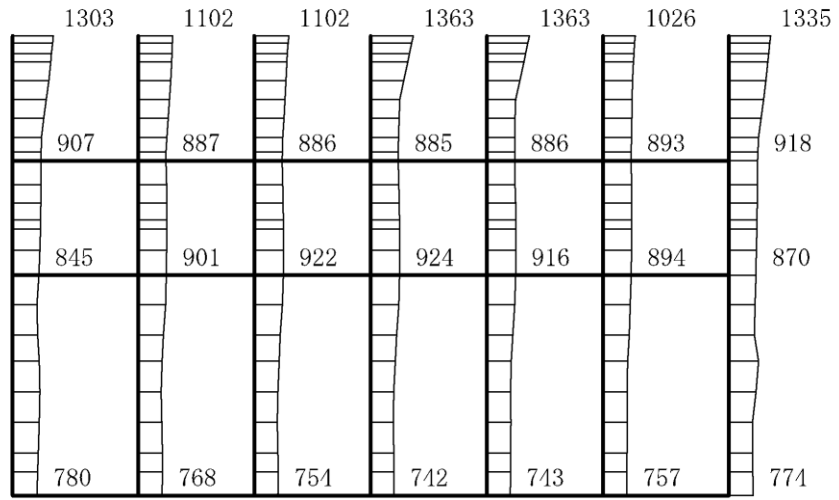
(a) $S_s - N2(EW) (-+)$ 水平



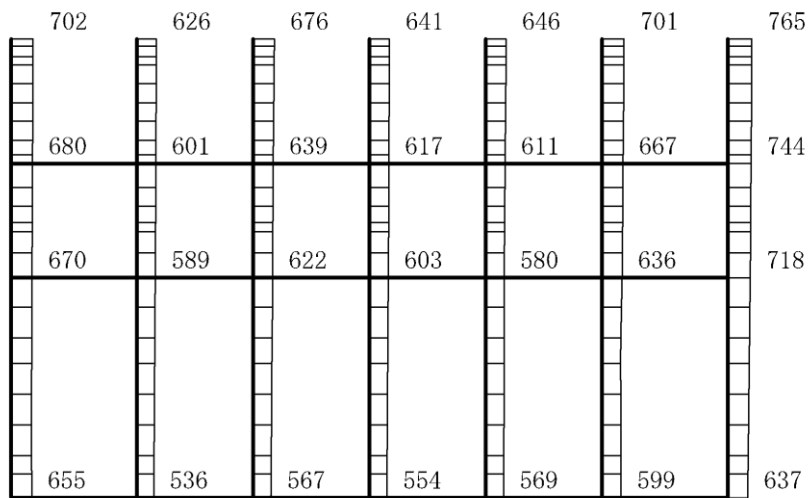
(b) $S_s - N2(EW) (-+)$ 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(m)$ 応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-44 最大応答加速度分布図(44/120) (解析ケース③)



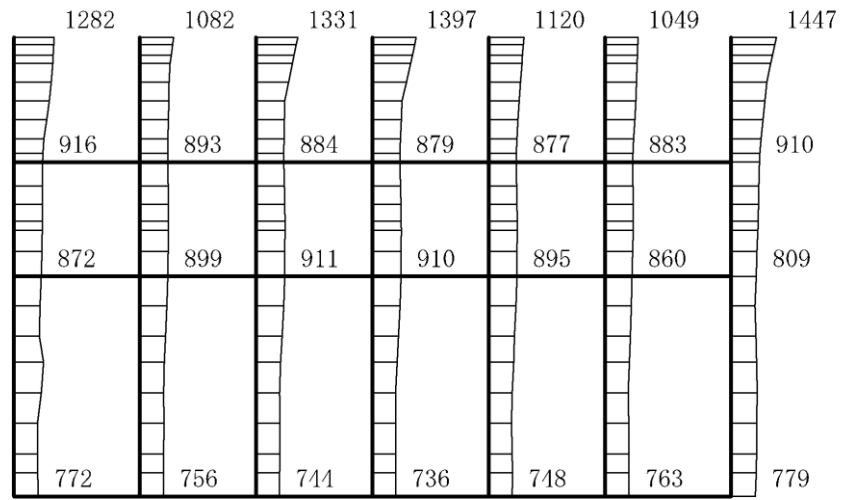
(a) S s - D (++) 水平



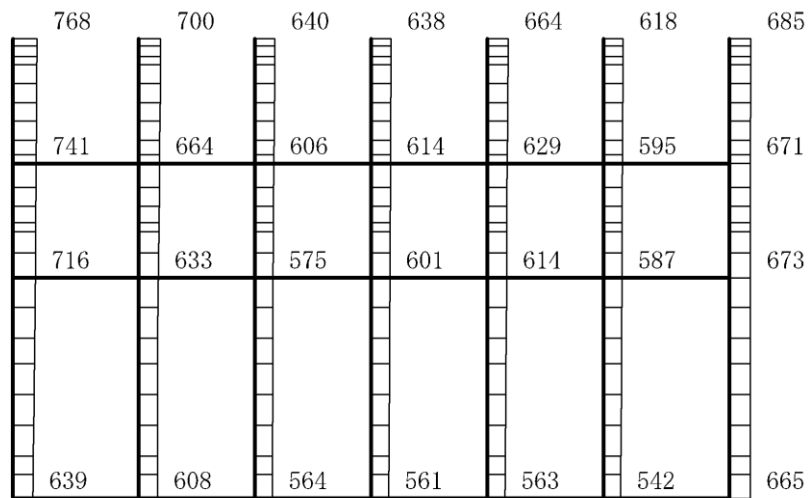
(b) S s - D (++) 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(m)$ 応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-45 最大応答加速度分布図(45/120) (解析ケース⑤)



(a) S s - D (-+) 水平

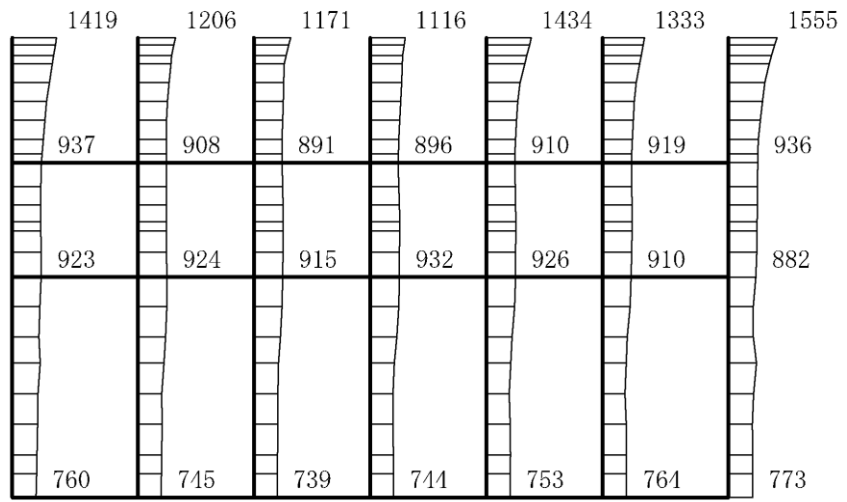


(b) S s - D (-+) 鉛直

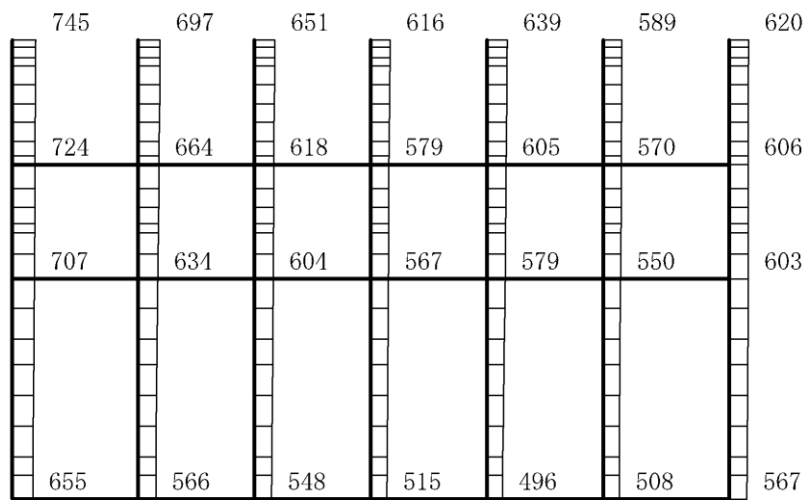
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-46 最大応答加速度分布図(46/120) (解析ケース⑤)



(a) S s - D (+-) 水平

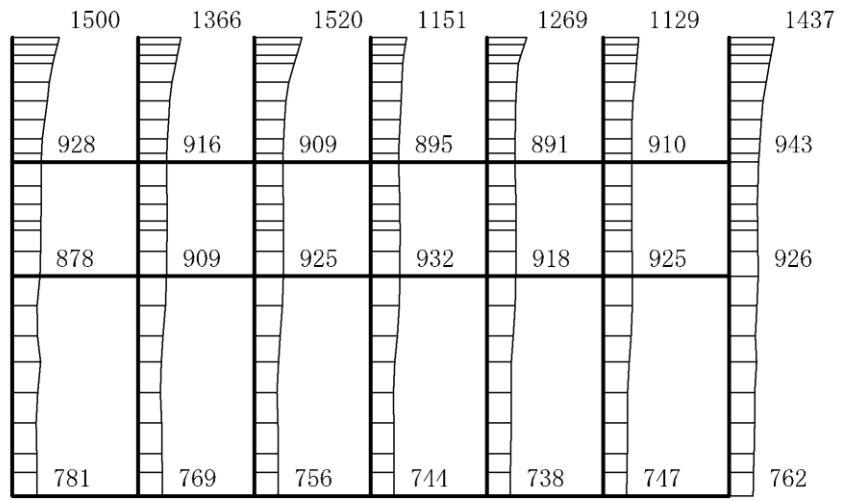


(b) S s - D (+-) 鉛直

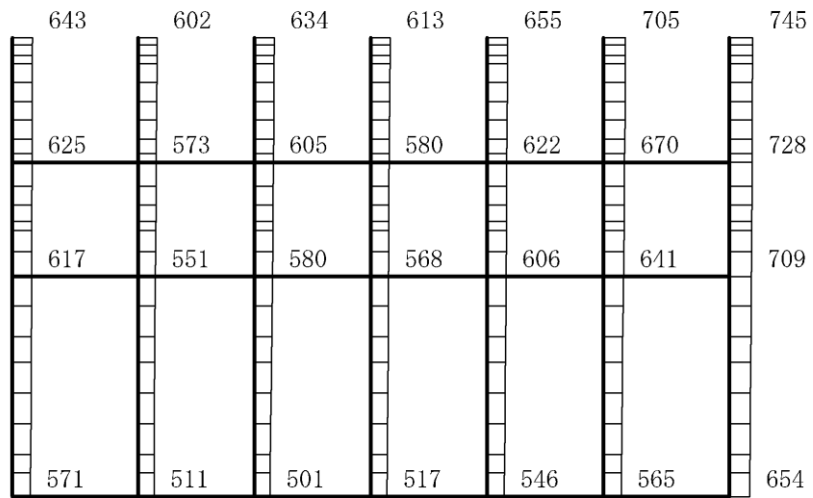
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-47 最大応答加速度分布図(47/120) (解析ケース⑤)



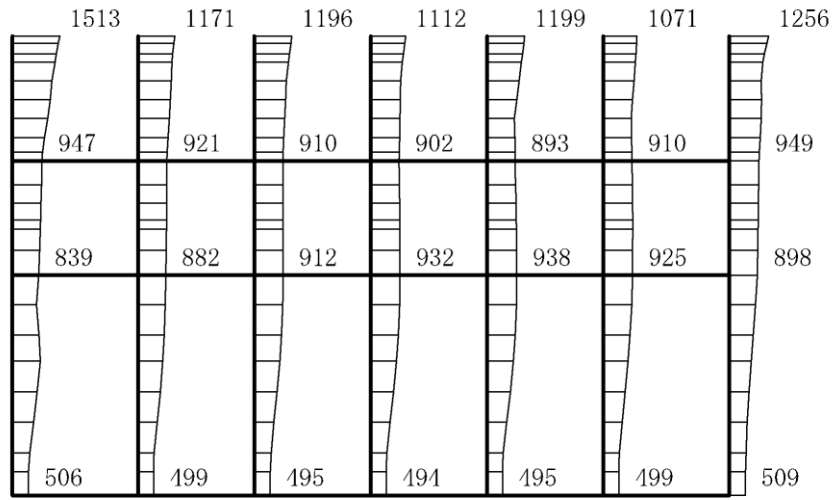
(a) S s - D (--) 水平



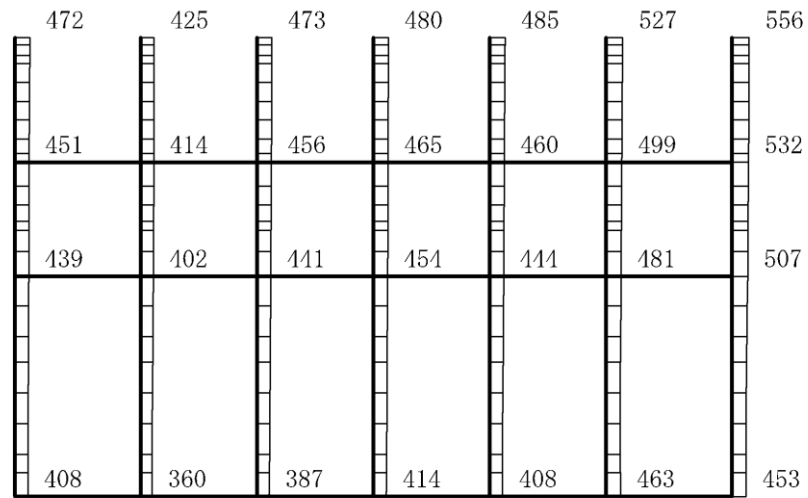
(b) S s - D (--) 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(m)$ 応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-48 最大応答加速度分布図(48/120) (解析ケース⑤)



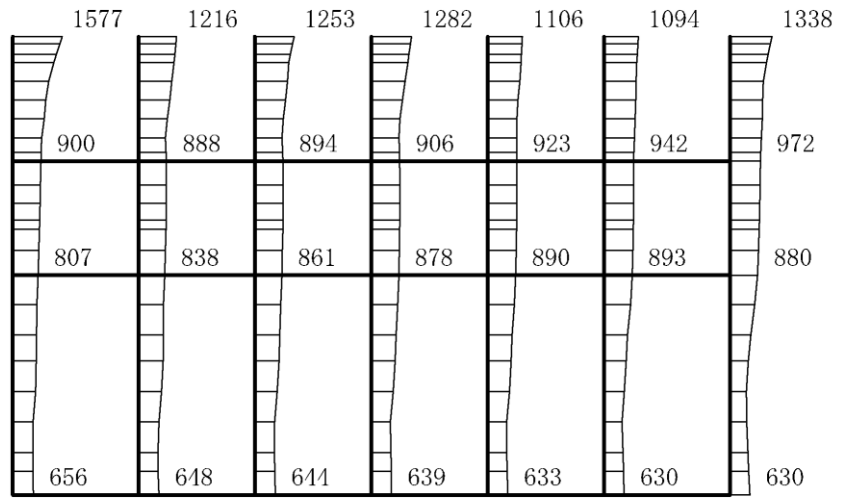
(a) S s - F 1 (++) 水平



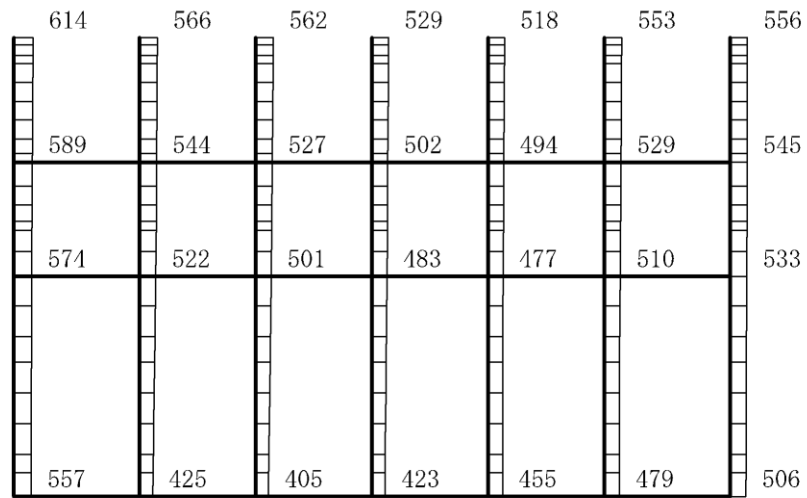
(b) S s - F 1 (++) 鉛直

構造スケール 0 2(m) 応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-49 最大応答加速度分布図(49/120) (解析ケース⑤)



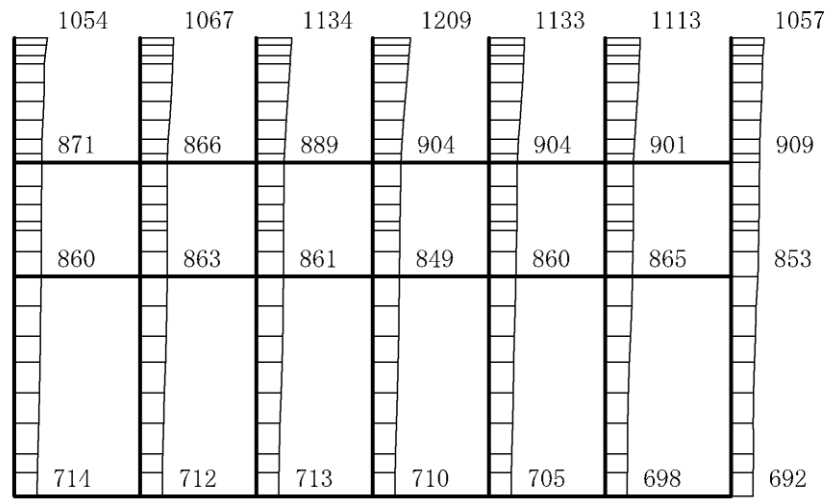
(a) S s - F 2 (++) 水平



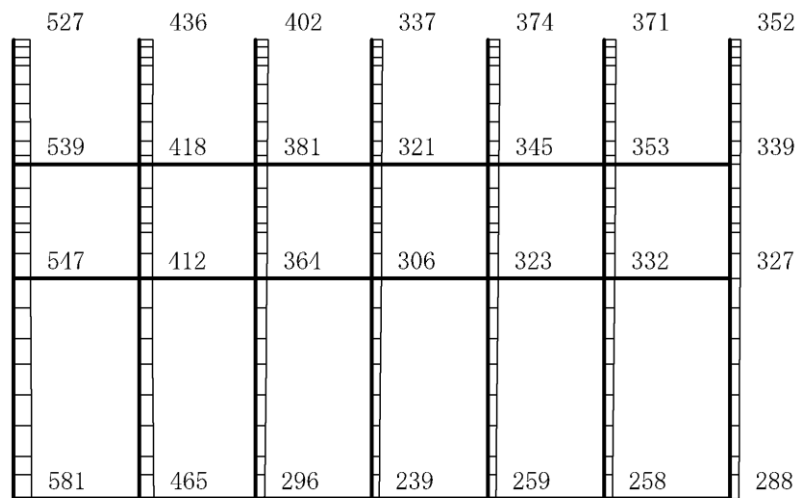
(b) S s - F 2 (++) 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(m)$ 応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-50 最大応答加速度分布図(50/120) (解析ケース⑤)



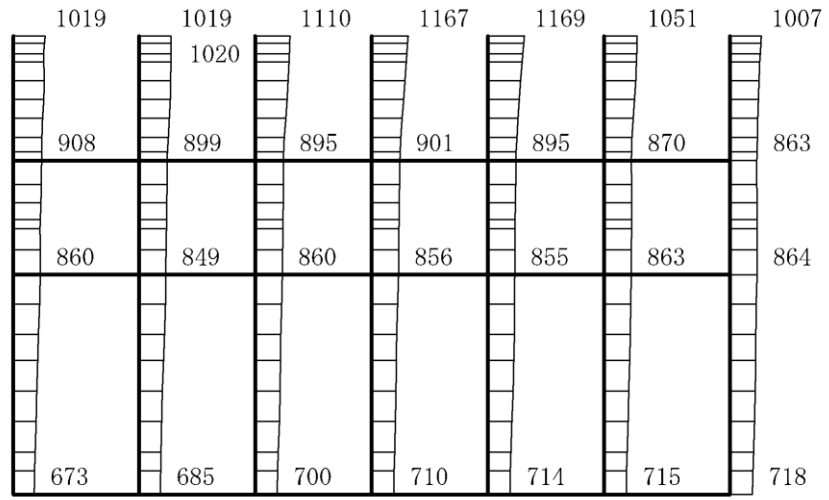
(a) S s - N 1 (++) 水平



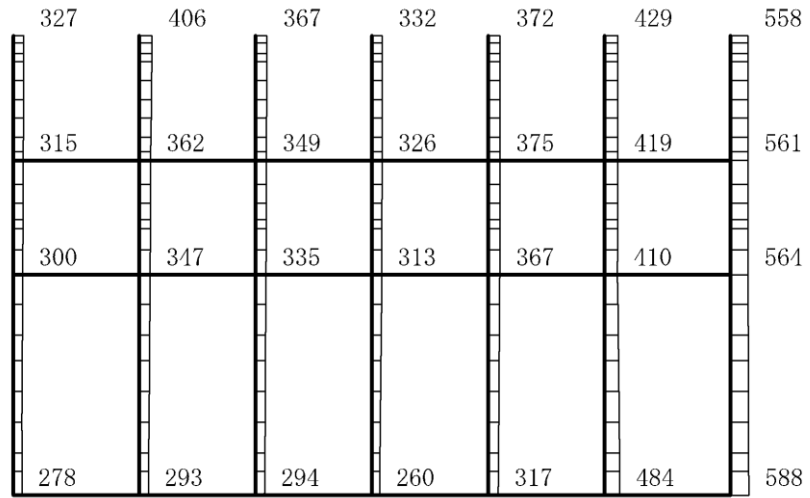
(b) S s - N 1 (++) 鉛直

構造スケール $\underbrace{\quad\quad}_0 \quad 2(\text{m})$ 応答値スケール $\underbrace{\quad\quad}_0 \quad 1500 (\text{cm/s}^2)$

図 4-51 最大応答加速度分布図(51/120) (解析ケース⑤)



(a) S s - N 1 (- +) 水平

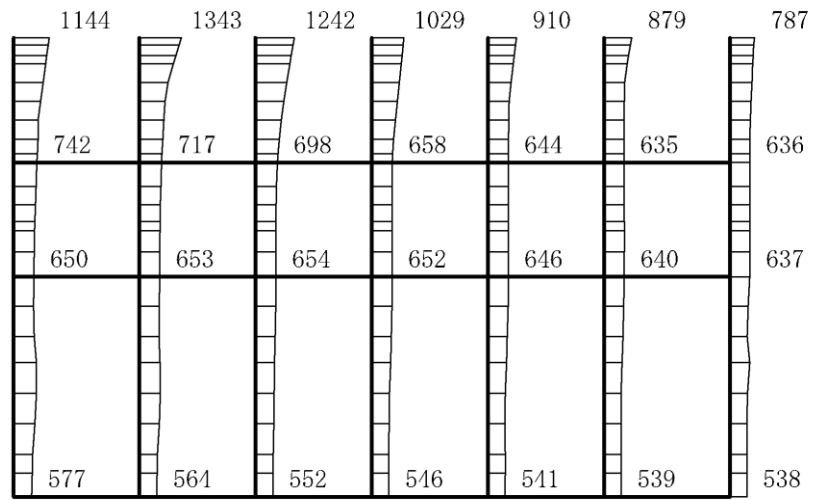


(b) S s - N 1 (- +) 鉛直

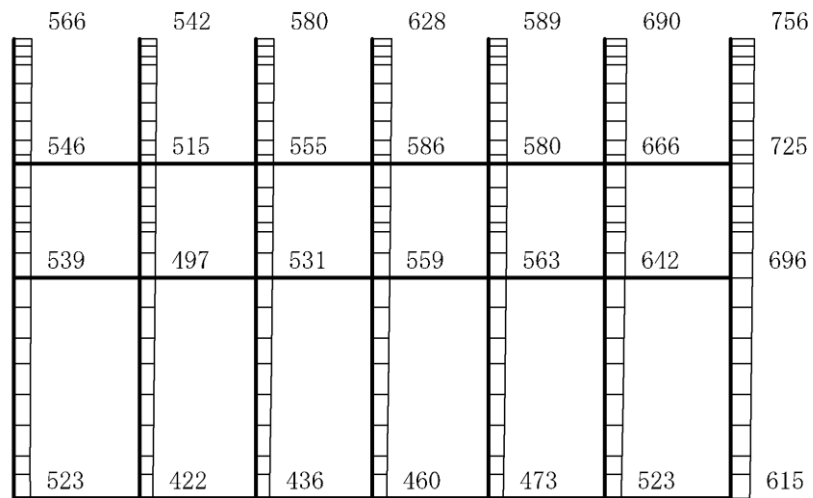
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-52 最大応答加速度分布図(52/120) (解析ケース⑤)



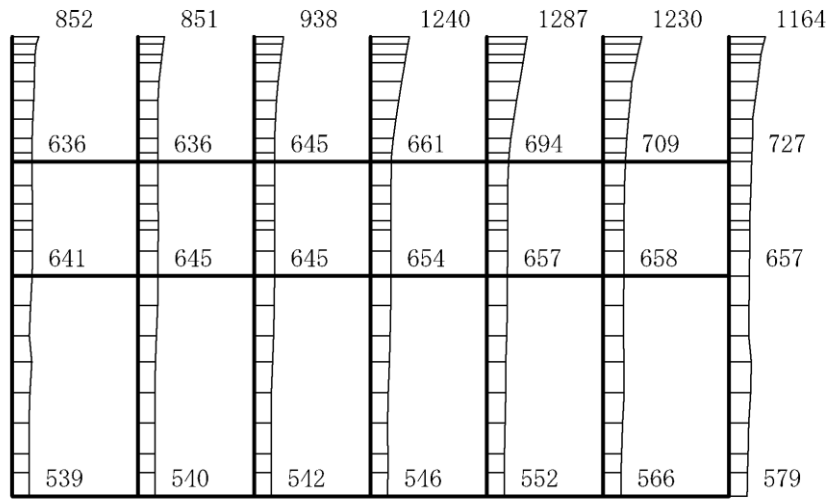
(a) $S_s - N 2 (N S) (++)$ 水平



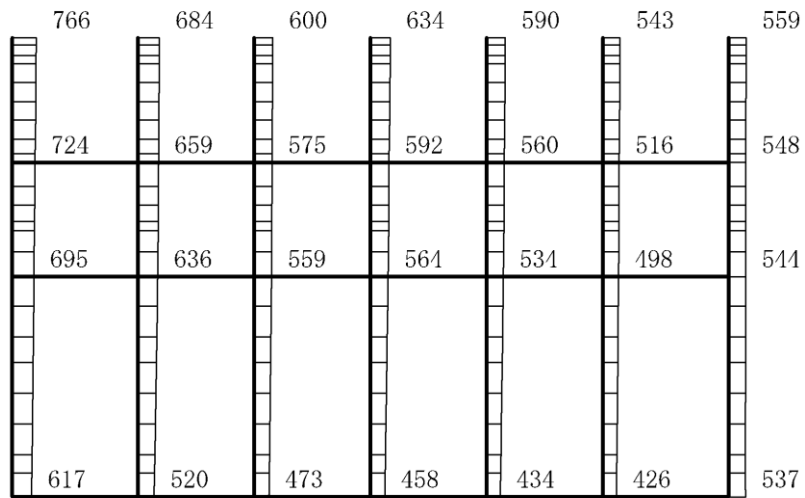
(b) $S_s - N 2 (N S) (++)$ 鉛直

構造スケール $\underbrace{\quad\quad}_0 \quad 2(m)$ 応答値スケール $\underbrace{\quad\quad}_0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-53 最大応答加速度分布図(53/120) (解析ケース⑤)



(a) $S_s - N2 (NS) (-+)$ 水平

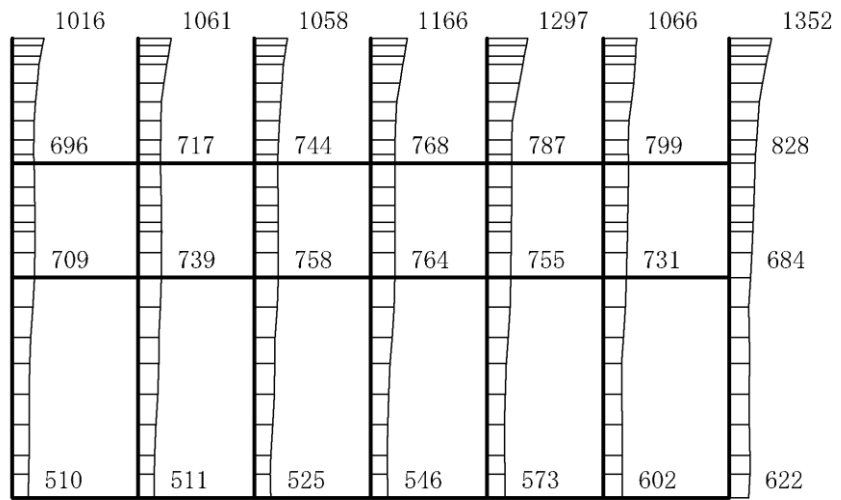


(b) $S_s - N2 (NS) (-+)$ 鉛直

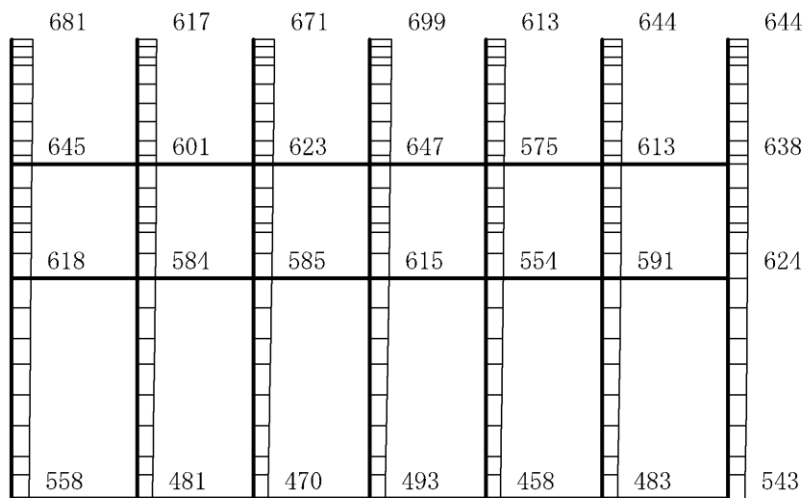
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-54 最大応答加速度分布図(54/120) (解析ケース⑤)



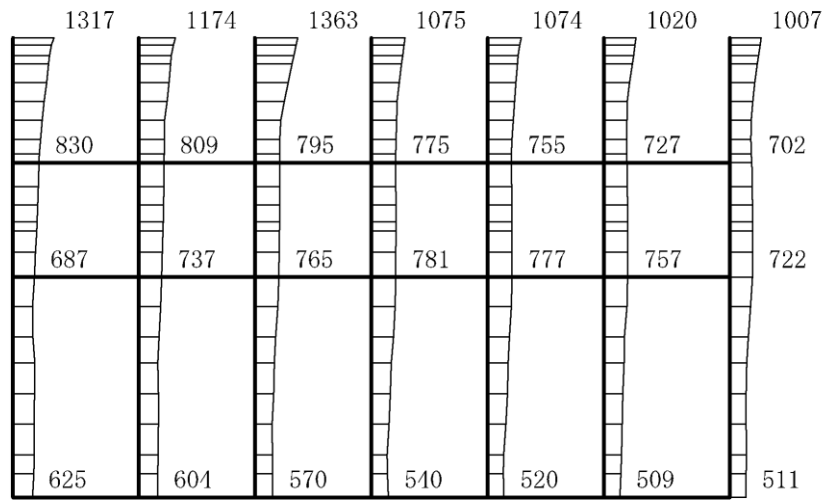
(a) $S_s - N2(EW) (+ +)$ 水平



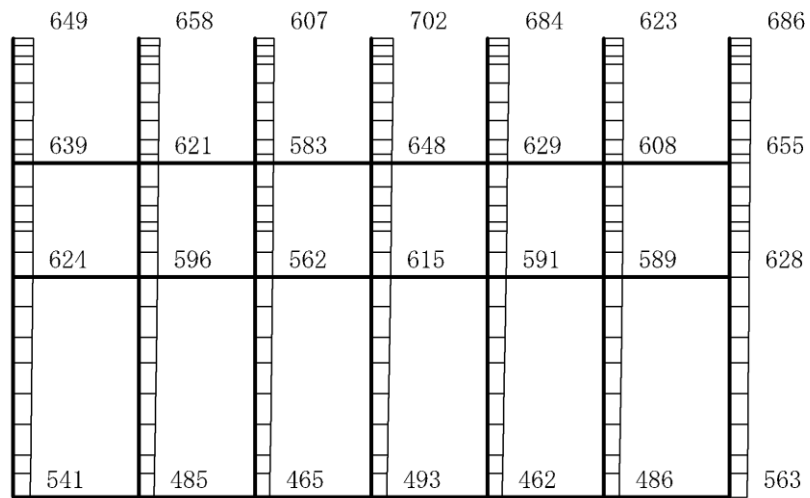
(b) $S_s - N2(EW) (+ +)$ 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(m)$ 応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-55 最大応答加速度分布図(55/120) (解析ケース⑤)



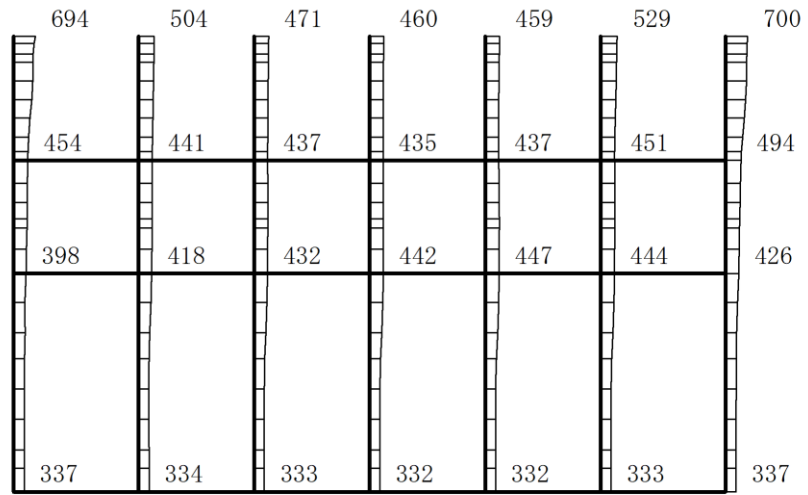
(a) S_s - N 2 (E W) (- +) 水平



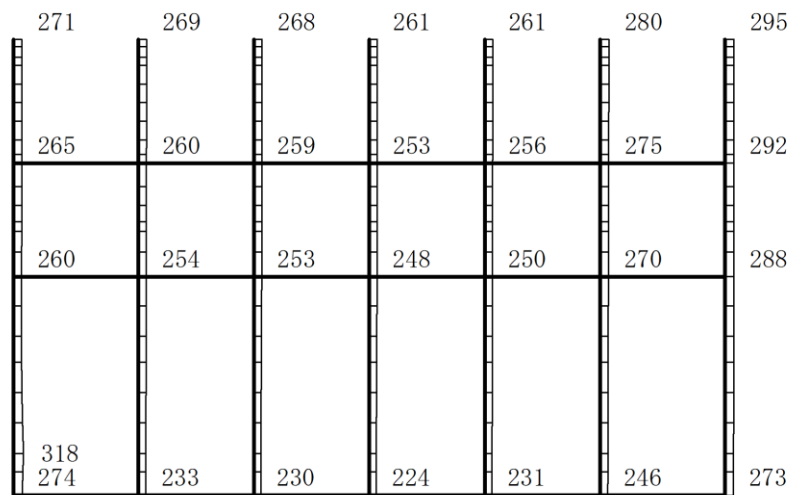
(b) S_s - N 2 (E W) (- +) 鉛直

構造スケール $\underbrace{\quad\quad}_0 \quad 2(\text{m})$ 応答値スケール $\underbrace{\quad\quad}_0 \quad 1500 (\text{cm/s}^2)$

図 4-56 最大応答加速度分布図(56/120) (解析ケース⑤)



(a) S d-D (++) 水平

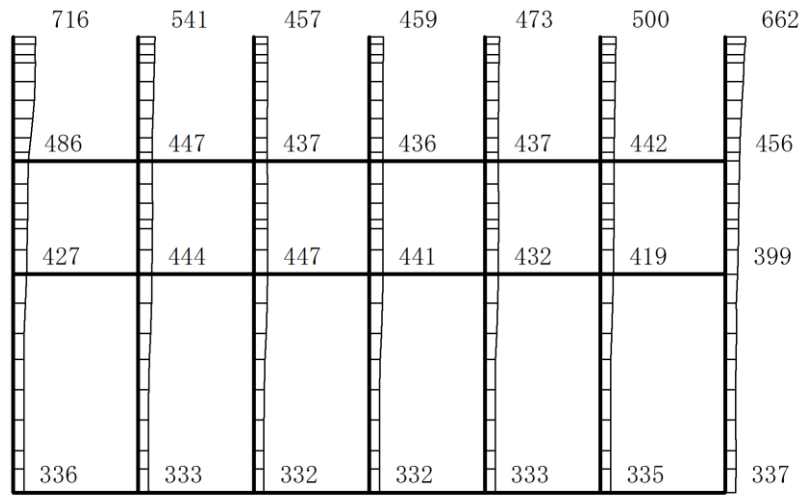


(b) S d-D (++) 鉛直

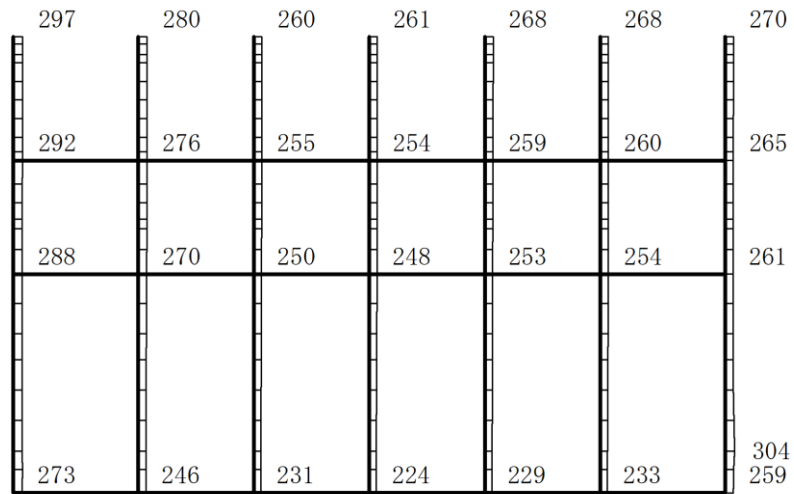
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-57 最大応答加速度分布図(57/120) (解析ケース①)



(a) S d-D (-+) 水平

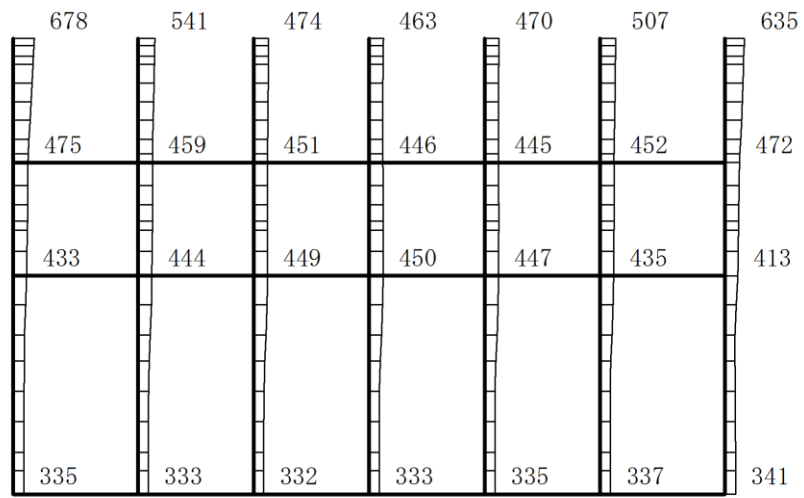


(b) S d-D (-+) 鉛直

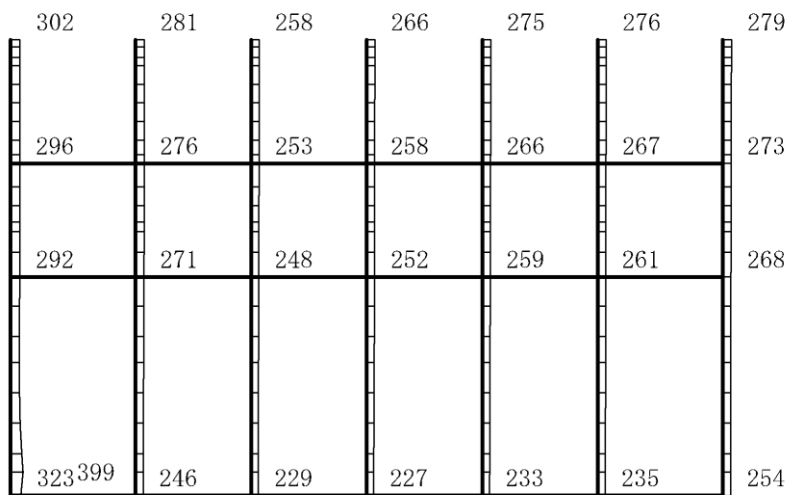
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-58 最大応答加速度分布図(58/120) (解析ケース①)



(a) S d-D (+-) 水平

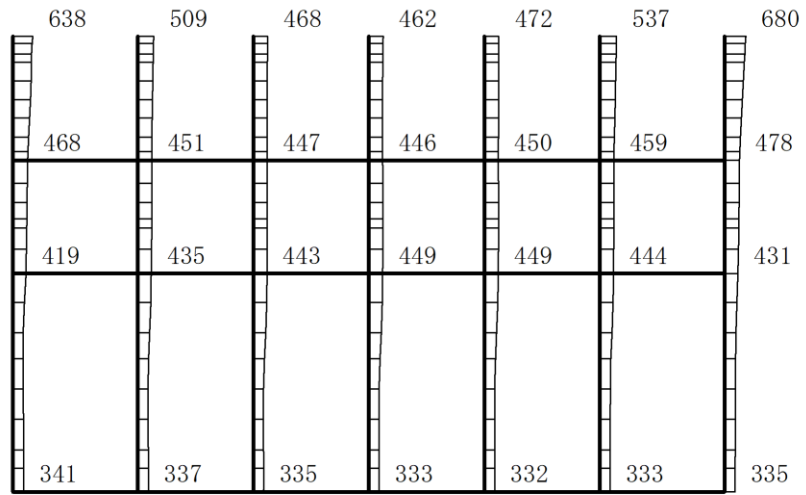


(b) S d-D (+-) 鉛直

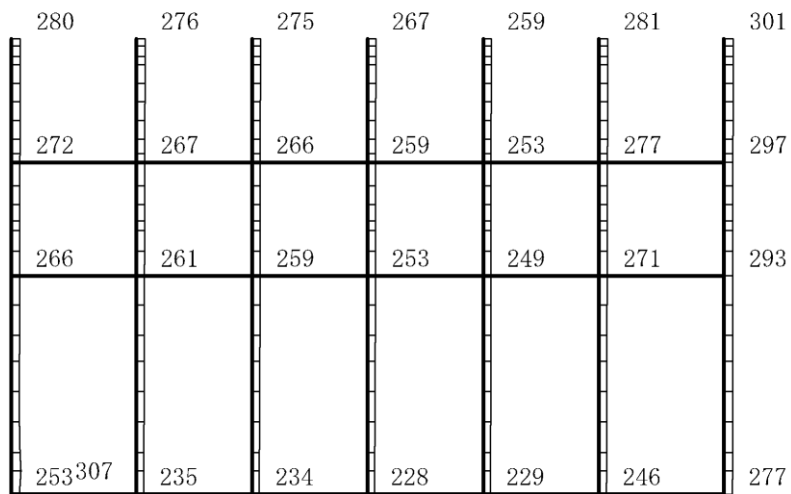
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-59 最大応答加速度分布図(59/120) (解析ケース①)



(a) S d-D (--) 水平

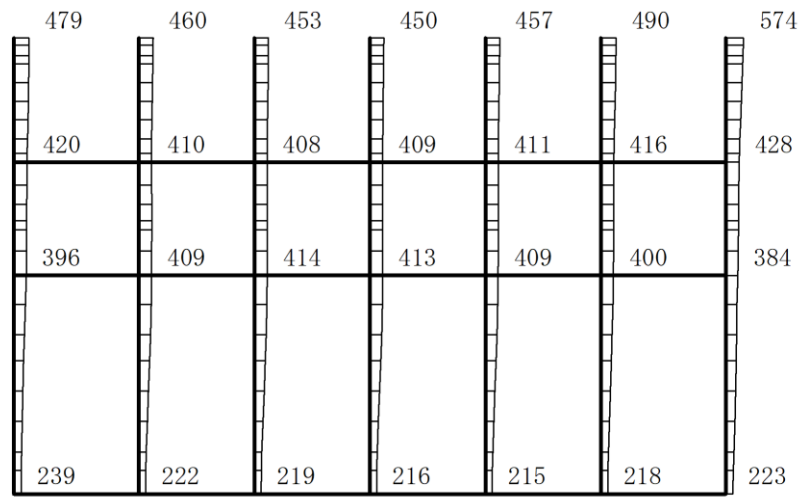


(b) S d-D (--) 鉛直

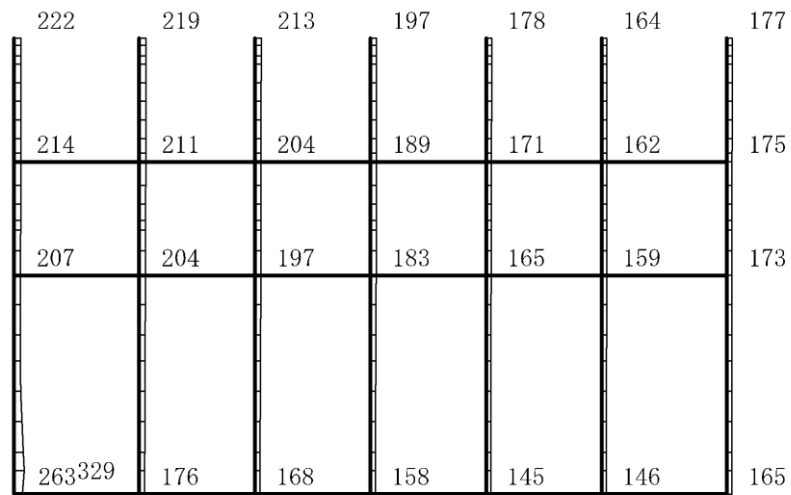
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-60 最大応答加速度分布図(60/120) (解析ケース①)



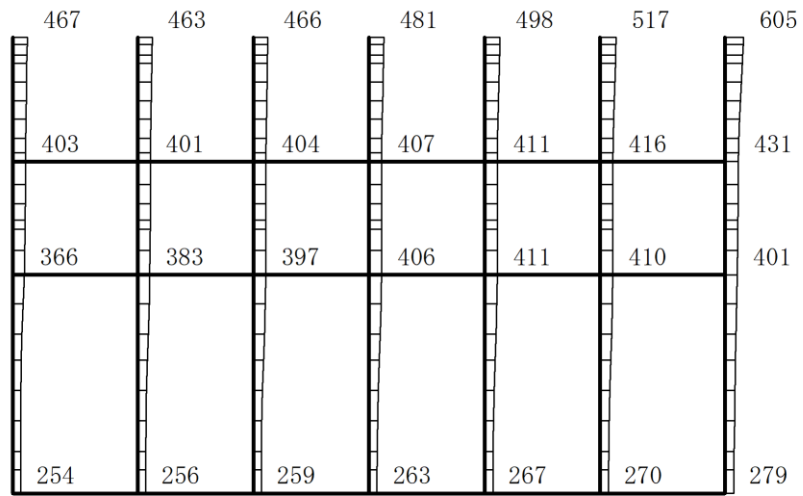
(a) S d - F 1 (++) 水平



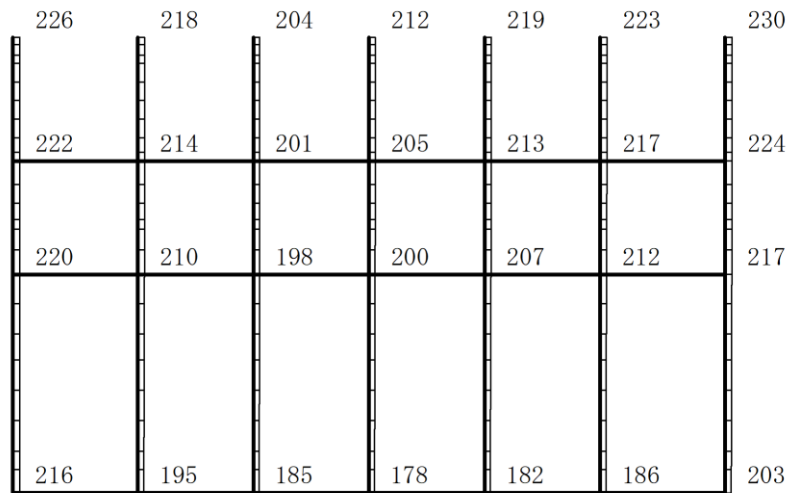
(b) S d - F 1 (++) 鉛直

構造スケール $0 \sim 2(m)$ 応答値スケール $0 \sim 1500 (cm/s^2)$

図 4-61 最大応答加速度分布図(61/120) (解析ケース①)



(a) S d - F 2 (++) 水平

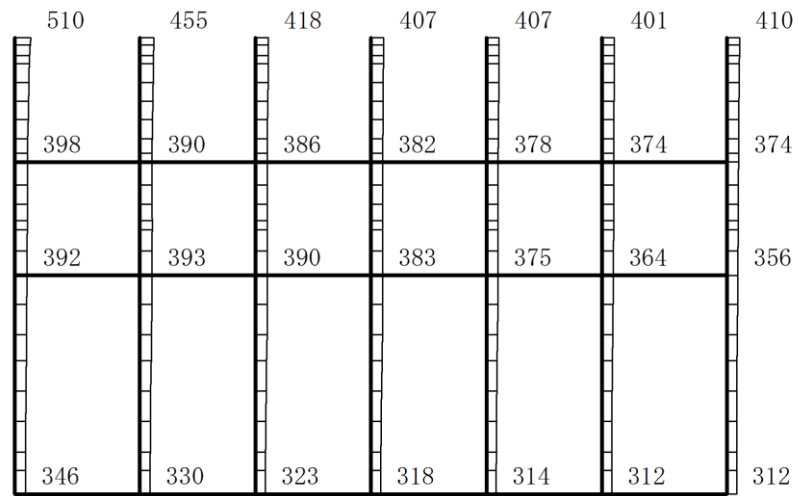


(b) S d - F 2 (++) 鉛直

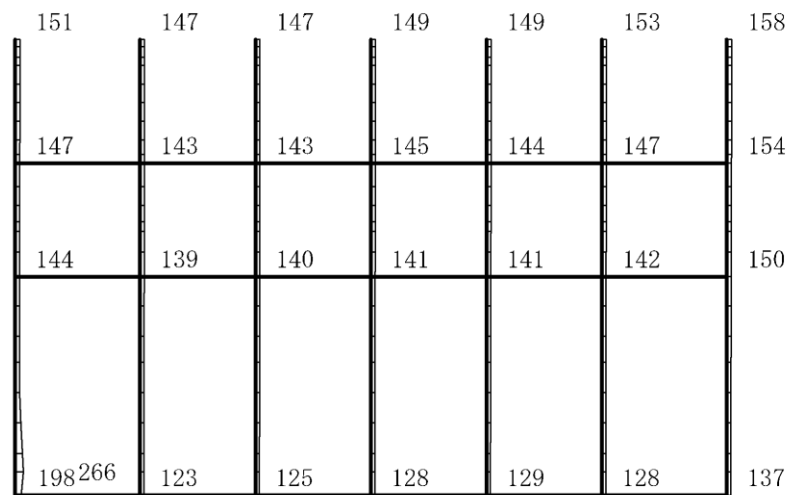
構造スケール $0 \sim 2(m)$

応答値スケール $0 \sim 1500 (cm/s^2)$

図 4-62 最大応答加速度分布図(62/120) (解析ケース①)



(a) S d - N 1 (++) 水平

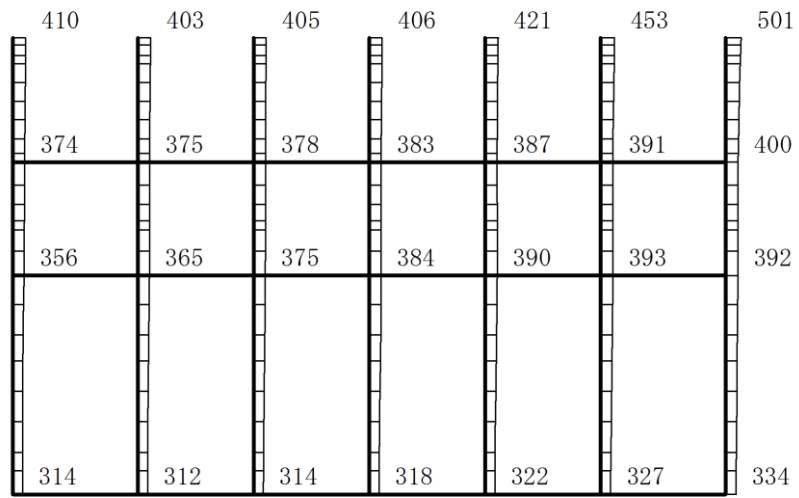


(b) S d - N 1 (++) 鉛直

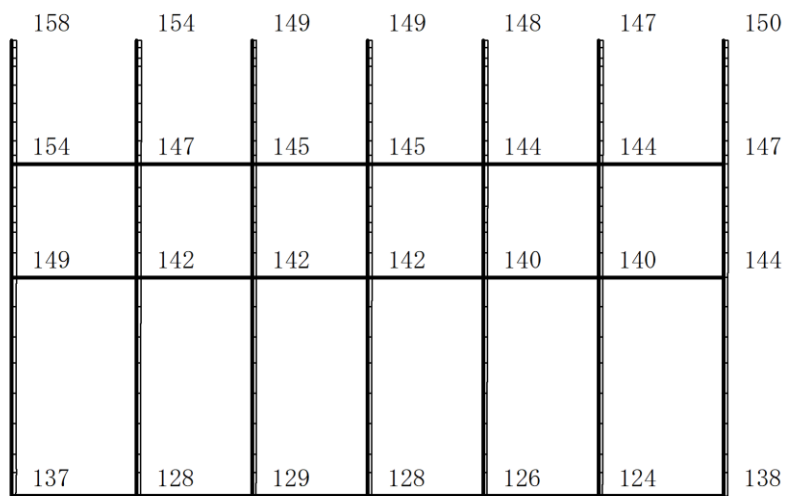
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-63 最大応答加速度分布図(63/120) (解析ケース①)



(a) S d - N 1 (- +) 水平

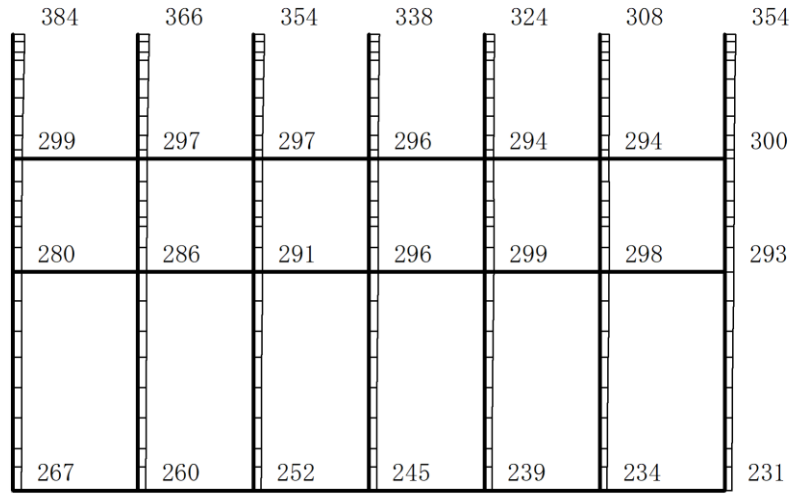


(b) S d - N 1 (- +) 鉛直

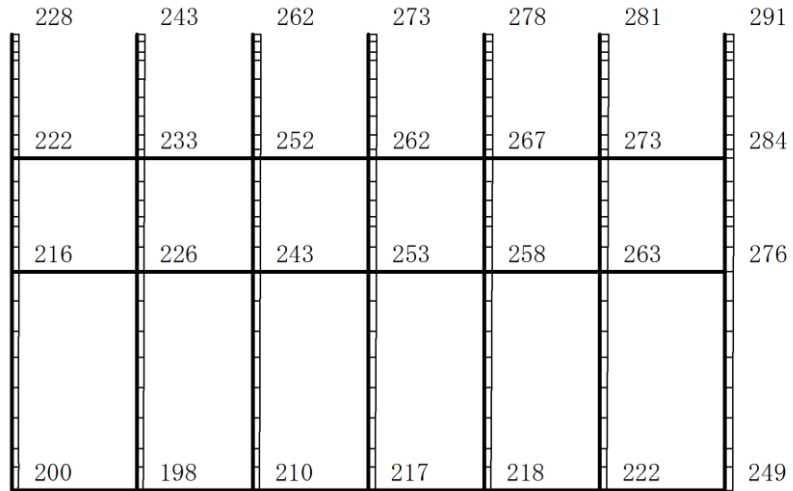
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-64 最大応答加速度分布図(64/120) (解析ケース①)



(a) S d - N 2 (N S) (+ +) 水平

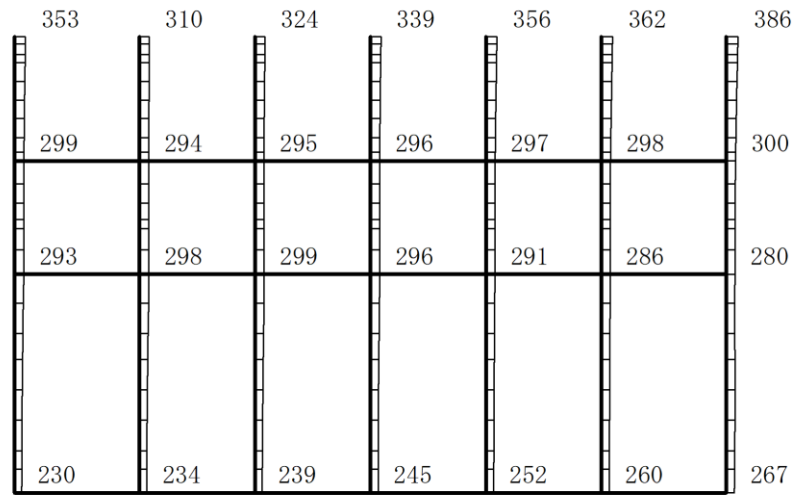


(b) S d - N 2 (N S) (+ +) 鉛直

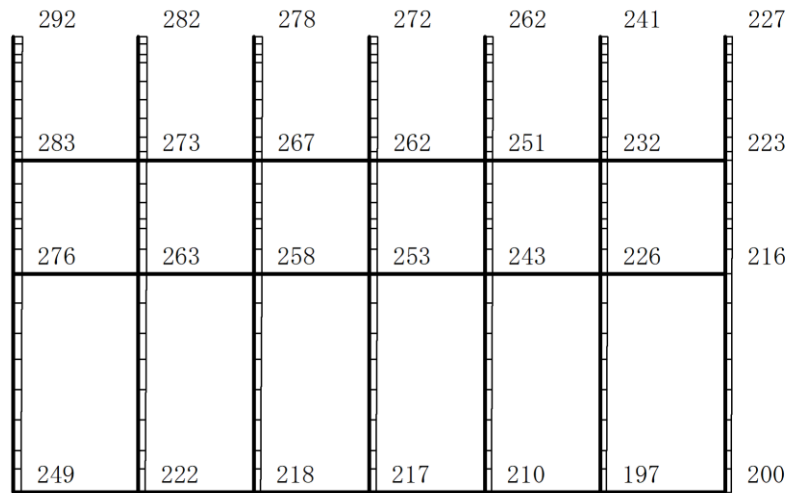
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-65 最大応答加速度分布図(65/120) (解析ケース①)



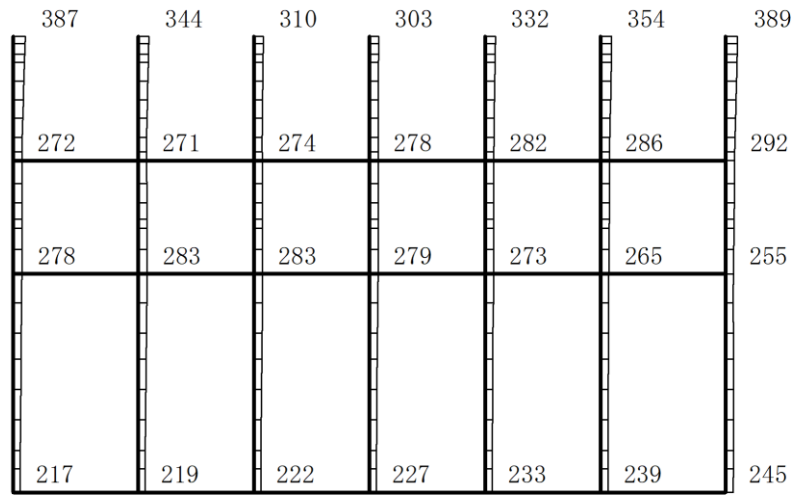
(a) S d - N 2 (N S) (- +) 水平



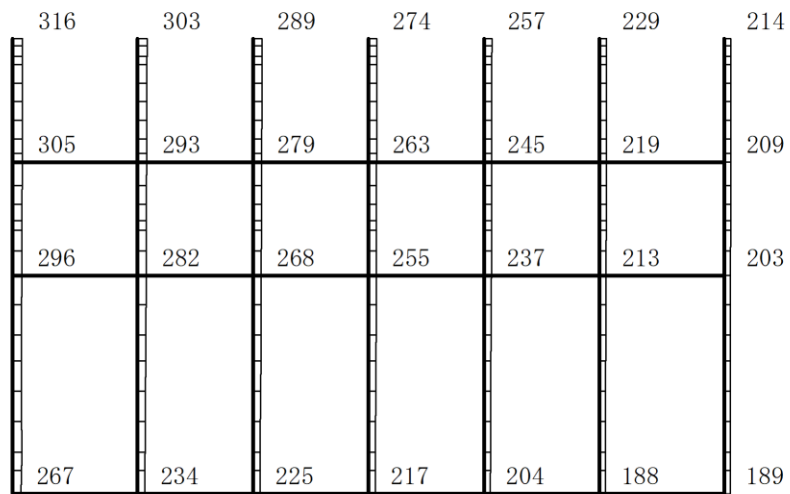
(b) S d - N 2 (N S) (- +) 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(m)$ 応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-66 最大応答加速度分布図(66/120) (解析ケース①)



(a) S d - N 2 (E W) (+ +) 水平

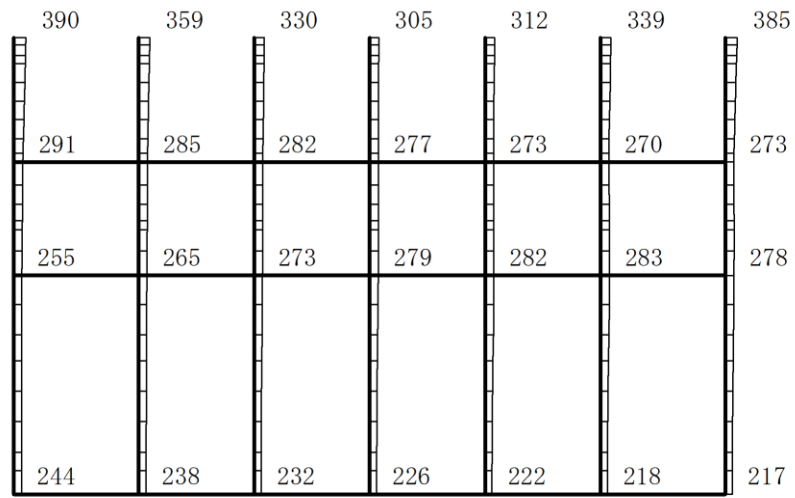


(b) S d - N 2 (E W) (+ +) 鉛直

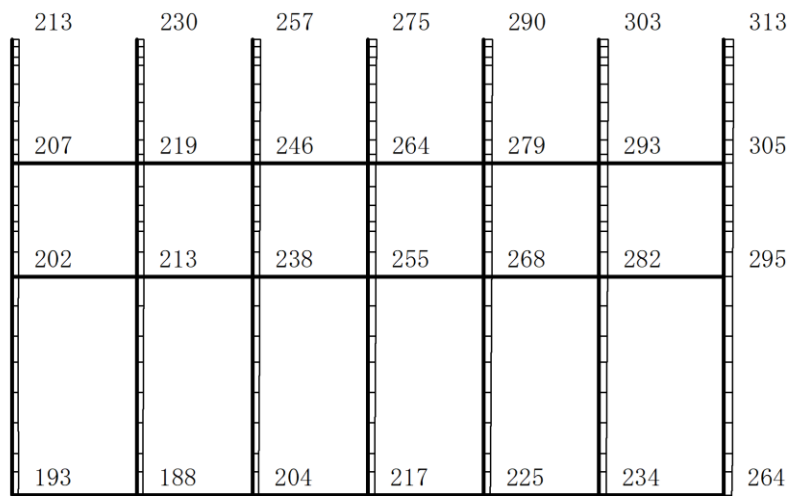
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-67 最大応答加速度分布図(67/120) (解析ケース①)



(a) S d - N 2 (E W) (- +) 水平

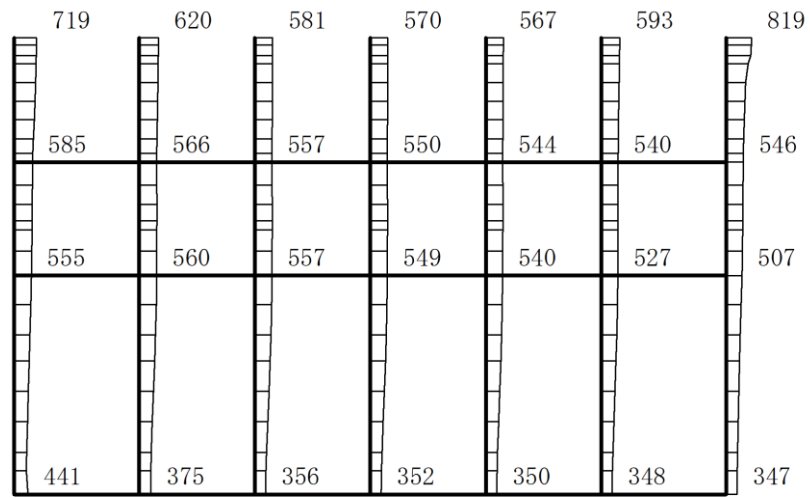


(b) S d - N 2 (E W) (- +) 鉛直

構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-68 最大応答加速度分布図(68/120) (解析ケース①)



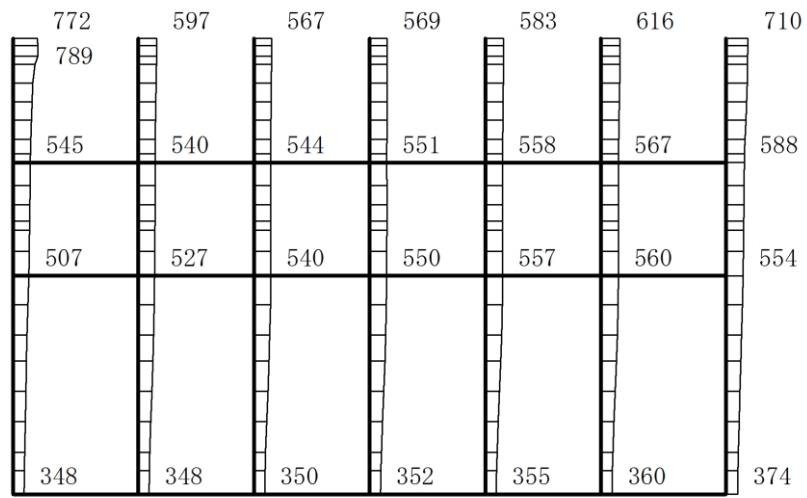
(a) S d- 1 (++) 水平



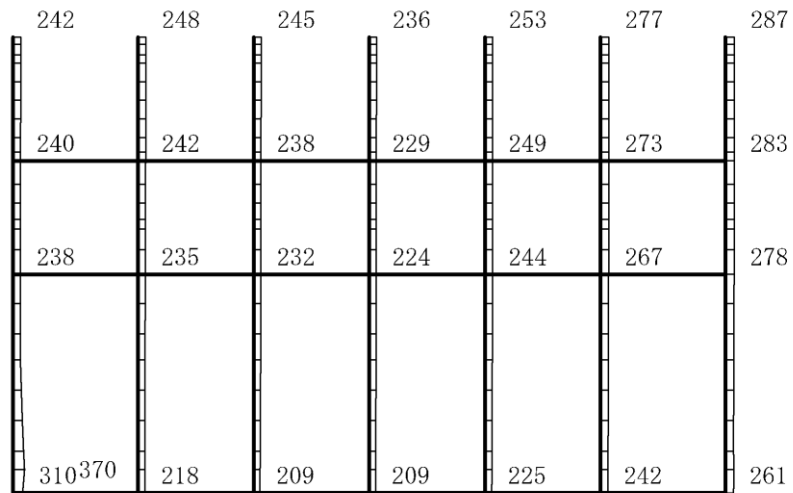
(b) S d- 1 (++) 鉛直

構造スケール $0 \sim 2(m)$ 応答値スケール $0 \sim 1500 (cm/s^2)$

図 4-69 最大応答加速度分布図(69/120) (解析ケース①)



(a) S d- 1 (- +) 水平

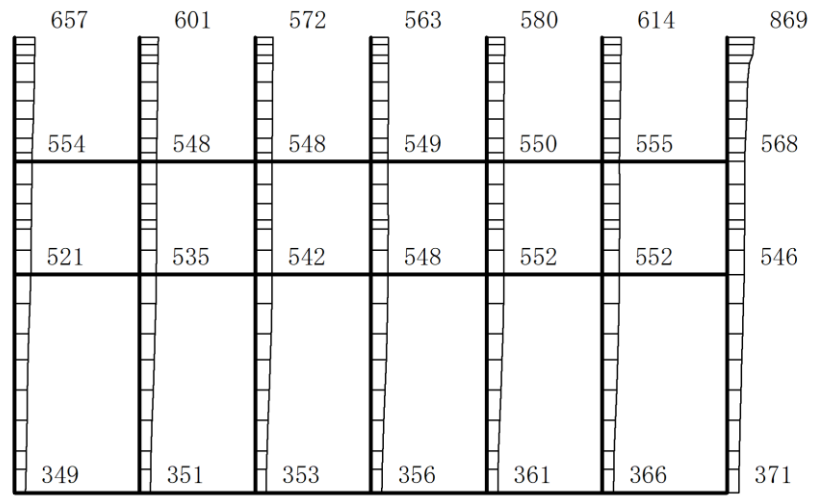


(b) S d- 1 (- +) 鉛直

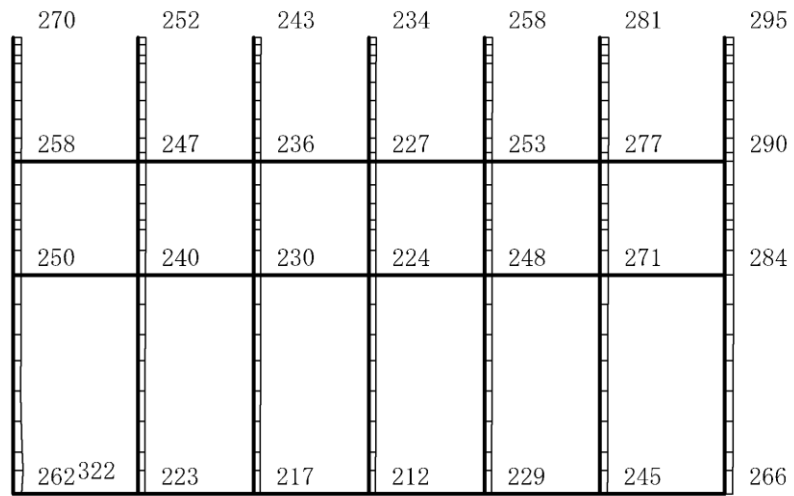
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-70 最大応答加速度分布図(70/120) (解析ケース①)



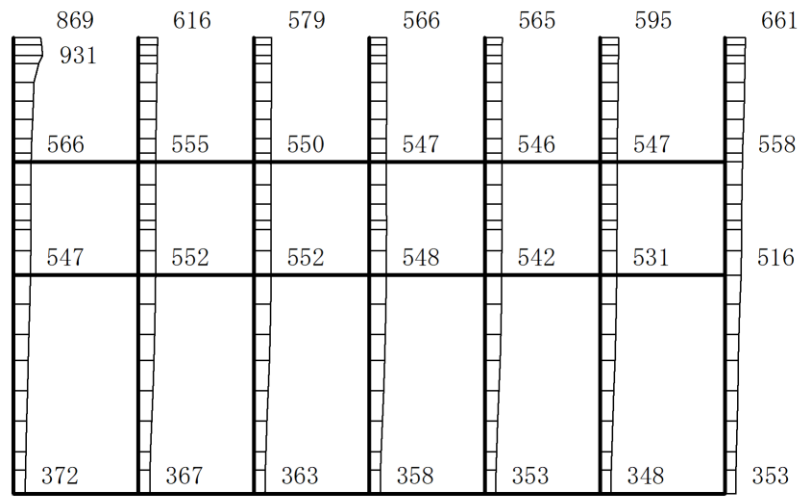
(a) Sd-1 (+-) 水平



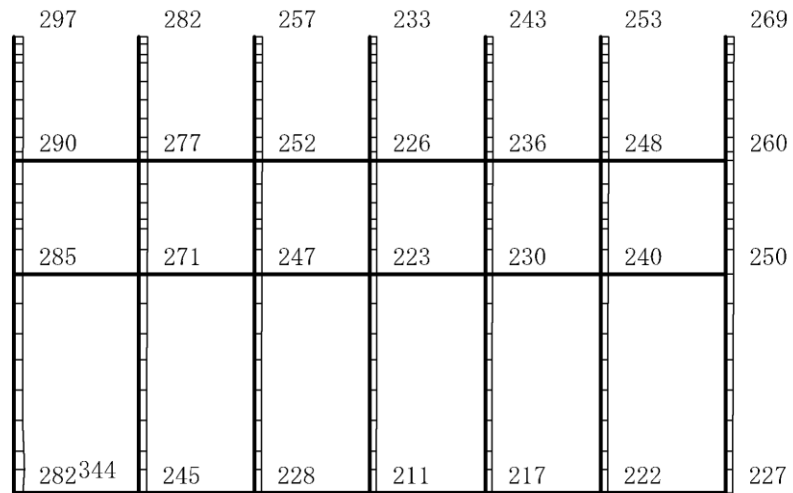
(b) Sd-1 (+-) 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(m)$ 応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-71 最大応答加速度分布図(71/120) (解析ケース①)



(a) Sd-1 (--) 水平

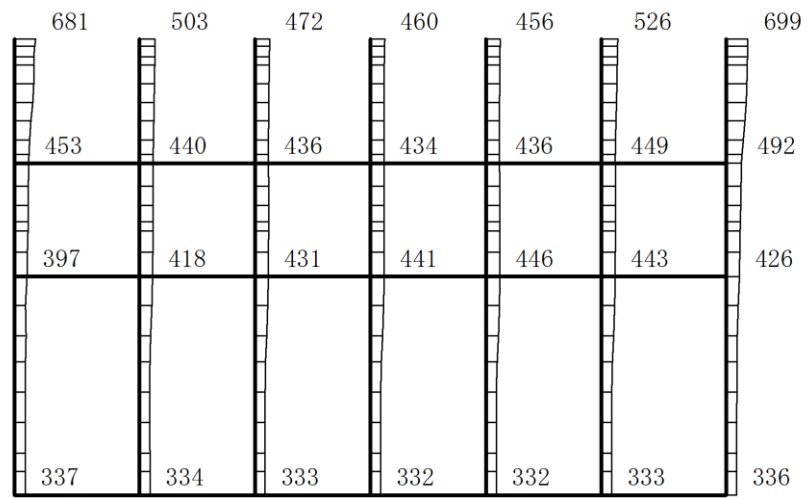


(b) Sd-1 (--) 鉛直

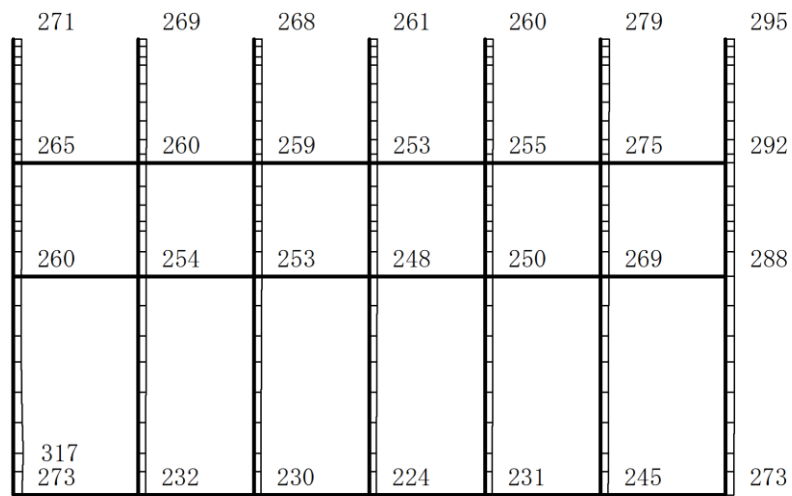
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-72 最大応答加速度分布図(72/120) (解析ケース①)



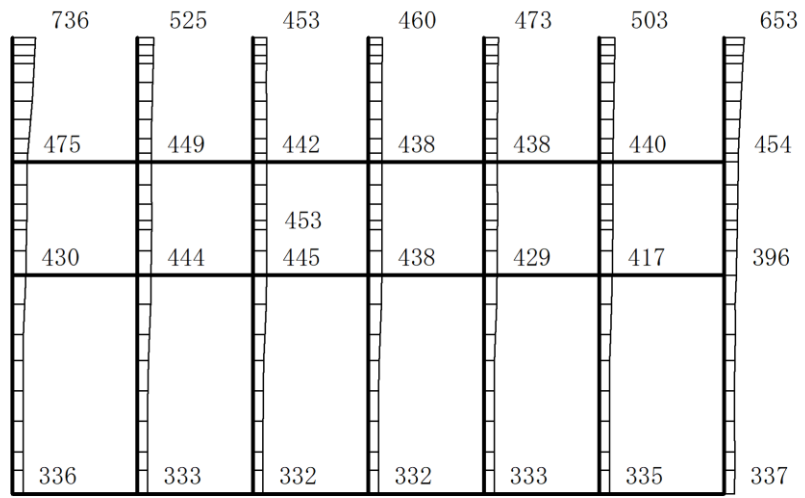
(a) S d-D (++) 水平



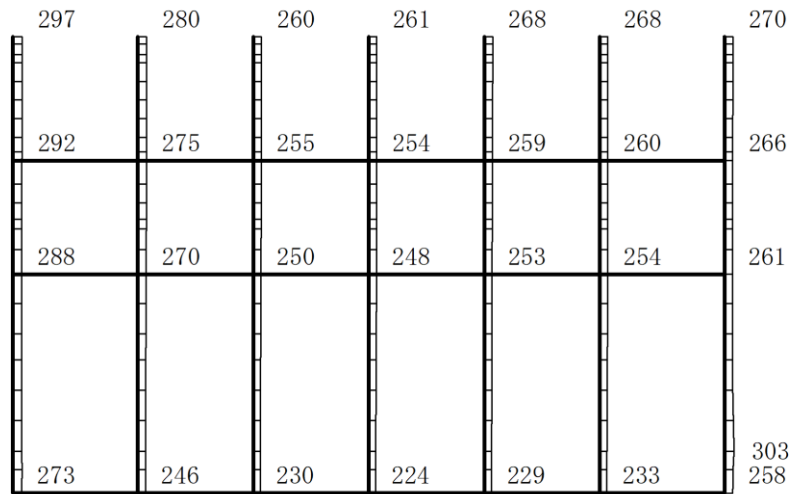
(b) S d-D (++) 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(m)$ 応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-73 最大応答加速度分布図(73/120) (解析ケース②)



(a) S d-D (-+) 水平

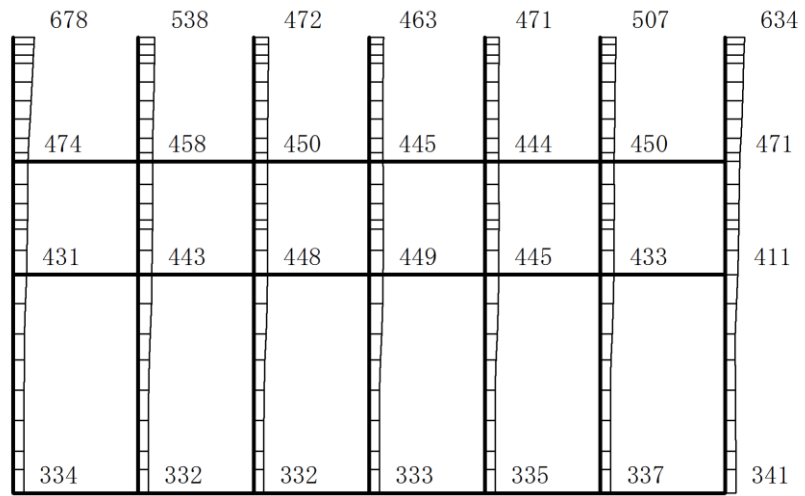


(b) S d-D (-+) 鉛直

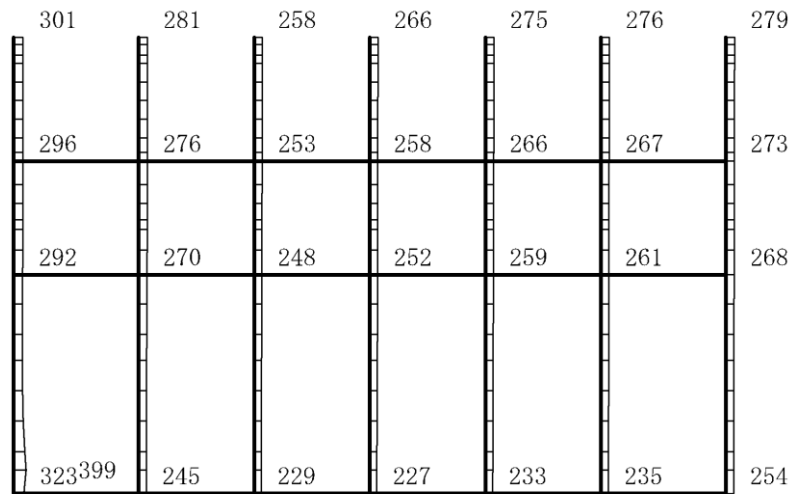
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-74 最大応答加速度分布図(74/120) (解析ケース②)



(a) S d-D (+-) 水平

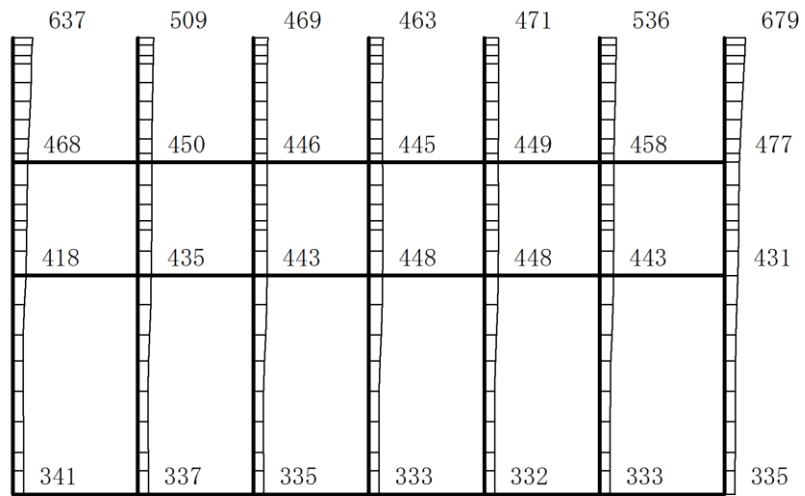


(b) S d-D (+-) 鉛直

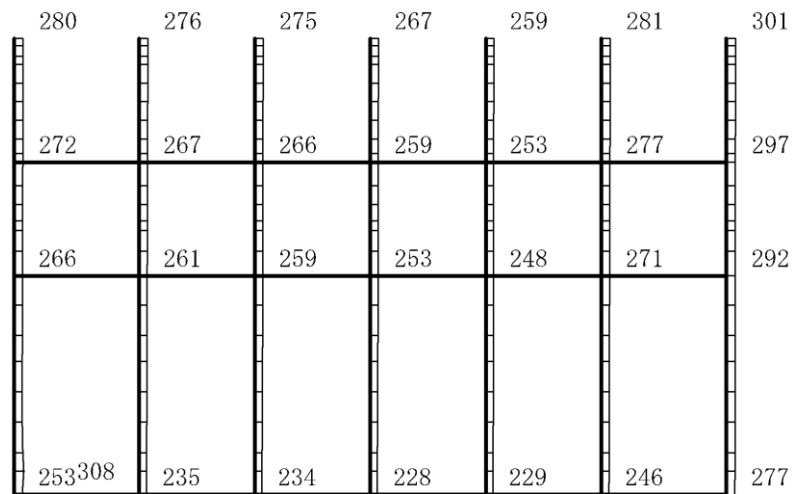
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-75 最大応答加速度分布図(75/120) (解析ケース②)



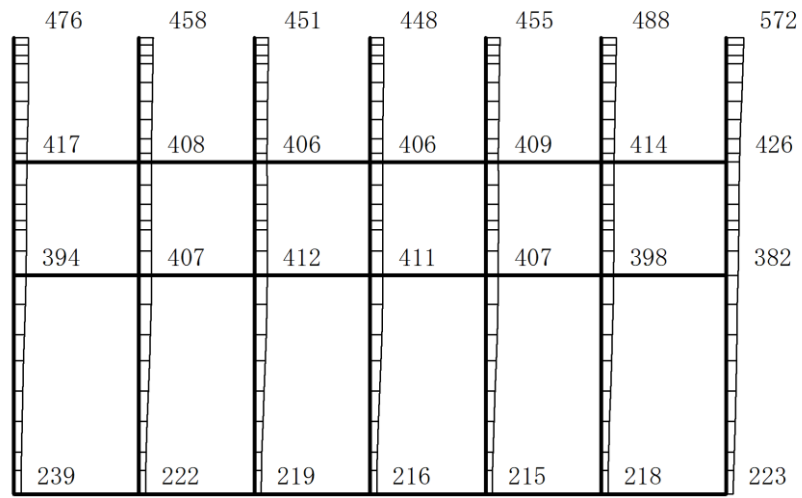
(a) S d-D (--) 水平



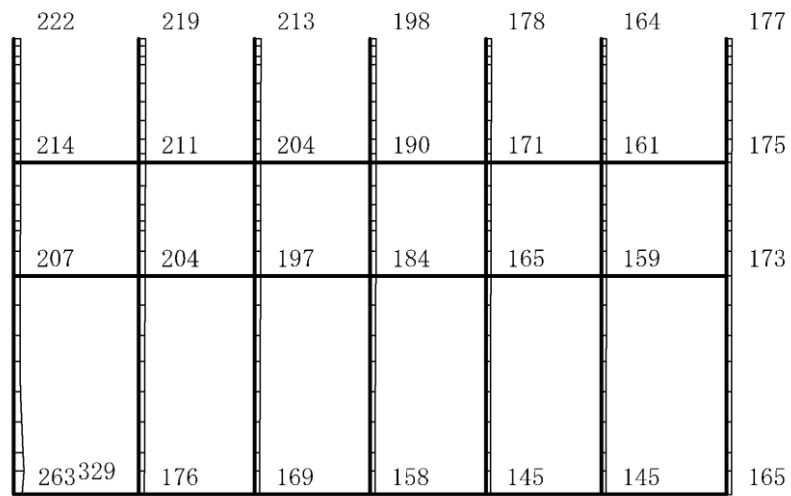
(b) S d-D (--) 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(m)$ 応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-76 最大応答加速度分布図(76/120) (解析ケース②)



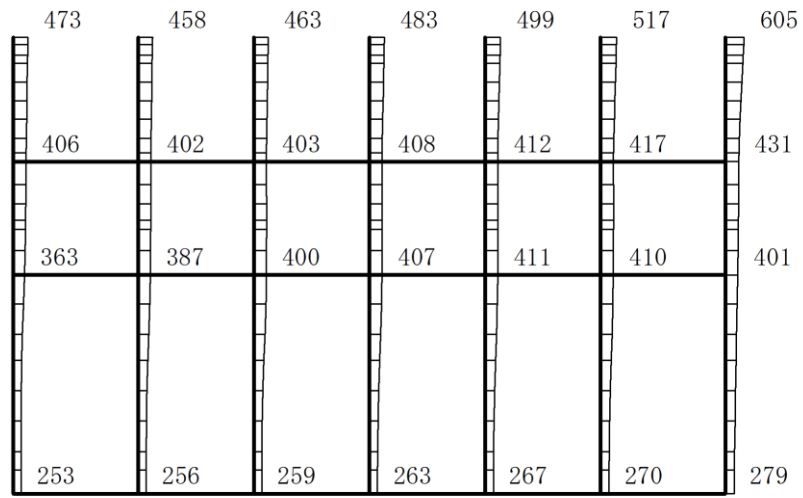
(a) S d - F 1 (++) 水平



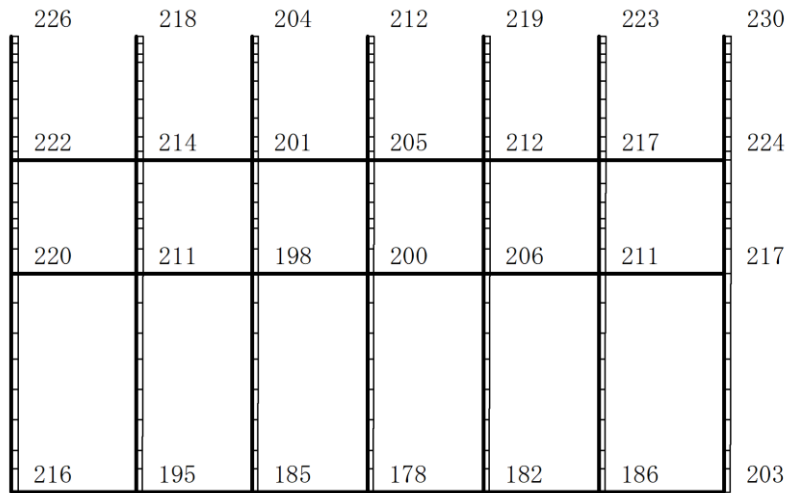
(b) S d - F 1 (++) 鉛直

構造スケール $0 \sim 2(m)$ 応答値スケール $0 \sim 1500 (cm/s^2)$

図 4-77 最大応答加速度分布図(77/120) (解析ケース②)



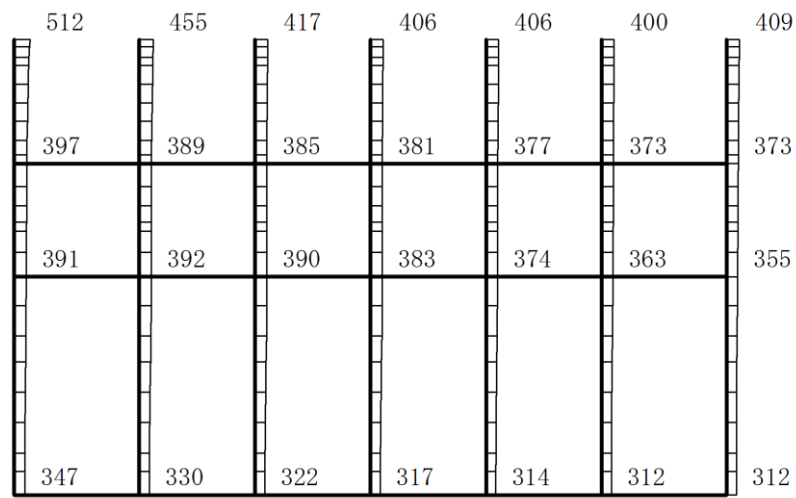
(a) S d - F 2 (++) 水平



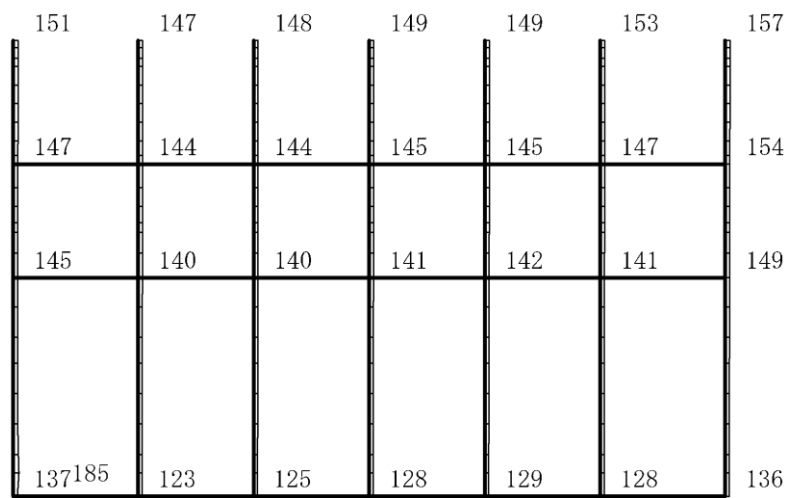
(b) S d - F 2 (++) 鉛直

構造スケール $0 \sim 2(m)$ 応答値スケール $0 \sim 1500 (cm/s^2)$

図 4-78 最大応答加速度分布図(78/120) (解析ケース②)



(a) S d - N 1 (++) 水平

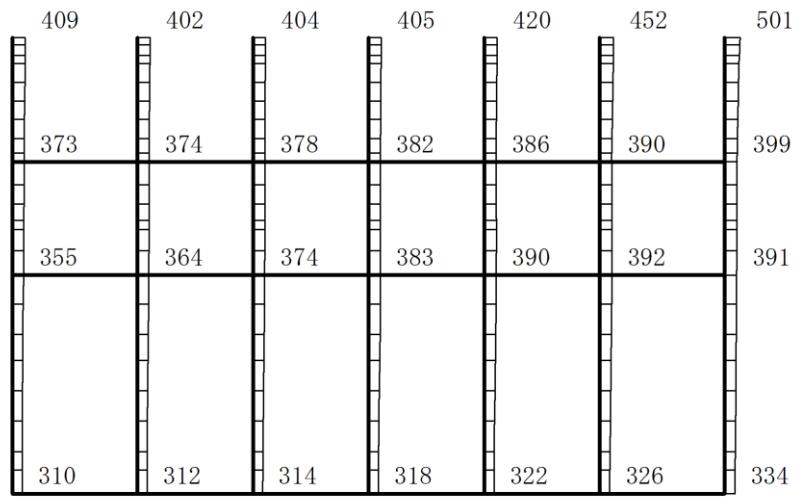


(b) S d - N 1 (++) 鉛直

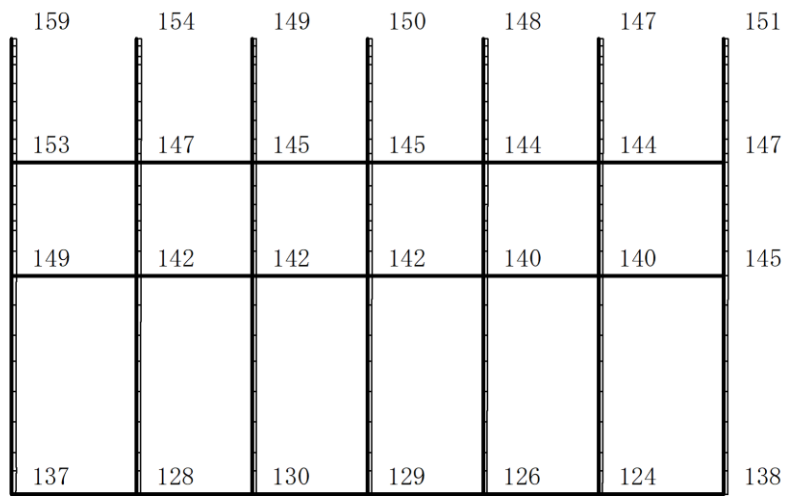
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-79 最大応答加速度分布図(79/120) (解析ケース②)



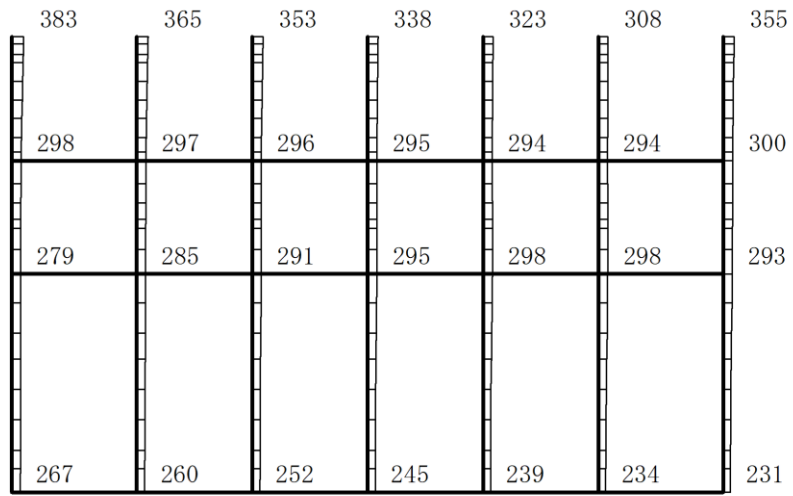
(a) S d - N 1 (- +) 水平



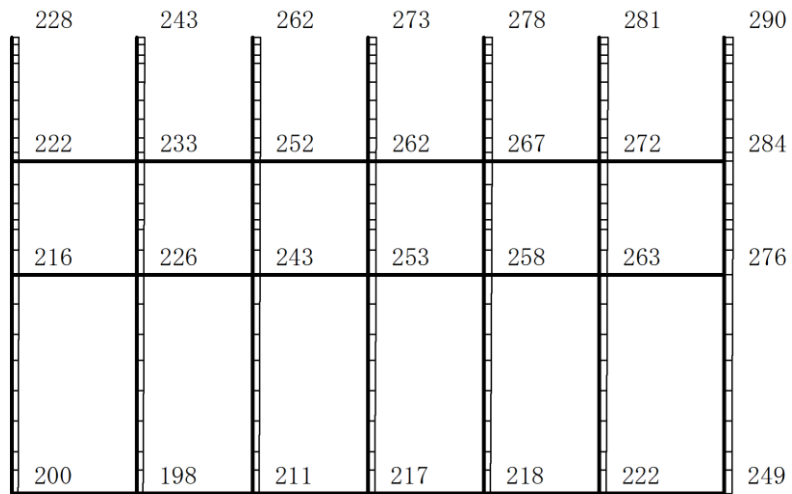
(b) S d - N 1 (- +) 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(m)$ 応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-80 最大応答加速度分布図(80/120) (解析ケース②)



(a) S d - N 2 (N S) (+ +) 水平

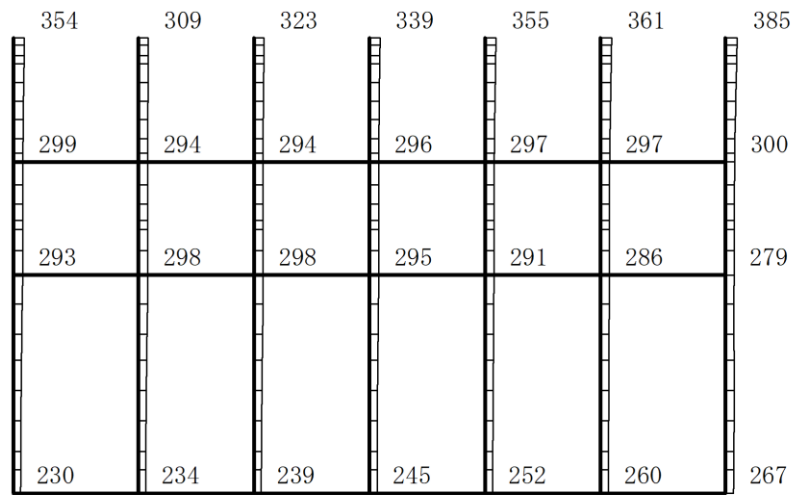


(b) S d - N 2 (N S) (+ +) 鉛直

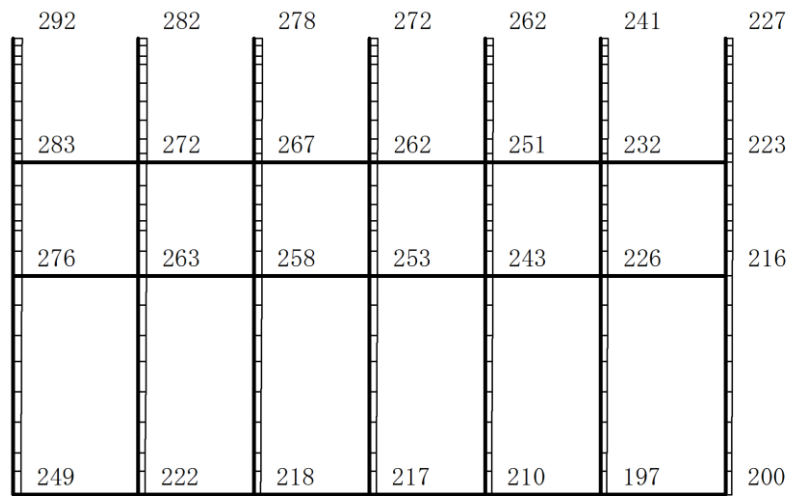
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-81 最大応答加速度分布図(81/120) (解析ケース②)



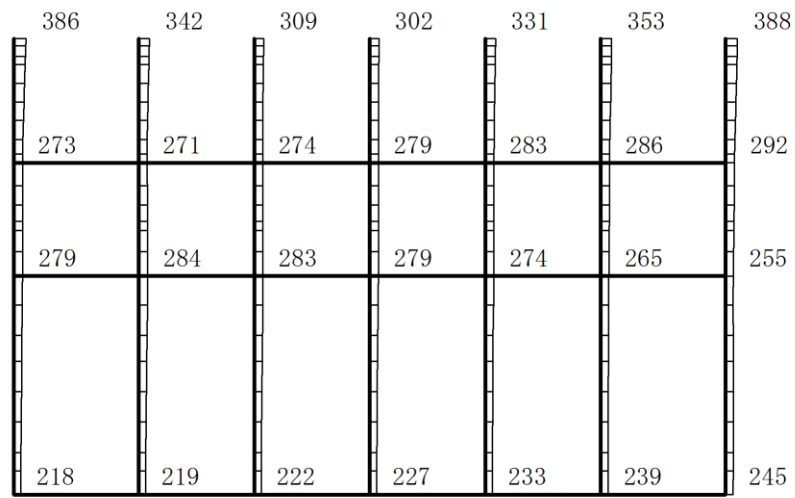
(a) S d - N 2 (N S) (- +) 水平



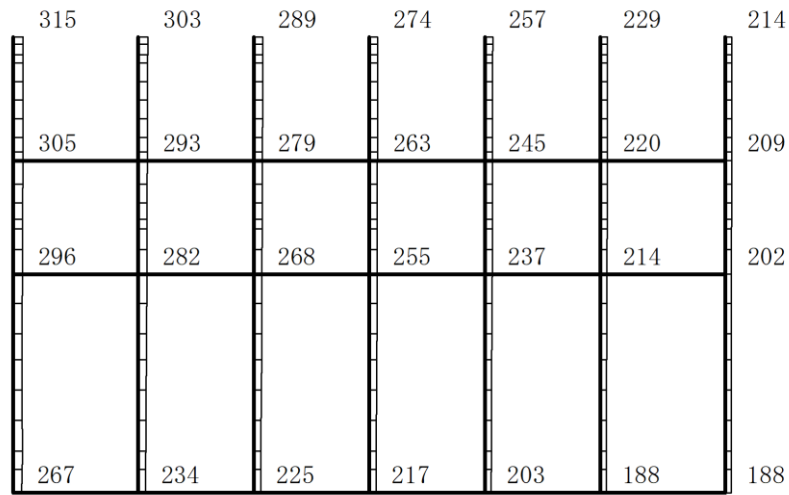
(b) S d - N 2 (N S) (- +) 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(m)$ 応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-82 最大応答加速度分布図(82/120) (解析ケース②)



(a) S d - N 2 (E W) (+ +) 水平

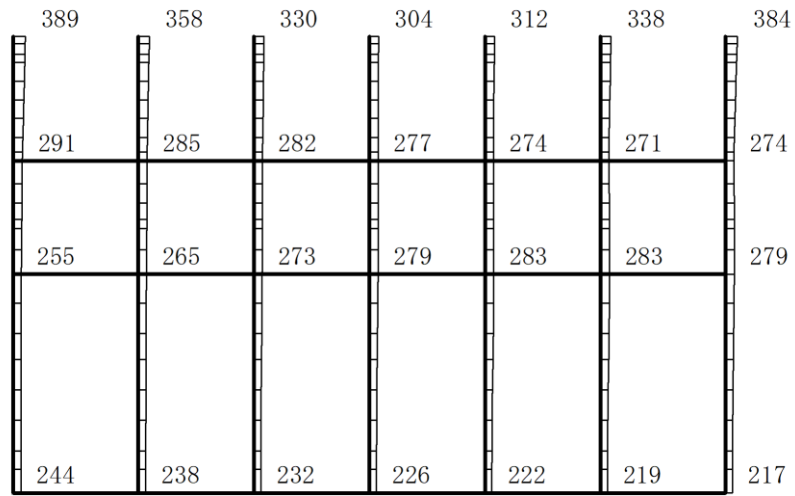


(b) S d - N 2 (E W) (+ +) 鉛直

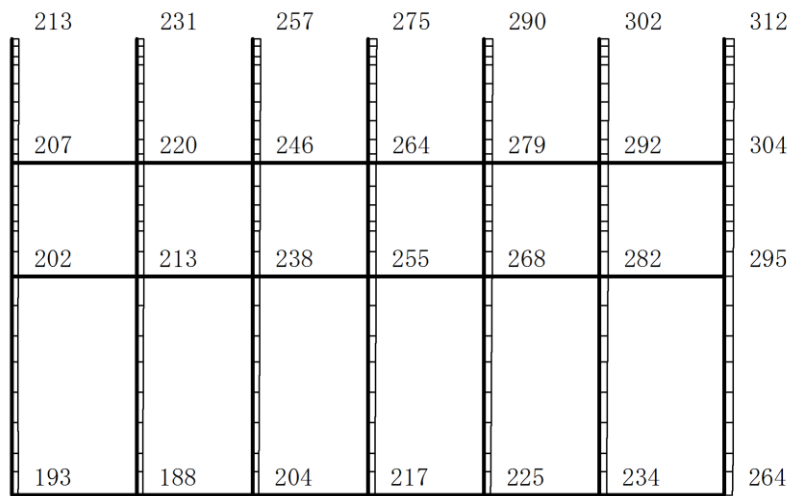
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-83 最大応答加速度分布図 (83/120) (解析ケース②)



(a) S d - N 2 (E W) (- +) 水平

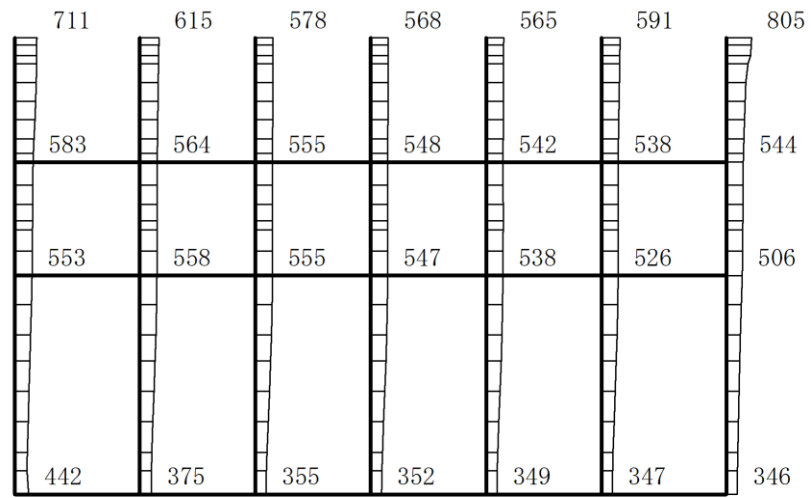


(b) S d - N 2 (E W) (- +) 鉛直

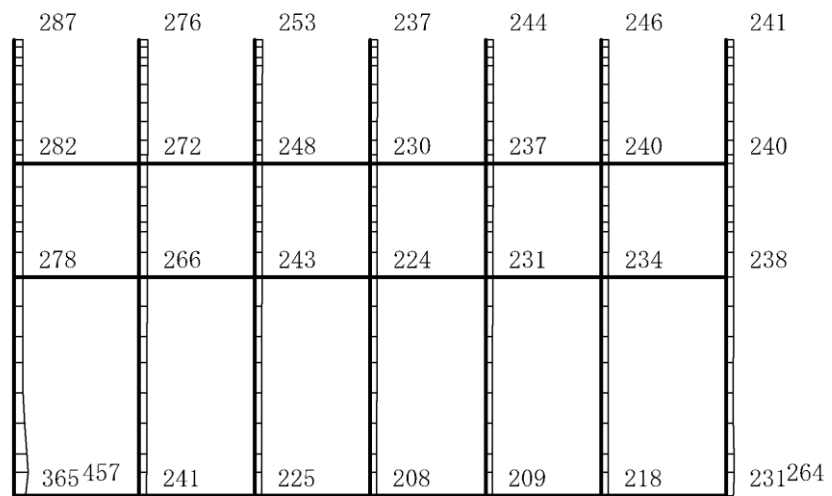
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-84 最大応答加速度分布図(84/120) (解析ケース②)



(a) S d- 1 (++) 水平

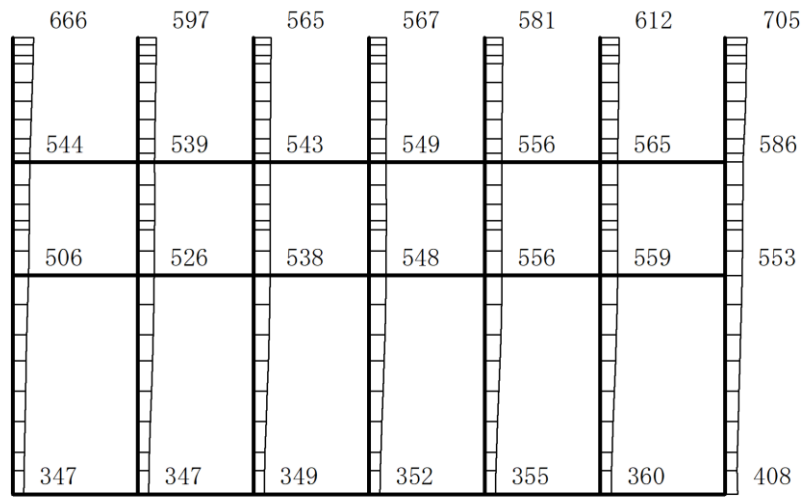


(b) S d- 1 (++) 鉛直

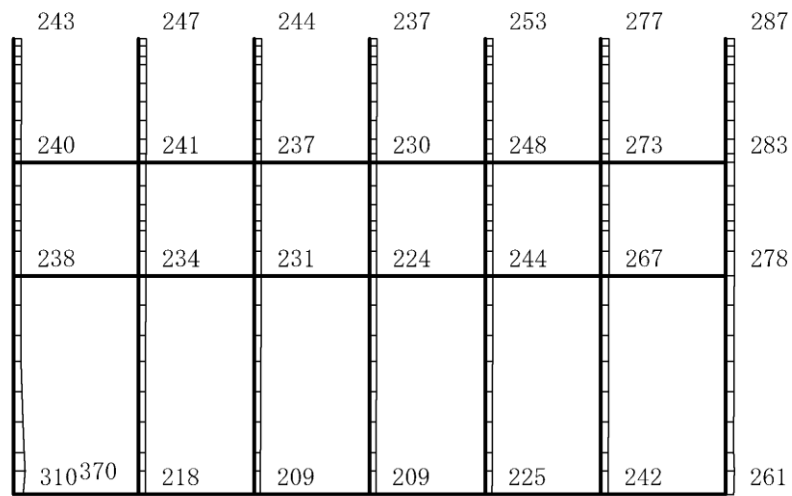
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-85 最大応答加速度分布図(85/120) (解析ケース②)



(a) S d- 1 (- +) 水平

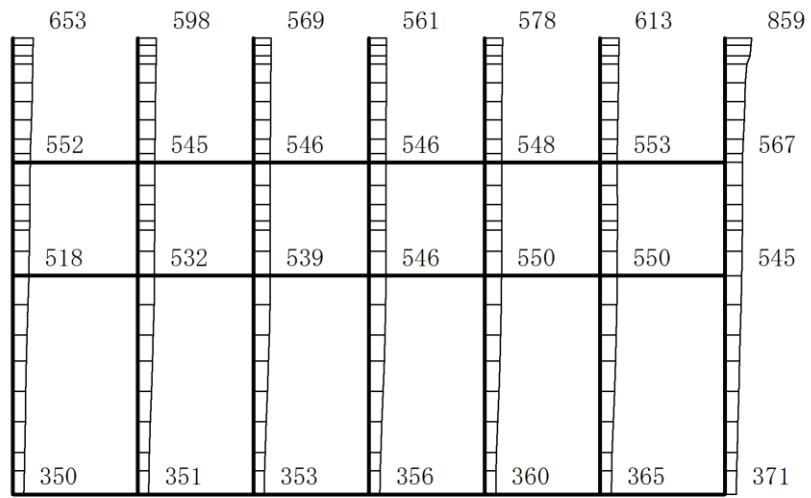


(b) S d- 1 (- +) 鉛直

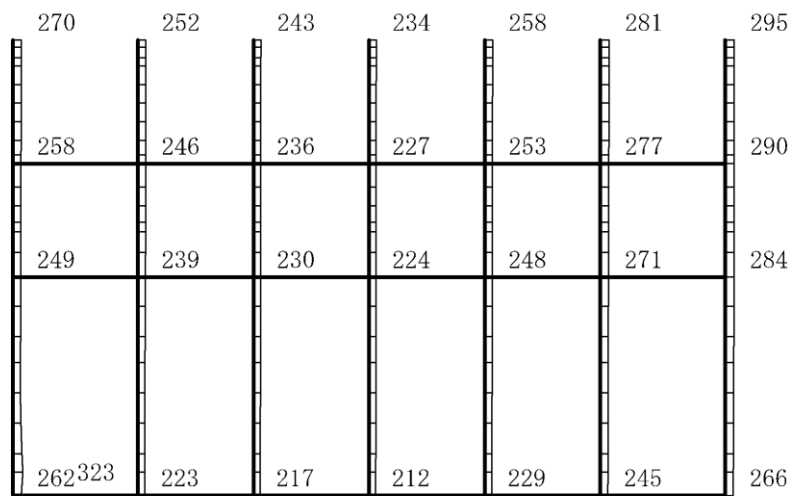
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-86 最大応答加速度分布図(86/120) (解析ケース②)



(a) S d- 1 (+ -) 水平

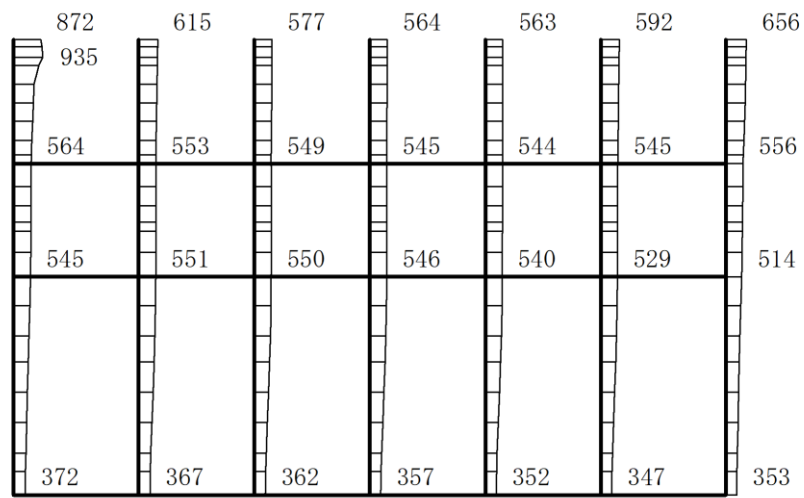


(b) S d- 1 (+ -) 鉛直

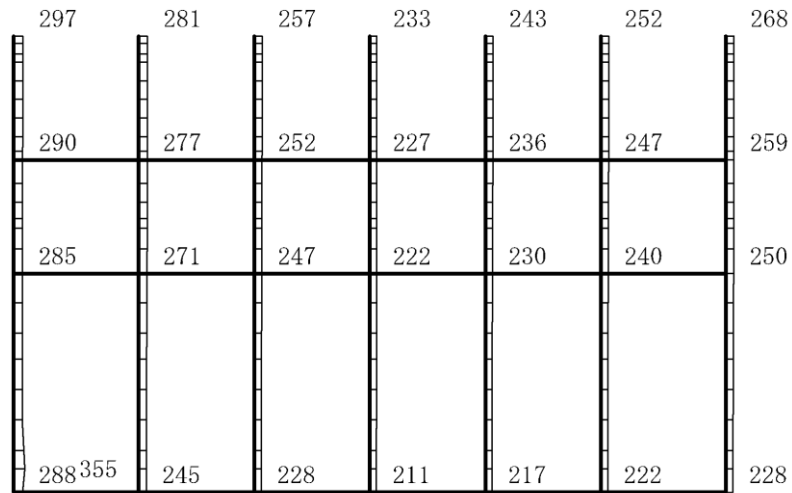
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-87 最大応答加速度分布図(87/120) (解析ケース②)



(a) Sd-1 (--) 水平

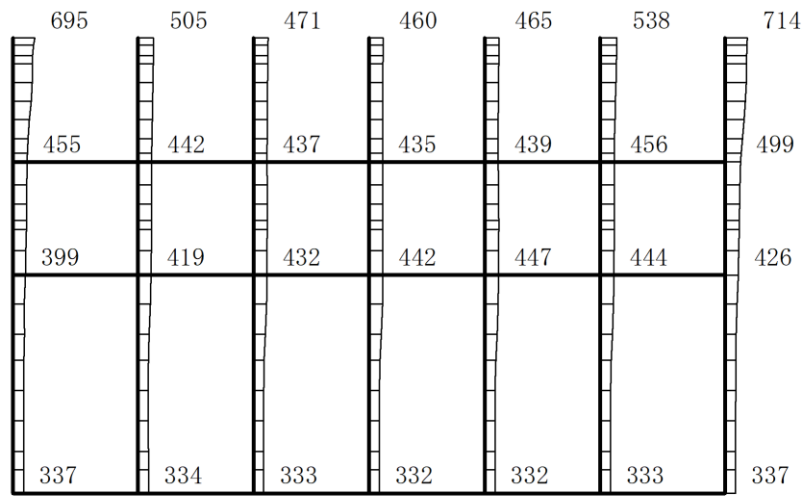


(b) Sd-1 (--) 鉛直

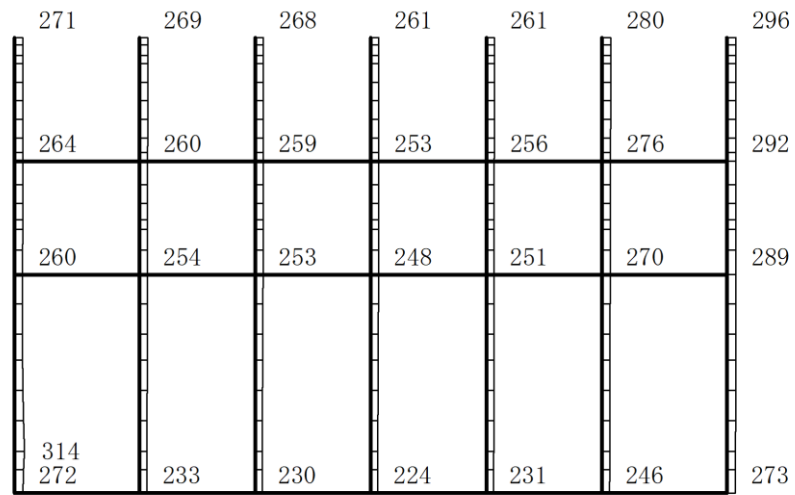
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-88 最大応答加速度分布図(88/120) (解析ケース②)



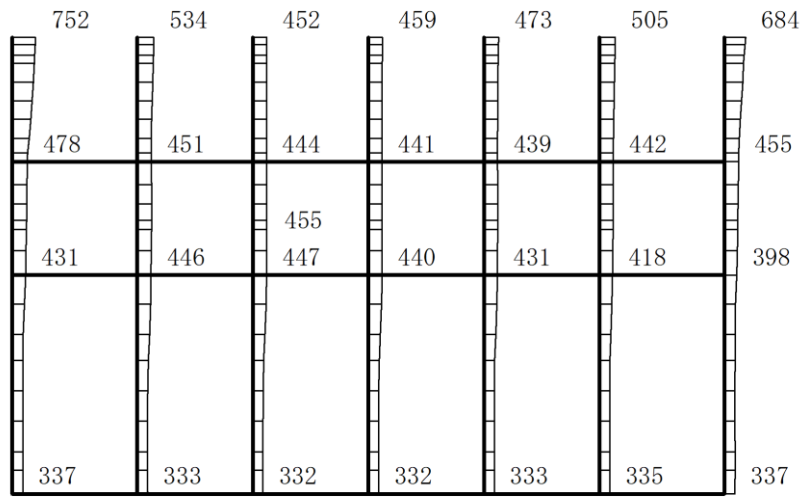
(a) S d-D (++) 水平



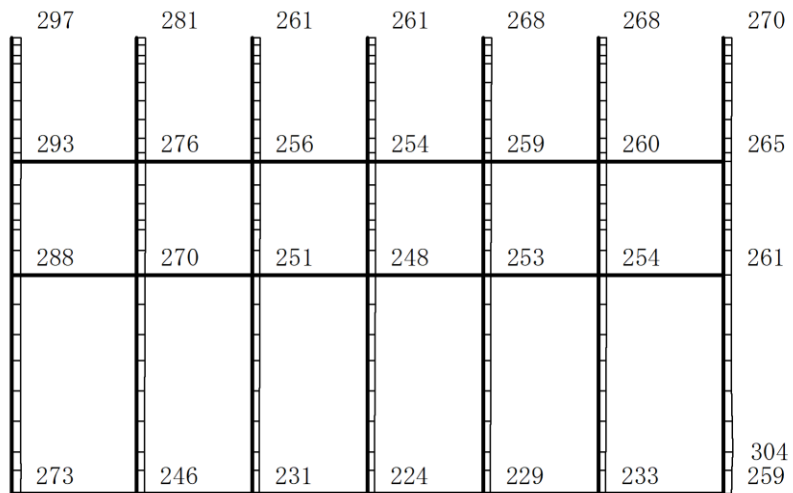
(b) S d-D (++) 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(m)$ 応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-89 最大応答加速度分布図(89/120) (解析ケース③)



(a) S d-D (-+) 水平

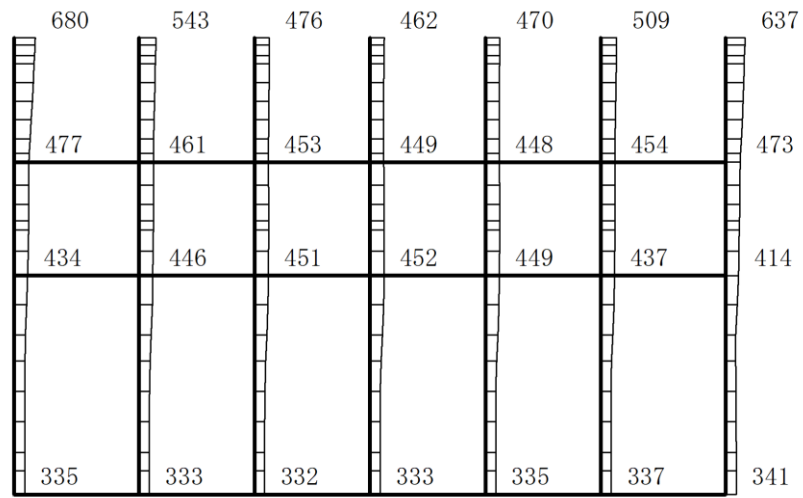


(b) S d-D (-+) 鉛直

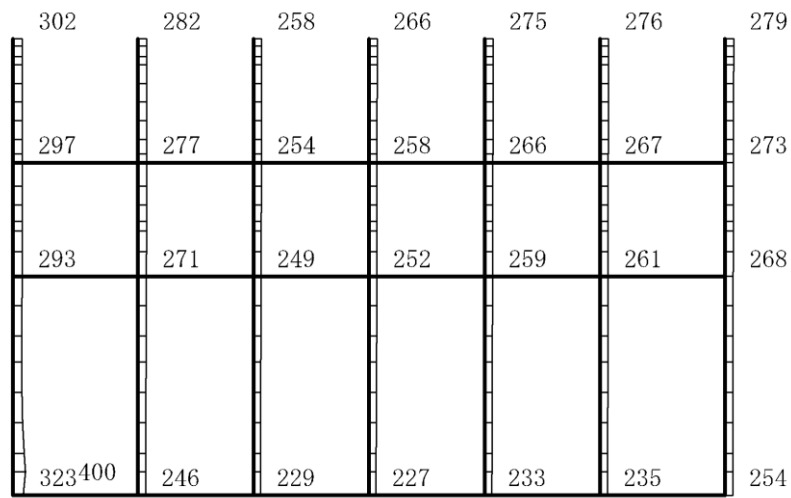
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-90 最大応答加速度分布図(90/120) (解析ケース③)



(a) Sd-D (+-) 水平

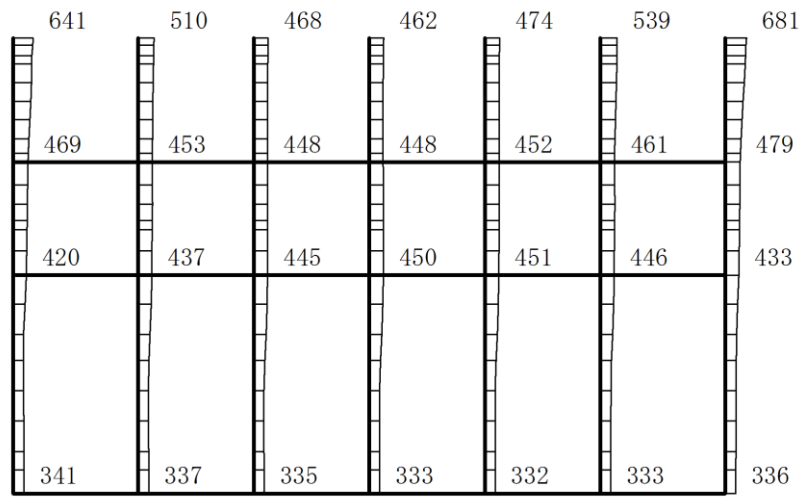


(b) Sd-D (+-) 鉛直

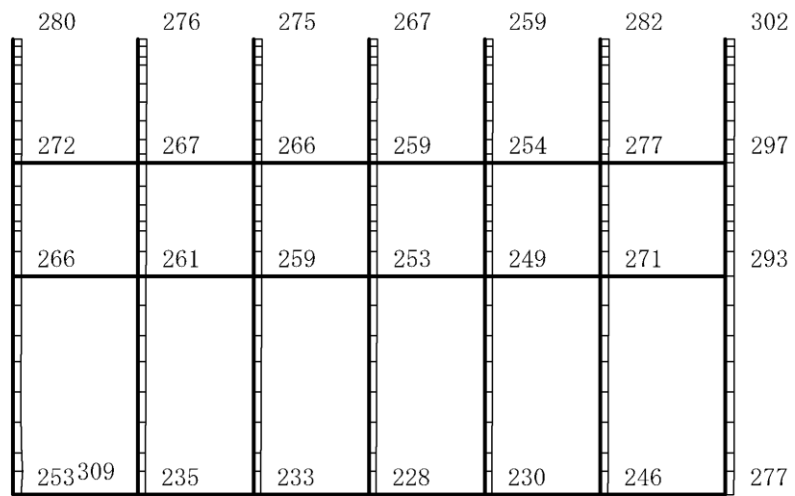
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-91 最大応答加速度分布図(91/120) (解析ケース③)



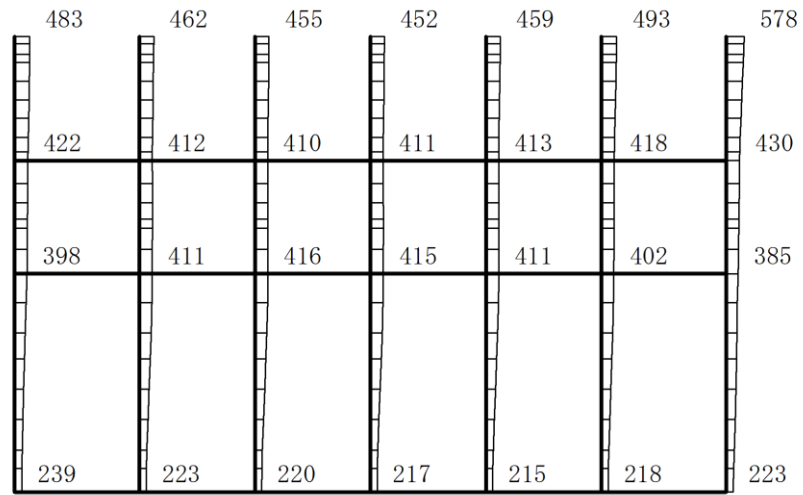
(a) S d-D (--) 水平



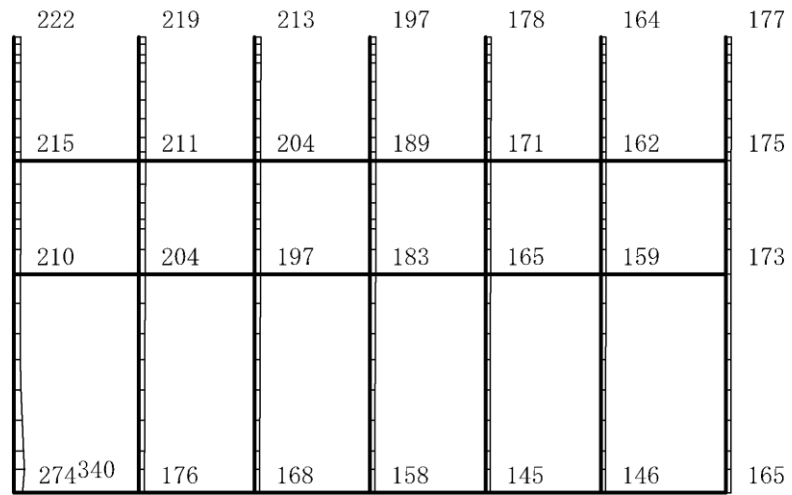
(b) S d-D (--) 鉛直

構造スケール 0 2(m) 応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-92 最大応答加速度分布図(92/120) (解析ケース③)



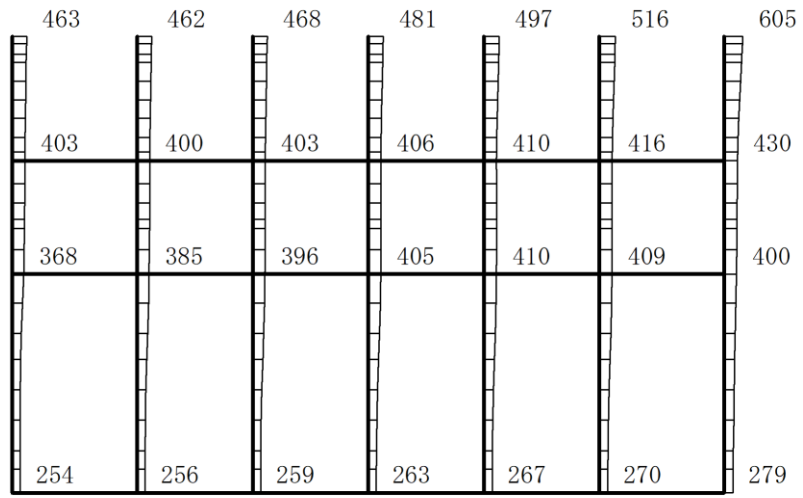
(a) S d - F 1 (++) 水平



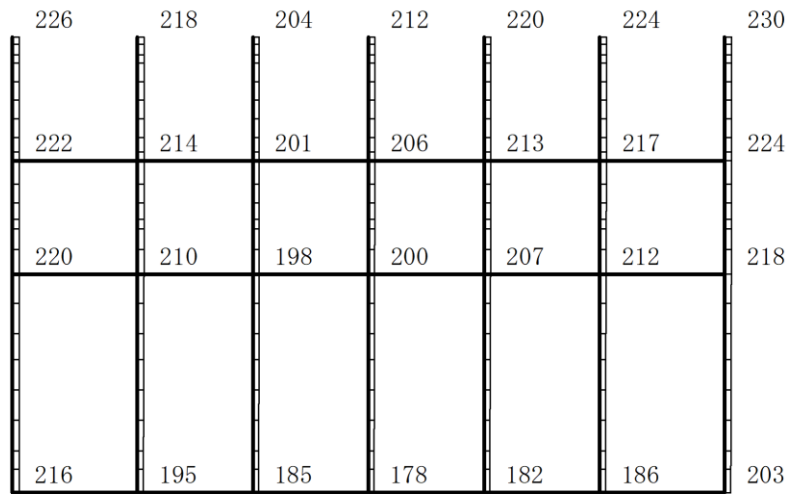
(b) S d - F 1 (++) 鉛直

構造スケール $0 \sim 2(m)$ 応答値スケール $0 \sim 1500 (cm/s^2)$

図 4-93 最大応答加速度分布図(93/120) (解析ケース③)



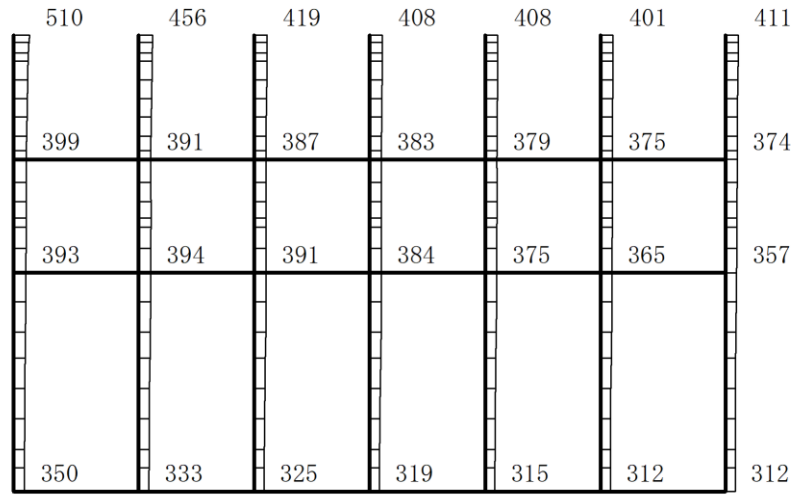
(a) S d - F 2 (++) 水平



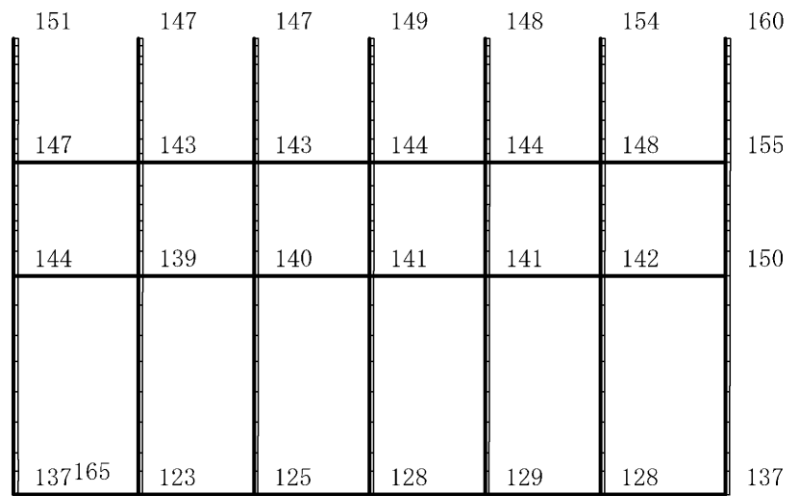
(b) S d - F 2 (++) 鉛直

構造スケール $0 \sim 2(m)$ 応答値スケール $0 \sim 1500 (cm/s^2)$

図 4-94 最大応答加速度分布図(94/120) (解析ケース③)



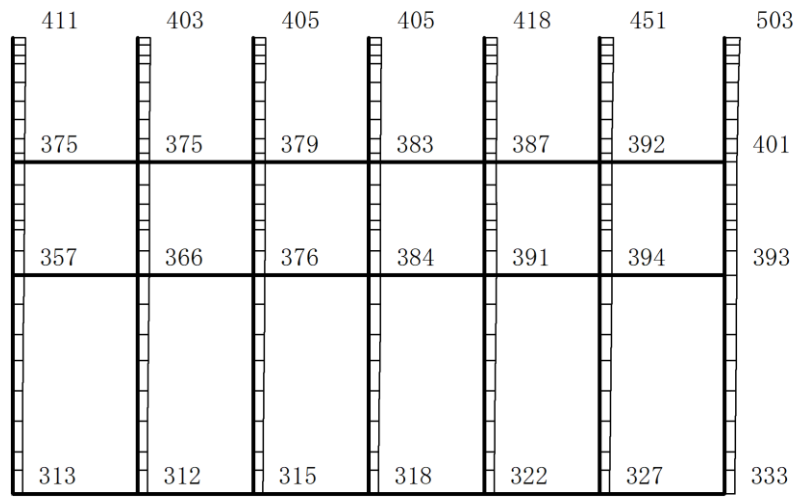
(a) S d - N 1 (++) 水平



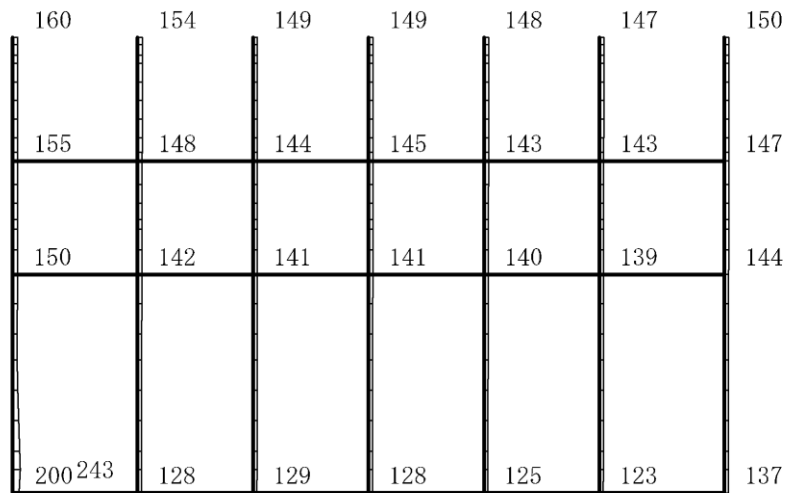
(b) S d - N 1 (++) 鉛直

構造スケール $0 \sim 2(m)$ 応答値スケール $0 \sim 1500 (cm/s^2)$

図 4-95 最大応答加速度分布図(95/120) (解析ケース③)



(a) S d - N 1 (- +) 水平

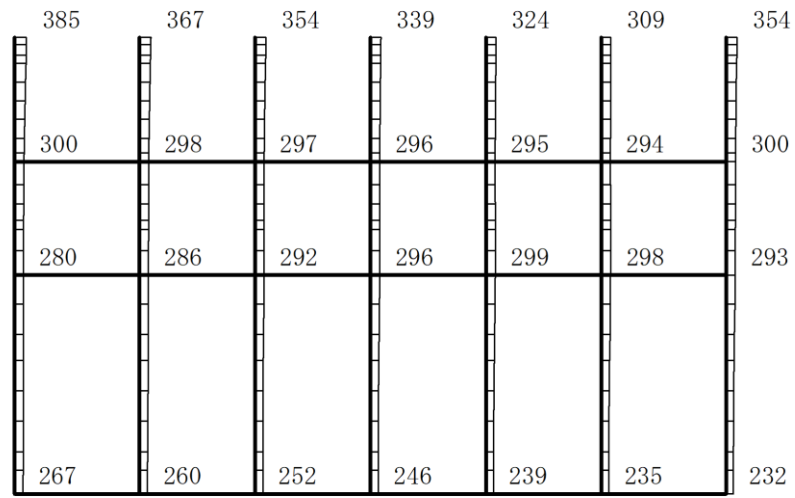


(b) S d - N 1 (- +) 鉛直

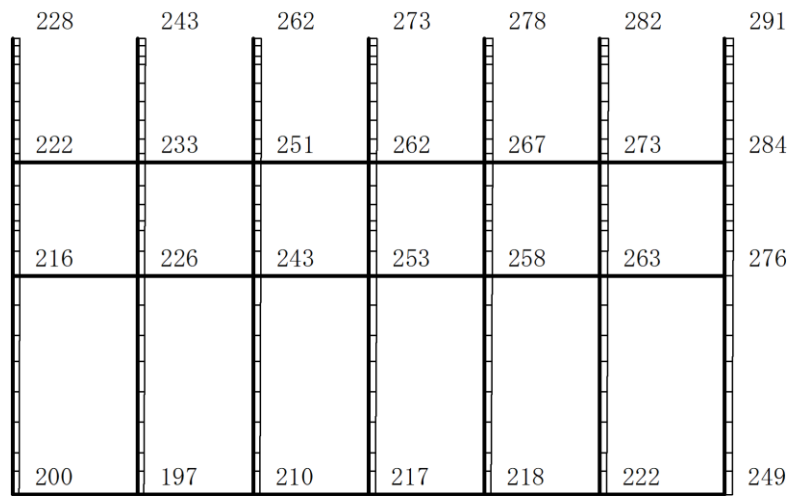
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-96 最大応答加速度分布図(96/120) (解析ケース③)



(a) S d - N 2 (N S) (+ +) 水平

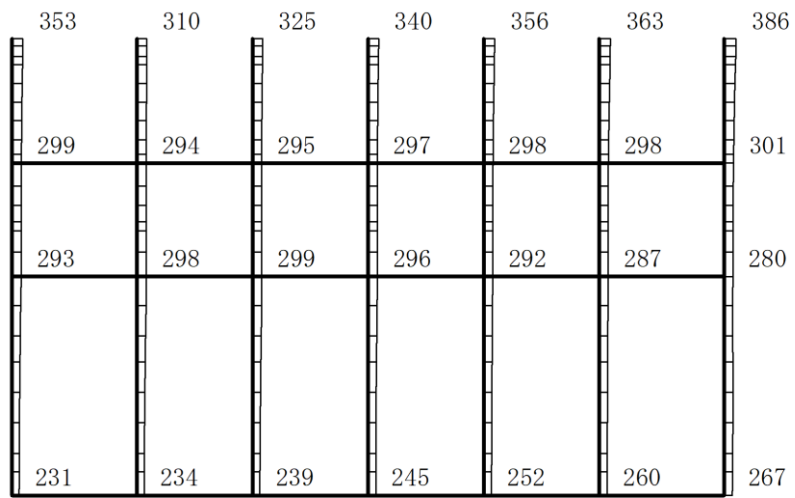


(b) S d - N 2 (N S) (+ +) 鉛直

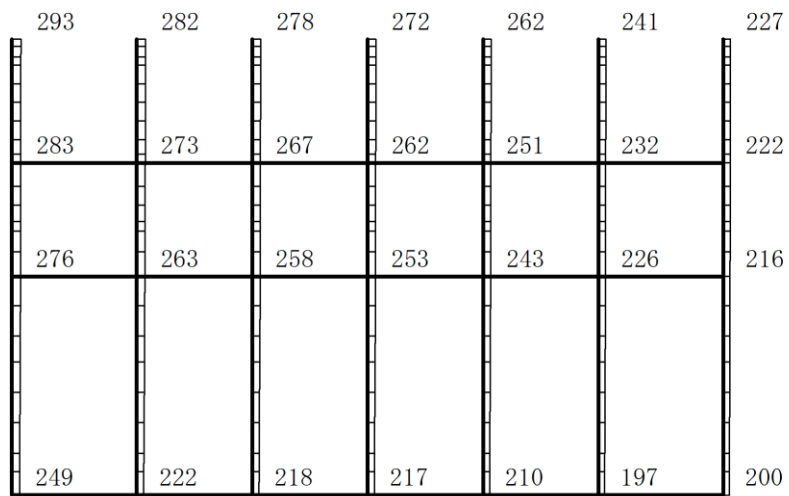
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-97 最大応答加速度分布図(97/120) (解析ケース③)



(a) S d - N 2 (N S) (- +) 水平

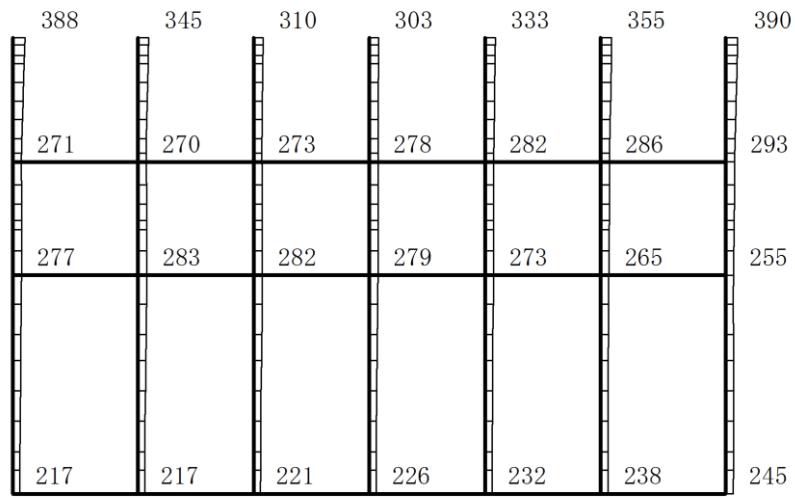


(b) S d - N 2 (N S) (- +) 鉛直

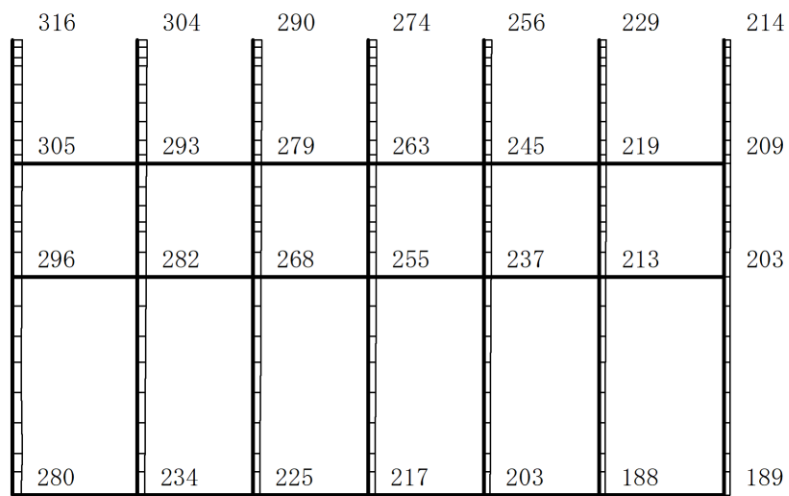
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-98 最大応答加速度分布図(98/120) (解析ケース③)



(a) S d - N 2 (E W) (+ +) 水平

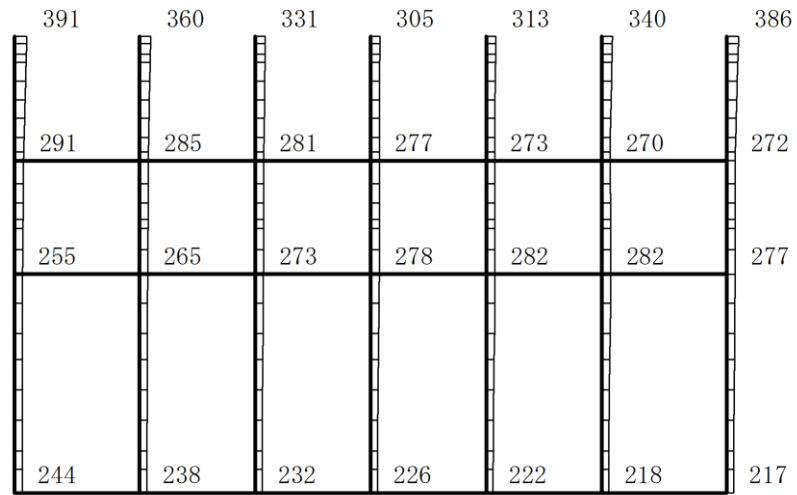


(b) S d - N 2 (E W) (+ +) 鉛直

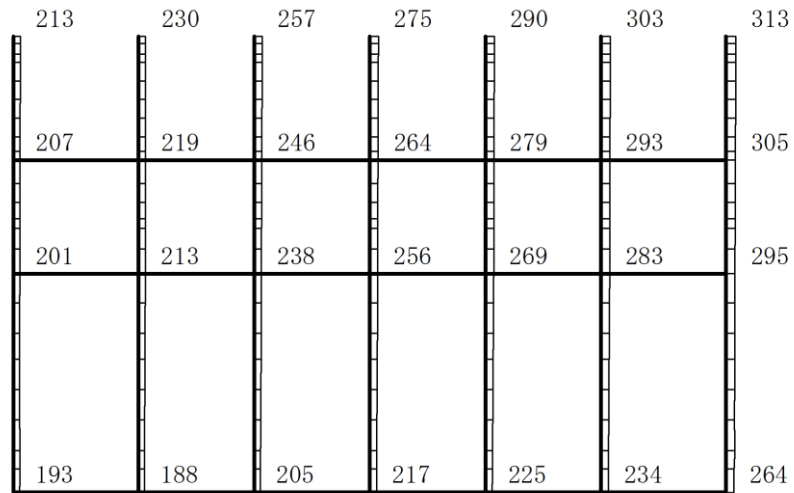
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-99 最大応答加速度分布図(99/120) (解析ケース③)



(a) S d - N 2 (E W) (- +) 水平

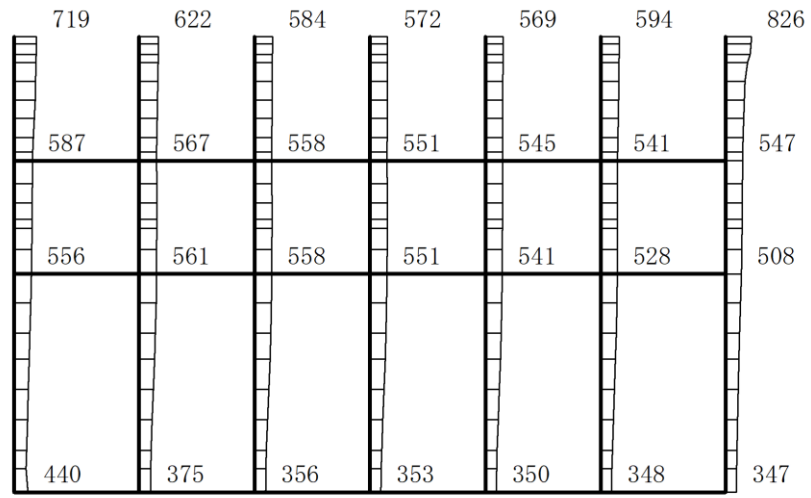


(b) S d - N 2 (E W) (- +) 鉛直

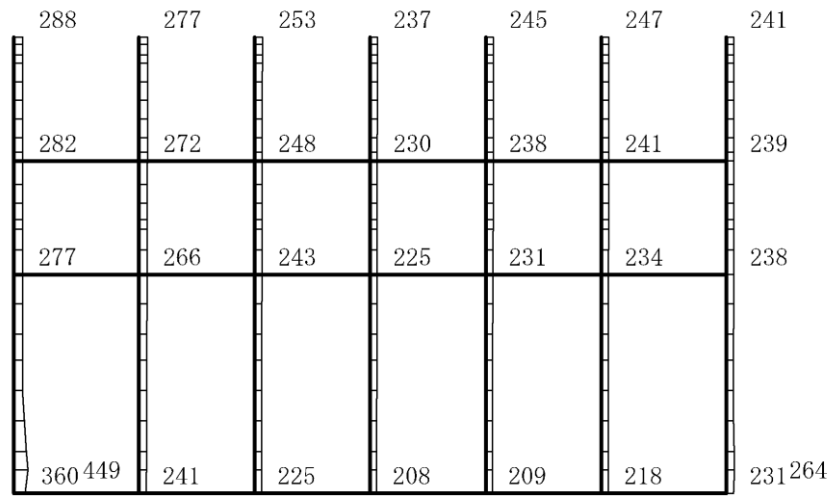
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-100 最大応答加速度分布図(100/120) (解析ケース③)



(a) S d- 1 (++) 水平

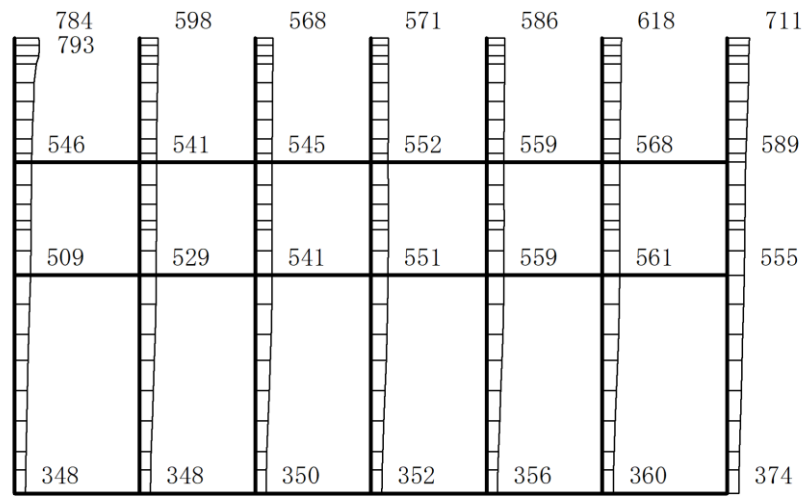


(b) S d- 1 (++) 鉛直

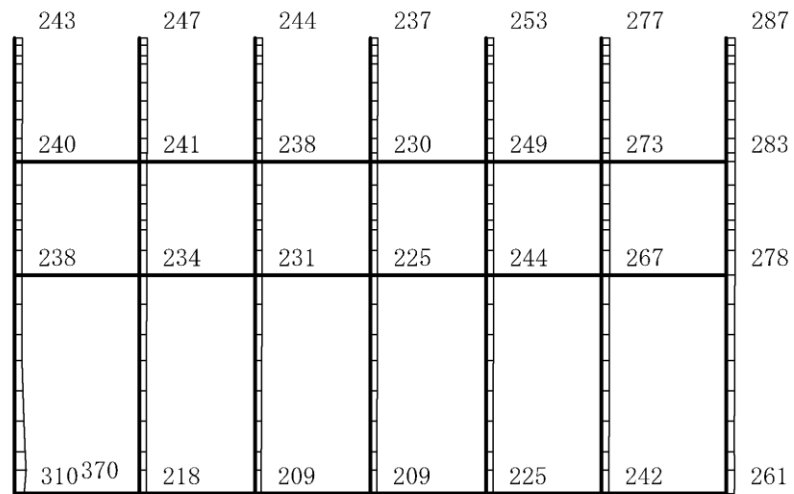
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-101 最大応答加速度分布図(101/120) (解析ケース③)



(a) S d- 1 (- +) 水平

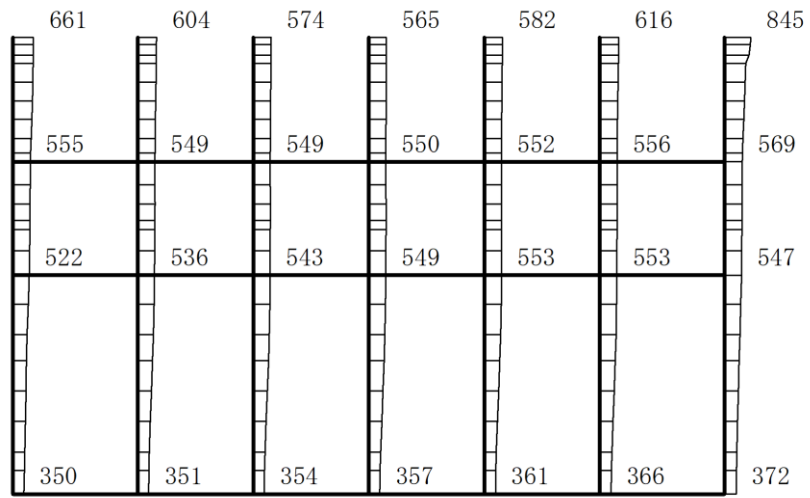


(b) S d- 1 (- +) 鉛直

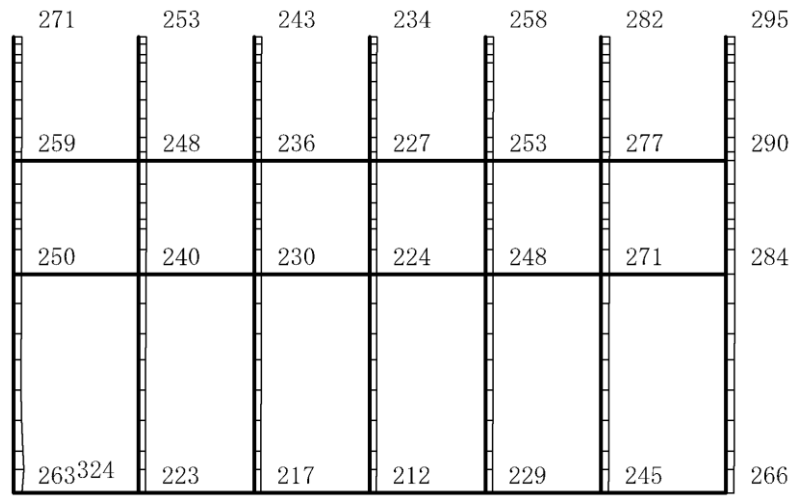
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-102 最大応答加速度分布図(102/120) (解析ケース③)



(a) Sd-1 (+-) 水平

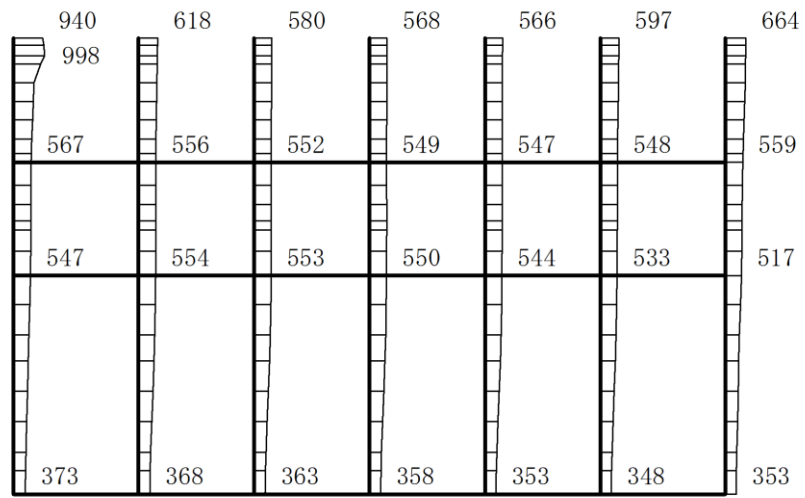


(b) Sd-1 (+-) 鉛直

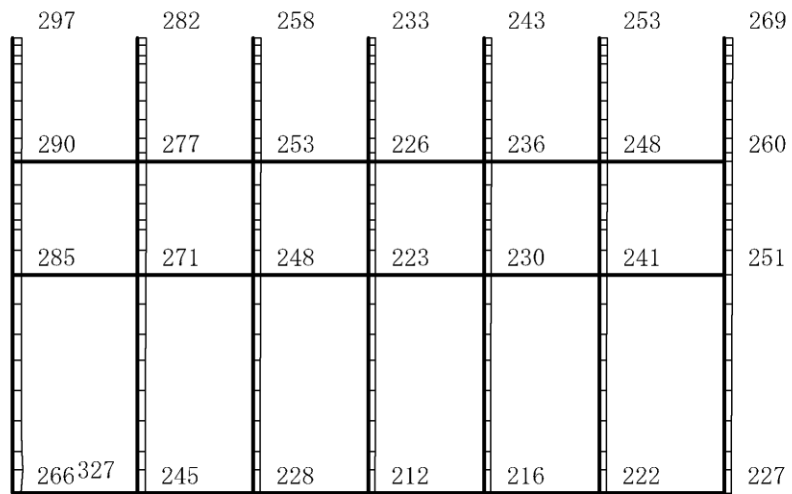
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-103 最大応答加速度分布図(103/120) (解析ケース③)



(a) S d- 1 (- -) 水平

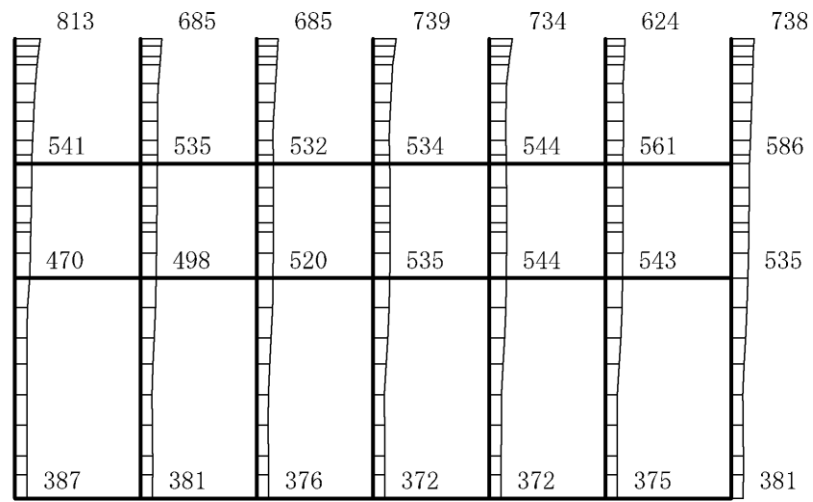


(b) S d- 1 (- -) 鉛直

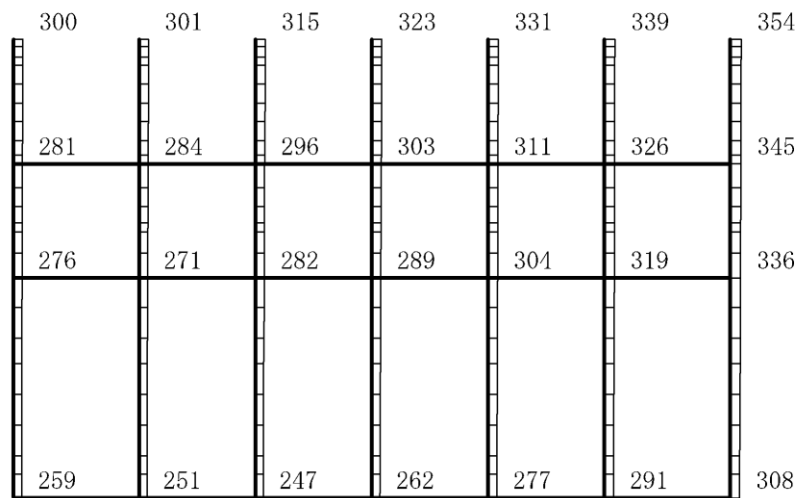
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-104 最大応答加速度分布図(104/120) (解析ケース③)



(a) S d-D (++) 水平

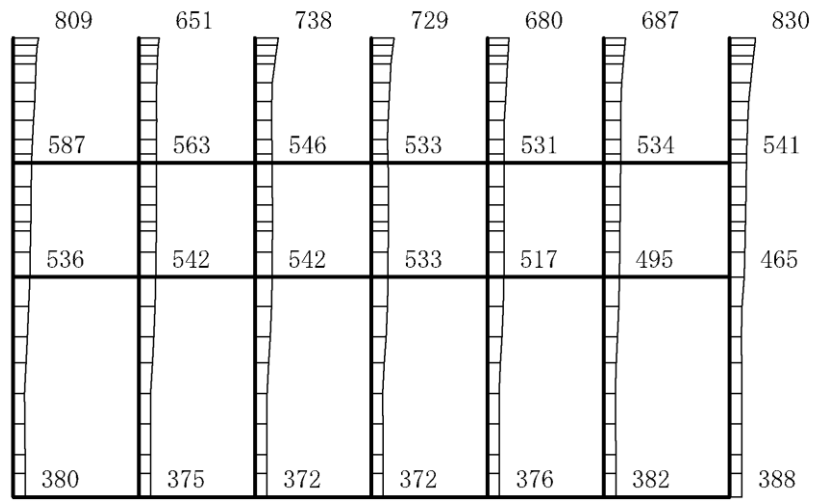


(b) S d-D (++) 鉛直

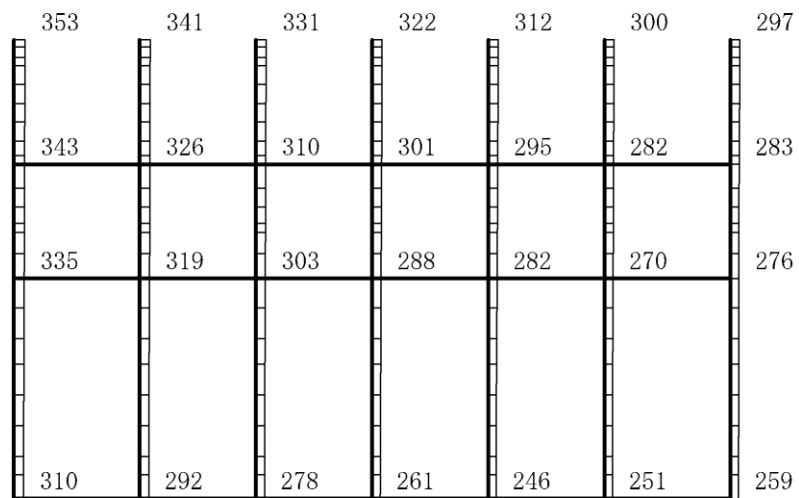
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-105 最大応答加速度分布図(105/120) (解析ケース⑤)



(a) S d-D (-+) 水平

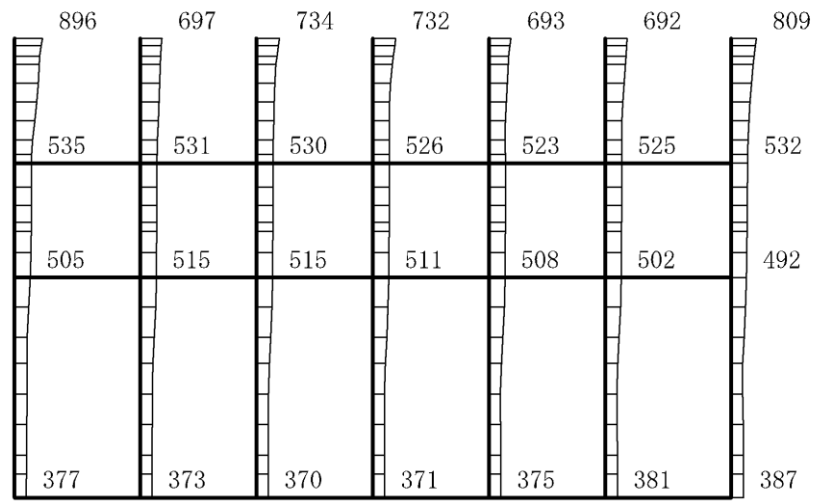


(b) S d-D (-+) 鉛直

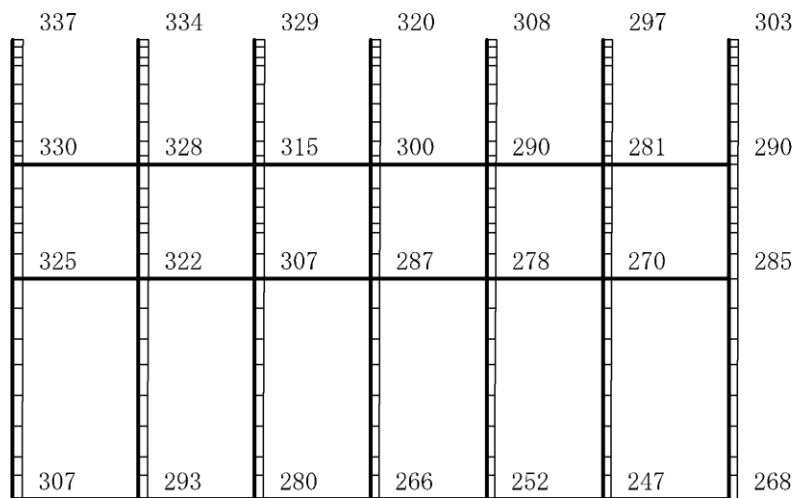
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-106 最大応答加速度分布図(106/120) (解析ケース⑤)



(a) S d-D (+-) 水平

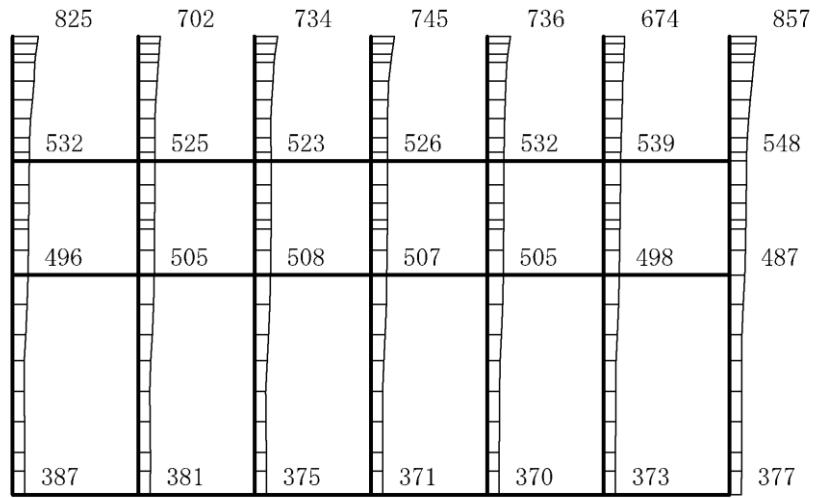


(b) S d-D (+-) 鉛直

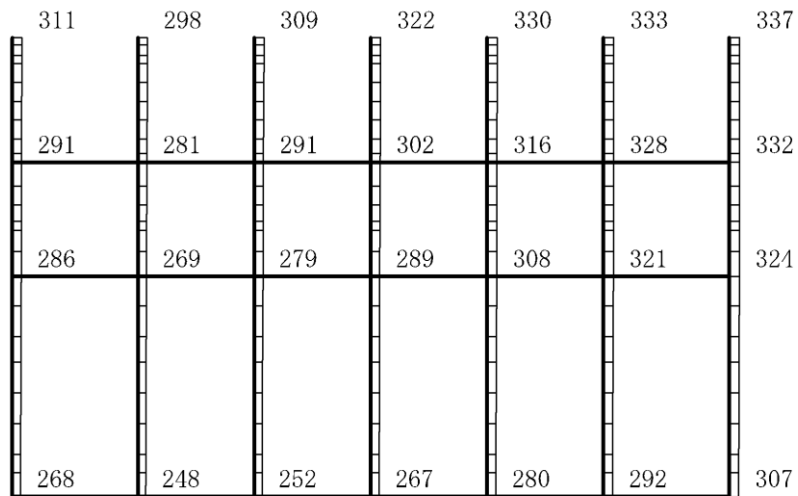
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-107 最大応答加速度分布図(107/120) (解析ケース⑤)



(a) S d-D (--) 水平

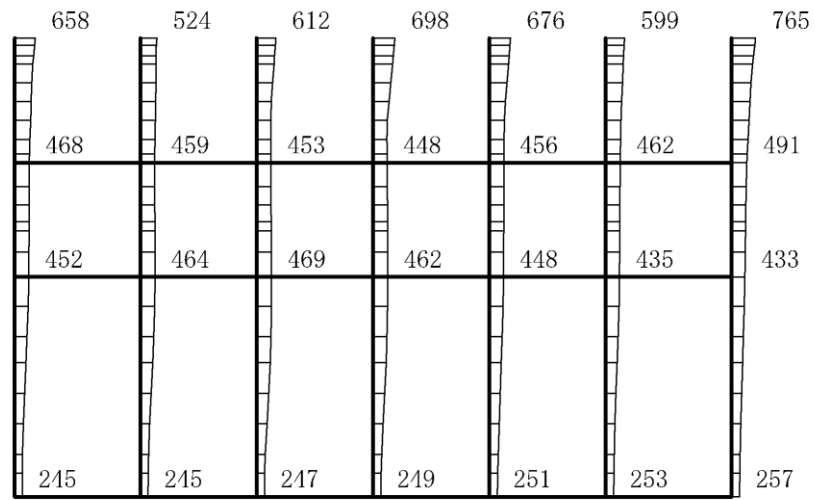


(b) S d-D (--) 鉛直

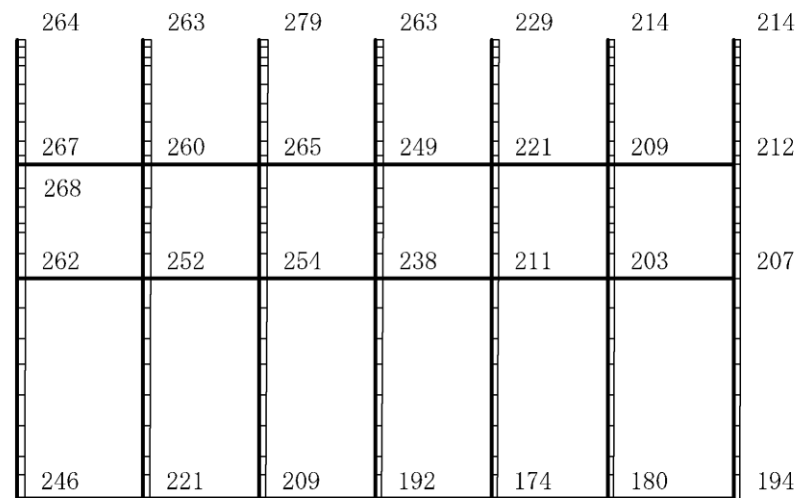
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-108 最大応答加速度分布図(108/120) (解析ケース⑤)



(a) S d - F 1 (++) 水平

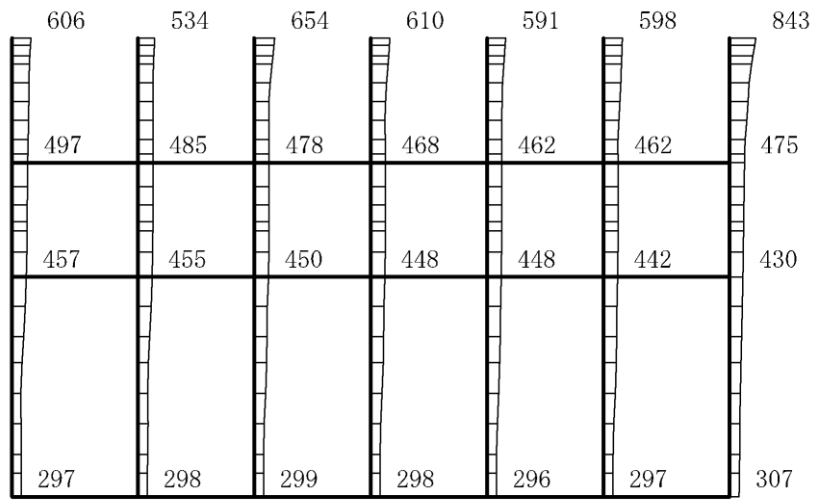


(b) S d - F 1 (++) 鉛直

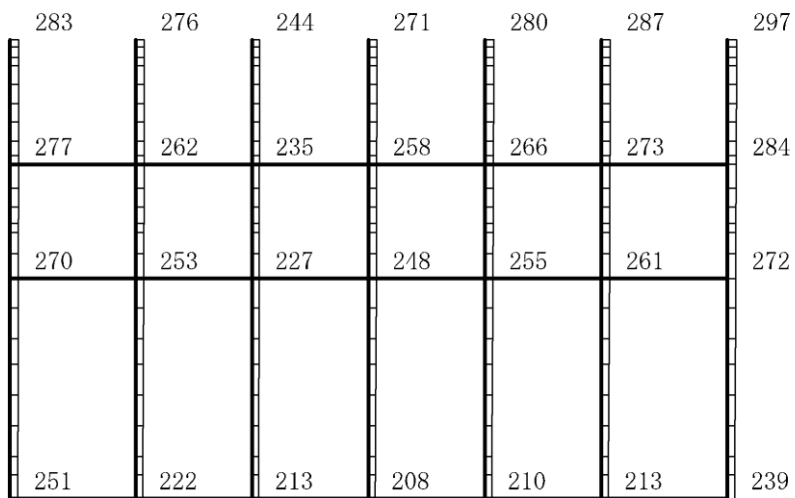
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-109 最大応答加速度分布図(109/120) (解析ケース⑤)



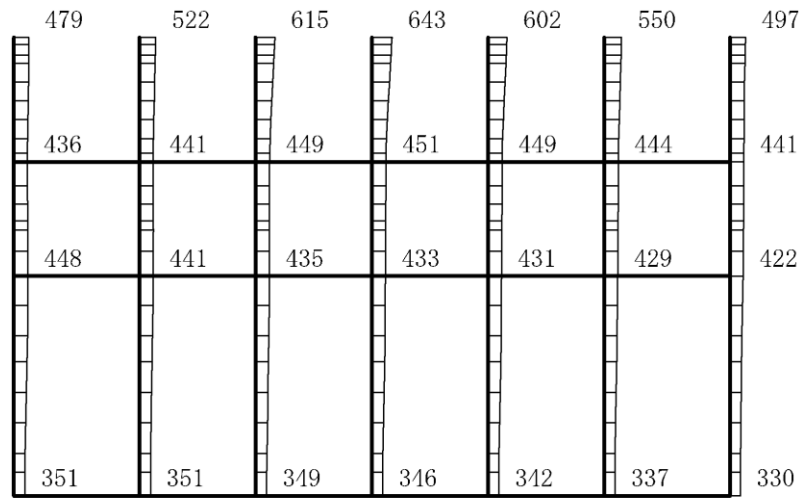
(a) S d - F 2 (+ +) 水平



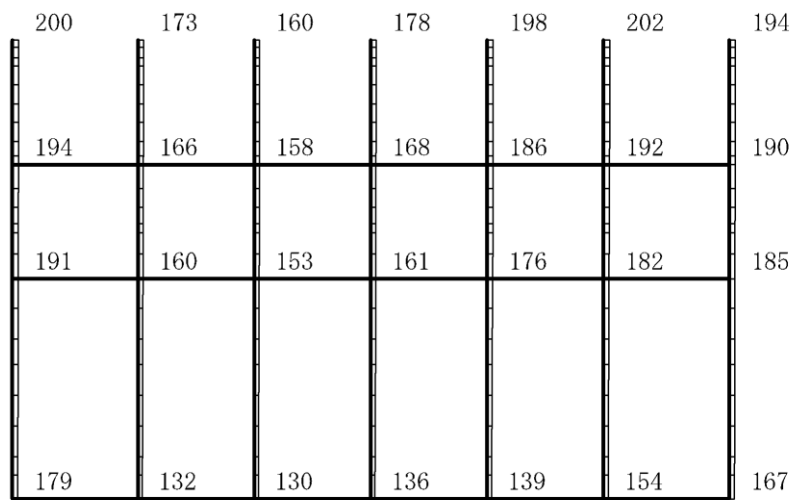
(b) S d - F 2 (+ +) 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(m)$ 応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-110 最大応答加速度分布図(110/120) (解析ケース⑤)



(a) S d - N 1 (++) 水平

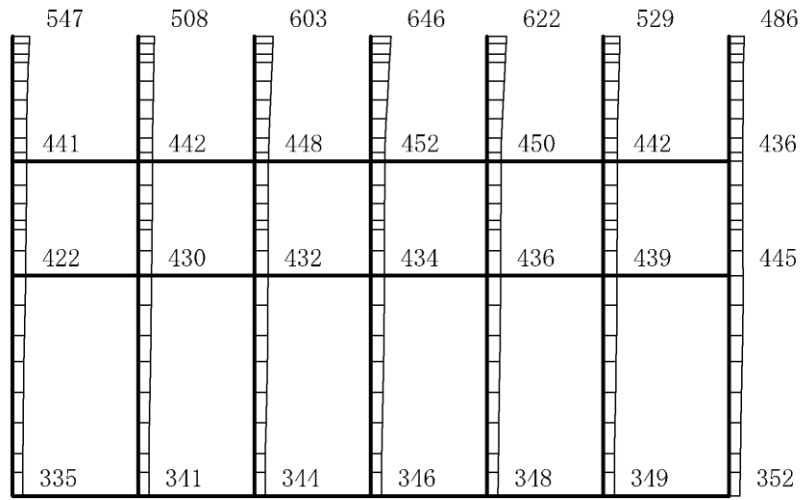


(b) S d - N 1 (++) 鉛直

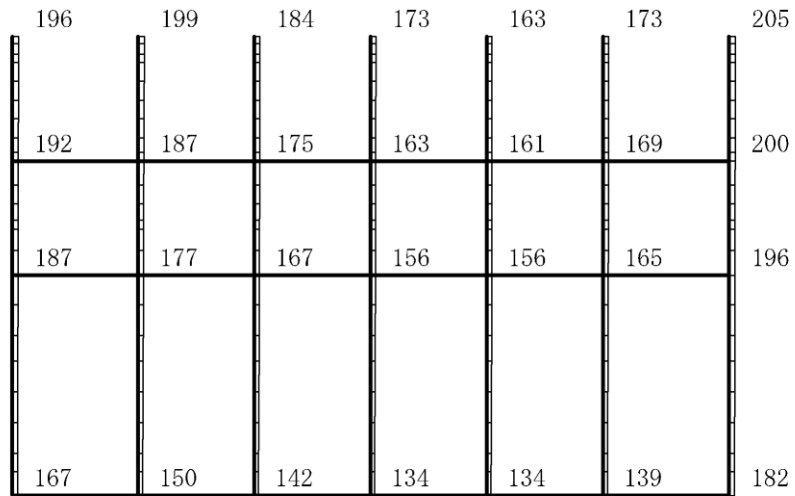
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-111 最大応答加速度分布図(111/120) (解析ケース⑤)



(a) S d - N 1 (- +) 水平

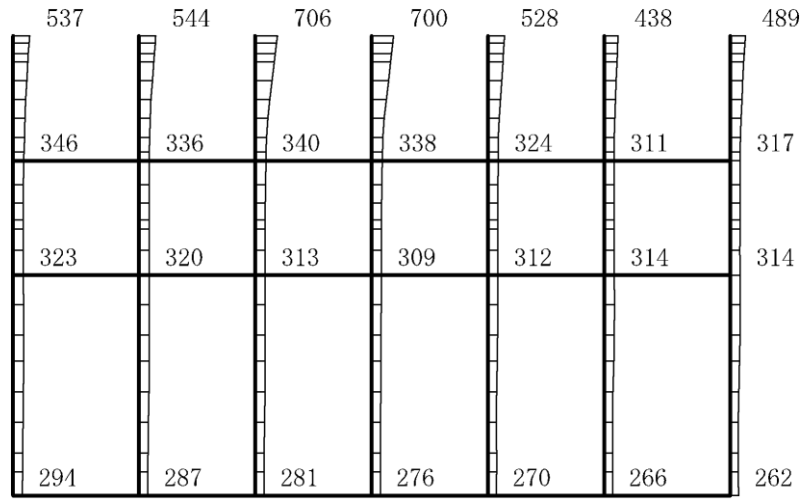


(b) S d - N 1 (- +) 鉛直

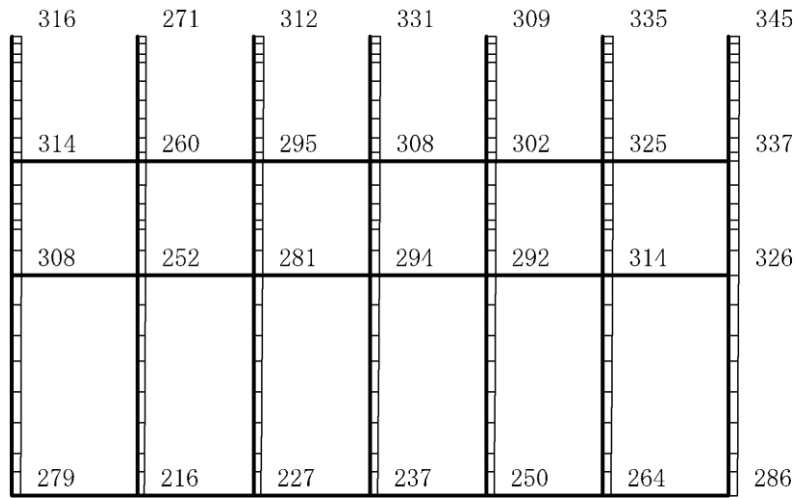
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-112 最大応答加速度分布図(112/120) (解析ケース⑤)



(a) S d - N 2 (N S) (+ +) 水平

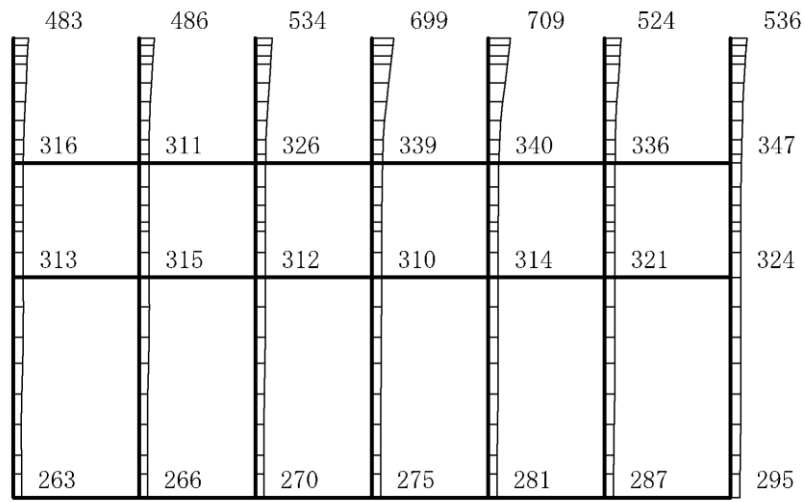


(b) S d - N 2 (N S) (+ +) 鉛直

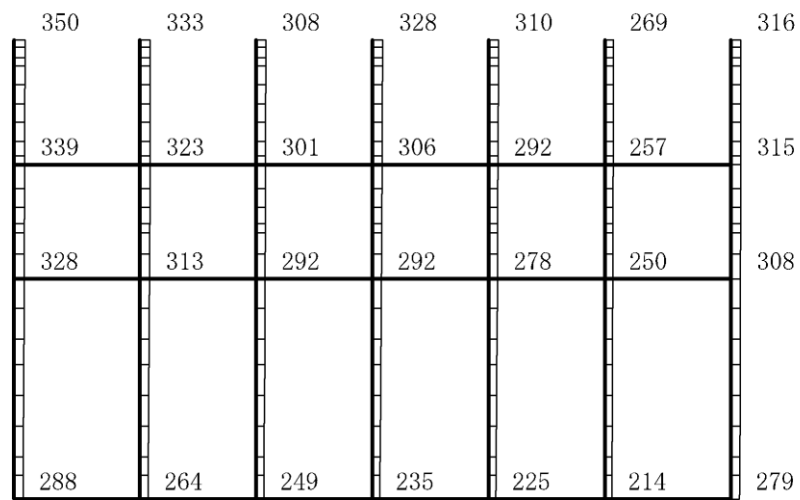
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-113 最大応答加速度分布図(113/120) (解析ケース⑤)



(a) S d - N 2 (N S) (- +) 水平

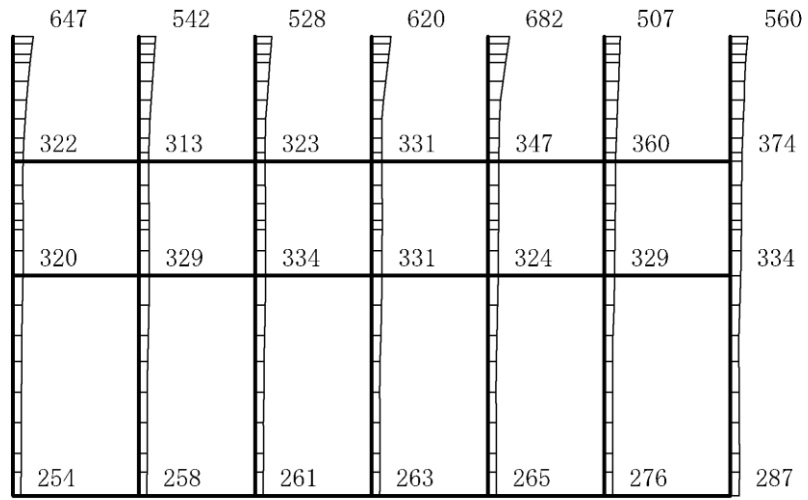


(b) S d - N 2 (N S) (- +) 鉛直

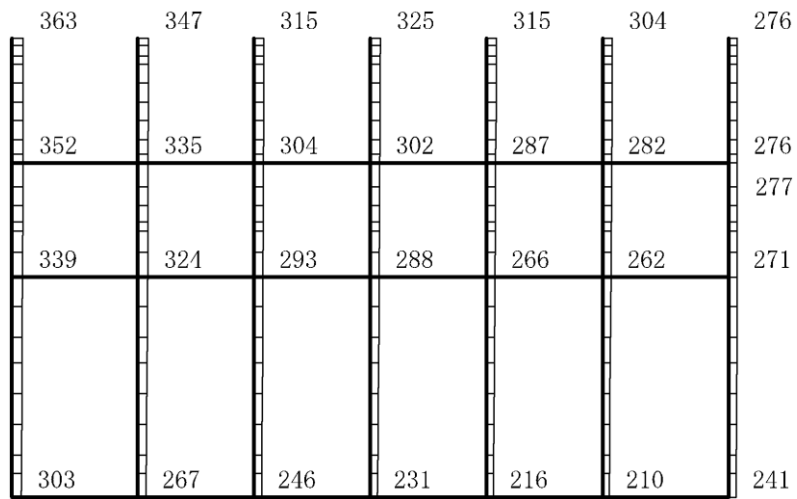
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-114 最大応答加速度分布図(114/120) (解析ケース⑤)



(a) S d - N 2 (E W) (+ +) 水平

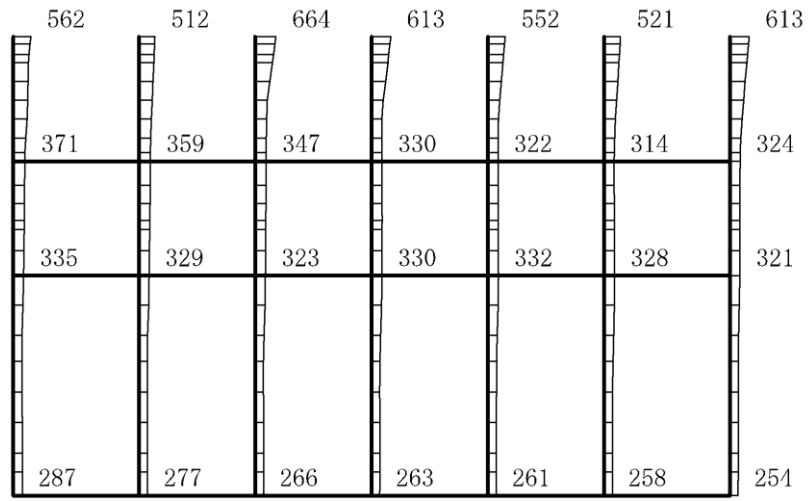


(b) S d - N 2 (E W) (+ +) 鉛直

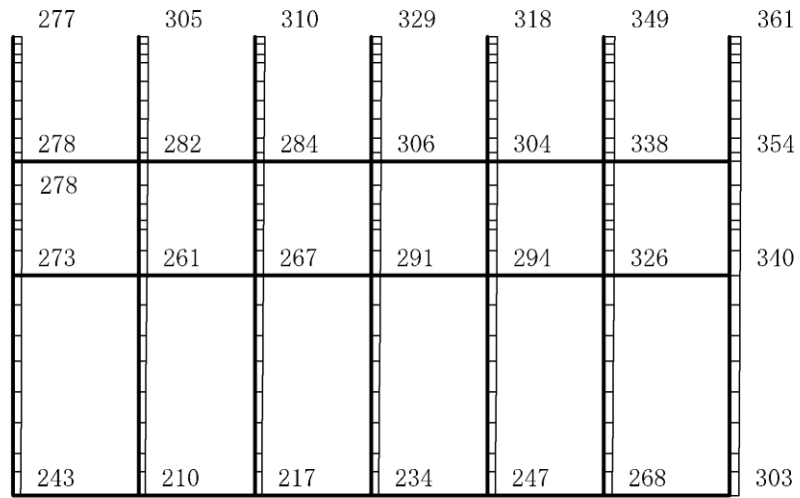
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-115 最大応答加速度分布図(115/120) (解析ケース⑤)



(a) S d - N 2 (E W) (- +) 水平

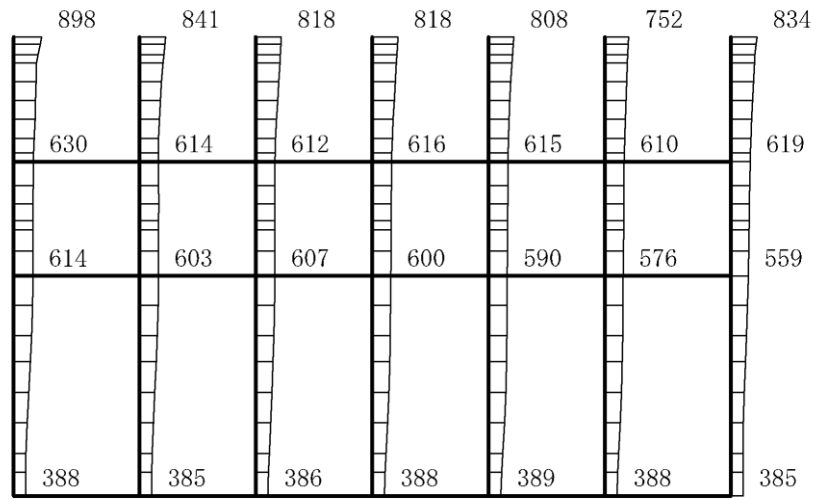


(b) S d - N 2 (E W) (- +) 鉛直

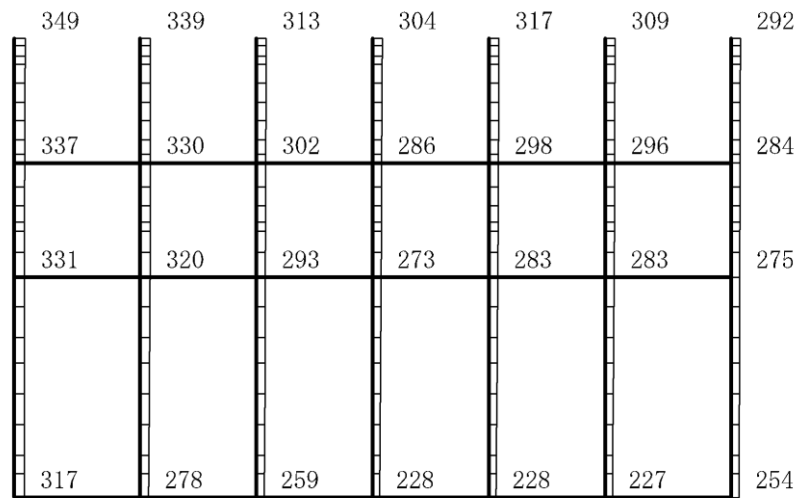
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-116 最大応答加速度分布図(116/120) (解析ケース⑤)



(a) S d- 1 (++) 水平

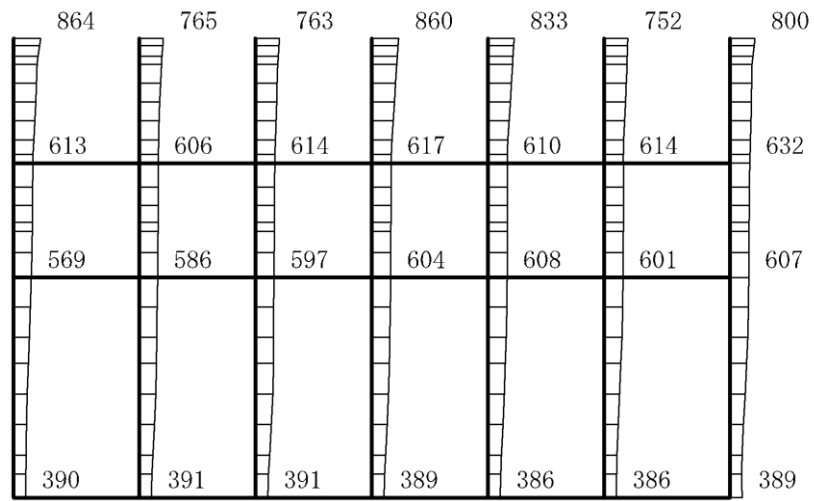


(b) S d- 1 (++) 鉛直

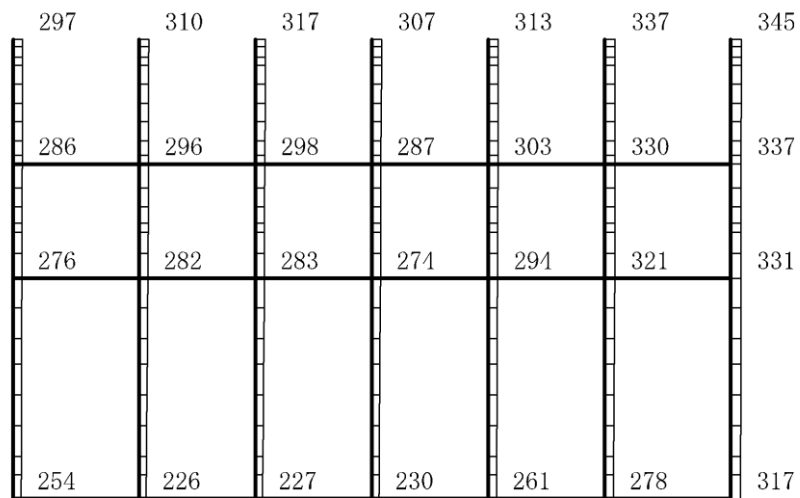
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-117 最大応答加速度分布図(117/120) (解析ケース⑤)



(a) S d- 1 (- +) 水平

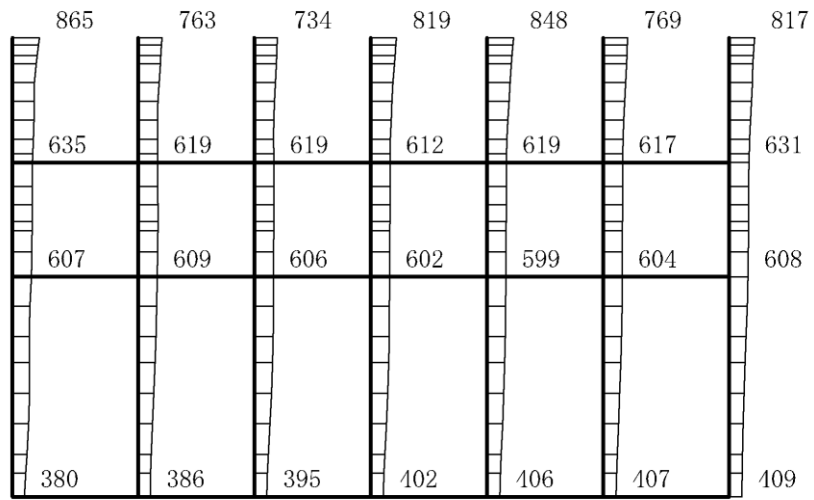


(b) S d- 1 (- +) 鉛直

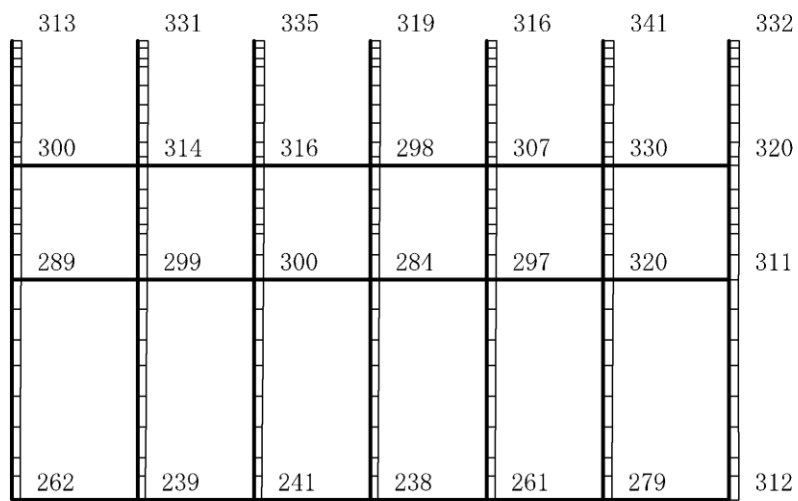
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-118 最大応答加速度分布図(118/120) (解析ケース⑤)



(a) S d- 1 (+ -) 水平

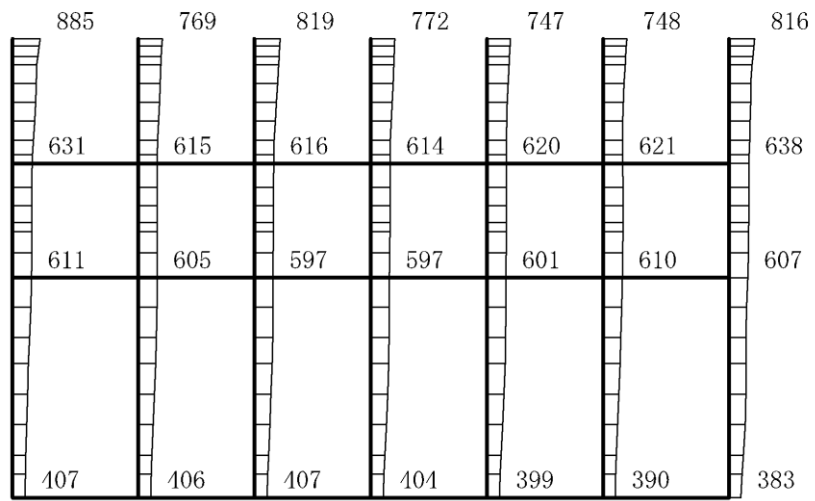


(b) S d- 1 (+ -) 鉛直

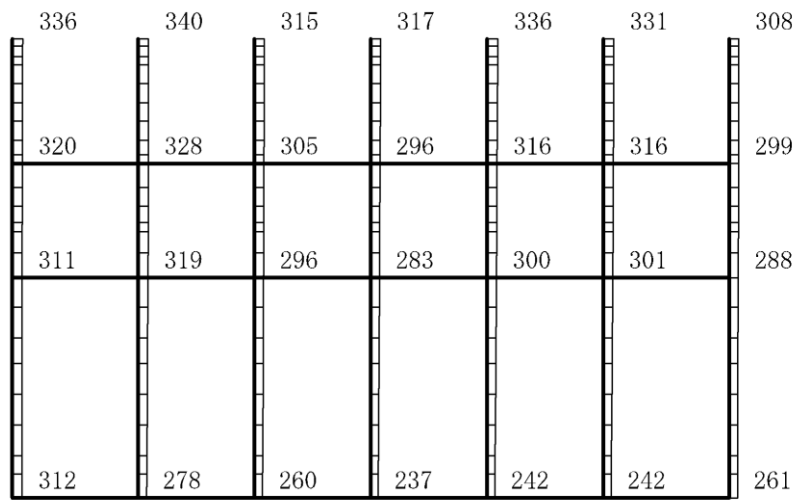
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-119 最大応答加速度分布図(119/120) (解析ケース⑤)



(a) S d- 1 (- -) 水平



(b) S d- 1 (- -) 鉛直

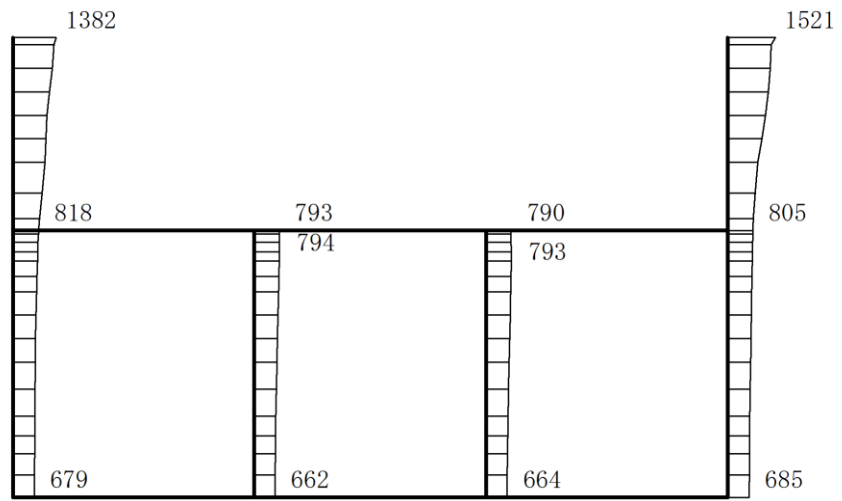
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

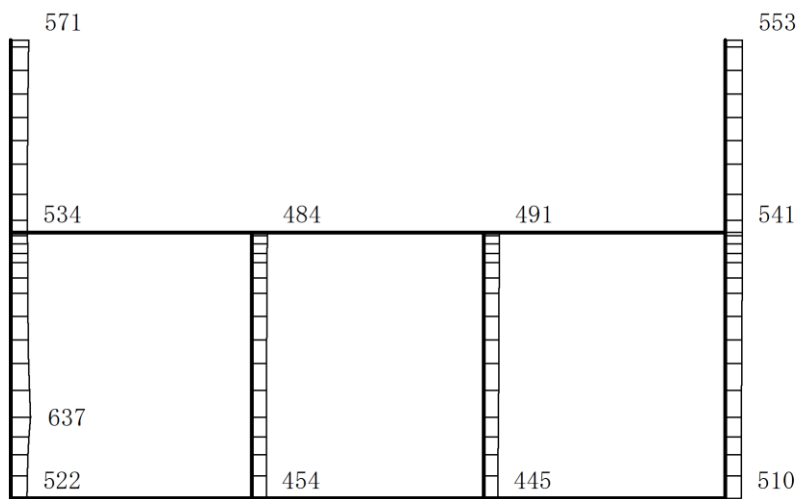
図 4-120 最大応答加速度分布図(120/120) (解析ケース⑤)

4.2 B-B断面の解析結果

耐震評価のために用いる応答加速度として、解析ケース①（基本ケース）について、すべての基準地震動 S_s に対する最大加速度分布図を図 4-121～図 4-132 に示す。また、解析ケース①において、照査項目ごとに照査値が 0.5 を超えるケースで照査値が最大となる地震動について、解析ケース②～⑤の最大加速度分布図を図 4-133～図 4-140 に示す。さらに、機器・配管系に対する応答加速度抽出のための解析ケース②、③及び⑤のすべての基準地震動 S_s に対する最大加速度分布図を図 4-141～図 4-176 に示す。これらに加え、解析ケース①～③及び⑤のすべての弾性設計用地震動 S_d に対する最大加速度分布図を図 4-177～図 4-240 に示す。



(a) S s - D (++) 水平

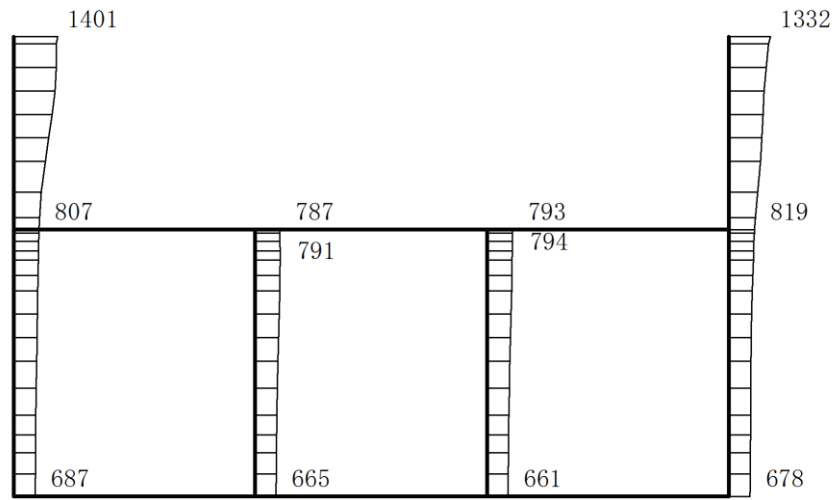


(b) S s - D (++) 鉛直

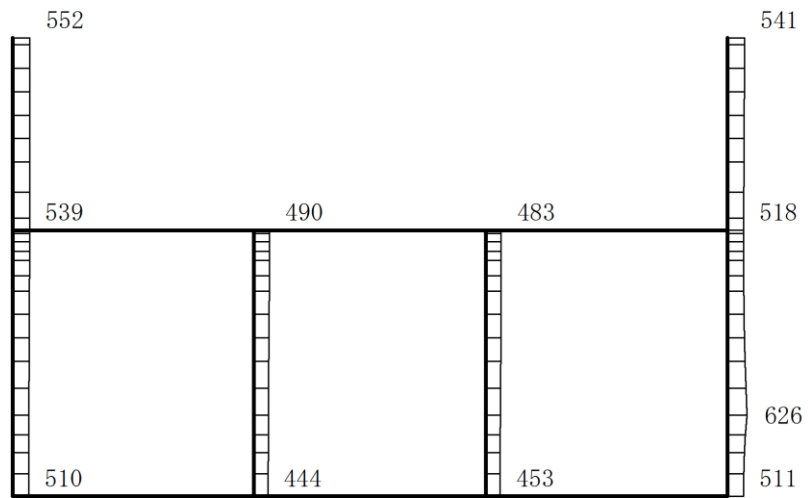
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-121 最大応答加速度分布図(1/120) (解析ケース①)



(a) S s - D (- +) 水平

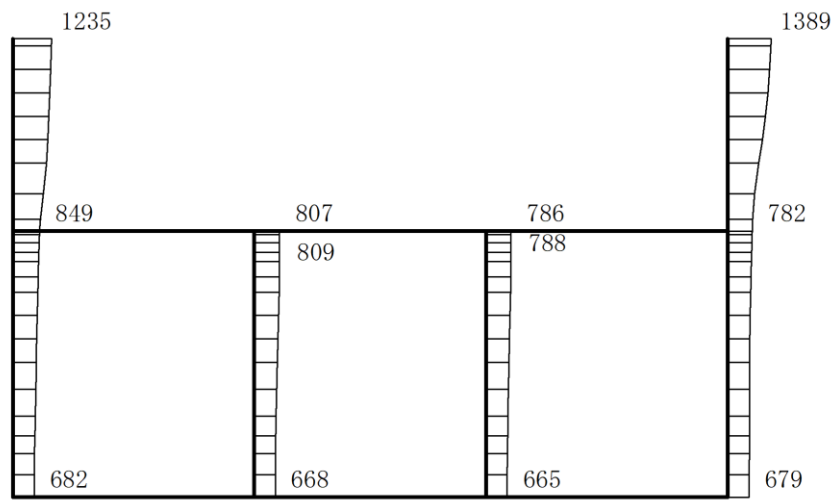


(b) S s - D (- +) 鉛直

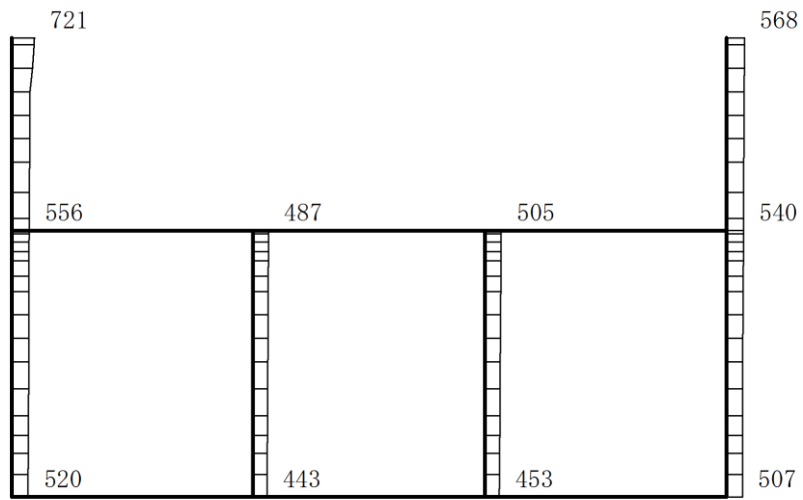
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-122 最大応答加速度分布図 (2/120) (解析ケース①)



(a) S s - D (+ -) 水平

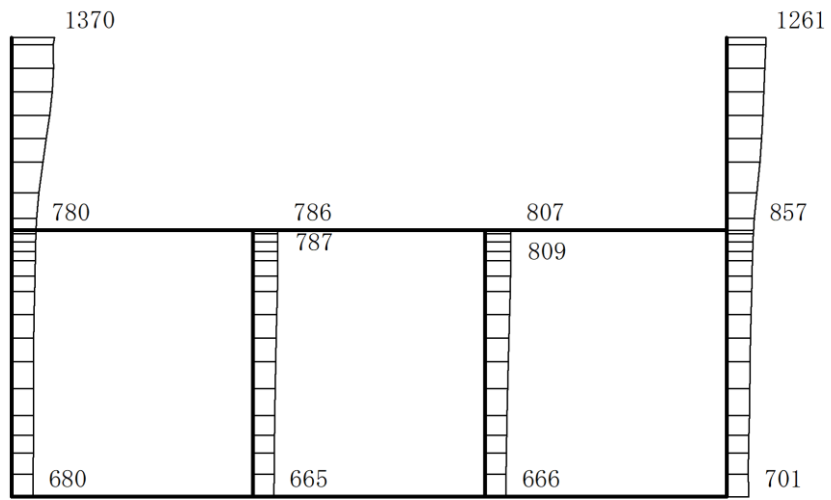


(b) S s - D (+ -) 鉛直

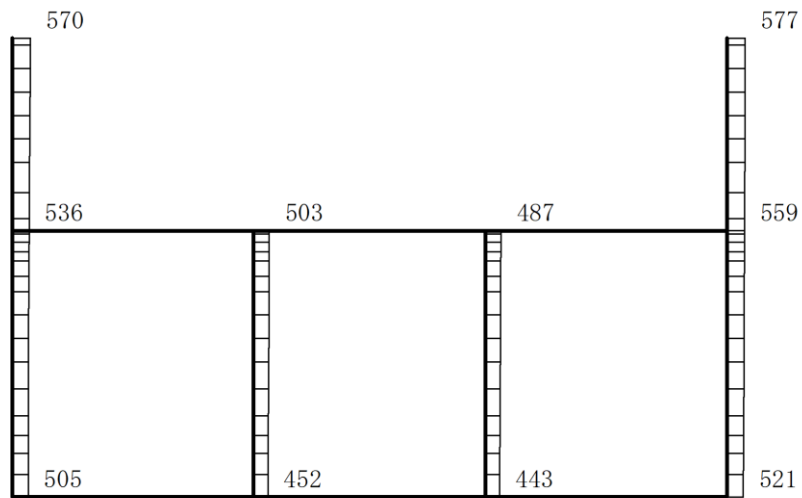
構造スケール $\frac{0}{2(m)}$

応答値スケール $\frac{0}{1500 (cm/s^2)}$

図 4-123 最大応答加速度分布図 (3/120) (解析ケース①)



(a) S s - D (---) 水平

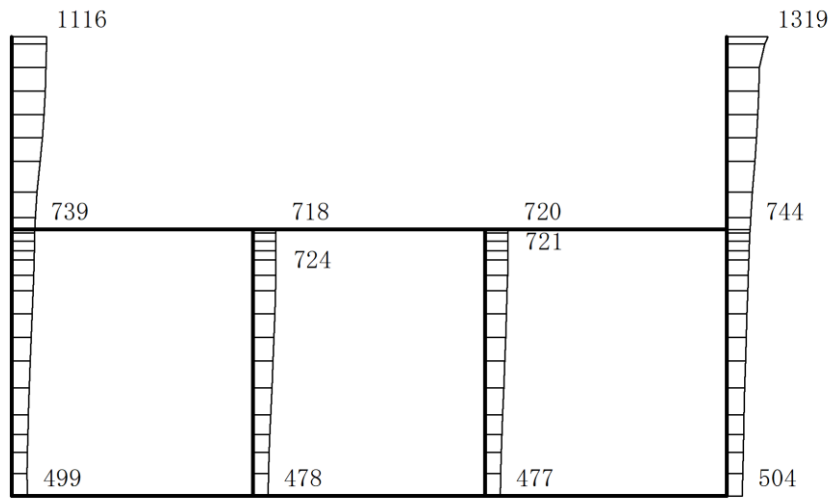


(b) S s - D (---) 鉛直

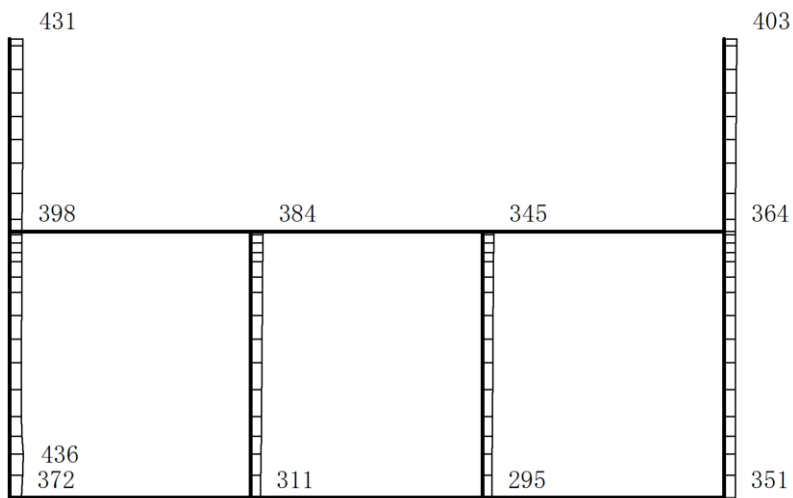
構造スケール $\underbrace{\quad\quad}_0 \quad 2(\text{m})$

応答値スケール $\underbrace{\quad\quad}_0 \quad 1500 (\text{cm/s}^2)$

図 4-124 最大応答加速度分布図(4/120) (解析ケース①)



(a) S s - F 1 (++) 水平

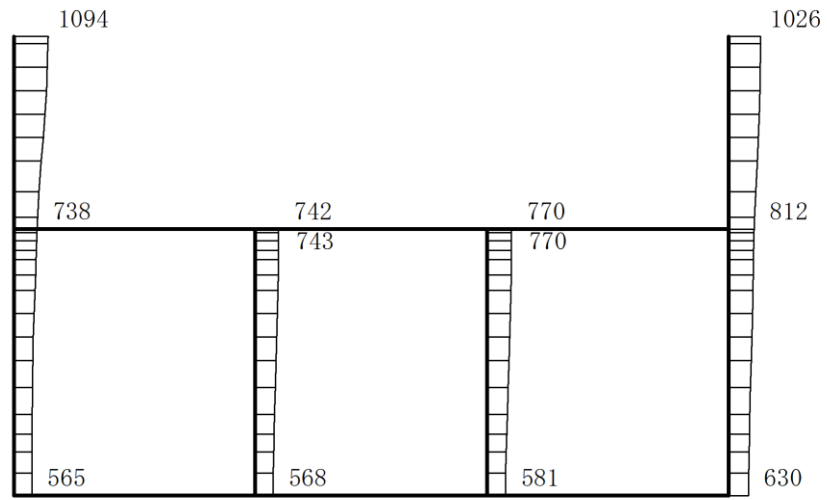


(b) S s - F 1 (++) 鉛直

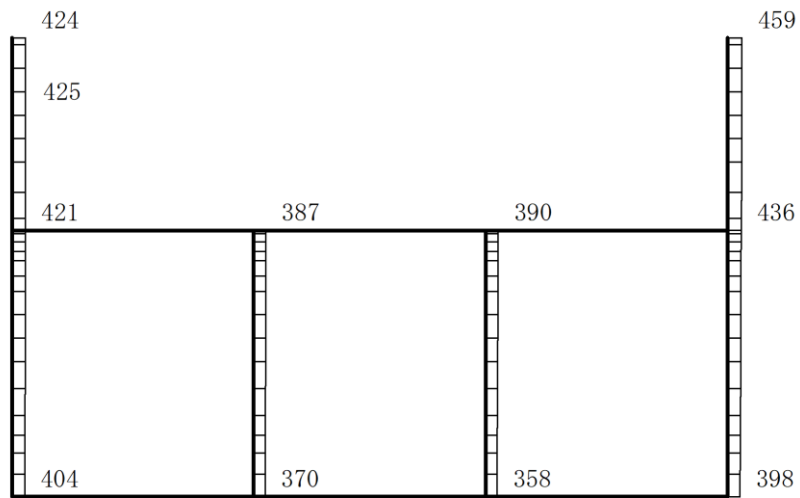
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-125 最大応答加速度分布図 (5/120) (解析ケース①)



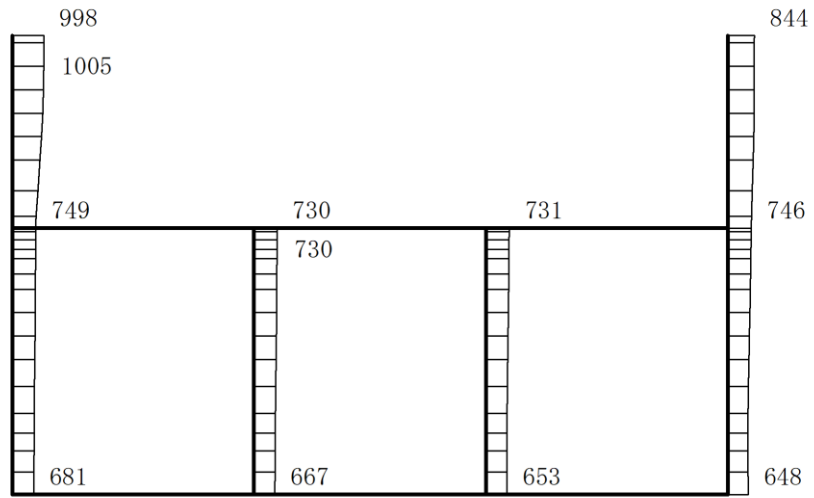
(a) S s - F 2 (++) 水平



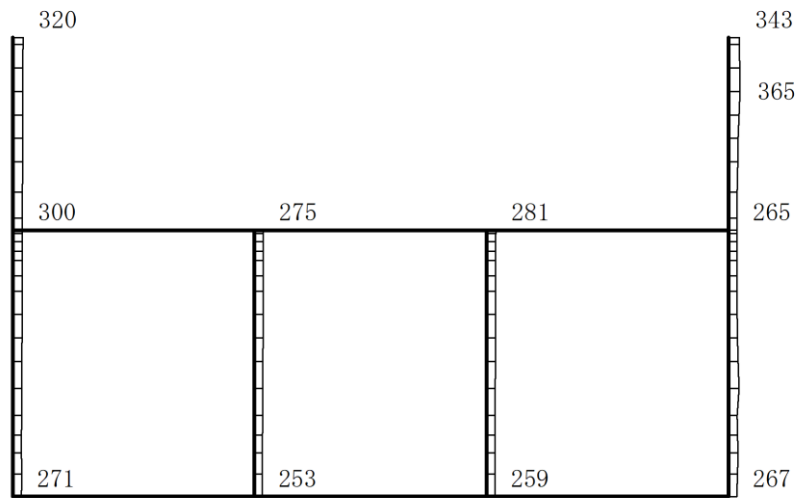
(b) S s - F 2 (++) 鉛直

構造スケール 0 2(m) 応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-126 最大応答加速度分布図(6/120) (解析ケース①)



(a) S s - N 1 (++) 水平

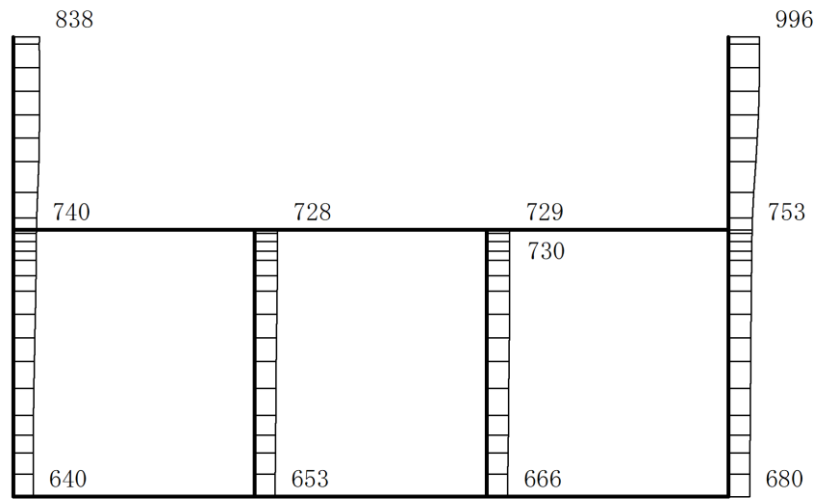


(b) S s - N 1 (++) 鉛直

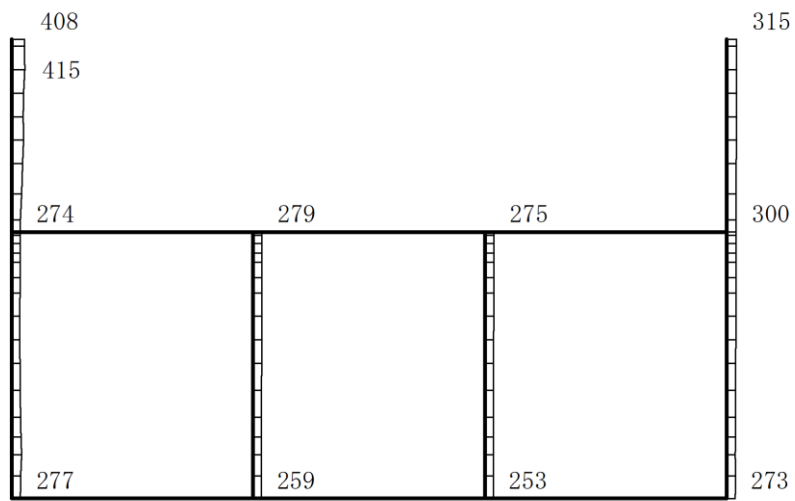
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-127 最大応答加速度分布図(7/120) (解析ケース①)



(a) S s - N 1 (- +) 水平

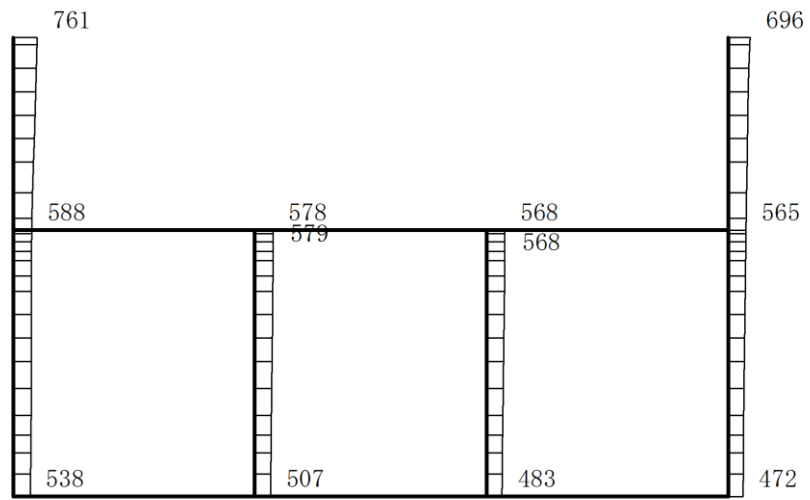


(b) S s - N 1 (- +) 鉛直

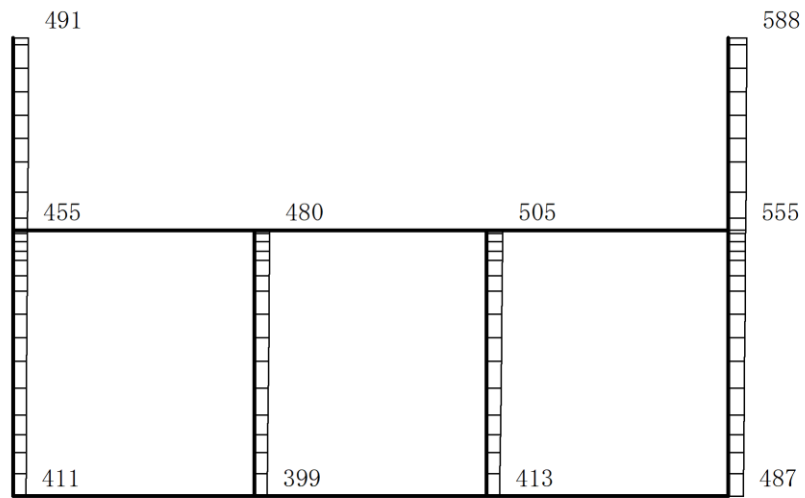
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-128 最大応答加速度分布図 (8/120) (解析ケース①)



(a) $S_s - N_2(N_S) (+ +)$ 水平

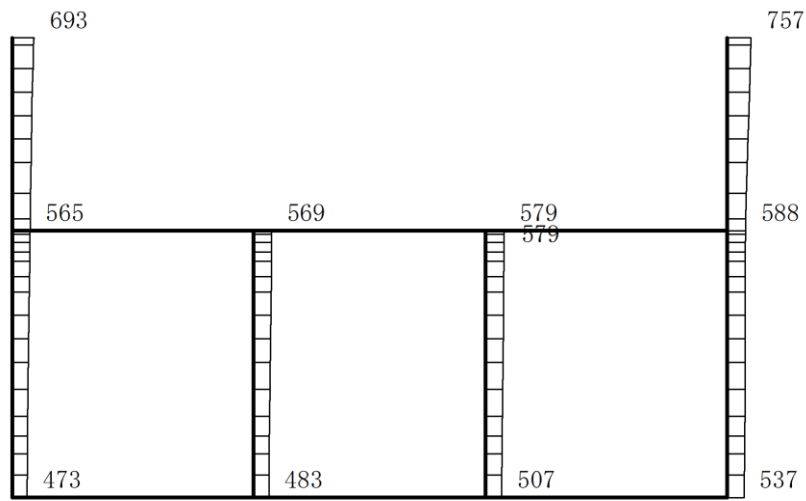


(b) $S_s - N_2(N_S) (+ +)$ 鉛直

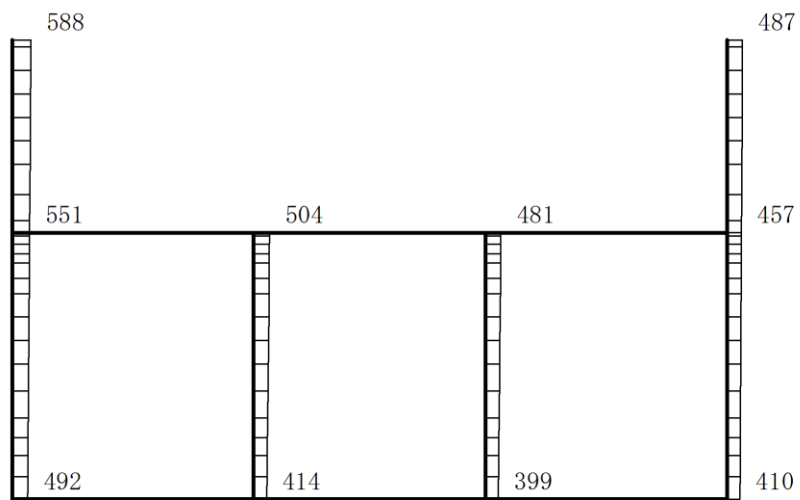
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-129 最大応答加速度分布図(9/120) (解析ケース①)



(a) $S_s - N2(N S) (-+)$ 水平

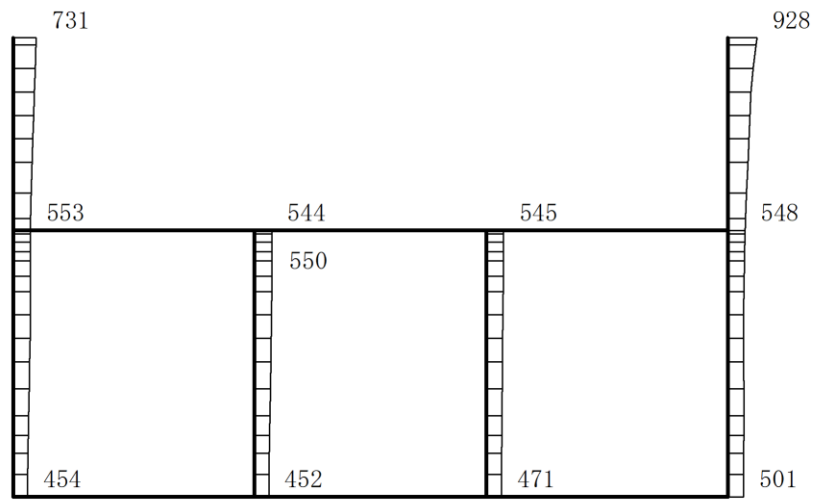


(b) $S_s - N2(N S) (-+)$ 鉛直

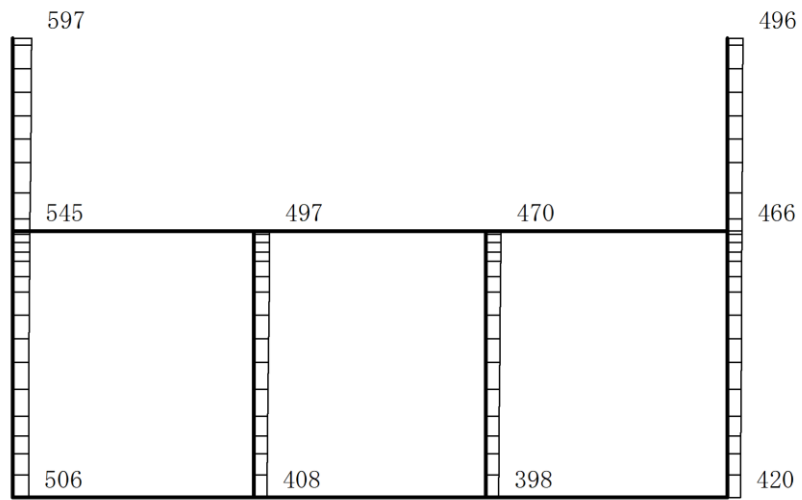
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-130 最大応答加速度分布図(10/120) (解析ケース①)



(a) $S_s - N2(EW)(++)$ 水平

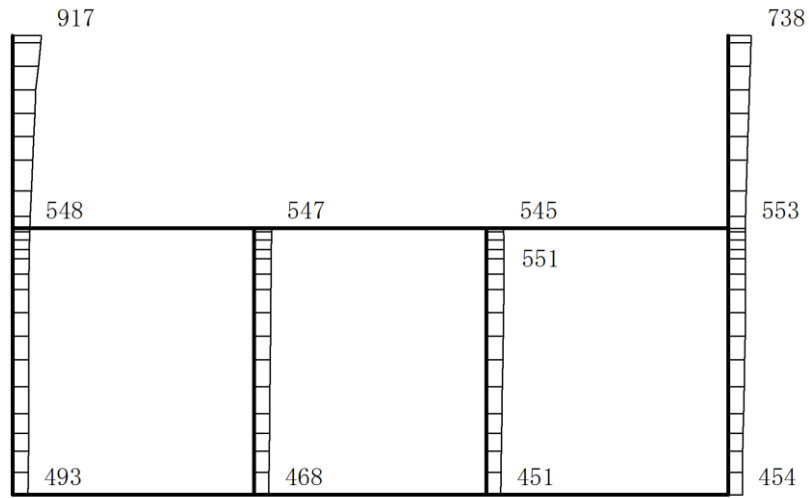


(b) $S_s - N2(EW)(++)$ 鉛直

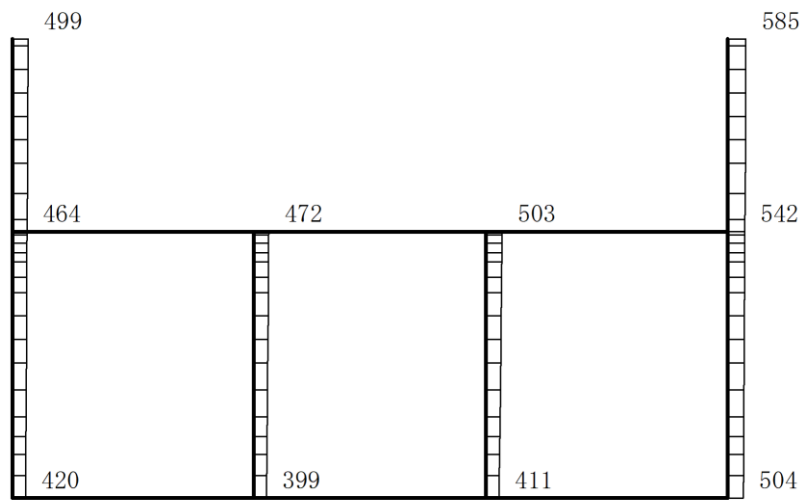
構造スケール $\frac{0}{2(m)}$

応答値スケール $\frac{0}{1500 (cm/s^2)}$

図 4-131 最大応答加速度分布図(11/120) (解析ケース①)



(a) $S_s - N2 (EW) (-+)$ 水平

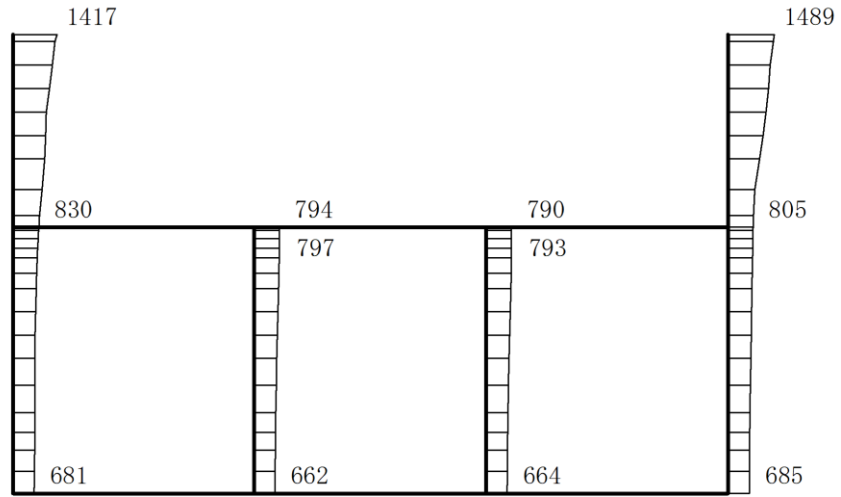


(b) $S_s - N2 (EW) (-+)$ 鉛直

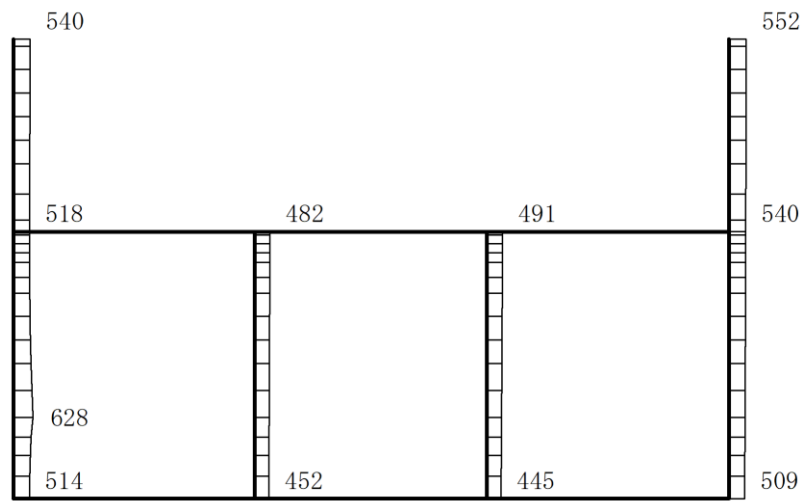
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-132 最大応答加速度分布図(12/120) (解析ケース①)



(a) $S_s - D(++)$ 水平

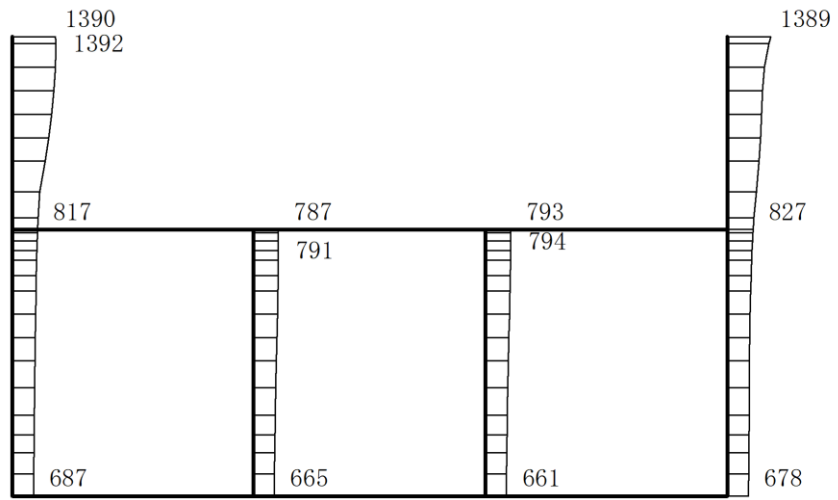


(b) $S_s - D(++)$ 鉛直

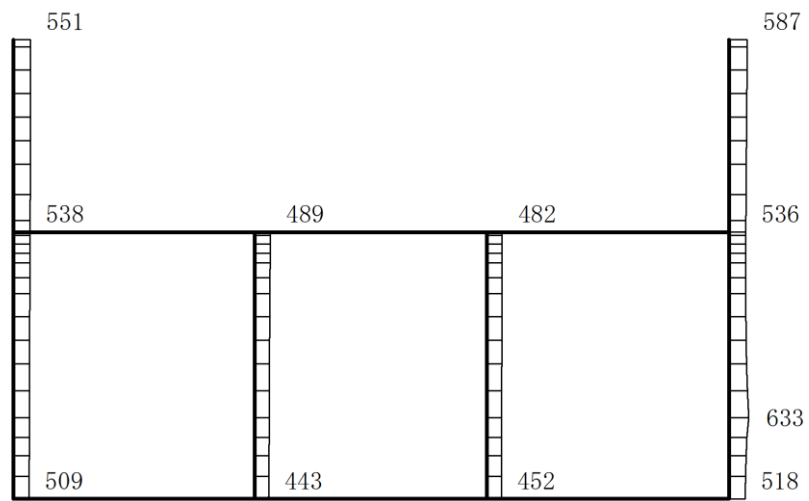
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-133 最大応答加速度分布図(13/120) (解析ケース②)



(a) S s - D (- +) 水平

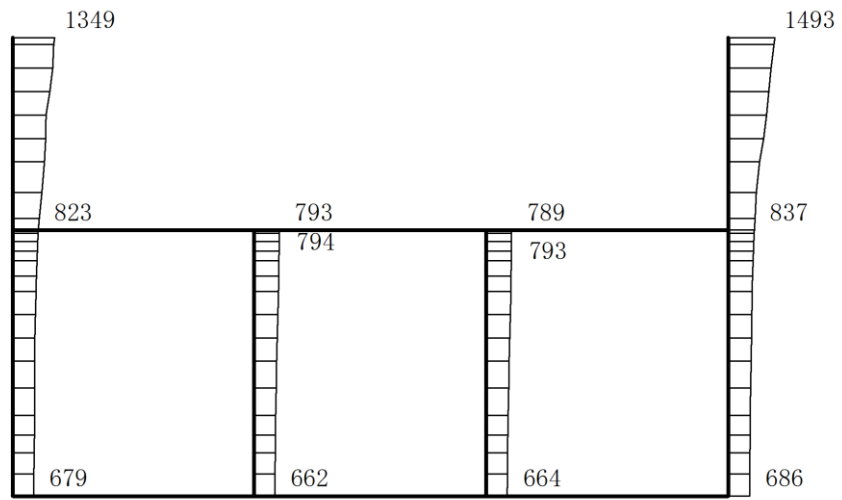


(b) S s - D (- +) 鉛直

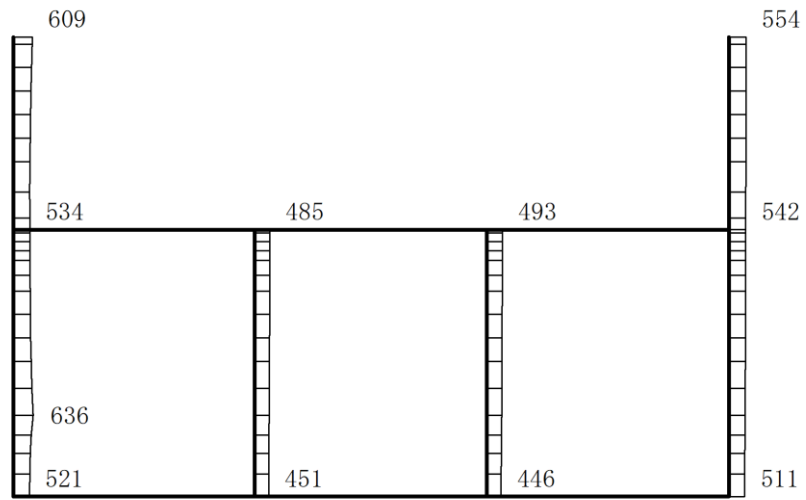
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-134 最大応答加速度分布図(14/120) (解析ケース②)



(a) S s - D (++) 水平

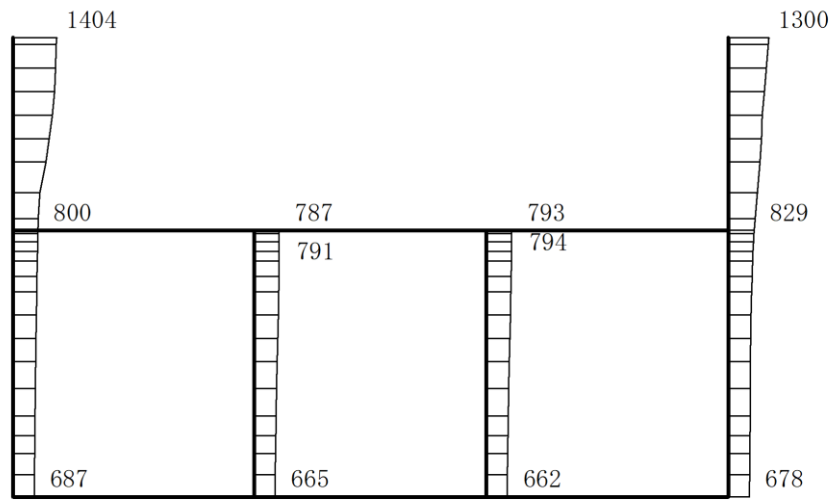


(b) S s - D (++) 鉛直

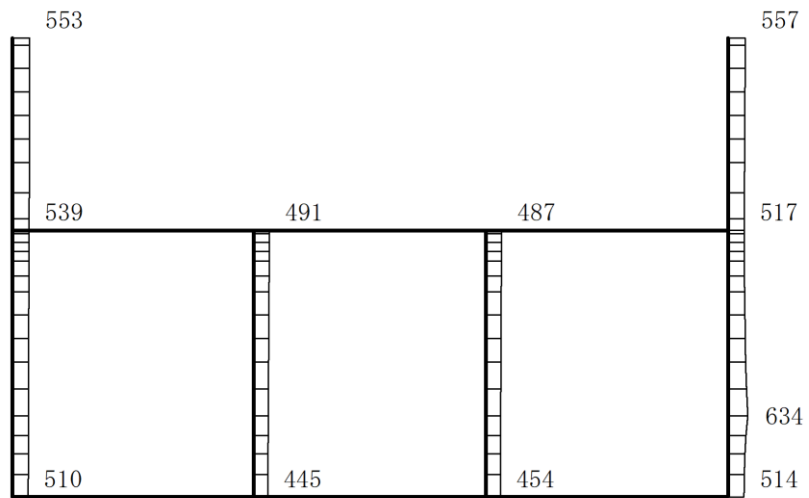
構造スケール $\frac{0}{2(m)}$

応答値スケール $\frac{0}{1500 (cm/s^2)}$

図 4-135 最大応答加速度分布図(15/120) (解析ケース③)



(a) S s - D (- +) 水平

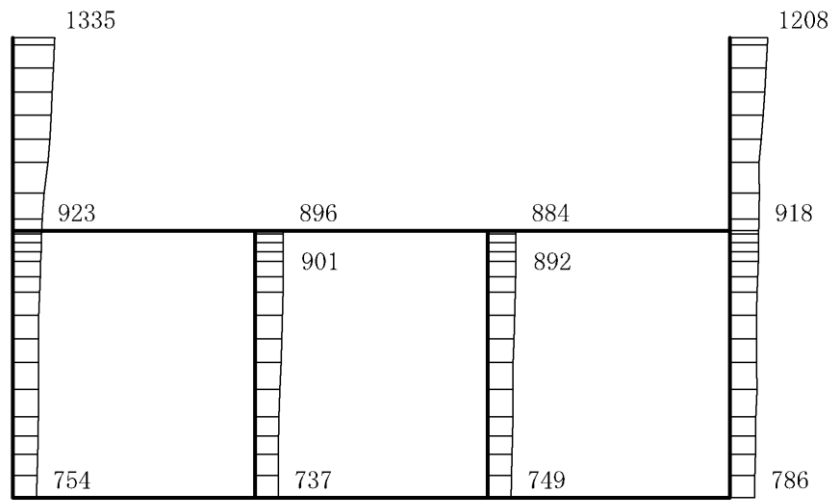


(b) S s - D (- +) 鉛直

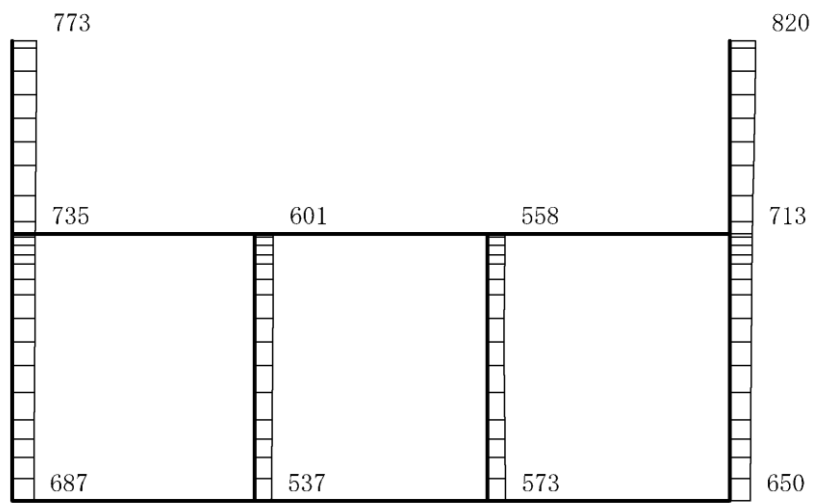
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-136 最大応答加速度分布図(16/120) (解析ケース③)



(a) S s - D (++) 水平

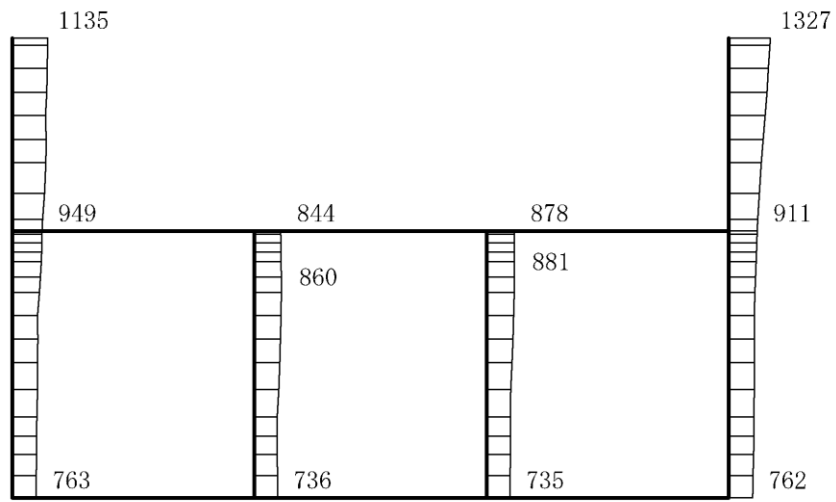


(b) S s - D (++) 鉛直

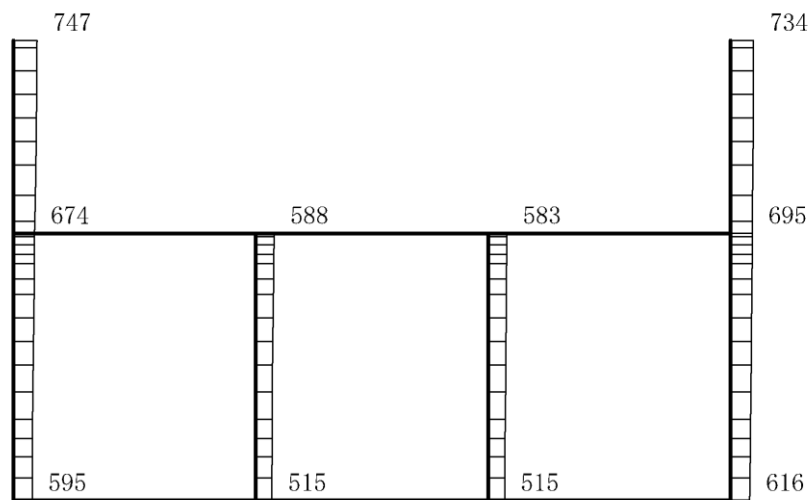
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-137 最大応答加速度分布図(17/120) (解析ケース④)



(a) $S_s - D (-+)$ 水平

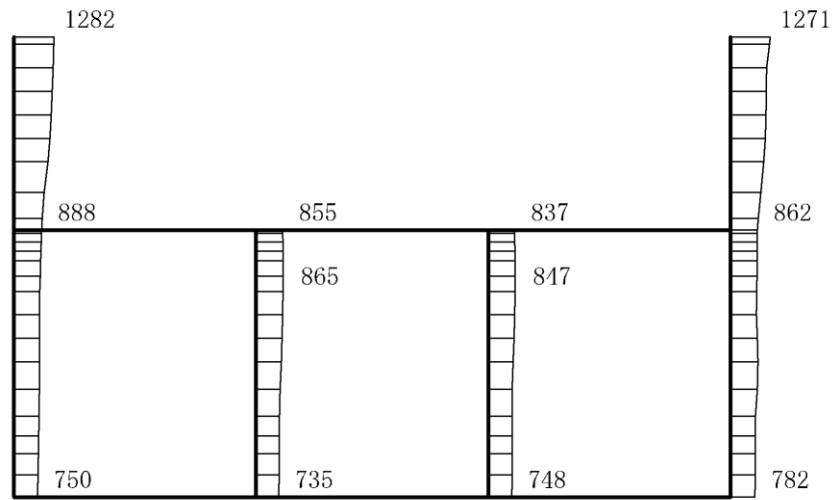


(b) $S_s - D (-+)$ 鉛直

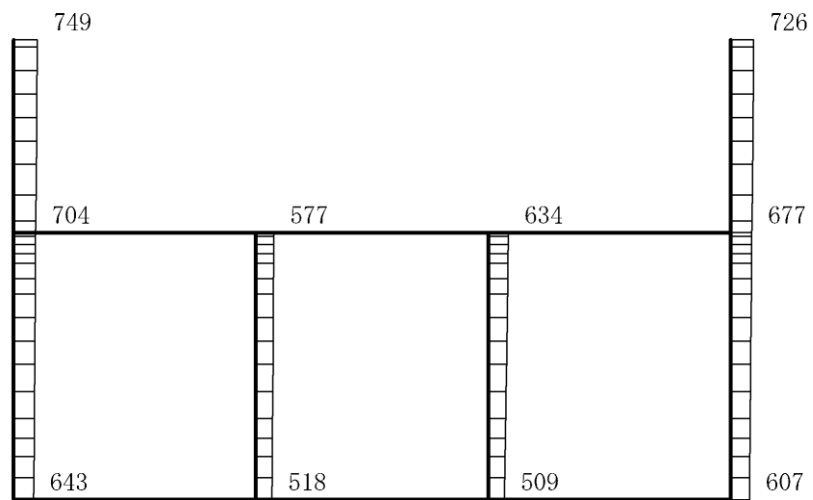
構造スケール $\frac{0}{2(m)}$

応答値スケール $\frac{0}{1500 (cm/s^2)}$

図 4-138 最大応答加速度分布図(18/120) (解析ケース④)



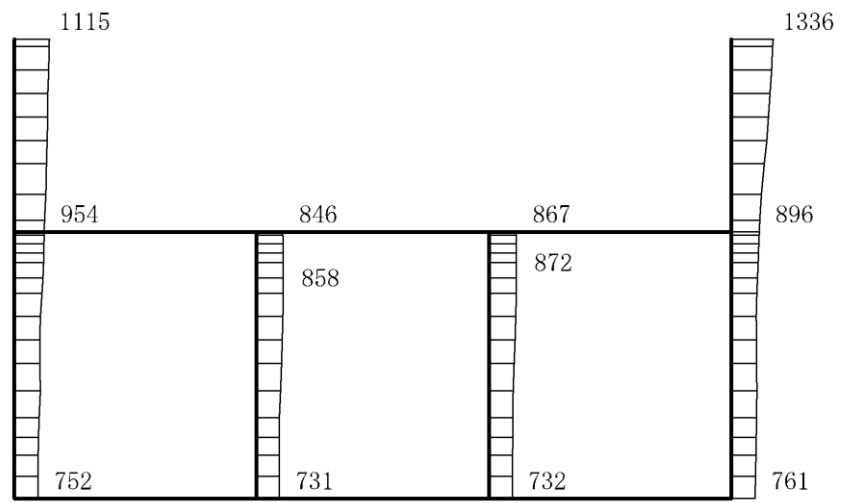
(a) S s - D (++) 水平



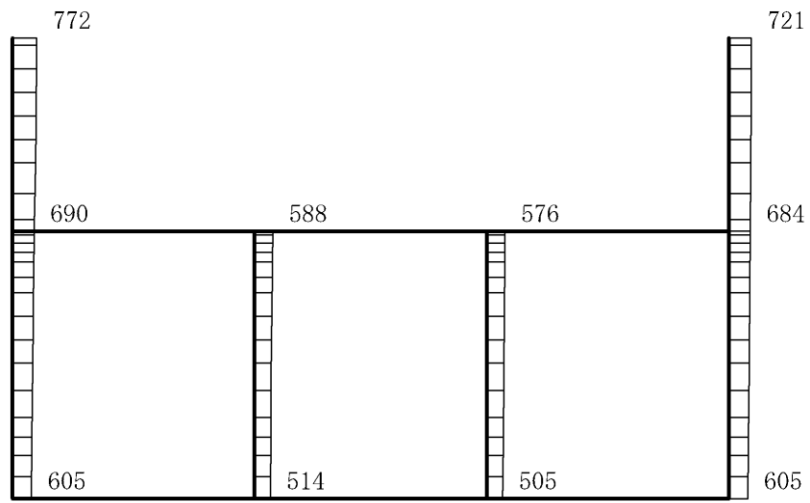
(b) S s - D (++) 鉛直

構造スケール 0 2(m) 応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-139 最大応答加速度分布図(19/120) (解析ケース⑤)



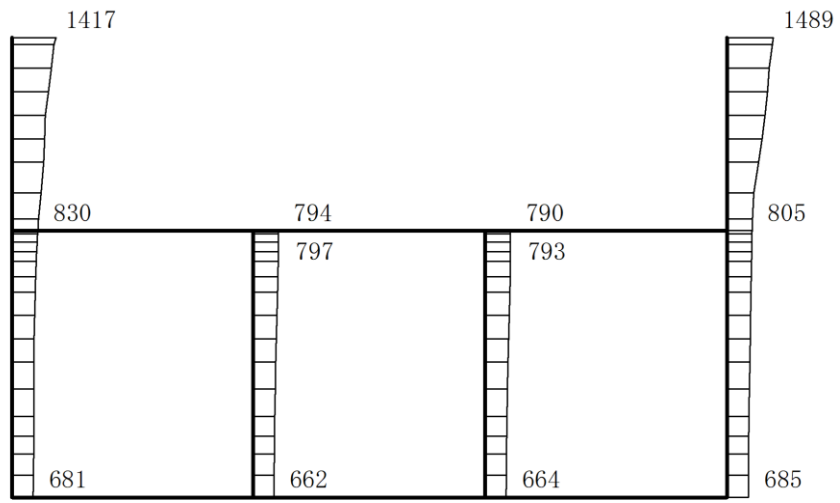
(a) S s - D (- +) 水平



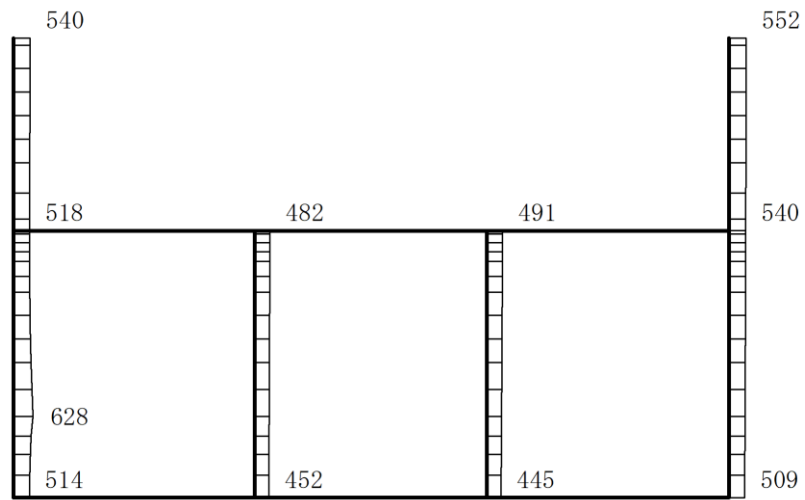
(b) S s - D (- +) 鉛直

構造スケール $0 \sim 2(m)$ 応答値スケール $0 \sim 1500 (cm/s^2)$

図 4-140 最大応答加速度分布図(20/120) (解析ケース⑤)



(a) $S_s - D(++)$ 水平

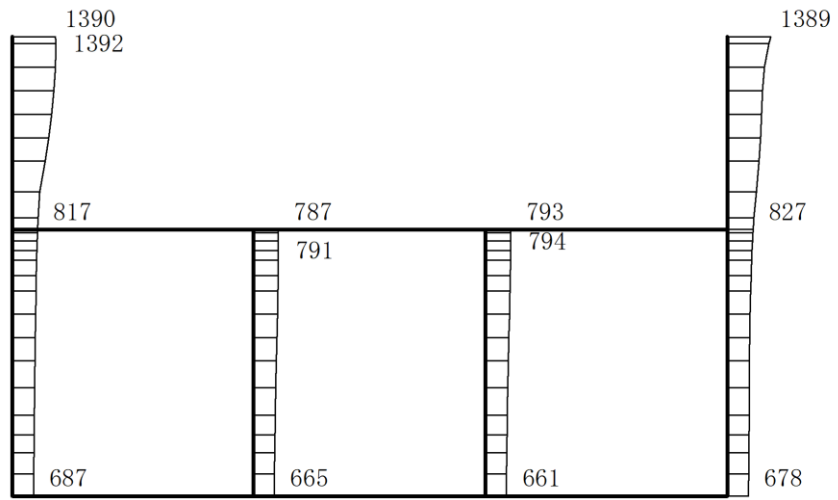


(b) $S_s - D(++)$ 鉛直

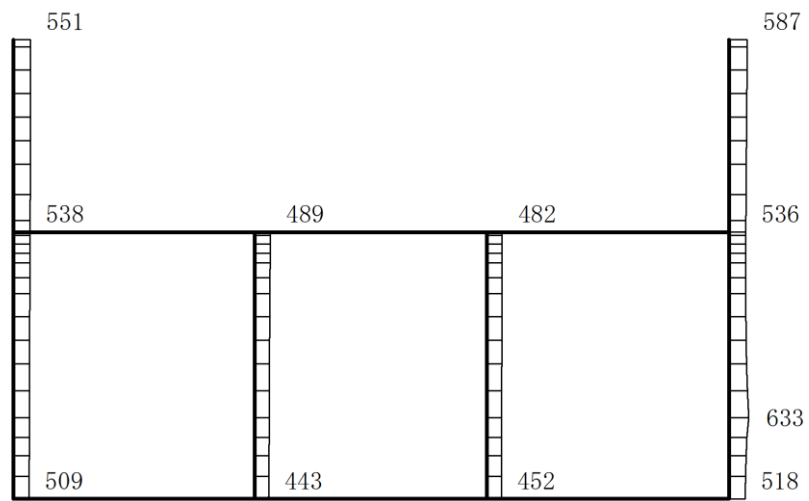
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-141 最大応答加速度分布図(21/120) (解析ケース②)



(a) S s - D (- +) 水平

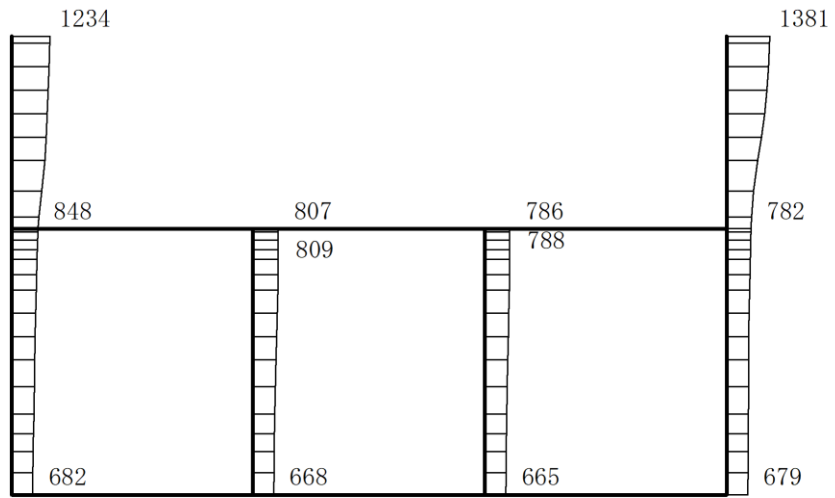


(b) S s - D (- +) 鉛直

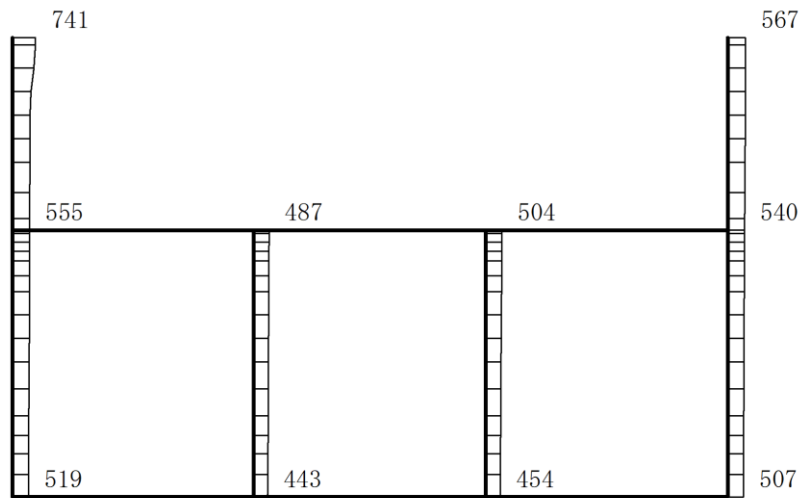
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-142 最大応答加速度分布図(22/120) (解析ケース②)



(a) $S_s - D (+ -)$ 水平

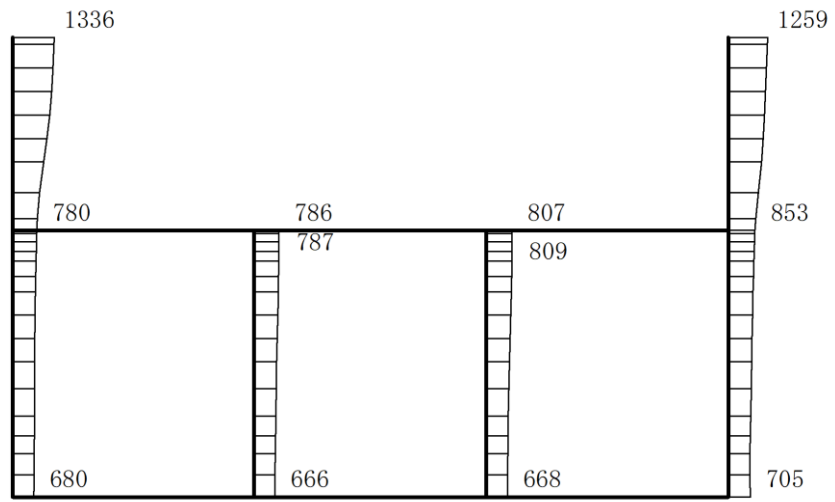


(b) $S_s - D (+ -)$ 鉛直

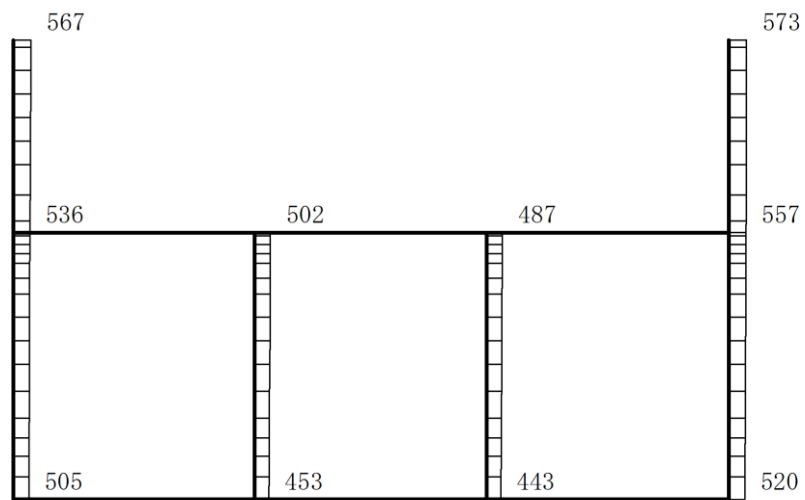
構造スケール $\underbrace{\quad\quad}_0 \quad 2(\text{m})$

応答値スケール $\underbrace{\quad\quad}_0 \quad 1500 (\text{cm/s}^2)$

図 4-143 最大応答加速度分布図(23/120) (解析ケース②)



(a) S s - D (--) 水平

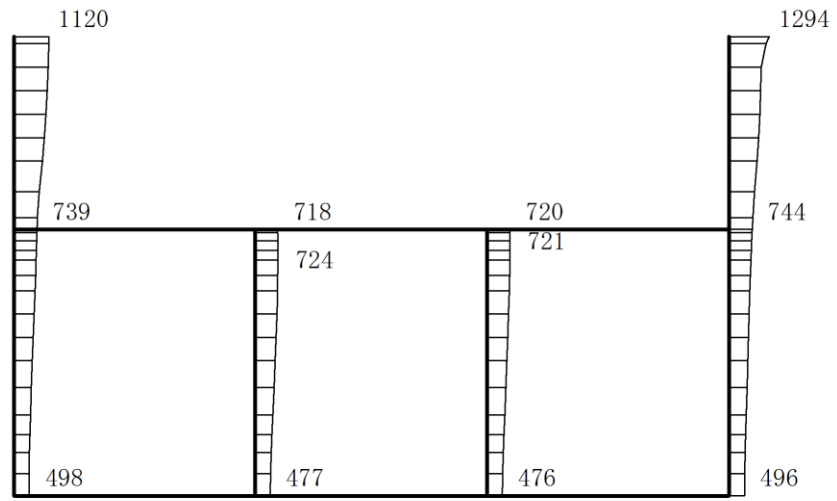


(b) S s - D (--) 鉛直

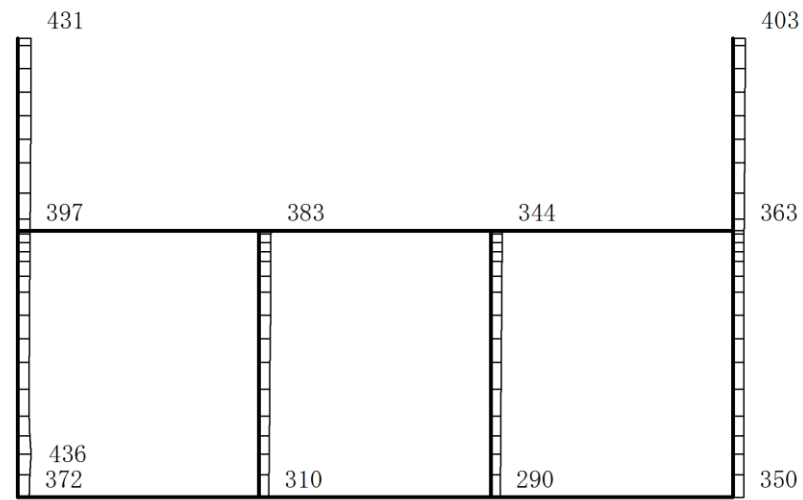
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-144 最大応答加速度分布図(24/120) (解析ケース②)



(a) S s - F 1 (++) 水平

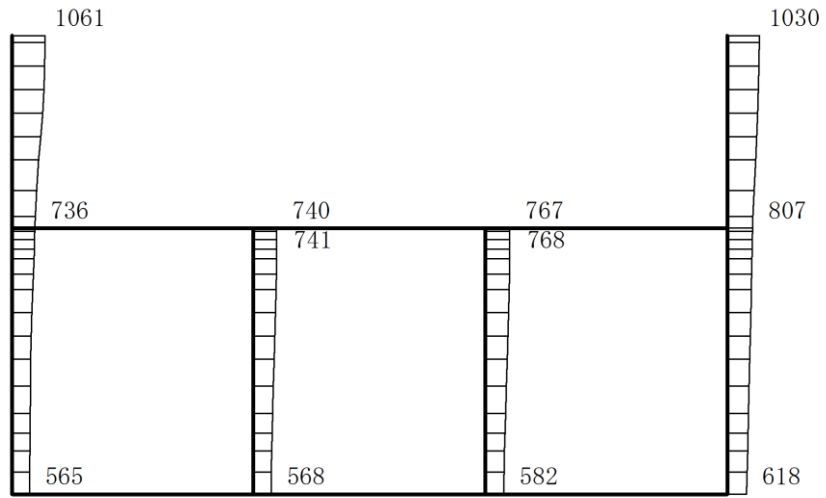


(b) S s - F 1 (++) 鉛直

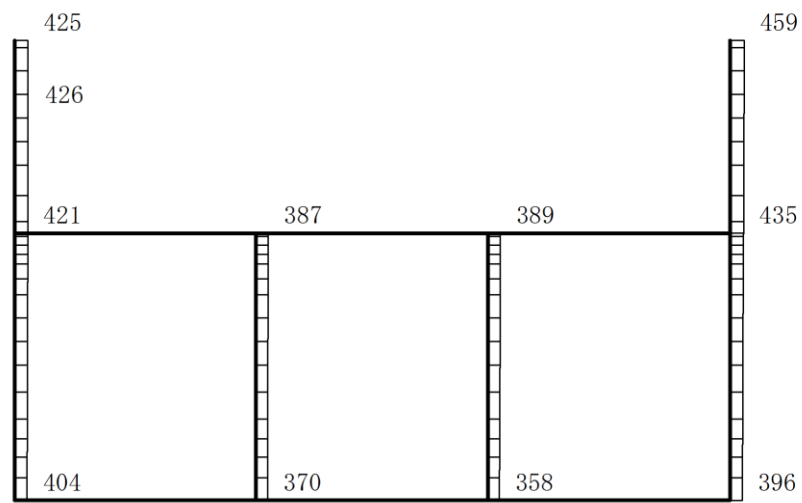
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-145 最大応答加速度分布図(25/120) (解析ケース②)



(a) S s - F 2 (++) 水平

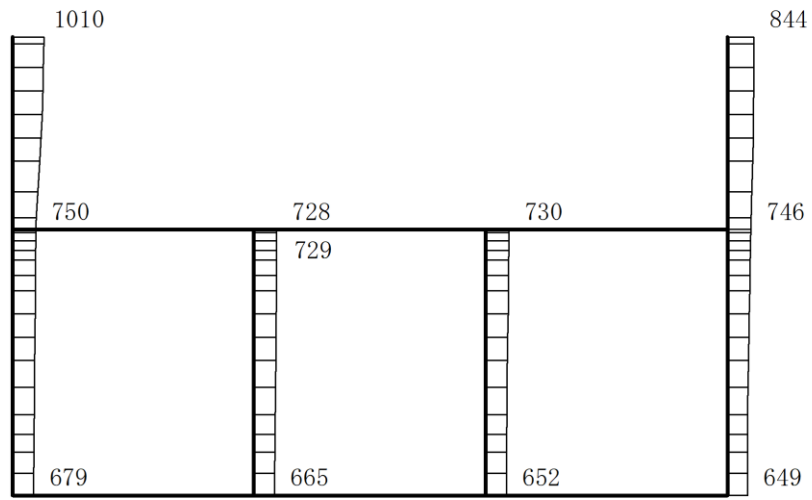


(b) S s - F 2 (++) 鉛直

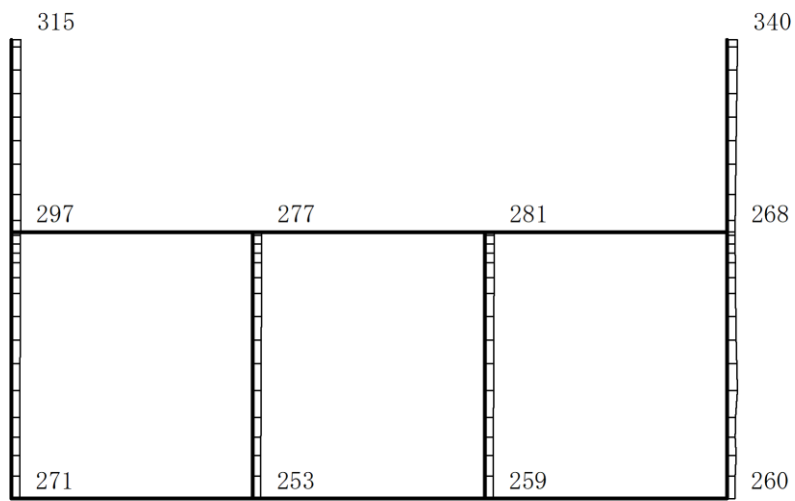
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-146 最大応答加速度分布図(26/120) (解析ケース②)



(a) S s - N 1 (++) 水平

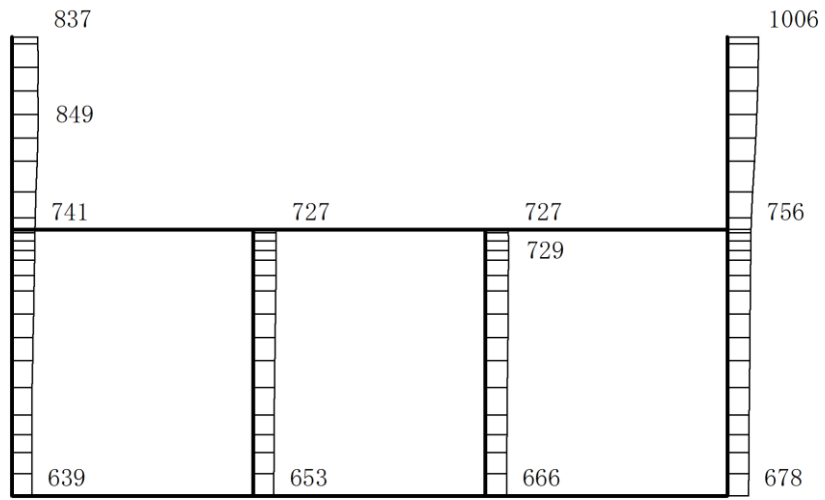


(b) S s - N 1 (++) 鉛直

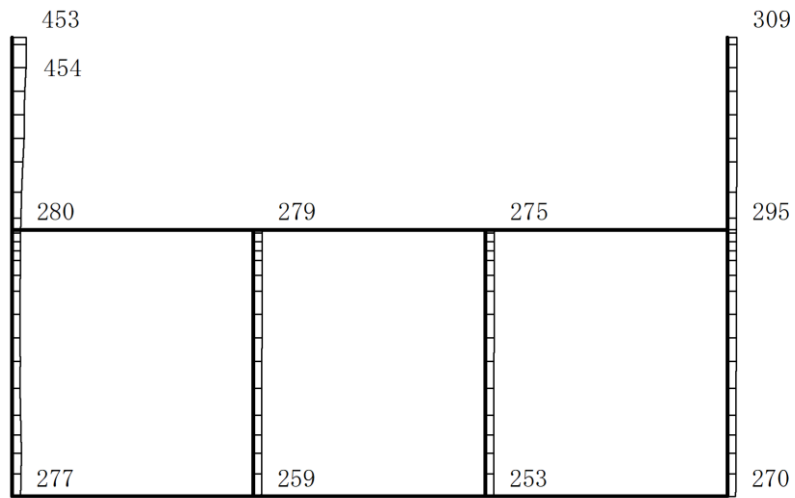
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-147 最大応答加速度分布図(27/120) (解析ケース②)



(a) S s - N 1 (- +) 水平

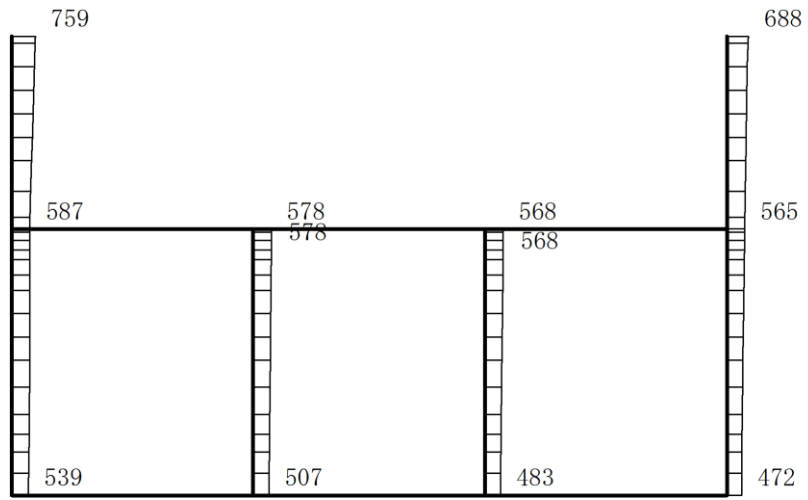


(b) S s - N 1 (- +) 鉛直

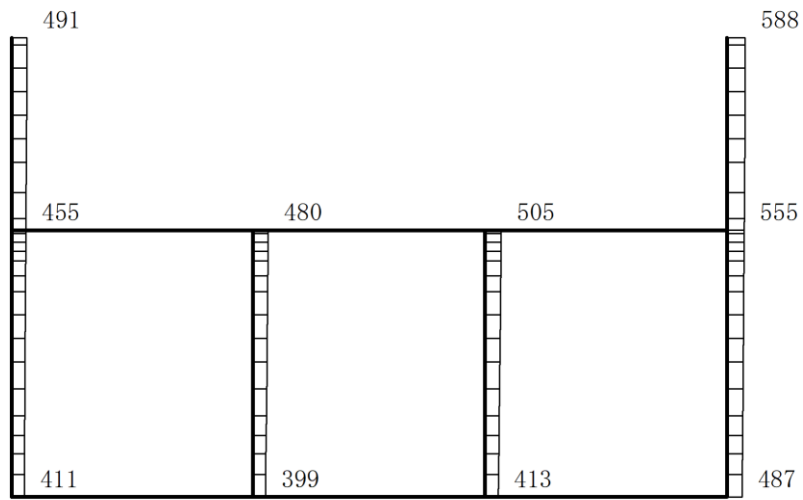
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-148 最大応答加速度分布図(28/120) (解析ケース②)



(a) $S_s - N2(N S) (+ +)$ 水平

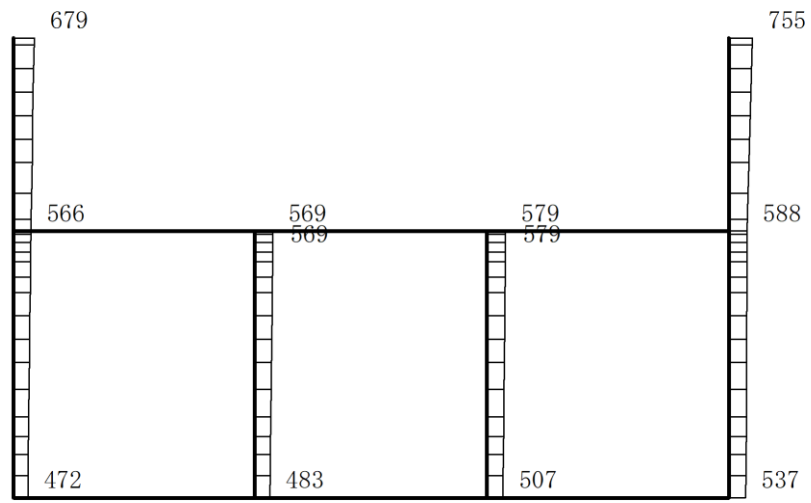


(b) $S_s - N2(N S) (+ +)$ 鉛直

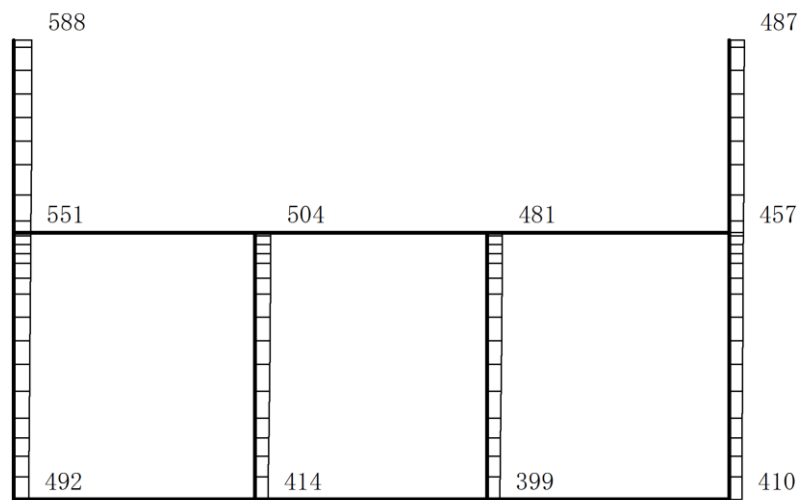
構造スケール $\underbrace{\quad\quad}_0 \quad 2(m)$

応答値スケール $\underbrace{\quad\quad}_0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-149 最大応答加速度分布図(29/120) (解析ケース②)



(a) $S_s - N2(N S) (-+)$ 水平

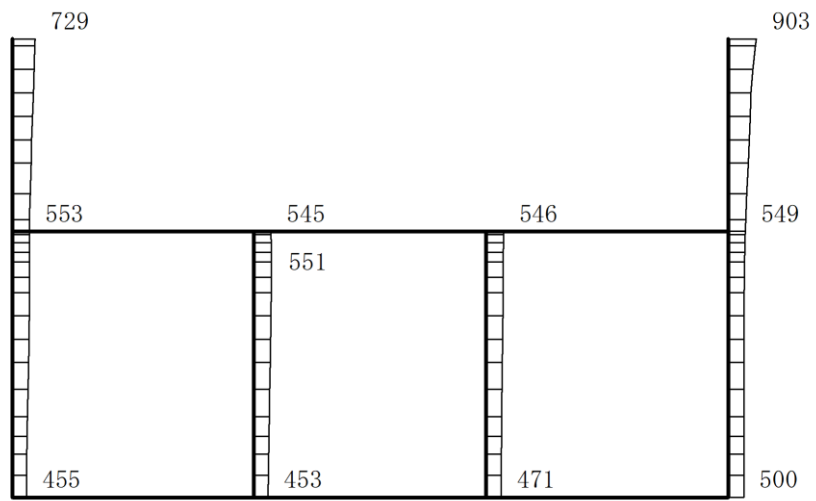


(b) $S_s - N2(N S) (-+)$ 鉛直

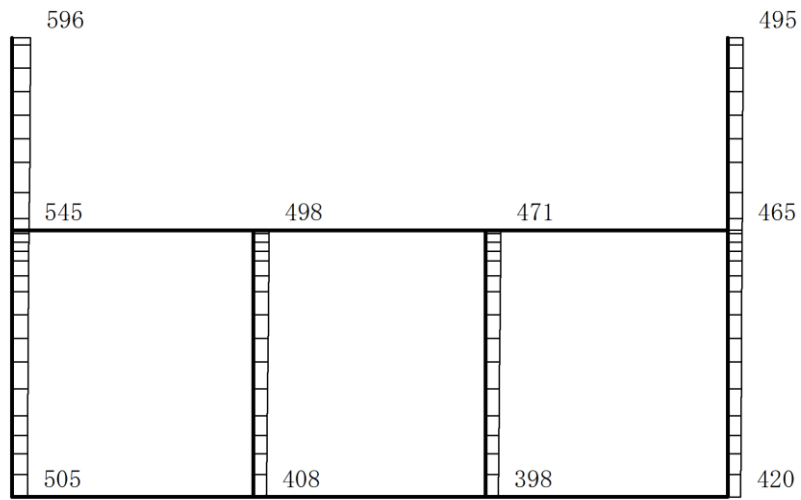
構造スケール $\underbrace{\quad\quad}_0 \quad 2(m)$

応答値スケール $\underbrace{\quad\quad}_0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-150 最大応答加速度分布図(30/120) (解析ケース②)



(a) $S_s - N2(EW)(++)$ 水平

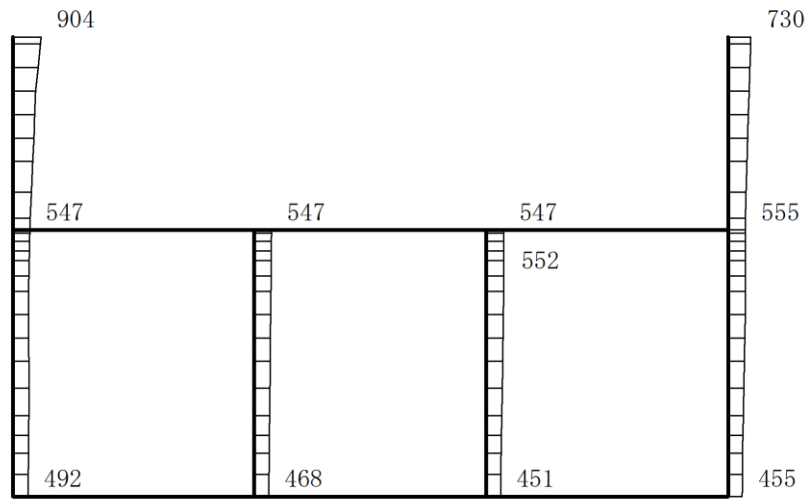


(b) $S_s - N2(EW)(++)$ 鉛直

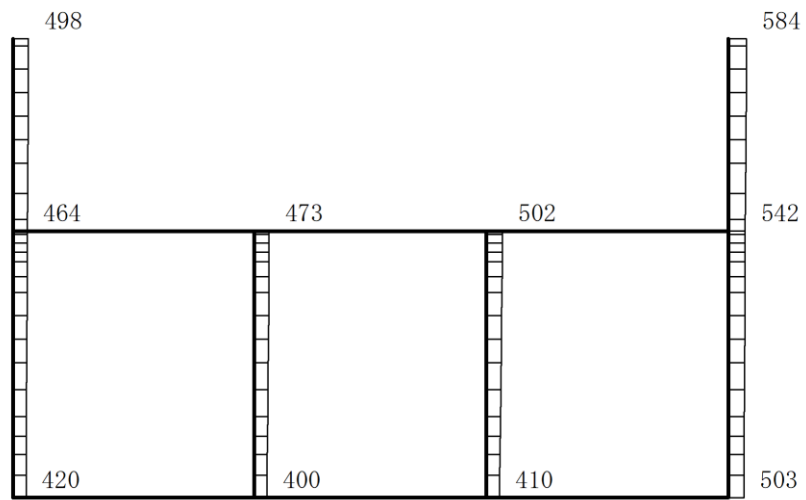
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-151 最大応答加速度分布図(31/120) (解析ケース②)



(a) $S_s - N2(EW) (-+)$ 水平

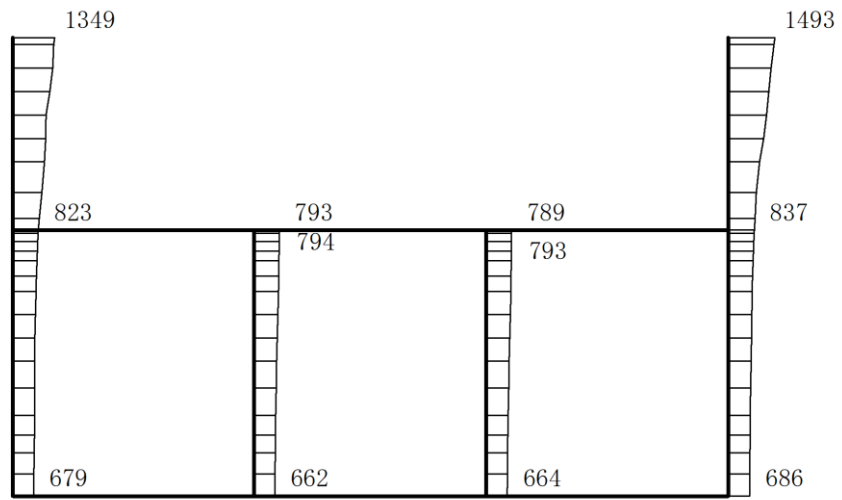


(b) $S_s - N2(EW) (-+)$ 鉛直

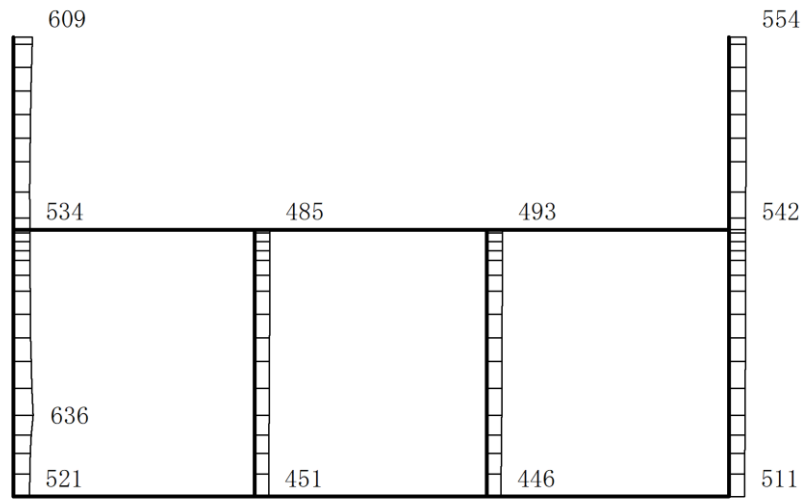
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-152 最大応答加速度分布図(32/120) (解析ケース②)



(a) S s - D (++) 水平

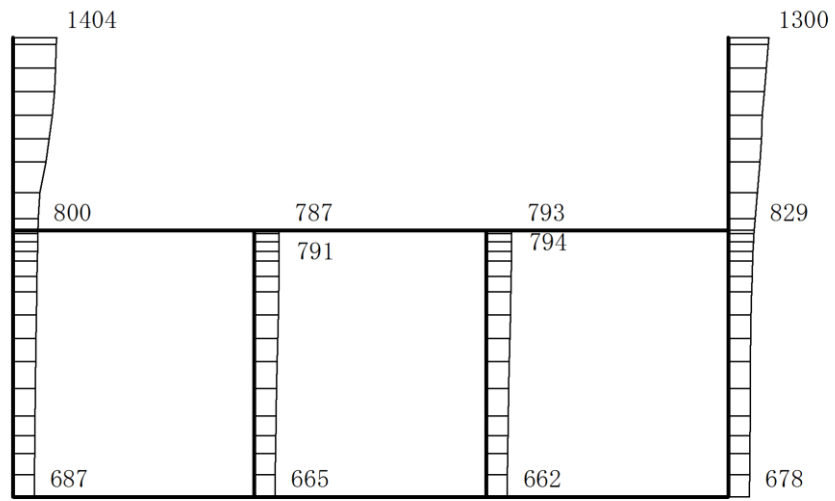


(b) S s - D (++) 鉛直

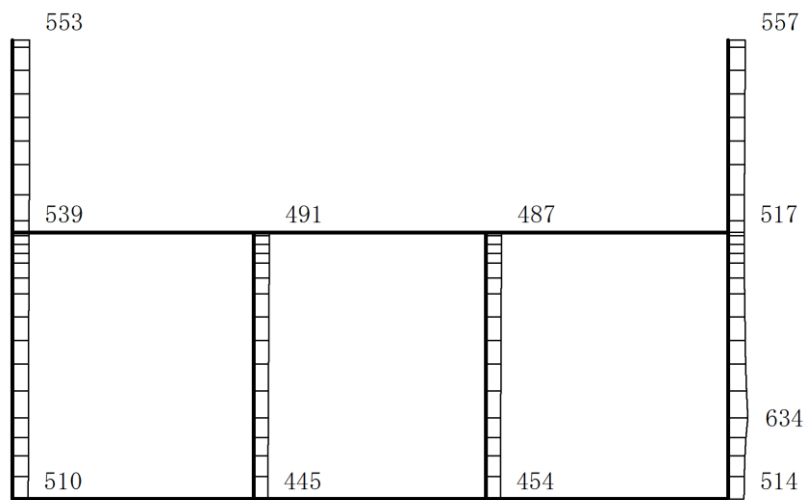
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-153 最大応答加速度分布図 (33/120) (解析ケース③)



(a) $S_s - D (-+)$ 水平

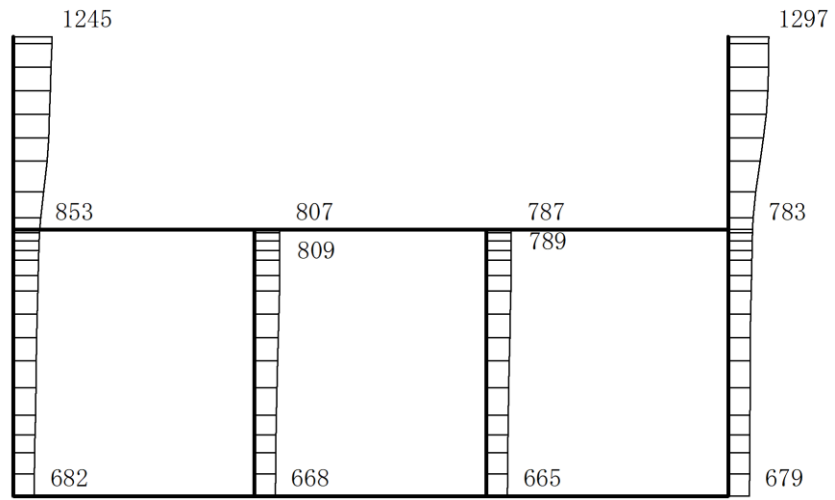


(b) $S_s - D (-+)$ 鉛直

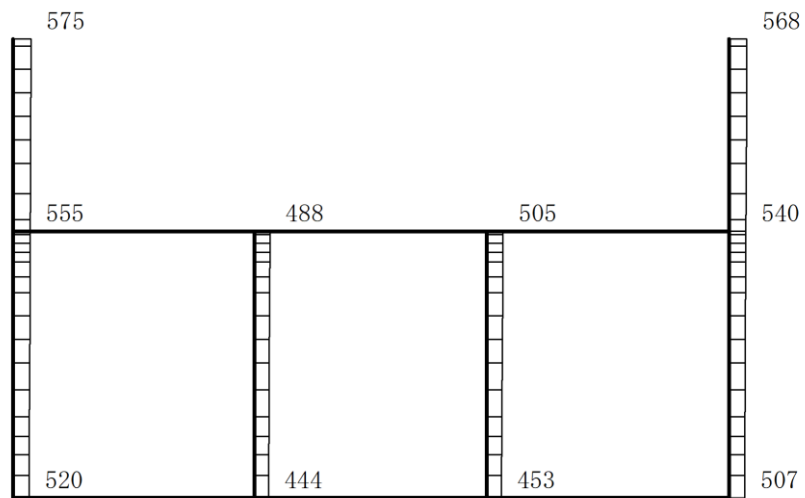
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-154 最大応答加速度分布図(34/120) (解析ケース③)



(a) S s - D (+ -) 水平

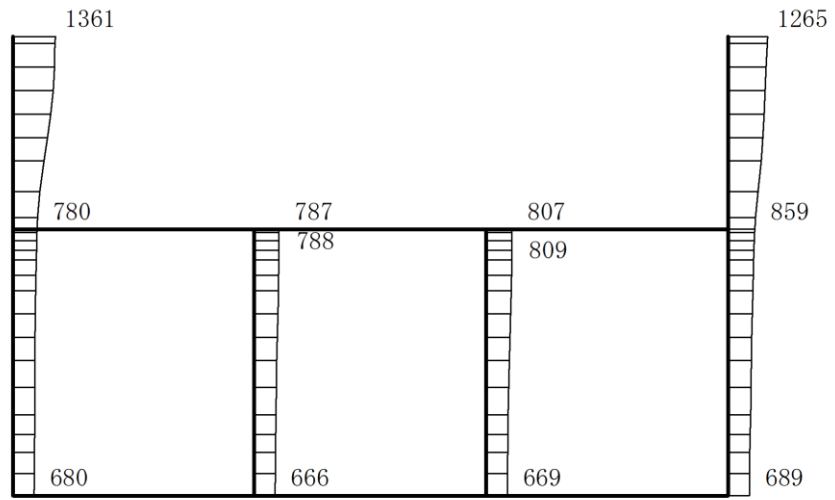


(b) S s - D (+ -) 鉛直

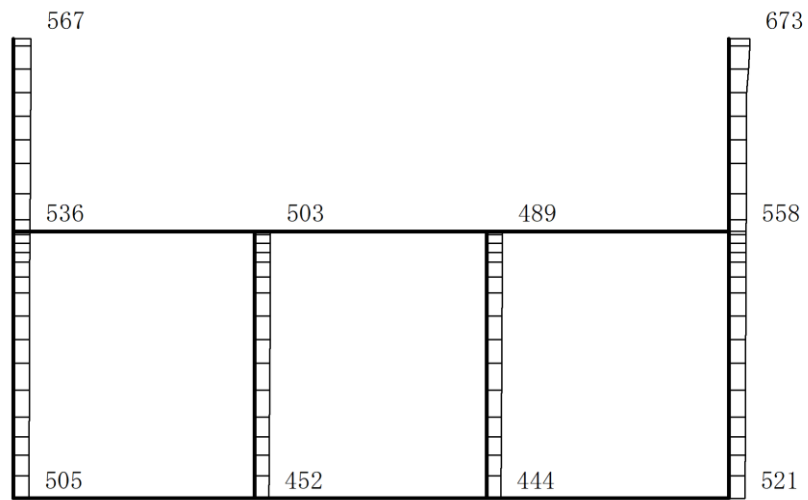
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-155 最大応答加速度分布図(35/120) (解析ケース③)



(a) S s - D (--) 水平

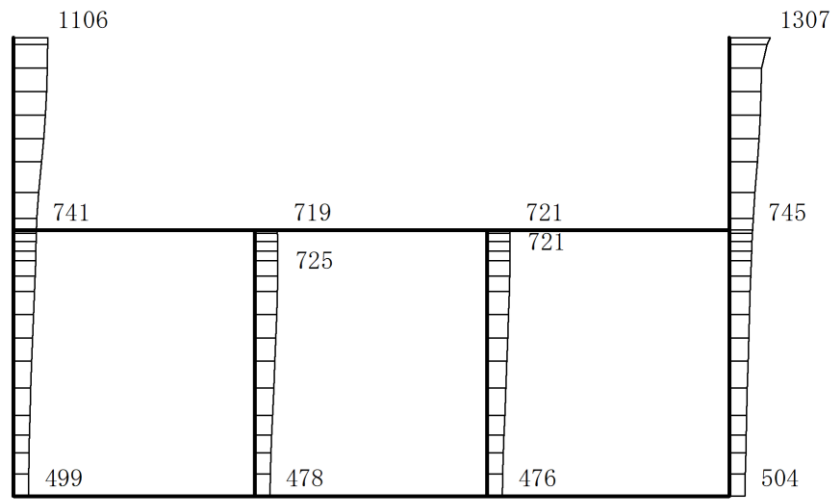


(b) S s - D (--) 鉛直

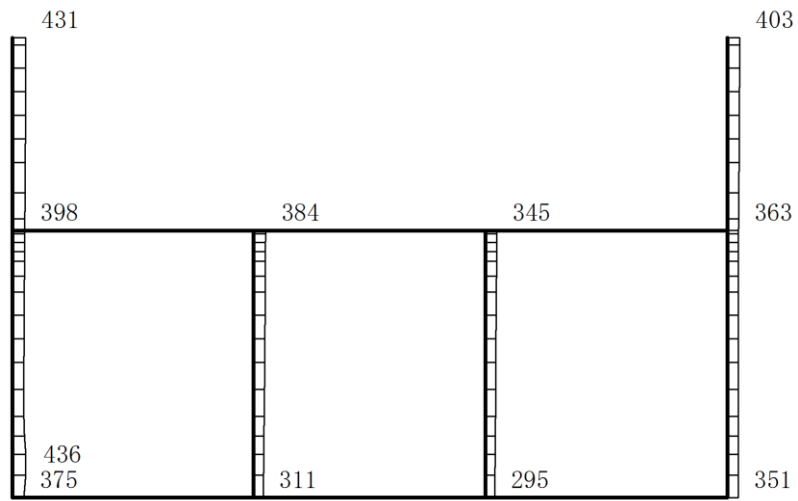
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-156 最大応答加速度分布図(36/120) (解析ケース③)



(a) S s - F 1 (++) 水平

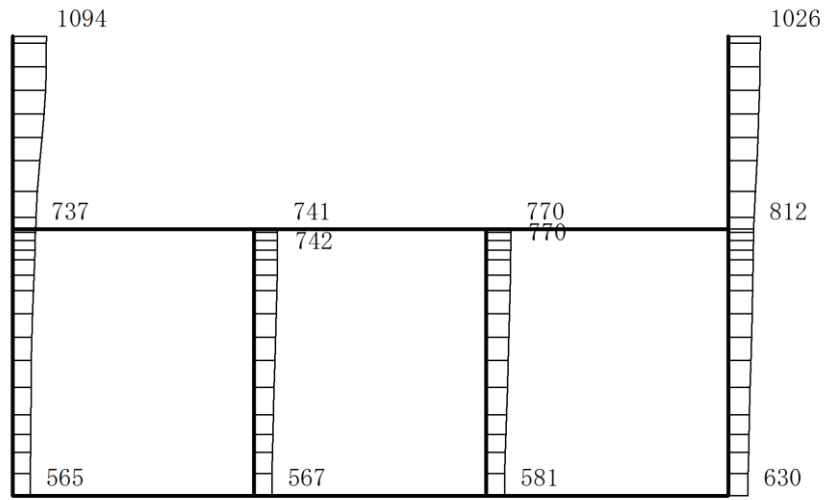


(b) S s - F 1 (++) 鉛直

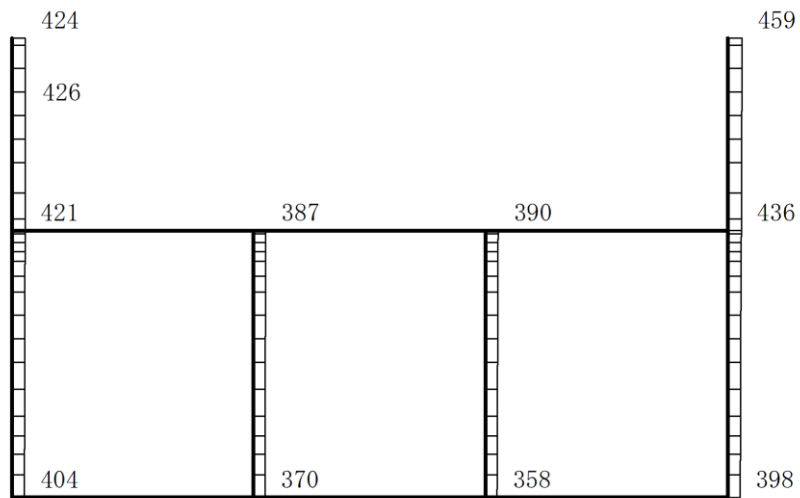
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-157 最大応答加速度分布図(37/120) (解析ケース③)



(a) S s - F 2 (++) 水平

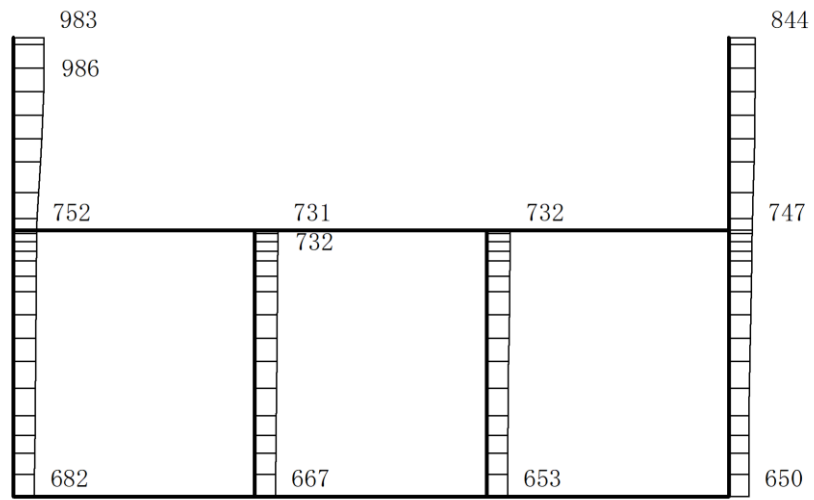


(b) S s - F 2 (++) 鉛直

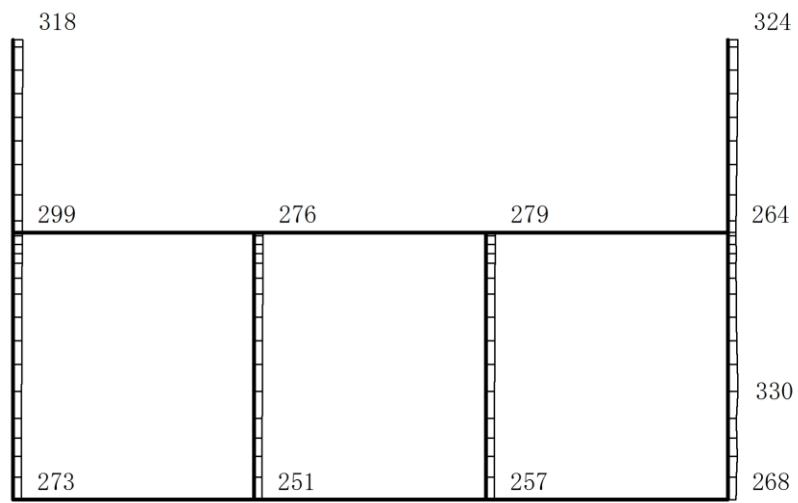
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-158 最大応答加速度分布図(38/120) (解析ケース③)



(a) S s - N 1 (++) 水平

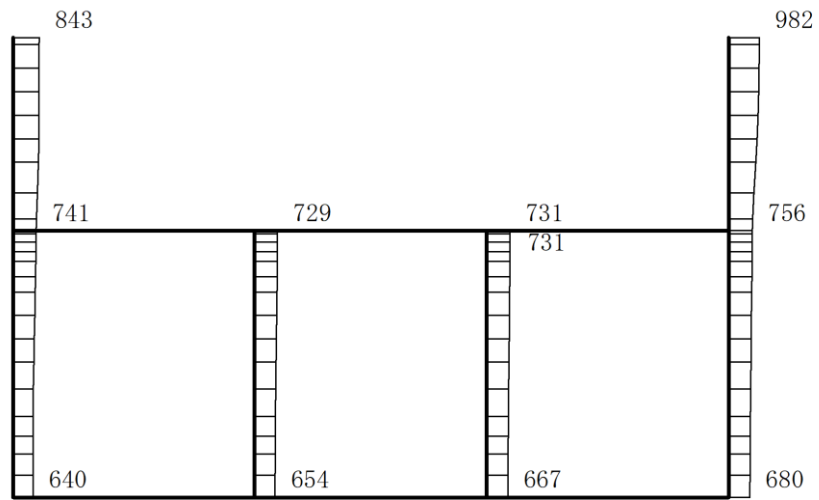


(b) S s - N 1 (++) 鉛直

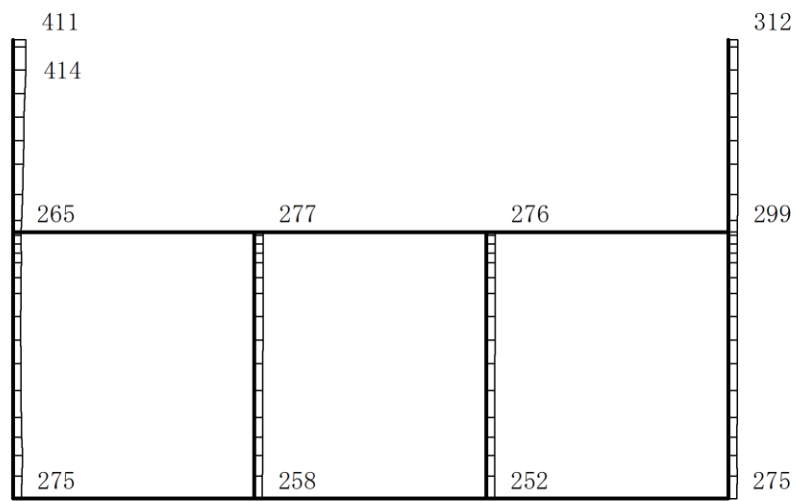
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-159 最大応答加速度分布図(39/120) (解析ケース③)



(a) S s - N 1 (- +) 水平

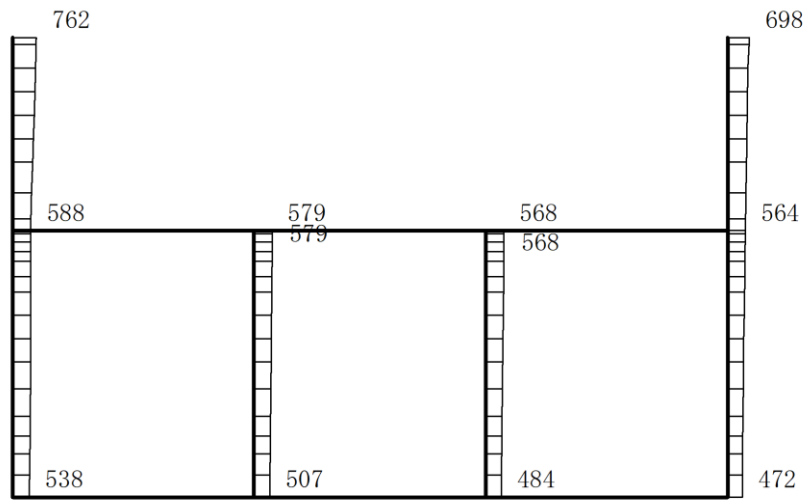


(b) S s - N 1 (- +) 鉛直

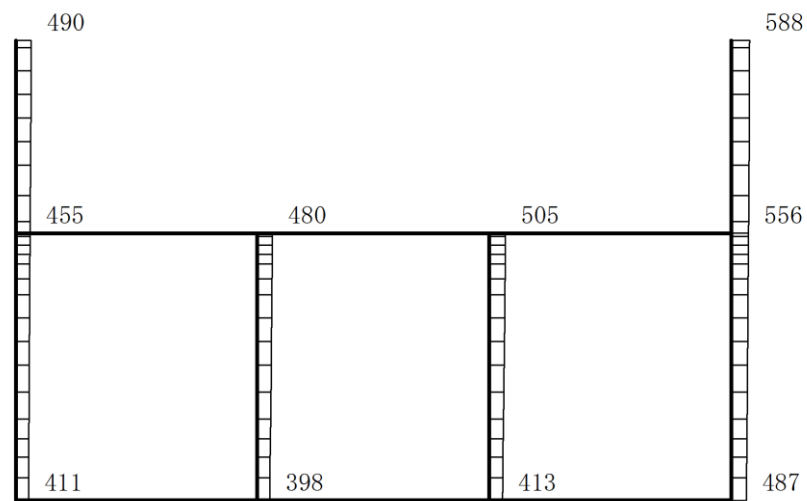
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-160 最大応答加速度分布図(40/120) (解析ケース③)



(a) $S_s - N2(N S) (+ +)$ 水平

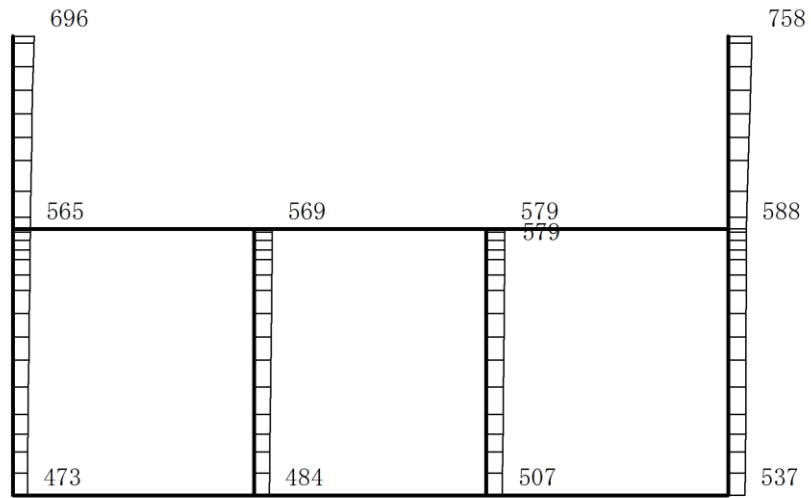


(b) $S_s - N2(N S) (+ +)$ 鉛直

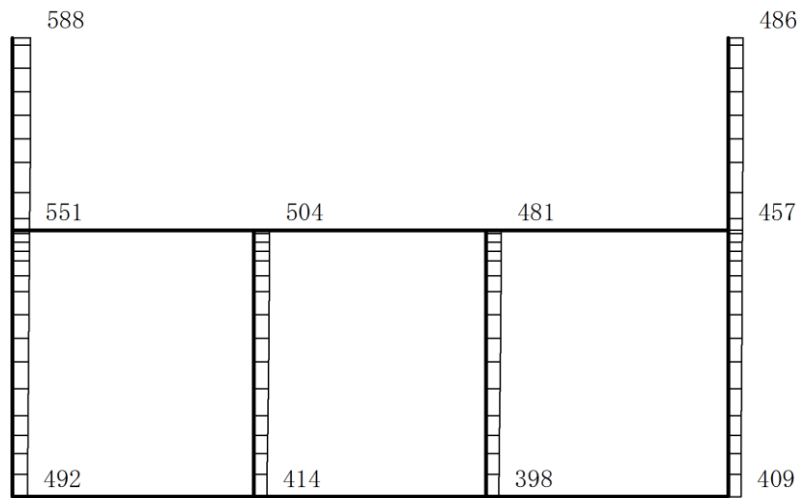
構造スケール $\frac{0}{2}(\text{m})$

応答値スケール $\frac{0}{1500}(\text{cm/s}^2)$

図 4-161 最大応答加速度分布図(41/120) (解析ケース③)



(a) $S_s - N2(N S) (-+)$ 水平

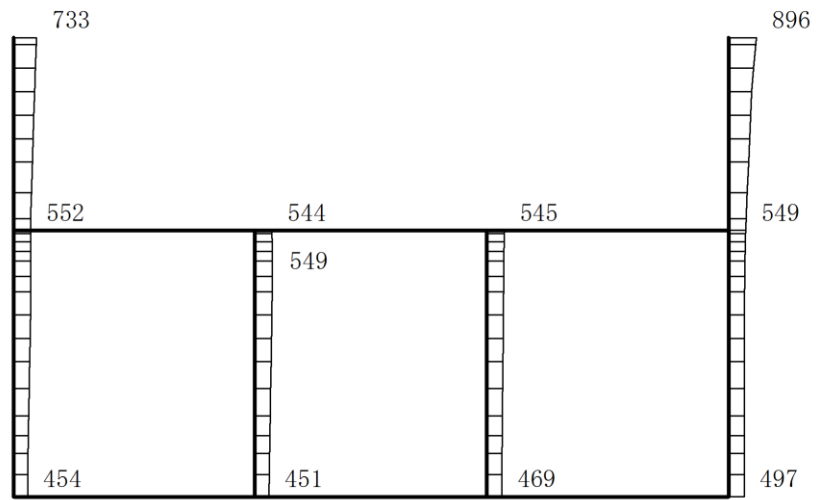


(b) $S_s - N2(N S) (-+)$ 鉛直

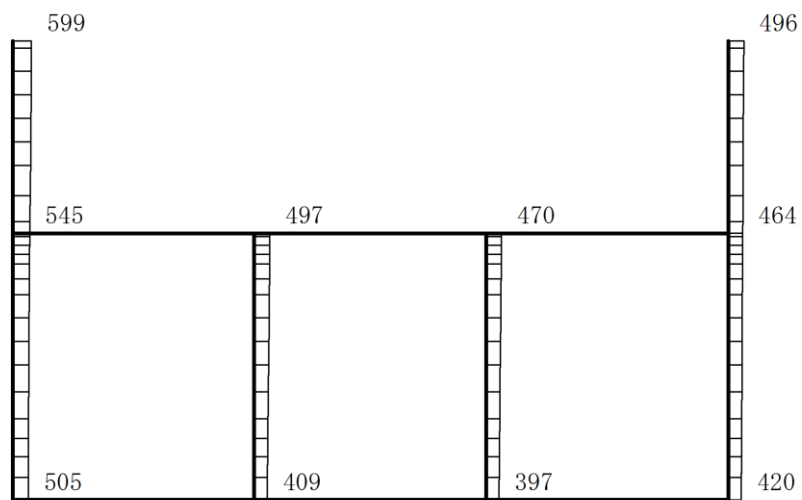
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-162 最大応答加速度分布図(42/120) (解析ケース③)



(a) $S_s - N2 (EW) (++)$ 水平

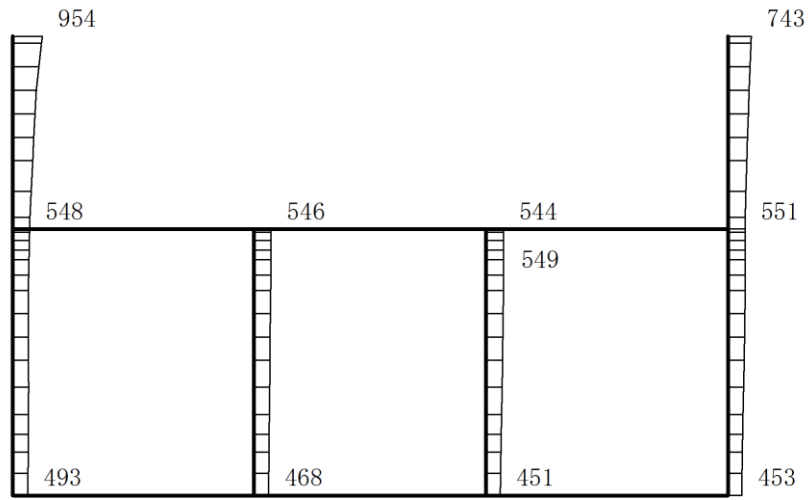


(b) $S_s - N2 (EW) (++)$ 鉛直

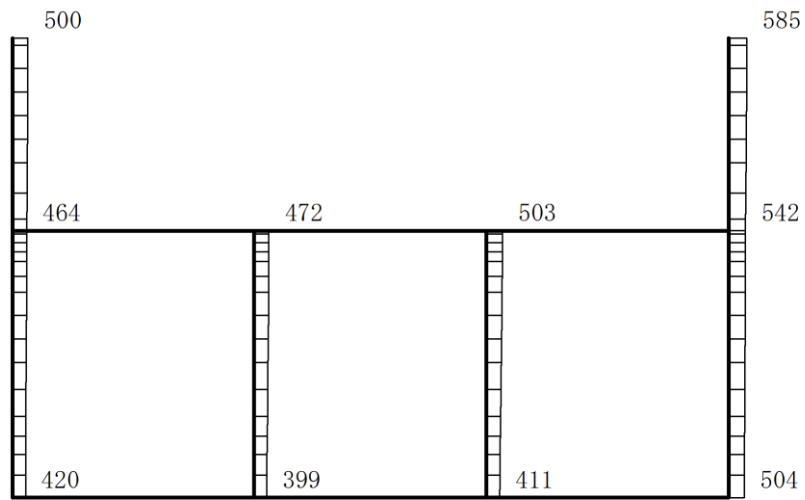
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-163 最大応答加速度分布図(43/120) (解析ケース③)



(a) $S_s - N2(EW) (-+)$ 水平

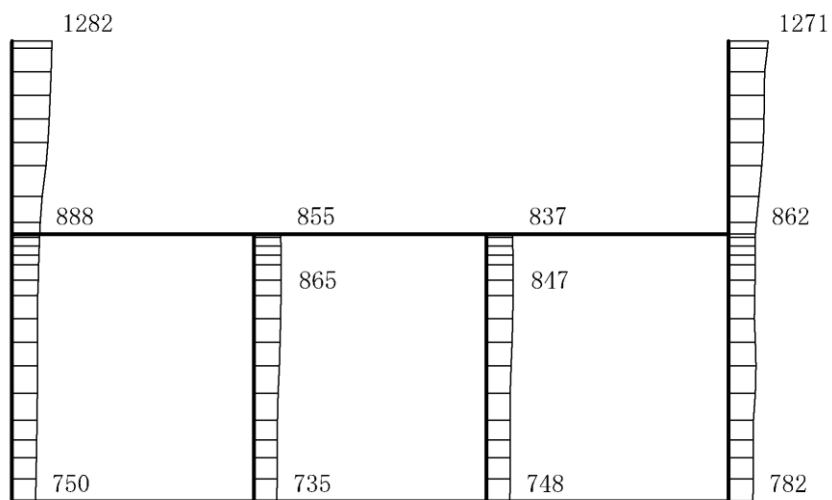


(b) $S_s - N2(EW) (-+)$ 鉛直

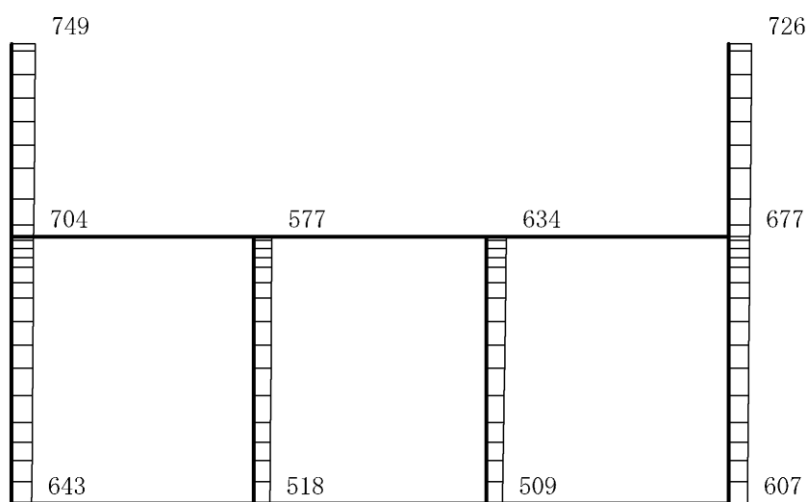
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-164 最大応答加速度分布図(44/120) (解析ケース③)



(a) S s - D (++) 水平

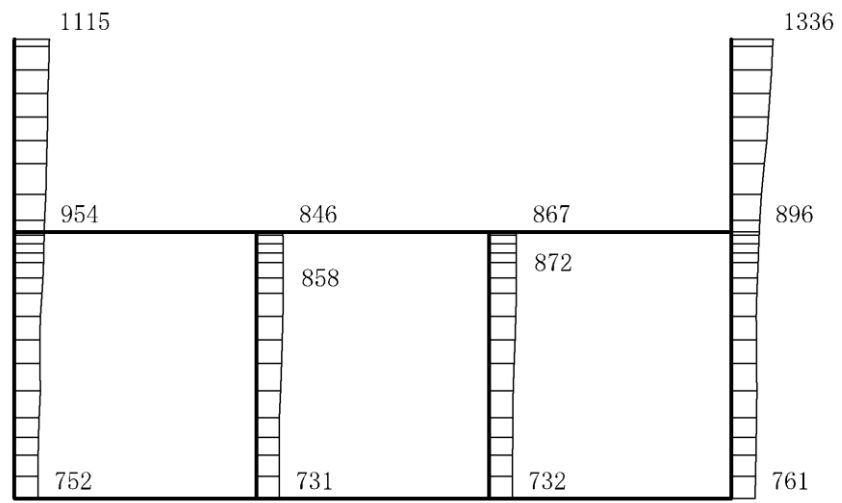


(b) S s - D (++) 鉛直

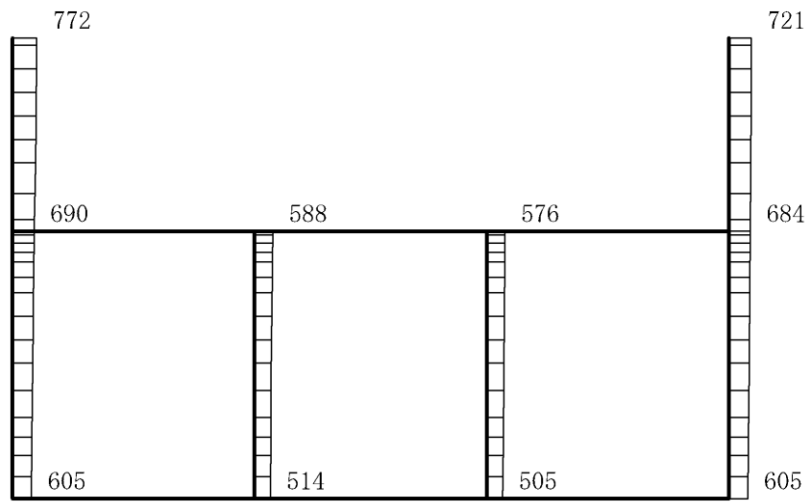
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-165 最大応答加速度分布図(45/120) (解析ケース⑤)



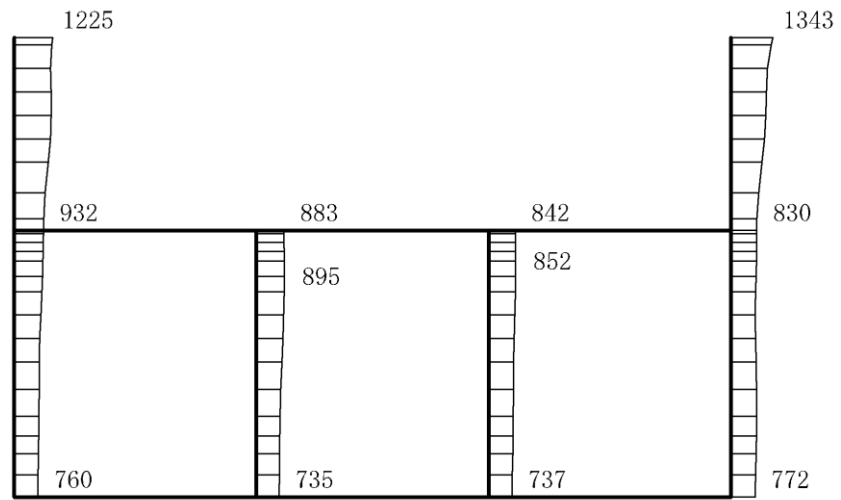
(a) $S_s - D (-+)$ 水平



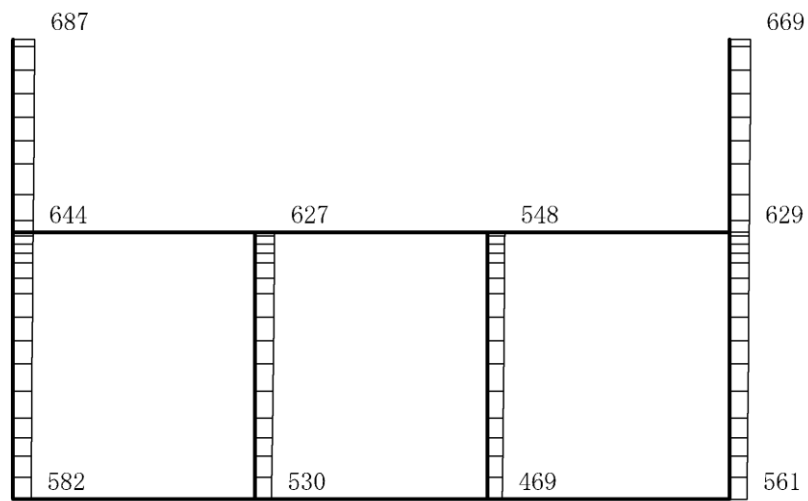
(b) $S_s - D (-+)$ 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(m)$ 応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-166 最大応答加速度分布図(46/120) (解析ケース⑤)



(a) $S_s - D (+ -)$ 水平

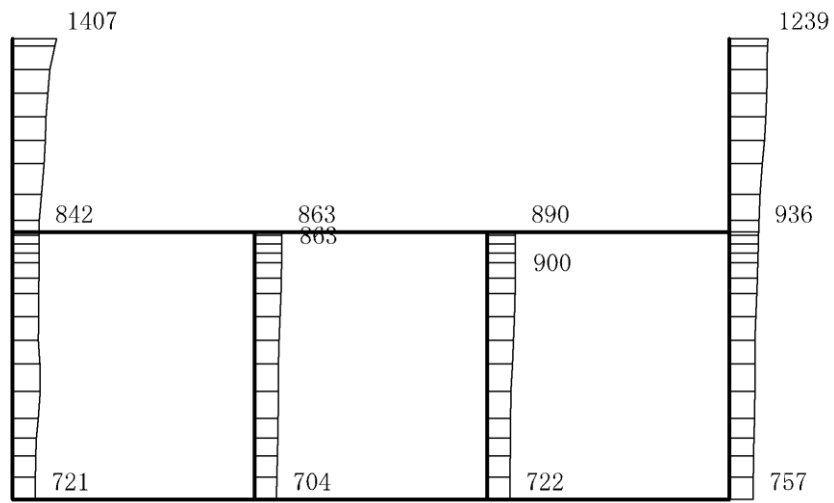


(b) $S_s - D (+ -)$ 鉛直

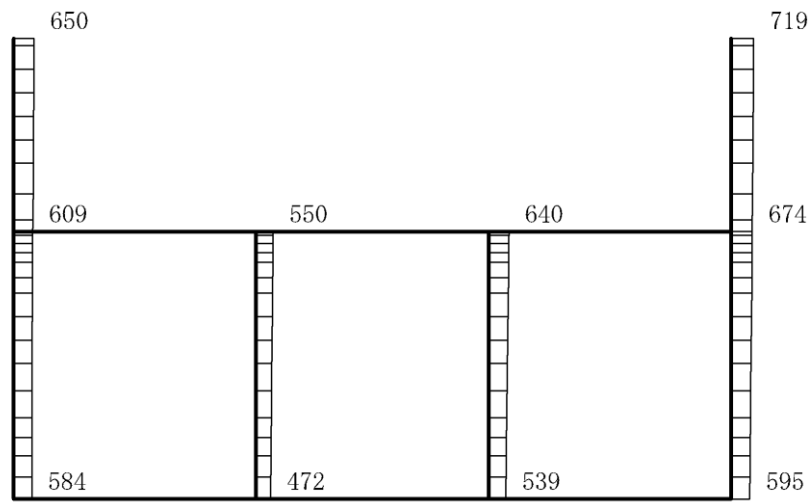
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-167 最大応答加速度分布図(47/120) (解析ケース⑤)



(a) S s - D (---) 水平

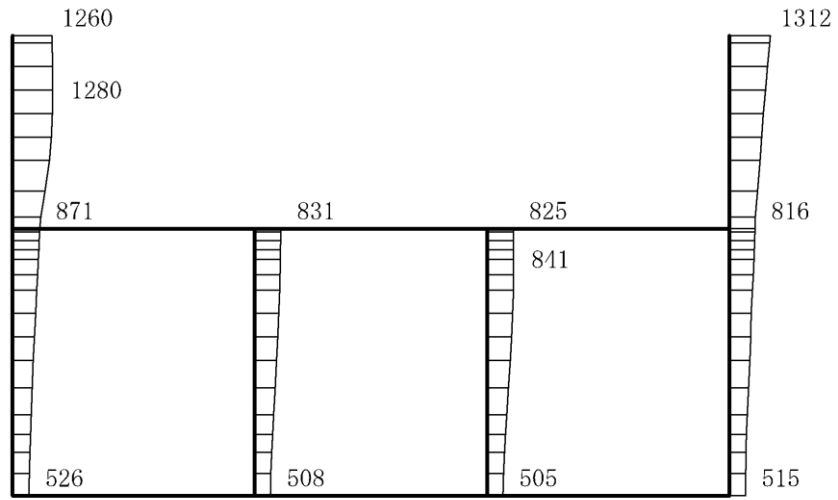


(b) S s - D (---) 鉛直

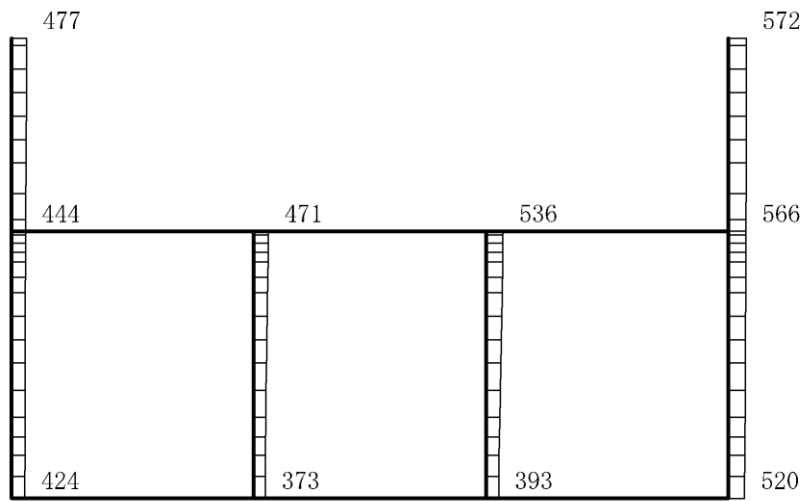
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-168 最大応答加速度分布図(48/120) (解析ケース⑤)



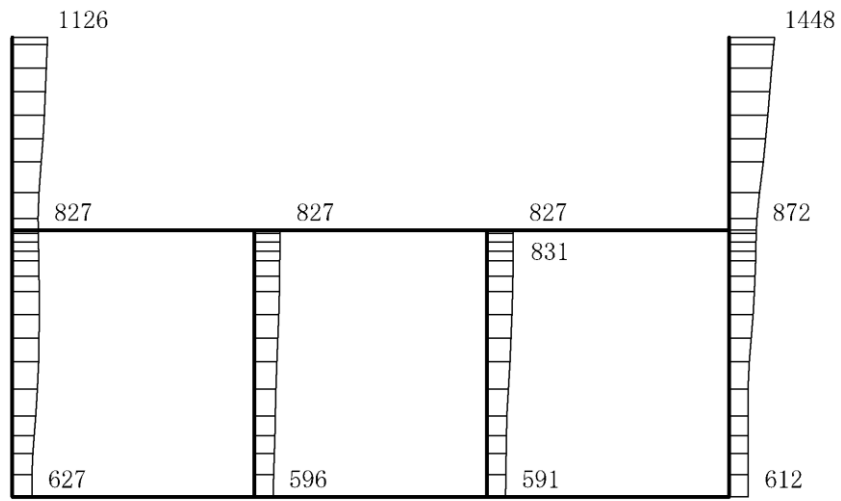
(a) S s - F 1 (++) 水平



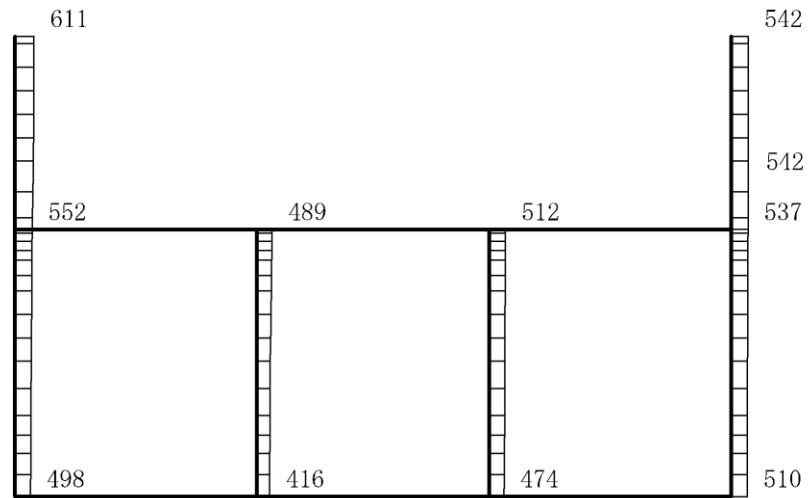
(b) S s - F 1 (++) 鉛直

構造スケール $0 \sim 2(m)$ 応答値スケール $0 \sim 1500 (cm/s^2)$

図 4-169 最大応答加速度分布図(49/120) (解析ケース⑤)



(a) S s - F 2 (++) 水平

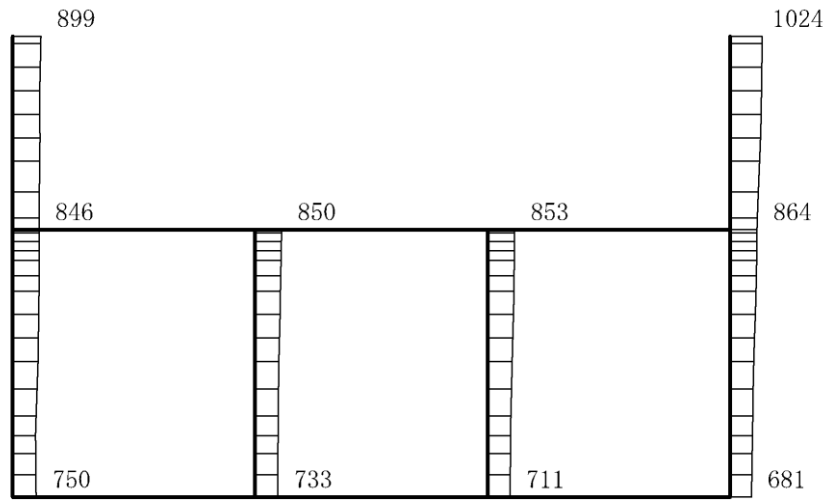


(b) S s - F 2 (++) 鉛直

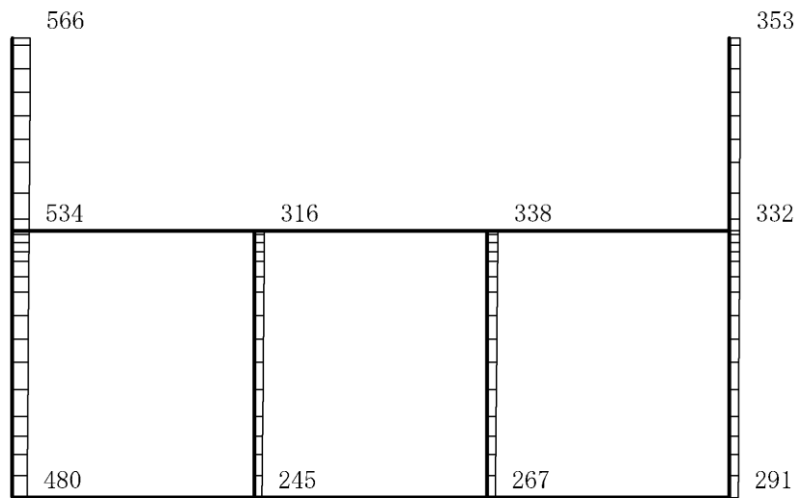
構造スケール $0 \sim 2(m)$

応答値スケール $0 \sim 1500 (cm/s^2)$

図 4-170 最大応答加速度分布図(50/120) (解析ケース⑤)



(a) S s - N 1 (++) 水平

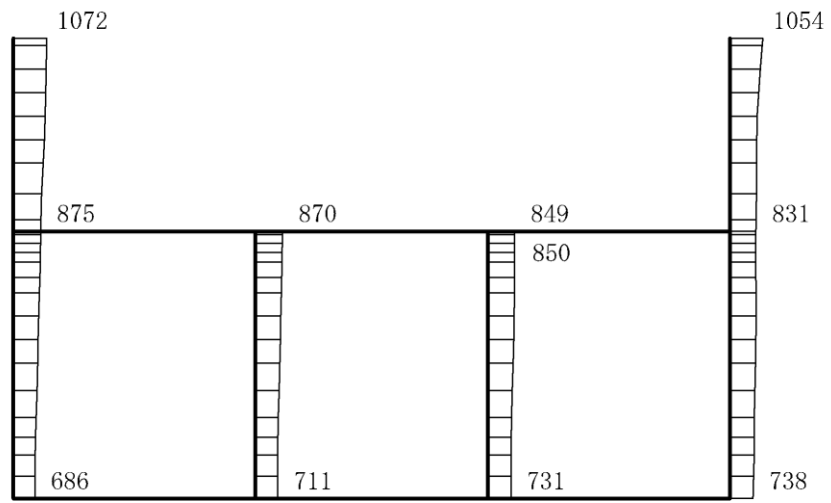


(b) S s - N 1 (++) 鉛直

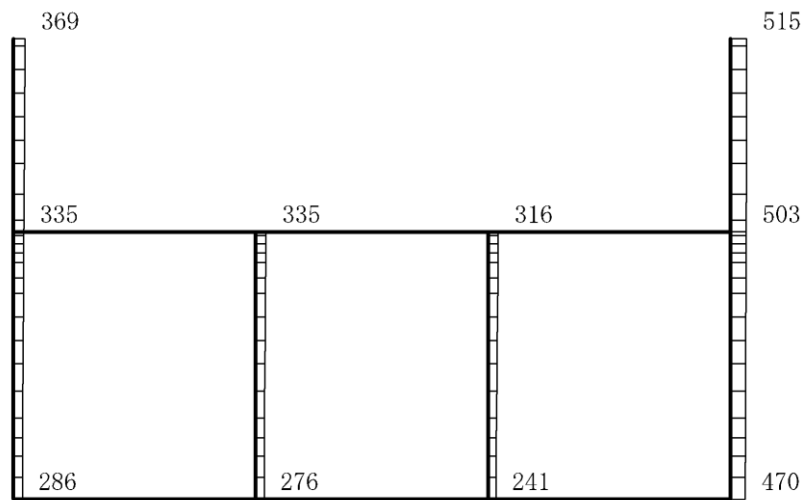
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-171 最大応答加速度分布図(51/120) (解析ケース⑤)



(a) S s - N 1 (- +) 水平

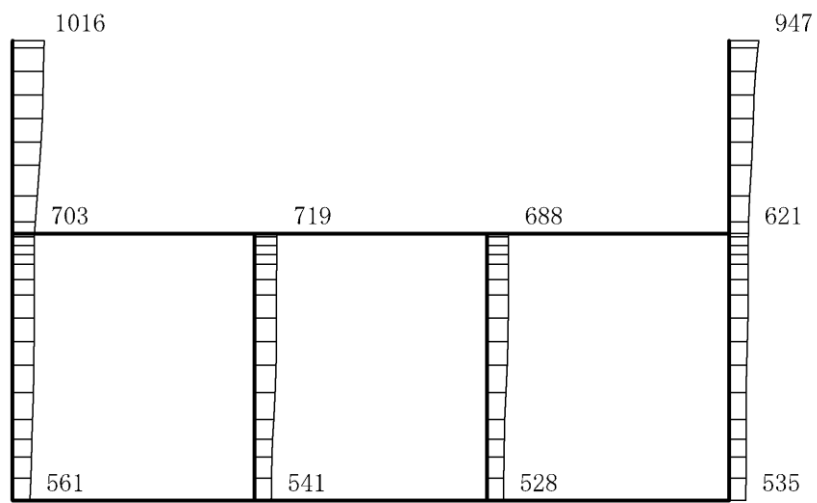


(b) S s - N 1 (- +) 鉛直

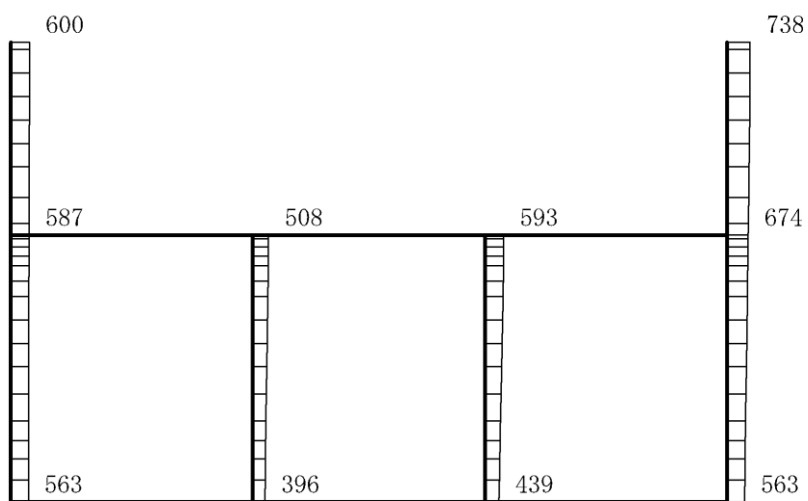
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-172 最大応答加速度分布図(52/120) (解析ケース⑤)



(a) $S_s - N2(N S) (++)$ 水平

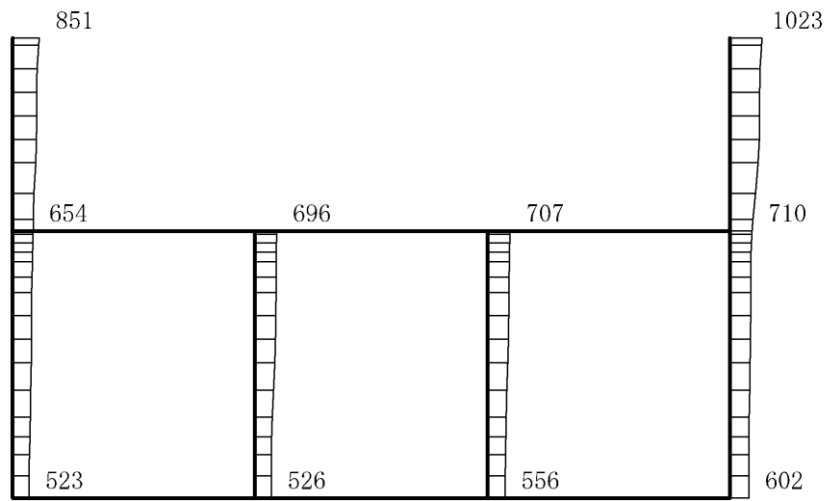


(b) $S_s - N2(N S) (++)$ 鉛直

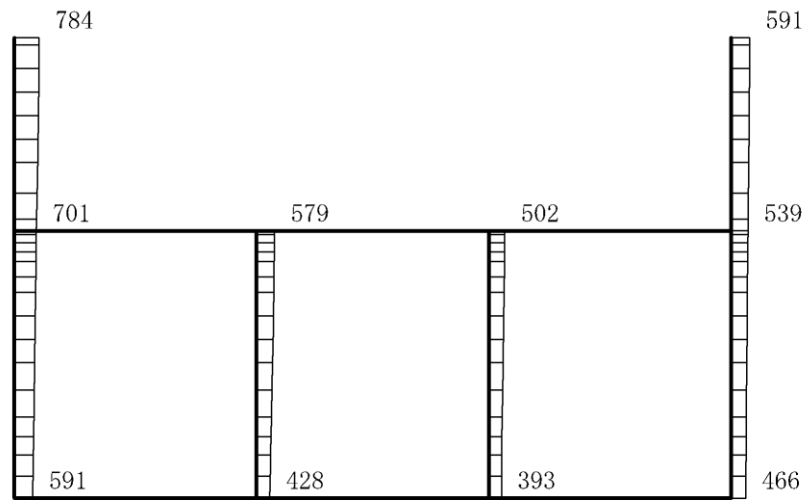
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-173 最大応答加速度分布図(53/120) (解析ケース⑤)



(a) $S_s - N2(N S) (-+)$ 水平

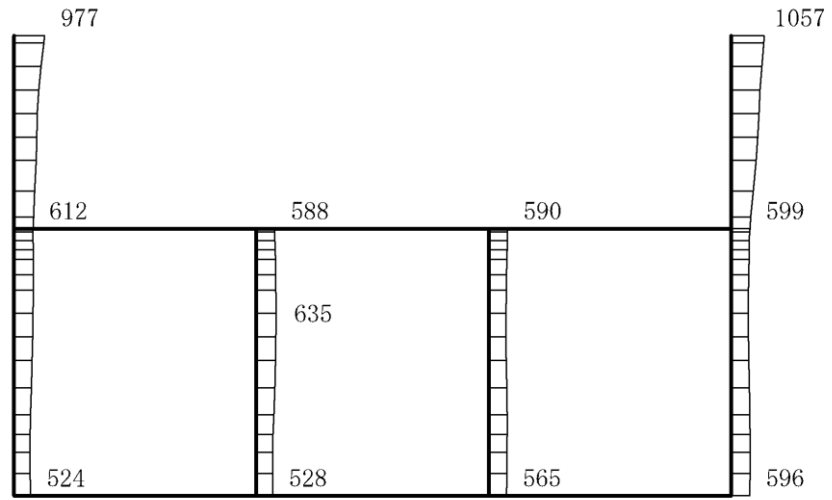


(b) $S_s - N2(N S) (-+)$ 鉛直

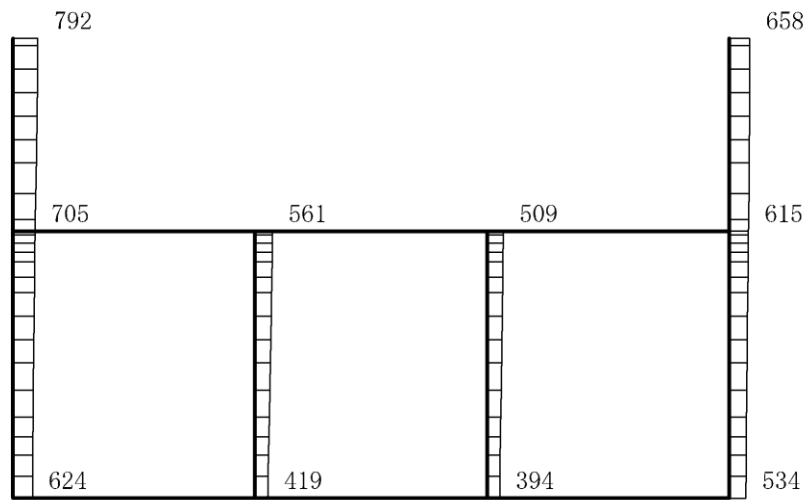
構造スケール $\underbrace{\quad\quad}_0 \quad 2(m)$

応答値スケール $\underbrace{\quad\quad}_0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-174 最大応答加速度分布図(54/120) (解析ケース⑤)



(a) $S_s - N2(EW) (++)$ 水平

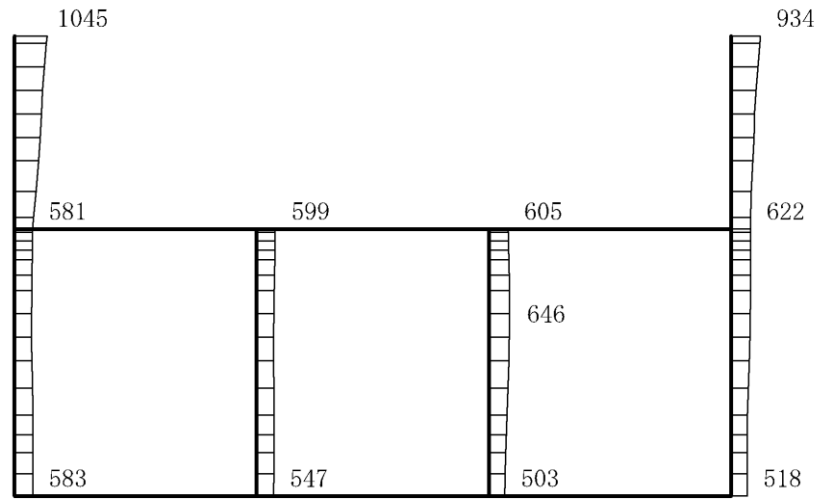


(b) $S_s - N2(EW) (++)$ 鉛直

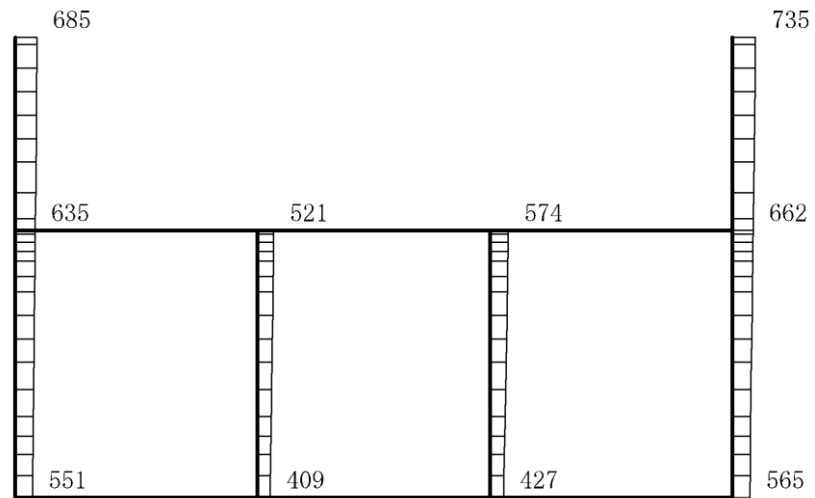
構造スケール $\underbrace{\quad\quad}_0 \quad 2(m)$

応答値スケール $\underbrace{\quad\quad}_0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-175 最大応答加速度分布図(55/120) (解析ケース⑤)



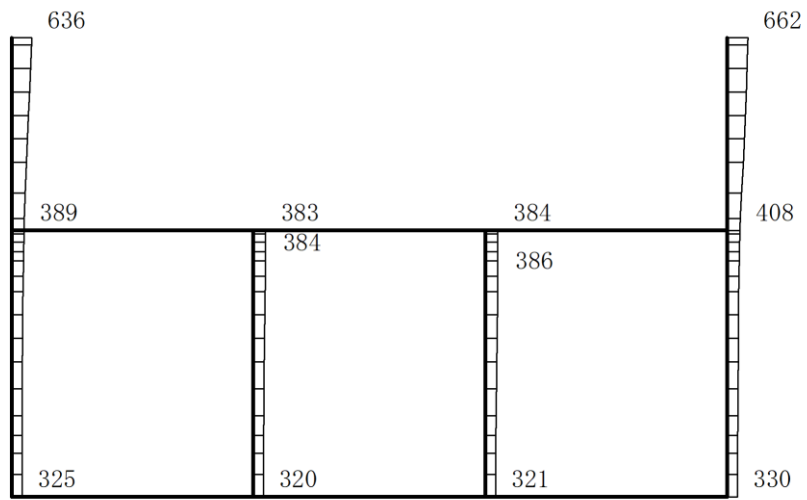
(a) $S_s - N_2 (EW) (-+)$ 水平



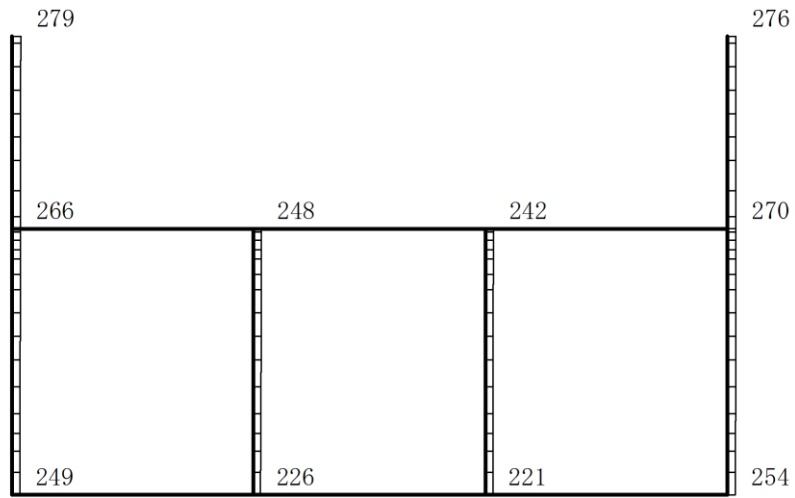
(b) $S_s - N_2 (EW) (-+)$ 鉛直

構造スケール $0 \sim 2(m)$ 応答値スケール $0 \sim 1500 (cm/s^2)$

図 4-176 最大応答加速度分布図(56/120) (解析ケース⑤)



(a) S d - D (+ +) 水平

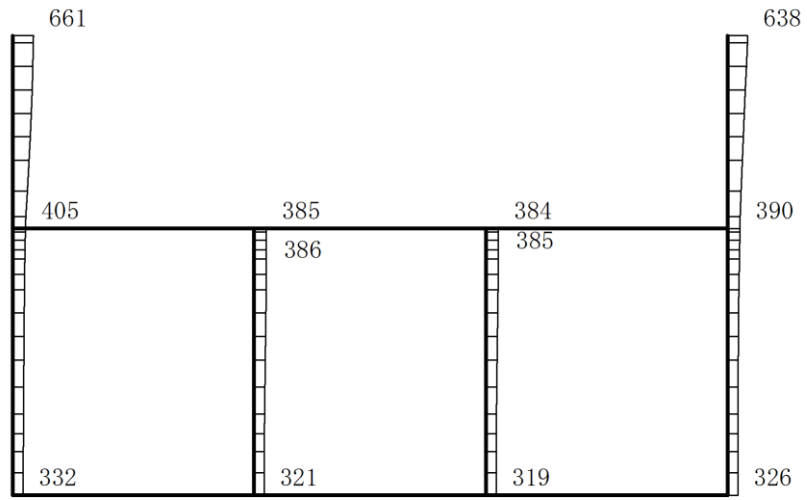


(b) S d - D (+ +) 鉛直

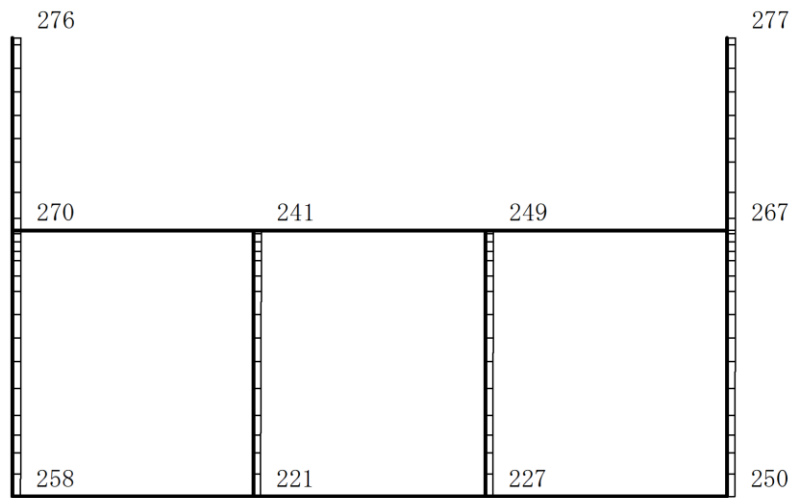
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-177 最大応答加速度分布図(57/120) (解析ケース①)



(a) S d-D (-+) 水平

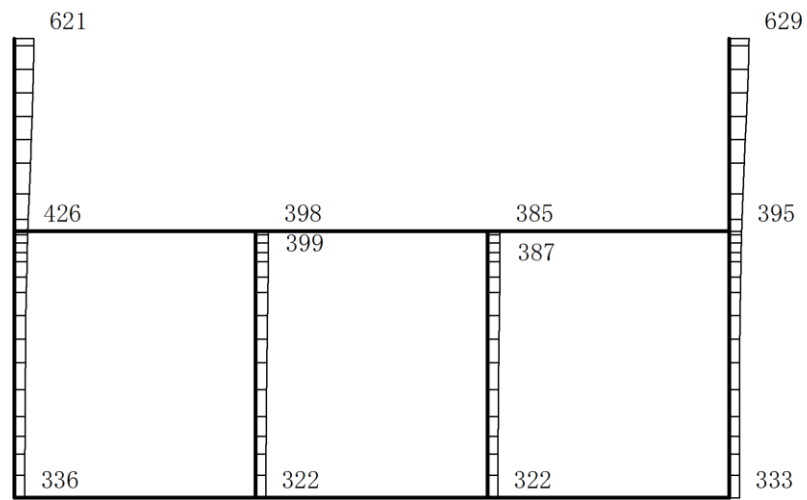


(b) S d-D (-+) 鉛直

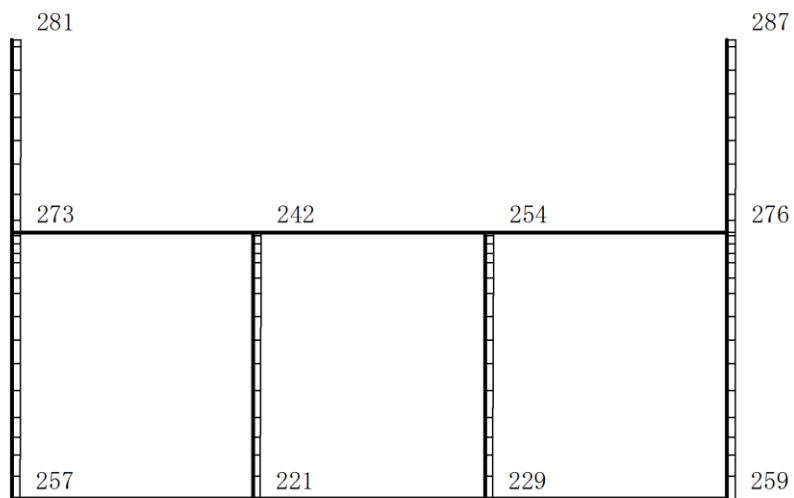
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-178 最大応答加速度分布図(58/120) (解析ケース①)



(a) S d - D (+ -) 水平

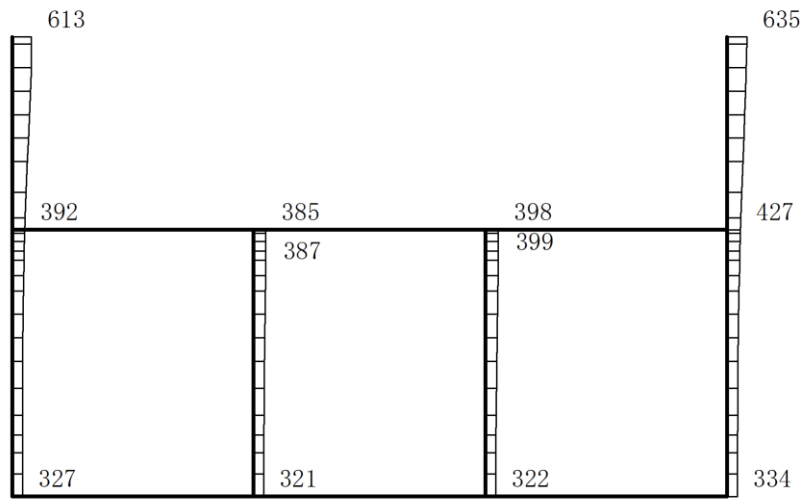


(b) S d - D (+ -) 鉛直

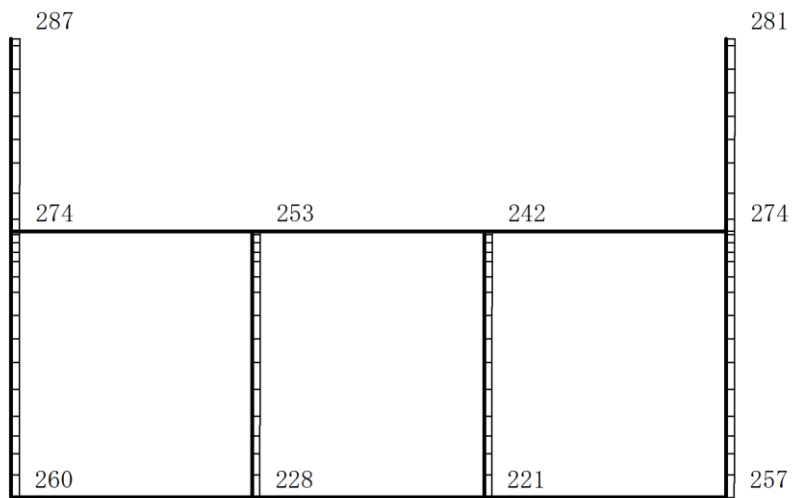
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-179 最大応答加速度分布図(59/120) (解析ケース①)



(a) S d-D (--) 水平

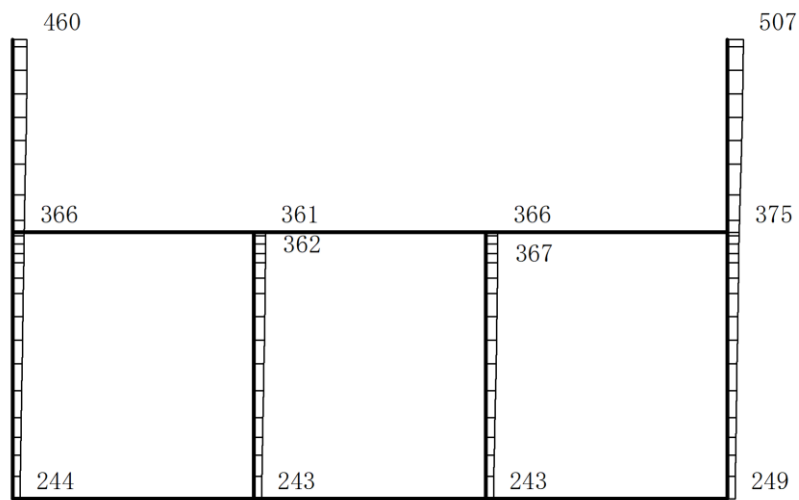


(b) S d-D (--) 鉛直

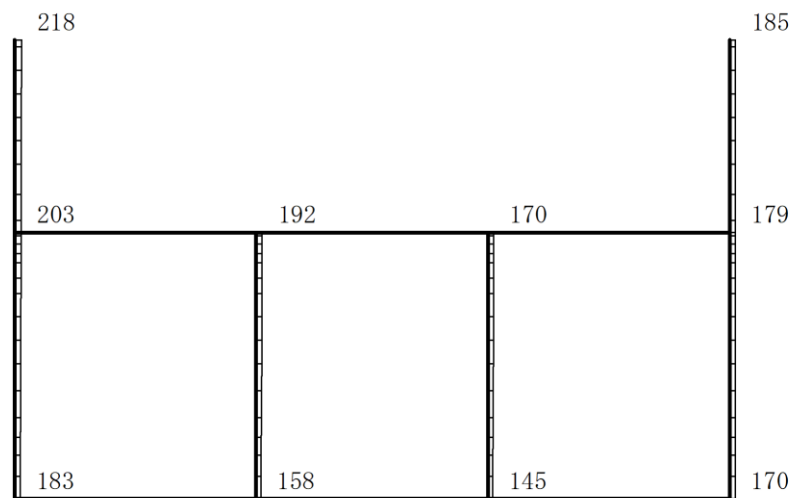
構造スケール $\underbrace{\quad\quad}_0 \quad 2(\text{m})$

応答値スケール $\underbrace{\quad\quad}_0 \quad 1500 (\text{cm/s}^2)$

図 4-180 最大応答加速度分布図(60/120) (解析ケース①)



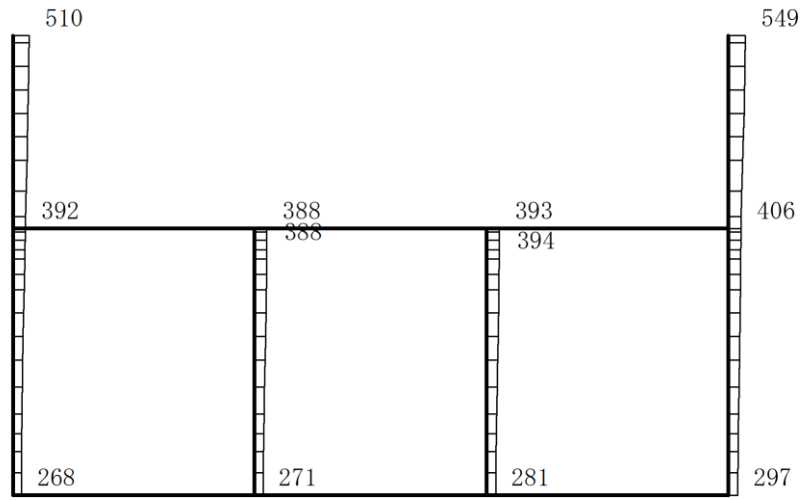
(a) S d - F 1 (++) 水平



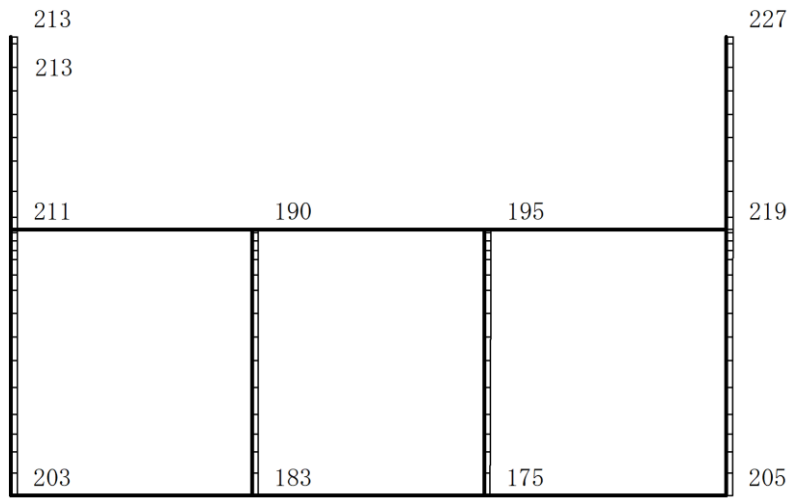
(b) S d - F 1 (++) 鉛直

構造スケール 0 2(m) 応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-181 最大応答加速度分布図(61/120) (解析ケース①)



(a) S d - F 2 (++) 水平

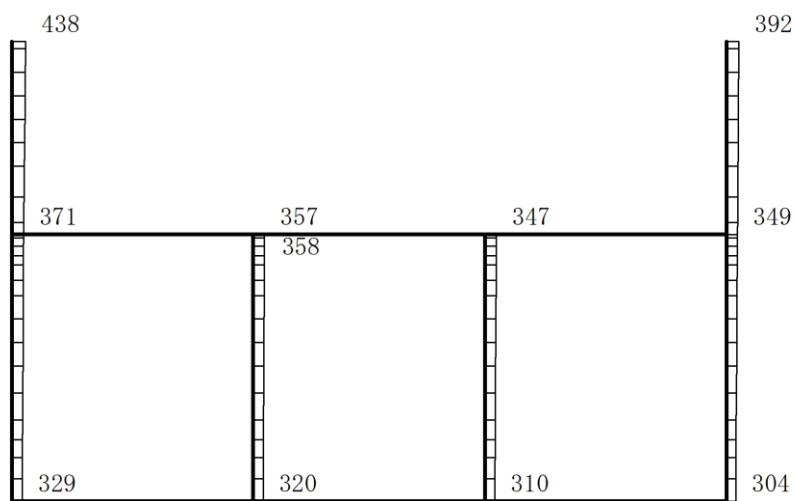


(b) S d - F 2 (++) 鉛直

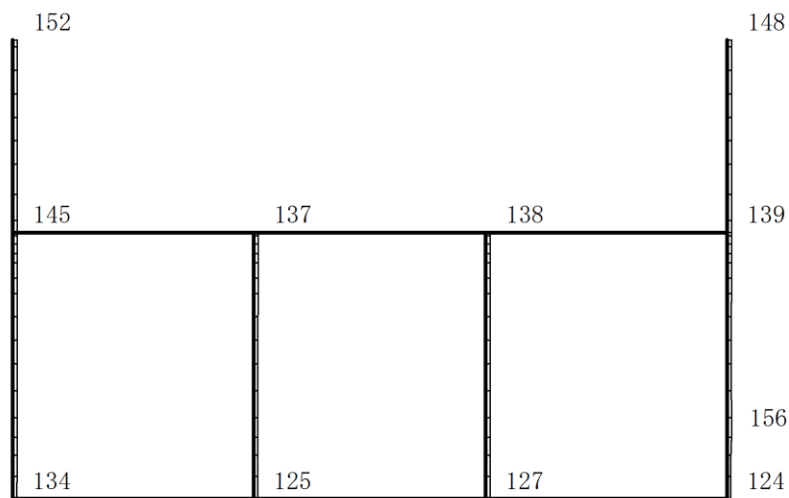
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-182 最大応答加速度分布図(62/120) (解析ケース①)



(a) S d - N 1 (++) 水平

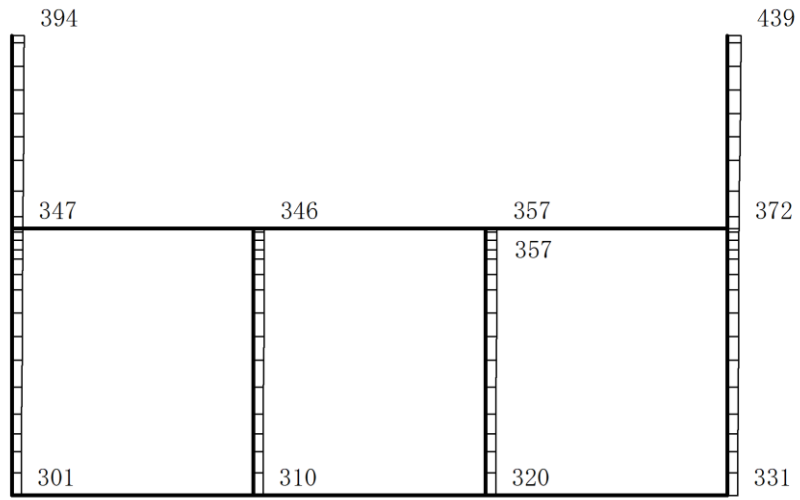


(b) S d - N 1 (++) 鉛直

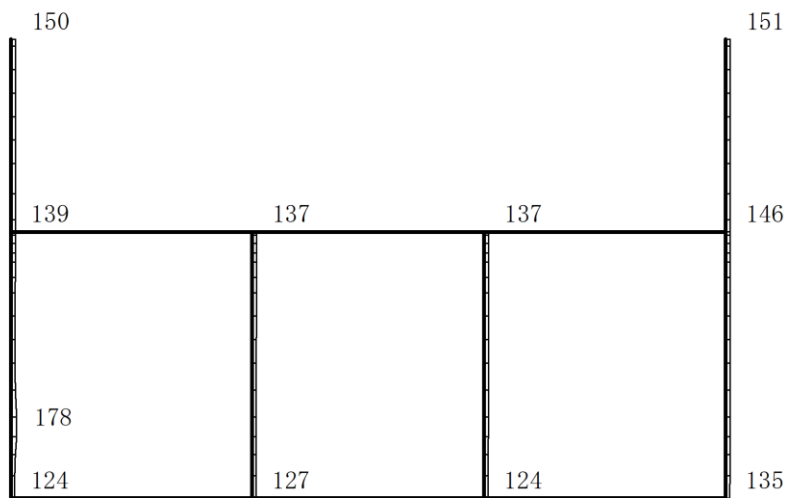
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-183 最大応答加速度分布図(63/120) (解析ケース①)



(a) S d - N 1 (- +) 水平

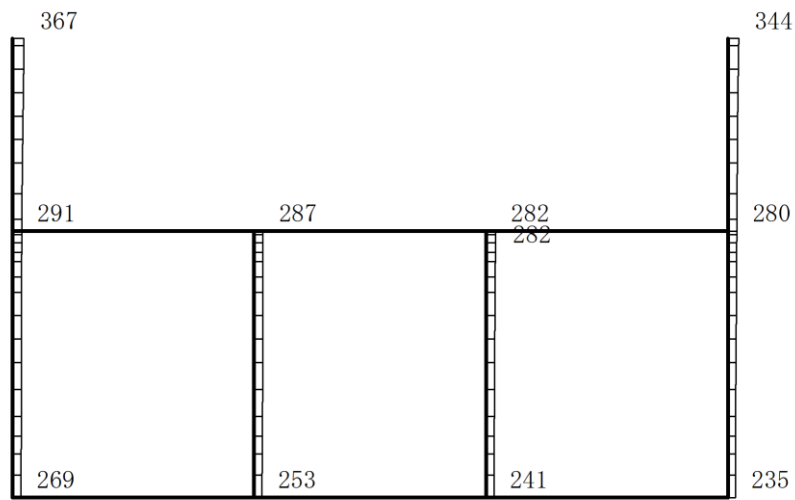


(b) S d - N 1 (- +) 鉛直

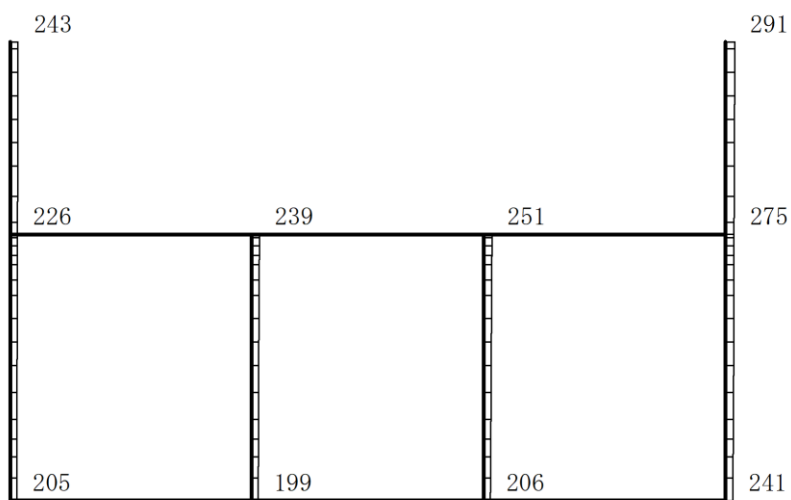
構造スケール $\underbrace{\quad\quad}_{0 \quad 2(m)}$

応答値スケール $\underbrace{\quad\quad}_{0 \quad 1500 (cm/s^2)}$

図 4-184 最大応答加速度分布図(64/120) (解析ケース①)



(a) S d - N 2 (N S) (+ +) 水平

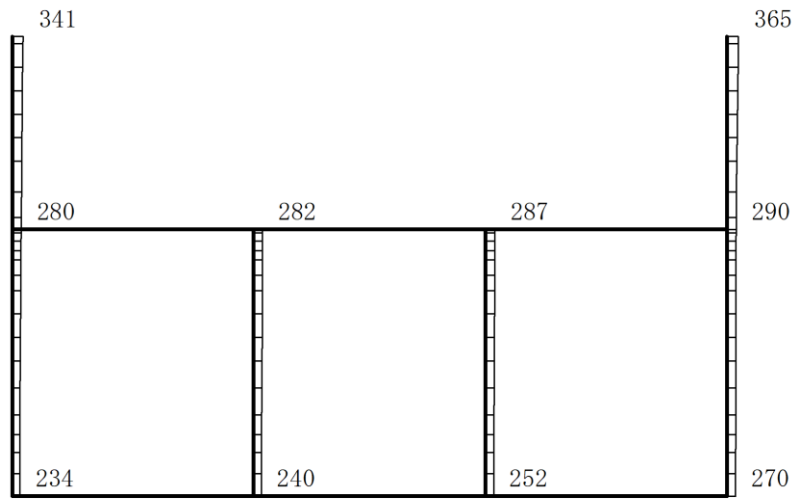


(b) S d - N 2 (N S) (+ +) 鉛直

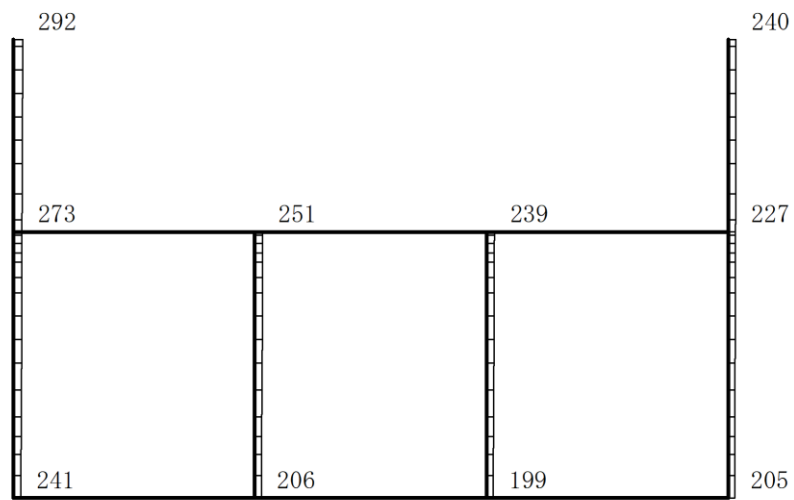
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-185 最大応答加速度分布図(65/120) (解析ケース①)



(a) S d - N 2 (N S) (- +) 水平

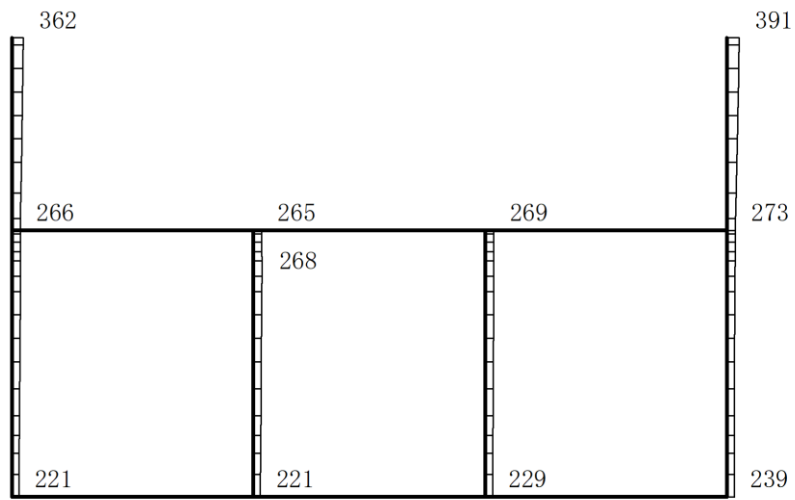


(b) S d - N 2 (N S) (- +) 鉛直

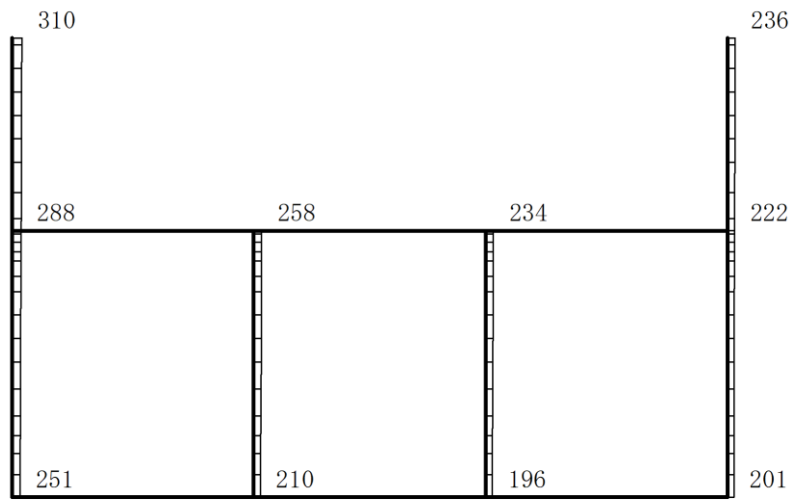
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-186 最大応答加速度分布図(66/120) (解析ケース①)



(a) S d - N 2 (E W) (+ +) 水平

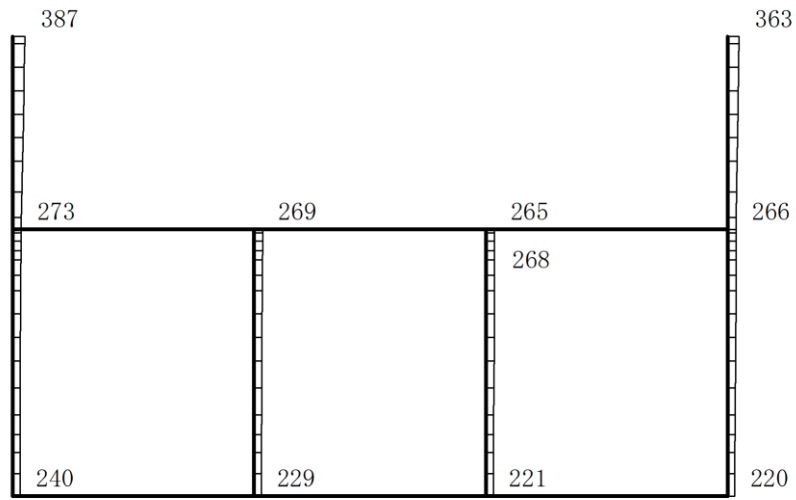


(b) S d - N 2 (E W) (+ +) 鉛直

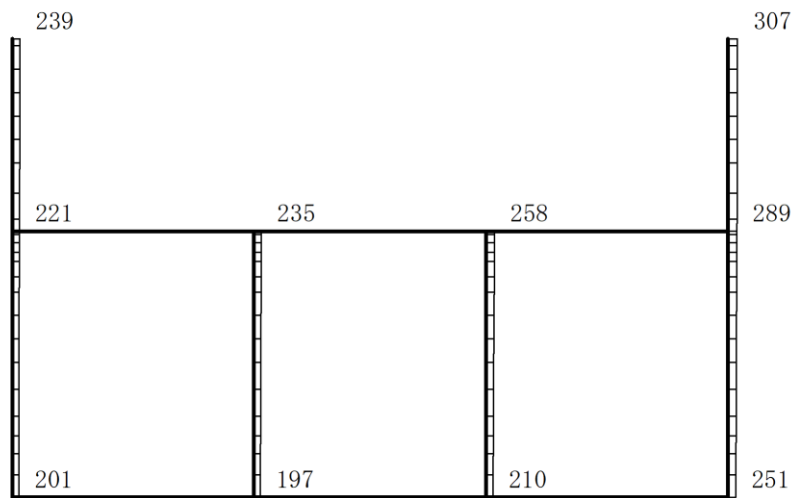
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-187 最大応答加速度分布図(67/120) (解析ケース①)



(a) S d - N 2 (E W) (- +) 水平

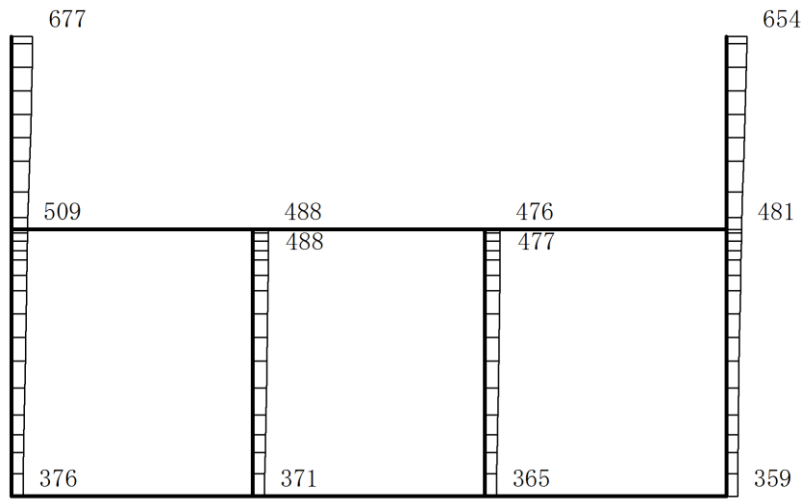


(b) S d - N 2 (E W) (- +) 鉛直

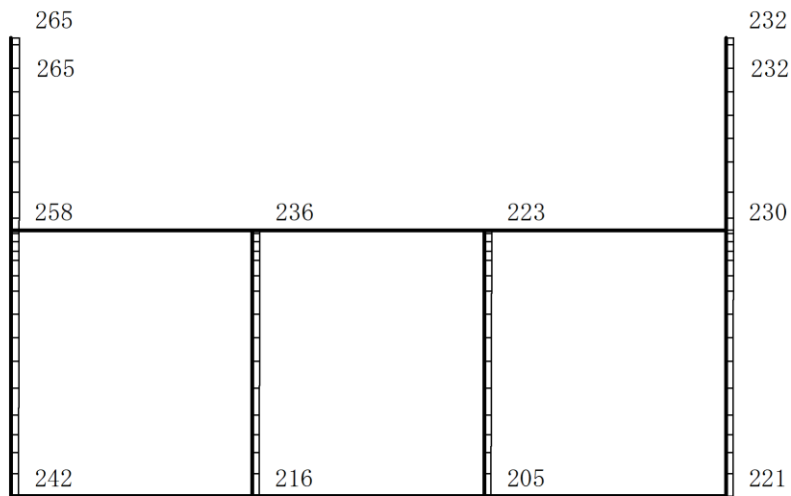
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-188 最大応答加速度分布図(68/120) (解析ケース①)



(a) S d- 1 (++) 水平

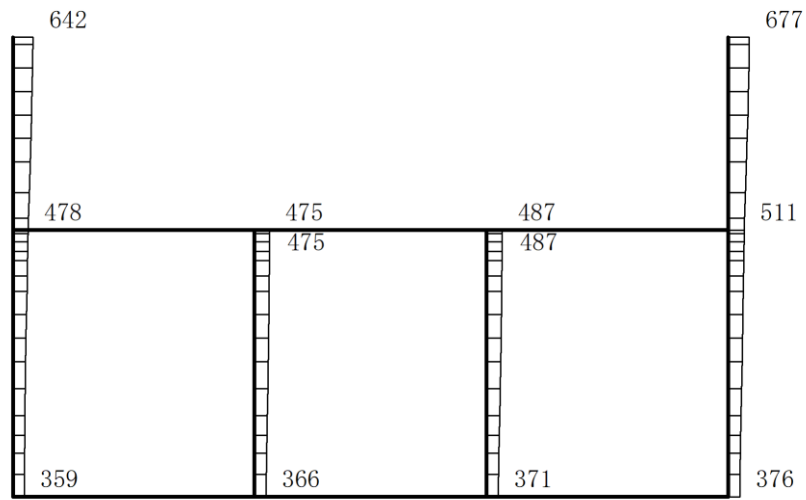


(b) S d- 1 (++) 鉛直

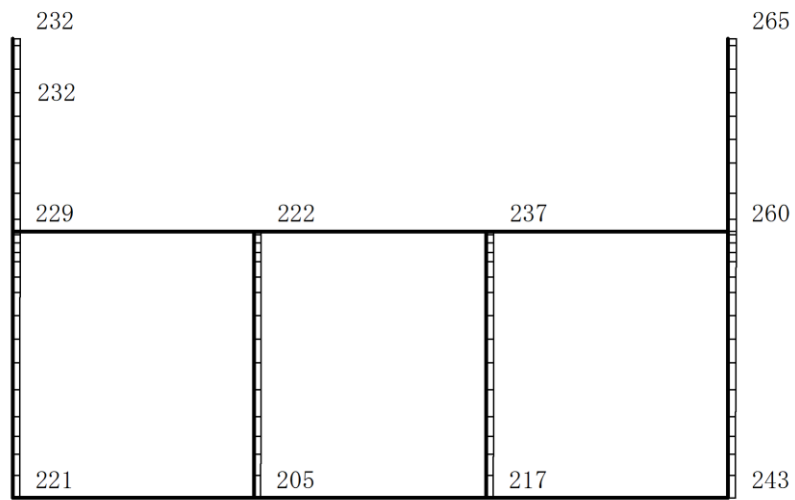
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-189 最大応答加速度分布図(69/120) (解析ケース①)



(a) S d- 1 (- +) 水平

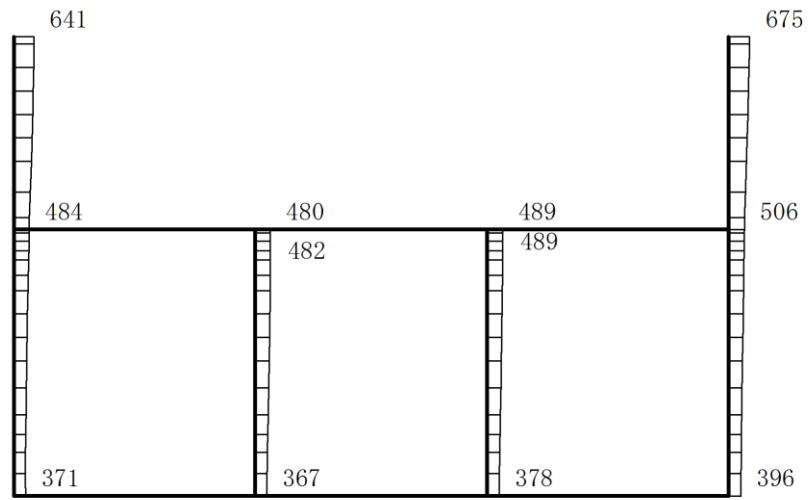


(b) S d- 1 (- +) 鉛直

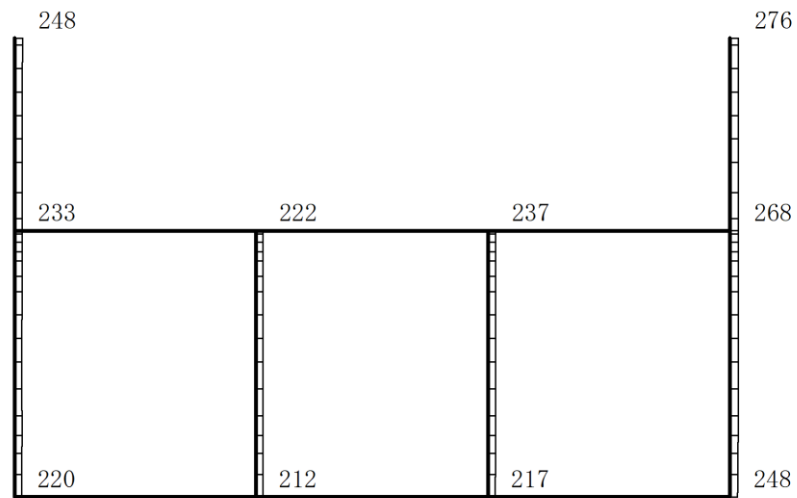
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-190 最大応答加速度分布図(70/120) (解析ケース①)



(a) S d- 1 (+ -) 水平

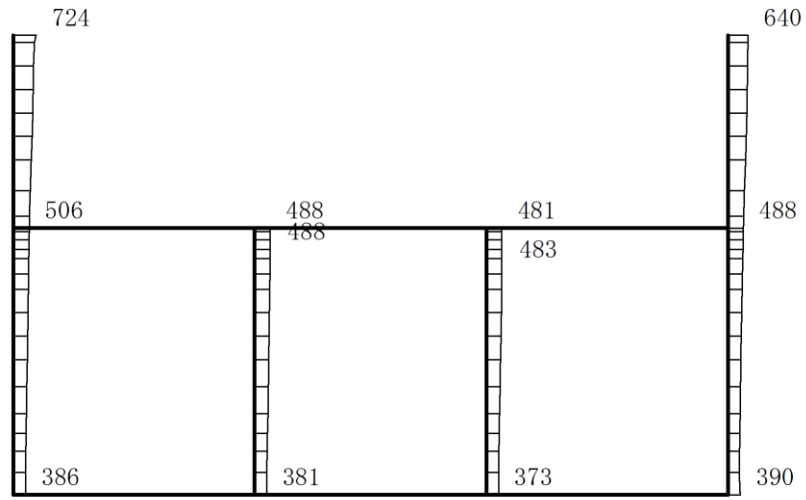


(b) S d- 1 (+ -) 鉛直

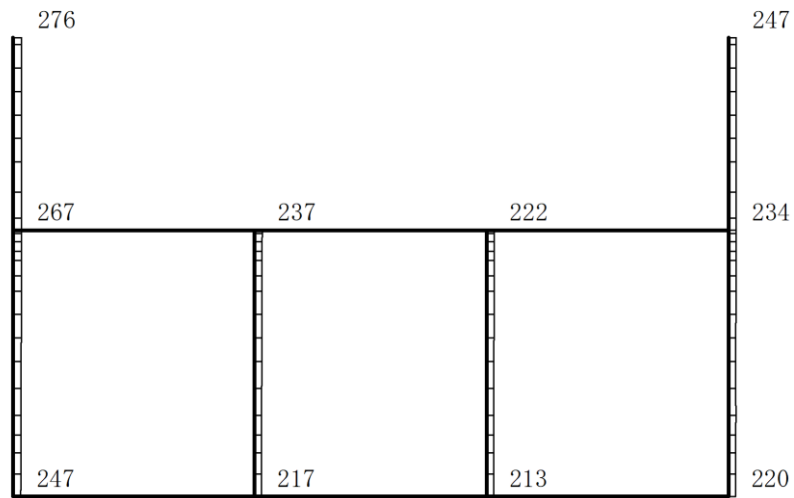
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-191 最大応答加速度分布図(71/120) (解析ケース①)



(a) S d- 1 (- -) 水平

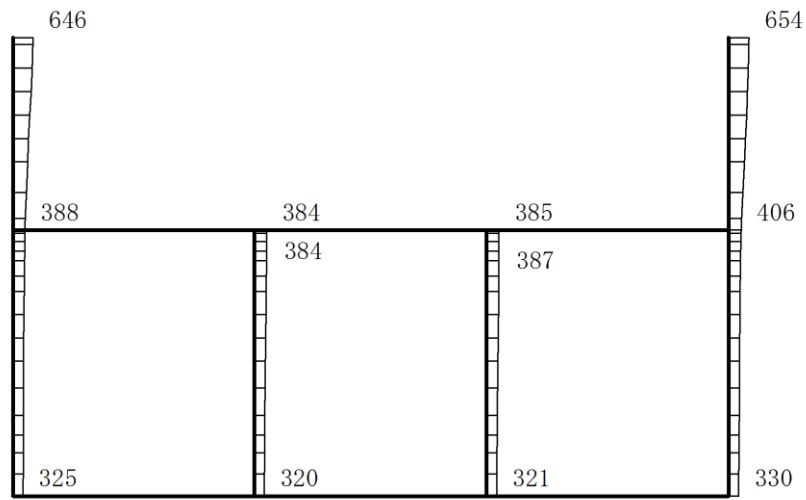


(b) S d- 1 (- -) 鉛直

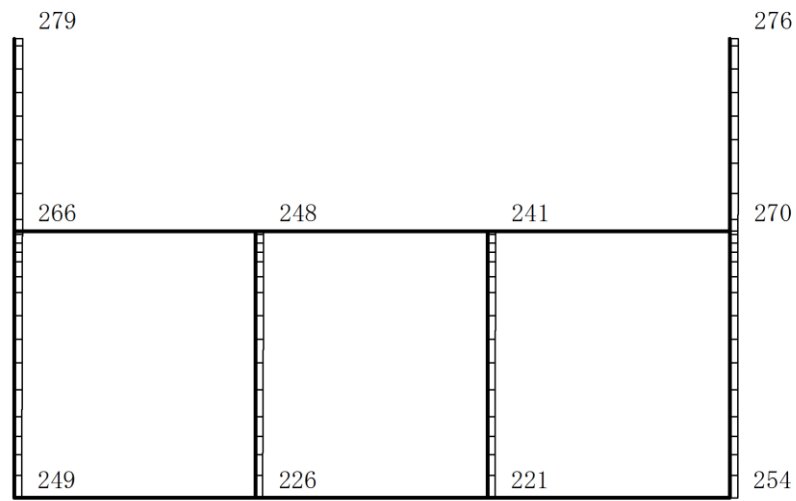
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-192 最大応答加速度分布図(72/120) (解析ケース①)



(a) S d - D (+ +) 水平

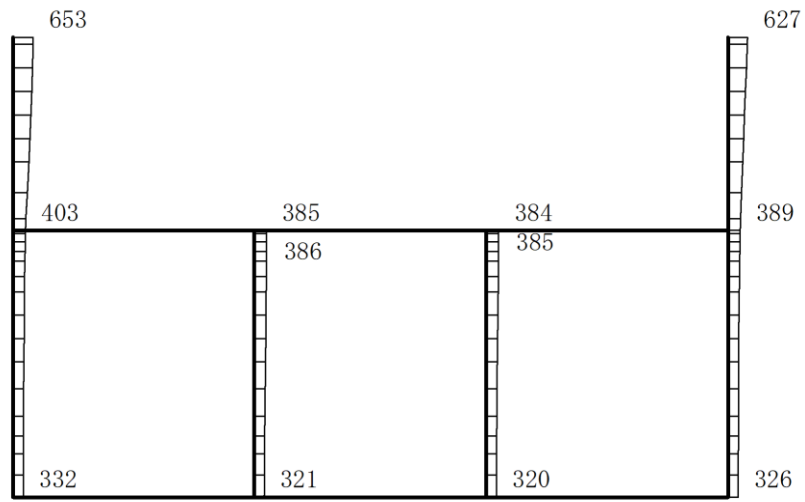


(b) S d - D (+ +) 鉛直

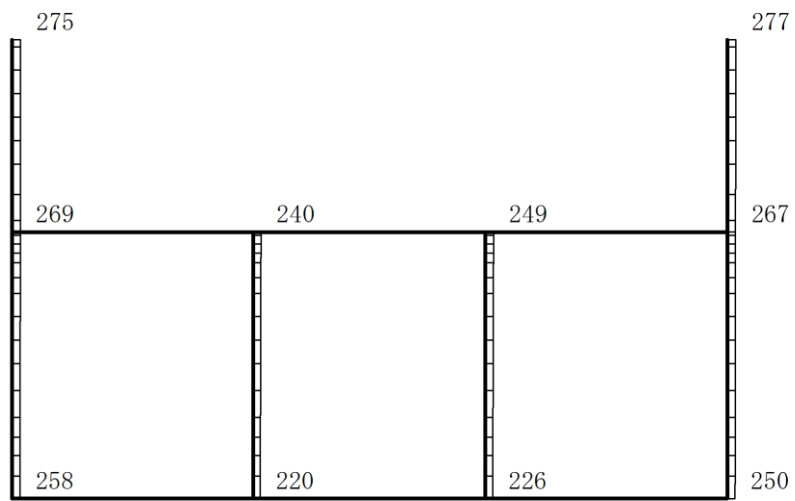
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-193 最大応答加速度分布図(73/120) (解析ケース②)



(a) S d - D (- +) 水平

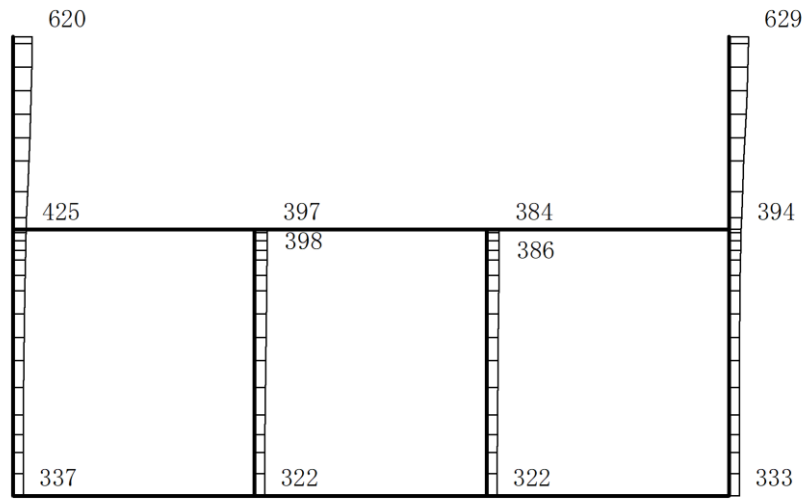


(b) S d - D (- +) 鉛直

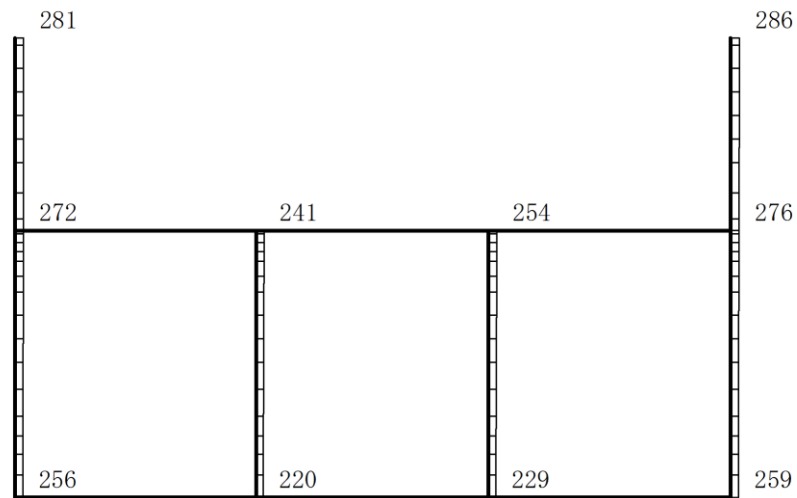
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-194 最大応答加速度分布図(74/120) (解析ケース②)



(a) S d-D (+-) 水平

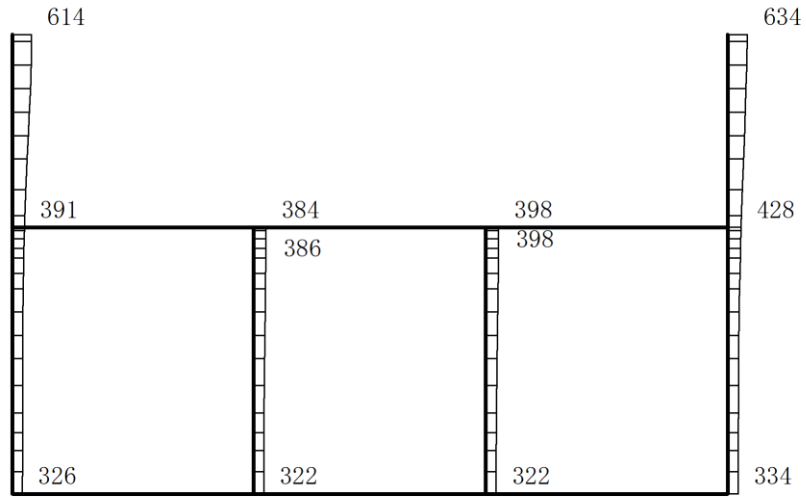


(b) S d-D (+-) 鉛直

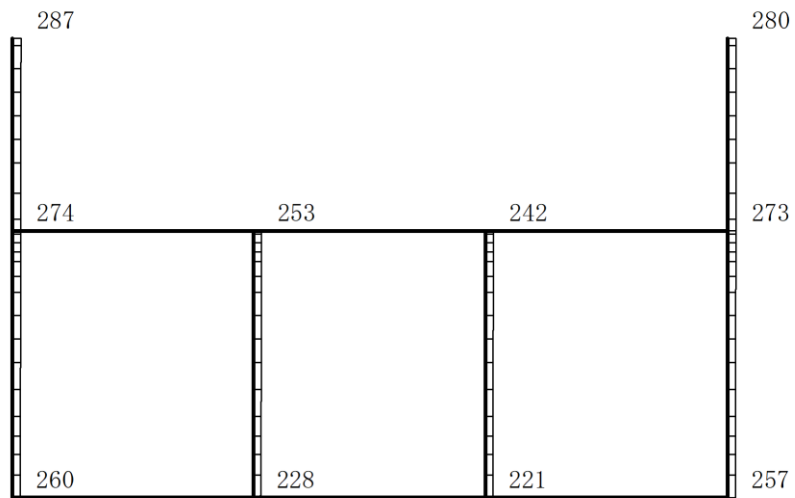
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-195 最大応答加速度分布図(75/120) (解析ケース②)



(a) S d-D (--) 水平

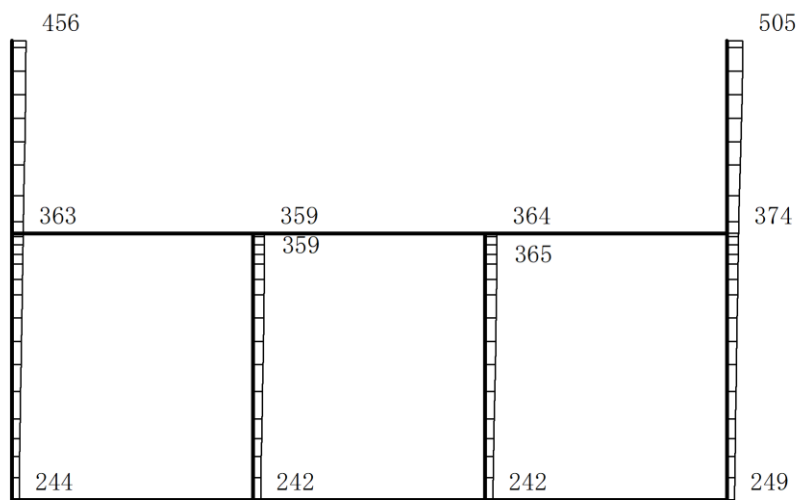


(b) S d-D (--) 鉛直

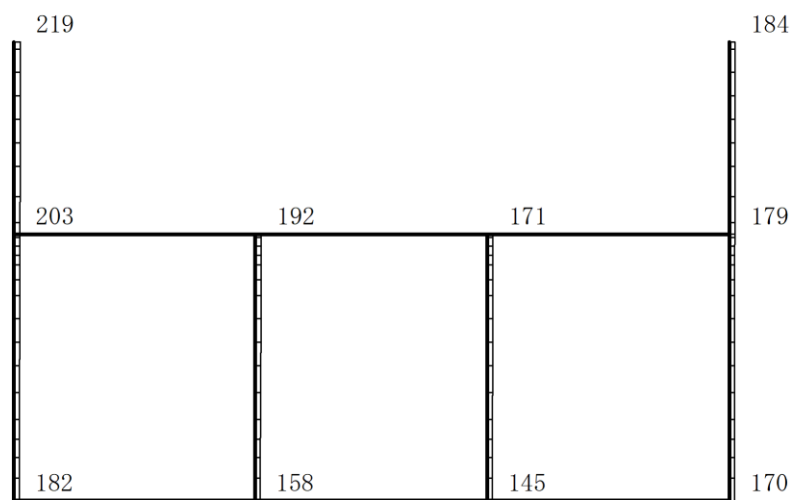
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-196 最大応答加速度分布図(76/120) (解析ケース②)



(a) S d - F 1 (++) 水平

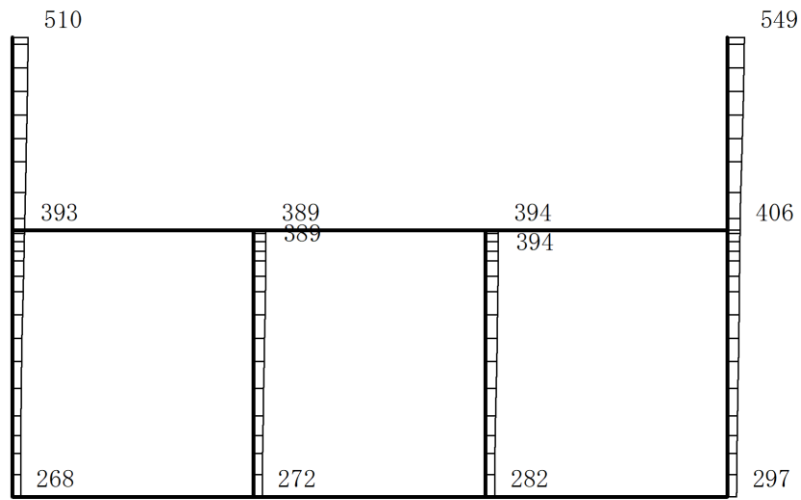


(b) S d - F 1 (++) 鉛直

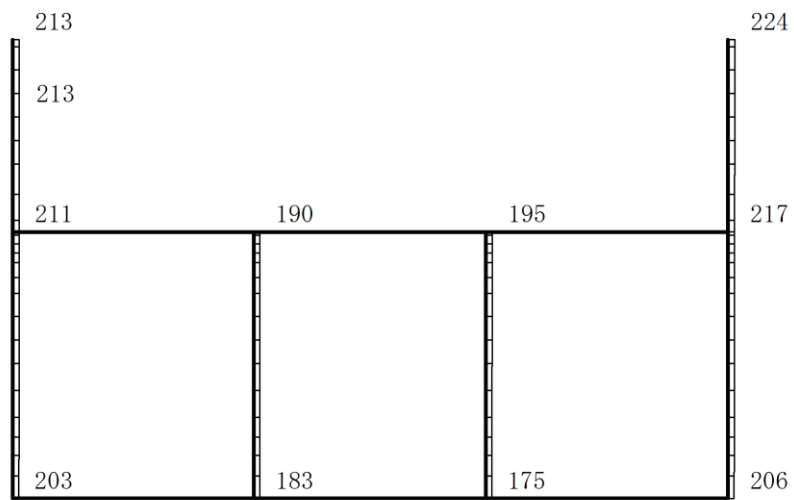
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-197 最大応答加速度分布図(77/120) (解析ケース②)



(a) S d - F 2 (++) 水平

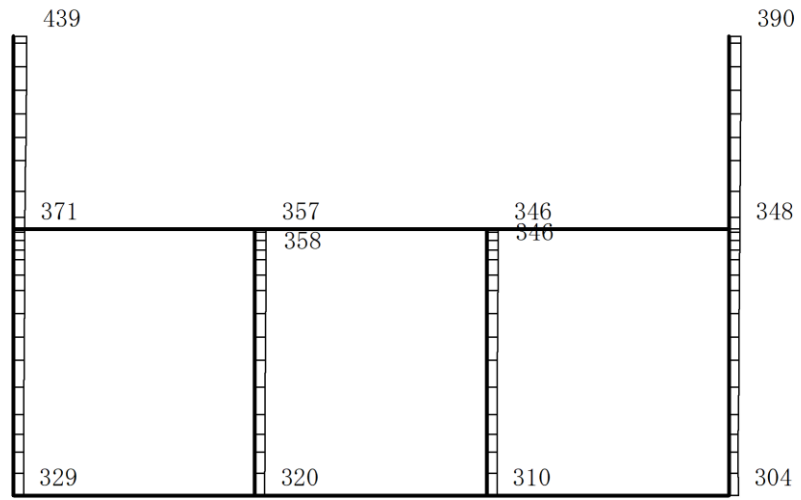


(b) S d - F 2 (++) 鉛直

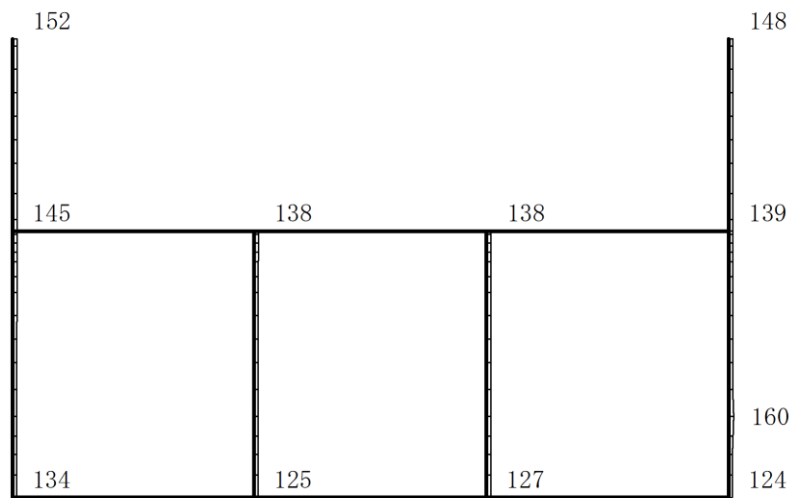
構造スケール $\frac{0}{2}(\text{m})$

応答値スケール $\frac{0}{1500}(\text{cm/s}^2)$

図 4-198 最大応答加速度分布図(78/120) (解析ケース②)



(a) S d - N 1 (++) 水平

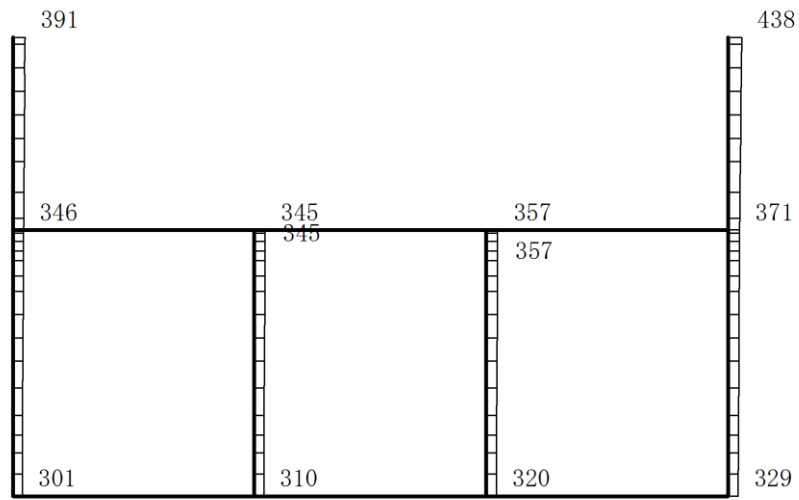


(b) S d - N 1 (++) 鉛直

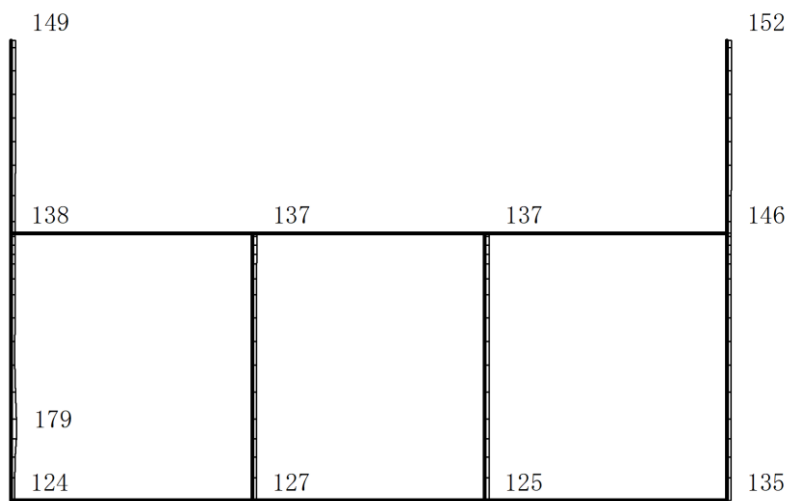
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-199 最大応答加速度分布図(79/120) (解析ケース②)



(a) S d - N 1 (- +) 水平

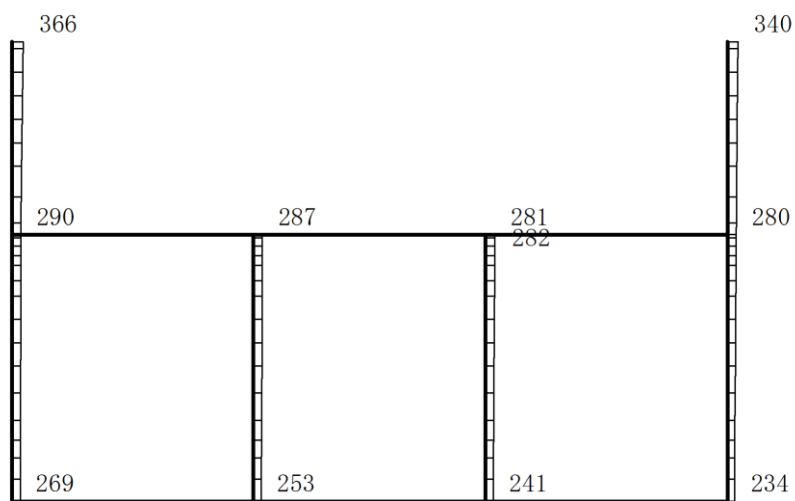


(b) S d - N 1 (- +) 鉛直

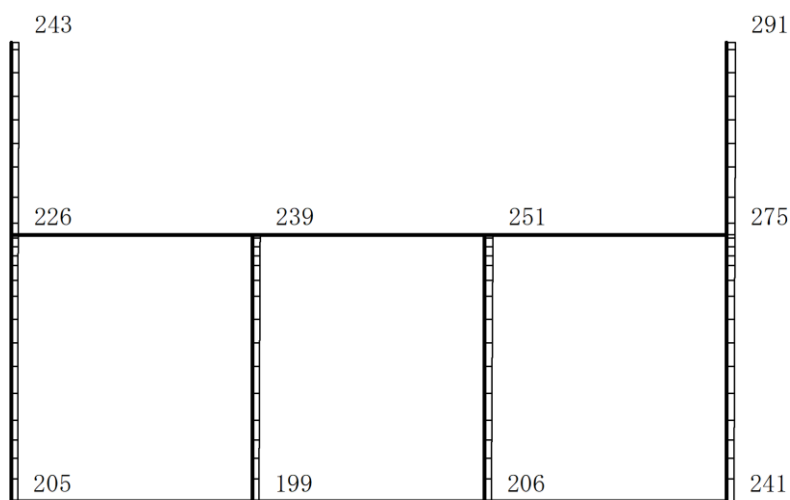
構造スケール $\underbrace{\quad\quad}_{0 \quad 2(m)}$

応答値スケール $\underbrace{\quad\quad}_{0 \quad 1500 (cm/s^2)}$

図 4-200 最大応答加速度分布図(80/120) (解析ケース②)



(a) S d - N 2 (N S) (+ +) 水平

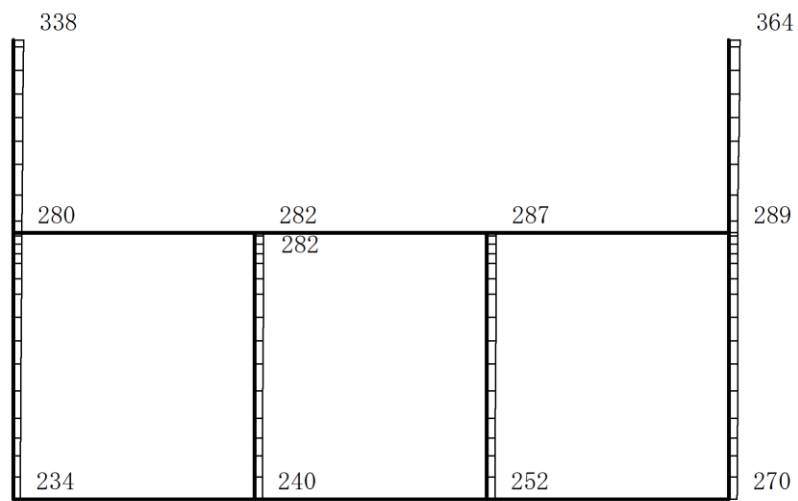


(b) S d - N 2 (N S) (+ +) 鉛直

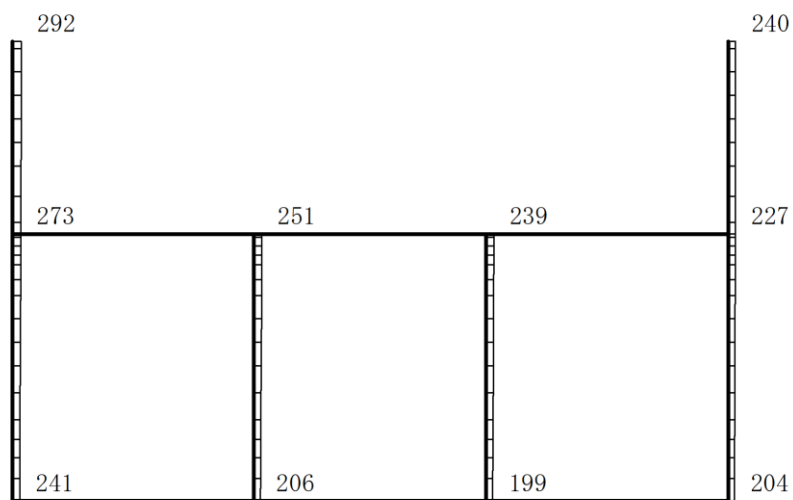
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-201 最大応答加速度分布図(81/120) (解析ケース②)



(a) S d - N 2 (N S) (- +) 水平

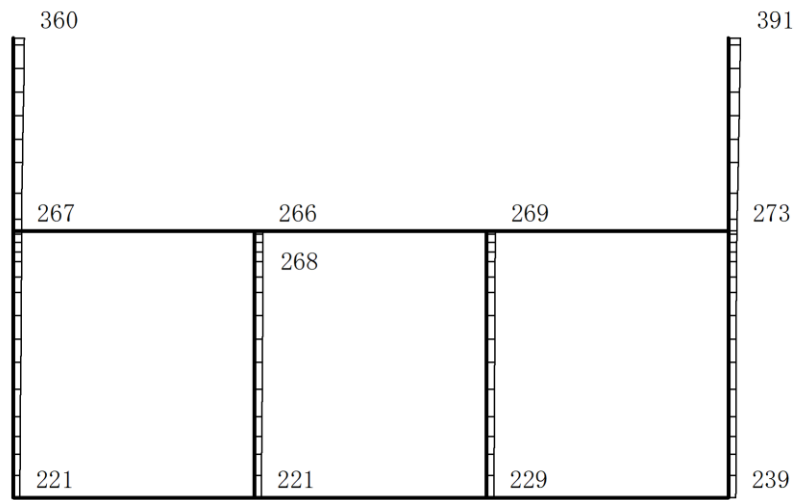


(b) S d - N 2 (N S) (- +) 鉛直

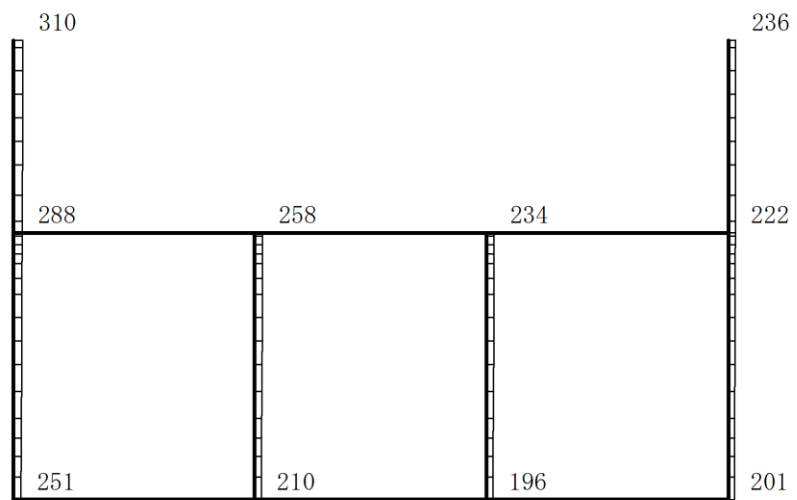
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-202 最大応答加速度分布図(82/120) (解析ケース②)



(a) S d - N 2 (E W) (+ +) 水平

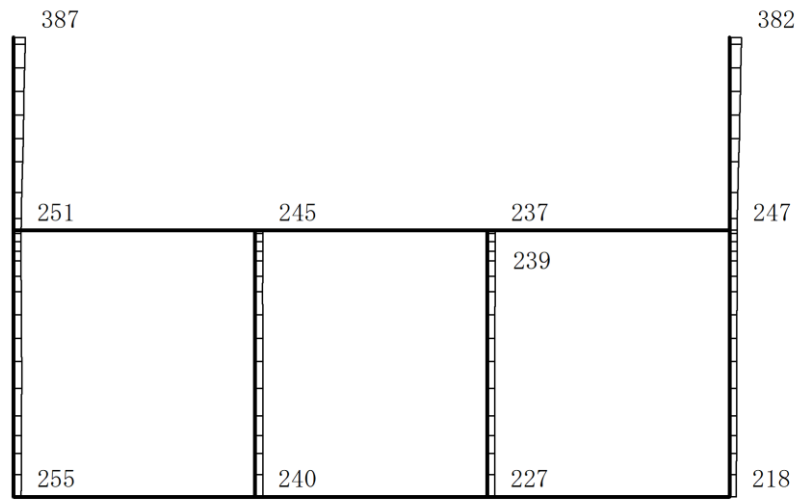


(b) S d - N 2 (E W) (+ +) 鉛直

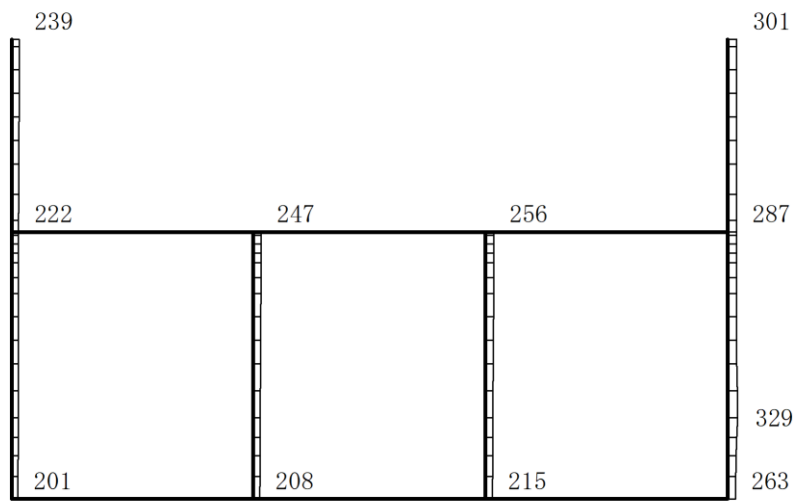
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-203 最大応答加速度分布図(83/120) (解析ケース②)



(a) S d - N 2 (E W) (- +) 水平

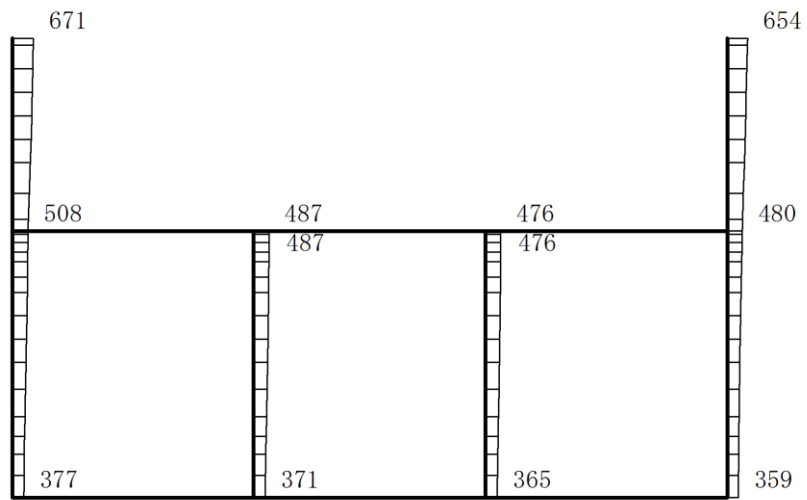


(b) S d - N 2 (E W) (- +) 鉛直

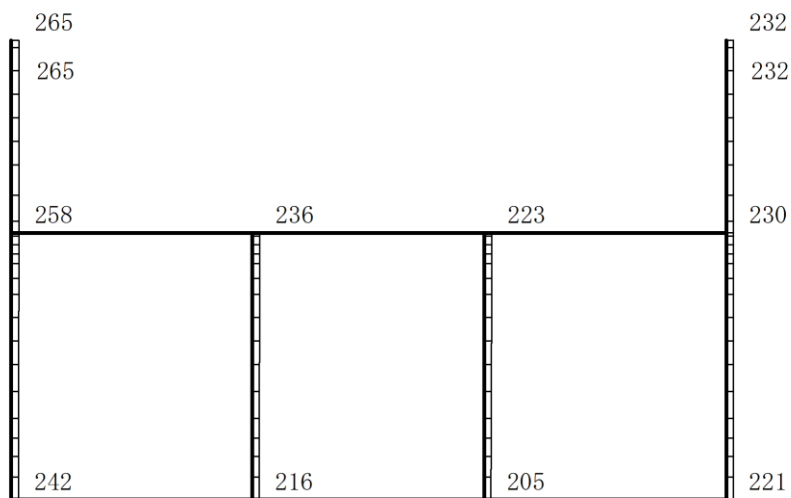
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-204 最大応答加速度分布図(84/120) (解析ケース②)



(a) S d-1 (++) 水平

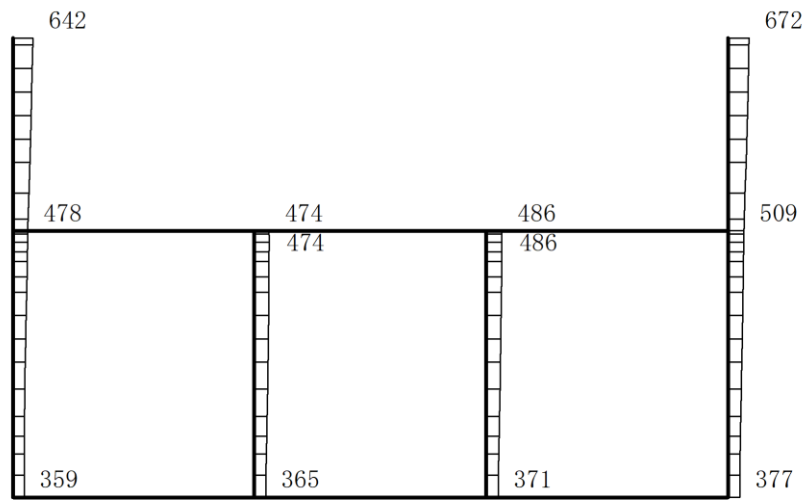


(b) S d-1 (++) 鉛直

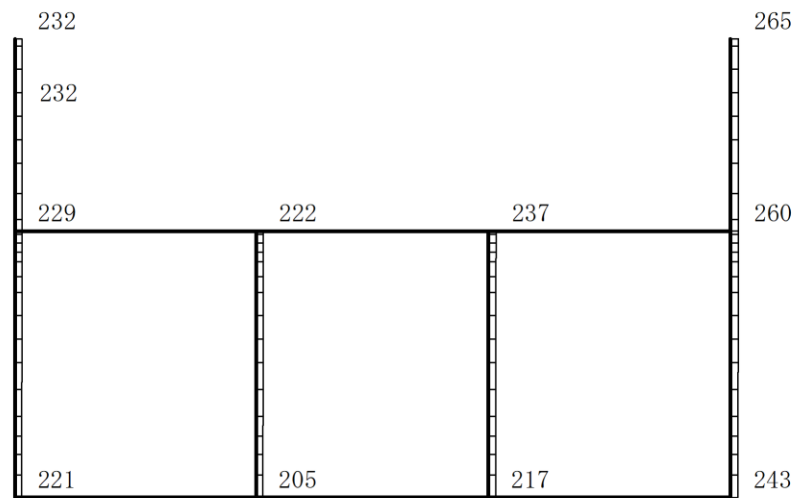
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-205 最大応答加速度分布図(85/120) (解析ケース②)



(a) S d- 1 (- +) 水平

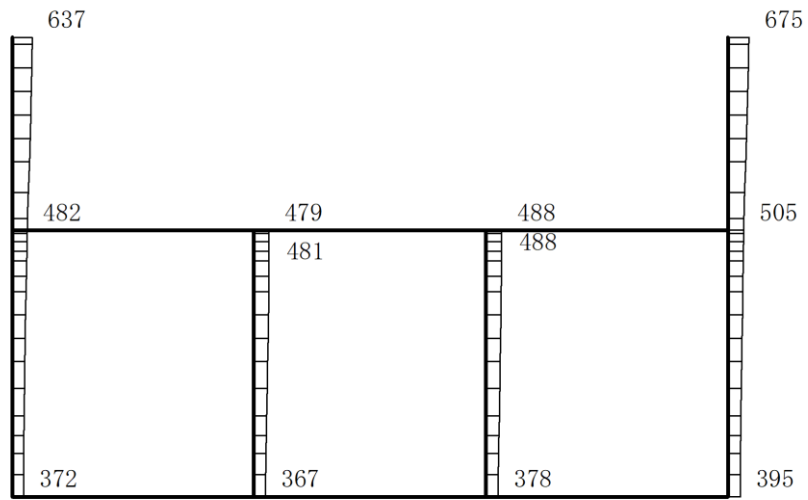


(b) S d- 1 (- +) 鉛直

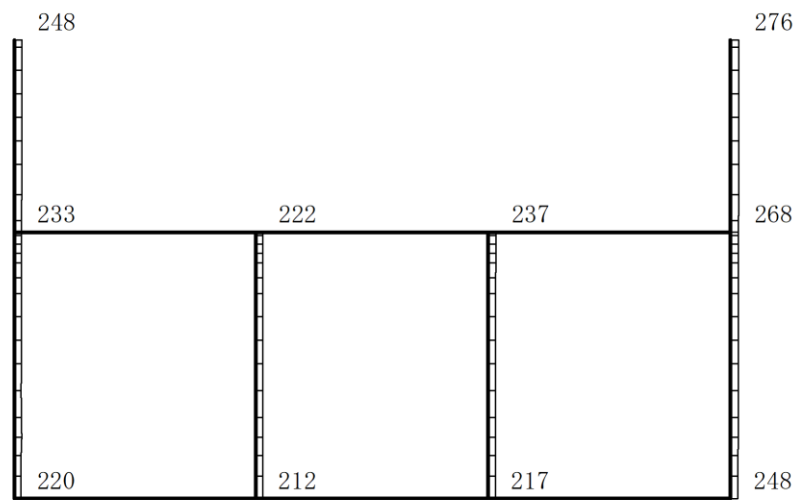
構造スケール $\underbrace{\quad\quad}_{0 \quad 2(m)}$

応答値スケール $\underbrace{\quad\quad}_{0 \quad 1500 (cm/s^2)}$

図 4-206 最大応答加速度分布図(86/120) (解析ケース②)



(a) S d- 1 (+ -) 水平

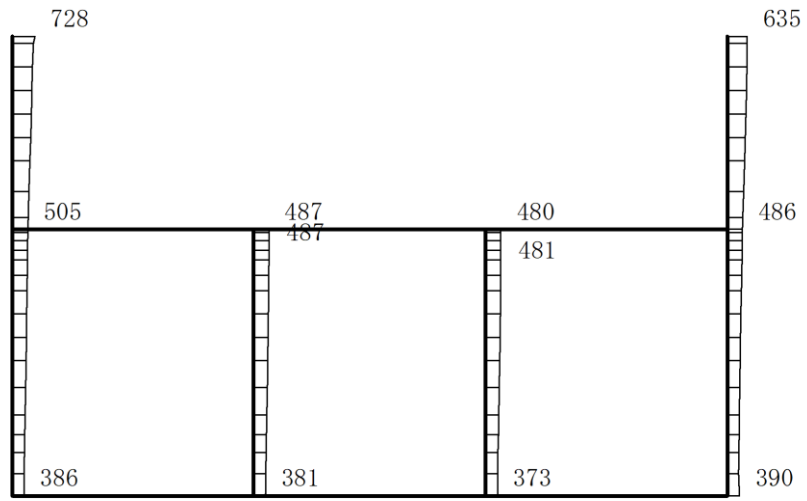


(b) S d- 1 (+ -) 鉛直

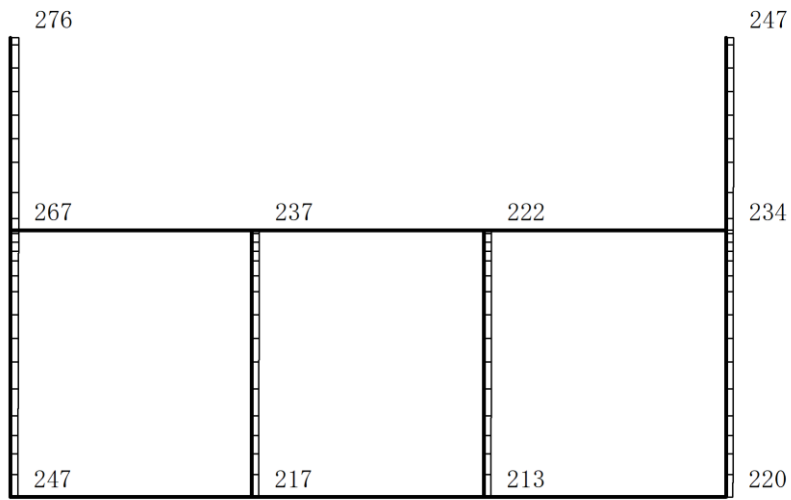
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-207 最大応答加速度分布図(87/120) (解析ケース②)



(a) S d- 1 (- -) 水平

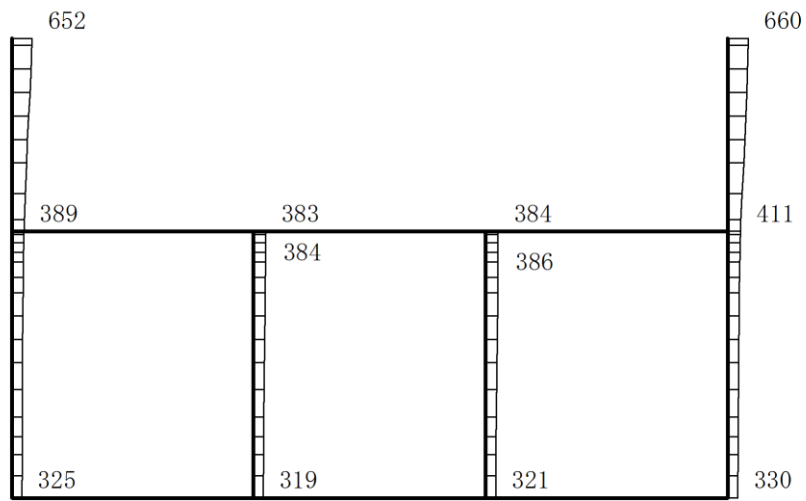


(b) S d- 1 (- -) 鉛直

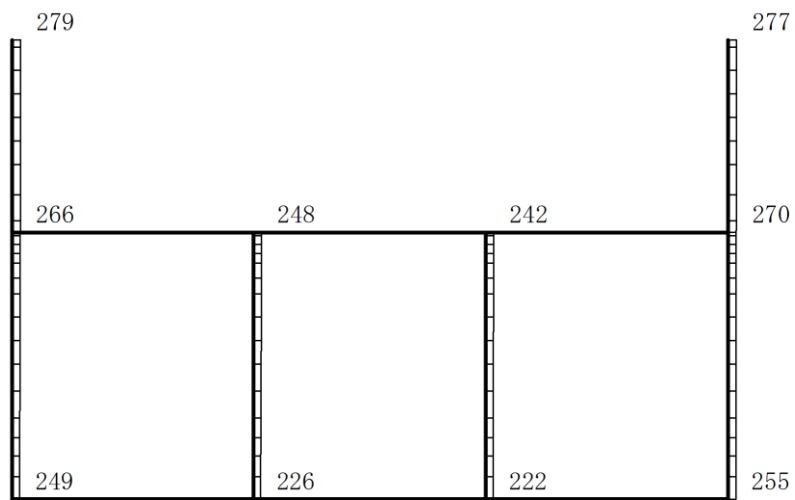
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-208 最大応答加速度分布図(88/120) (解析ケース②)



(a) S d - D (+ +) 水平

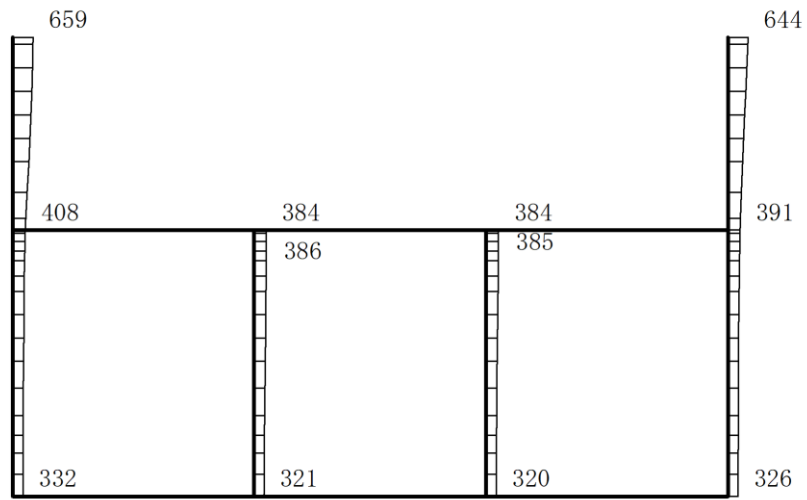


(b) S d - D (+ +) 鉛直

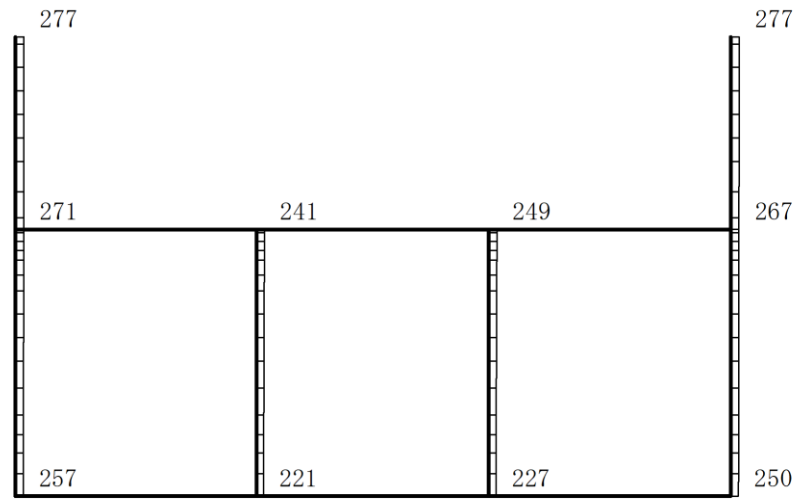
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-209 最大応答加速度分布図(89/120) (解析ケース③)



(a) S d - D (- +) 水平

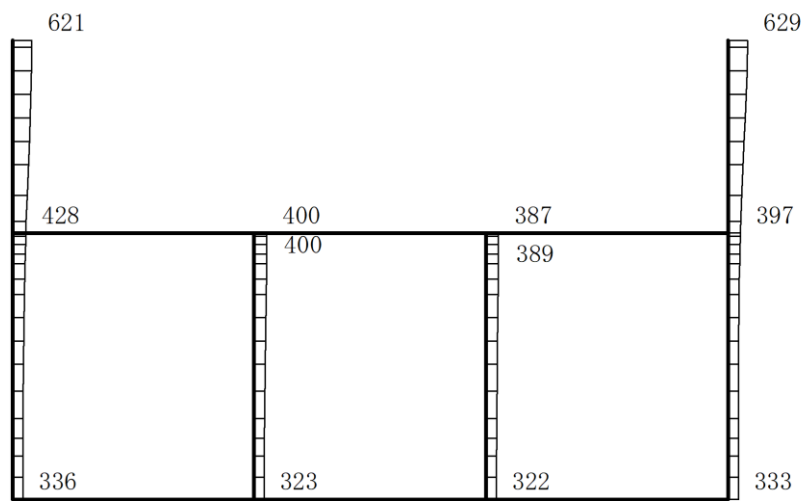


(b) S d - D (- +) 鉛直

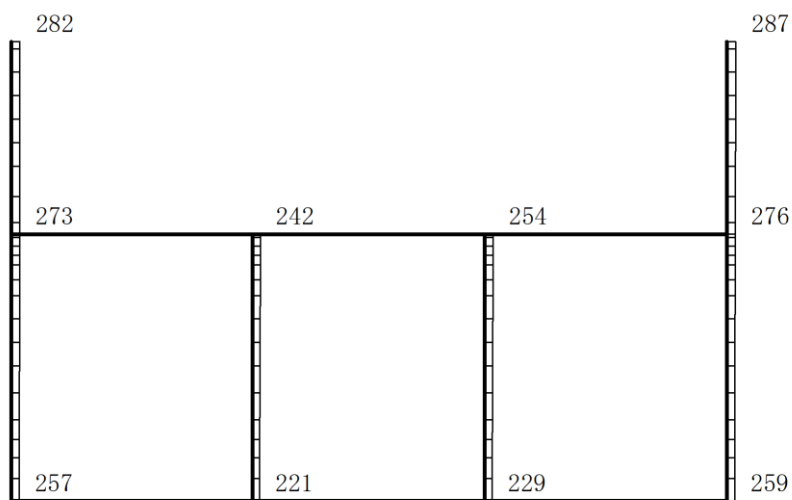
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-210 最大応答加速度分布図(90/120) (解析ケース③)



(a) S d-D (+-) 水平

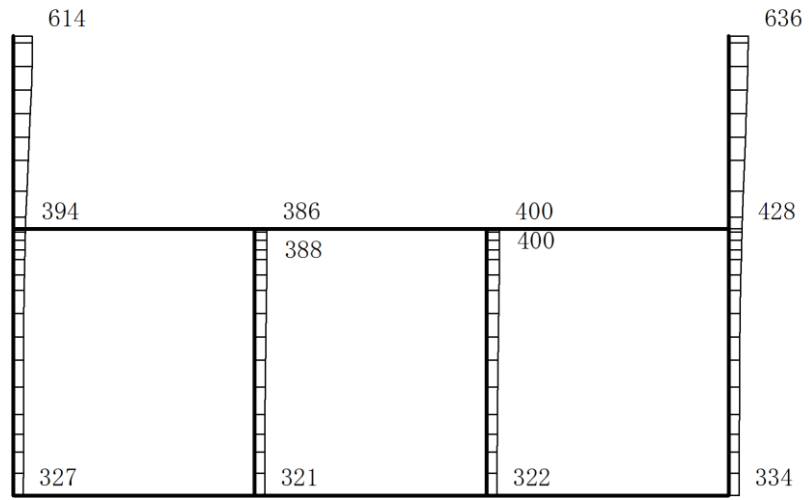


(b) S d-D (+-) 鉛直

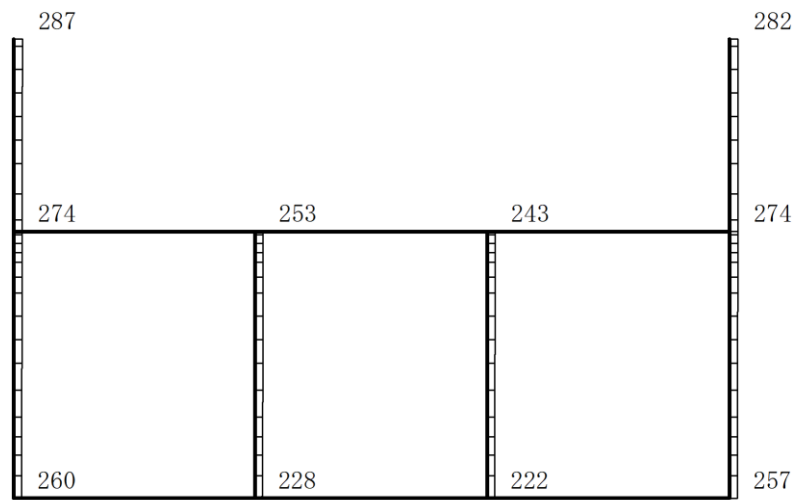
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-211 最大応答加速度分布図(91/120) (解析ケース③)



(a) S d-D (--) 水平

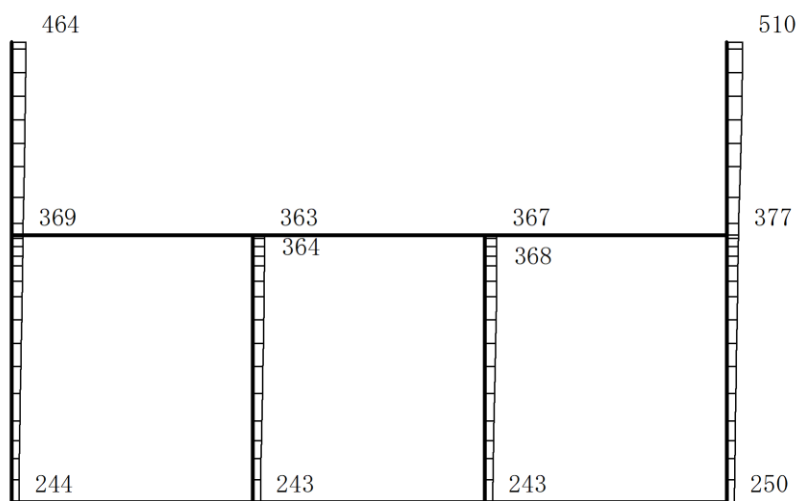


(b) S d-D (--) 鉛直

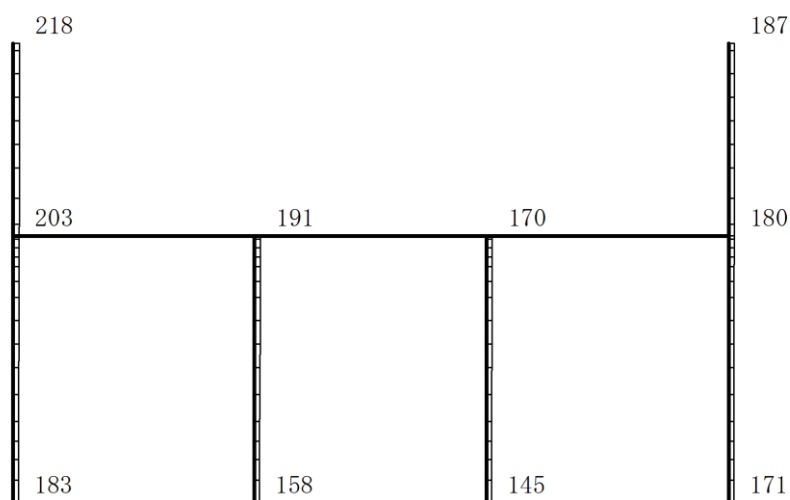
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-212 最大応答加速度分布図(92/120) (解析ケース③)



(a) S d - F 1 (++) 水平

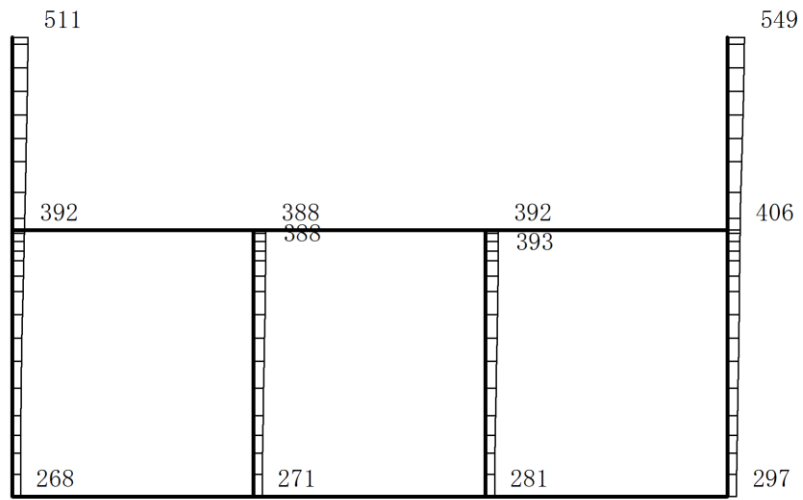


(b) S d - F 1 (++) 鉛直

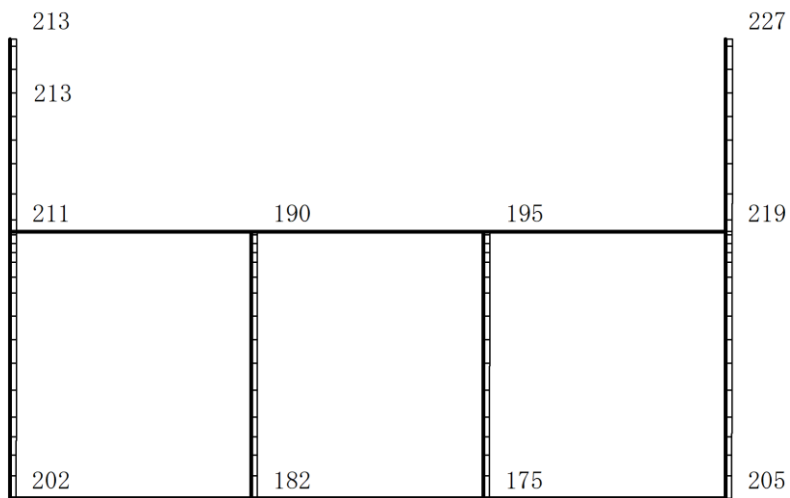
構造スケール $\underbrace{\quad\quad}_{0 \quad 2(m)}$

応答値スケール $\underbrace{\quad\quad}_{0 \quad 1500 (cm/s^2)}$

図 4-213 最大応答加速度分布図(93/120) (解析ケース③)



(a) S d - F 2 (+ +) 水平

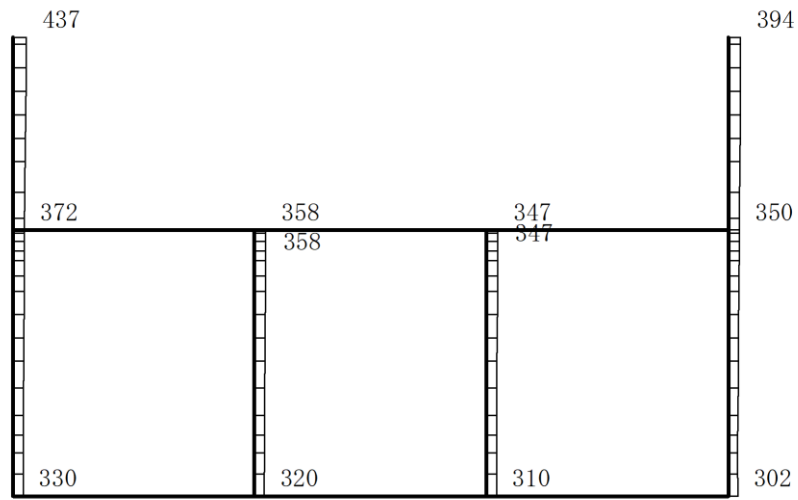


(b) S d - F 2 (+ +) 鉛直

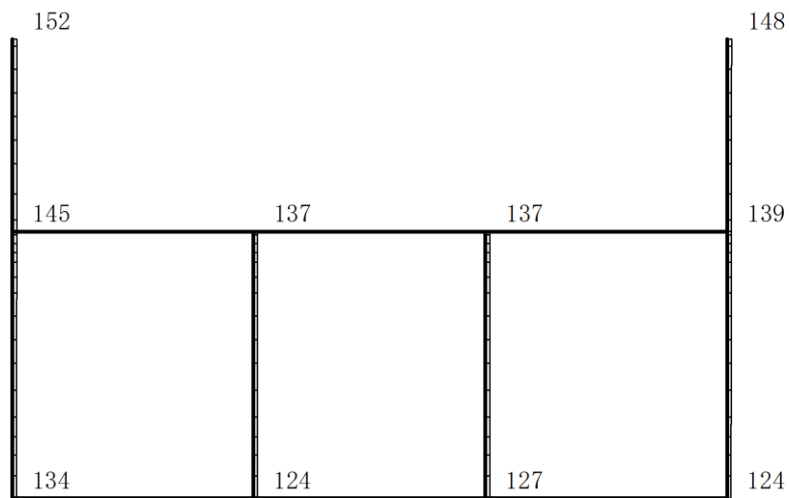
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-214 最大応答加速度分布図(94/120) (解析ケース③)



(a) S d - N 1 (++) 水平

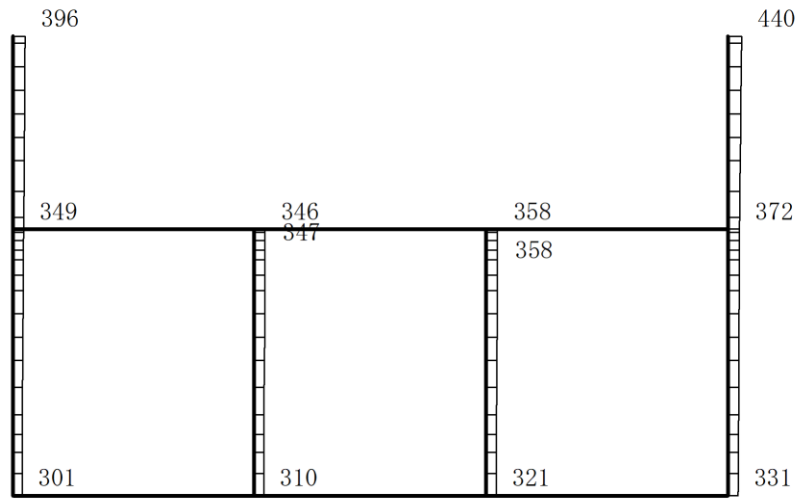


(b) S d - N 1 (++) 鉛直

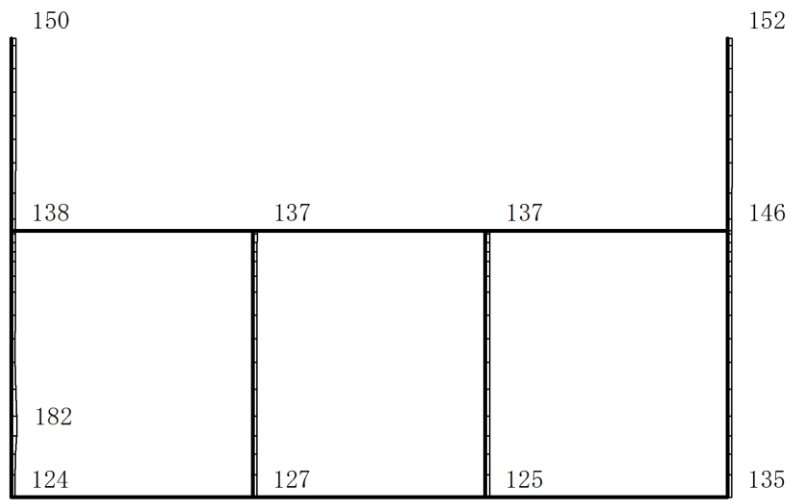
構造スケール $\underbrace{\quad\quad}_0 \quad 2(\text{m})$

応答値スケール $\underbrace{\quad\quad}_0 \quad 1500 (\text{cm/s}^2)$

図 4-215 最大応答加速度分布図(95/120) (解析ケース③)



(a) S d - N 1 (- +) 水平

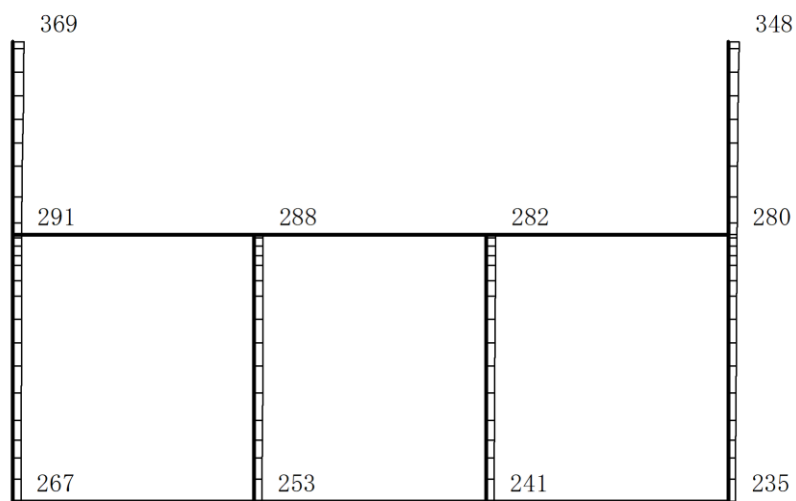


(b) S d - N 1 (- +) 鉛直

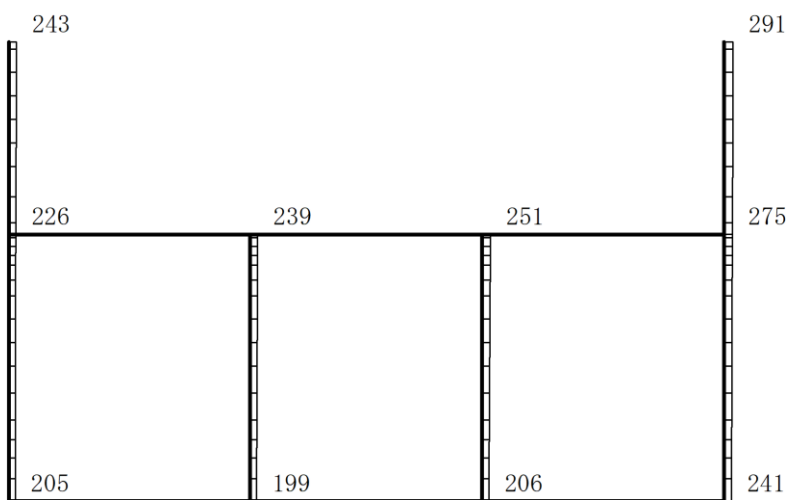
構造スケール $\underbrace{\quad\quad}_{0 \quad 2(m)}$

応答値スケール $\underbrace{\quad\quad}_{0 \quad 1500 (cm/s^2)}$

図 4-216 最大応答加速度分布図(96/120) (解析ケース③)



(a) S d - N 2 (N S) (+ +) 水平

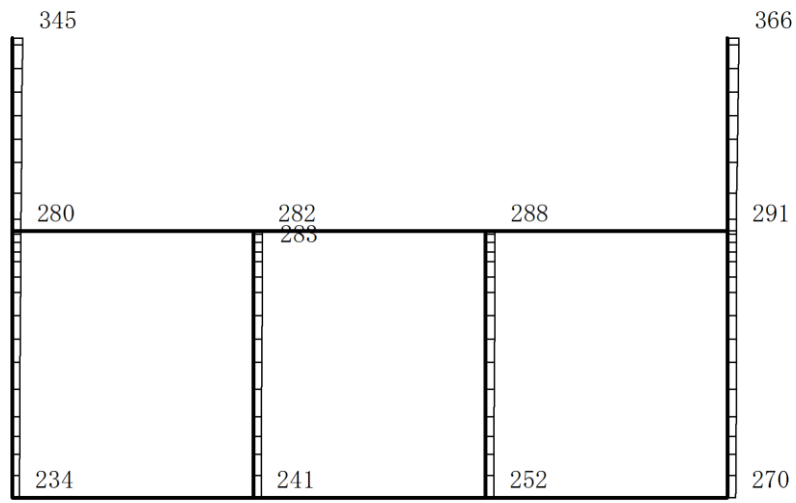


(b) S d - N 2 (N S) (+ +) 鉛直

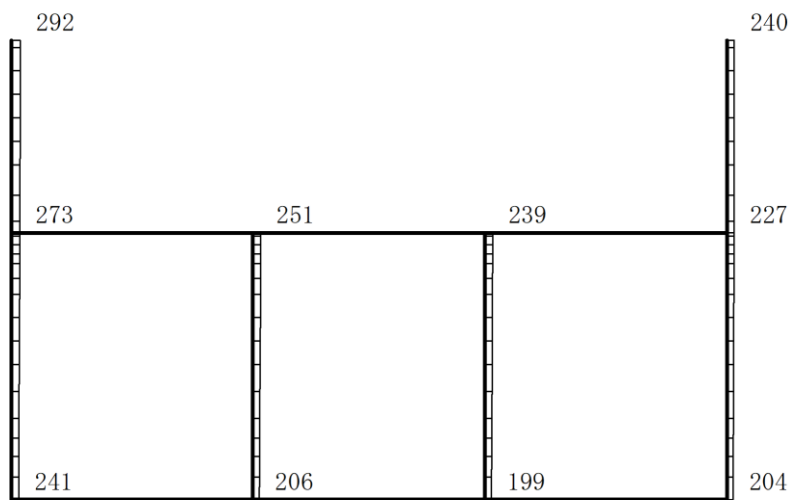
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-217 最大応答加速度分布図(97/120) (解析ケース③)



(a) S d - N 2 (N S) (- +) 水平

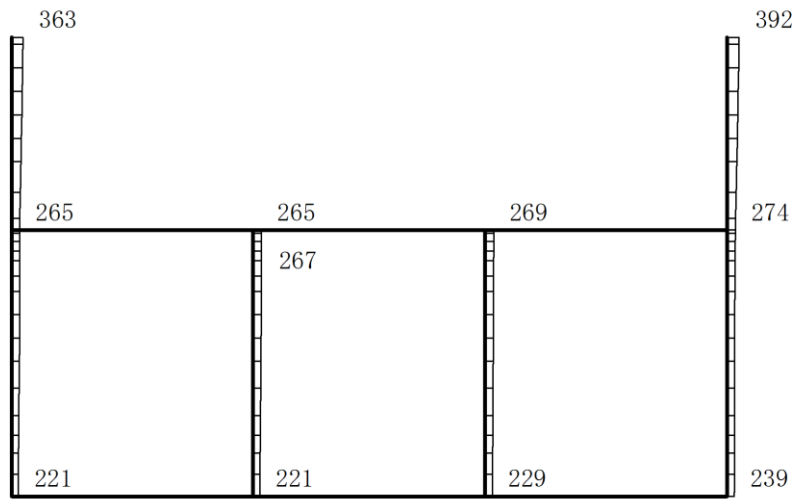


(b) S d - N 2 (N S) (- +) 鉛直

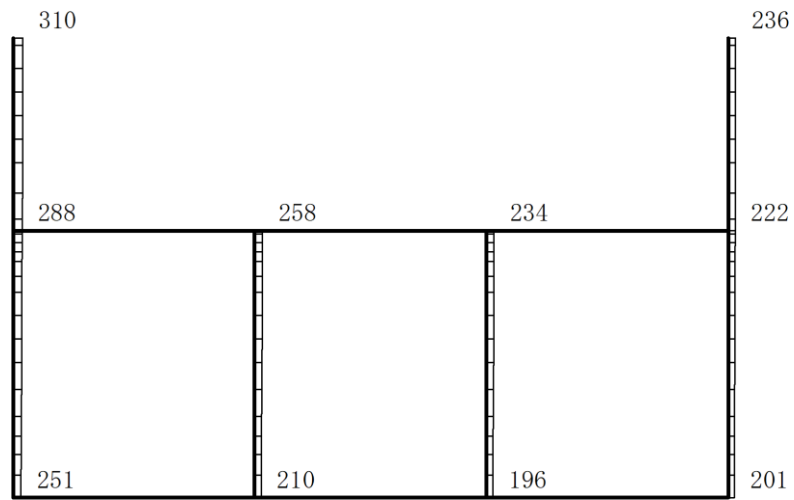
構造スケール $\underbrace{\quad\quad}_{0 \quad 2(m)}$

応答値スケール $\underbrace{\quad\quad}_{0 \quad 1500 (cm/s^2)}$

図 4-218 最大応答加速度分布図(98/120) (解析ケース③)



(a) S d - N 2 (E W) (+ +) 水平

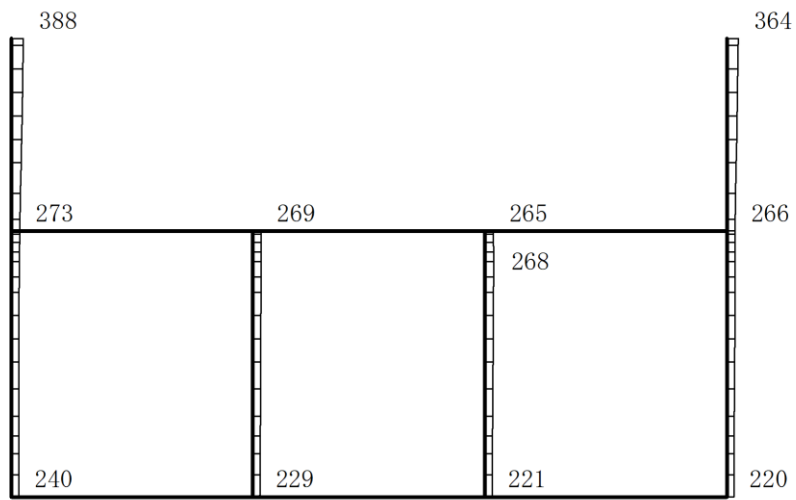


(b) S d - N 2 (E W) (+ +) 鉛直

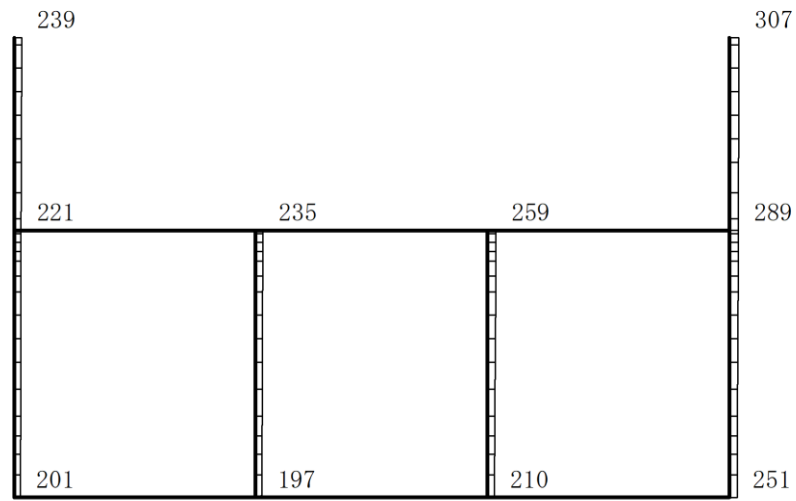
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-219 最大応答加速度分布図(99/120) (解析ケース③)



(a) S d - N 2 (E W) (- +) 水平

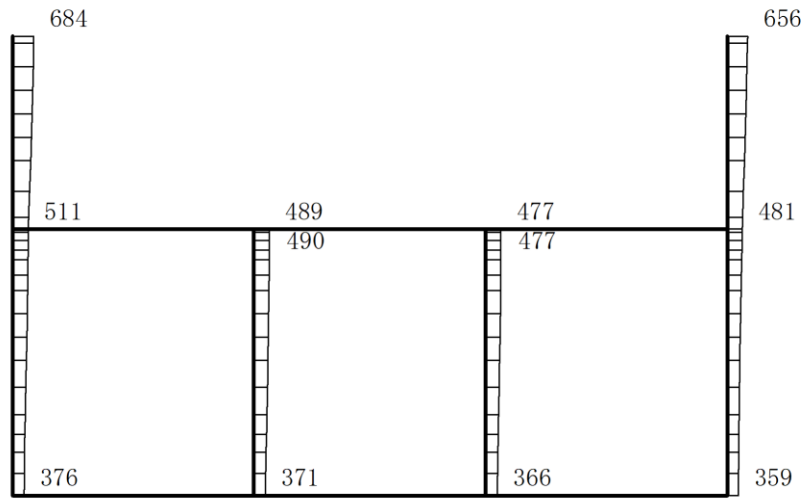


(b) S d - N 2 (E W) (- +) 鉛直

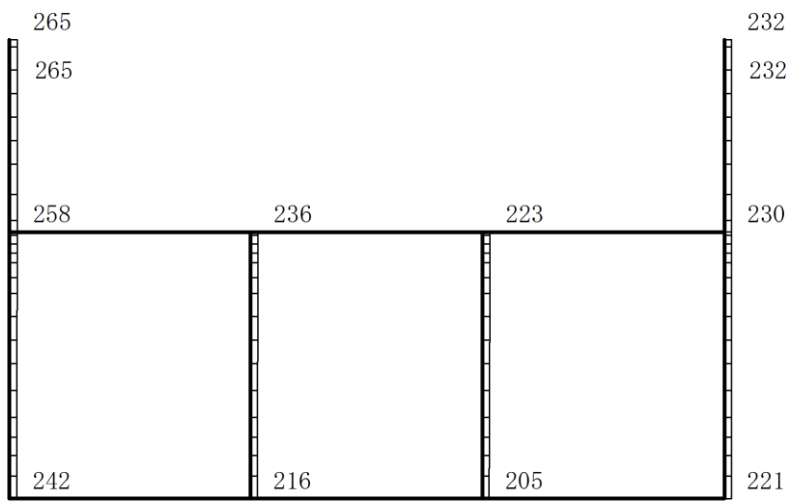
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-220 最大応答加速度分布図(100/120) (解析ケース③)



(a) S d- 1 (++) 水平

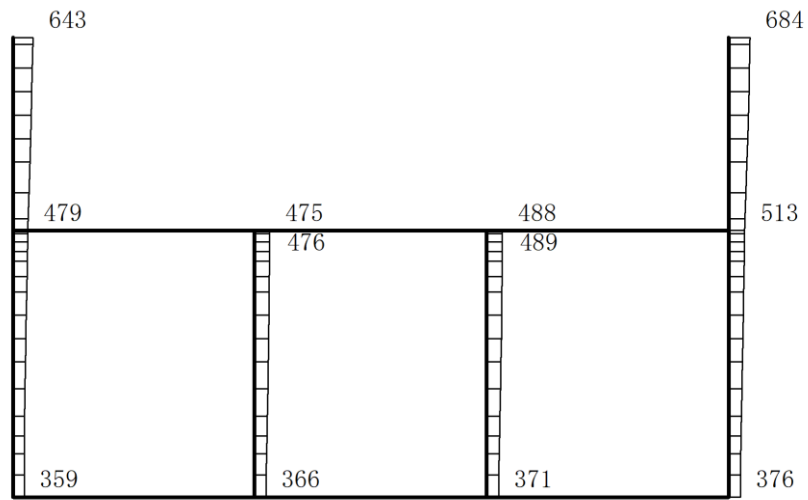


(b) S d- 1 (++) 鉛直

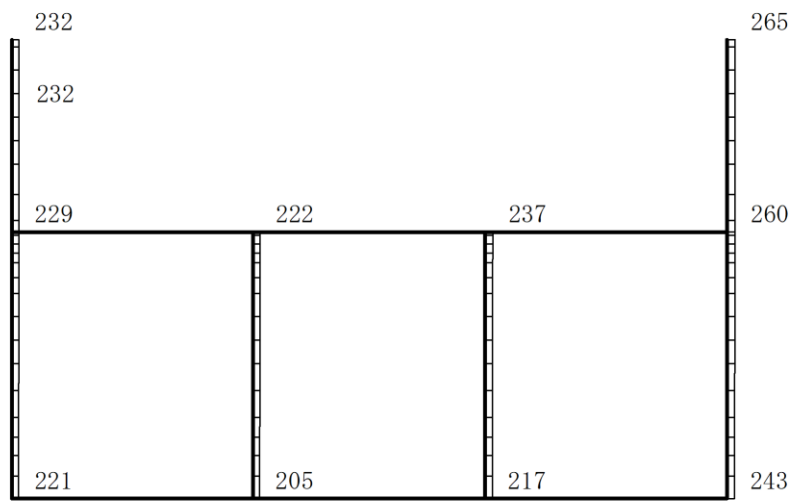
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-221 最大応答加速度分布図(101/120) (解析ケース③)



(a) S d- 1 (- +) 水平

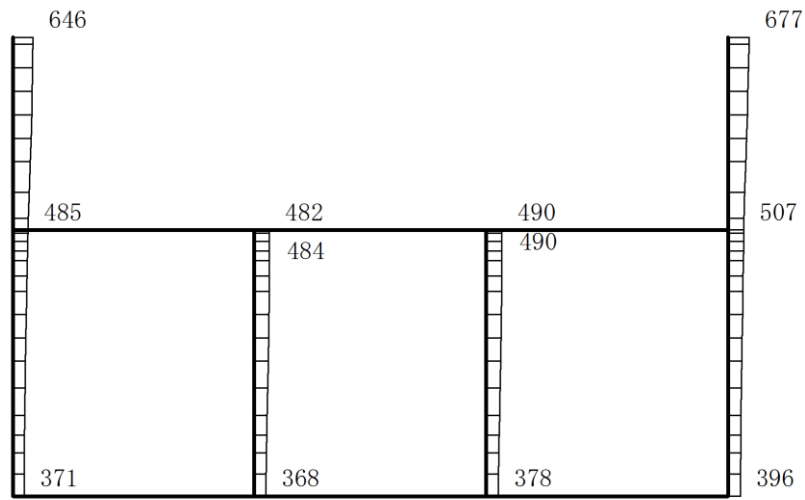


(b) S d- 1 (- +) 鉛直

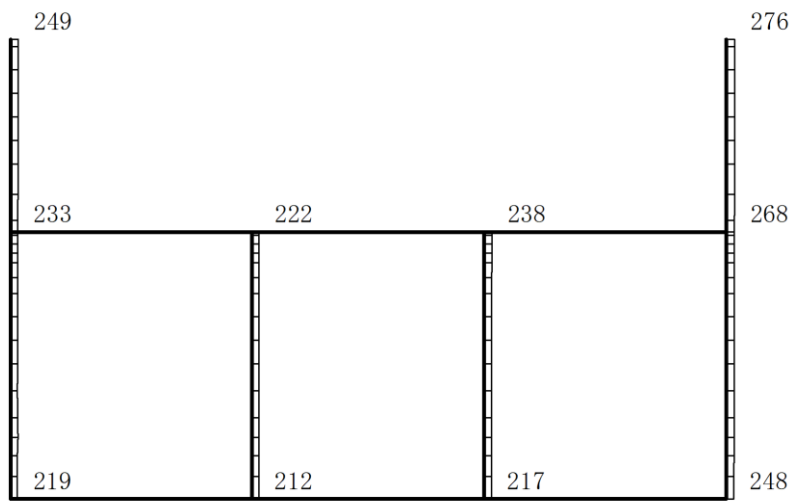
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-222 最大応答加速度分布図(102/120) (解析ケース③)



(a) Sd-1 (+-) 水平

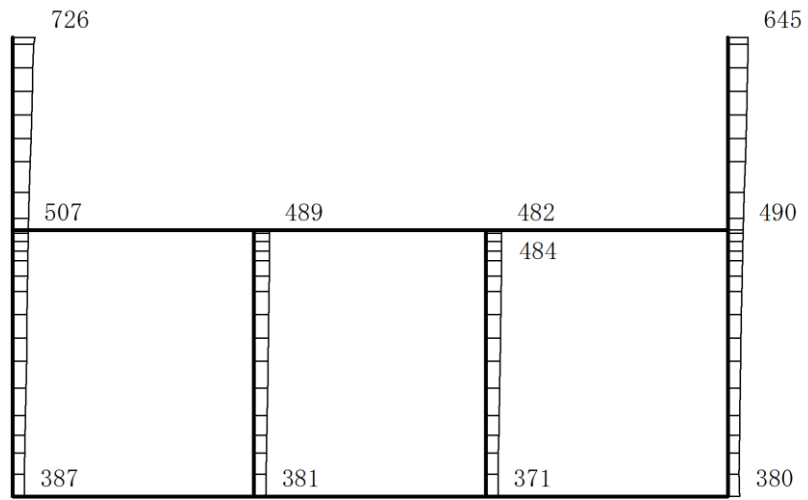


(b) Sd-1 (+-) 鉛直

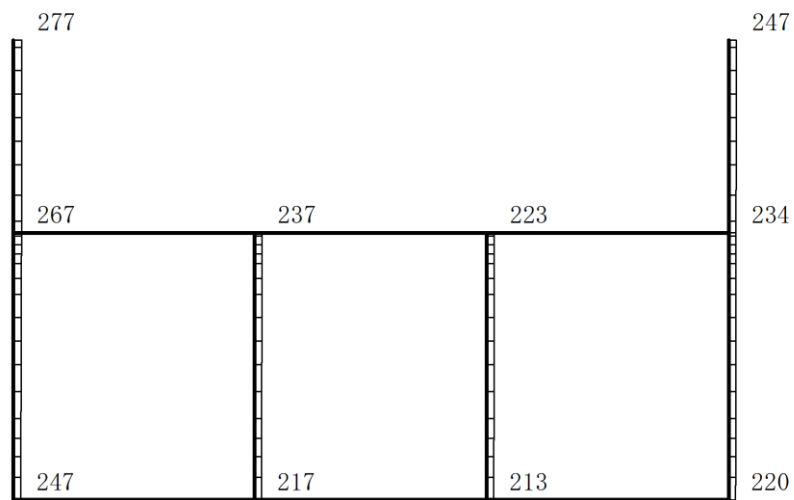
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-223 最大応答加速度分布図(103/120) (解析ケース③)



(a) S d- 1 (- -) 水平

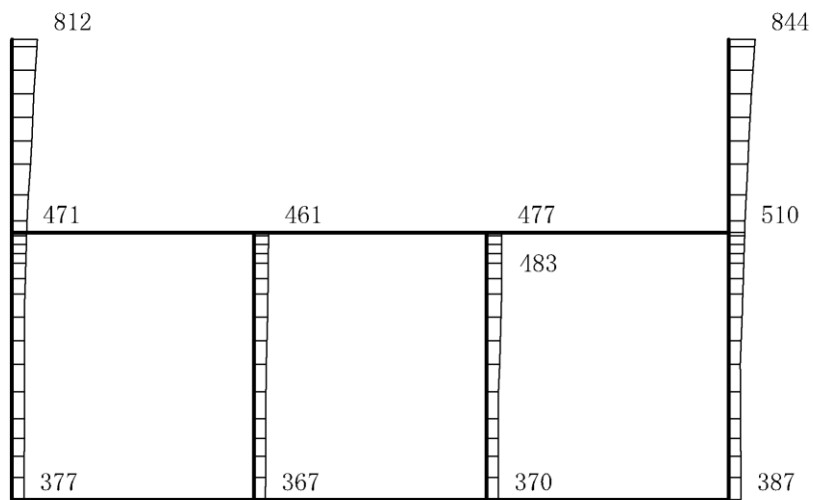


(b) S d- 1 (- -) 鉛直

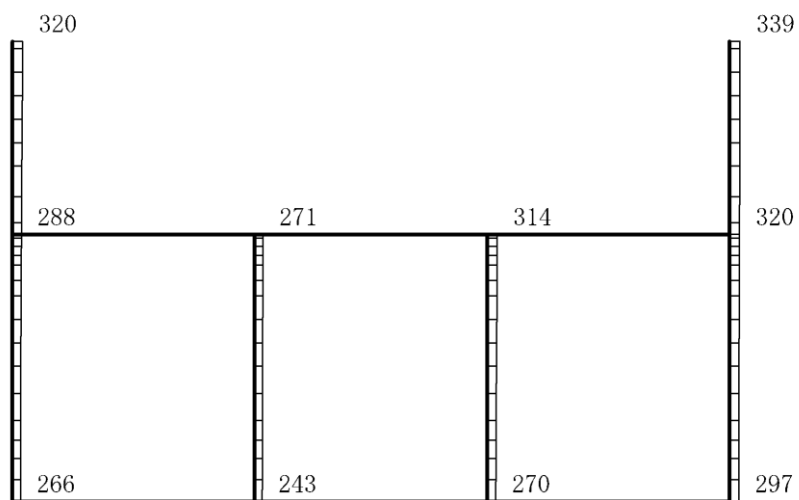
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-224 最大応答加速度分布図(104/120) (解析ケース③)



(a) Sd-D (++) 水平

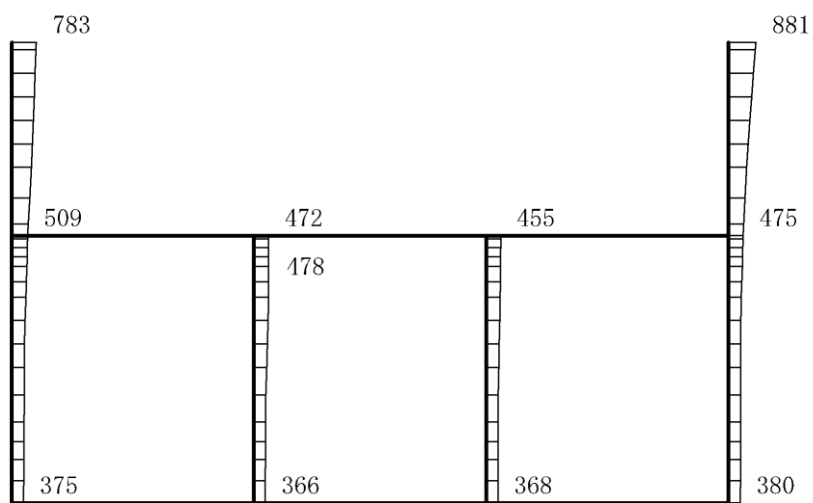


(b) Sd-D (++) 鉛直

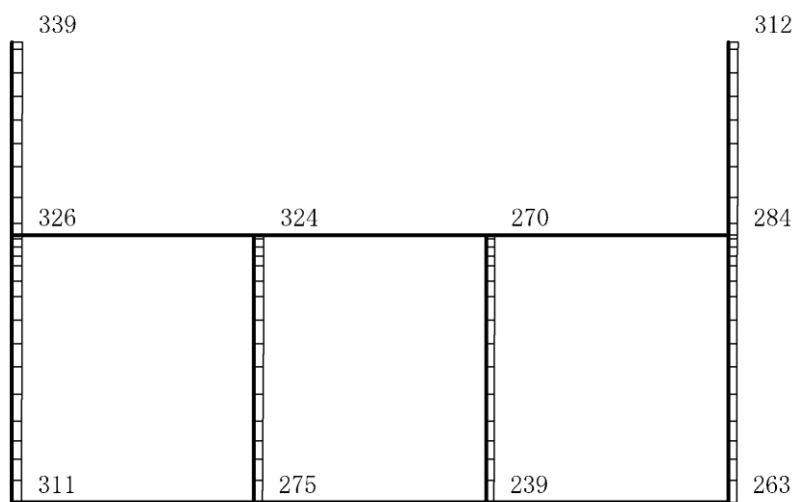
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-225 最大応答加速度分布図(105/120) (解析ケース⑤)



(a) S d - D (- +) 水平

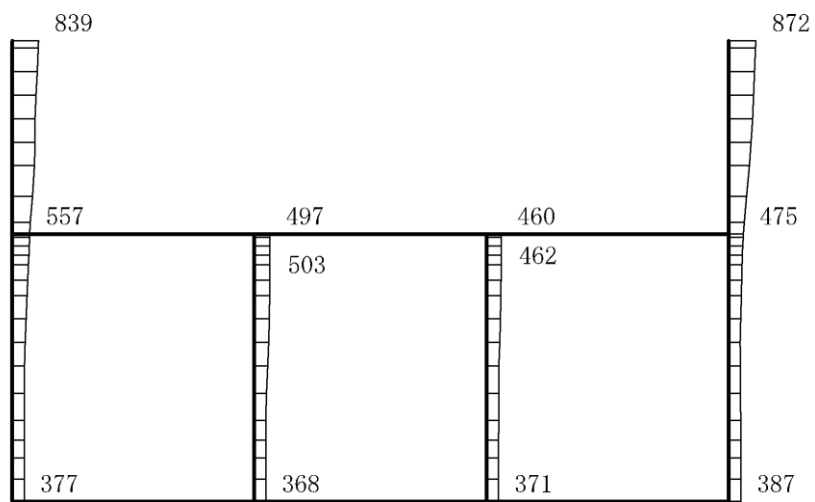


(b) S d - D (- +) 鉛直

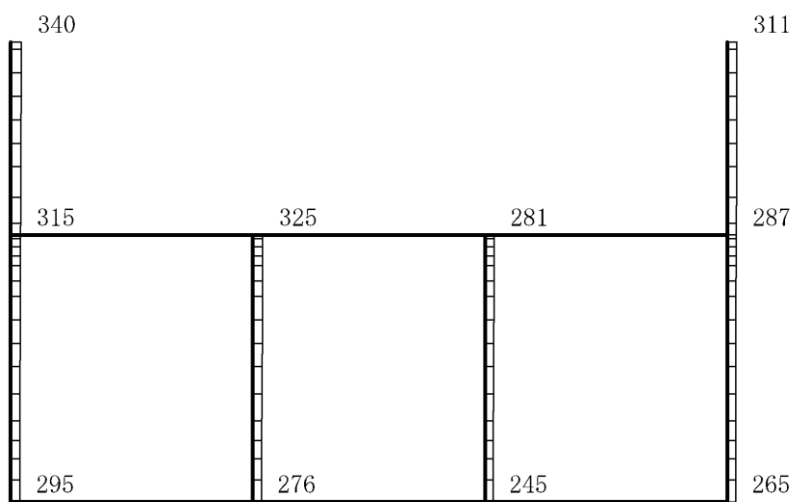
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-226 最大応答加速度分布図(106/120) (解析ケース⑤)



(a) S d - D (+ -) 水平

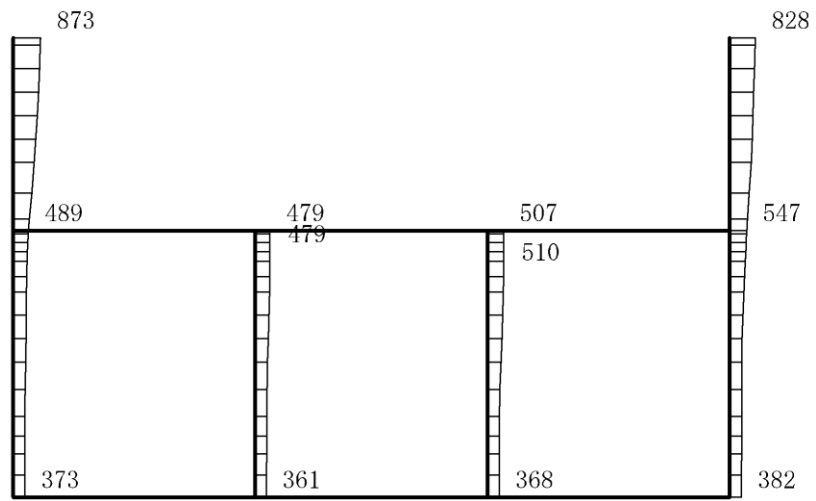


(b) S d - D (+ -) 鉛直

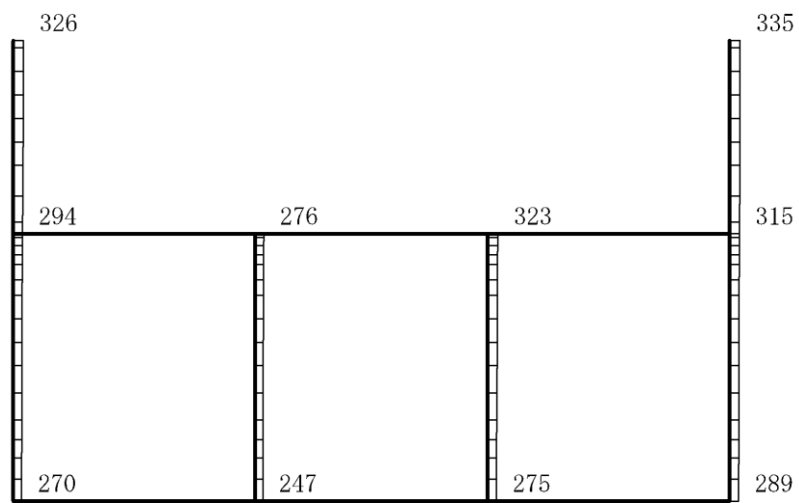
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-227 最大応答加速度分布図(107/120) (解析ケース⑤)



(a) S d-D (--) 水平

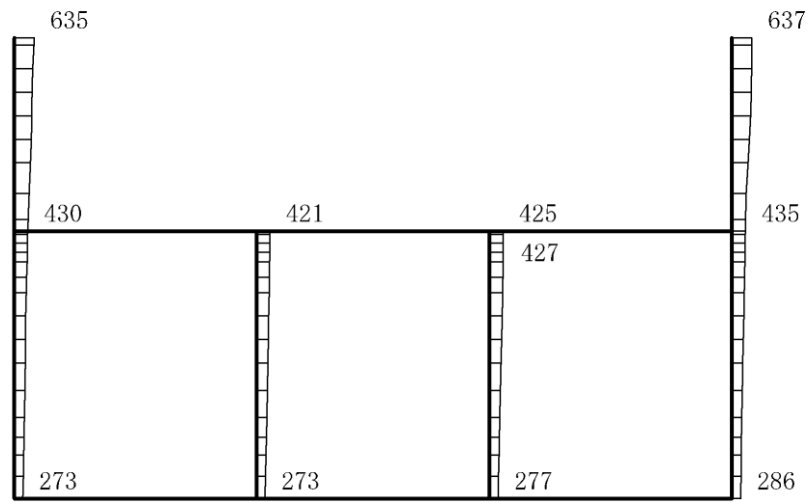


(b) S d-D (--) 鉛直

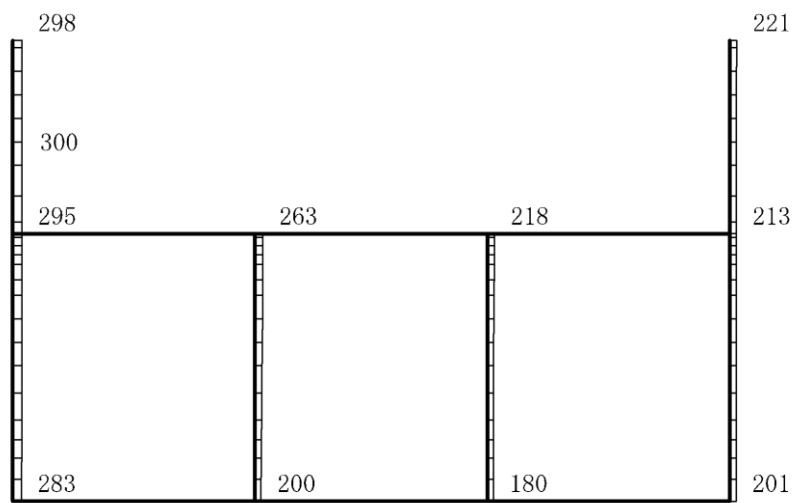
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-228 最大応答加速度分布図(108/120) (解析ケース⑤)



(a) S d - F 1 (++) 水平

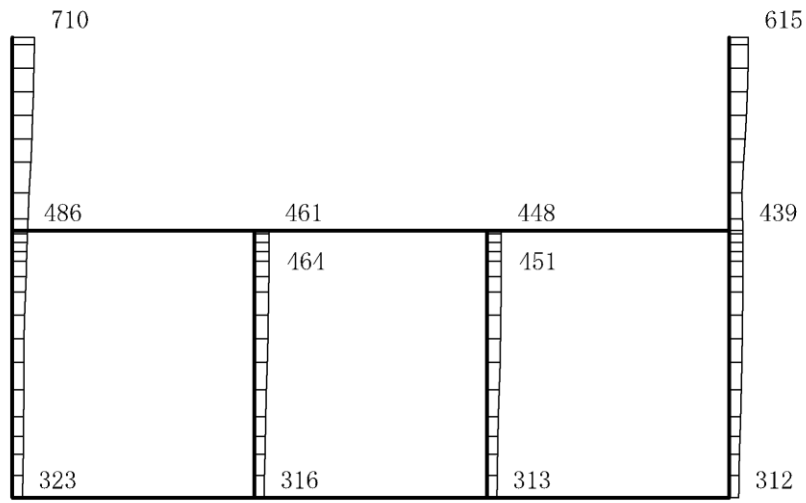


(b) S d - F 1 (++) 鉛直

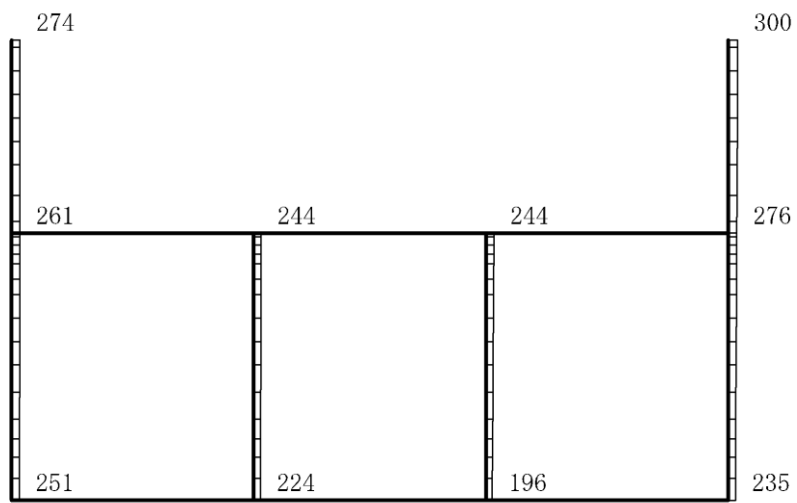
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-229 最大応答加速度分布図(109/120) (解析ケース⑤)



(a) S d - F 2 (++) 水平

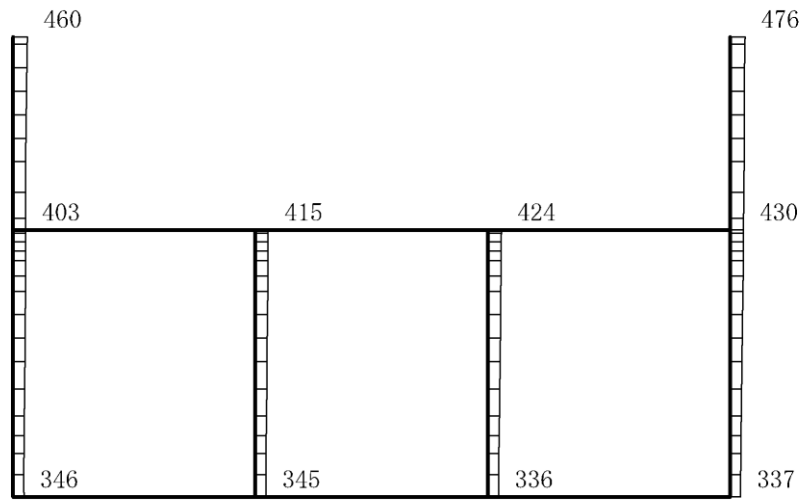


(b) S d - F 2 (++) 鉛直

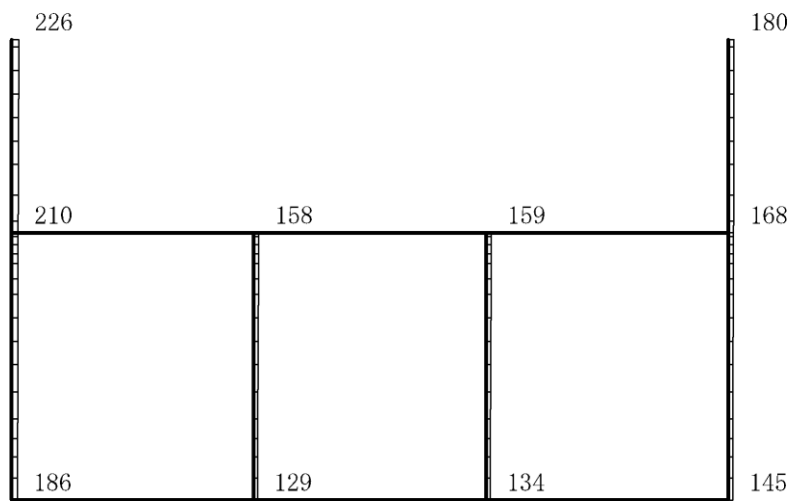
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-230 最大応答加速度分布図(110/120) (解析ケース⑤)



(a) S d - N 1 (++) 水平

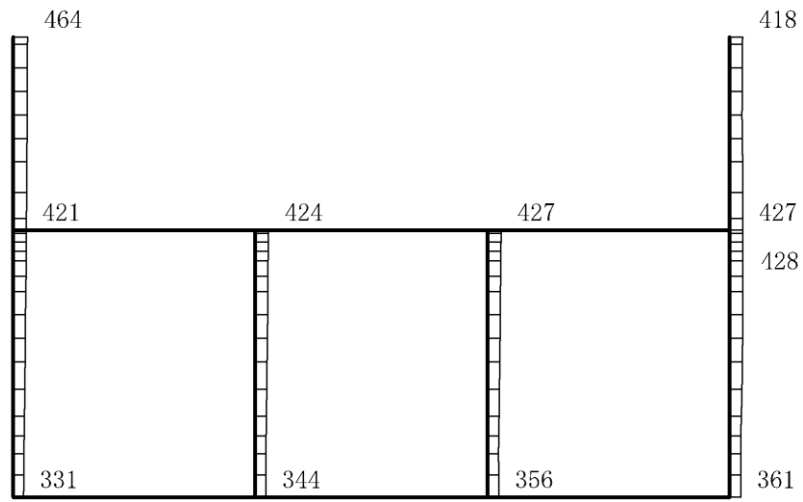


(b) S d - N 1 (++) 鉛直

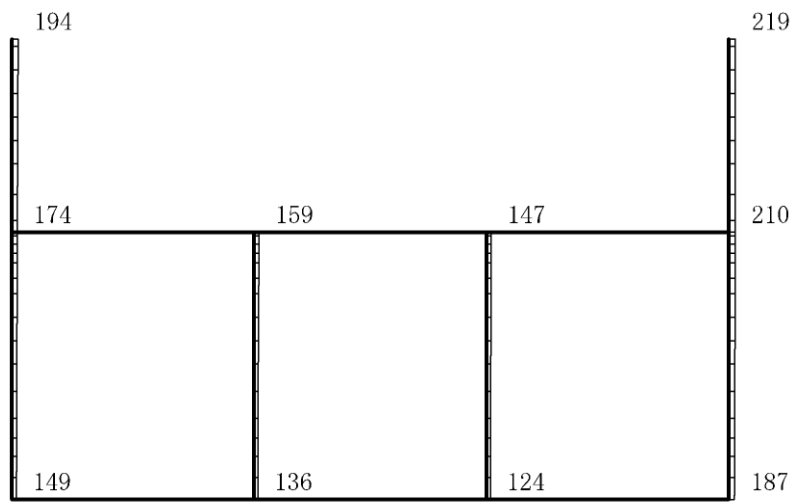
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-231 最大応答加速度分布図(111/120) (解析ケース⑤)



(a) S d - N 1 (- +) 水平

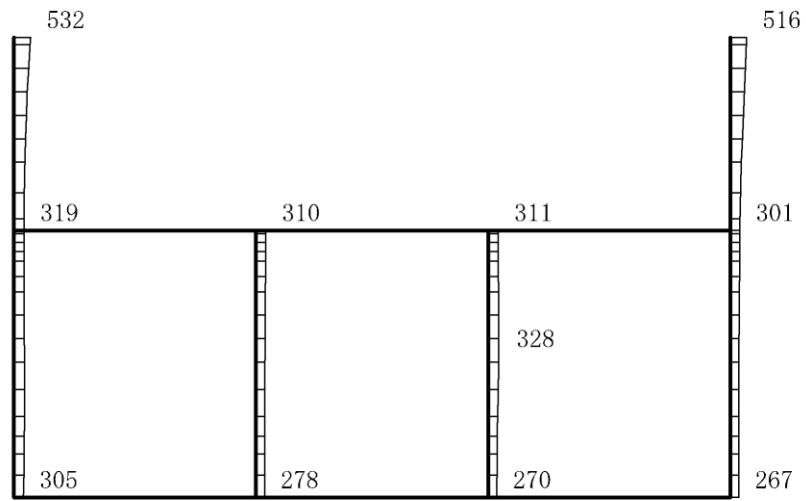


(b) S d - N 1 (- +) 鉛直

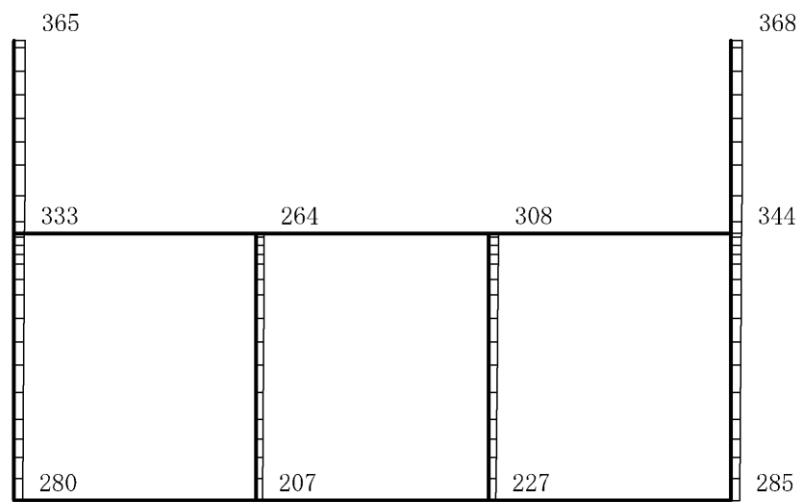
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-232 最大応答加速度分布図(112/120) (解析ケース⑤)



(a) S d - N 2 (N S) (+ +) 水平

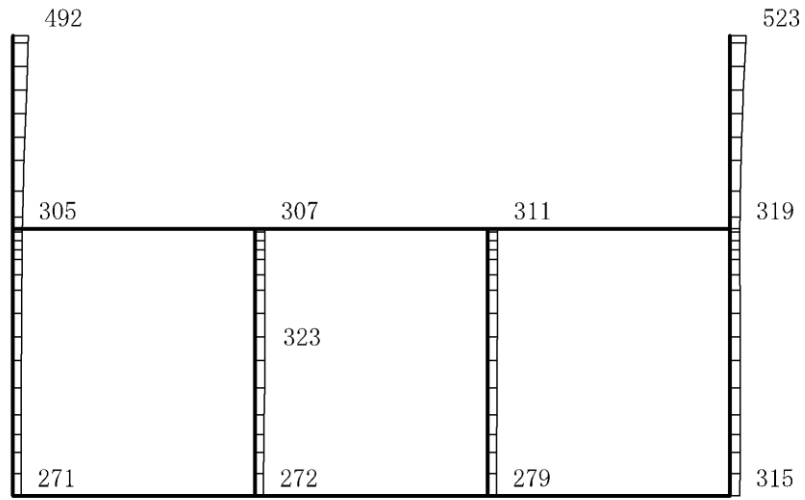


(b) S d - N 2 (N S) (+ +) 鉛直

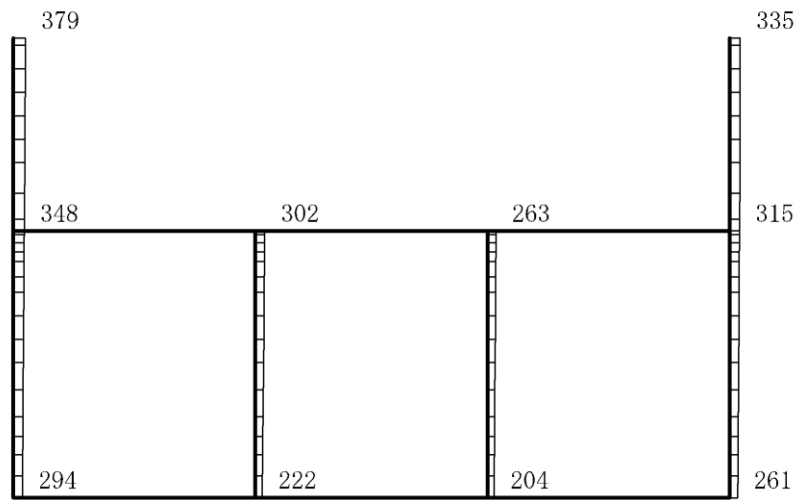
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-233 最大応答加速度分布図(113/120) (解析ケース⑤)



(a) S d - N 2 (N S) (- +) 水平

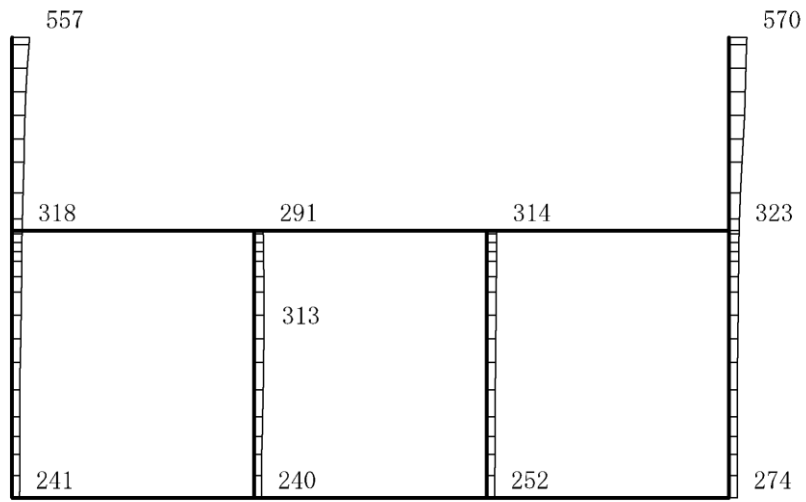


(b) S d - N 2 (N S) (- +) 鉛直

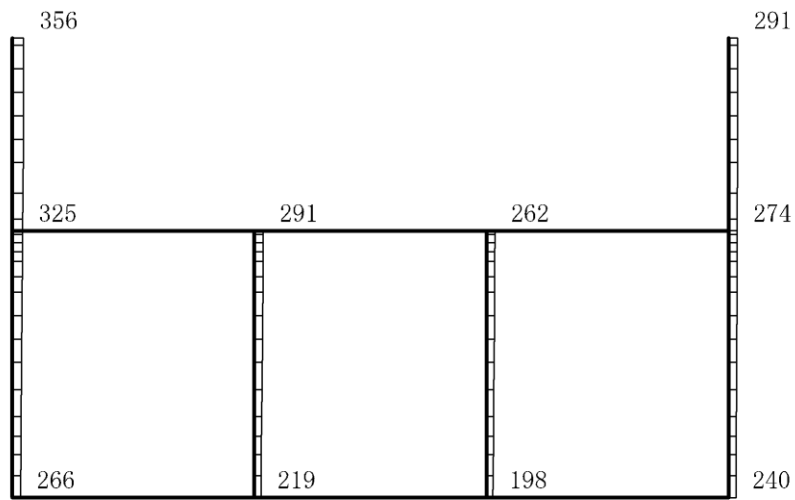
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-234 最大応答加速度分布図(114/120) (解析ケース⑤)



(a) S d - N 2 (E W) (+ +) 水平

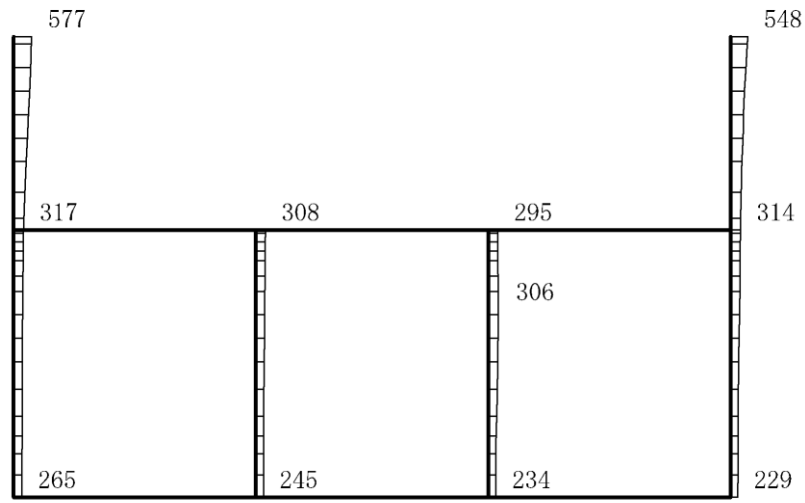


(b) S d - N 2 (E W) (+ +) 鉛直

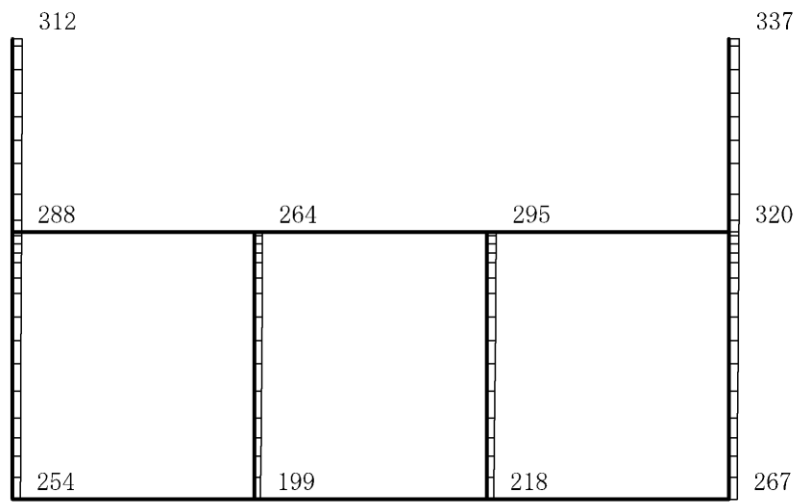
構造スケール $\underbrace{\quad\quad}_0 \quad 2(\text{m})$

応答値スケール $\underbrace{\quad\quad}_0 \quad 1500(\text{cm/s}^2)$

図 4-235 最大応答加速度分布図(115/120) (解析ケース⑤)



(a) S d - N 2 (E W) (- +) 水平

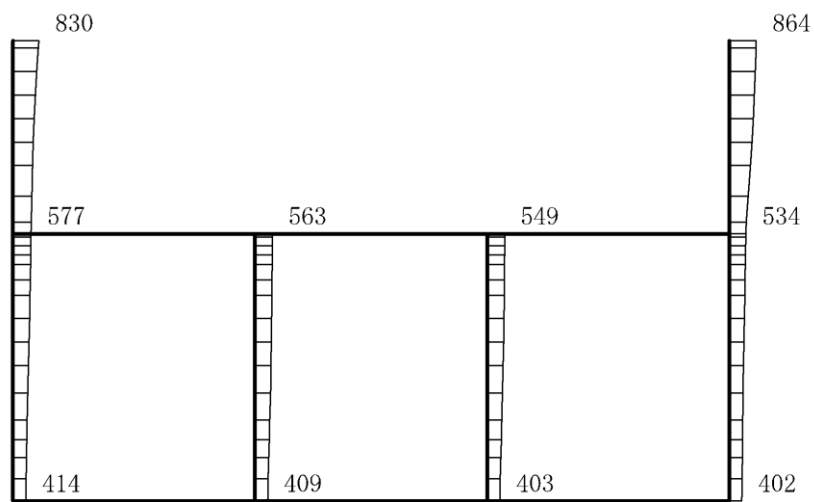


(b) S d - N 1 (E W) (- +) 鉛直

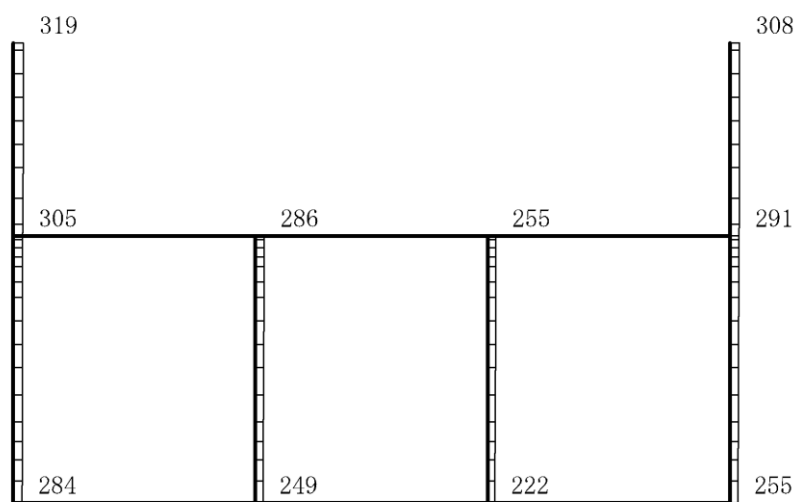
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-236 最大応答加速度分布図(116/120) (解析ケース⑤)



(a) S d- 1 (+ +) 水平

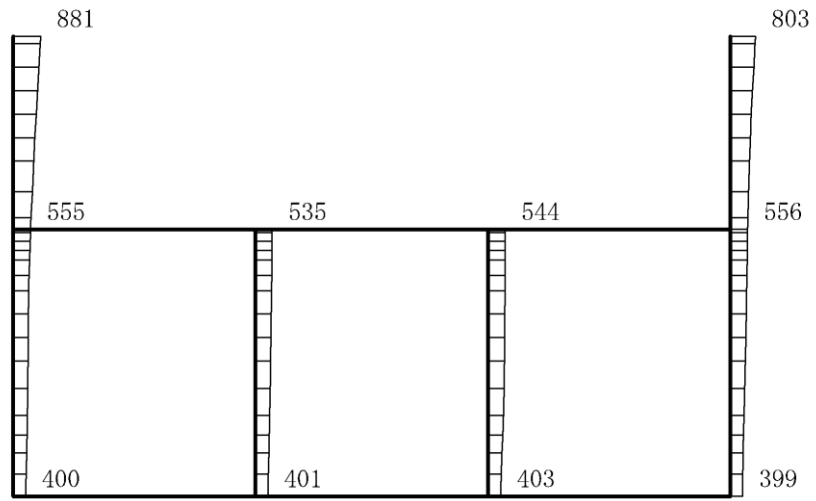


(b) S d- 1 (+ +) 鉛直

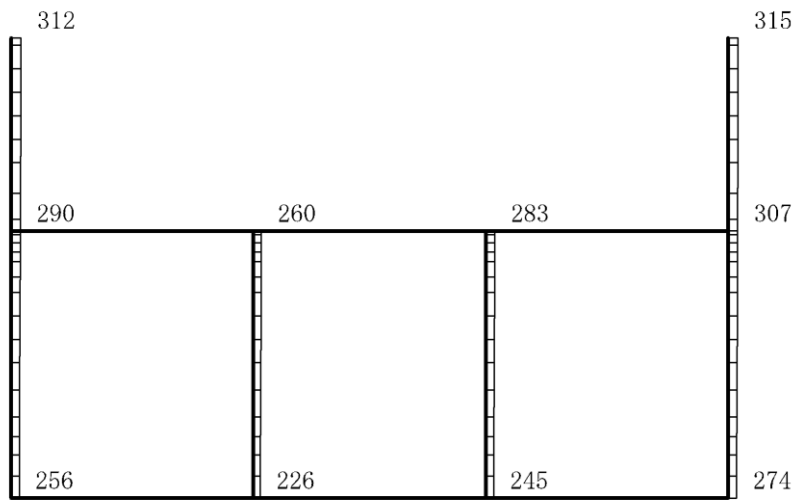
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-237 最大応答加速度分布図(117/120) (解析ケース⑤)



(a) S d- 1 (- +) 水平

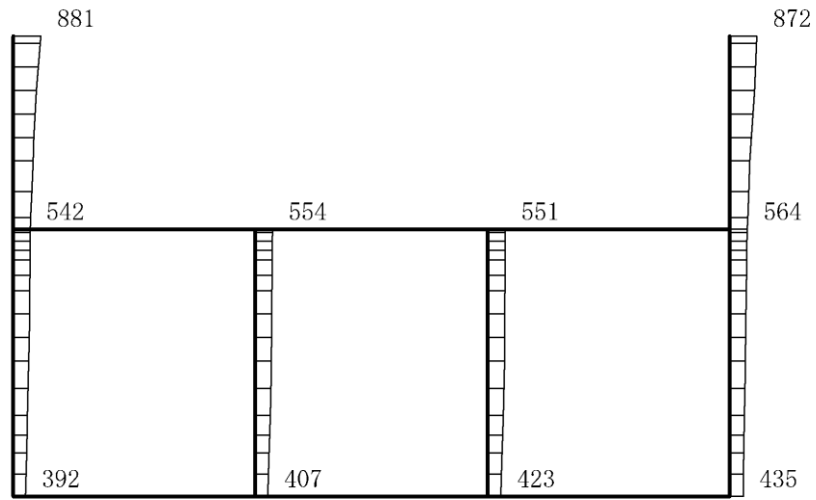


(b) S d- 1 (- +) 鉛直

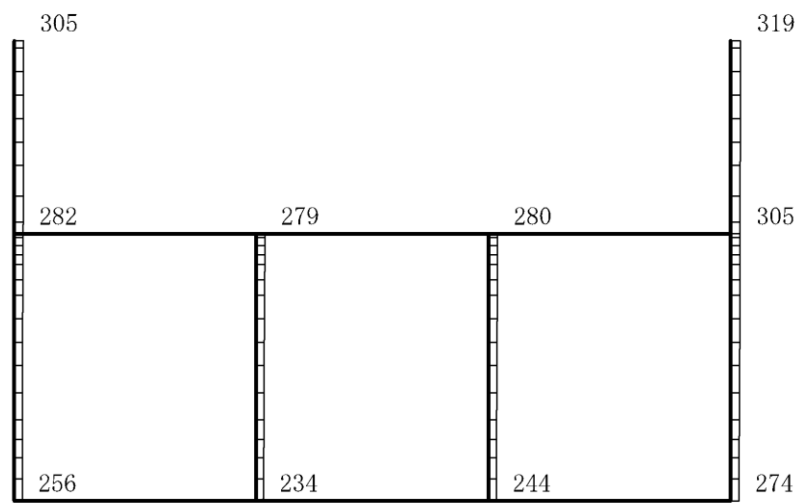
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-238 最大応答加速度分布図(118/120) (解析ケース⑤)



(a) S d- 1 (+ -) 水平

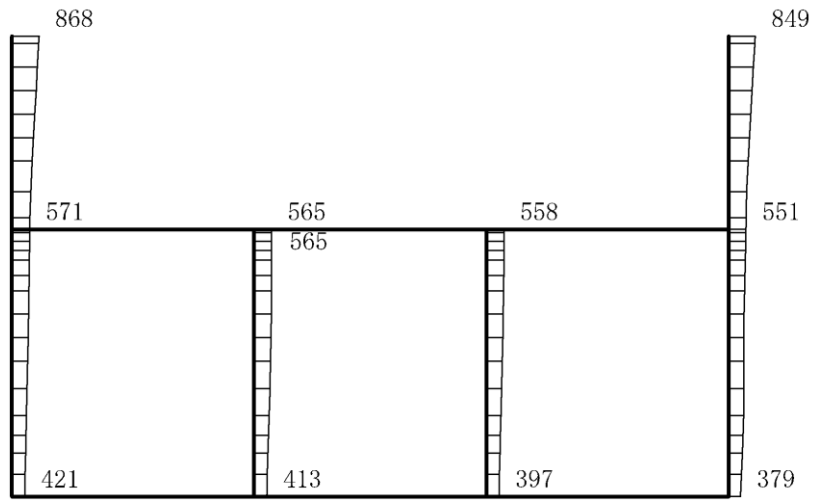


(b) S d- 1 (+ -) 鉛直

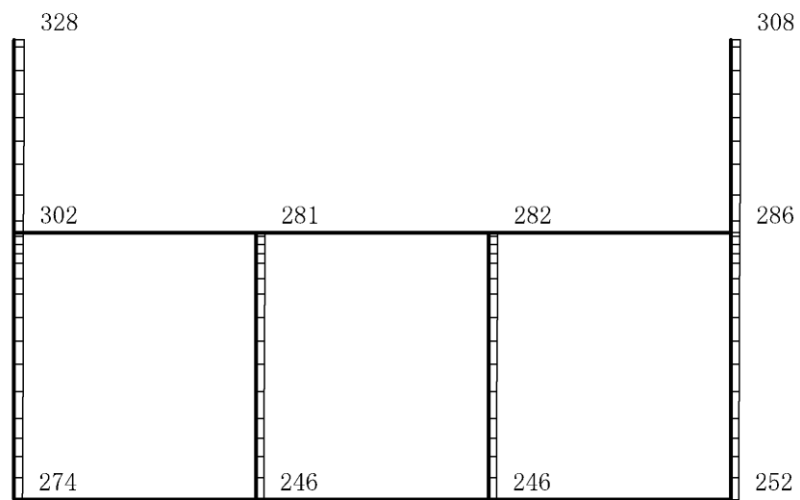
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-239 最大応答加速度分布図(119/120) (解析ケース⑤)



(a) S d- 1 (- -) 水平



(b) S d- 1 (- -) 鉛直

構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-240 最大応答加速度分布図(120/120) (解析ケース⑤)

4.3 C-C断面の解析結果

耐震評価のために用いる応答加速度として、解析ケース①（基本ケース）について、すべての基準地震動 S_s に対する最大加速度分布図を図 4-241～図 4-252 に示す。

また、解析ケース①において、照査項目ごとに照査値が 0.5 を超えるケースで照査値が最大となる地震動について、解析ケース②～⑤の最大加速度分布図を図 4-253～図 4-260 に示す。



(a) $S_s - D(++)$ 水平

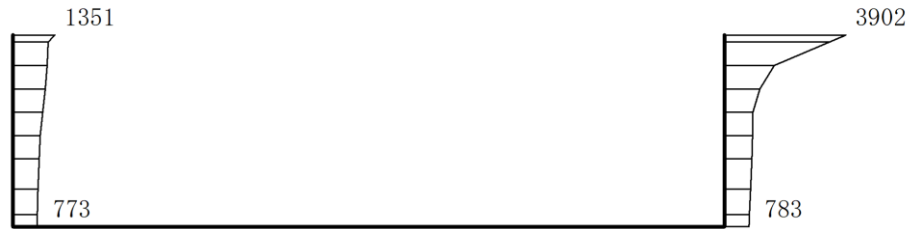


(b) $S_s - D(++)$ 鉛直

構造スケール $\underbrace{\quad\quad}_0 \quad 2(\text{m})$

応答値スケール $\underbrace{\quad\quad}_0 \quad 1500(\text{cm/s}^2)$

図 4-241 最大応答加速度分布図(1/20) (解析ケース①)



(a) $S_s - D (-+)$ 水平



(b) $S_s - D (-+)$ 鉛直

構造スケール $\frac{0}{2} \text{ (m)}$

応答値スケール $\frac{0}{1500} \text{ (cm/s}^2\text{)}$

図 4-242 最大応答加速度分布図 (2/20) (解析ケース①)



(a) $S_s - D (+ -)$ 水平



(b) $S_s - D (+ -)$ 鉛直

構造スケール $\underbrace{\quad\quad}_0 \quad 2(\text{m})$

応答値スケール $\underbrace{\quad\quad}_0 \quad 1500 (\text{cm/s}^2)$

図 4-243 最大応答加速度分布図(3/20) (解析ケース①)



(a) S s - D (--) 水平



(b) S s - D (--) 鉛直

構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-244 最大応答加速度分布図(4/20) (解析ケース①)



(a) S s - F 1 (++) 水平



(b) S s - F 1 (++) 鉛直

構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-245 最大応答加速度分布図(5/20) (解析ケース①)



(a) S s - F 2 (++) 水平



(b) S s - F 2 (++) 鉛直

構造スケール $\frac{0}{2}(\text{m})$

応答値スケール $\frac{0}{1500}(\text{cm/s}^2)$

図 4-246 最大応答加速度分布図(6/20) (解析ケース①)



(a) S s - N 1 (++) 水平



(b) S s - N 1 (++) 鉛直

構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-247 最大応答加速度分布図(7/20) (解析ケース①)



(a) S s - N 1 (- +) 水平



(b) S s - N 1 (- +) 鉛直

構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-248 最大応答加速度分布図(8/20) (解析ケース①)



(a) $S_s - N_2(N_S)(++)$ 水平



(b) $S_s - N_2(N_S)(++)$ 鉛直

構造スケール $\frac{0}{2}(\text{m})$

応答値スケール $\frac{0}{1500}(\text{cm/s}^2)$

図 4-249 最大応答加速度分布図(9/20) (解析ケース①)



(a) $S_s - N_2(N_S) (-+)$ 水平



(b) $S_s - N_2(N_S) (-+)$ 鉛直

構造スケール $\frac{0}{2}(\text{m})$

応答値スケール $\frac{0}{1500}(\text{cm/s}^2)$

図 4-250 最大応答加速度分布図(10/20) (解析ケース①)



(a) $S_s - N_2 (EW) (++)$ 水平



(b) $S_s - N_2 (EW) (++)$ 鉛直

構造スケール $\frac{0}{2} (m)$

応答値スケール $\frac{0}{1500} (cm/s^2)$

図 4-251 最大応答加速度分布図 (11/20) (解析ケース①)



(a) $S_s - N_2 (EW) (-+)$ 水平



(b) $S_s - N_2 (EW) (-+)$ 鉛直

構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1500 (cm/s^2)$

図 4-252 最大応答加速度分布図 (12/20) (解析ケース①)



(a) S s - D (++) 水平



(b) S s - D (++) 鉛直

構造スケール $\frac{0}{2(m)}$

応答値スケール $\frac{0}{1500 (cm/s^2)}$

図 4-253 最大応答加速度分布図(13/20) (解析ケース②)



(a) $S_s - D (-+)$ 水平



(b) $S_s - D (-+)$ 鉛直

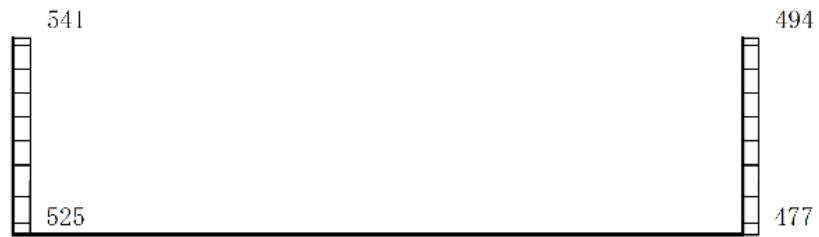
構造スケール $\frac{0}{2(m)}$

応答値スケール $\frac{0}{1500 (cm/s^2)}$

図 4-254 最大応答加速度分布図(14/20) (解析ケース②)



(a) S s - D (++) 水平



(b) S s - D (++) 鉛直

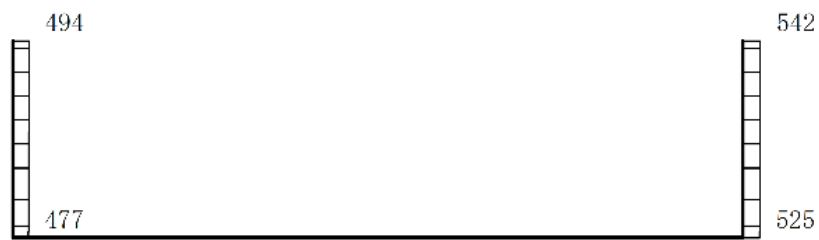
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-255 最大応答加速度分布図(15/20) (解析ケース③)



(a) S s - D (-+) 水平



(b) S s - D (-+) 鉛直

構造スケール $\frac{0}{2(m)}$

応答値スケール $\frac{0}{1500 (cm/s^2)}$

図 4-256 最大応答加速度分布図(16/20) (解析ケース③)



(a) $S_s - D(++)$ 水平



(b) $S_s - D(++)$ 鉛直

構造スケール $\underbrace{\quad\quad}_0 \quad 2(\text{m})$

応答値スケール $\underbrace{\quad\quad}_0 \quad 1500(\text{cm/s}^2)$

図 4-257 最大応答加速度分布図(17/20) (解析ケース④)



(a) S s - D (- +) 水平



(b) S s - D (- +) 鉛直

構造スケール $\underbrace{\quad\quad}_0 \quad 2(\text{m})$

応答値スケール $\underbrace{\quad\quad}_0 \quad 1500(\text{cm/s}^2)$

図 4-258 最大応答加速度分布図(18/20) (解析ケース④)



(a) S s - D (+ +) 水平



(b) S s - D (+ +) 鉛直

構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

図 4-259 最大応答加速度分布図(19/20) (解析ケース⑤)



(a) S s - D (- +) 水平



(b) S s - D (- +) 鉛直

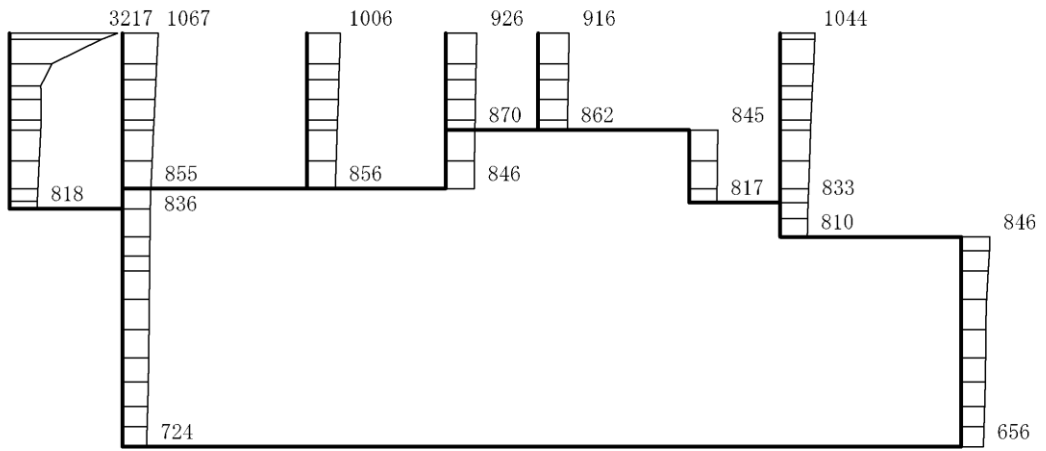
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1500 (cm/s²)

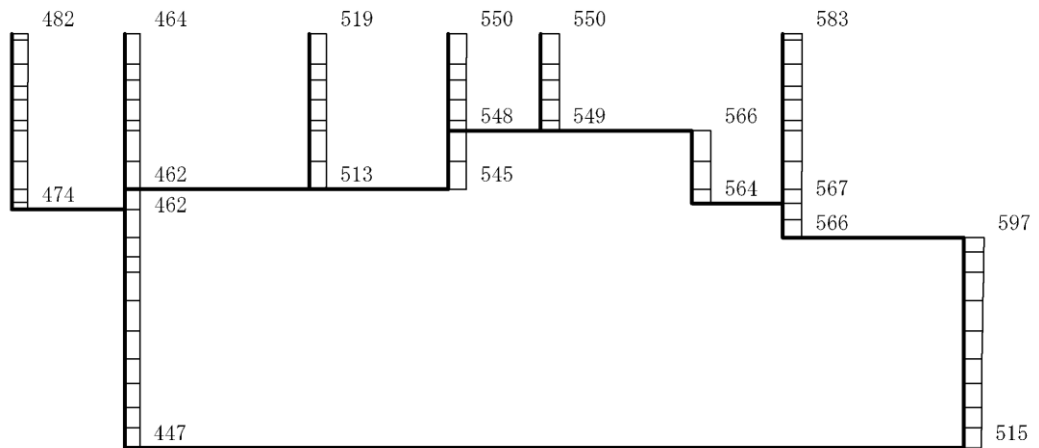
図 4-260 最大応答加速度分布図 (20/20) (解析ケース⑤)

4.4 D-D断面の解析結果

耐震評価のために用いる応答加速度として、解析ケース⑥（基本ケース）について、すべての基準地震動 S_s に対する最大加速度分布図を図 4-261～図 4-272 に示す。また、解析ケース⑥において、照査項目ごとに照査値が 0.5 を超えるケースで照査値が最大となる地震動について、解析ケース⑦及び⑧の最大加速度分布図を図 4-273～図 4-276 に示す。さらに、機器・配管系に対する応答加速度抽出のための解析ケース⑦及び⑧のすべての基準地震動 S_s に対する最大加速度分布図を図 4-277～図 4-300 に示す。これらに加え、解析ケース⑥～⑧のすべての弾性設計用地震動 S_d に対する最大加速度分布図を図 4-301～図 4-348 に示す。



(a) S s - D (++) 水平

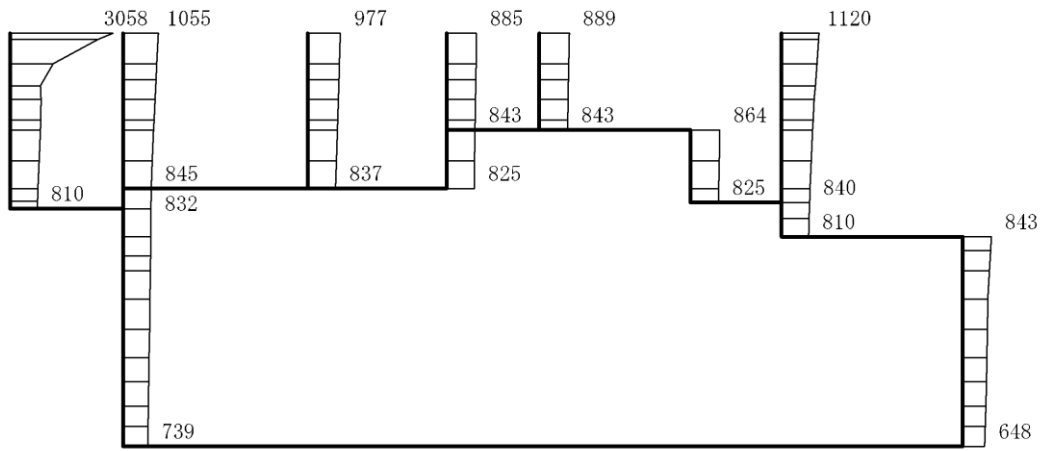


(b) S s - D (++) 鉛直

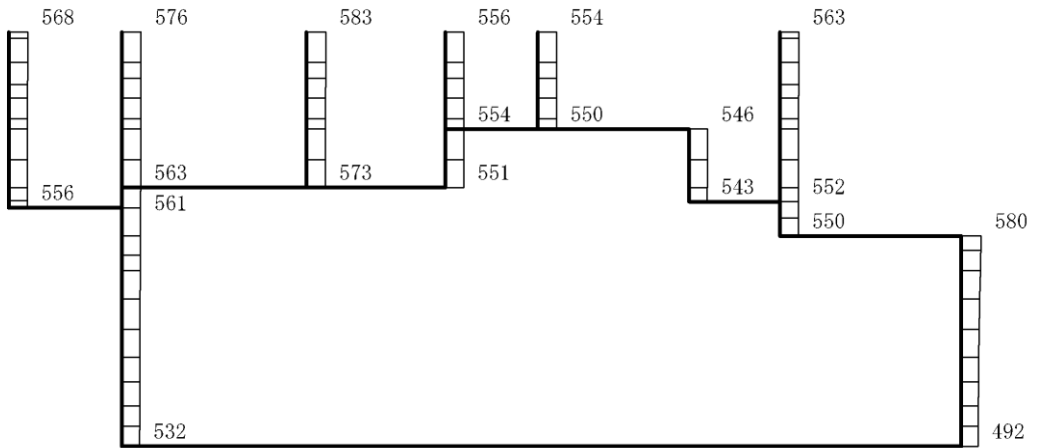
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-261 最大応答加速度分布図(1/88) (解析ケース⑥)



(a) S s - D (- +) 水平

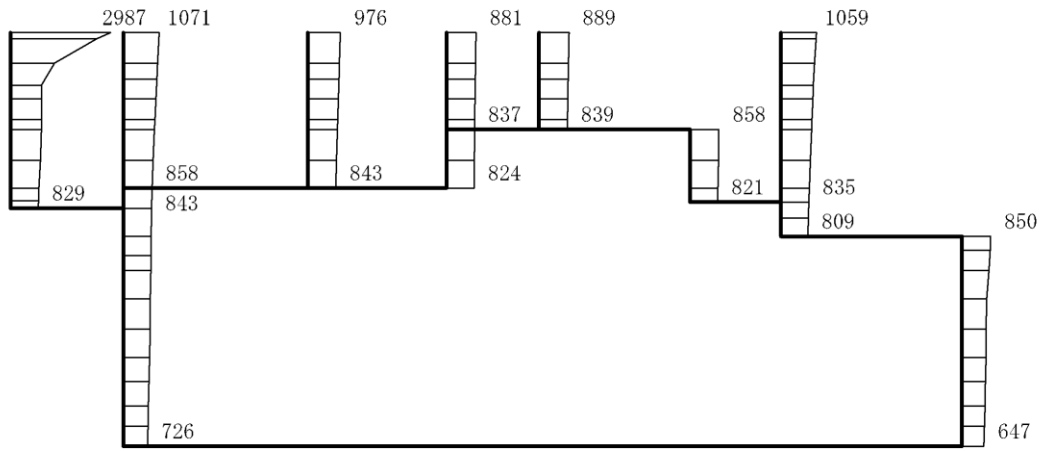


(b) S s - D (- +) 鉛直

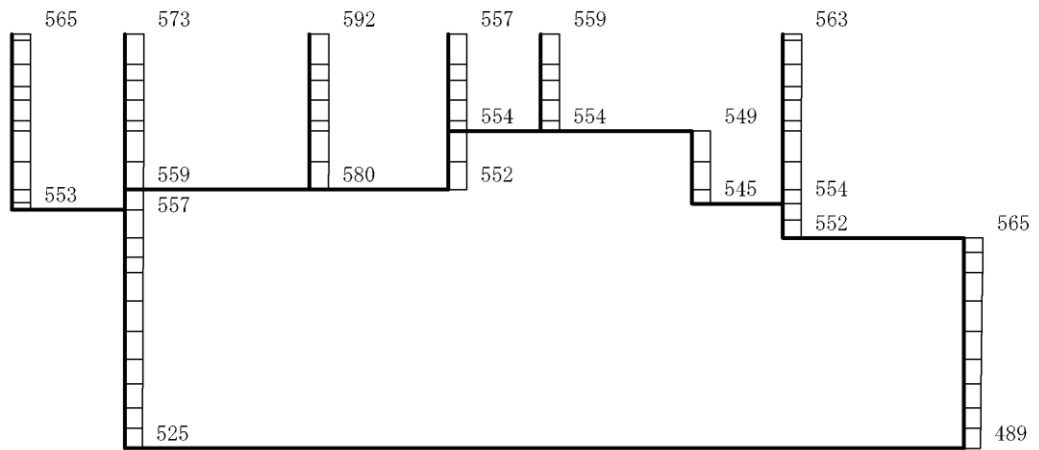
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-262 最大応答加速度分布図(2/88) (解析ケース⑥)



(a) S s - D (+ -) 水平

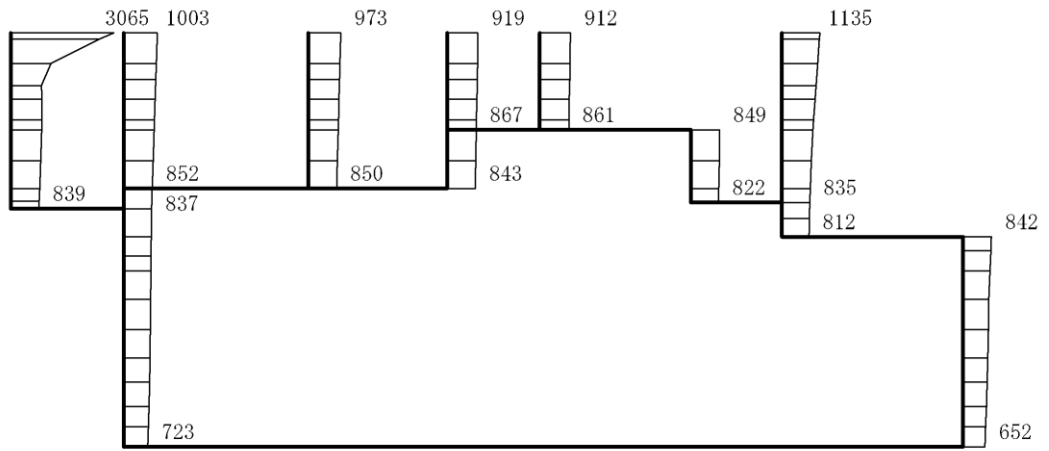


(b) S s - D (+ -) 鉛直

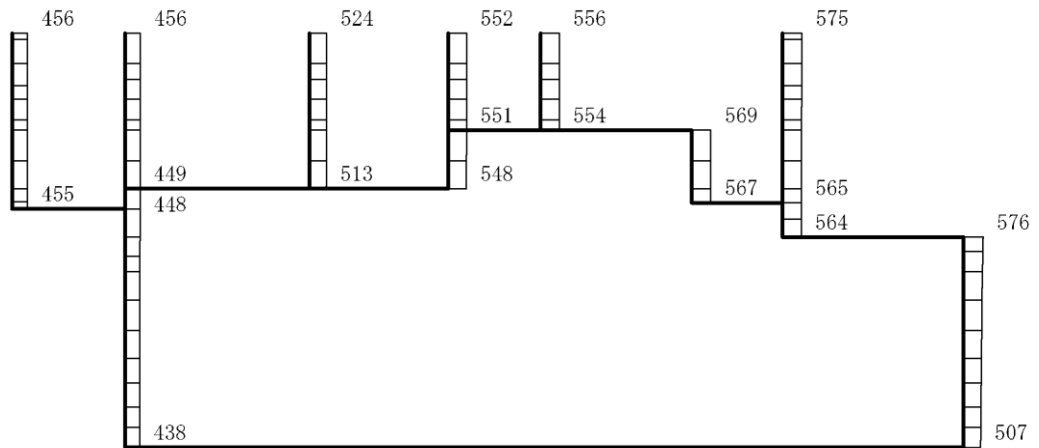
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-263 最大応答加速度分布図(3/88) (解析ケース⑥)



(a) S s - D (---) 水平

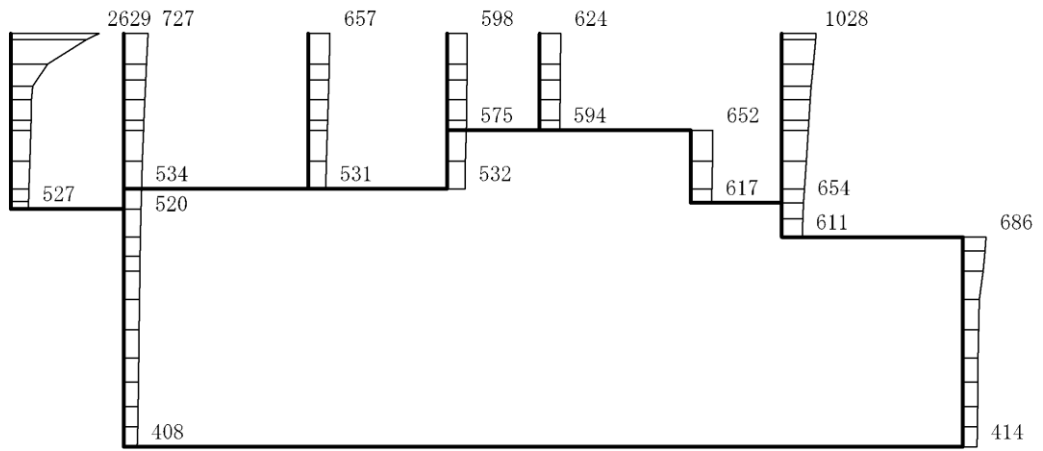


(b) S s - D (---) 鉛直

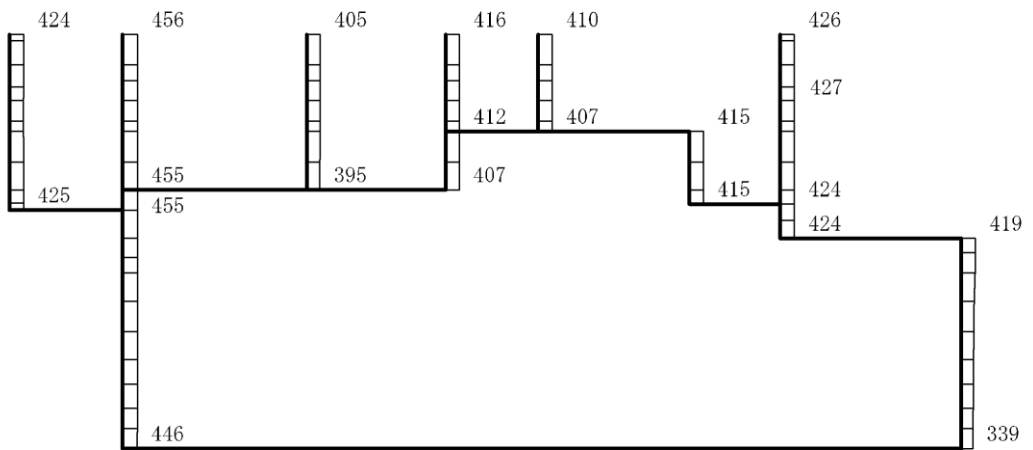
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-264 最大応答加速度分布図(4/88) (解析ケース⑥)



(a) S s - F 1 (+ +) 水平

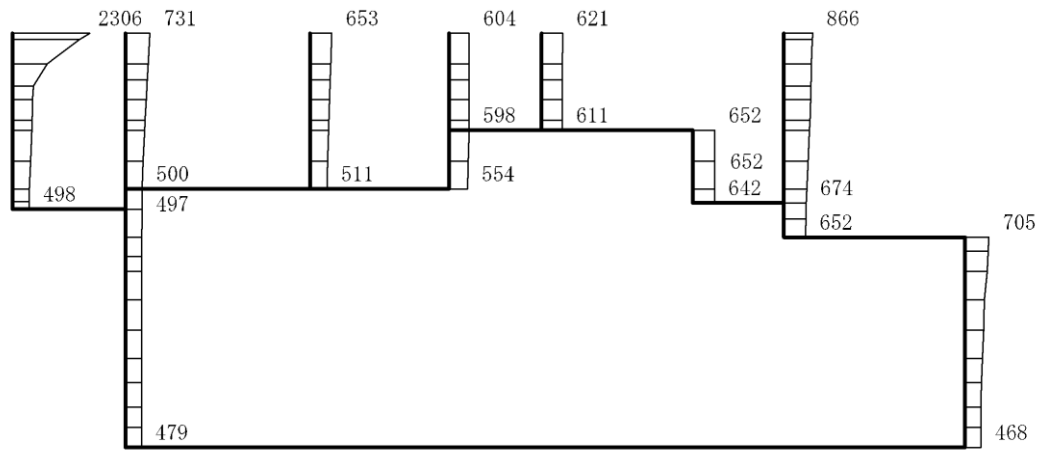


(b) S s - F 1 (+ +) 鉛直

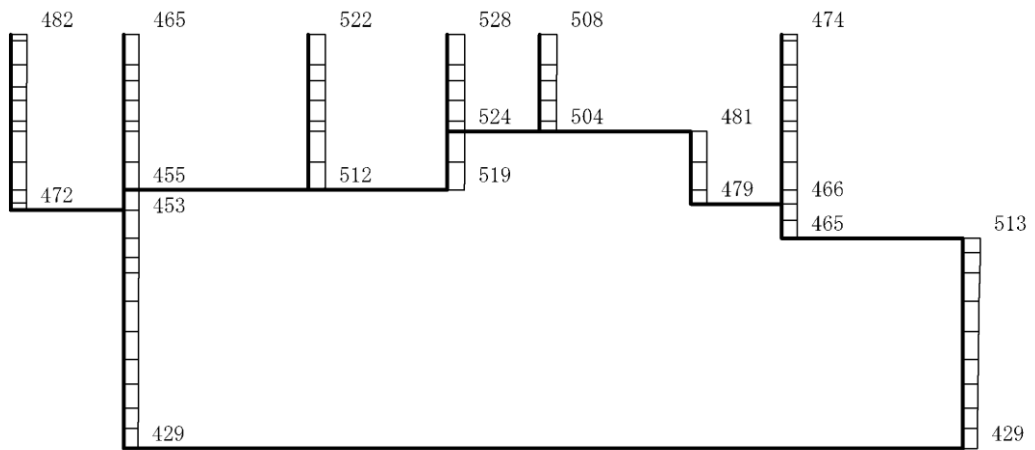
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-265 最大応答加速度分布図(5/88) (解析ケース⑥)



(a) S s - F 2 (++) 水平

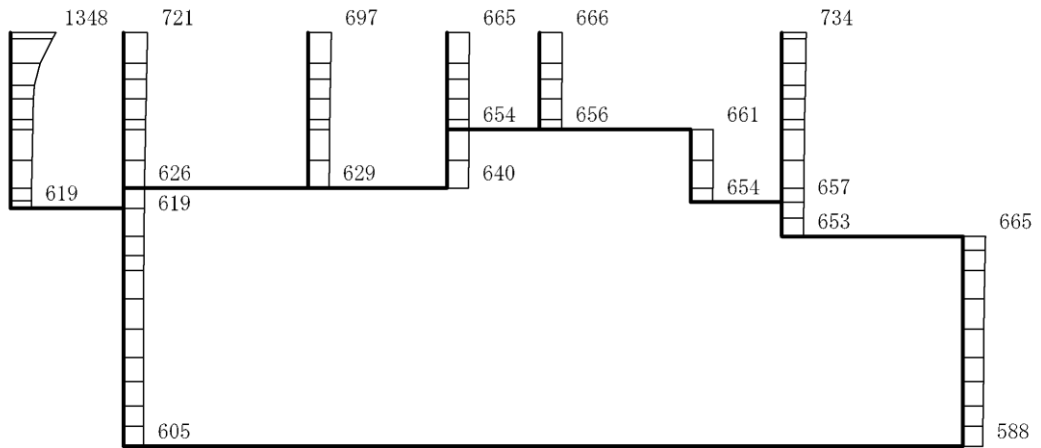


(b) S s - F 2 (++) 鉛直

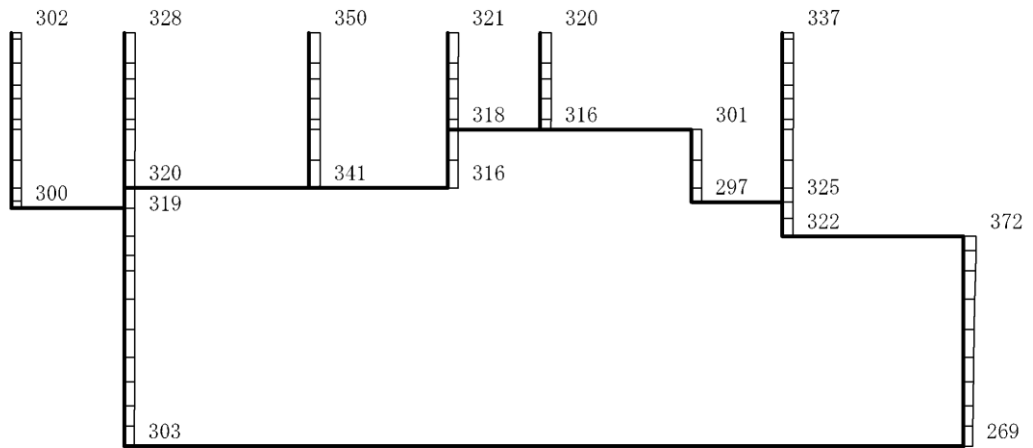
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-266 最大応答加速度分布図(6/88) (解析ケース⑥)



(a) S s - N 1 (++) 水平

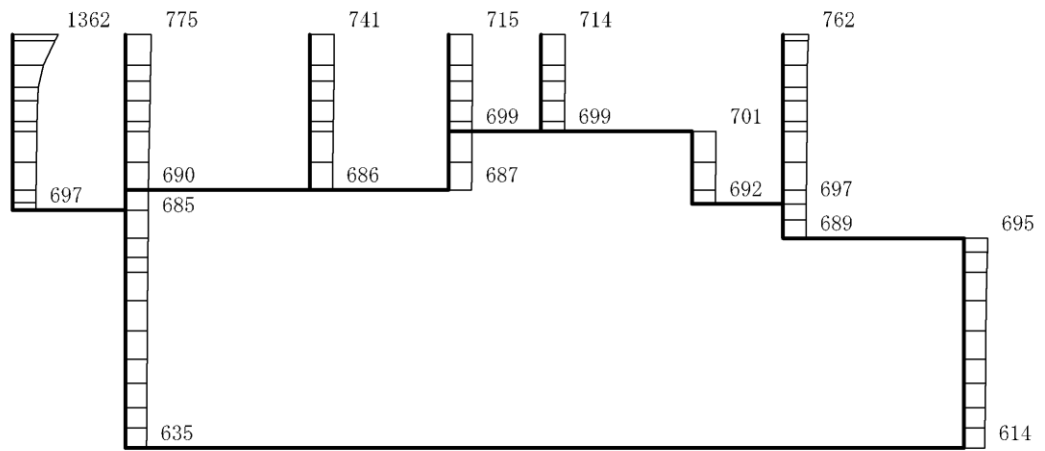


(b) S s - N 1 (++) 鉛直

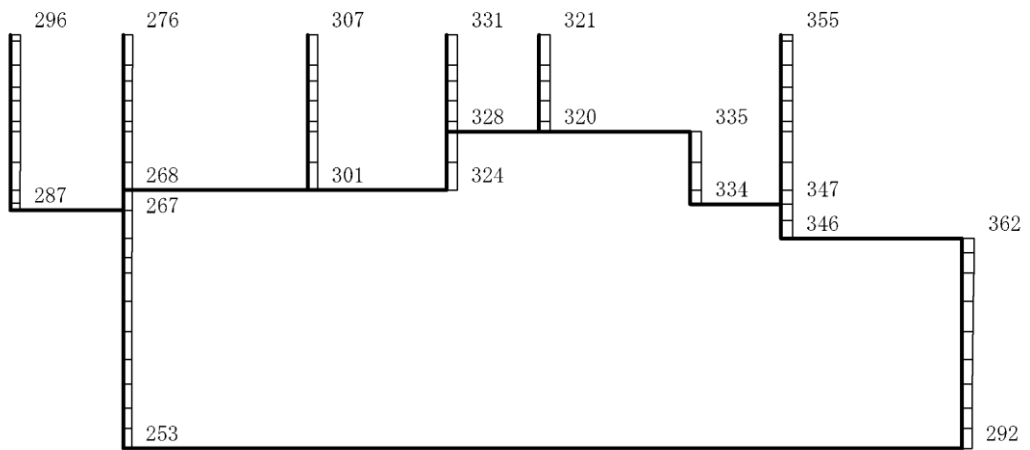
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-267 最大応答加速度分布図(7/88) (解析ケース⑥)



(a) S s - N 1 (- +) 水平

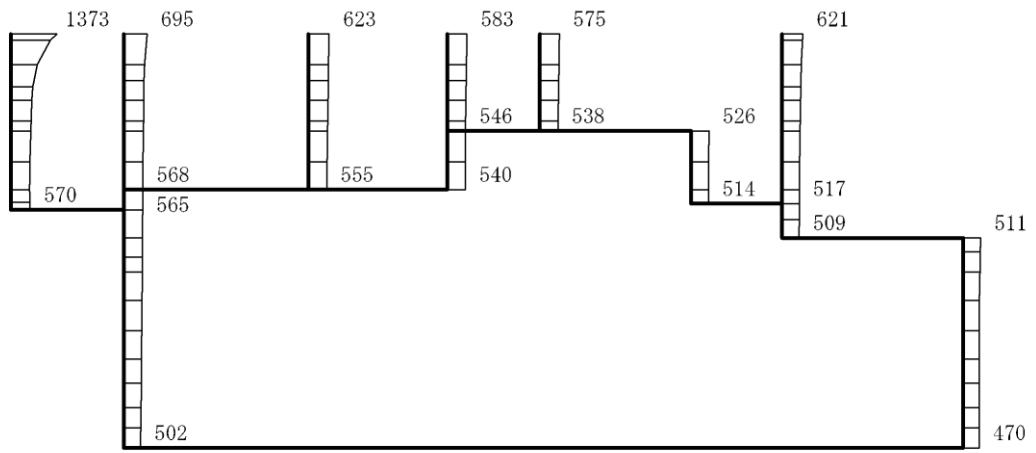


(b) S s - N 1 (- +) 鉛直

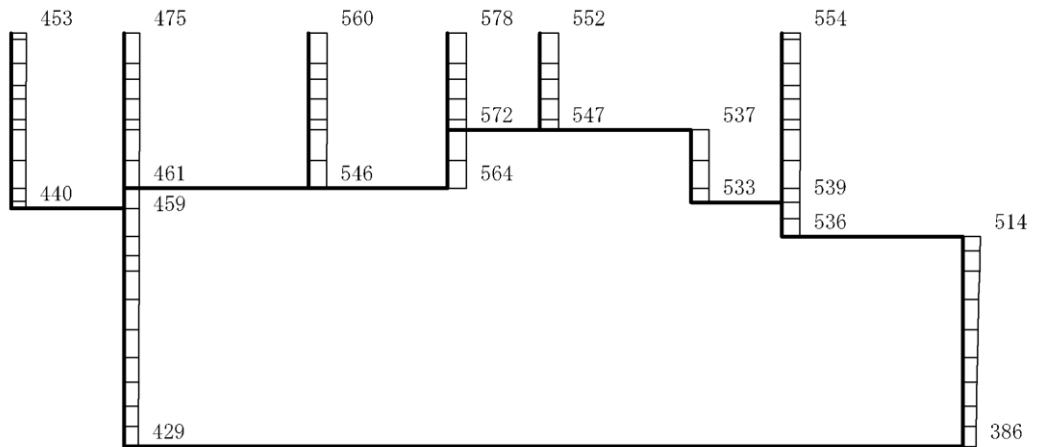
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-268 最大応答加速度分布図(8/88) (解析ケース⑥)



(a) $S_s - N2(N S) (++)$ 水平

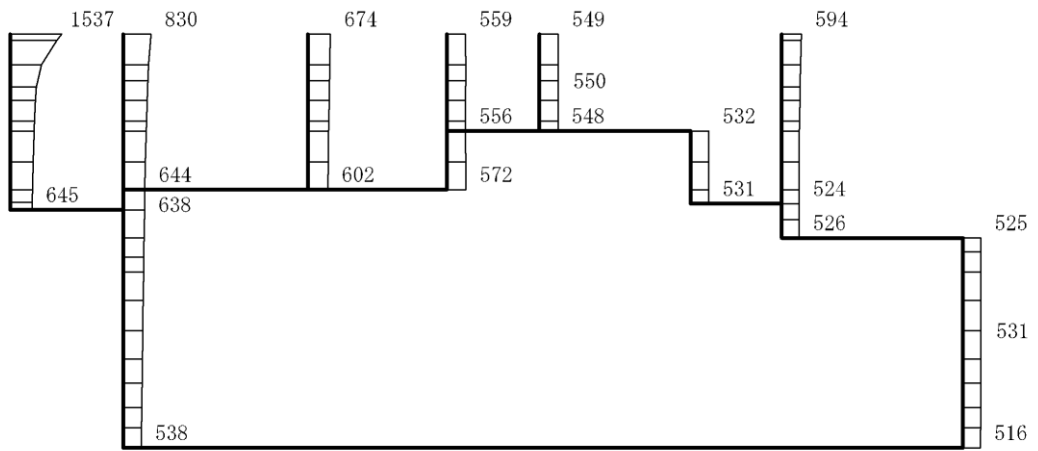


(b) $S_s - N2(N S) (++)$ 鉛直

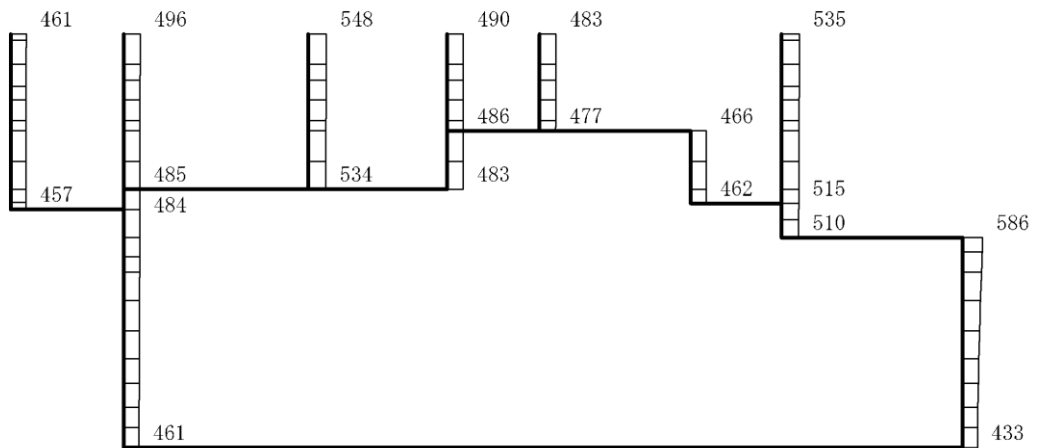
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-269 最大応答加速度分布図(9/88) (解析ケース⑥)



(a) $S_s - N2 (NS) (-+)$ 水平

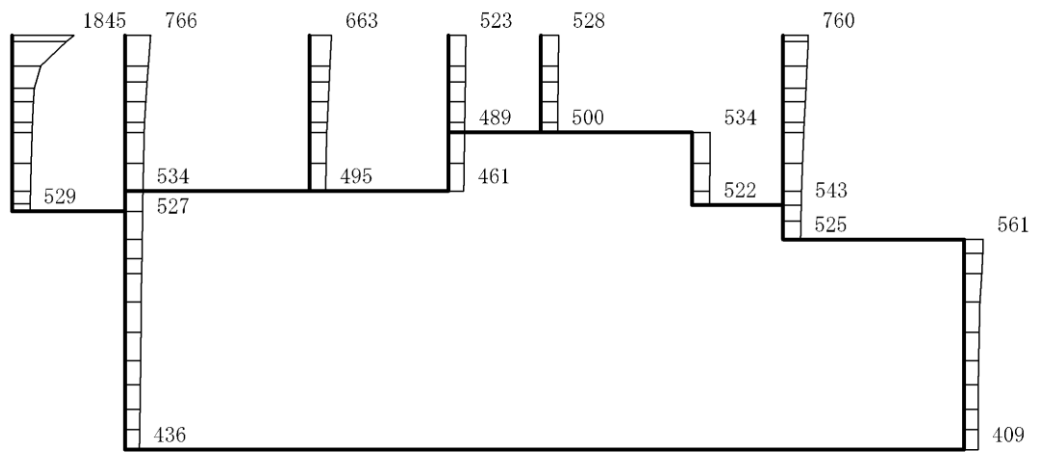


(b) $S_s - N2 (NS) (-+)$ 鉛直

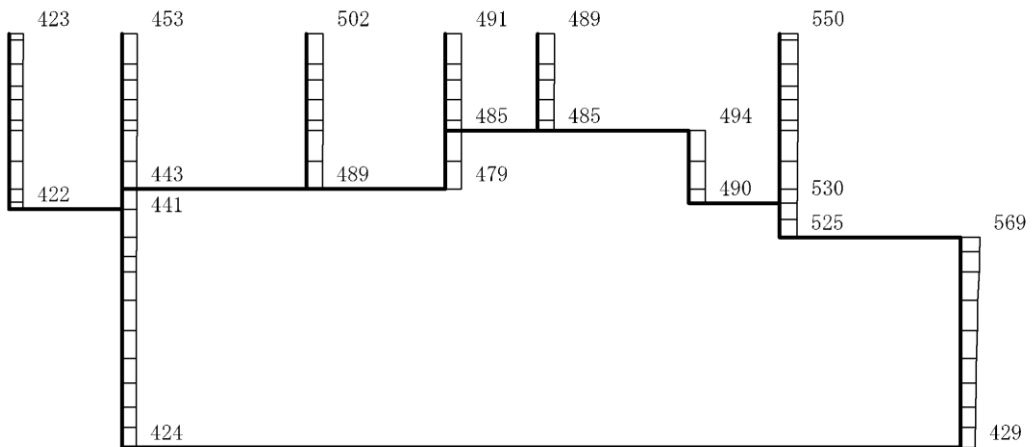
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1200 (cm/s^2)$

図 4-270 最大応答加速度分布図(10/88) (解析ケース⑥)



(a) $S_s - N2 (EW) (++)$ 水平

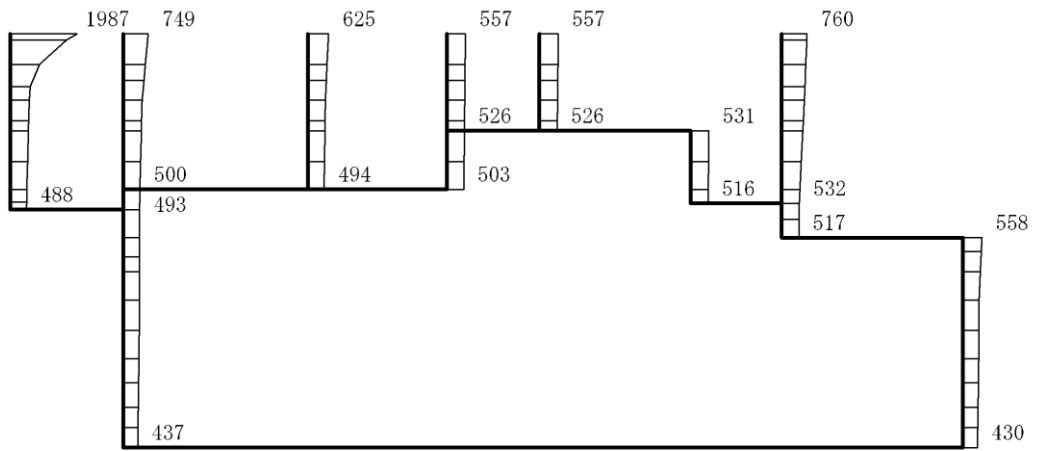


(b) $S_s - N2 (EW) (++)$ 鉛直

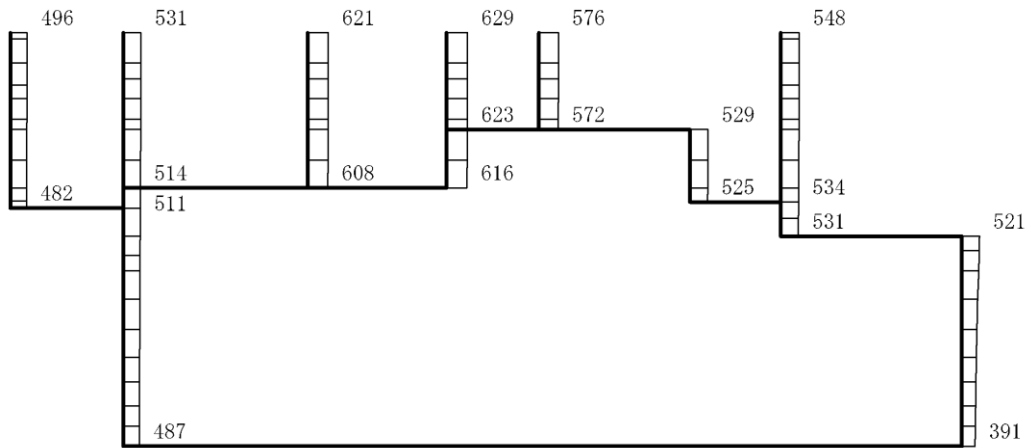
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1200 (cm/s^2)$

図 4-271 最大応答加速度分布図 (11/88) (解析ケース⑥)



(a) $S_s - N2 (EW) (-+)$ 水平

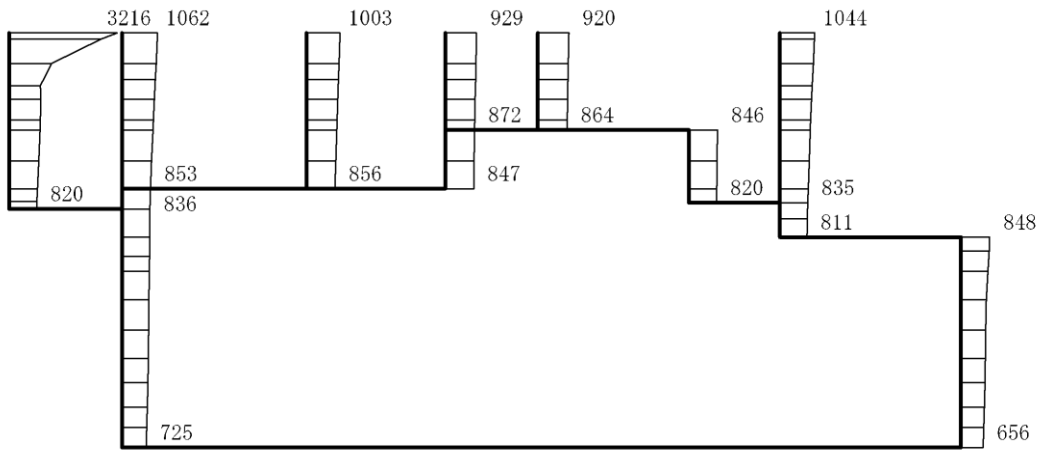


(b) $S_s - N2 (EW) (-+)$ 鉛直

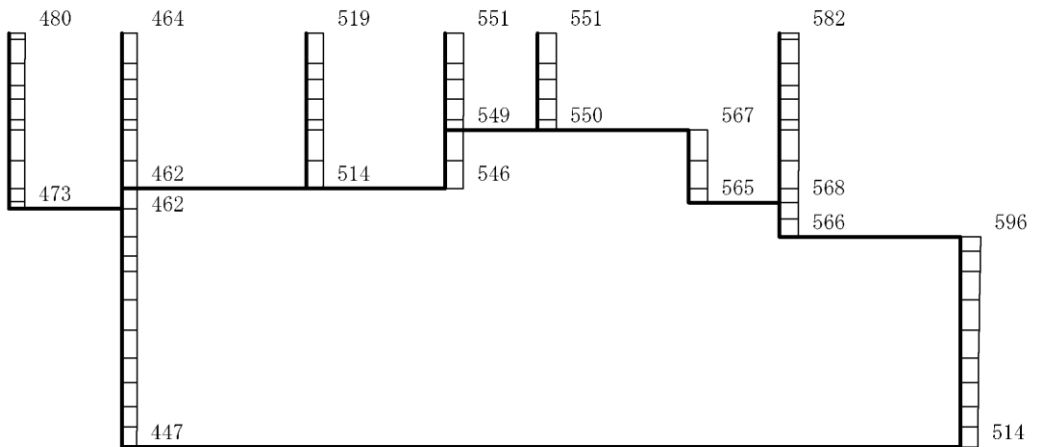
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-272 最大応答加速度分布図(12/88) (解析ケース⑥)



(a) S s - D (++) 水平

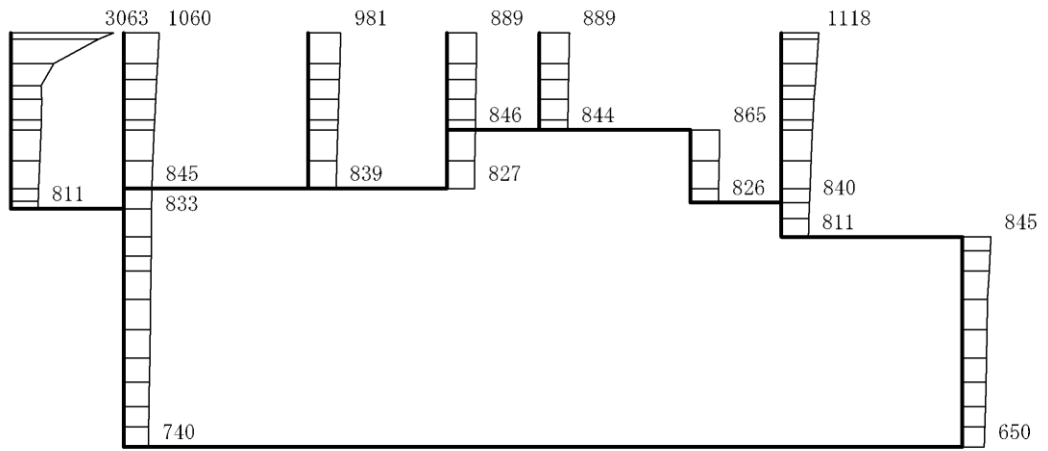


(b) S s - D (++) 鉛直

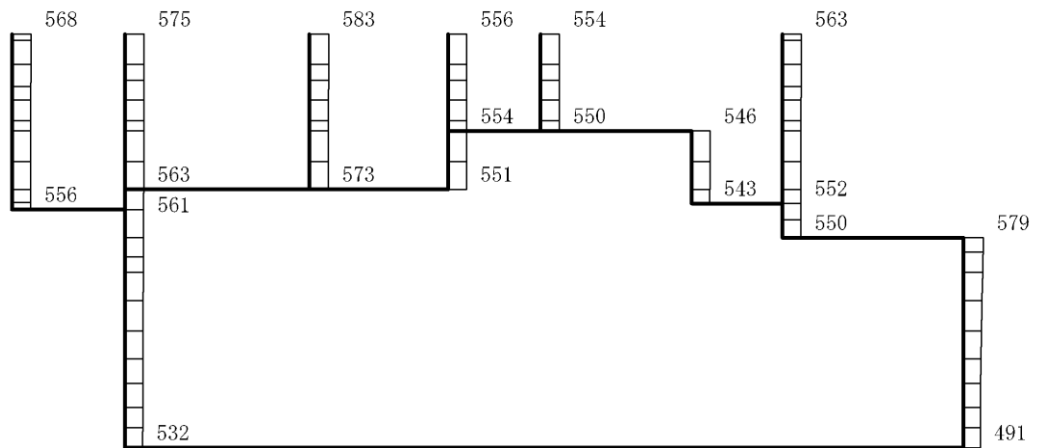
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-273 最大応答加速度分布図(13/88) (解析ケース⑦)



(a) S s - D (- +) 水平

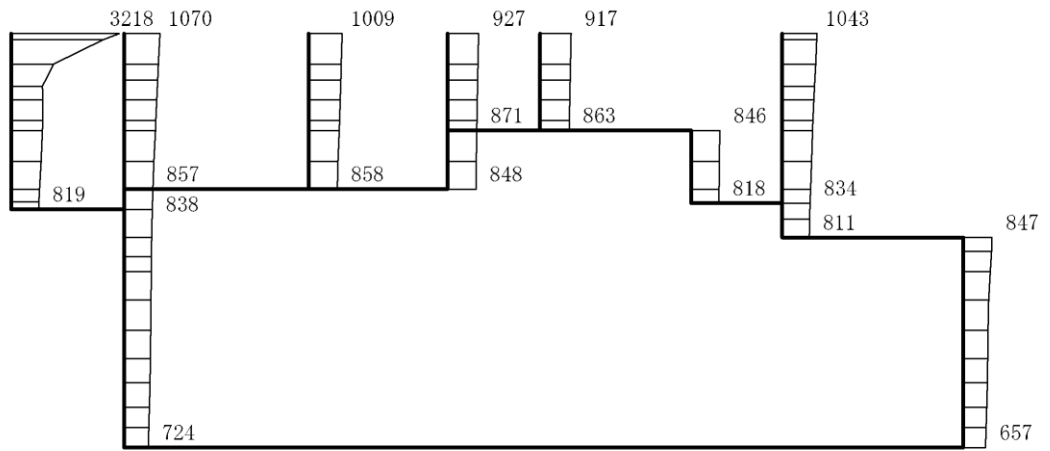


(b) S s - D (- +) 鉛直

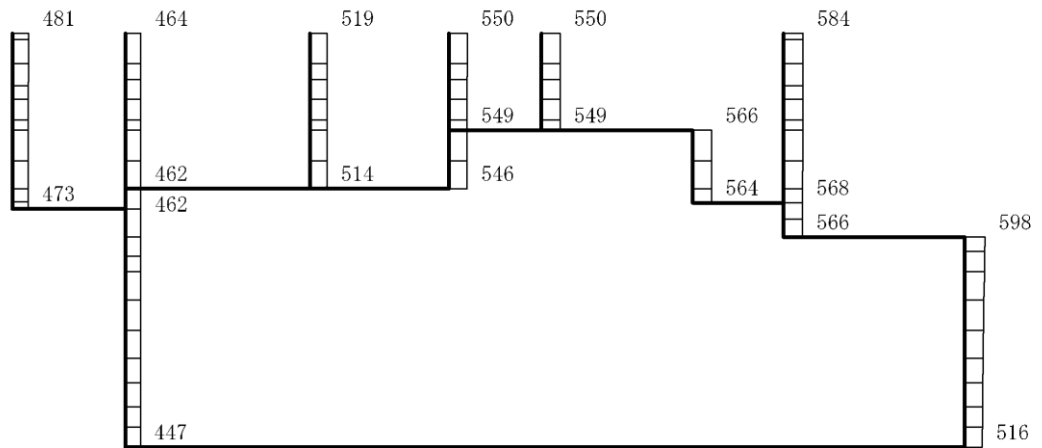
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-274 最大応答加速度分布図(14/88) (解析ケース⑦)



(a) S s - D (+ +) 水平

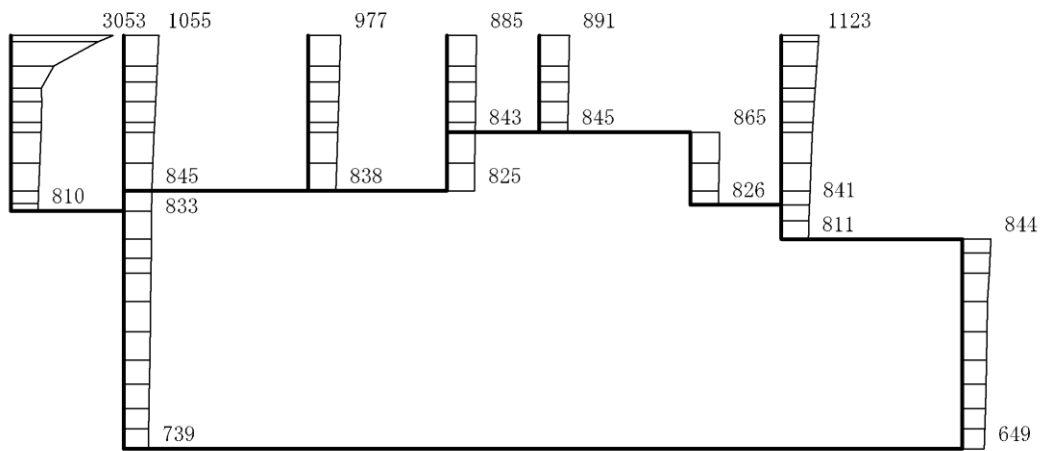


(b) S s - D (+ +) 鉛直

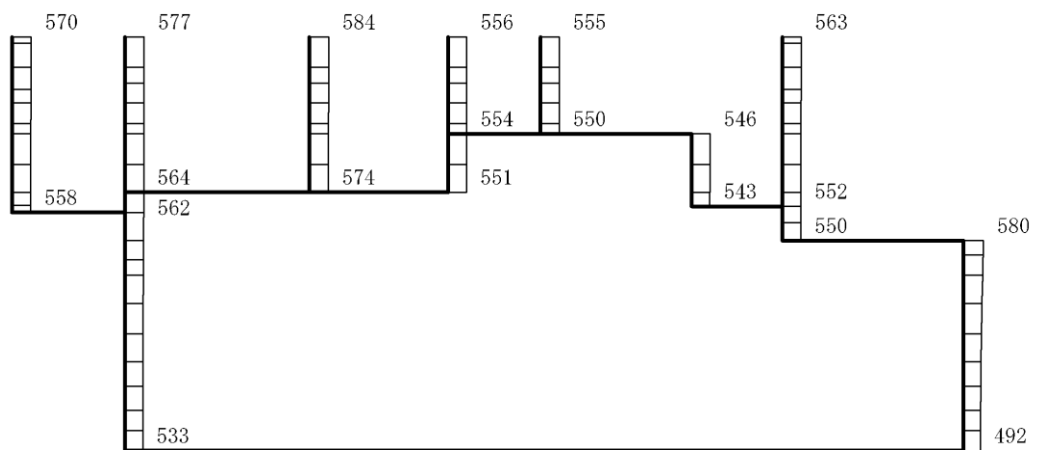
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-275 最大応答加速度分布図(15/88) (解析ケース⑧)



(a) S s - D (-+) 水平

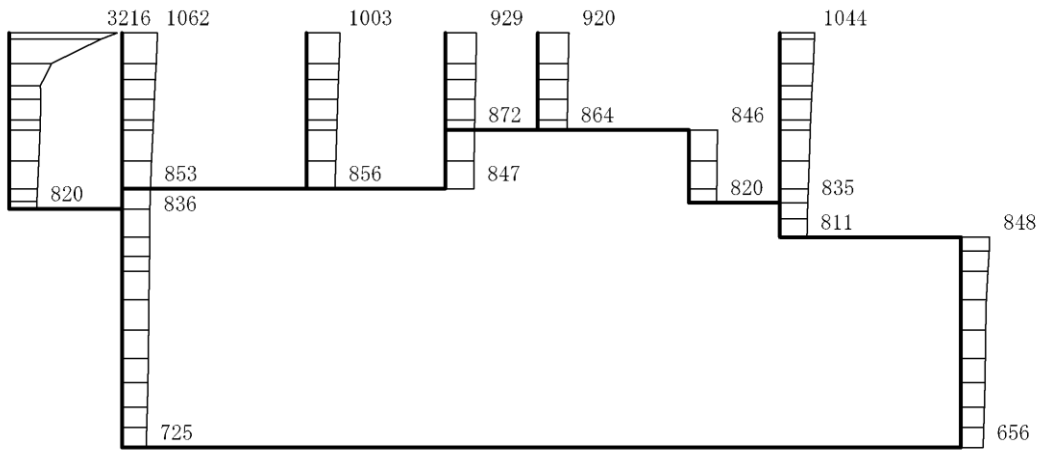


(b) S s - D (-+) 鉛直

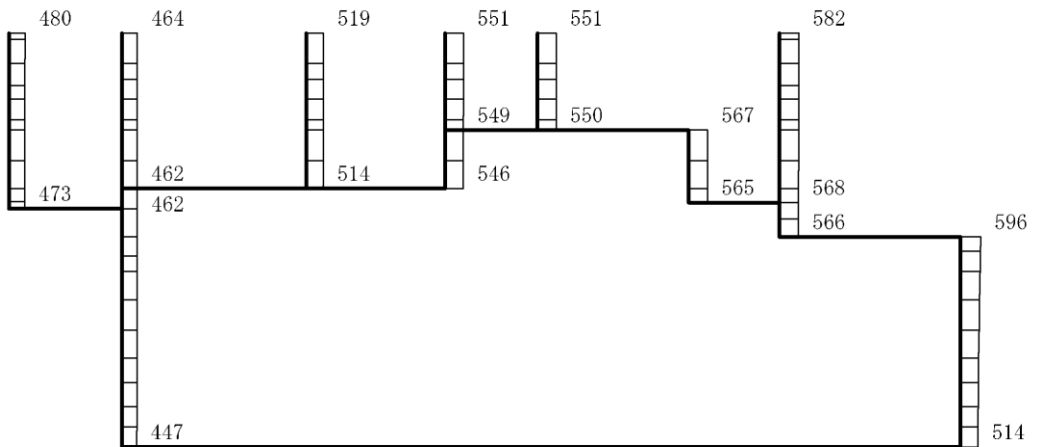
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-276 最大応答加速度分布図(16/88) (解析ケース⑧)



(a) S s - D (++) 水平

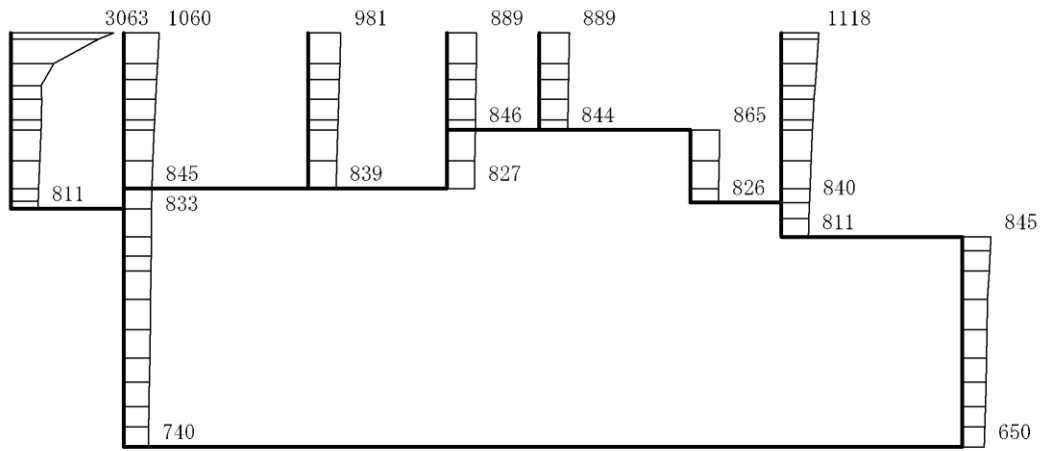


(b) S s - D (++) 鉛直

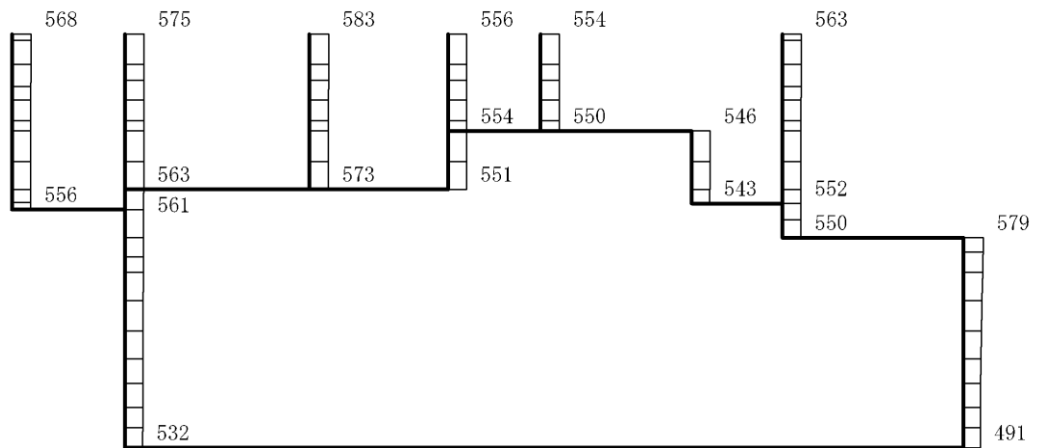
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-277 最大応答加速度分布図(17/88) (解析ケース⑦)



(a) S s - D (- +) 水平

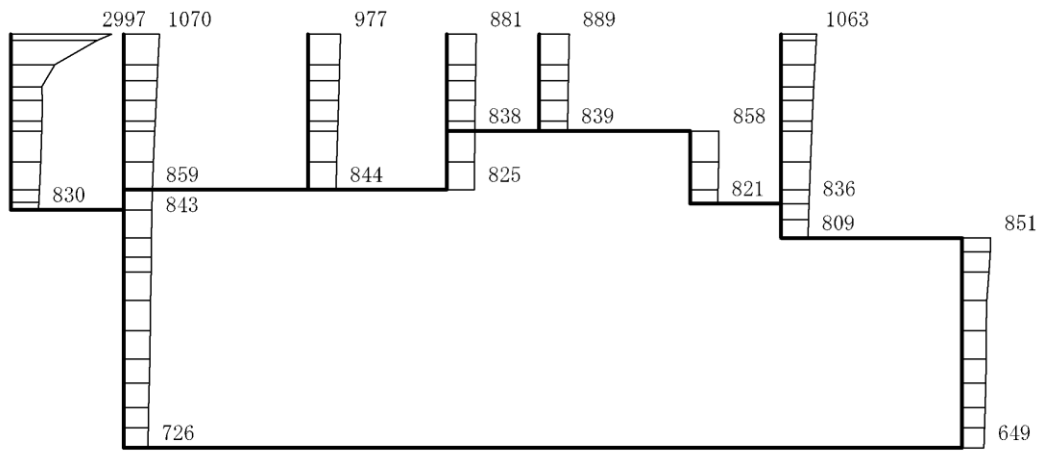


(b) S s - D (- +) 鉛直

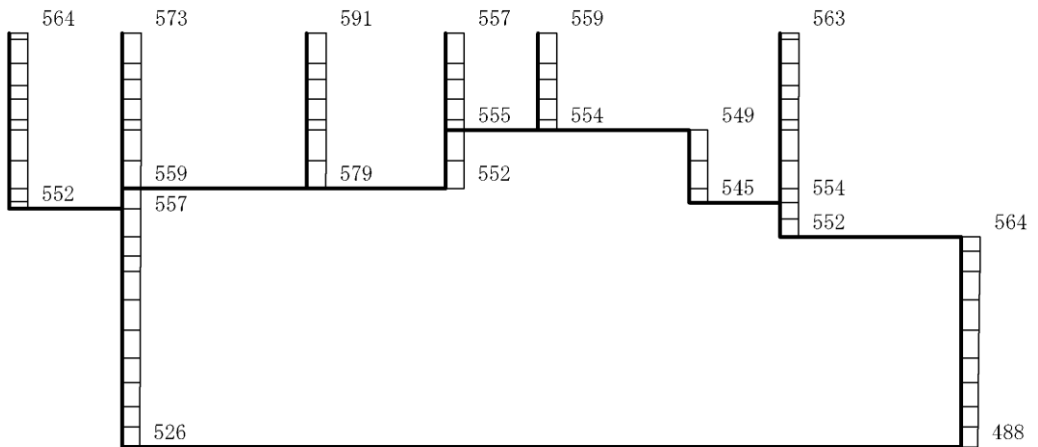
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-278 最大応答加速度分布図(18/88) (解析ケース⑦)



(a) S s - D (+-) 水平

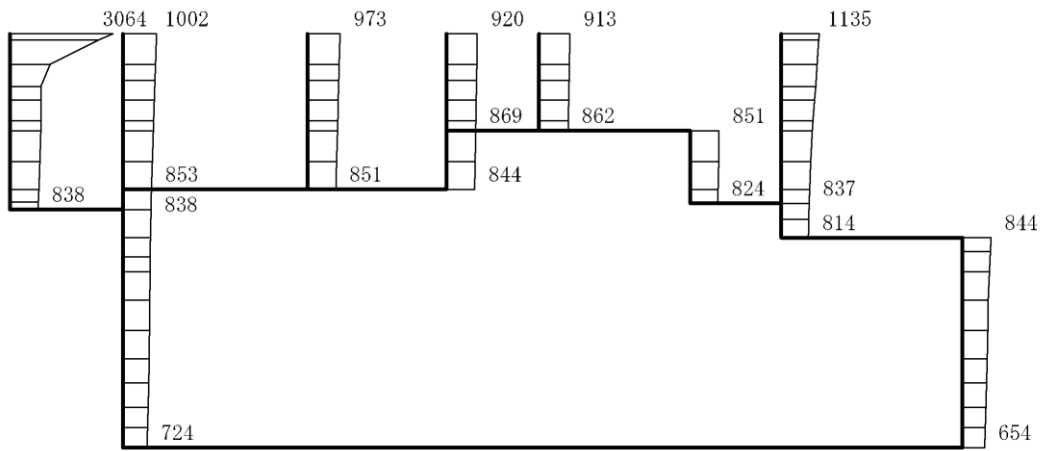


(b) S s - D (+-) 鉛直

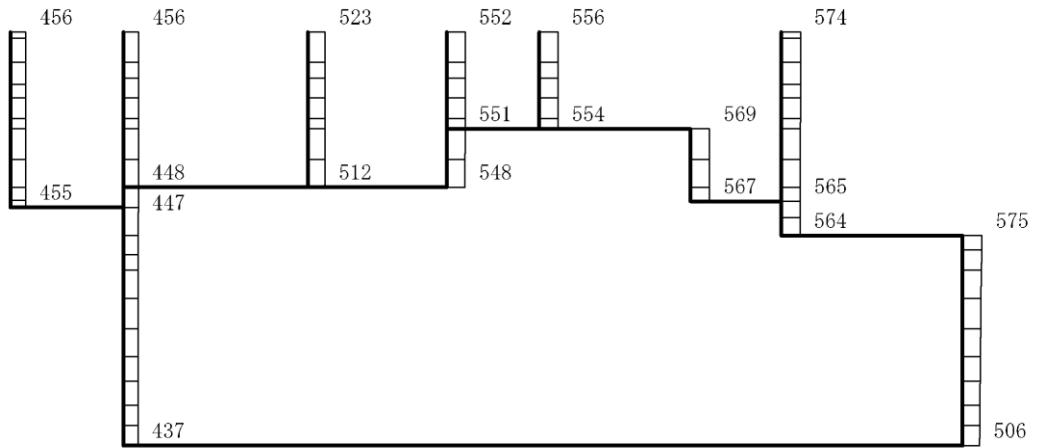
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-279 最大応答加速度分布図(19/88) (解析ケース⑦)



(a) S s - D (---) 水平

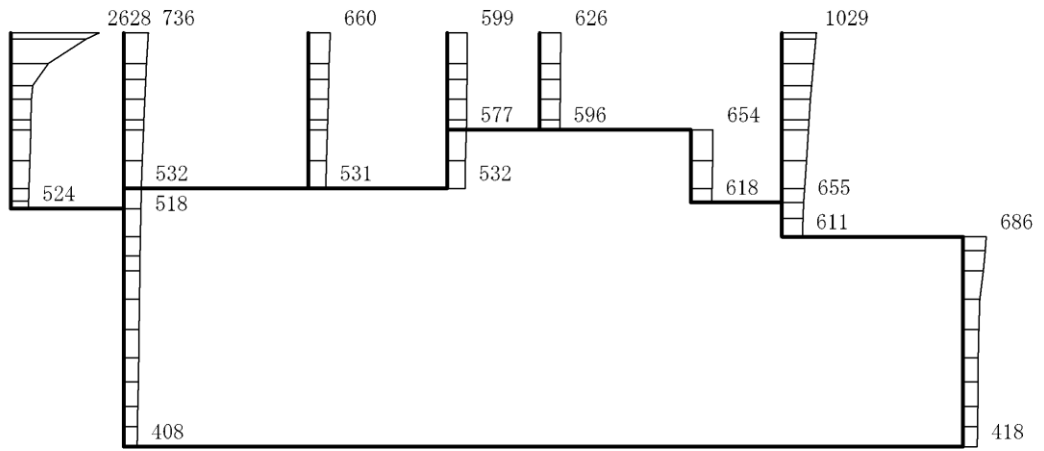


(b) S s - D (---) 鉛直

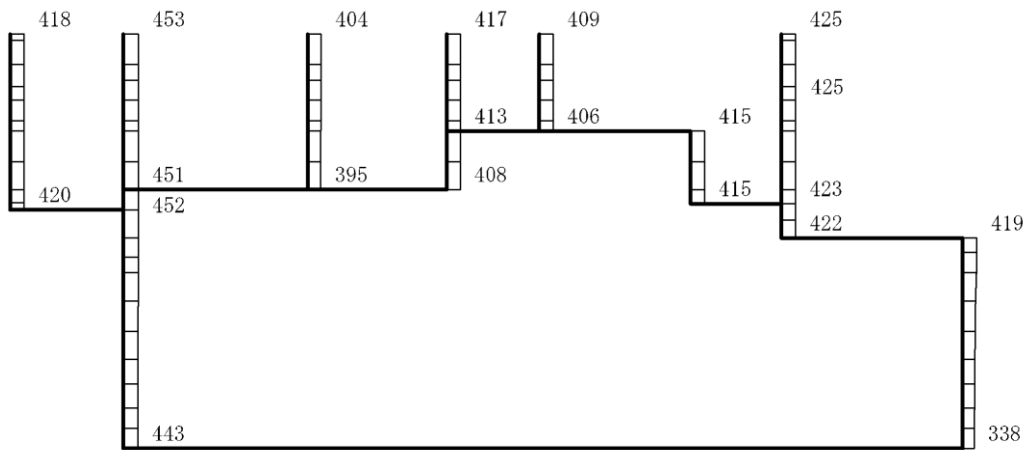
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-280 最大応答加速度分布図 (20/88) (解析ケース⑦)



(a) S s - F 1 (++) 水平

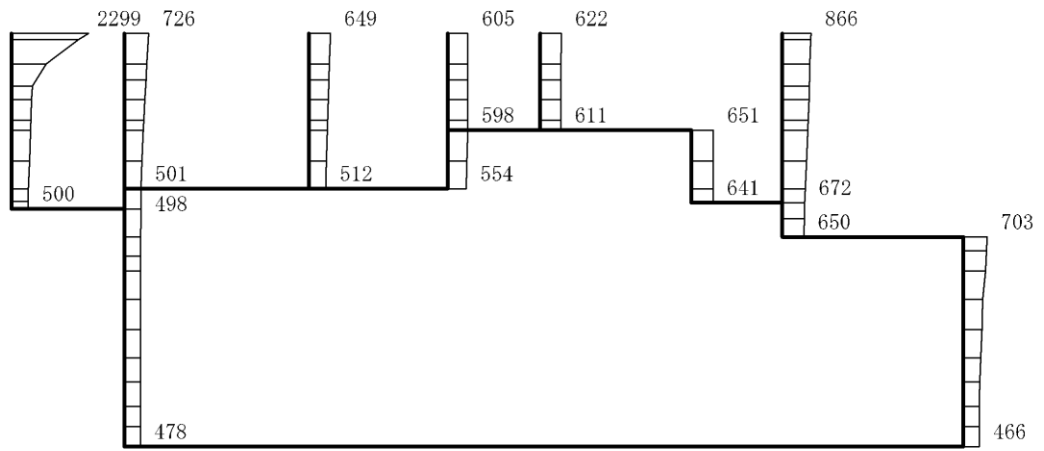


(b) S s - F 1 (++) 鉛直

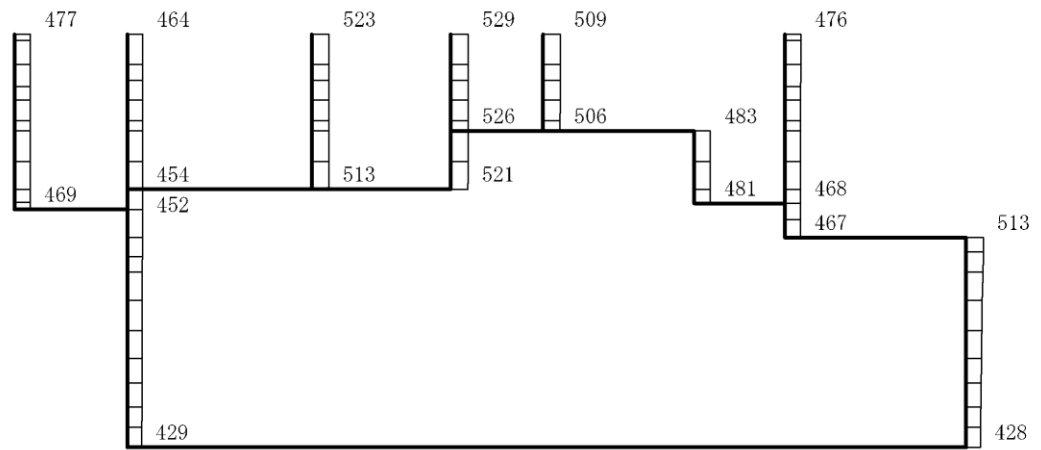
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-281 最大応答加速度分布図 (21/88) (解析ケース⑦)



(a) S s - F 2 (++) 水平

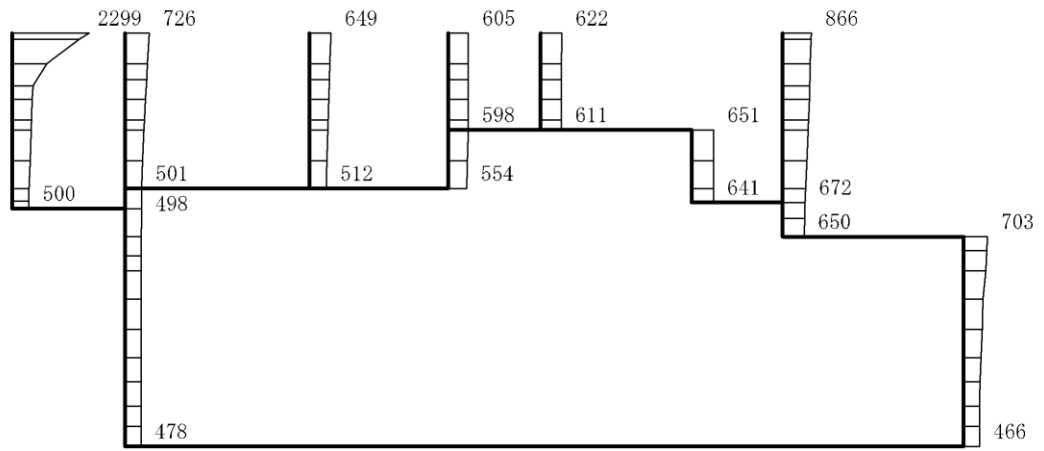


(b) S s - F 2 (++) 鉛直

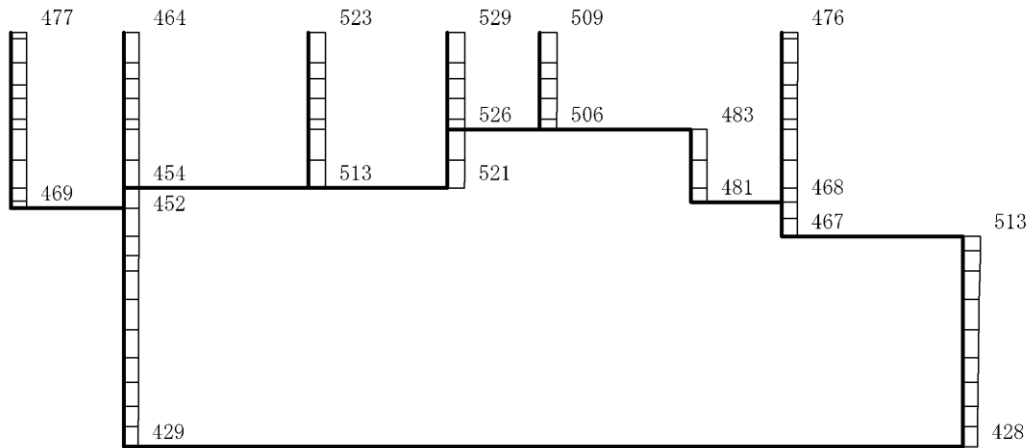
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-282 最大応答加速度分布図 (22/88) (解析ケース⑦)



(a) S s - N 1 (++) 水平

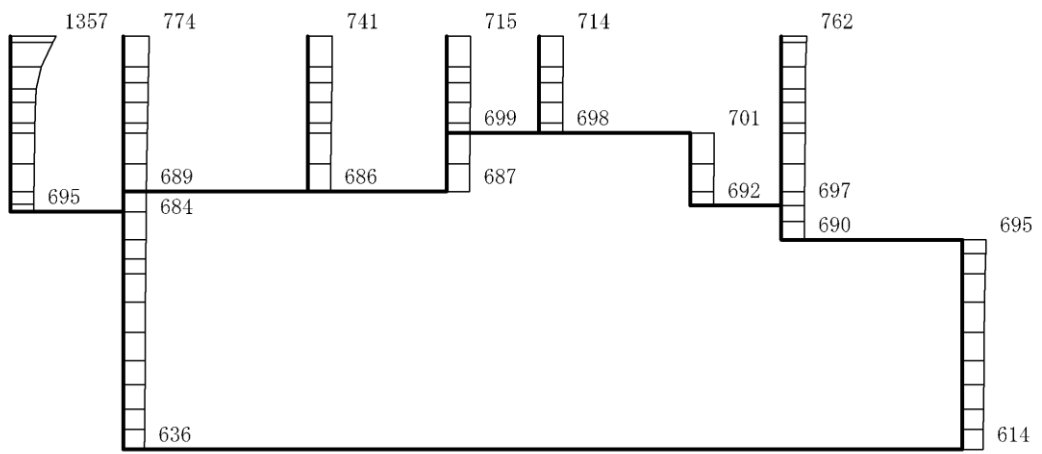


(b) S s - N 1 (++) 鉛直

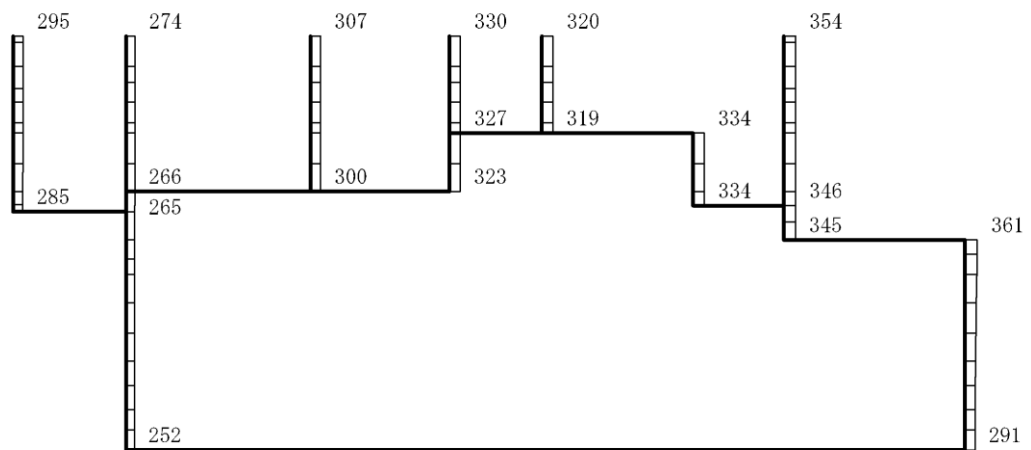
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-283 最大応答加速度分布図 (23/88) (解析ケース⑦)



(a) S s - N 1 (- +) 水平

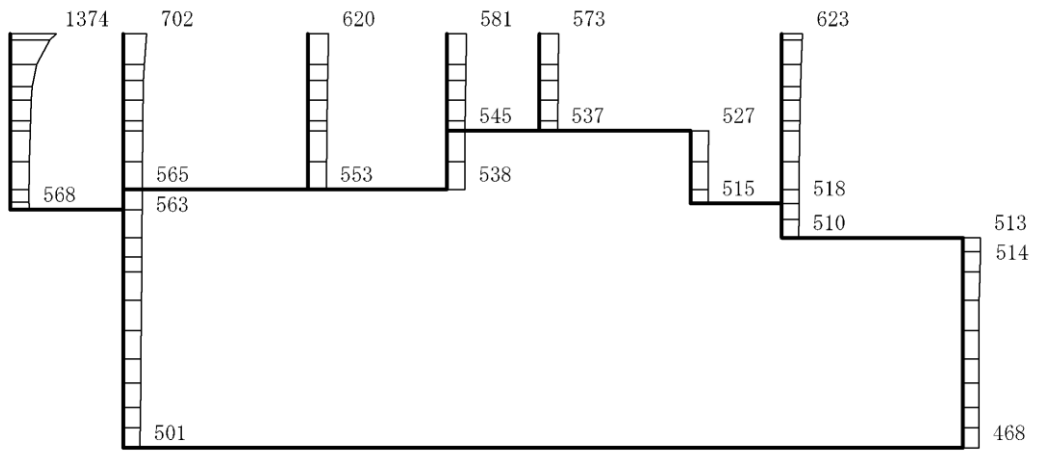


(b) S s - N 1 (- +) 鉛直

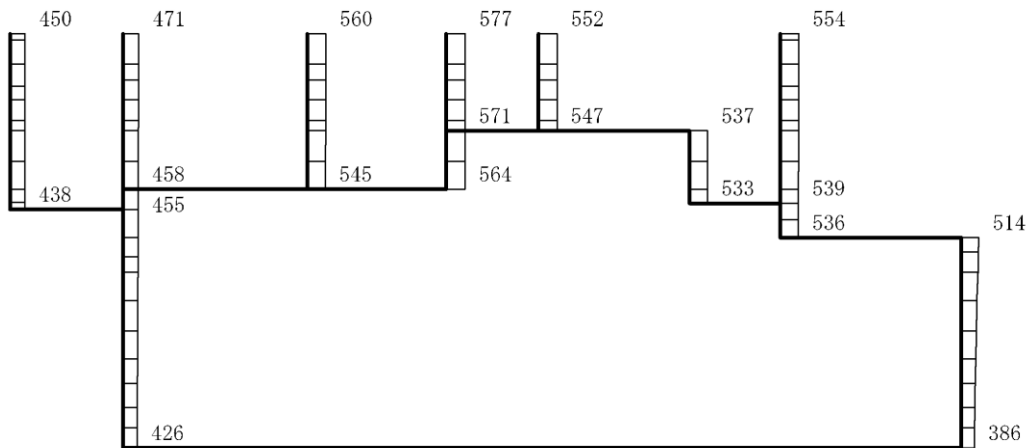
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-284 最大応答加速度分布図 (24/88) (解析ケース⑦)



(a) $S_s - N2(N S) (++)$ 水平

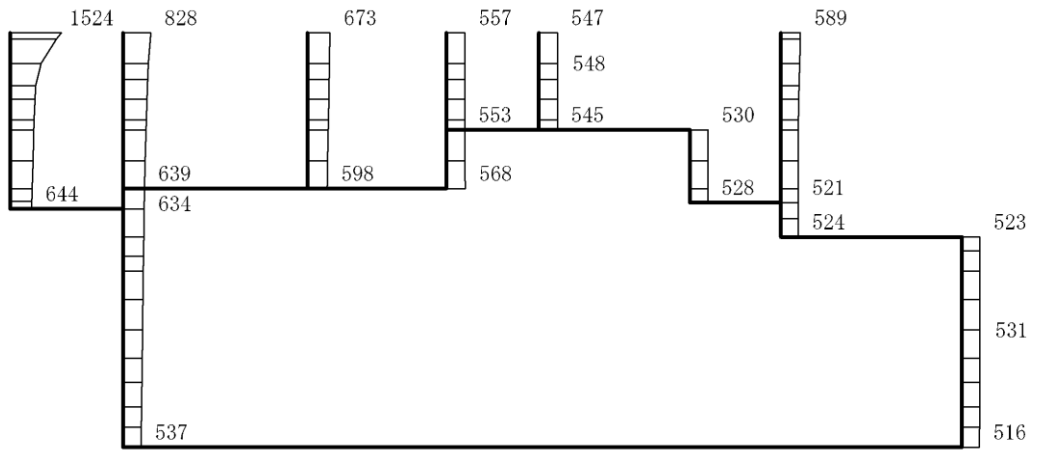


(b) $S_s - N2(N S) (++)$ 鉛直

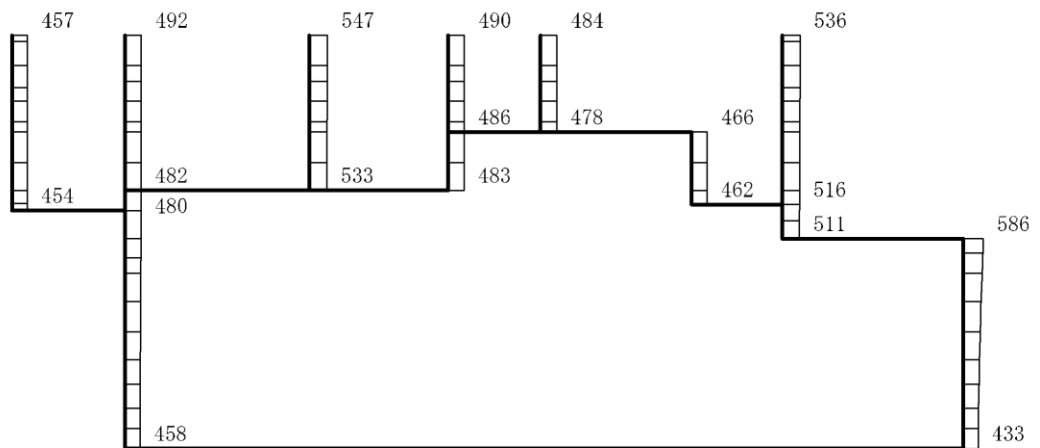
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-285 最大応答加速度分布図 (25/88) (解析ケース⑦)



(a) $S_s - N2 (NS) (-+)$ 水平

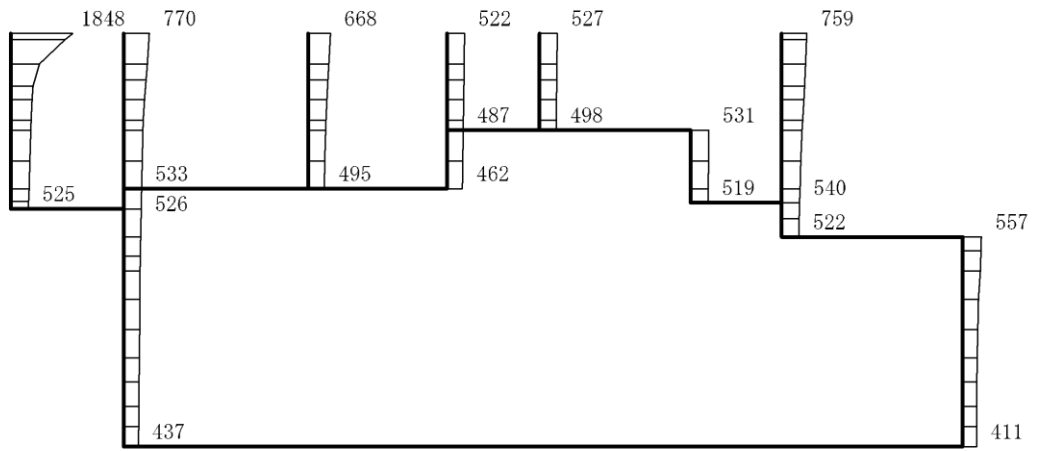


(b) $S_s - N2 (NS) (-+)$ 鉛直

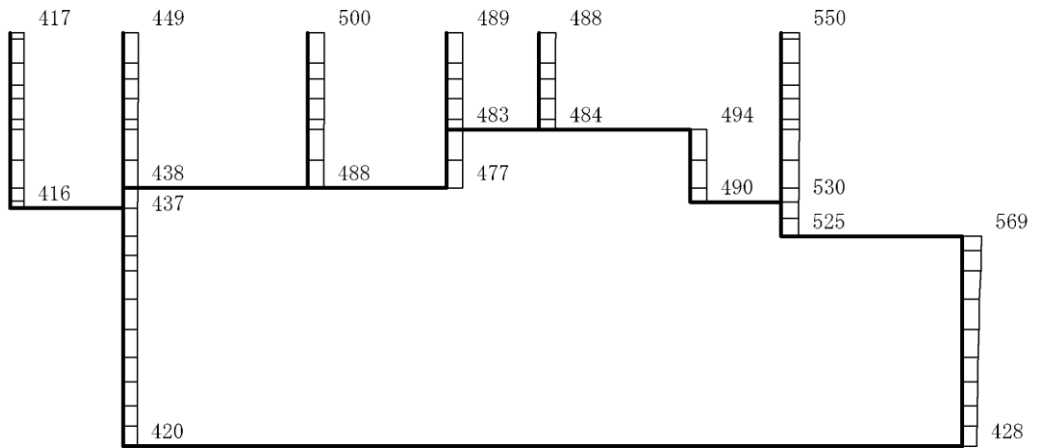
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-286 最大応答加速度分布図 (26/88) (解析ケース⑦)



(a) $S_s - N2(EW)(++)$ 水平

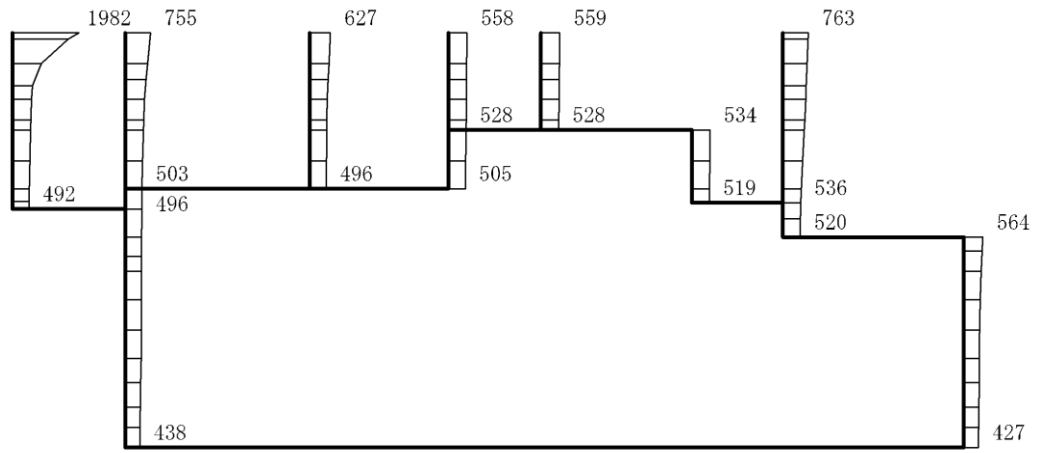


(b) $S_s - N2(EW)(++)$ 鉛直

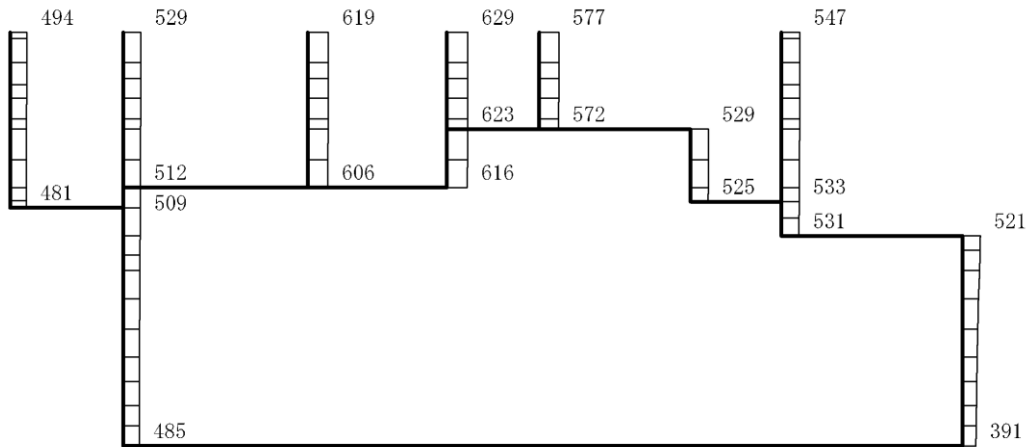
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1200(cm/s^2)$

図 4-287 最大応答加速度分布図 (27/88) (解析ケース⑦)



(a) $S_s - N2(EW) (-+)$ 水平

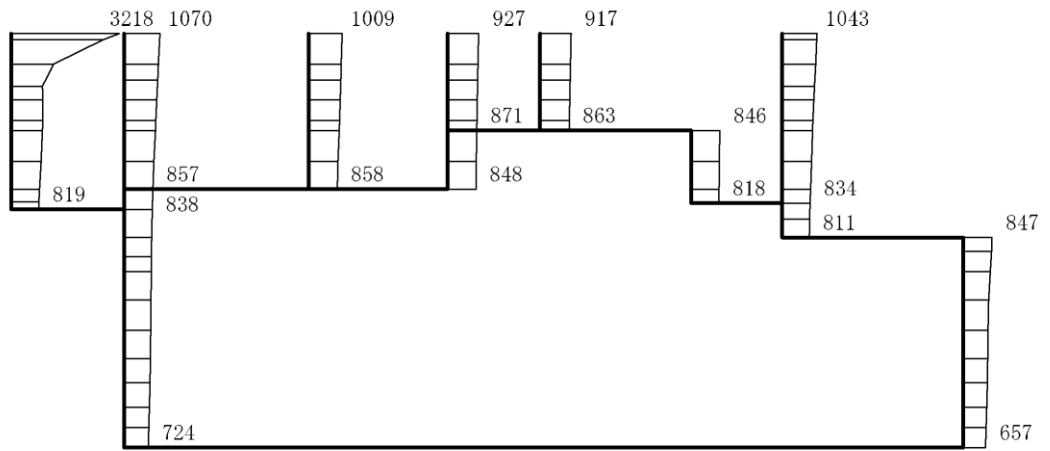


(b) $S_s - N2(EW) (-+)$ 鉛直

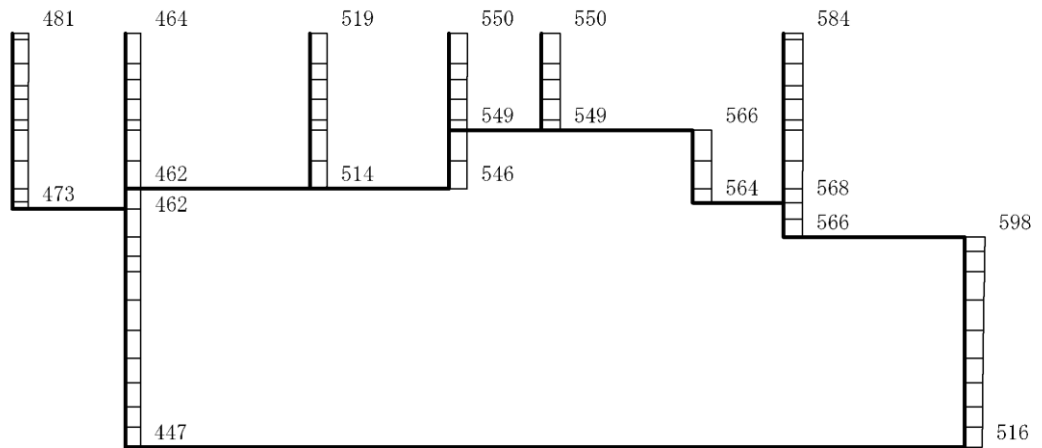
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1200 (cm/s^2)$

図 4-288 最大応答加速度分布図 (28/88) (解析ケース⑦)



(a) S s - D (++) 水平

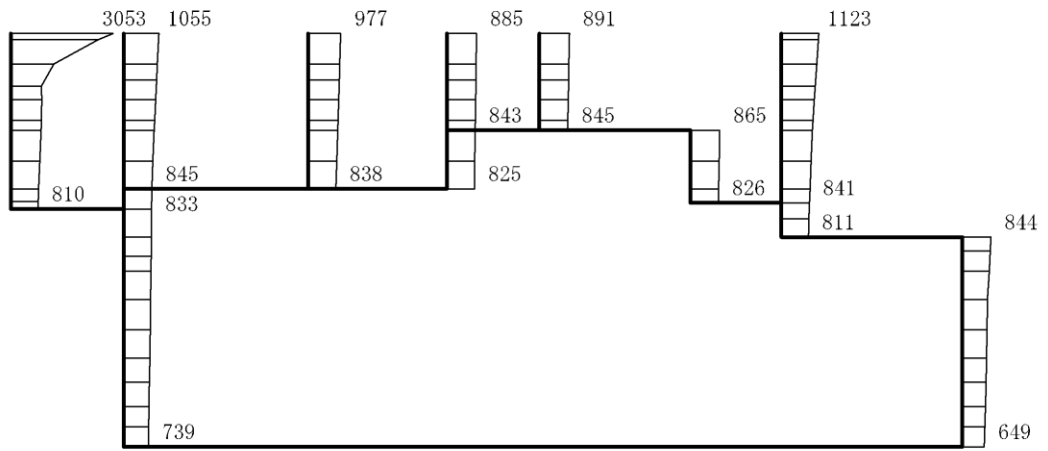


(b) S s - D (++) 鉛直

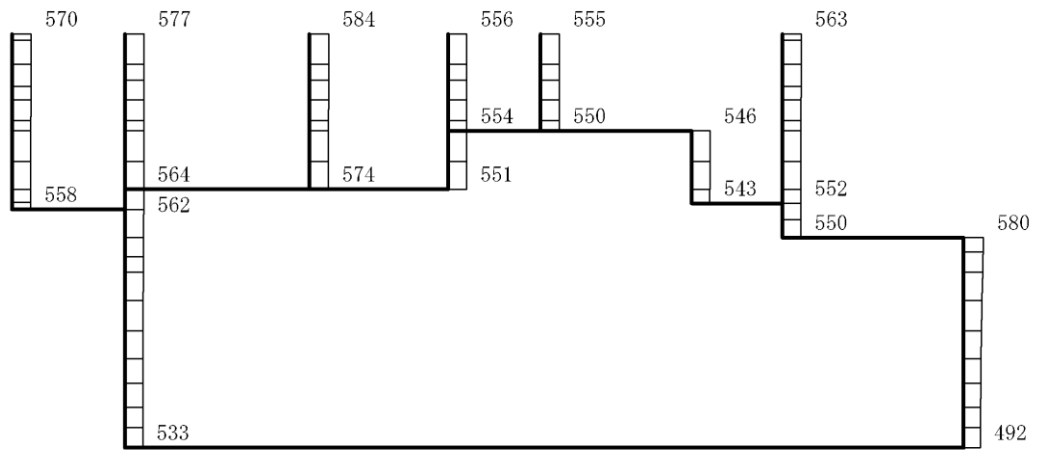
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-289 最大応答加速度分布図 (29/88) (解析ケース⑧)



(a) S s - D (- +) 水平

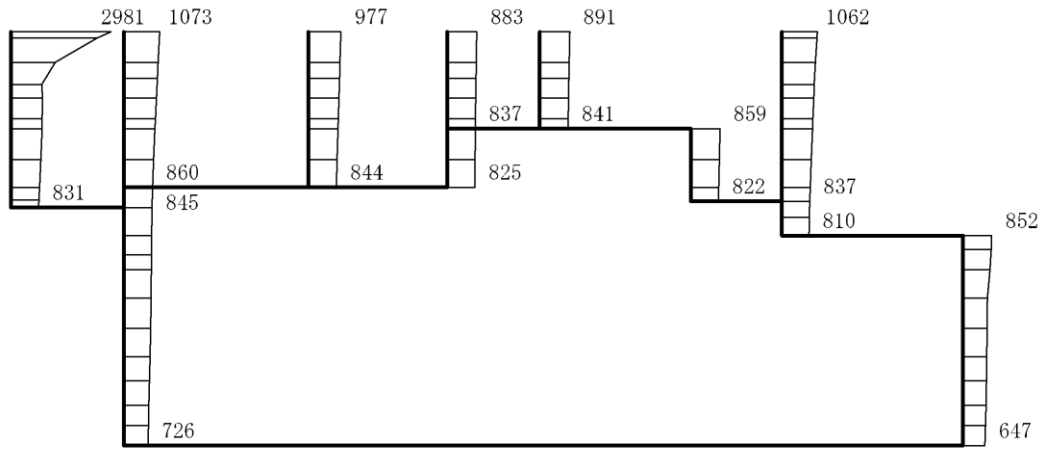


(b) S s - D (- +) 鉛直

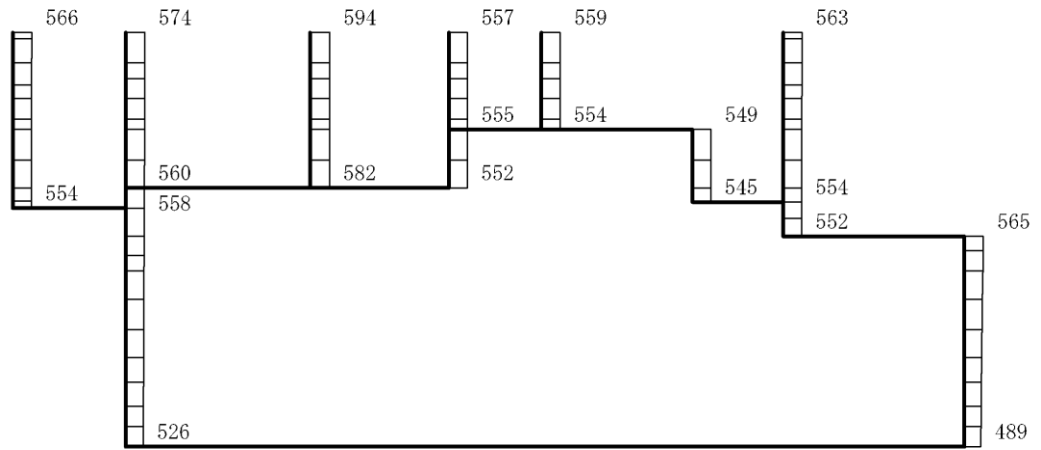
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-290 最大応答加速度分布図 (30/88) (解析ケース⑧)



(a) S s - D (+ -) 水平

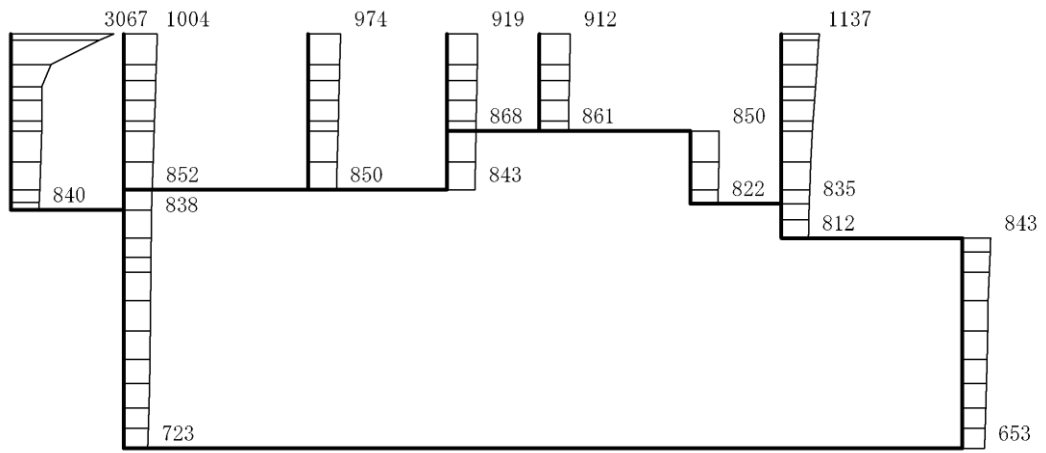


(b) S s - D (+ -) 鉛直

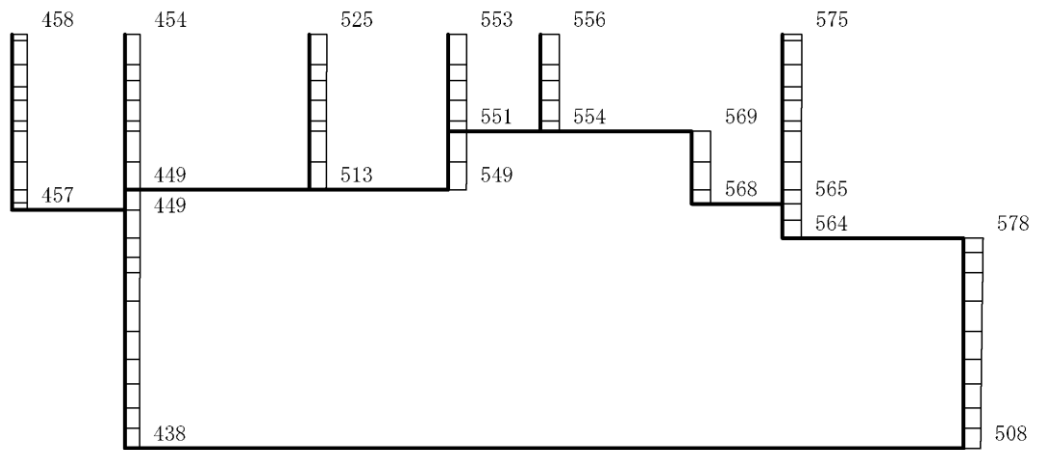
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-291 最大応答加速度分布図 (31/88) (解析ケース⑧)



(a) S s - D (--) 水平

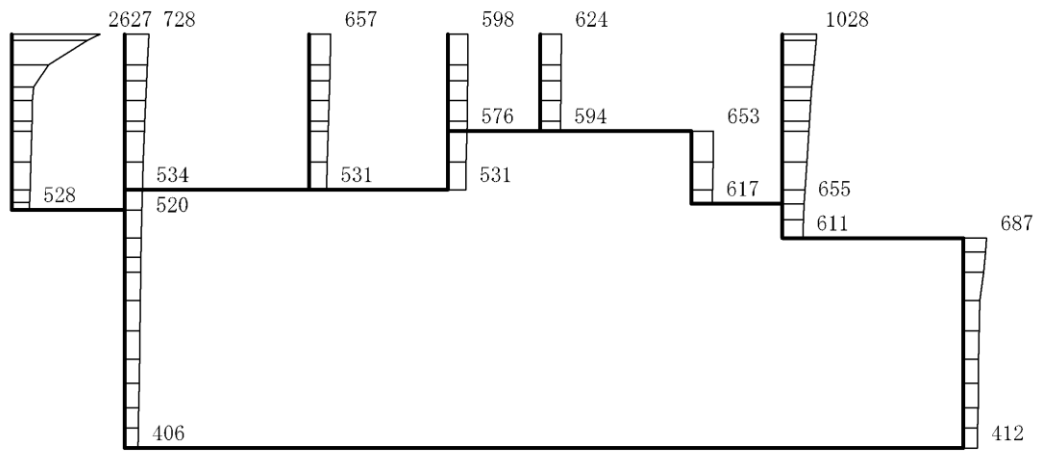


(b) S s - D (--) 鉛直

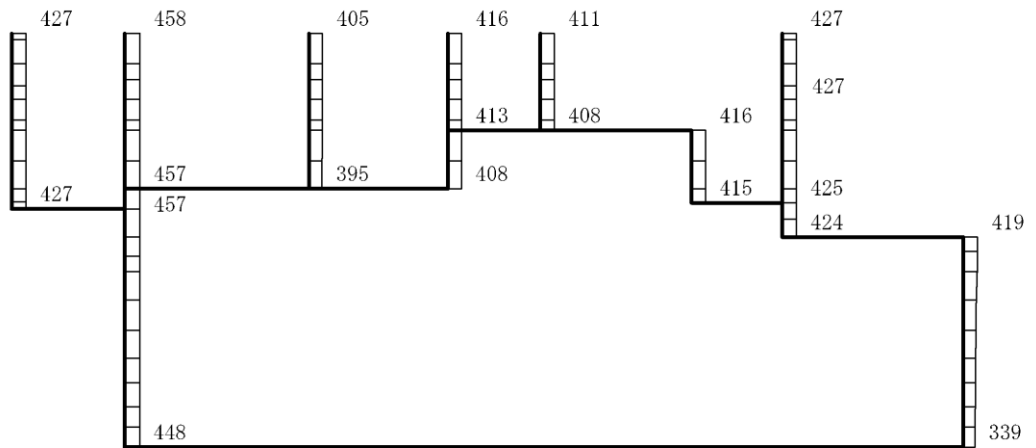
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-292 最大応答加速度分布図 (32/88) (解析ケース⑧)



(a) S s - F 1 (++) 水平

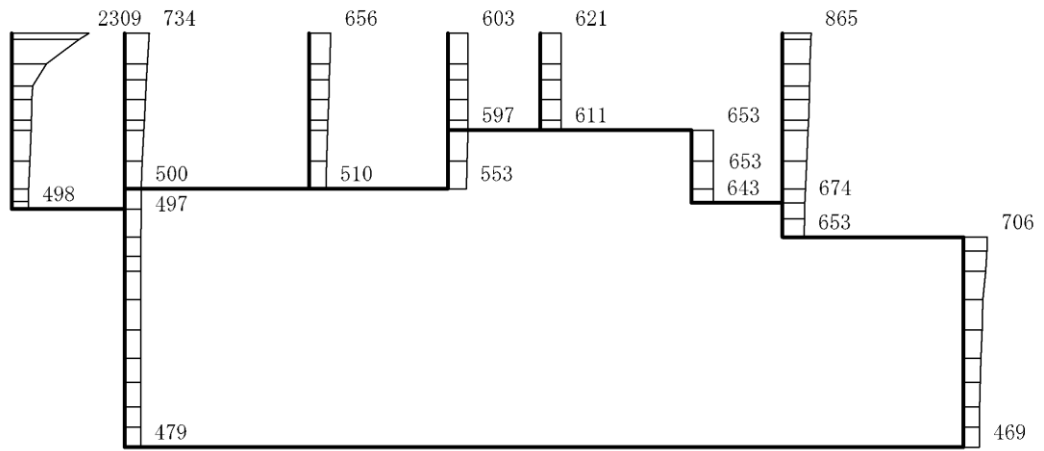


(b) S s - F 1 (++) 鉛直

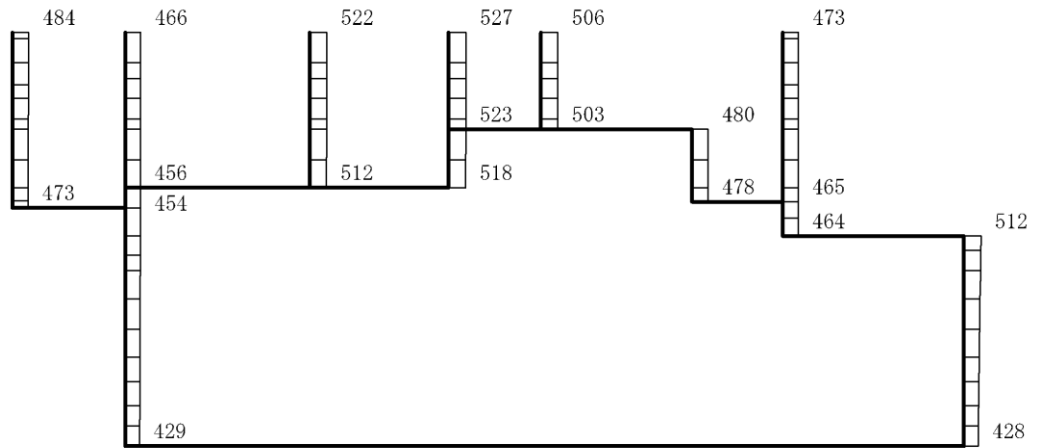
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-293 最大応答加速度分布図 (33/88) (解析ケース⑧)



(a) S s - F 2 (+ +) 水平

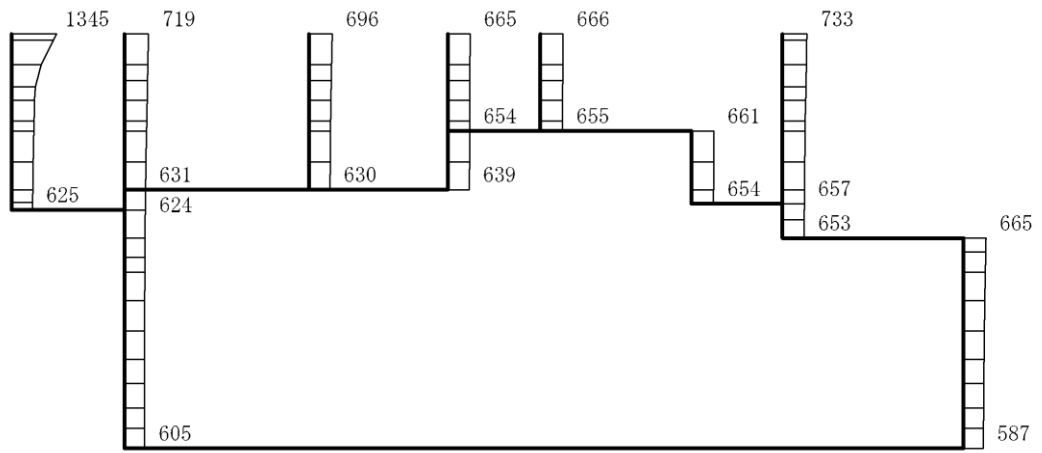


(b) S s - F 2 (+ +) 鉛直

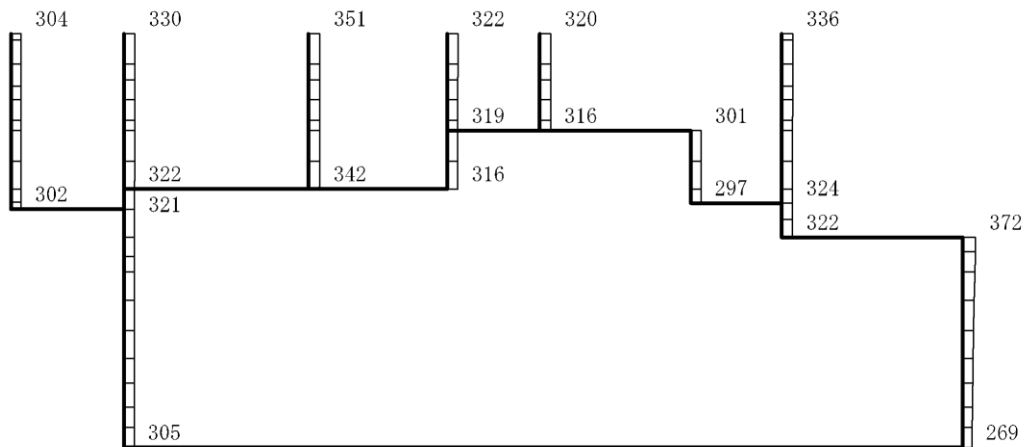
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-294 最大応答加速度分布図 (34/88) (解析ケース⑧)



(a) S s - N 1 (++) 水平

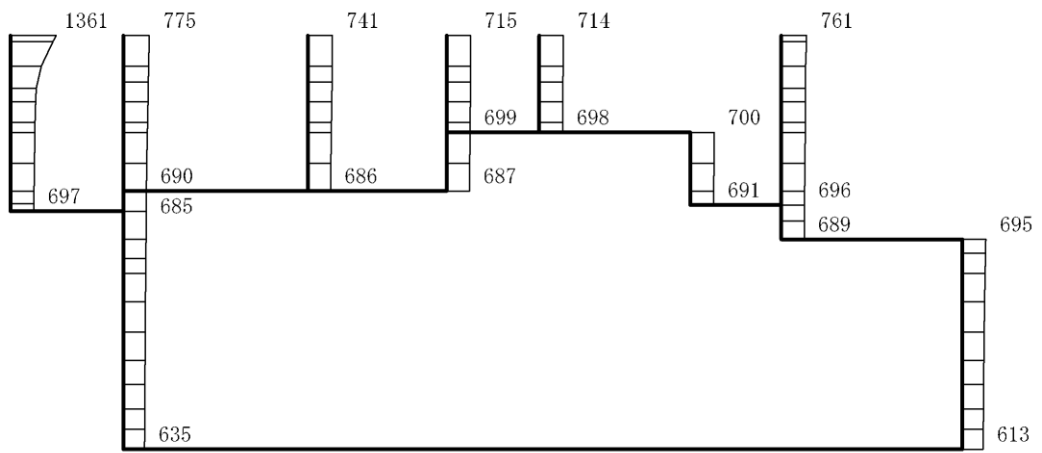


(b) S s - N 1 (++) 鉛直

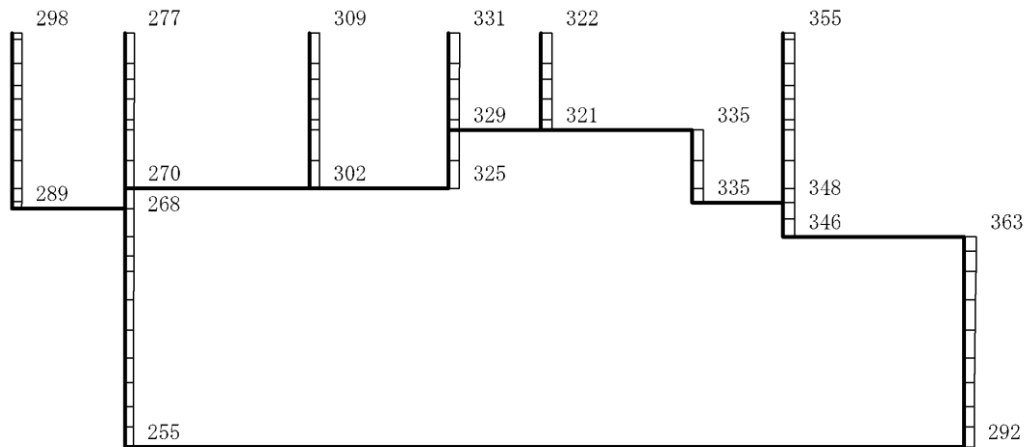
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-295 最大応答加速度分布図 (35/88) (解析ケース⑧)



(a) S s - N 1 (- +) 水平

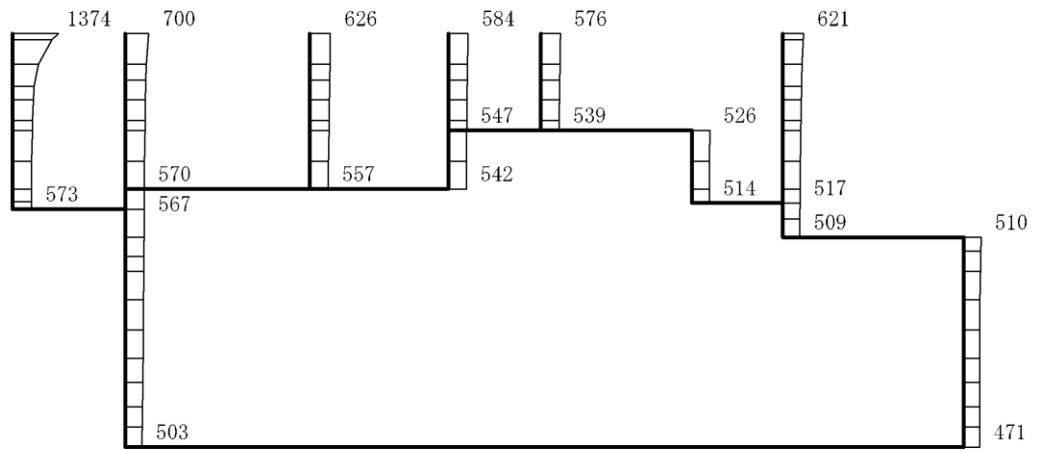


(b) S s - N 1 (- +) 鉛直

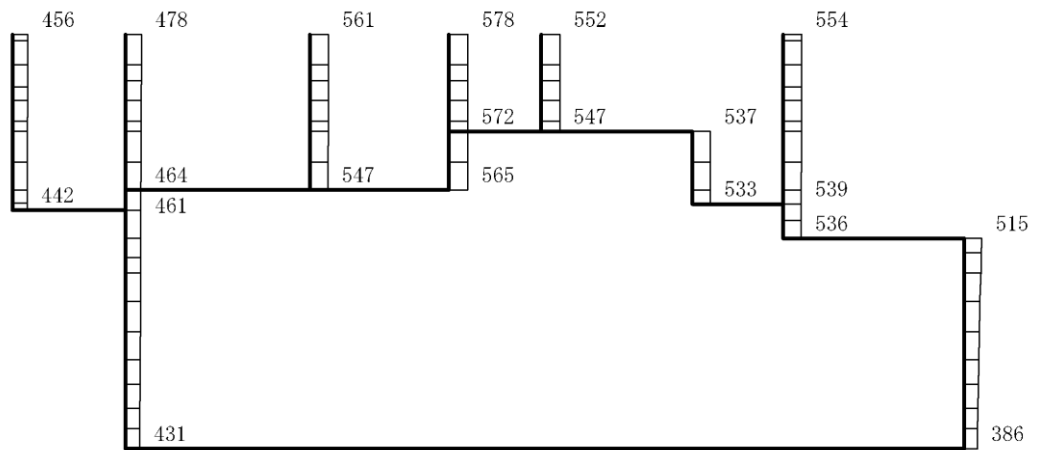
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-296 最大応答加速度分布図 (36/88) (解析ケース⑧)



(a) $S_s - N2(N S) (+ +)$ 水平

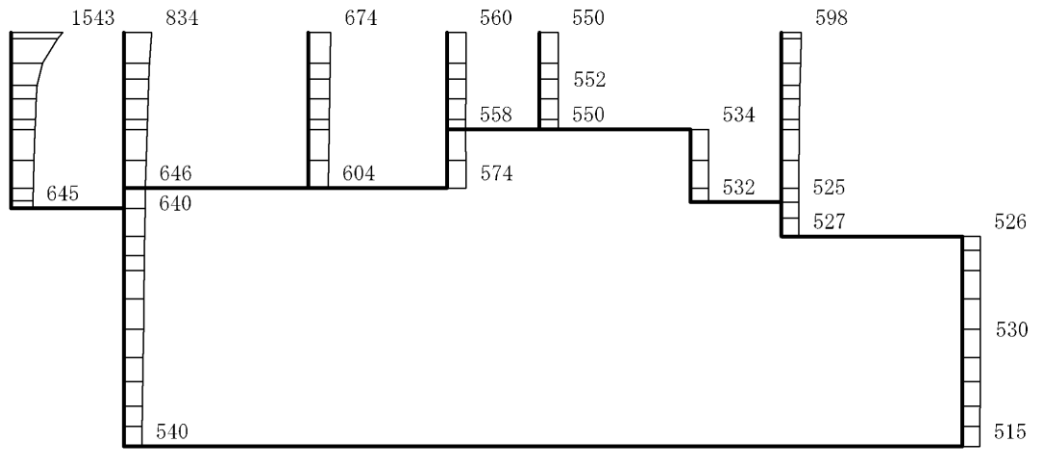


(b) $S_s - N2(N S) (+ +)$ 鉛直

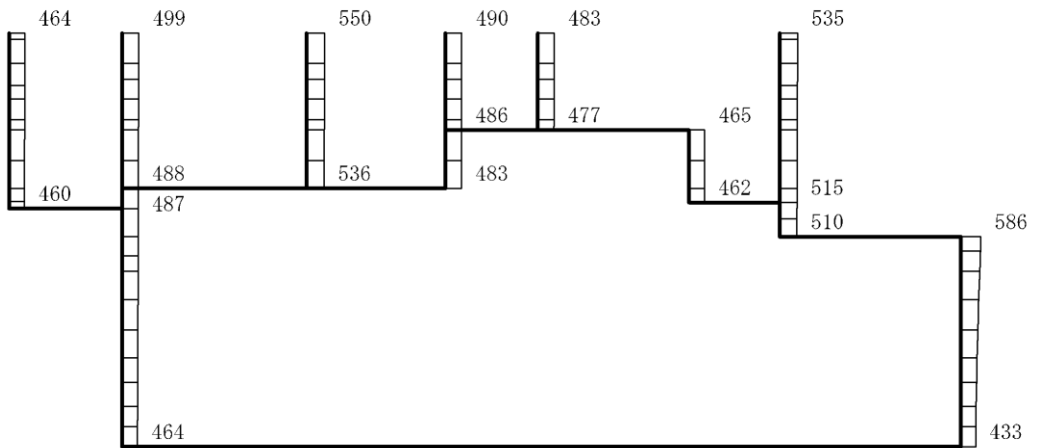
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1200 (cm/s^2)$

図 4-297 最大応答加速度分布図 (37/88) (解析ケース⑧)



(a) $S_s - N2(NS) (-+)$ 水平

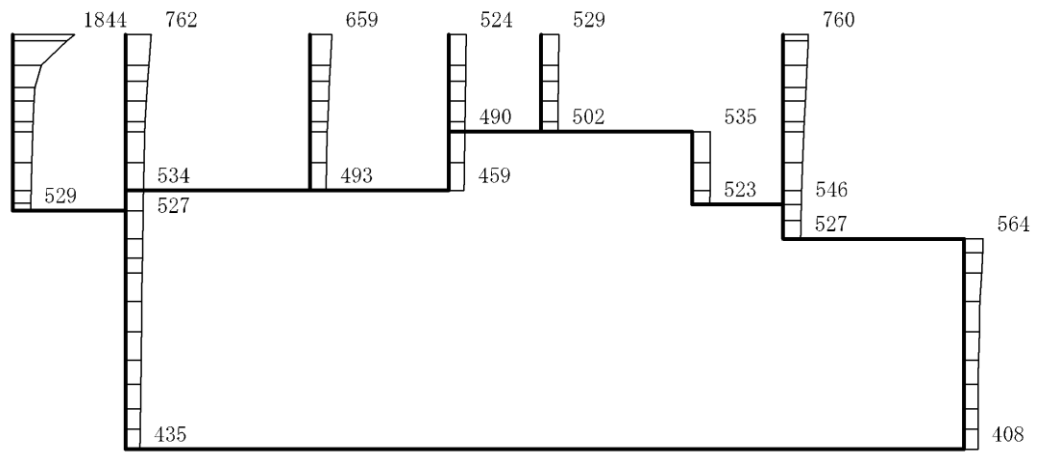


(b) $S_s - N2(NS) (-+)$ 鉛直

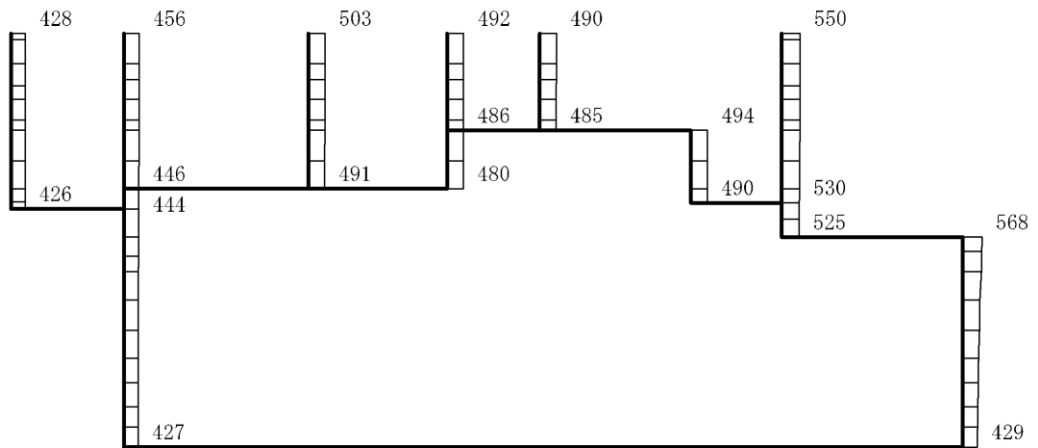
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1200 (cm/s^2)$

図 4-298 最大応答加速度分布図 (38/88) (解析ケース⑧)



(a) $S_s - N2(EW) (++)$ 水平

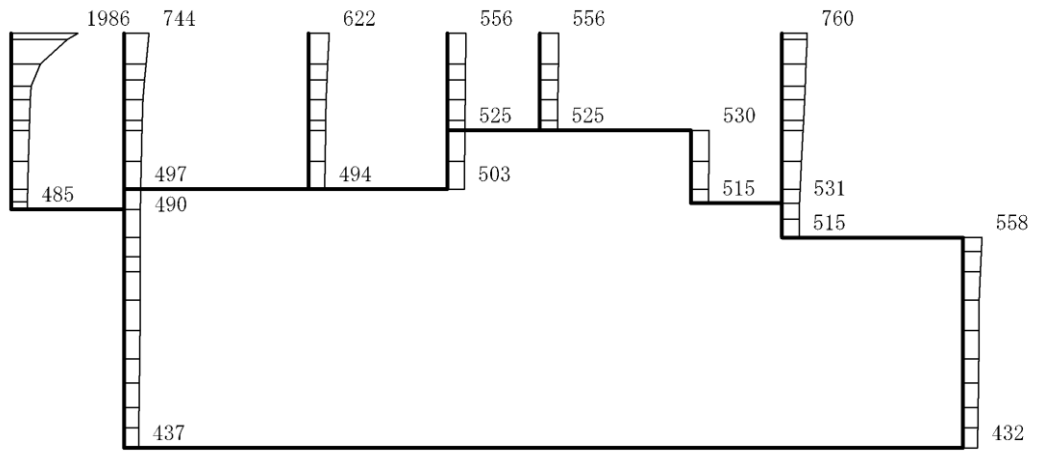


(b) $S_s - N2(EW) (++)$ 鉛直

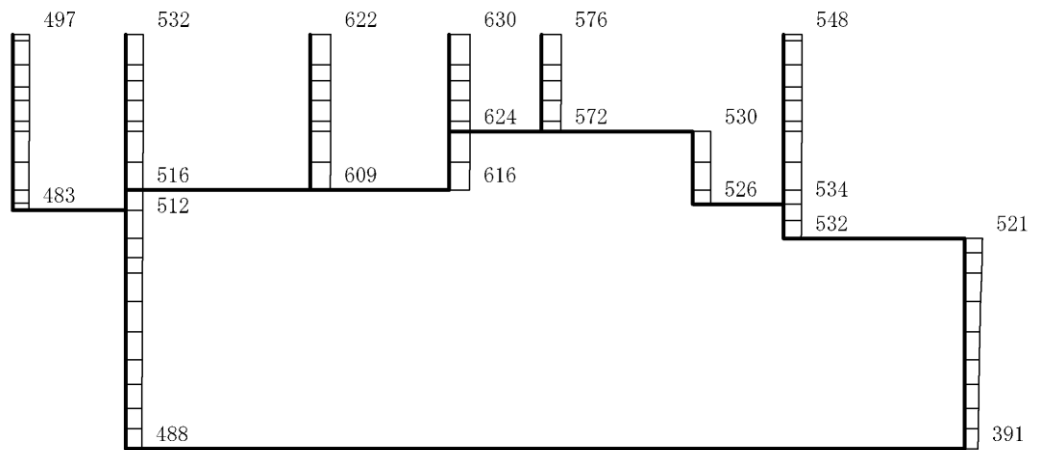
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-299 最大応答加速度分布図 (39/88) (解析ケース⑧)



(a) $S_s - N2(EW) (-+)$ 水平

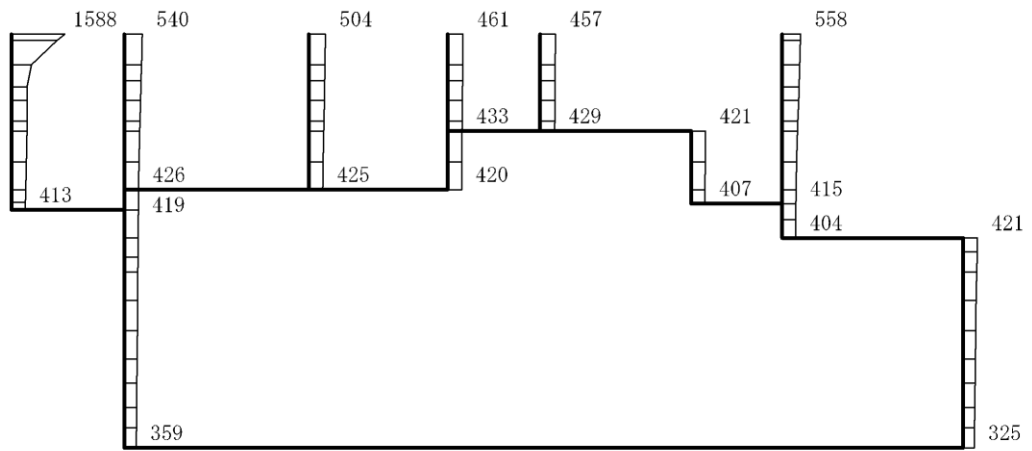


(b) $S_s - N2(EW) (-+)$ 鉛直

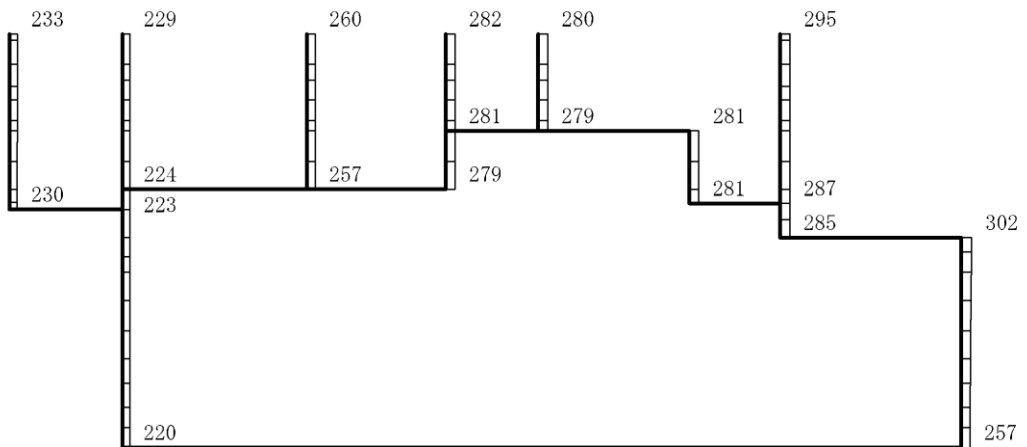
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-300 最大応答加速度分布図(40/88) (解析ケース⑧)



(a) Sd-D (++) 水平

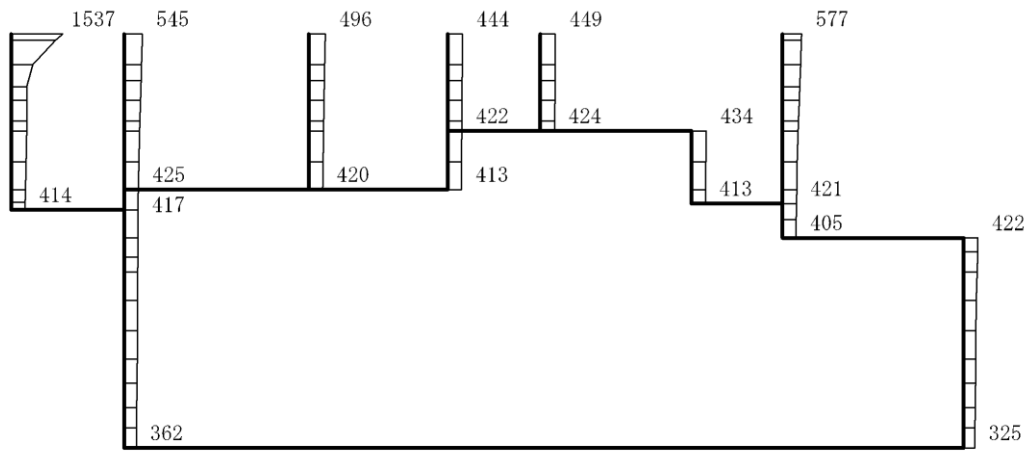


(b) Sd-D (++) 鉛直

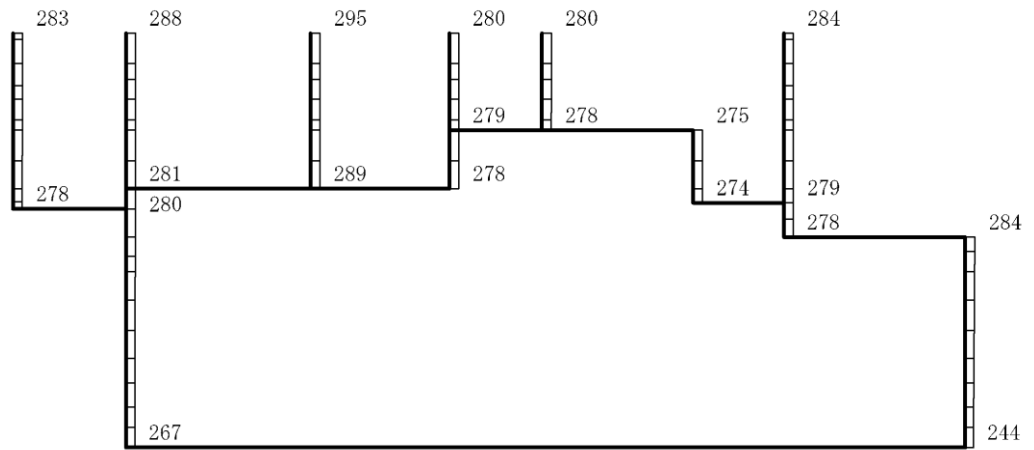
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1200 (cm/s^2)$

図 4-301 最大応答加速度分布図(41/88) (解析ケース⑥)



(a) Sd-D (-+) 水平

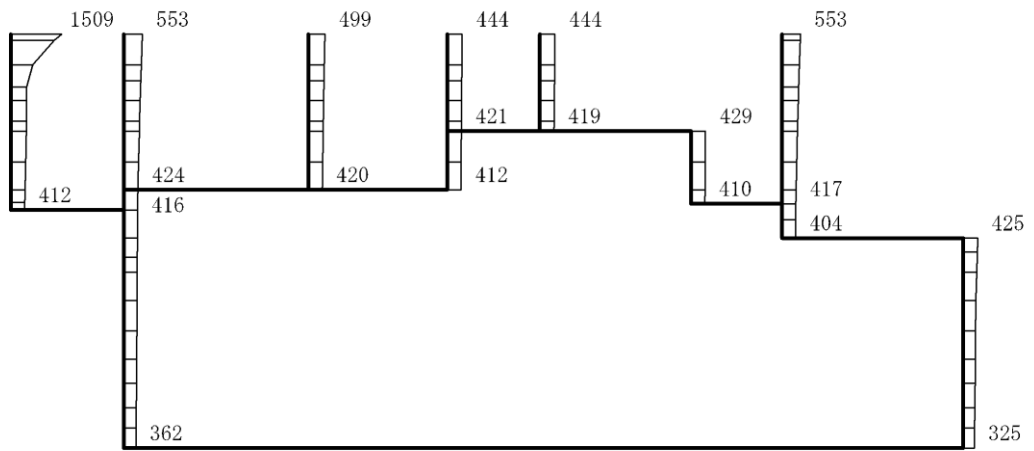


(b) Sd-D (-+) 鉛直

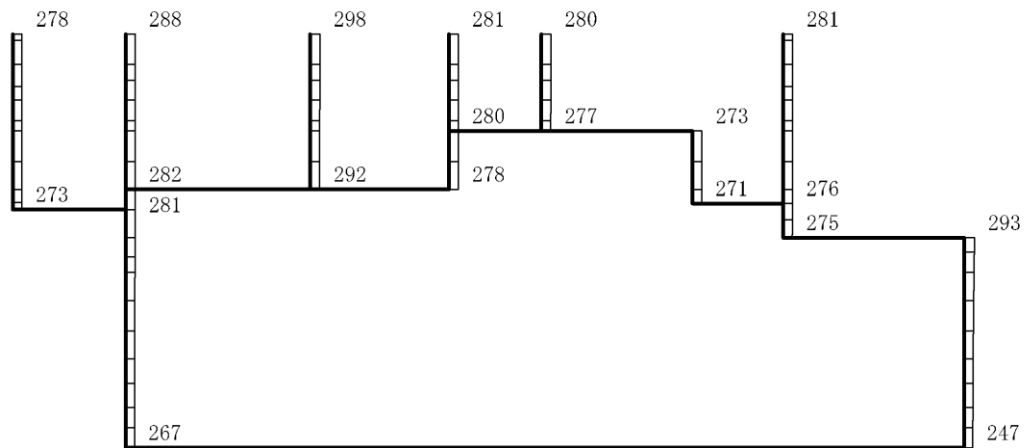
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1200 (cm/s^2)$

図 4-302 最大応答加速度分布図 (42/88) (解析ケース⑥)



(a) S d-D (+-) 水平

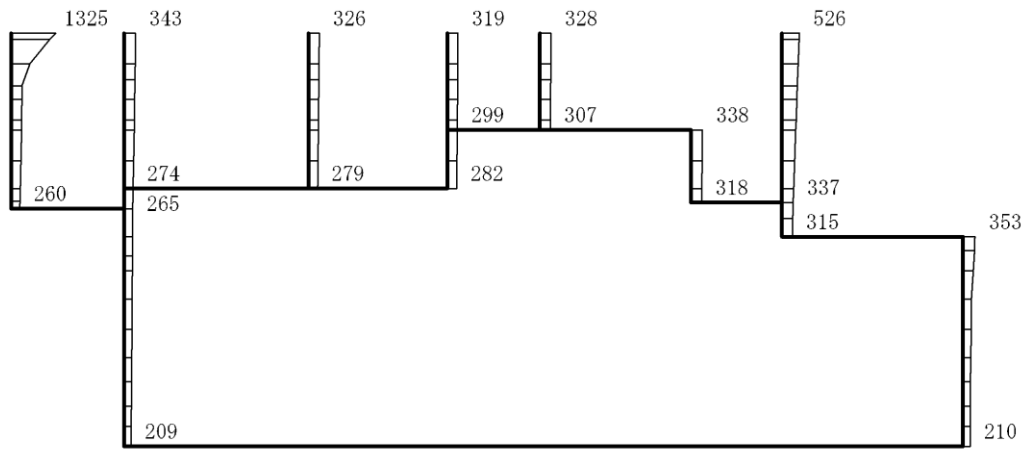


(b) S d-D (+-) 鉛直

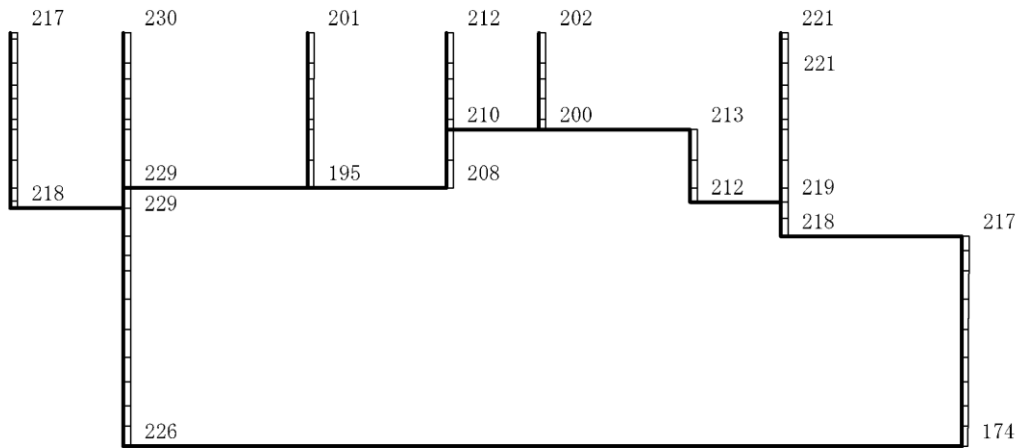
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-303 最大応答加速度分布図(43/88) (解析ケース⑥)



(a) S d - F 1 (++) 水平

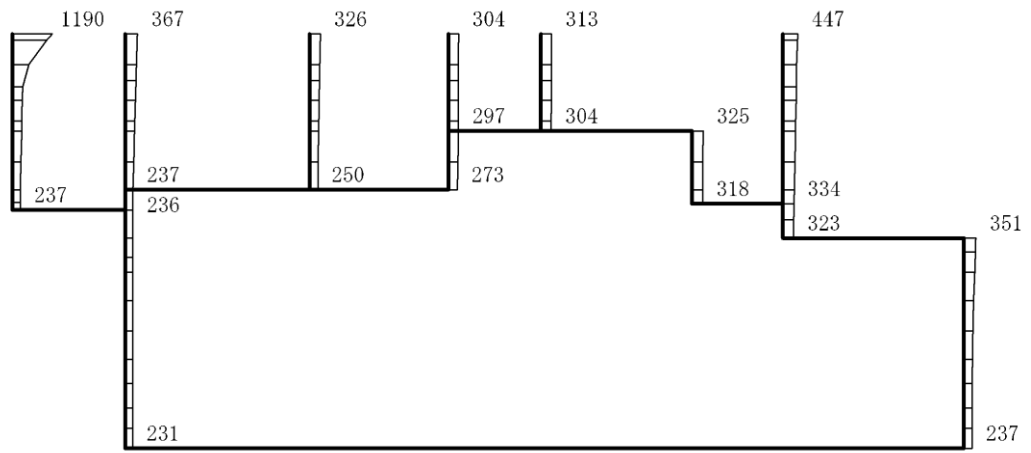


(b) S d - F 1 (++) 鉛直

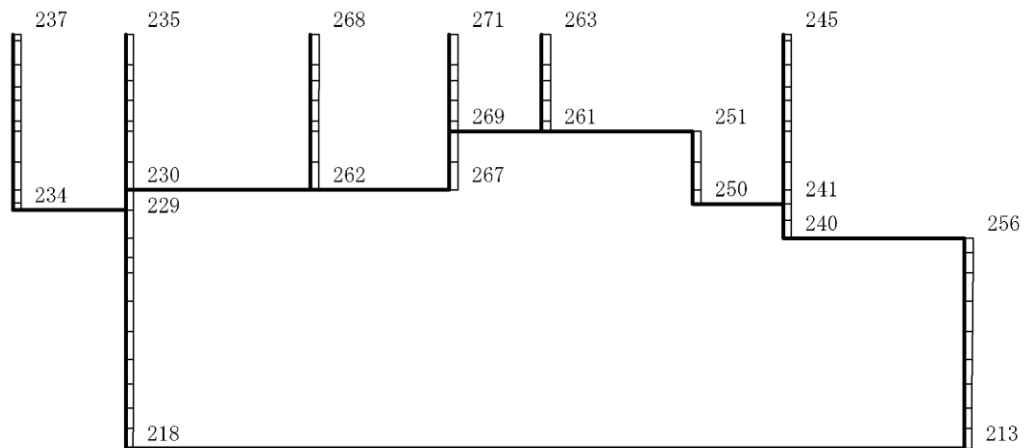
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-305 最大応答加速度分布図(45/88) (解析ケース⑥)



(a) S d - F 2 (+ +) 水平

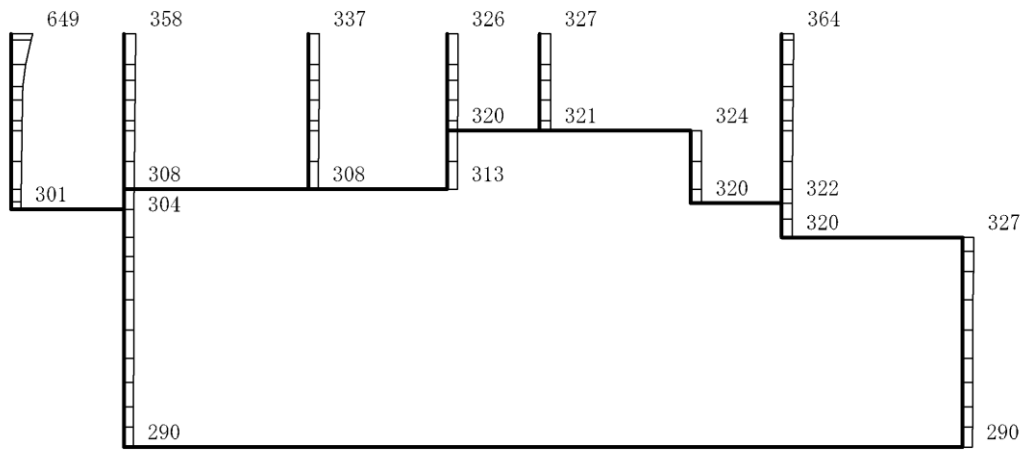


(b) S d - F 2 (+ +) 鉛直

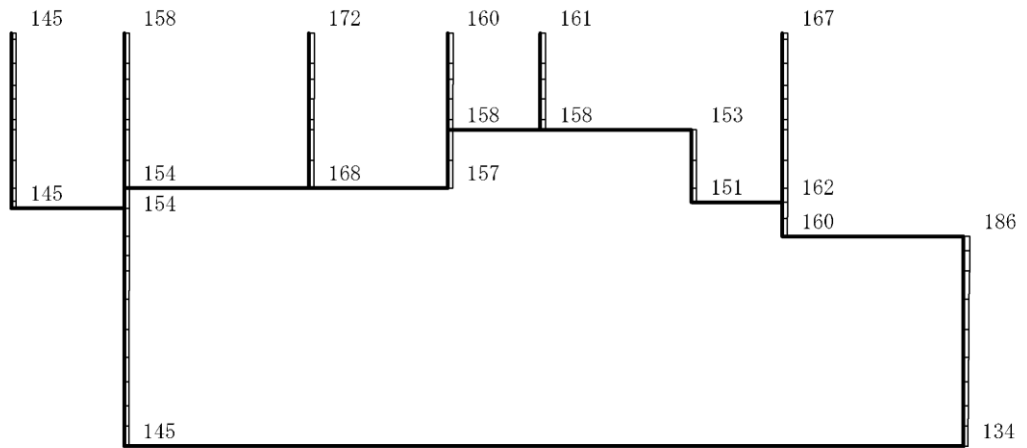
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1200 (cm/s^2)$

図 4-306 最大応答加速度分布図(46/88) (解析ケース⑥)



(a) S d - N 1 (++) 水平

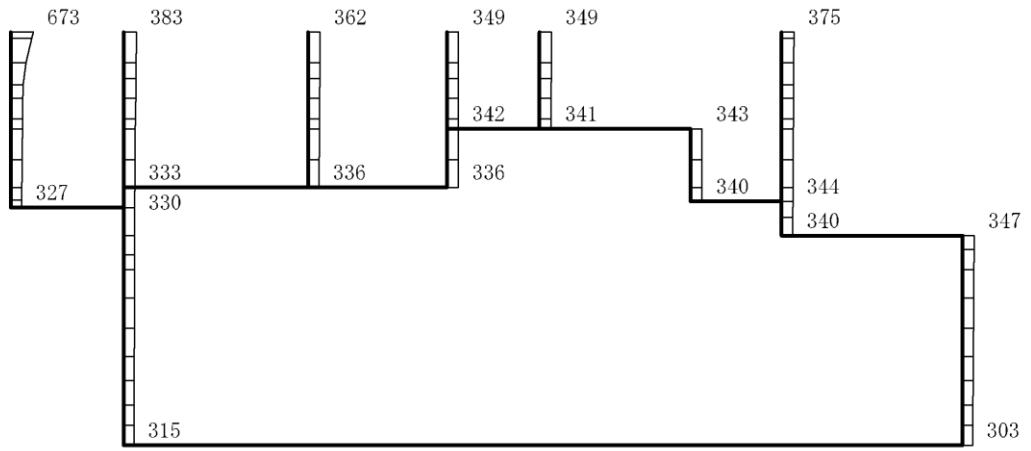


(b) S d - N 1 (++) 鉛直

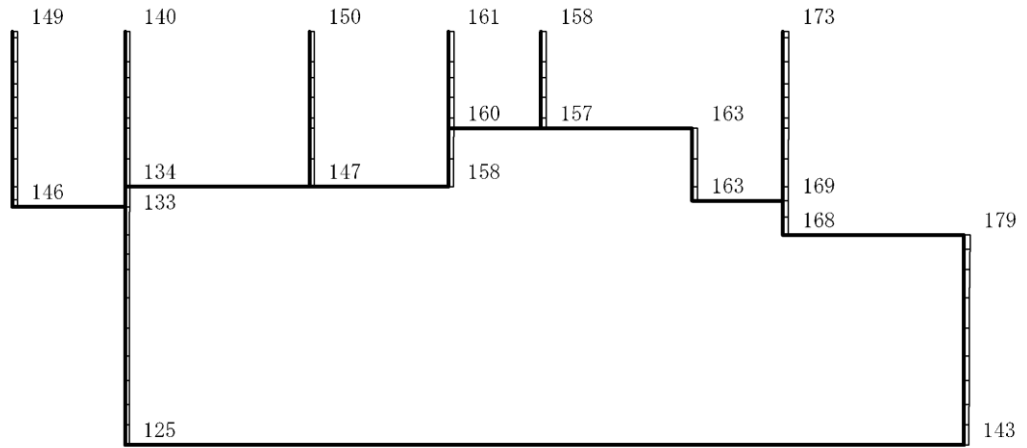
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-307 最大応答加速度分布図(47/88) (解析ケース⑥)



(a) S d - N 1 (- +) 水平

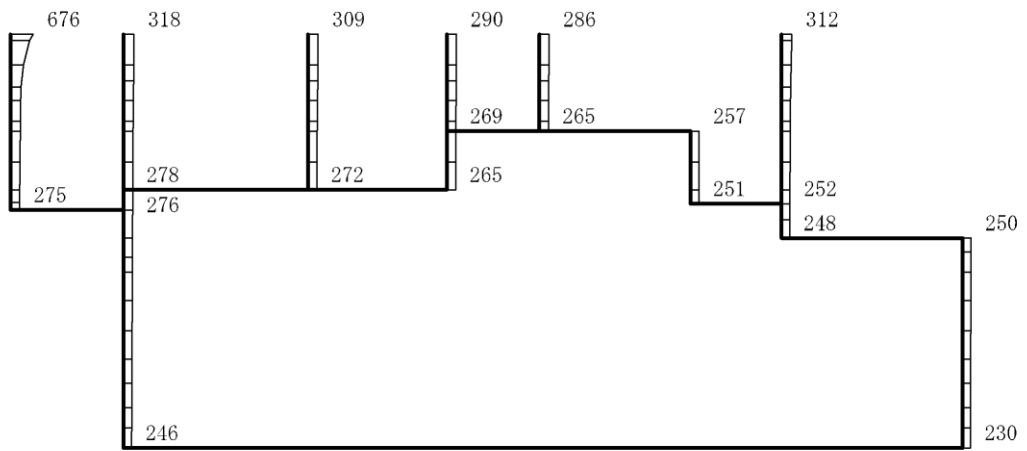


(b) S d - N 1 (- +) 鉛直

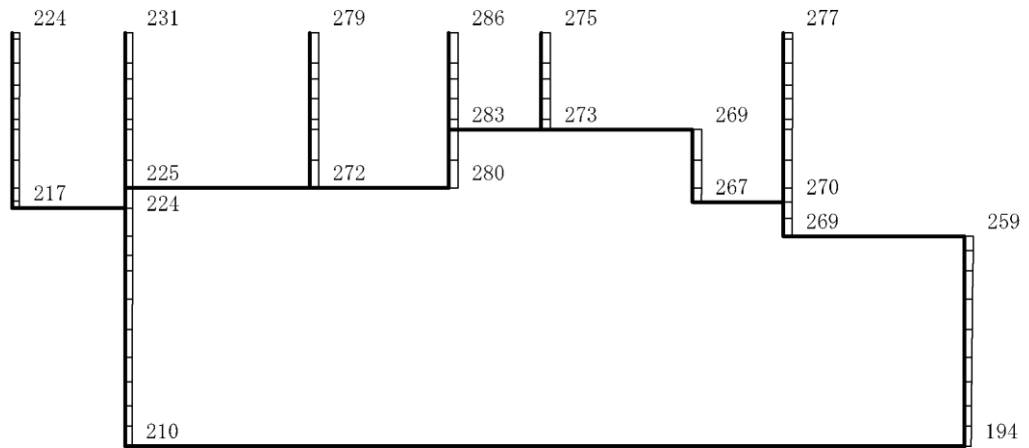
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-308 最大応答加速度分布図 (48/88) (解析ケース⑥)



(a) S d - N 2 (N S) (+ +) 水平

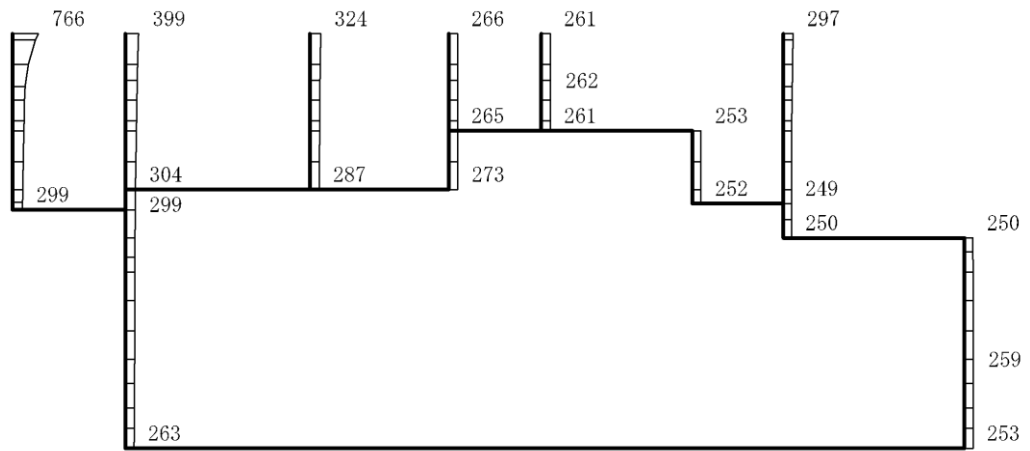


(b) S d - N 2 (N S) (+ +) 鉛直

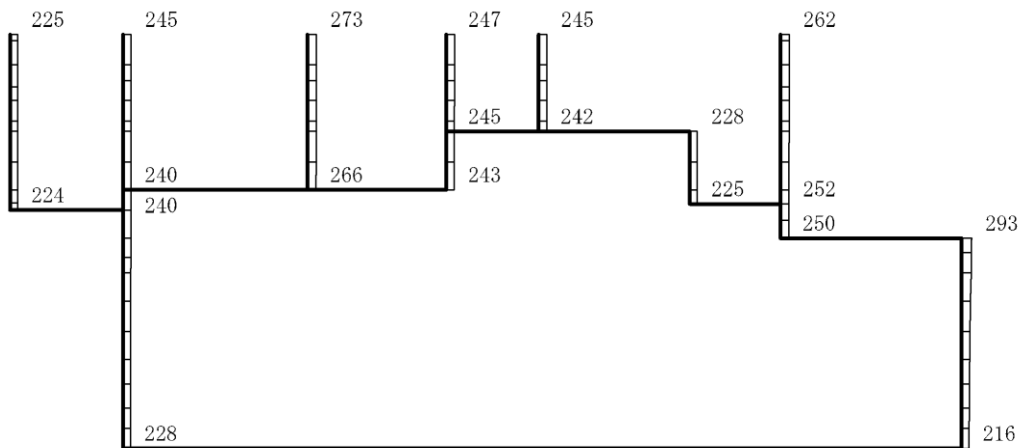
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-309 最大応答加速度分布図 (49/88) (解析ケース⑥)



(a) S d - N 2 (N S) (- +) 水平

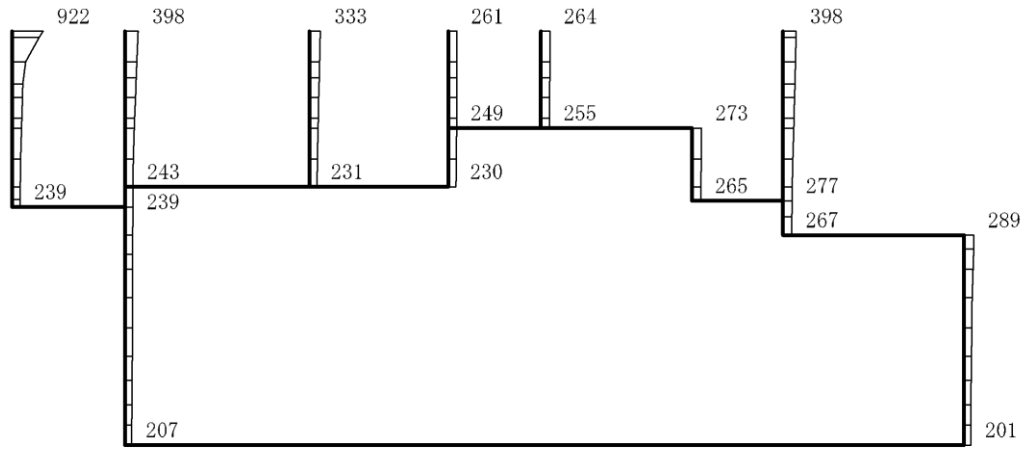


(b) S d - N 2 (N S) (- +) 鉛直

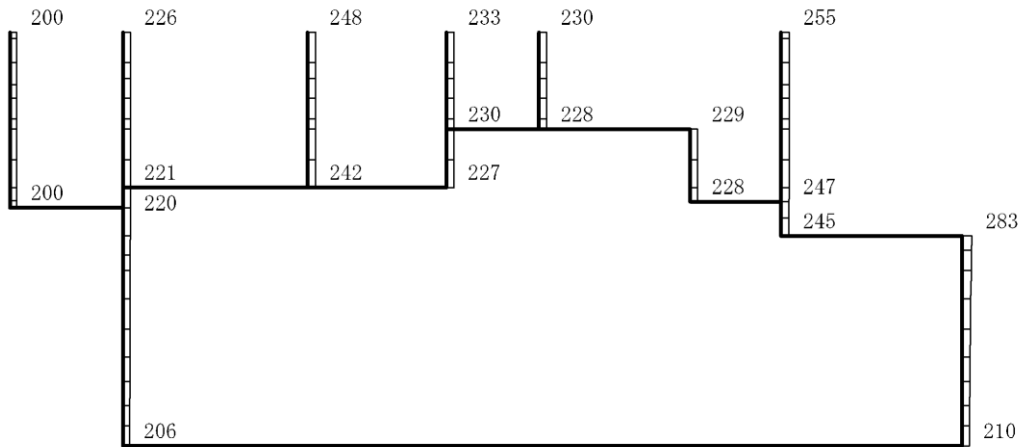
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-310 最大応答加速度分布図 (50/88) (解析ケース⑥)



(a) S d - N 2 (E W) (+ +) 水平

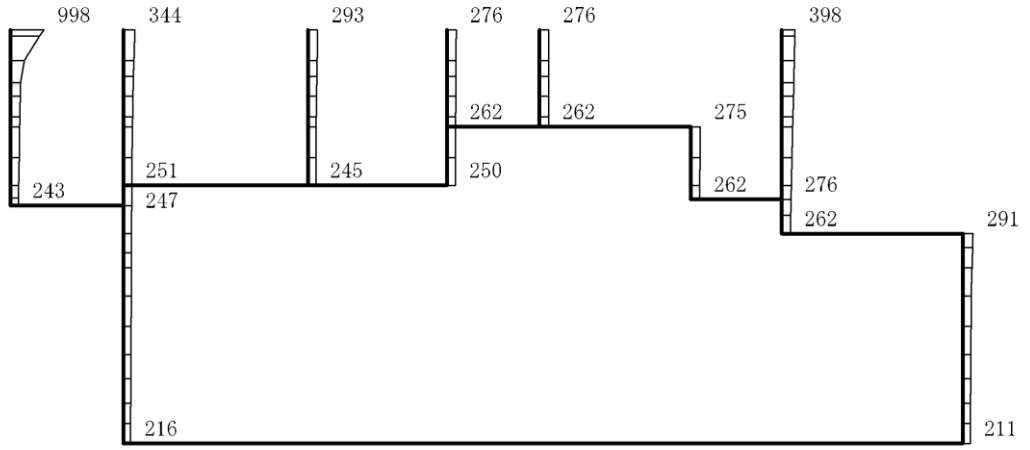


(b) S d - N 2 (E W) (+ +) 鉛直

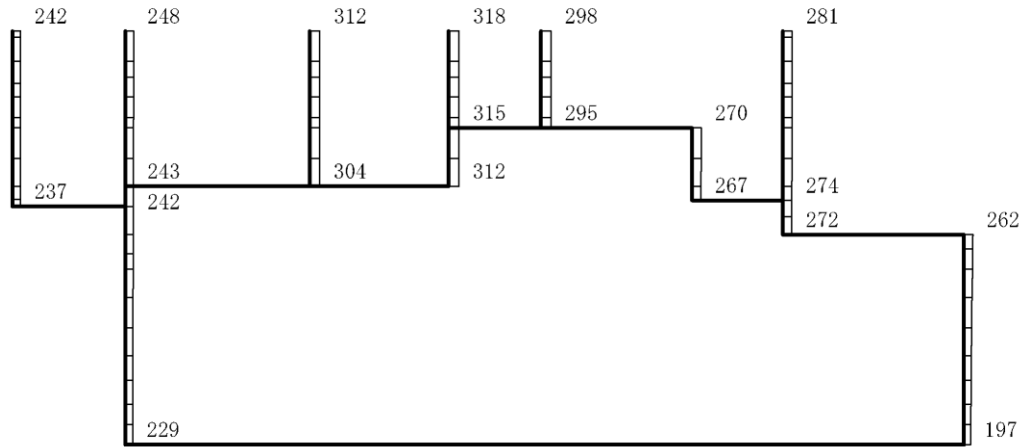
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-311 最大応答加速度分布図 (51/88) (解析ケース⑥)



(a) S d - N 2 (E W) (- +) 水平

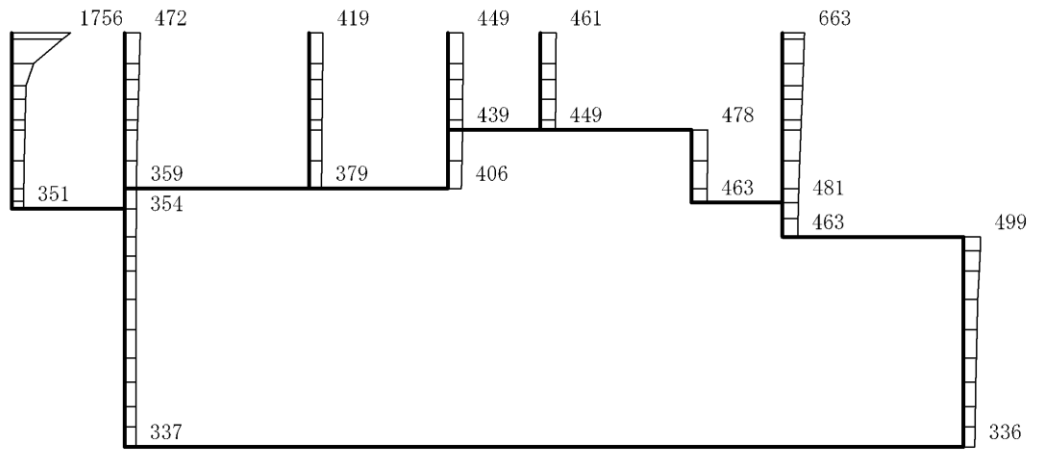


(b) S d - N 2 (E W) (- +) 鉛直

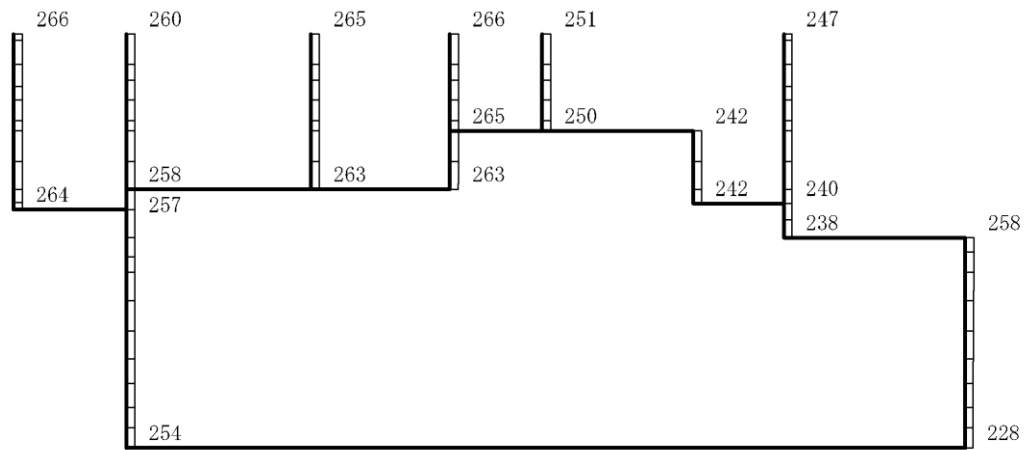
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-312 最大応答加速度分布図 (52/88) (解析ケース⑥)



(a) Sd-1 (++) 水平

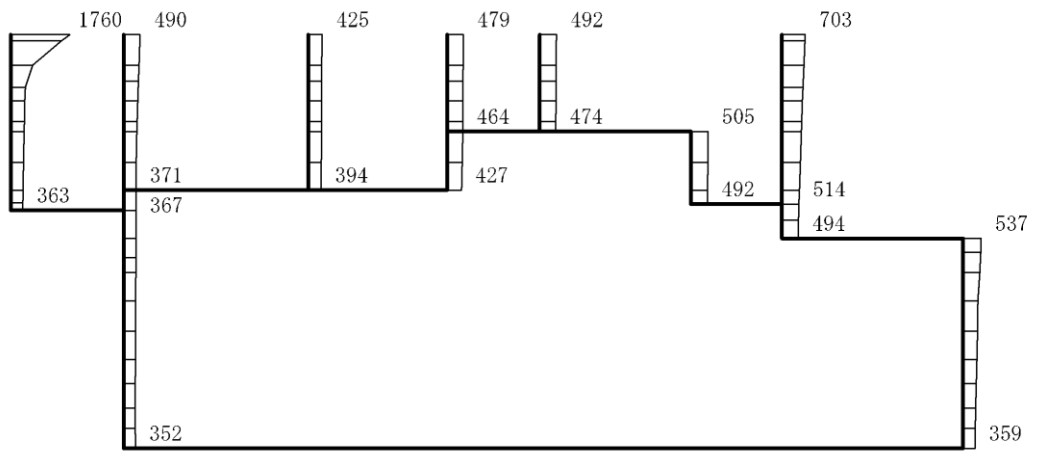


(b) Sd-1 (++) 鉛直

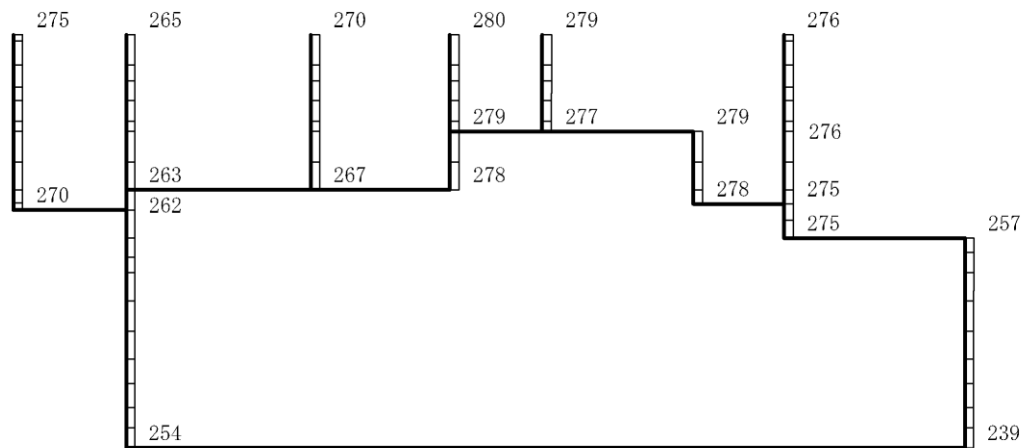
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-313 最大応答加速度分布図 (53/88) (解析ケース⑥)



(a) Sd-1 (-+) 水平

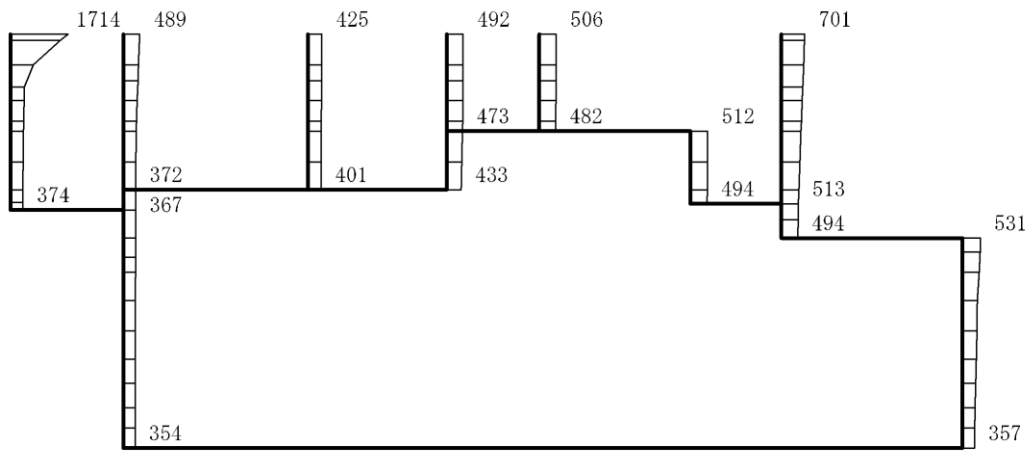


(b) Sd-1 (-+) 鉛直

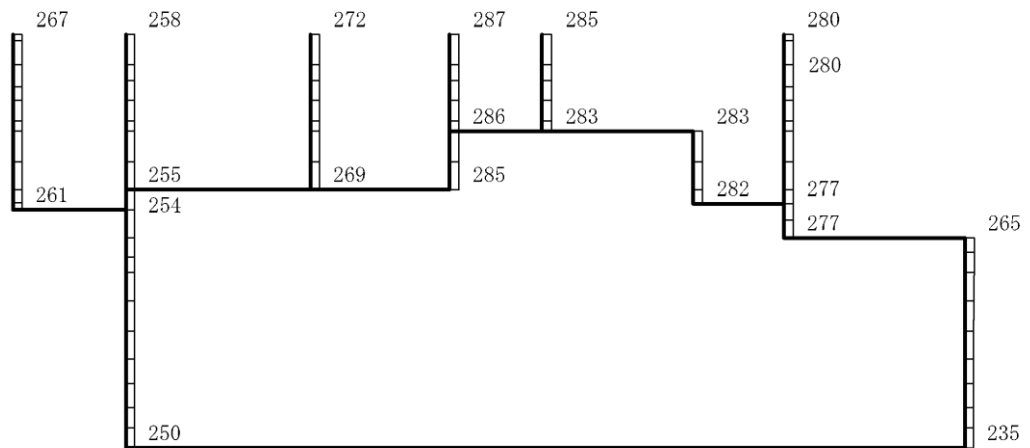
構造スケール $0 \quad 2(\text{m})$

応答値スケール $0 \quad 1200(\text{cm/s}^2)$

図 4-314 最大応答加速度分布図(54/88) (解析ケース⑥)



(a) Sd-1 (+-) 水平

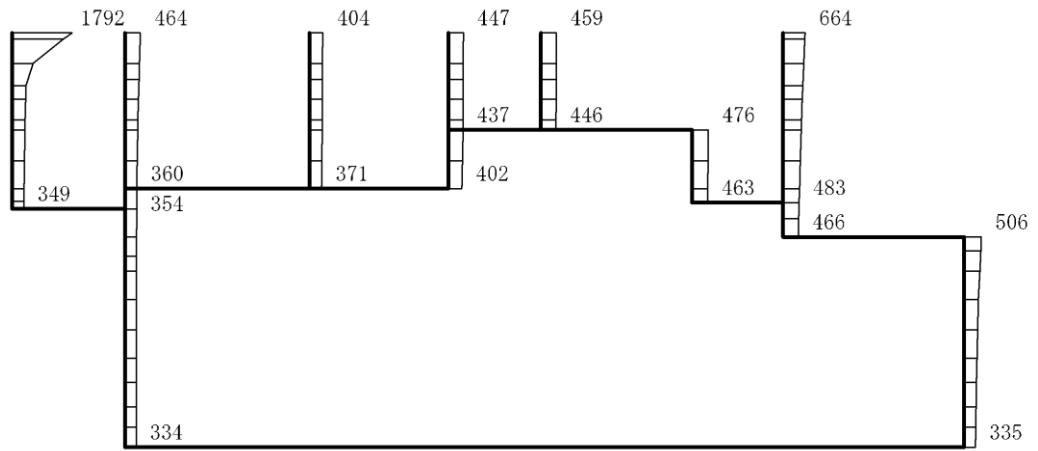


(b) Sd-1 (+-) 鉛直

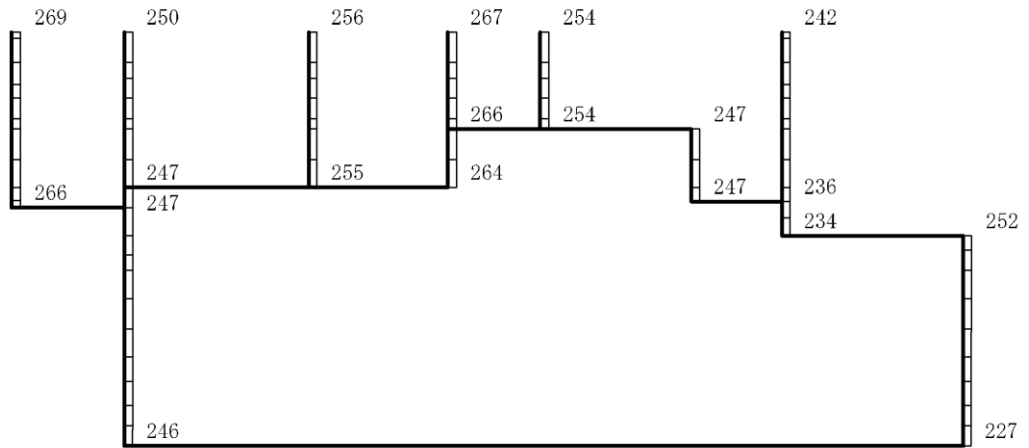
構造スケール $0 \quad 2(\text{m})$

応答値スケール $0 \quad 1200(\text{cm/s}^2)$

図 4-315 最大応答加速度分布図(55/88) (解析ケース⑥)



(a) Sd-1 (--) 水平

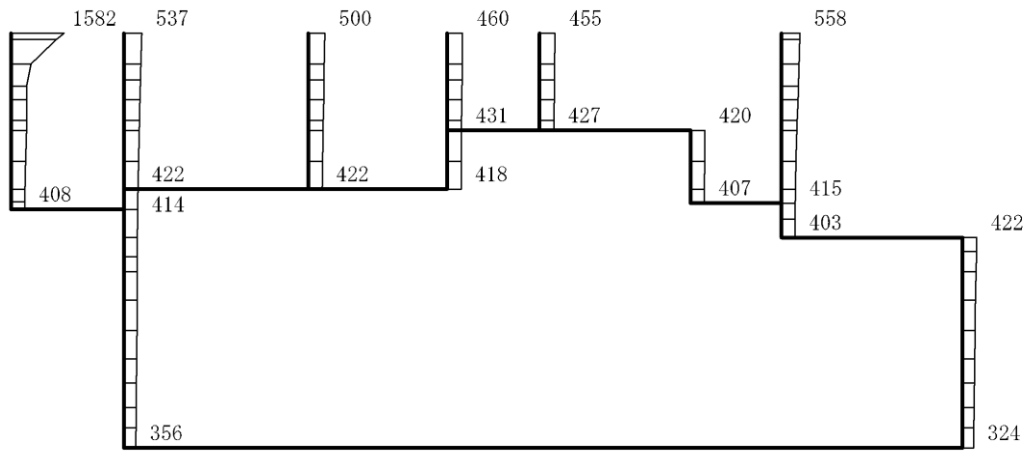


(b) Sd-1 (--) 鉛直

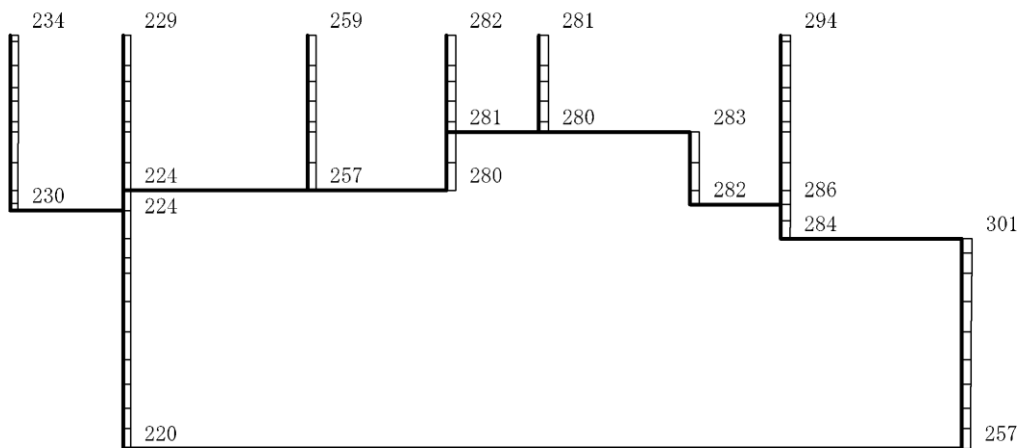
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1200 (cm/s^2)$

図 4-316 最大応答加速度分布図(56/88) (解析ケース⑥)



(a) S d-D (++) 水平

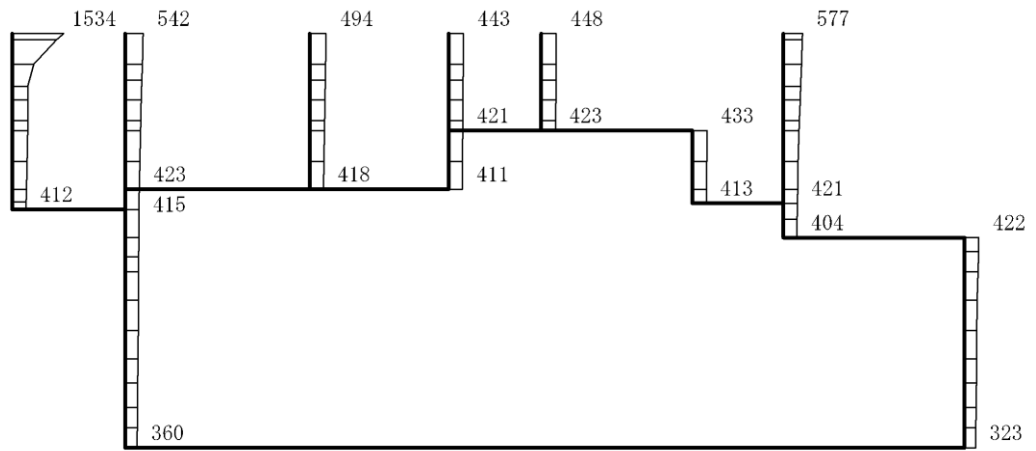


(b) S d-D (++) 鉛直

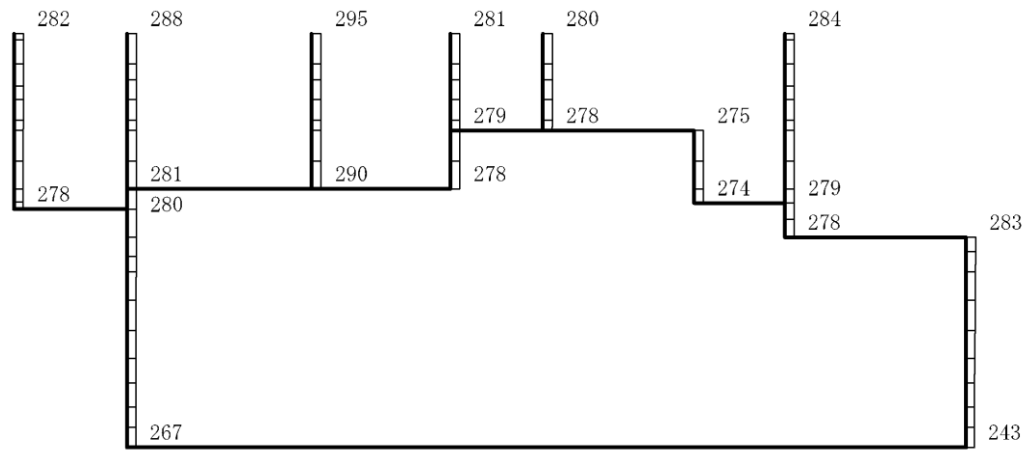
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-317 最大応答加速度分布図 (57/88) (解析ケース⑦)



(a) Sd-D (-+) 水平

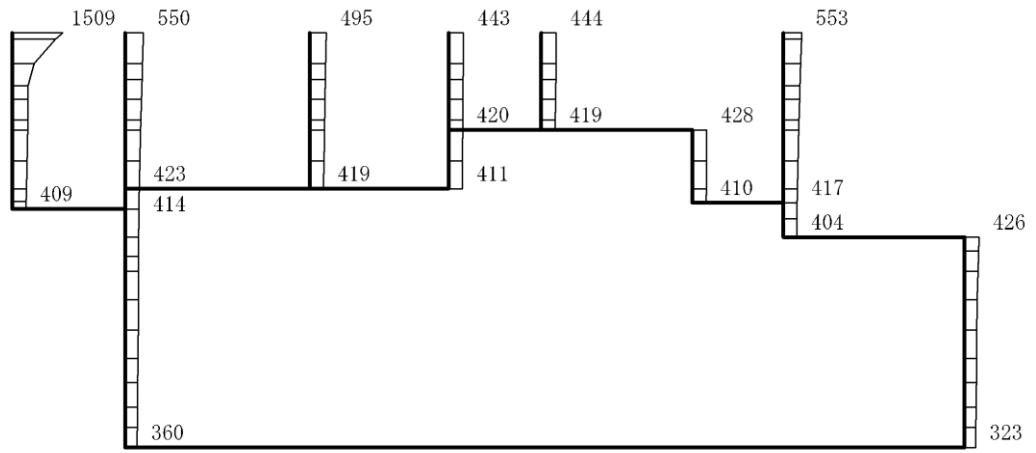


(b) Sd-D (-+) 鉛直

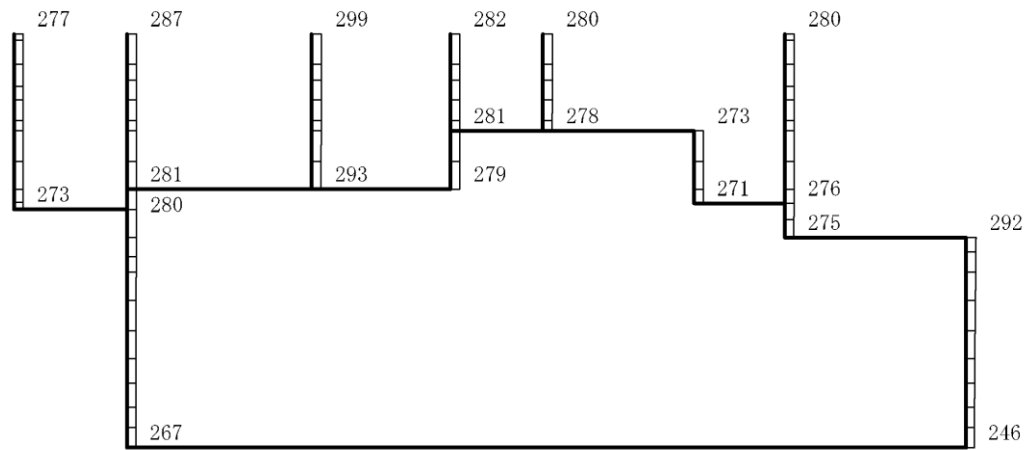
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-318 最大応答加速度分布図 (58/88) (解析ケース⑦)



(a) Sd-D (+-) 水平

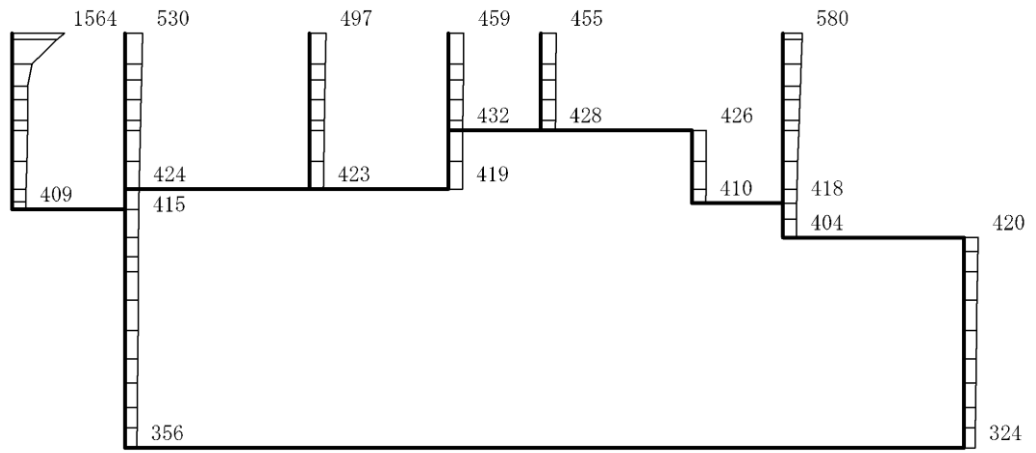


(b) Sd-D (+-) 鉛直

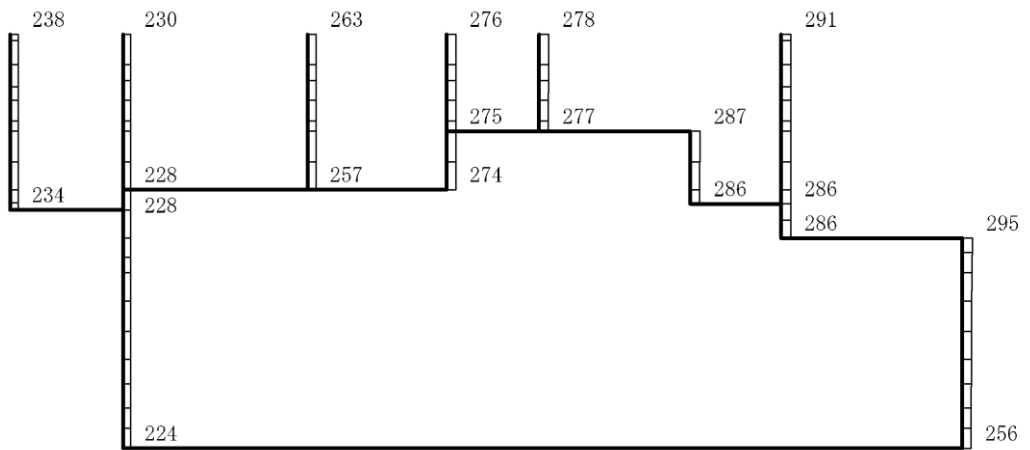
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-319 最大応答加速度分布図 (59/88) (解析ケース⑦)



(a) Sd-D (—) 水平

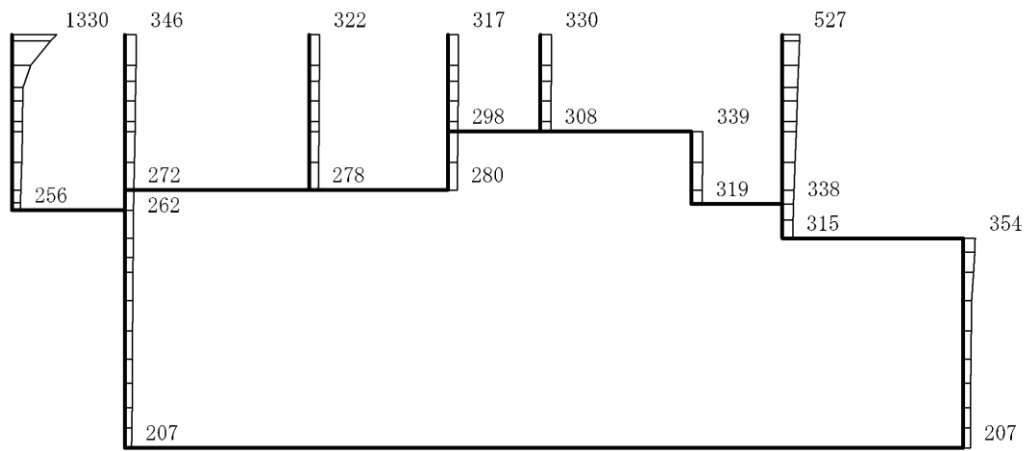


(b) Sd-D (—) 鉛直

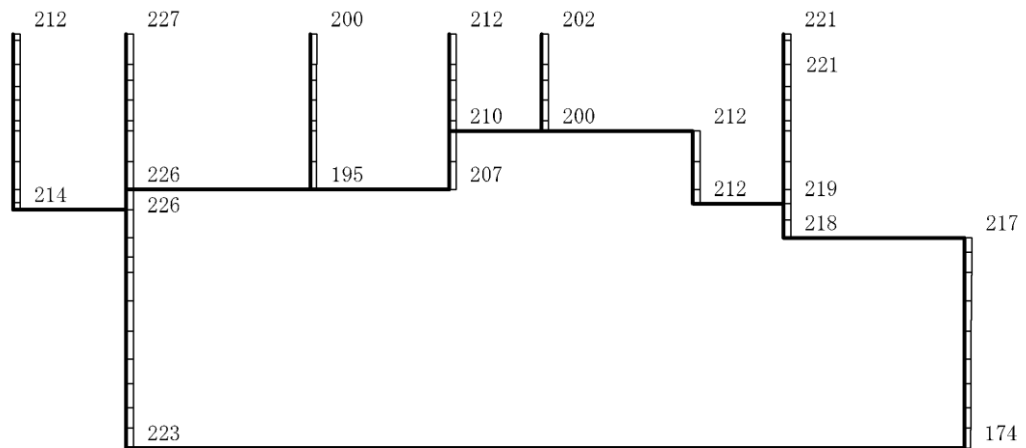
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-320 最大応答加速度分布図 (60/88) (解析ケース⑦)



(a) S d - F 1 (++) 水平

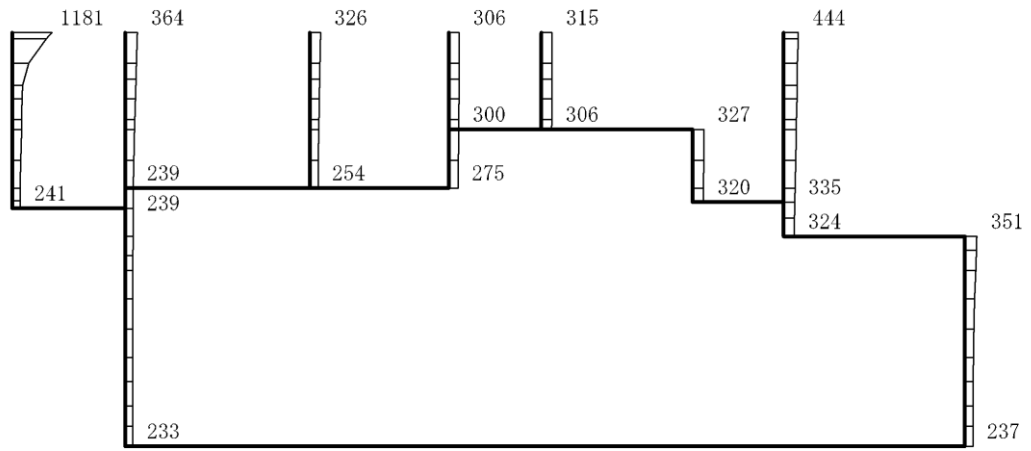


(b) S d - F 1 (++) 鉛直

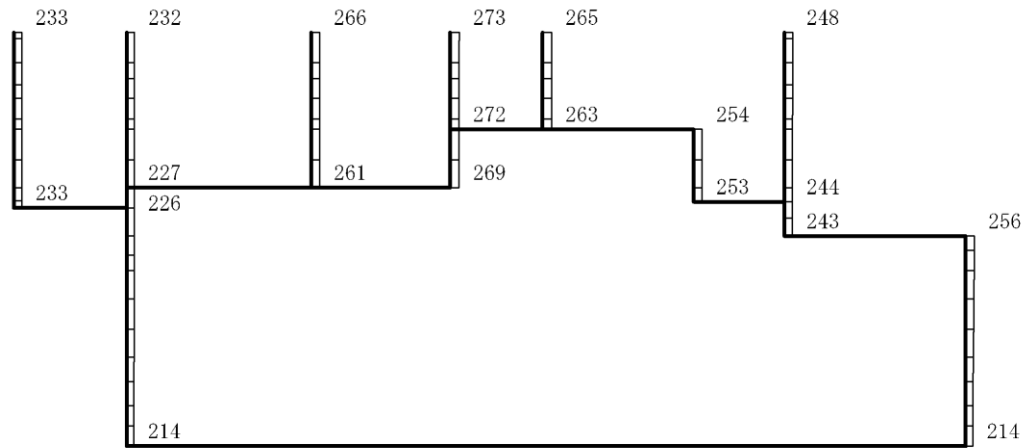
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1200 (cm/s^2)$

図 4-321 最大応答加速度分布図 (61/88) (解析ケース⑦)



(a) S d - F 2 (+ +) 水平

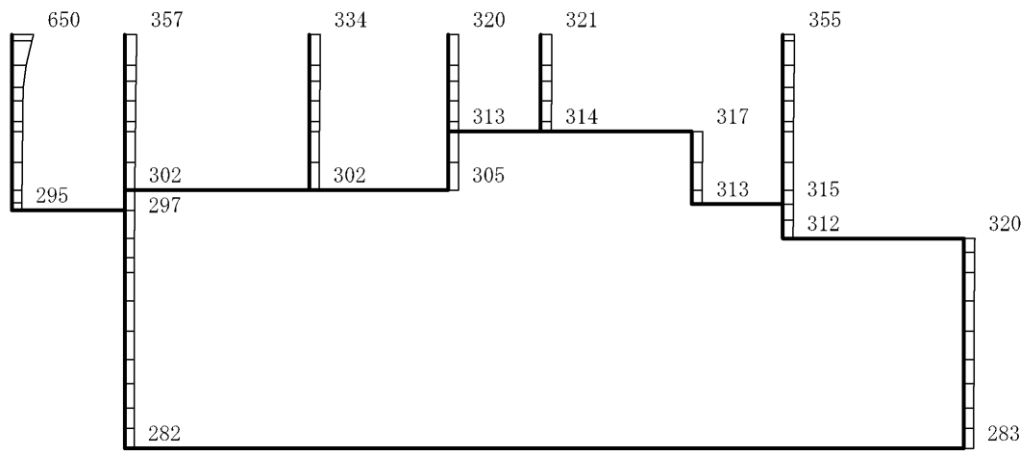


(b) S d - F 2 (+ +) 鉛直

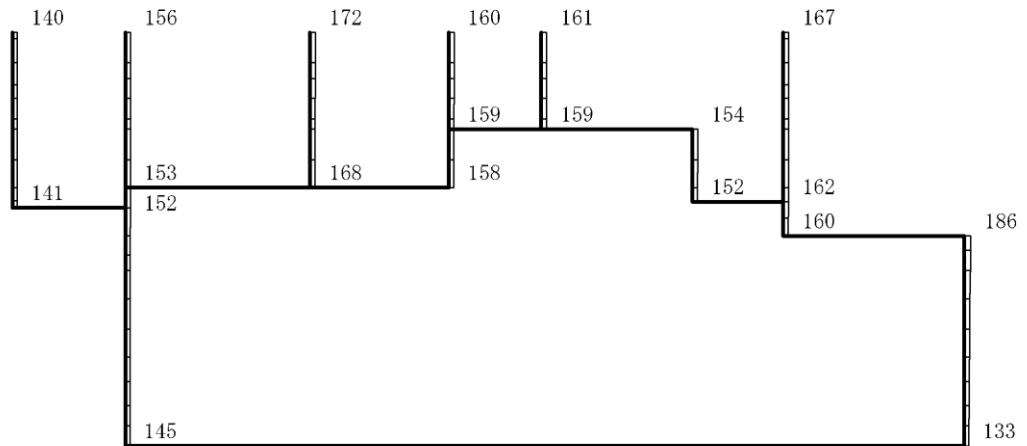
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1200 (cm/s^2)$

図 4-322 最大応答加速度分布図 (62/88) (解析ケース⑦)



(a) S d - N 1 (++) 水平

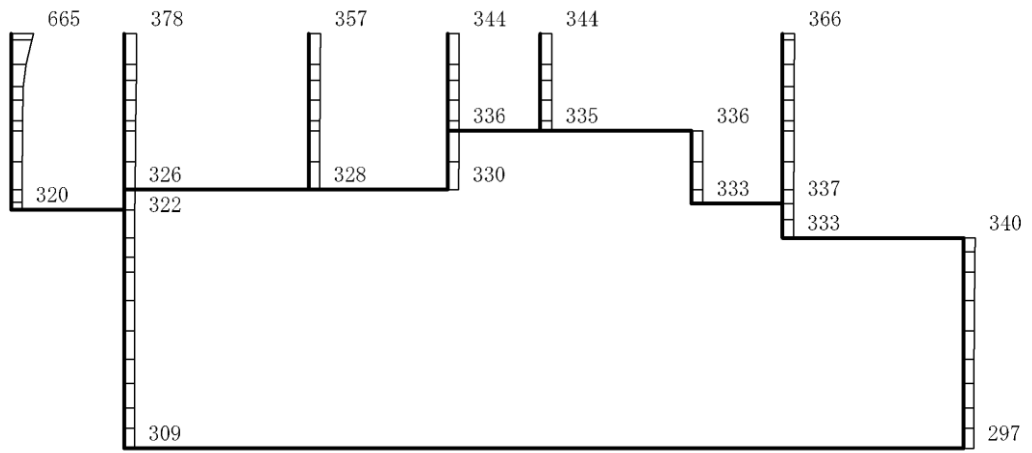


(b) S d - N 1 (++) 鉛直

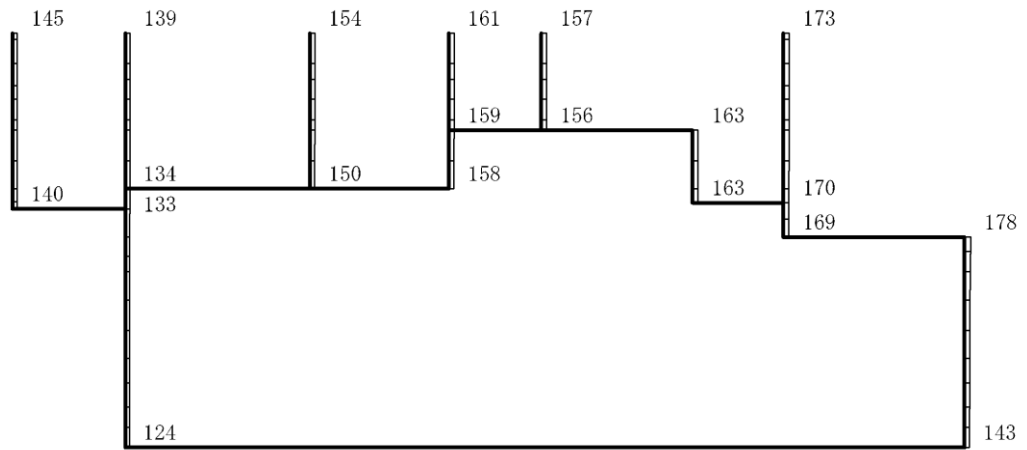
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-323 最大応答加速度分布図 (63/88) (解析ケース⑦)



(a) S d - N 1 (- +) 水平

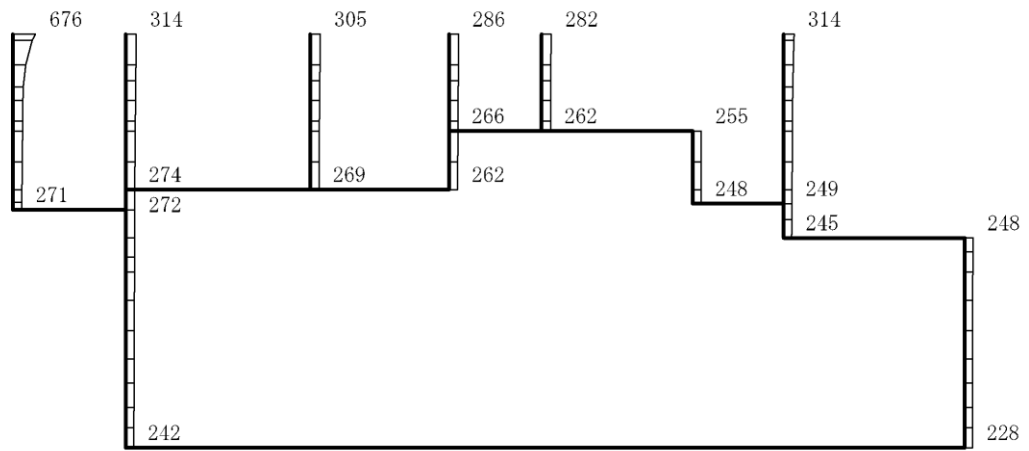


(b) S d - N 1 (- +) 鉛直

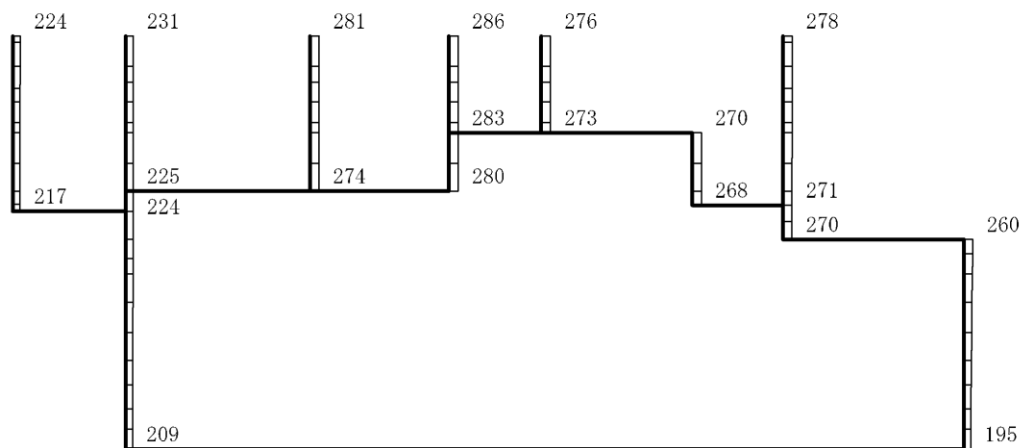
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-324 最大応答加速度分布図 (64/88) (解析ケース⑦)



(a) S d - N 2 (N S) (+ +) 水平

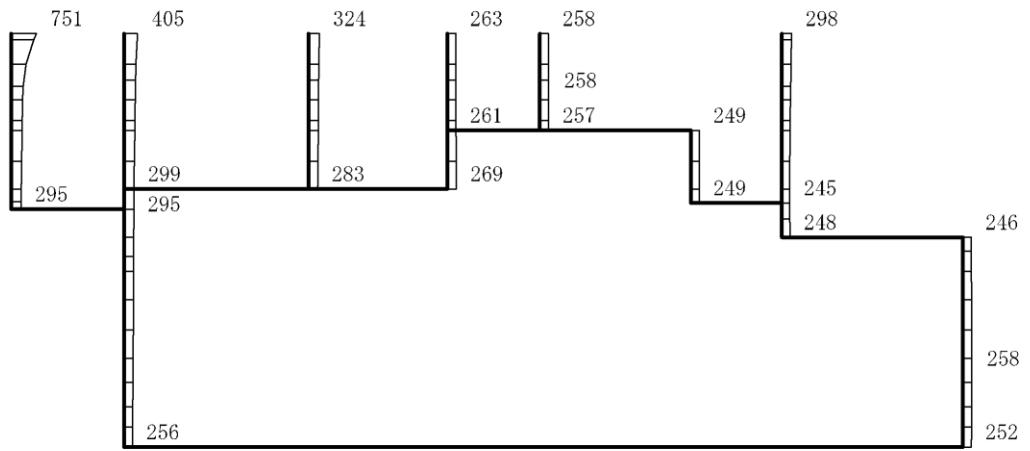


(b) S d - N 2 (N S) (+ +) 鉛直

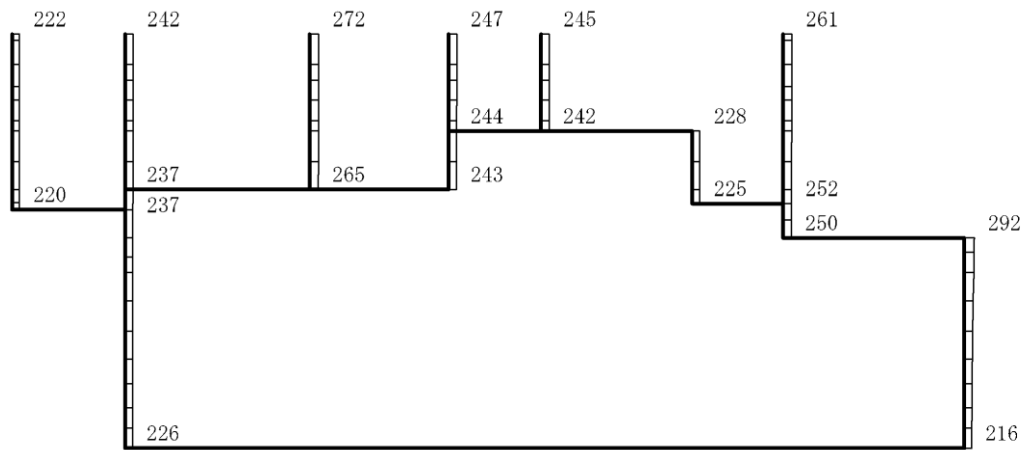
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1200 (cm/s^2)$

図 4-325 最大応答加速度分布図 (65/88) (解析ケース⑦)



(a) S d - N 2 (N S) (- +) 水平

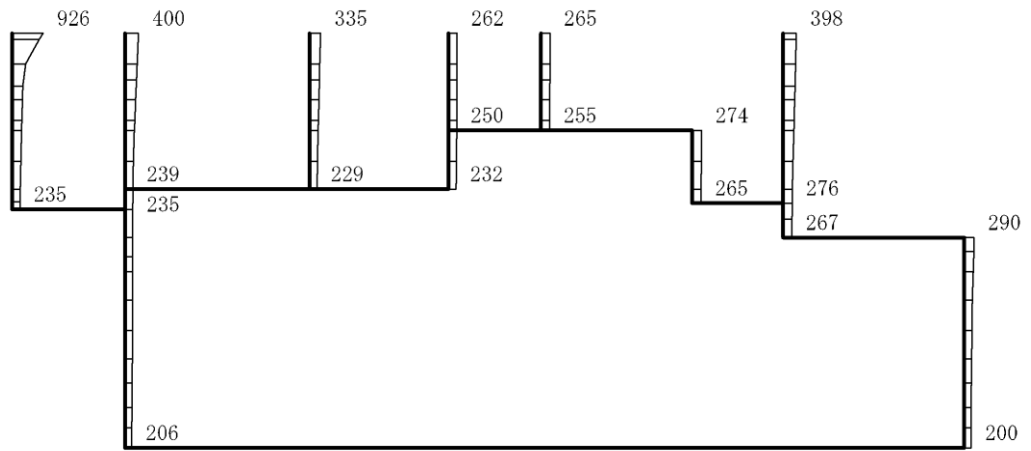


(b) S d - N 2 (N S) (- +) 鉛直

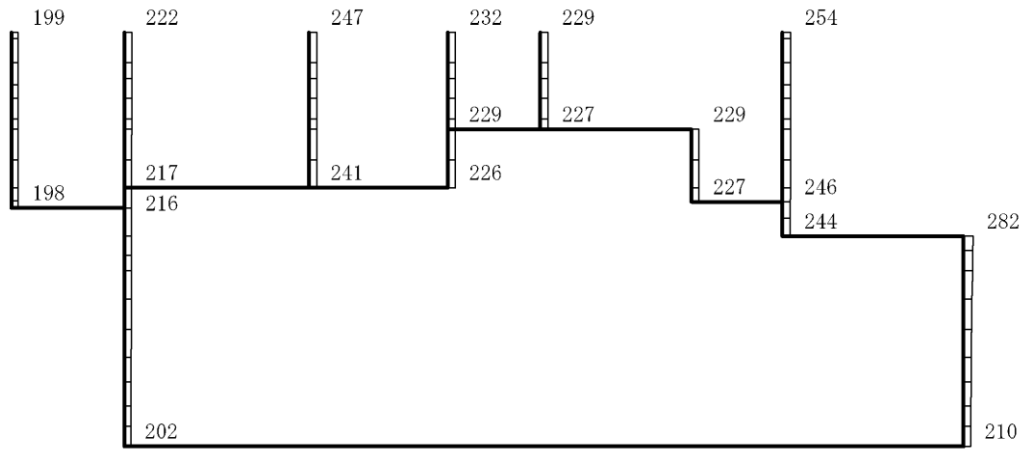
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-326 最大応答加速度分布図 (66/88) (解析ケース⑦)



(a) S d - N 2 (E W) (+ +) 水平

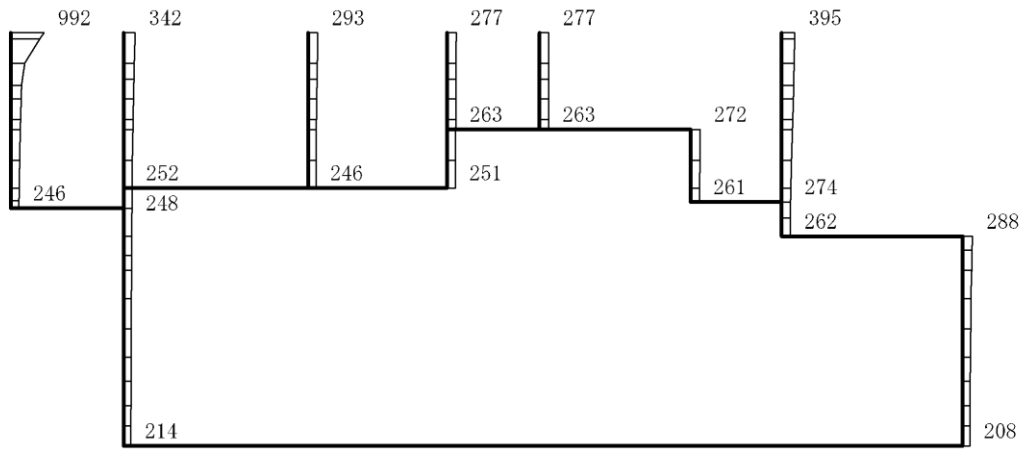


(b) S d - N 2 (E W) (+ +) 鉛直

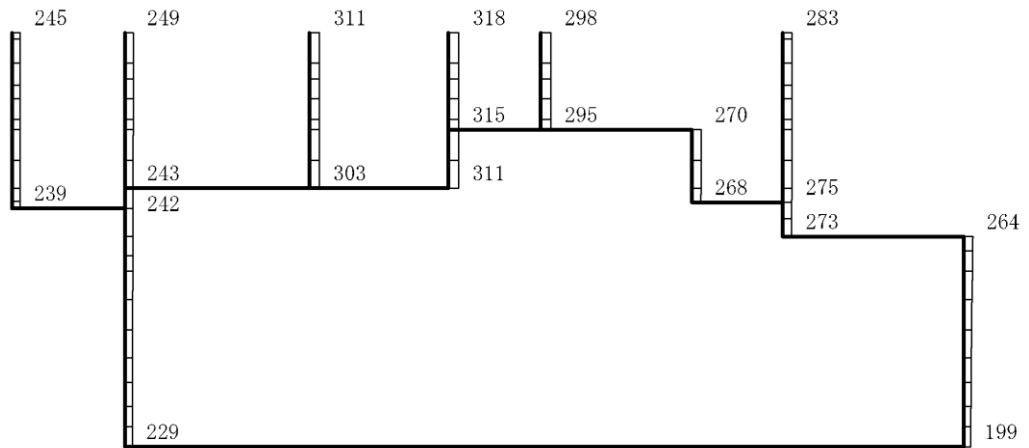
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-327 最大応答加速度分布図 (67/88) (解析ケース⑦)



(a) Sd-N2(EW) (-+) 水平

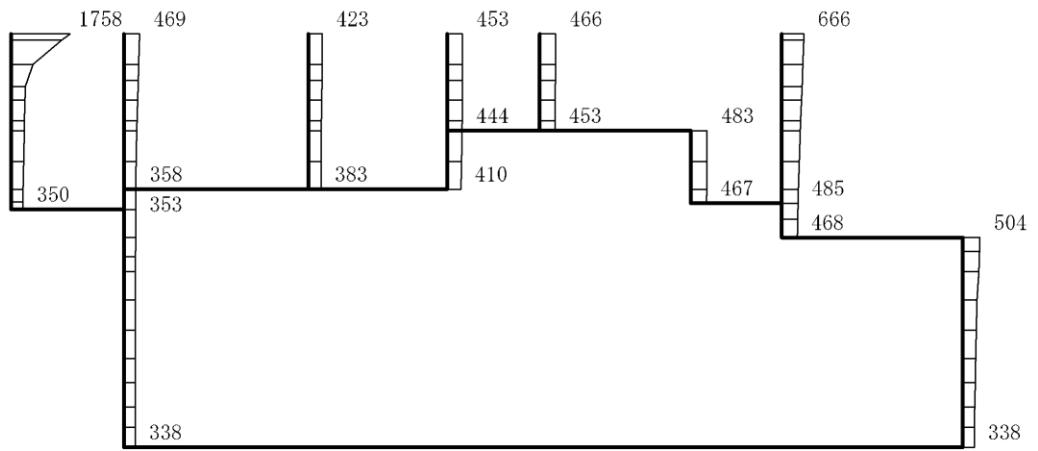


(b) Sd-N2(EW) (-+) 鉛直

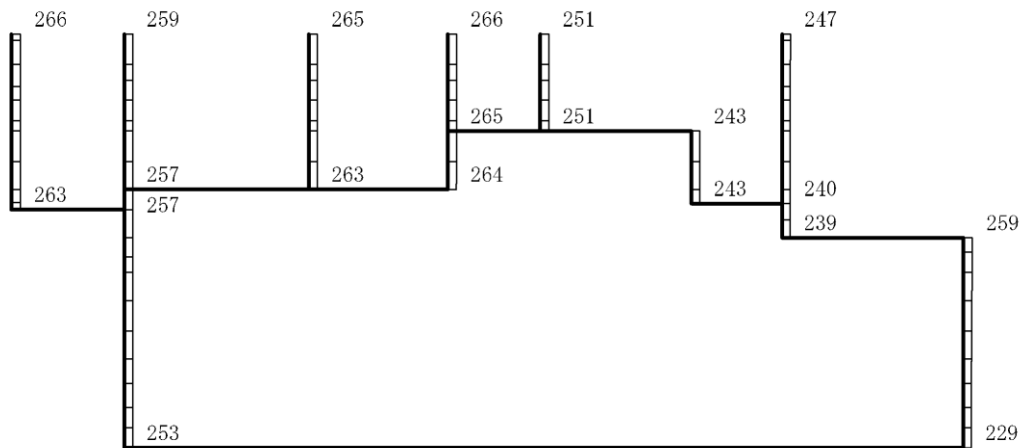
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-328 最大応答加速度分布図 (68/88) (解析ケース⑦)



(a) Sd-1 (++) 水平

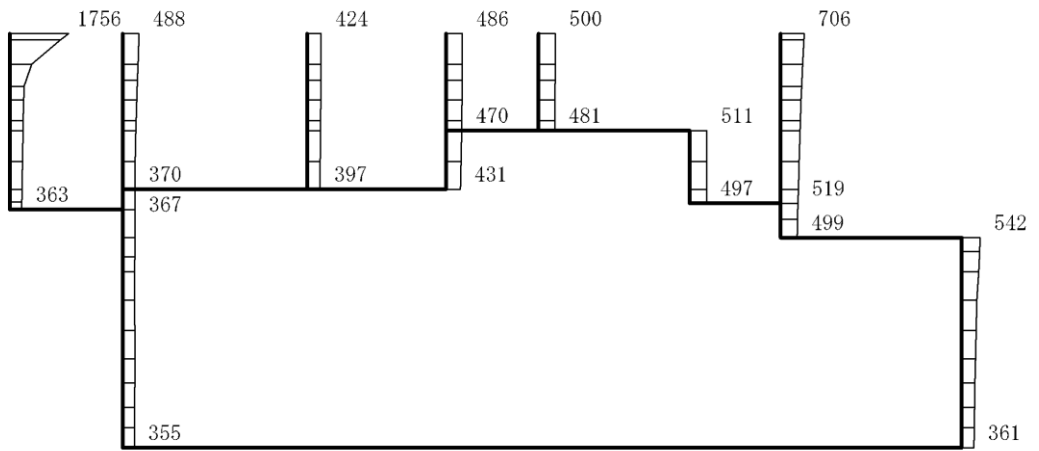


(b) Sd-1 (++) 鉛直

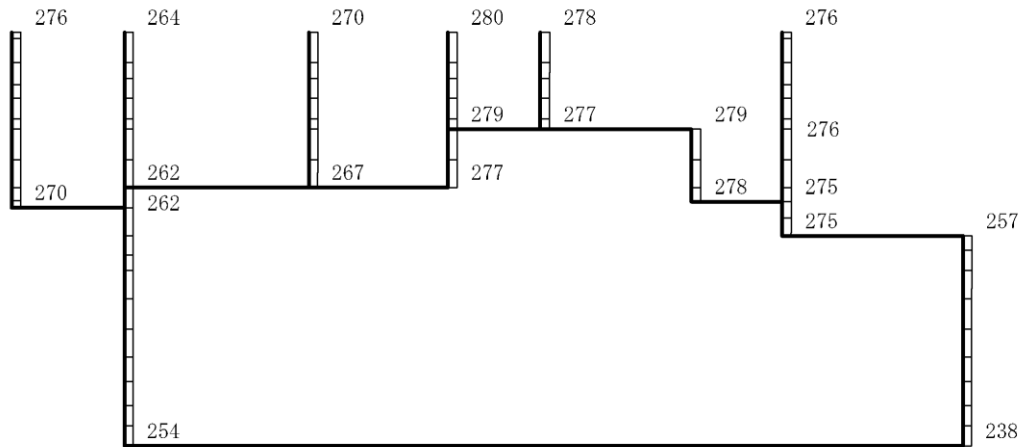
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-329 最大応答加速度分布図 (69/88) (解析ケース⑦)



(a) Sd-1 (-+) 水平

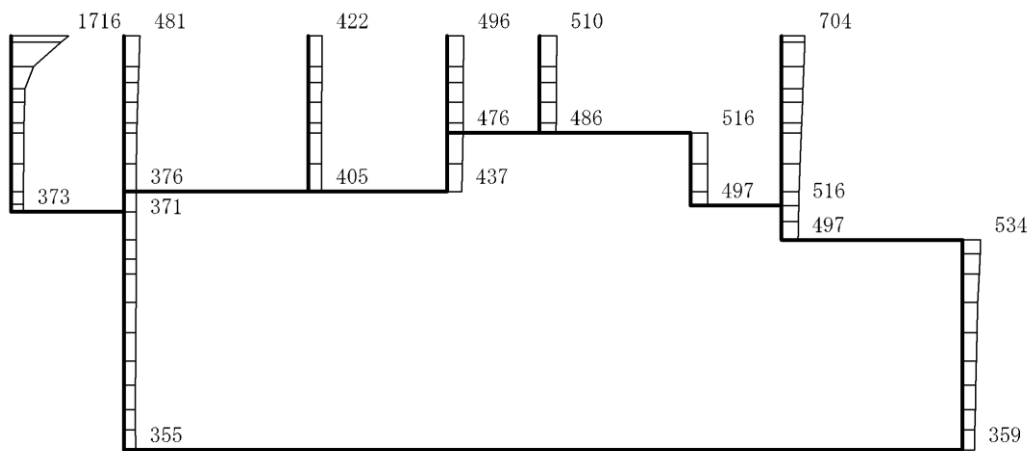


(b) Sd-1 (-+) 鉛直

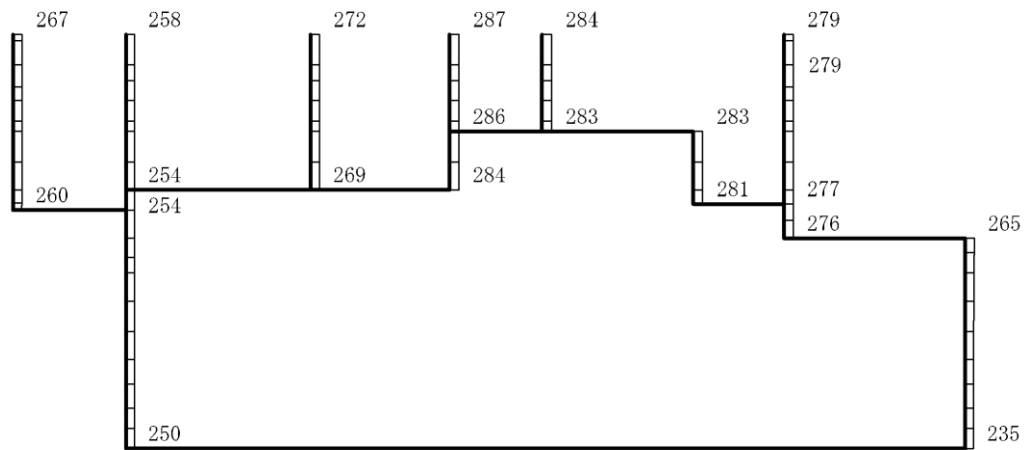
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1200 (cm/s^2)$

図 4-330 最大応答加速度分布図(70/88) (解析ケース⑦)



(a) Sd-1 (+-) 水平

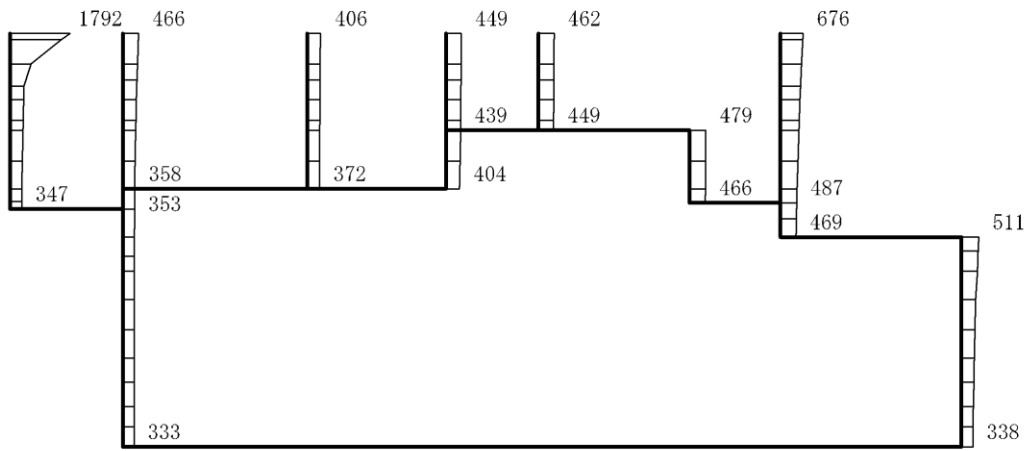


(b) Sd-1 (+-) 鉛直

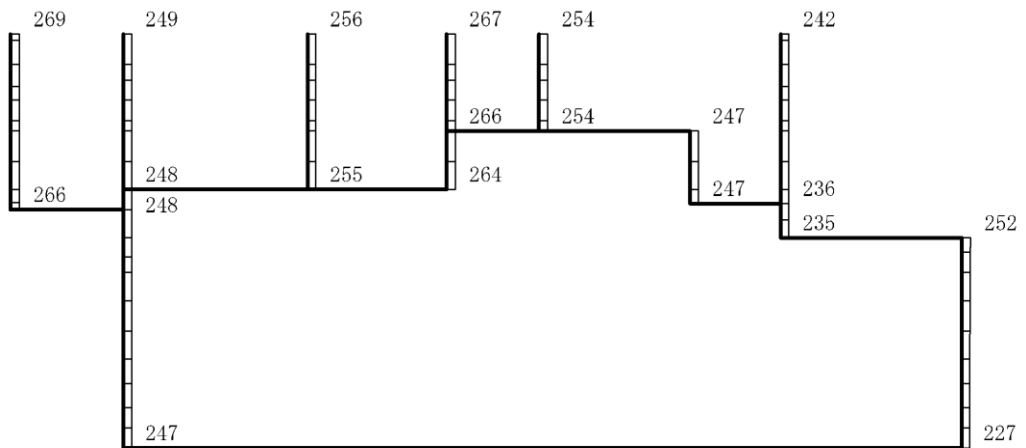
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-331 最大応答加速度分布図(71/88) (解析ケース⑦)



(a) Sd-1 (--) 水平

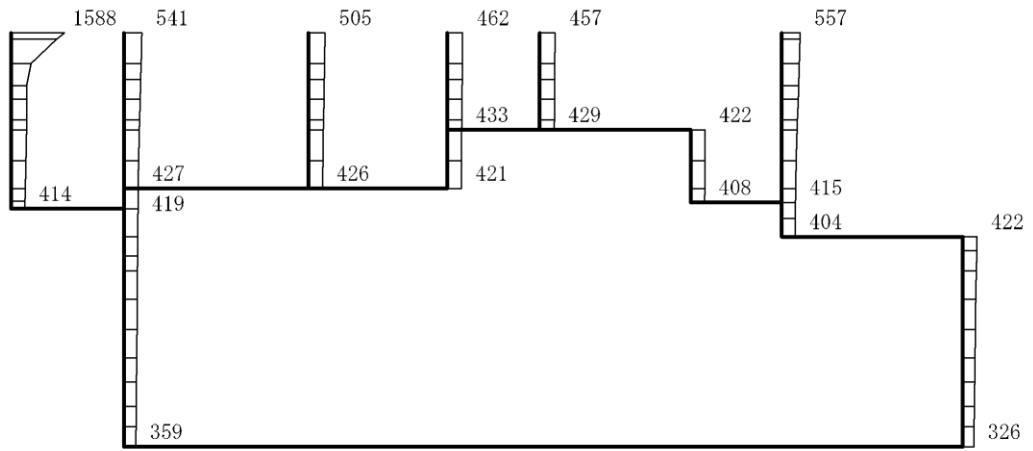


(b) Sd-1 (--) 鉛直

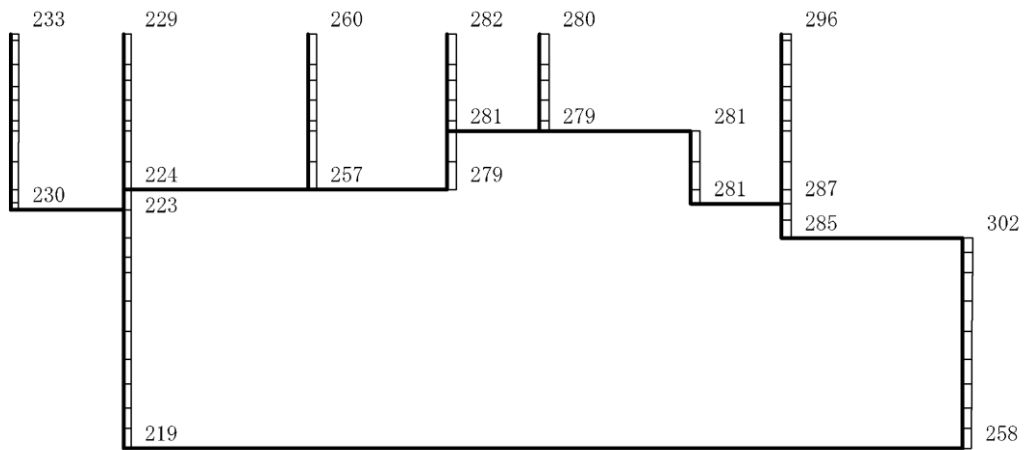
構造スケール $0 \sim 2(\text{m})$

応答値スケール $0 \sim 1200(\text{cm/s}^2)$

図 4-332 最大応答加速度分布図(72/88) (解析ケース⑦)



(a) Sd-D(++) 水平

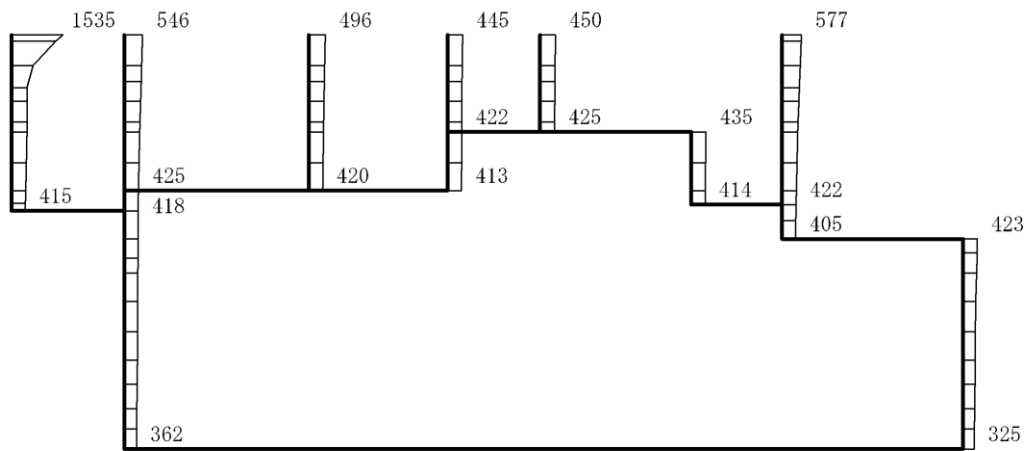


(b) Sd-D(++) 鉛直

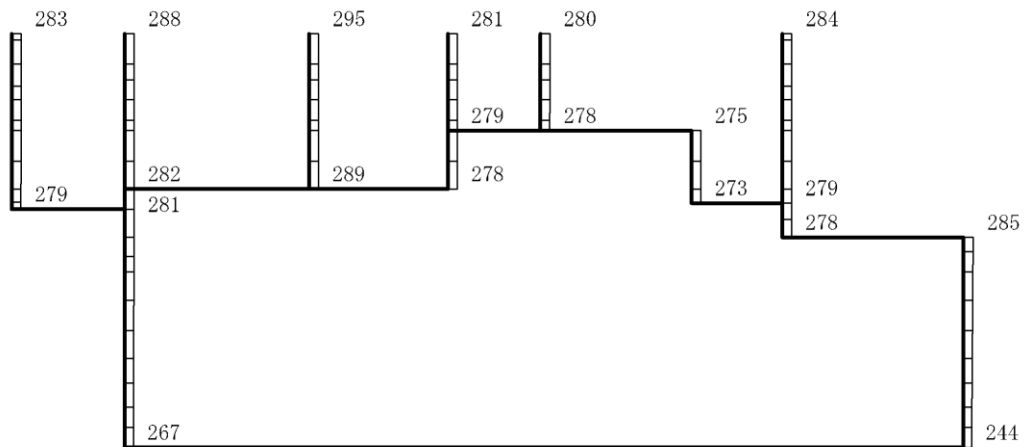
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-333 最大応答加速度分布図(73/88) (解析ケース⑧)



(a) S d-D (-+) 水平

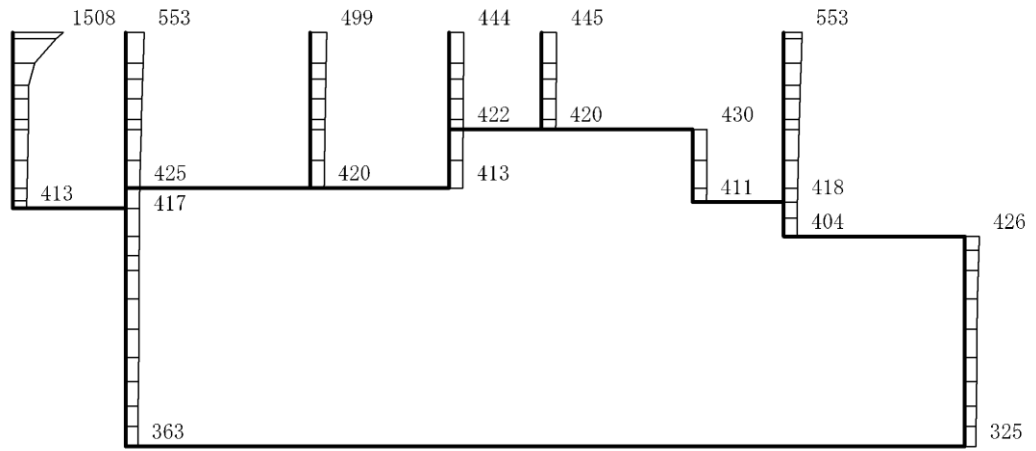


(b) S d-D (-+) 鉛直

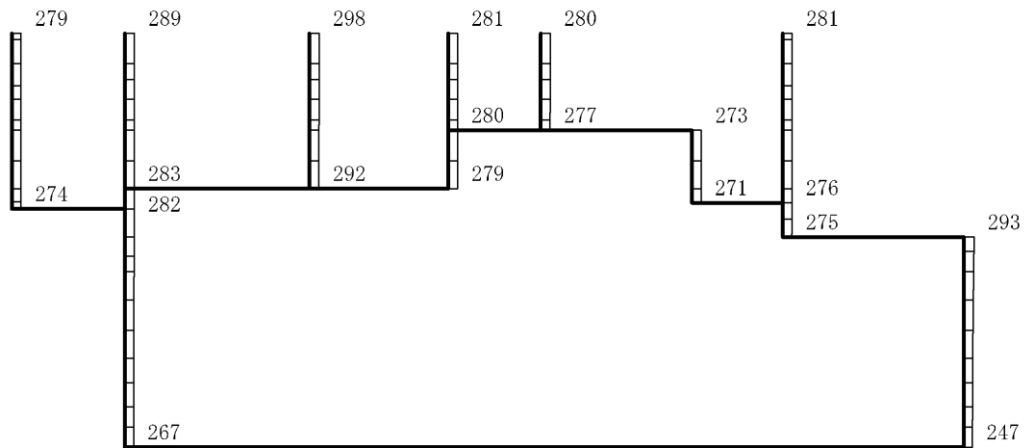
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1200 (cm/s^2)$

図 4-334 最大応答加速度分布図(74/88) (解析ケース⑧)



(a) S d-D (+-) 水平

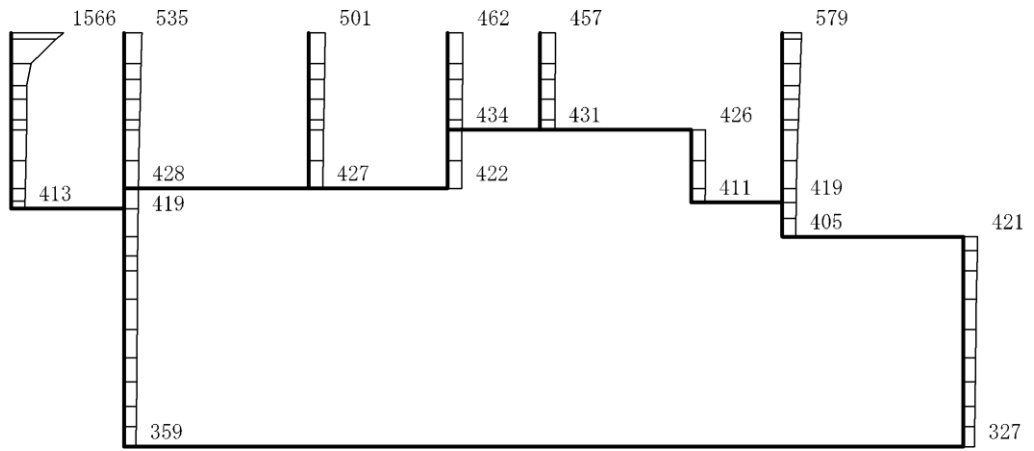


(b) S d-D (+-) 鉛直

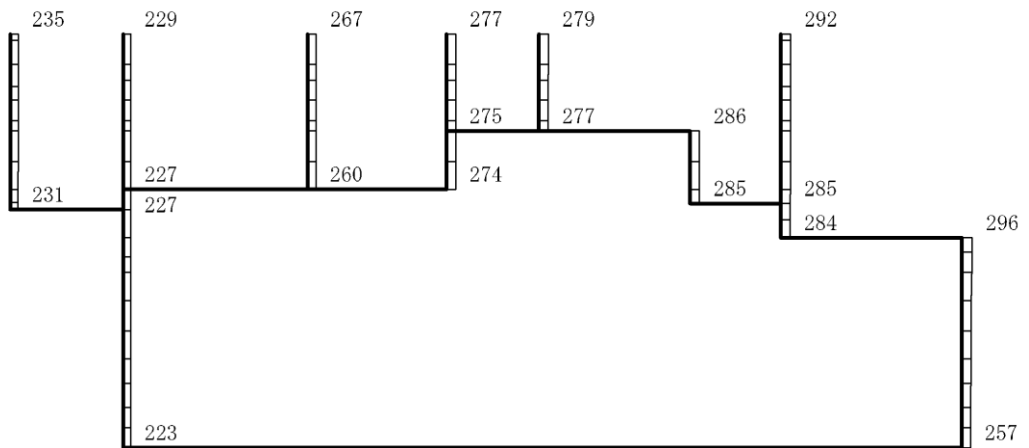
構造スケール $0 \quad 2(\text{m})$

応答値スケール $0 \quad 1200(\text{cm/s}^2)$

図 4-335 最大応答加速度分布図(75/88) (解析ケース⑧)



(a) Sd-D (—) 水平

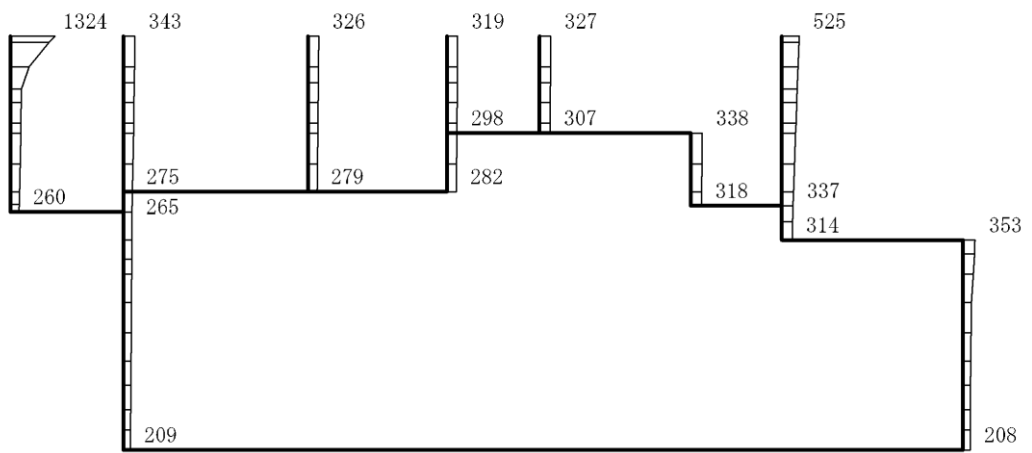


(b) Sd-D (—) 鉛直

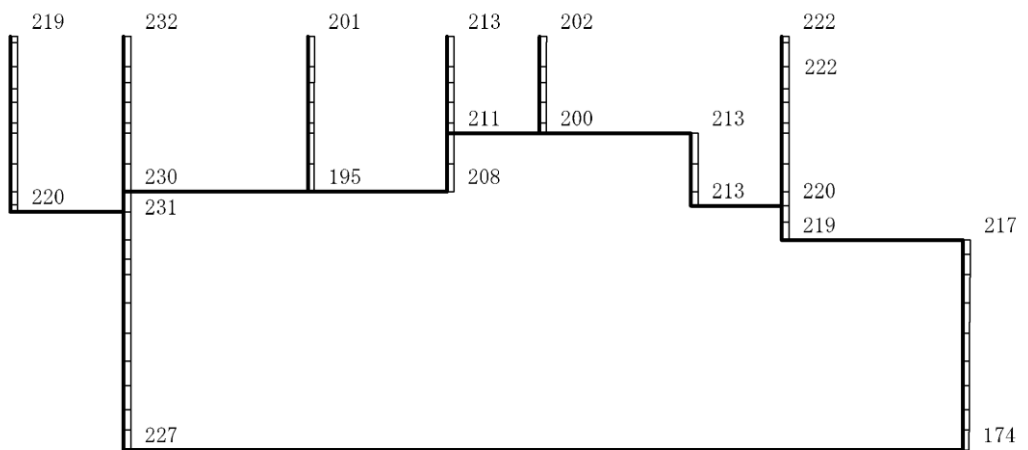
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1200 (cm/s^2)$

図 4-336 最大応答加速度分布図(76/88) (解析ケース⑧)



(a) S d - F 1 (++) 水平

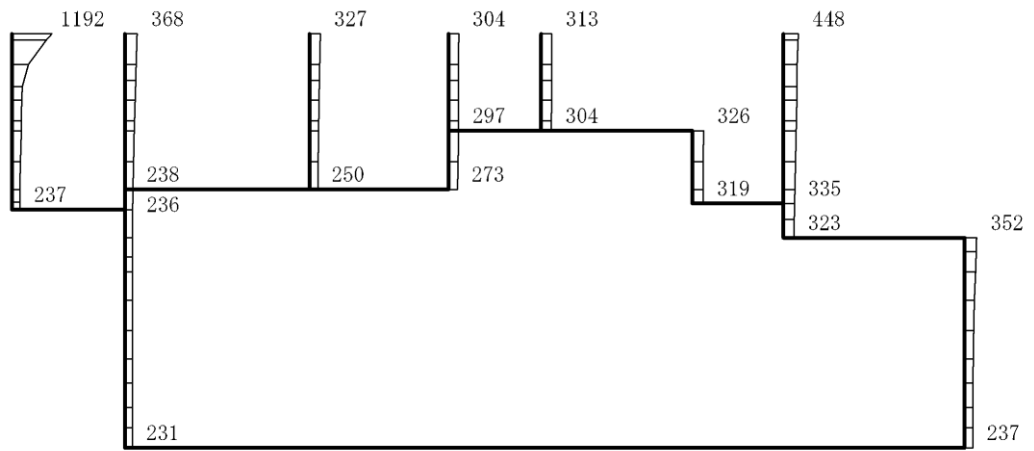


(b) S d - F 1 (++) 鉛直

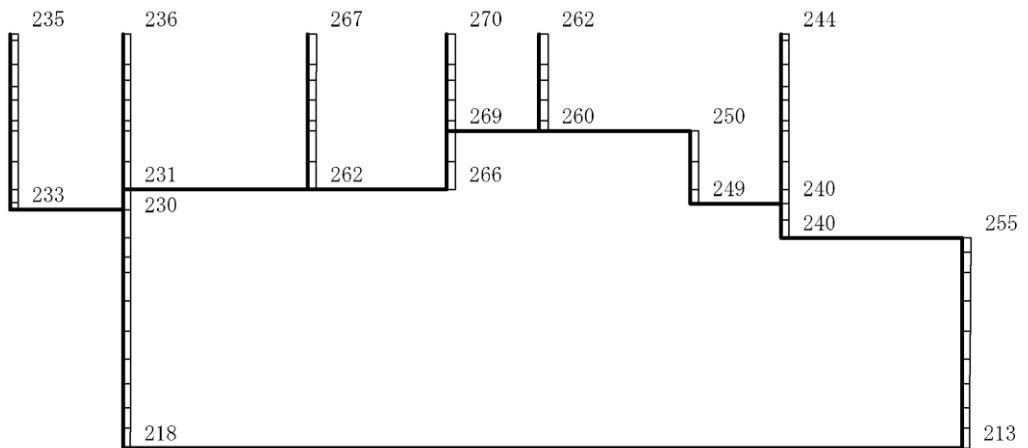
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-337 最大応答加速度分布図(77/88) (解析ケース⑧)



(a) S d - F 2 (++) 水平

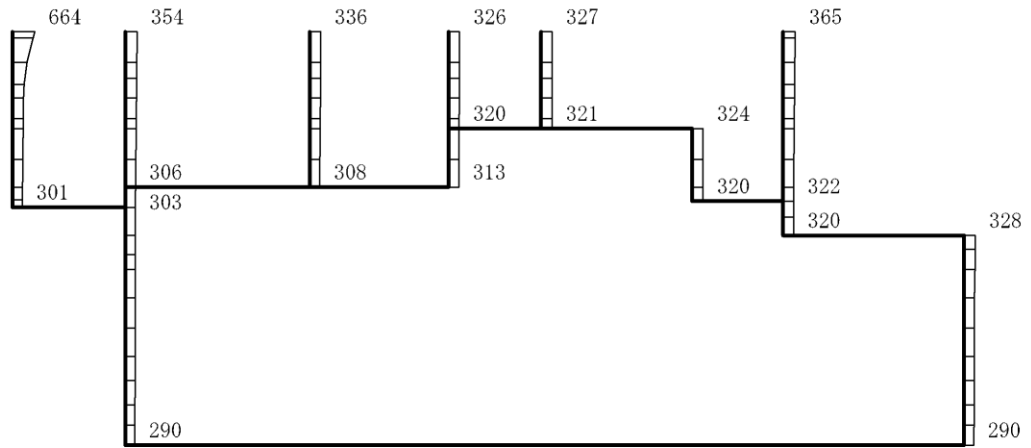


(b) S d - F 2 (++) 鉛直

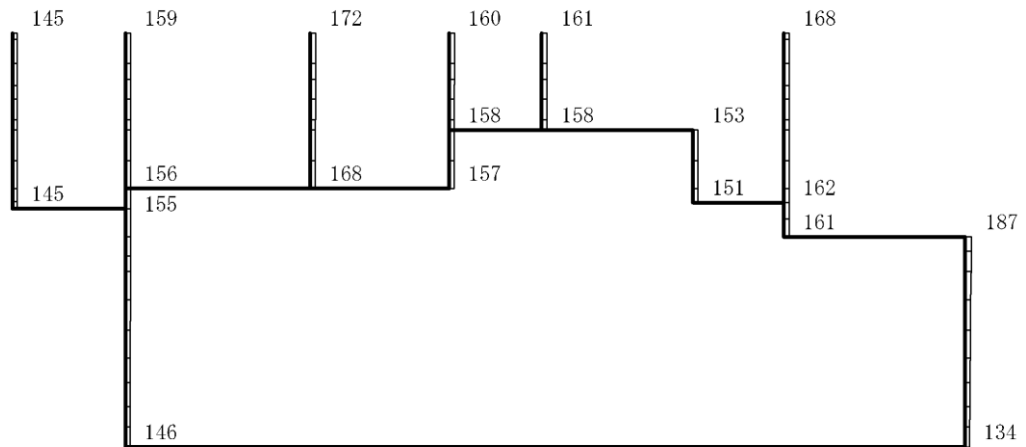
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-338 最大応答加速度分布図 (78/88) (解析ケース⑧)



(a) S d - N 1 (+ +) 水平

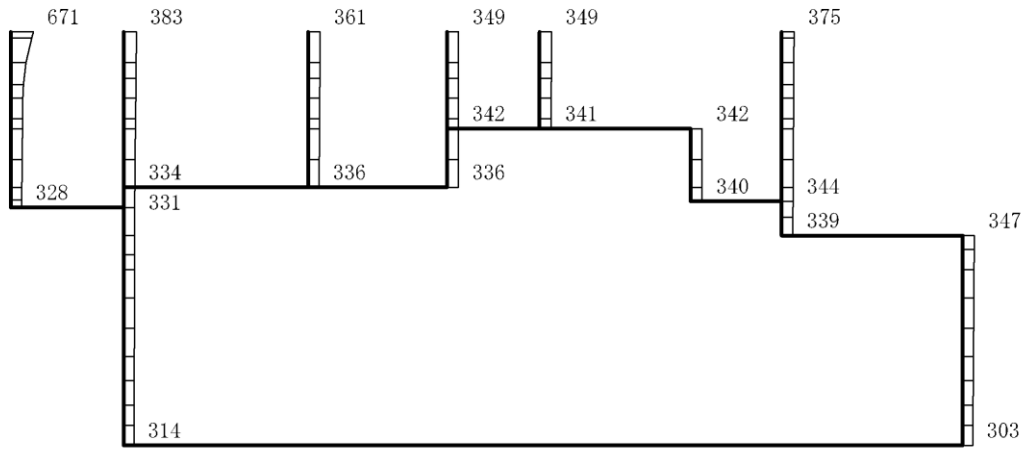


(b) S d - N 1 (+ +) 鉛直

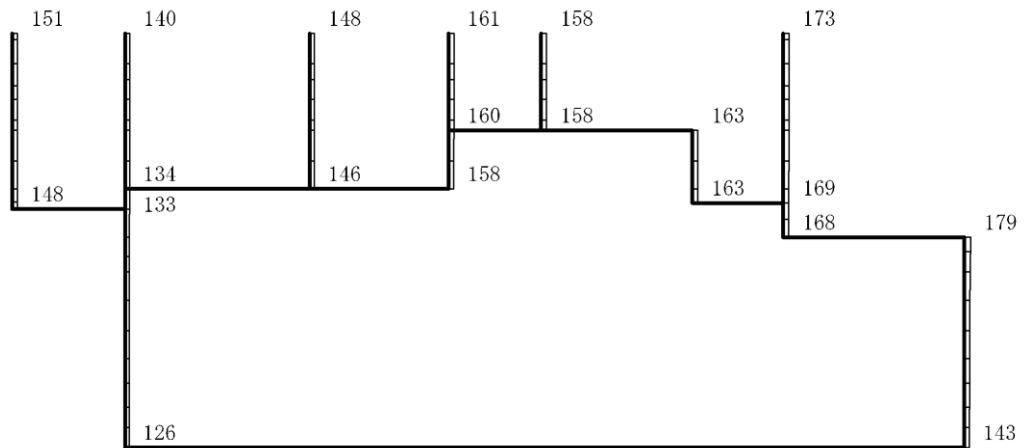
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-339 最大応答加速度分布図(79/88) (解析ケース⑧)



(a) S d - N 1 (- +) 水平

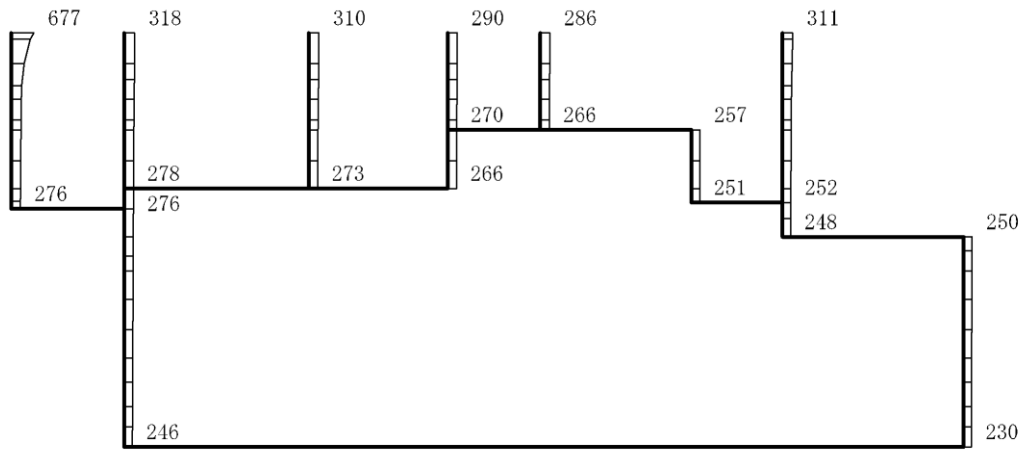


(b) S d - N 1 (- +) 鉛直

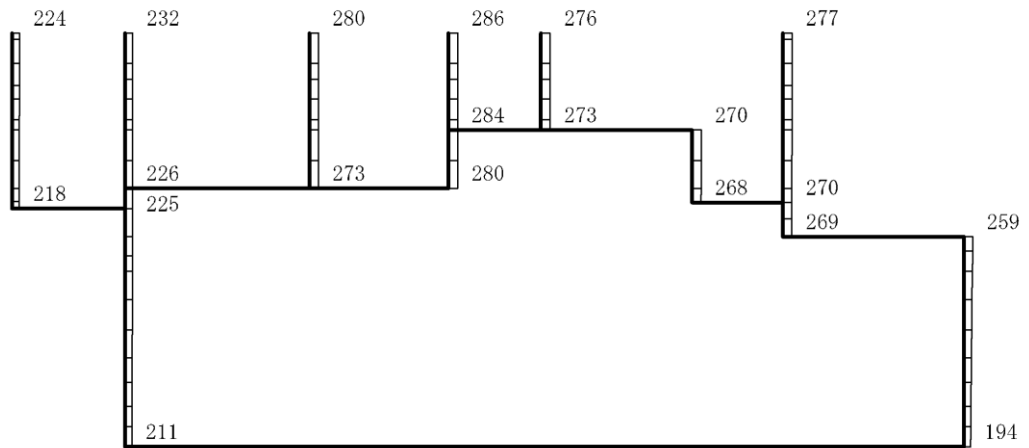
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-340 最大応答加速度分布図 (80/88) (解析ケース⑧)



(a) S d - N 2 (N S) (+ +) 水平

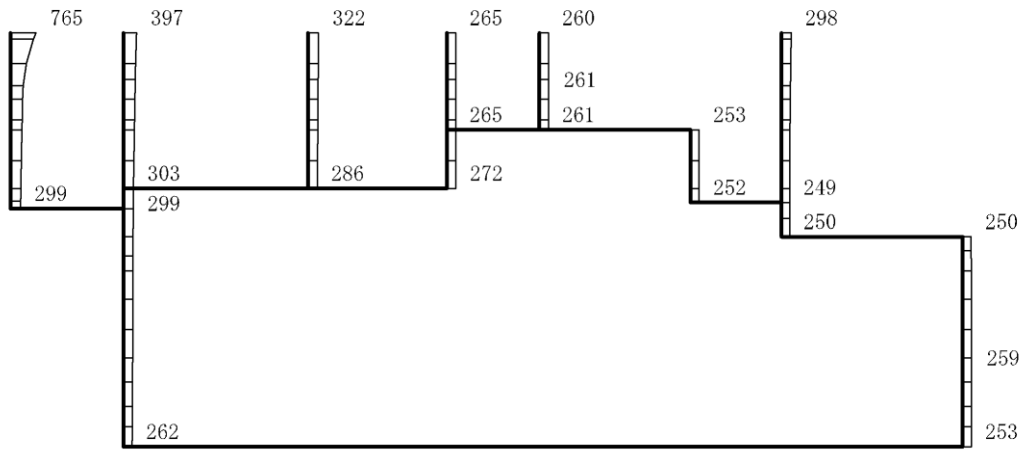


(b) S d - N 2 (N S) (+ +) 鉛直

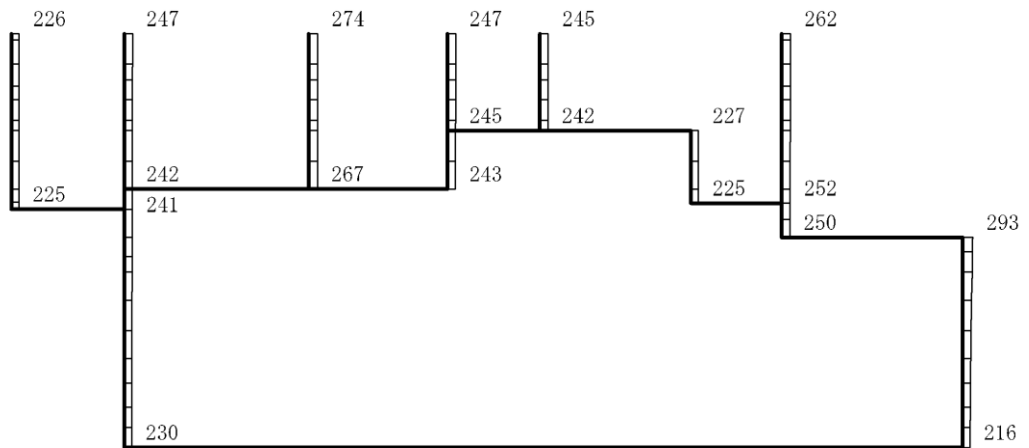
構造スケール $0 \quad 2(\text{m})$

応答値スケール $0 \quad 1200(\text{cm/s}^2)$

図 4-341 最大応答加速度分布図 (81/88) (解析ケース⑧)



(a) S d - N 2 (N S) (- +) 水平

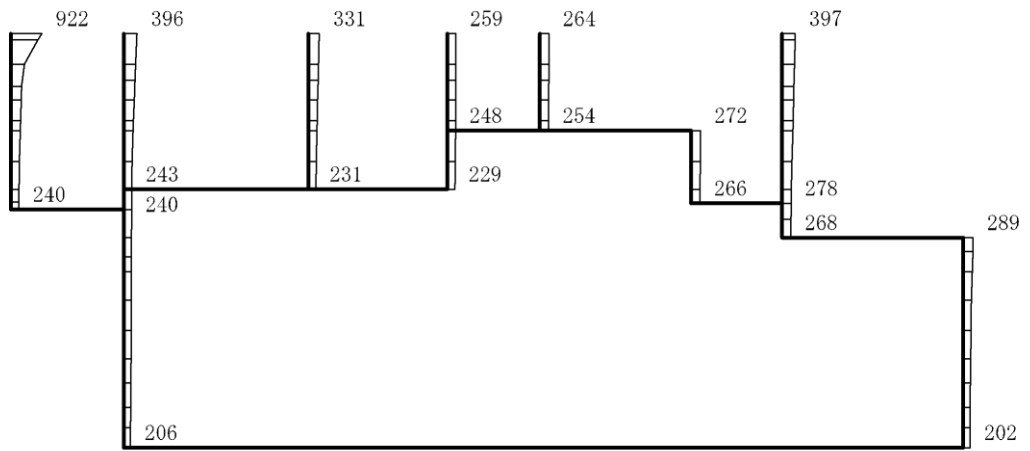


(b) S d - N 2 (N S) (- +) 鉛直

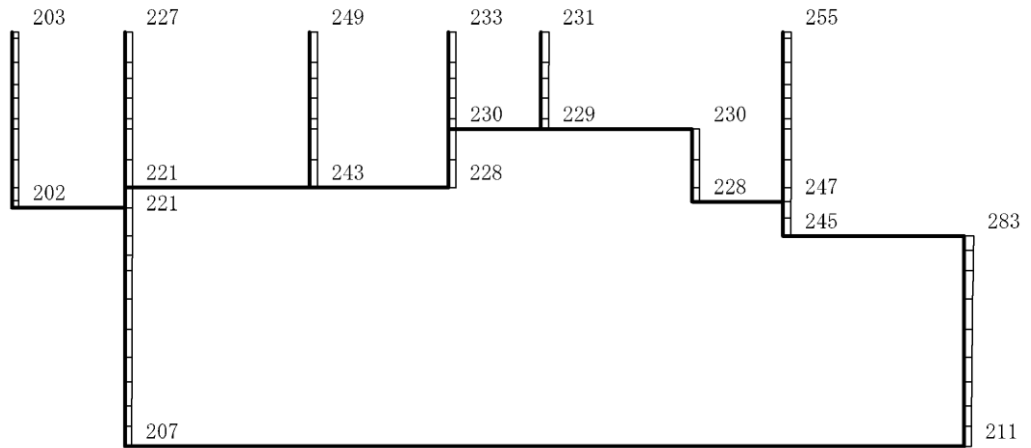
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-342 最大応答加速度分布図 (82/88) (解析ケース⑧)



(a) S d - N 2 (E W) (+ +) 水平

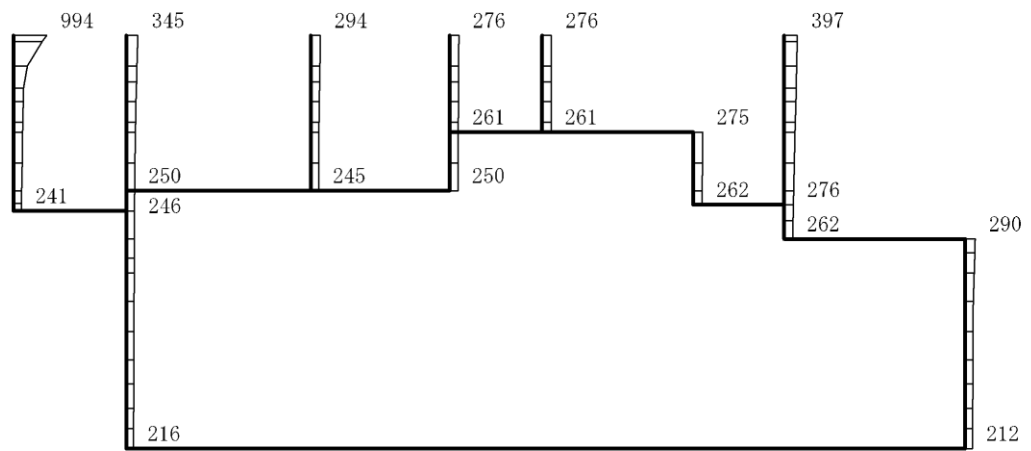


(b) S d - N 2 (E W) (+ +) 鉛直

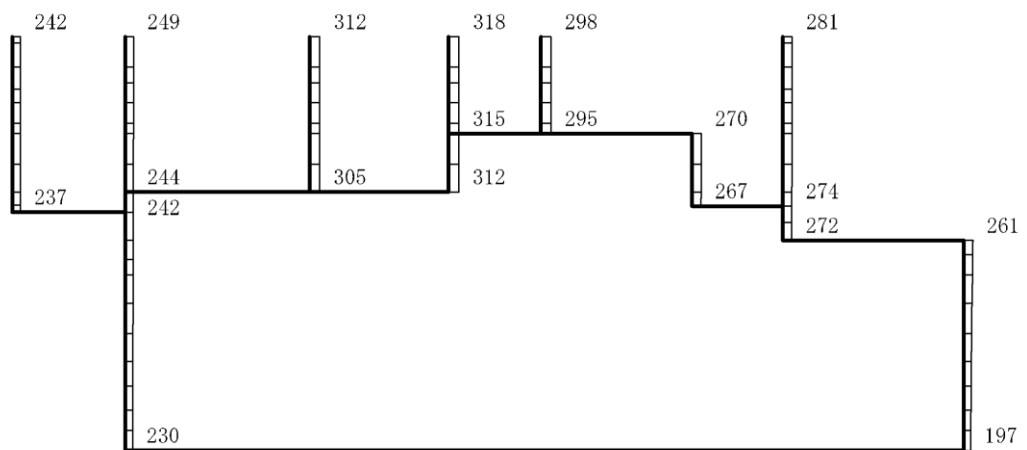
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-343 最大応答加速度分布図 (83/88) (解析ケース⑧)



(a) S d - N 2 (E W) (- +) 水平

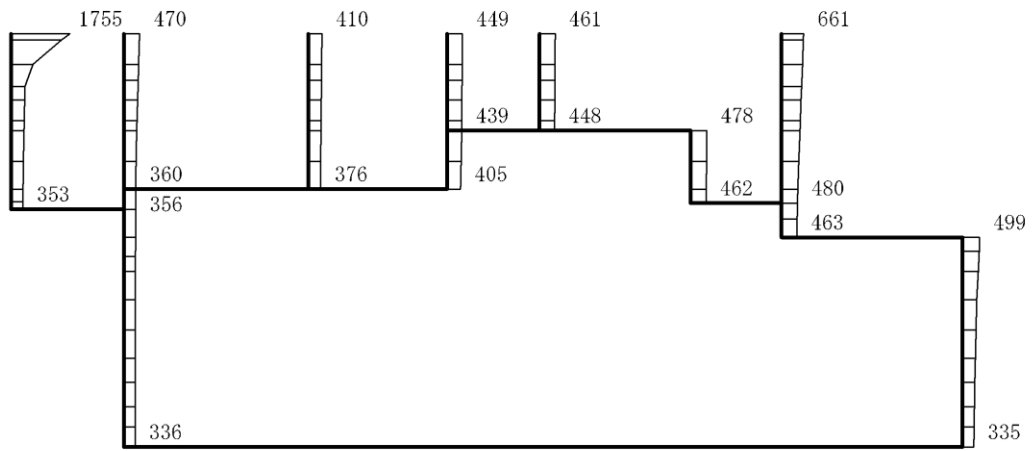


(b) S d - N 2 (E W) (- +) 鉛直

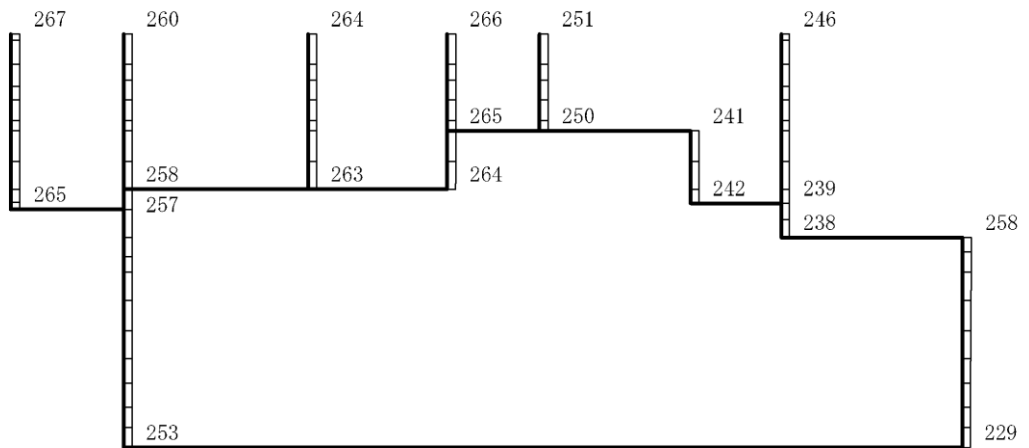
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1200 (cm/s^2)$

図 4-344 最大応答加速度分布図 (84/88) (解析ケース⑧)



(a) Sd-1 (++) 水平

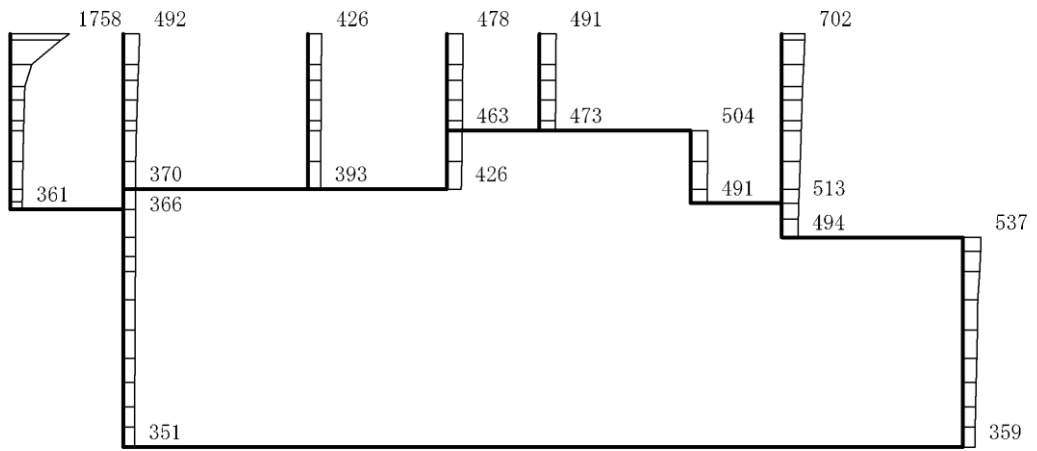


(b) Sd-1 (++) 鉛直

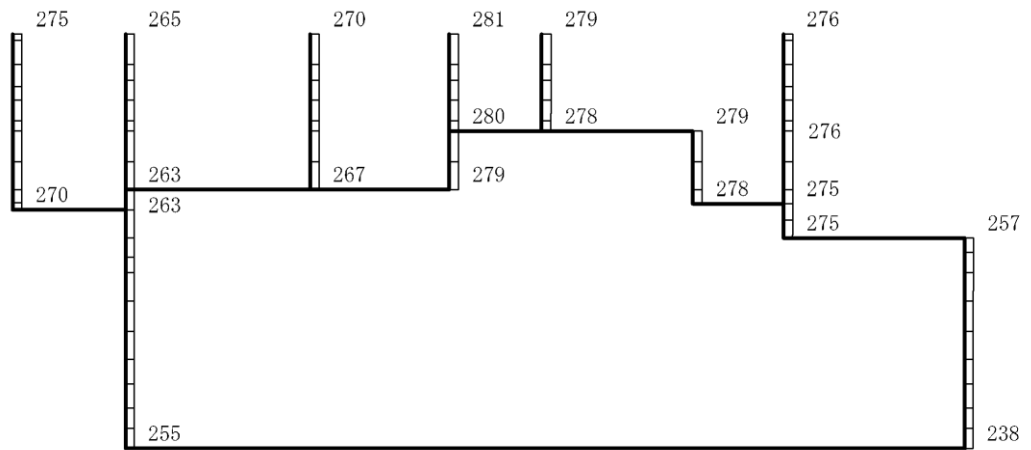
構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-345 最大応答加速度分布図 (85/88) (解析ケース⑧)



(a) Sd-1 (-+) 水平

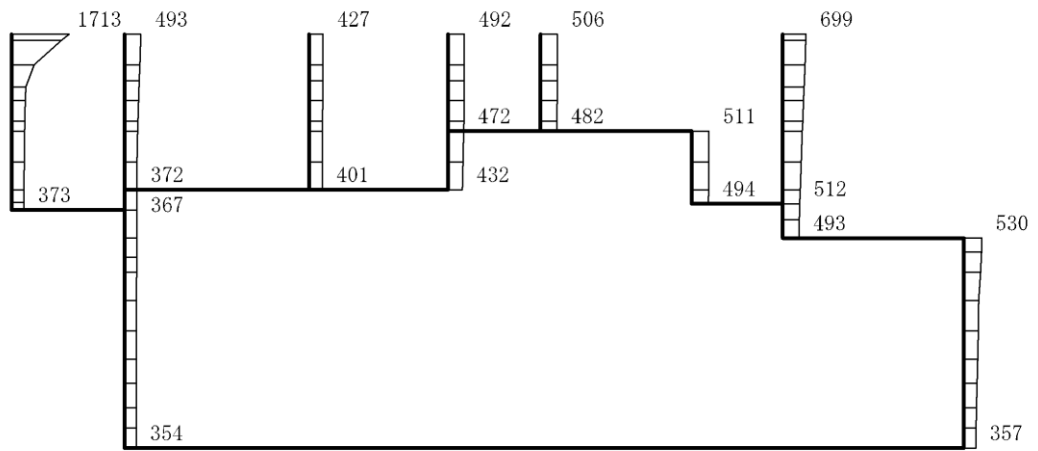


(b) Sd-1 (-+) 鉛直

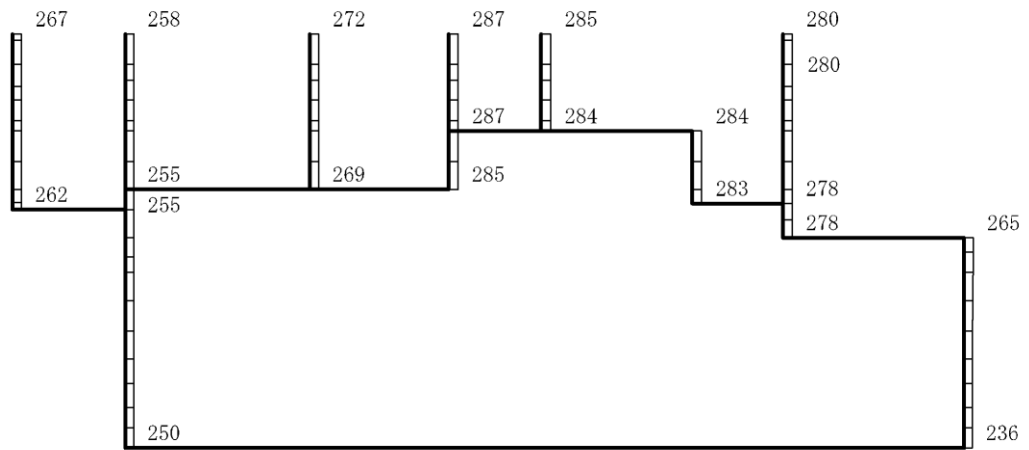
構造スケール $0 \quad 2(\text{m})$

応答値スケール $0 \quad 1200(\text{cm/s}^2)$

図 4-346 最大応答加速度分布図(86/88) (解析ケース⑧)



(a) Sd-1 (+-) 水平

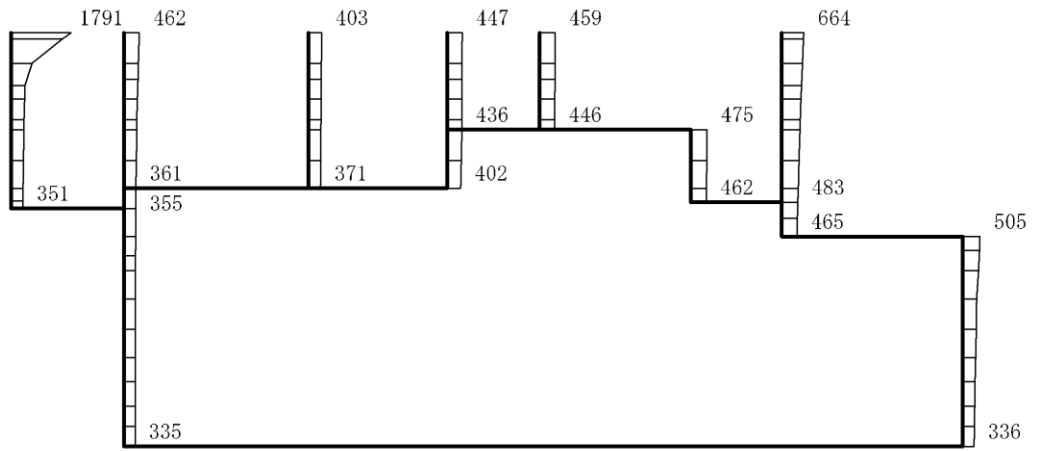


(b) Sd-1 (+-) 鉛直

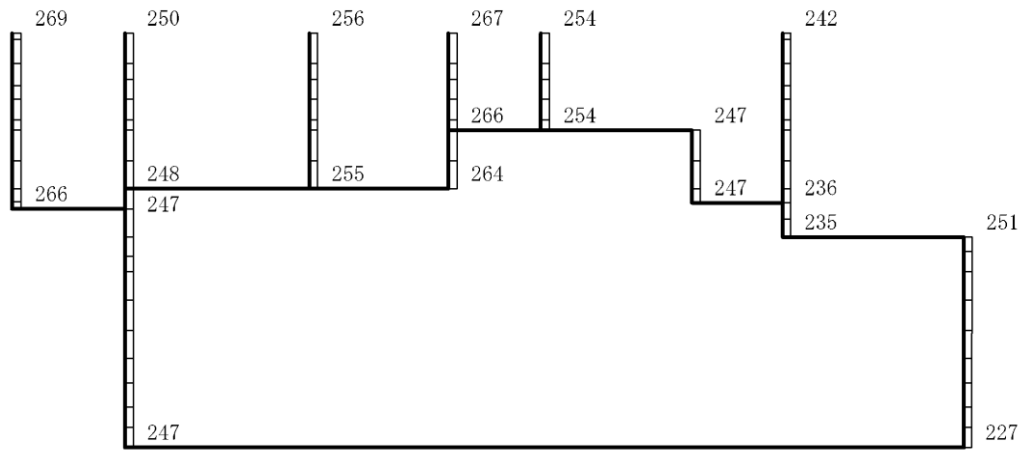
構造スケール $0 \quad 2(m)$

応答値スケール $0 \quad 1200 (cm/s^2)$

図 4-347 最大応答加速度分布図 (87/88) (解析ケース⑧)



(a) Sd-1 (--) 水平



(b) Sd-1 (--) 鉛直

構造スケール 0 2(m)

応答値スケール 0 1200 (cm/s²)

図 4-348 最大応答加速度分布図 (88/88) (解析ケース⑧)